

総合検査案内

2024-2025



北信臨床

索引

生化学

薬物検査

血液学

腫瘍関連
内分泌学

ウイルス

免疫血清

アレルギー

細胞性免疫

染色体

遺伝子関連

一般検査

微生物学

病理学
総合解析

リスク検査

検査方法
参考文献

容器

個人情報保護方針

株式会社 北信臨床（以下、「当社」といいます。）は、健康で豊かな社会づくりに貢献するという経営理念のもと、臨床検査事業を柱とした医療関連サービスを提供しております。

近年、患者様尊重の視点に立った質の高い医療の提供が求められるとともに、医療にまつわる情報開示や IT 化に伴う特定個人情報を含めた個人情報（以下、「個人情報」と記す）保護の重要性について、社会の関心がますます高まる中、ステークホルダーの皆様からお預かりした個人情報の保護は当社の社会的責務であり、また事業活動の基本と考えております。

当社では、個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、個人情報保護マネジメントシステムを確立し、全従業員に個人情報保護の重要性を認識させるとともに、個人情報の安全管理措置を周知徹底することをもって、個人情報の漏えい、滅失またはき損等、事故の発生を防止し、個人情報の保護に邁進することを宣言いたします。

「個人情報の保護に関する法律」に基づく公表事項

■当社が取扱う個人情報の利用目的、共同利用者、第三者提供、開示等の請求に関する事項、安全管理措置に関する事項、苦情および相談の申し出先、認定個人情報保護団体の名称及び苦情の申し出先につきましては、当社ホームページの上記「公表事項」をご覧ください。

1. 法令の遵守について

当社は個人情報保護に関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守します。

2. 個人情報の適切な取り扱いについて

当社は、事業活動において必要な範囲内で個人情報の利用目的を明確に定め、適切に個人情報の取得、利用、提供を行います。取得した個人情報は利用目的の範囲内に限定して利用し、目的外での利用を行わないための措置を講じます。

3. 個人情報の安全管理について

当社は、個人情報の取り扱う担当者について必要最小限の者に特定し、個人情報の安全管理について必要かつ適切な監督を行います。個人情報の漏えい、滅失およびき損等に対し合理的な安全対策および是正措置を講じます。

4. 個人情報の取り扱いに関する開示等の請求、苦情及び相談について

当社は、保有個人データについて、ご本人様から個人データの開示、訂正、削除、利用停止等の請求および苦情等に対して、法令に従い誠実かつ迅速に対応いたします。

5. 継続改善について

当社は、個人情報保護マネジメントシステムの構築において、管理責任者を定め、関連法令指針を遵守するとともに、個人情報の適切な取り扱いのための内部管理体制を定め、維持および継続的な改善・向上に努めます。

2005 年 4 月 1 日 制定

2024 年 7 月 1 日 改定

株式会社 北信臨床
長野県長野市アークス 1-19
代表取締役社長 三井義文

■ 当社個人情報保護方針に関するお問い合わせ先

個人情報問い合わせ窓口 電話番号 026-223-6311 FAX 番号 026-223-6135

2024 ～ 2025 総合検査案内（北信臨床）

目 次

索引 ご利用の手引き 緊急報告検査値範囲	ご利用の手引き ①～⑪ 緊急報告検査値範囲 ⑫	
生化学的検査	蛋白・膠質反応 1 酵素および関連物質 1 低分子窒素化合物 6 糖質および関連物質 8 有機酸 9 脂質および関連物質 10 ビタミンおよび関連物質 15 電解質・血液ガス 17 生体微量金属 18 生体色素関連物質 18 毒物・産業医学的代謝物質 19 生化学(その他) 20	
薬物検査	抗菌薬 22 抗てんかん薬 23 免疫抑制薬 25 循環器用薬 25 精神神経用薬 27 薬物(その他) 28	
血液学的検査	血液一般・形態検査 30 凝固・線溶関連検査 32	
内分泌学的検査 腫瘍関連検査	視床下部・下垂体ホルモン ... 36 甲状腺ホルモンおよび結合蛋白 ... 37 副甲状腺ホルモン 37 副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白 .. 38 副腎髓質ホルモン 39 性腺・胎盤ホルモンおよび結合蛋白 .. 41 睪・消化管ホルモン 42 内分泌学的(その他) 43 腫瘍関連抗原 45	
ウイルス感染症検査	ウイルス感染症検査 50	
免疫血清的検査	感染症(非ウイルス)関連検査 75 自己免疫関連検査 81 免疫血液学的検査 89 免疫グロブリン 90 補体および関連物質 91 血漿蛋白 92 免疫血清学(その他) 97 サイトカイン 98	
アレルギー検査	アレルギー検査 100	
細胞性免疫検査	細胞性免疫検査 105 細胞表面マーカー 108 DLST薬剤リスト 110 抗原特異的CTL 121	
染色体検査	先天異常の染色体検査 122 白血病や悪性リンパ腫の染色体検査 ... 125 固形腫瘍の染色体検査 129	
遺伝子関連検査	造血器腫瘍遺伝子検査..... 130 免疫関連遺伝子再構成検査 144 悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査 146 遺伝学的検査 158 薬剤応答遺伝子検査 162 移植関連遺伝子検査 163	
一般検査	尿一般検査 165 糞便検査 166	
微生物学的検査	微生物学的検査 167 培養同定検査 180	
病理学的検査 総合解析検査	細胞診検査 183 病理組織検査 186 総合解析検査 201	
リスク検査	リスク検査 202	
検査方法の概略 参考文献一覧	検査方法の概略 ア～エ 参考文献一覧 オ～ナ	
容器の取り扱い方法	容器の取り扱い方法 ①～⑤⑦	

索引 (五十音)

索引

五十音

ア	ページ	診療報酬区分	実施料
亜鉛(Zn)	18	D007 37	132
亜鉛トランスポーター 8(ZnT8)抗体	85		
(抗)アクアポリン4抗体	84	D014 45	1000
悪性リンパ腫ALKタンパク(IHC)	186	N002 06	2700
悪性リンパ腫解析検査 7AAD解析	105	D005 15	1940
悪性リンパ腫解析検査(MLA)CD45ゲーティング	105	D005 15	1940
悪性リンパ腫総合解析検査「ML-NET」	201	※1	6074
(α_1)アシドグリコプロテイン	88		
アスコルビン酸(ビタミンC)	16	D007 60	296
アスピリン→サリチル酸	28	B001 02	特
アスペニン→アプリンジン	25	B001 02	特
アスベルギルス抗原	79	D012 30	157
アスベルギルス抗体IgG	79		390
アセタゾミド	24	B001 02	特
(抗)アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)	85	D014 45	775
アセトアミノフェン	28	D007 47	180
アセトン定量	9		
アディポネクチン[LA]	44		
アデノウイルス(CF)(NT)	55	D012 11 イ	79
アデノウイルスDNA 定性	55		
アデノシンデアミナーゼ(ADA)	2	D007 11	32
アトピー鑑別試験(12種吸入性アレルギー)	100	D015 21	194
アフィニートール→エベロリムス	25	B001 02	特
アプリンジン	25	B001 02	特
アポリポ蛋白A-I、A-II、B、C-II、C-III、E	14	D007 10 イ	31
アポリポ蛋白Eフェノタイプ	14		
アミオダロン	25	B001 02	特
アミカシン	22	B001 02	特
アミカマイシン→アミカシン	22	B001 02	特
アミサリン→プロカインアミド	26	B001 02	特
アミノ酸分析2種類(チロシン・フェニルアラニン)[LC/MS]	7	D010 04 イ	279+279
アミノ酸分析(39種類、9種類)[LC/MS]	7	D010 04 □	1107
アミノ酸分析(41種類)	7	D010 04 □	1107
アミラーゼ(AMY)	3	D007 01	11
アミラーゼアイソザイム	3	D007 14	48
(P型)アミラーゼ定量	3	D007 14	48
(β -)アミロイド1-42/1-40比	97	D004 15	1282
(血清)アミロイドA蛋白(SAA)	93	D015 06	47
アルカリフォスファターゼ(ALP)IFCC	2	D007 01	11
(骨型)アルカリフォスファターゼ(BAP)	2	D008 26	157
アルカリフォスファターゼアイソザイム→ALPアイソザイム(IFCC)	2	D007 14	48
アルドステロン[CLEIA]	43	D008 15	122
アルドステロン[CLEIA]/レニン活性比	43	D008 15+D008 08	122+100
アルドステロン[CLEIA]/レニン濃度比	43	D008 15+D008 11	122+102
アルドラゼ	2	D007 01	11
アルファフェト蛋白定量	45	D009 03・B001 03 □	98・腫2
(尿中)アルブミン	1	D001 09	99
アルブミン・グロブリン比(A/G比)	1		
アルブミン(Alb)	1	D007 01	11
(尿中)アルブミン(クレアチニン換算値)	1	D001 09	99
アルベカシン	22	B001 02	特
アルミニウム(AI)	19	D007 29	109
アレピアチン→フェニトイン	23	B001 02	特
アンカロン→アミオダロン	25	B001 02	特
アンギオテンシン I 転換酵素(ACE)	4	D007 39	136
アンジェルマン症候群→15染色体(アンジェルマン症候群)	123	D006-5 01	2477
アンジェルマン症候群→SNRPB遺伝子解析(メチレーションPCR)ブラダー・ウィリアムズ症候群	159	D006-4 02 エ	5000
(α_1)アンチトリプシン	92	D006 10	80

※ 1: N000・N002 08・D005 15・D006-5 02+D006-5 注

アンチトロンビンⅢ(ATⅢ)	32	D006 09	70
アンチプラスミン(α_2 プラスミンインヒビター)	32	D006 16	128
アンドロゲンレセプター遺伝子CAG反復配列解析(球青腫性筋萎縮症)	161	D006-4 01 イ	3880
アンモニア	6	D007 16	50

イ	ページ	診療報酬区分	実施料
イオン化カルシウム	17	D007 07	26
胃癌HER2遺伝子(FISH)	194	N005 01	2700
胃癌HER2タンパク(IHC)	194	N002 03	690
胃癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	194	N005-3	2700
胃癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	194	N005-3	2700
胃がんリスク層別化検査(ABC分類)[LA]	5		
イーケブラ→レベチラセタム	24	B001 02	特
異性間BMT(骨髄移植)(X,Y染色体)	129	D006-5 01	2477
(尿)一般検査	165	D000	★
一般細菌検査	169		
一般細胞診	183	N004 02	190
イヌリン定量	20	D007 33	120
イノベロンールフィナミド	24	B001 02	特
(抗)胃壁細胞抗体	83		
イマチニブ	28	B001 02	特
インスリン	42	D008 08	100
インスリン抗体	85	D014 06	107
インスリン様成長因子→IGF-1(ソマトメジンC)	36	D008 42	212
インタクトPTH→副甲状腺ホルモン(PTH)-インタクト	37	D008 29	161
(ヒト)インターフェロン γ [EIA]	99		
インターフェロン- λ 3(IFN- λ 3)	98	D015 28	340
インターロイキン	99		
インターロイキン-6(IL-6)	99	D015 17	170
インデラル→プロプラノロール	26		
院内環境(ふきとり法、スタンプ法)	171		
インフルエンザウイルス(CF)[HI]	68	D012 11 ト	79
インプロメナー→プロムペリドール	27	B001 02	特

ウ	ページ	診療報酬区分	実施料
ウイリアムズ症候群→7染色体(ウイリアムズ症候群)	122	D006-5 01	2477
ウイルス同定	182		
ウイルス分離	182		
ウォルフ・ヒルシュホーン症候群→4染色体(ウォルフ・ヒルシュホーン症候群)	122	D006-5 01	2477
ウロビジョン→膀胱癌FISH(ウロビジョン)	183	D006-15	1597
ウロボルフィリン(血中)	18		
ウロボルフィリン(尿中)	18	D001 10	105

エ	ページ	診療報酬区分	実施料
エクセグラナーゾニサミド	24	B001 02	特
エコーウイルス	65、66	D012 11 ホ	79
エステル型コレステロール(Echo)	10		
エストラジオール(E ₂)	41	D008 33	167
エストロゲンレセプター (IHC)	192	N002 01	720
エストロゲンレセプター/プロゲステロンレセプター (IHC)	192	N002 01+N002 02 注1	720+180
エタノール	20	D007 26	105
エチルベンゼン→尿中マンデル酸エチルベンゼン	19		
エトスクシミド	23	B001 02	特
エビレオプチマル→エトスクシミド	23	B001 02	特
エベロリムス	25	B001 02	特
エラスターゼ1	3	D009 08・B001 03 □	120・腫2
(子宮頸管粘液中顆粒球)エラスターゼ	3	D004 08	116
エリスロポエチン	44	D008 41	209
エルタシン→ゲンタマイシン	22	B001 02	特
塩基性フェト蛋白(BFP)	45	D009 17・B001 03 □	150・腫2

特：特定薬剤治療管理料

腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料

★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。

塩酸バンコマイシン→バンコマイシン	22	B001 02	特
エンテロウイルス	63		
エンテロトキシン型別	172		
エンドトキシン定量	77	D012 52	229
(透析液中)エンドトキシン A液、B液、RO水、調整液、その他	77		

オ	ページ	診療報酬区分	実施料
黄体形成ホルモン(LH)	36	D008 12	105
黄体ホルモン→プロゲステロン	41	D008 22	143
オステオカルシン	44	D008 26	157
オートタキシン	95	D007 48	194
オーム病クラミドフィラ(クラミジア シッタシ)	76	D012 11 ネ	79
オリゴクロナルバンド	91	D004 11	522

カ	ページ	診療報酬区分	実施料
ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)	48	D009 24・B001 03 □	175・腫2
家族性アミロイドーシス→TTR遺伝子解析(家族性アミロイドーシス)	159	D006-4 01 ア	3880
家族性地中海熱→MEFV遺伝子解析	161	D006-4 01 オ	3880
活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)	32	D006 07	29
カテコールアミン3分画	39	D008 29	161
カテコールアミン総	39	D008 37	184
カドミウム	20		
ガバペン錠→ガバペンチン	24	B001 02	特
ガバペンチン	24	B001 02	特
カフィール→ジソピラミド	26	B001 02	特
可溶性IL-2レセプター (sIL-2R)	98	D009 36・B001 03 □	438・腫2
可溶性フィブリノモノマー複合体(SFMC)	32	D006 12	93
可溶性メソテリン関連ペプチド	48	D009 30・B001 03 □	220・腫2
(抗)ガラクトース欠損IgG抗体	83	D014 08	111
カリウム(K)	17	D007 01	11
(ニューモシスチス)カリニ(P.jirovecii)DNA	180		
(子宮頸管粘液中)顆粒球エラスターゼ	3	D004 08	116
カルシウム(Ca)	17	D007 01	11
(イオン化)カルシウム	17	D007 07	26
(抗)カルジオリピンIgG抗体	87	D014 30	226
(抗)カルジオリピンIgM抗体	87	D014 30	226
(抗)カルジオリピンβ ₂ グリコプロテインI複合体抗体(抗CL・β ₂ GP I抗体)	87	D014 29	223
カルシトニン	37	D008 18	130
カルニチン分画	15	D007 23+D007 23	95+95
カルバマゼピン	23	B001 02	特
(便中)カルプロテクチン	84	D003 09	268
肝細胞増殖因子(HGF)	44	D007 54	227
カンジダ抗体	79		
カンジダマンナン抗原	79	D012 23	134
感受性検査(一般細菌)	169	D019 01/D019 02/D019 03	185/240/310
(抗)肝腎マイクログローム1抗体→抗LKM-1抗体	88	D014 28	215
間接クームス試験	89	D011 02 □	47
間接ビリルビン	18		
癌胎児性抗原(CEA)	45	D009 03・B001 03 □	99・腫2
(ヒト)癌胎児性フィブロネクチン	94	D015 23	204
寒冷凝集反応	78	D014 01	11

キ	ページ	診療報酬区分	実施料
キシロカイン→リドカイン	26	B001 02	特
キニジン	27	B001 02	特
キメリズム解析移植後[PCR]	164		
キメリズム解析移植前レシビエント、ドナー [PCR]	164		
凝固因子活性検査(第Ⅱ、Ⅴ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ、Ⅹ、Ⅺ、Ⅻ因子)	33	D006 29	223
凝固抑制因子検査(第Ⅶ、Ⅸ因子)	33	D006 19	144

ク	ページ	診療報酬区分	実施料
グアナーゼ	2	D007 12	35
(間接)クームス試験	89	D011 02 □	47
(直接)クームス試験	89	D011 02 イ	34
グラセプター→タクロリムス	25	B001 02	特
クラミジアトラコマティス	75	D012 43	200
クラミジアトラコマティスDNA	75	D023 01	188
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ	76		
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ(オーム病クラミドフィラ)	76	D012 11 ネ	79
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエIgA	76	D012 10	75
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエIgG	76	D012 09	70
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエIgM	76	D012 29	152
クリオグロブリン定性	91	D015 05	42
グリコアルブミン	8	D007 17	55
クリプトコッカス抗体	79		
クリプトコックス・ネオフォルマン抗原	79	D012 35	169
グリバック→イマチニブ	28	B001 02	特
グルカゴン→膵グルカゴン	42	D008 23	150
(HCV群別)グルーピング	52	D013 11	215
クレアチニン	6	D007 01	11
クレアチン	6	D007 01	11
クレアチンフォスフォキナーゼ→CK(CPK)	1	D007 01	11
クレアチンフォスフォキナーゼ-MB→CK-MB(CPK-MB)(CLIA)	1	D007 22	90
クレアチンフォスフォキナーゼ-MB→CK-MB(CPK-MB)(免疫阻止-UV法)	1		
クレアチンフォスフォキナーゼアイソザイム→CK(CPK)アイソザイム	1	D007 17	55
クロナゼパム	23	B001 02	特
クロバザム	23	B001 02	特
クロム	20		
クロール(CI)	17	D007 01	11
クンケル反応(ZTT)	1		

ケ	ページ	診療報酬区分	実施料
(末梢)血液一般検査	30	D005 05	21
血液型(ABO式)	89	D011 01	24
血液型(Rh(D因子)式)	89	D011 01	24
血液型(Rh-Hr式)	89	D011 03	148
血液型不適合妊娠	89		
血液疾患(染色体SKY)	125	D006-5 01	2477
血液像→末梢血液像	30	D005 03	15
結核菌感受性(MIC)	174	D022	400
結核菌群核酸同定(TRC)	175	D023 14	410
結核菌群抗原	174	D012 56	291
結核菌特異的IFN-γ	80	D015 30	593
血小板関連IgG(PAIGG)	88	D011 06	190
(抗)血小板抗体	88	D011 08	261
血小板第4因子(PF-4)	34	D006 25	173
血小板表面マーカー検査CD41、CD42b	107		
血清 HER2タンパク	48	B001 03 □	腫2
血清亜鉛→Zn(亜鉛)	18	D007 37	132
血清アミロイドA蛋白(SAA)	93	D015 06	47
血清抗p53抗体	48	D009 22・B001 03 □	163・腫2
血清対応型タイピング(HLA-A,B)、(HLA-DR)	163		
血清鉄(Fe)	18	D007 01	11
血清銅(Cu)	18	D007 05	23
血清補体価	91	D015 04	38
結石分析(成分比率)	20	D010 02	117
血中11-OHCS	38	D008 02	60
血中ケトン体分画	9	D007 19	59
血中総ホモシステイン	8	D010 04 イ	279

特：特定薬剤治療管理料

腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料

★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。

索引 (五十音)

索引

血糖(グルコース)	8	D007 01	11
嫌気性培養(一般細菌)	169	D018 注1	122
ゲンタシン→ゲンタマイシン	22	B001 02	特
ゲンタマイシン	22	B001 02	特

コ	ページ	診療報酬区分	実施料
コアグラ―ゼ型別	172		
(HCV抗原)コア蛋白質	53	D013 05	102
抗AChR抗体(抗アセチルコリンレセプター抗体)	85	D014 45	775
抗ARS抗体	83	D014 23	190
抗BP180抗体(血清中抗BP180NC16a抗体)	86	D014 36	270
抗CL・β ₂ GP I 抗体(抗カルジオリピンβ ₂ グリコプロテイン I 複合体抗体)	87	D014 29	223
抗DNA抗体(RIA)	81	D014 17	159
抗ds-DNA IgG抗体	81	D014 17	159
抗ds-DNA IgM抗体	81		
抗GAD抗体	85	D008 19	134
抗GBM抗体(抗糸球体基底膜抗体)	86	D014 34	262
抗HLA抗体(スクリーニング検査)	164	D014 48	1000
抗IA-2抗体	85	D008 43	213
抗Jo-1抗体	83	D014 12	140
抗LKM-1抗体	88	D014 28	215
抗MDA5抗体	83	D014 37	270
抗Mi-2抗体	83	D014 37	270
抗P/Q型 電位依存性 カルシウムチャネル抗体(抗P/Q型VGCC抗体)	85	D014 47	1000
抗RNAポリメラーゼⅢ抗体	81	D014 19	170
抗RNP抗体	81	D014 13	144
抗RNP抗体(CLEIA)	81		
抗Scl-70抗体	81	D014 16	157
抗Sm抗体	81	D014 14	147
抗Sm抗体(CLEIA)	81		
抗SS-A/Ro抗体	81	D014 18	161
抗SS-A/Ro抗体(CLEIA)	81		
抗SS-B/La抗体	81	D014 16	157
抗SS-B/Ro抗体(CLEIA)	81		
抗ss-DNA IgG抗体	81	D014 17	159
抗ss-DNA IgM抗体	81		
抗TIF1-γ抗体	83	D014 37	270
抗TPO抗体→抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)(CLEIA)	85	D014 11	138
抗β ₂ グリコプロテイン I IgG抗体	87	D014 30	226
抗β ₂ グリコプロテイン I IgM抗体	87	D014 30	226
抗アкупリン4抗体	88	D014 47	1000
抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)	85	D014 45	775
抗胃壁細胞抗体	83		
抗核抗体(ANA)	81	D014 05	99
抗ガラクトース欠損IgG抗体	83	D014 08	111
抗カルジオリピンIgG抗体	87	D014 30	226
抗カルジオリピンIgM抗体	87	D014 30	226
抗カルジオリピンβ ₂ グリコプロテイン I 複合体抗体(抗CL・β ₂ GP I 抗体)	87	D014 29	223
睾丸決定遺伝子SRY(Y染色体)	123	D006-5 01	2477
抗肝腎マイクロソーム1抗体→抗LKM-1抗体	88	D014 28	215
高感度PNH型血球検査	105		
抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体(抗MuSK抗体)	85	D014 47	1000
抗血小板抗体	88	D011 08	261
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)(CLEIA)	85	D014 11	138
抗好中球抗体	207		
抗好中球細胞質抗体(MPO-ANCA)	88	D014 32	251
抗好中球細胞質抗体(PR3-ANCA)	88	D014 33	252
抗サイログロブリン抗体(CLEIA)	85	D014 10	136
好酸球数	30	D005 04	17
抗酸菌抗体定性→MAC抗体(抗酸菌抗体定性)	80	D012 18	116

抗酸菌同定〔質量分析〕	174	D021	361
抗酸菌 塗抹(集菌蛍光法)	174	D017 01+D017 01 注	50+35
抗酸菌 分離培養(液体法)	174	D020 01	300
抗酸菌 分離培養(小川法)	174	D020 02	209
抗酸菌 薬剤感受性	174	D022	400
抗酸菌感受性(MIC)RGM	174		
抗酸菌感受性(MIC)SGM	174		
抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	86	D014 34	262
抗シトルリン化ペプチド(CCP)抗体	83	D014 24	193
甲状腺癌オンコマインDxTTマルチ2遺伝子CDx	153	D004-2 01(注2イ)	8000
甲状腺癌オンコマインDxTTマルチ2遺伝子CDx(46)	155	D004-2 01(注2イ)	8000
甲状腺刺激抗体(TSAb)	85	D014 40	330
甲状腺刺激ホルモン(TSH)(CLEIA)IFCC	36	D008 06	98
(抗)甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)(CLEIA)	85	D014 11	138
抗ストレプトリジン-O抗体(ASO)	77	D012 01	15
抗精子抗体→精子不動化抗体(SI50)	86		
抗精子抗体(不動化法)→精子不動化抗体	86		
高精度分染法→染色体(先天異常)	122	D006-5 03+D006-5 注1	2477+397
抗セントロメア抗体	81	D014 20	174
酵素抗体染色	186	N002 08	400
抗体同定・抗体価測定(不規則性抗体)	89	D011 04	159
(末梢血)好中球BCR-ABL1 t(9;22)転座	127	D006-5 01	2477
(抗)好中球細胞質抗体(MPO-ANCA)	88	D014 32	251
(抗)好中球細胞質抗体(PR3-ANCA)	88	D014 33	252
抗デスモグレイン1抗体	86	D014 39	300
抗デスモグレイン3抗体	86	D014 36	270
抗トポイソメラーゼ I 抗体→抗Scl-70抗体	81	D014 16	157
抗内因子抗体	83		
抗表皮成分自己抗体(直接法)	88	N002 08+N002 08 注2	400+1200
抗平滑筋抗体	83		
抗ヘリコバクターピロリ抗体(LA)	77	D012 12	80
抗ミトコンドリアM2抗体	83	D014 22	189
抗ミトコンドリア抗体	83	D014 21	181
抗ミュー管ホルモン(AMH)(CLEIA)	41	D008 52	597
抗利尿ホルモン(AVP)	36	D008 47	224
(抗リン脂質抗体)→抗カルジオリピンIgG抗体	87	D014 30	226
(抗リン脂質抗体)→抗カルジオリピンIgM抗体	87	D014 30	226
(抗リン脂質抗体)→抗カルジオリピンβ ₂ グリコプロテイン I 複合体抗体	87	D014 29	223
コクサッキーウイルス(CF)(NT)	63、64	D012 11 □	79
極長鎖脂肪酸	12	D010 08 □	1141
コクリントモブプロテイン(CTP)	97	D007 64	460
骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)	2	D008 26	157
骨型酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ(TRACP-5b)	3	D008 25・8001 03 □	156・腫2
コプロボルフィリン(血中)	18	D007 52	210
コプロボルフィリン定性	18		
コプロボルフィリン(尿中)	18	D001 14	131
コリンエステラーゼ(ChE)	2	D007 01	11
コルチゾール	38	D008 14	121
(尿中)コルチゾール	38	D008 14	121
(遊離)コレステロール(F-Cho)	10	D007 01	11
(総)コレステロール(T-Cho)	10	D007 03	17
コレステロールエステル比	10		
コレステロール分画	13	D007 18	57

サ	ページ	診療報酬区分	実施料
サイクリックAMP	44	D008 32	165
サイトケラチン18フラグメント(CK-18F)	95	D007 50	194
サイトケラチン19フラグメント(シフラ)(CYFRA)	47	D009 18・8001 03 □	154・腫2
サイトメガロウイルス	59	D012 11 ハ	79
サイトメガロウイルスDNA 定性	59		

特：特定薬剤治療管理料
 腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料
 ★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。

サイトメガロウイルス(IgM)(IgG)	59	D012 44 ハ	200
サイトメガロウイルスpp65抗原(C7-HRP)	59	D012 57	356
サイトメガロウイルス核酸検出(新生児尿)	59	D023 20	801
サイトメガロウイルス核酸定量	59	D023 17	450
サイトメガロウイルス特異的CTL解析(HLA-A*0201)、(HLA-A*2402)	121		
(一般)細胞診検査	183	N004 02	190
細胞診[喀痰集細胞法](ABC)(Class)	183	N004 02	190
細胞診(尿LBC)	183	N004 02	190
細胞診(婦人科LBCベセスダシステム)(婦人科LBC)	183	N004 01+N004 01 注1	150+45
細胞診(婦人科ベセスダシステム)(婦人科)	183	N004 01	150
(遊離)サイロキシン(Free T ₄)	37	D008 14	121
サイロキシン(T ₄)[CLEIA]	37	D008 11	105
サイロキシン結合グロブリン(TBG)	37	D008 18	130
サイログロブリン[CLEIA]	37	D008 16	128
(抗)サイログロブリン抗体[CLEIA]	82	D014 10	136
サーティカン→エペロリムス	25	B001 02	特
(肺)サーファクタントプロテインA(SP-A)	14	D007 35	130
(肺)サーファクタントプロテインD(SP-D)	14	D007 39	136
サリチル酸	28	B001 02	特
ザロンチン→エトスクシミド	23	B001 02	特
酸化LDL(MDA-LDL)	12	D007 50	194
サンディミュン→シクロスポリン	25	B001 02	特
サンリズム→ビルシカイニド	26	B001 02	特
シ	ページ	診療報酬区分	実施料
ジアゼパム	23	B001 02	特
ジアパックス→ジアゼパム	23	B001 02	特
シアリルLe ^x -i抗原(SLX)	46	D009 13・B001 03 □	140・腫2
シアリルLe ^x 抗原(CSLEX)	46	D009 19・B001 03 □	156・腫2
シアリルTn抗原(STN)	46	D009 16・B001 03 □	146・腫2
シアル化糖鎖抗原KL-6→KL-6	96	D007 28	108
シアル酸	8		
子宮頸癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	194	N005-3	2700
子宮頸管粘液中顆粒球エラストラーゼ	3	D004 08	116
(抗)糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	86	D014 34	262
シクロスポリン	25	B001 02	特
ジゴキシン	25	B001 02	特
ジゴシン→ジゴキシン	25	B001 02	特
シスタチン C	6	D007 30	112
ジストロフィン遺伝子解析(デュシェンヌ型ジストロフィー・ベッカー型ジストロフィー)	160	D006-4 01 ア	3880
ジソピラミド	26	B001 02	特
ジフェニルヒダントイン→フェニトイン	23	B001 02	特
シフラ(CYFRA)(サイトケラチン19フラグメント)	47	D009 18・B001 03 □	154・腫2
シベノール→シベンゾリン	26	B001 02	特
シベンゾリン	26	B001 02	特
脂肪酸分画(24成分)	12	D010 07	393
脂肪酸分画(4成分)	12	D010 07	393
(尿中)シュウ酸	9	D001 18	200
絨毛性ゴナドトロピン(HCG)	41	D008 18	130
絨毛性ゴナドトロピンβサブユニット(HCG-β)	41	D008 19	132
手術材料	186		
食道癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	194	N005-3	2700
食道癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	194		
女性 AIRS・AICS	202		
心筋トロポニンT	93	D007 29	109
(特異的IgE)シングルアレルゲン	100	D015 13	各110
神経特異エノラーゼ(NSE)	48	D009 14・B001 03 □	142・腫2
心室筋ミオシン軽鎖 I	93	D007 48	184
(ヒト)心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)	93	D007 36	131
身長関連遺伝子SHOX(X,Y染色体)	123	D006-5 01	2477

浸透圧(血清)	17	D005 03	15
浸透圧(部分尿)	17	D001 03	16
(ヒト)心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)	44	D008 46	221
ス	ページ	診療報酬区分	実施料
膵PLA ₂ (膵ホスホリパーゼA ₂)	3	D007 51	204
膵アミラーゼ→P型アミラーゼ定量	3	D007 14	48
膵グルカゴン	42	D008 23	150
水痘・帯状疱疹ウイルス	58	D012 11 ナ	79
水痘・帯状疱疹ウイルスDNA 定性	58		
水痘・帯状疱疹ウイルスDNA定量	58	D023 17	450
水痘・帯状疱疹ウイルス(IgM)(IgG)	58	D012 44 チ	200
水痘・帯状疱疹ウイルス抗原	58	D012 51	227
膵ホスホリパーゼA ₂ (膵PLA ₂)	3	D007 51	204
スチリベントール	24	B001 02	特
(尿中)スチレン代謝物	19		
(抗)ストレプトリジン-O抗体(ASO)	77	D012 01	15
ストロマイシン1→MMP-3(マトリックスメタロプロテイナーゼ-3)	4	D014 09	116
セ	ページ	診療報酬区分	実施料
精子不動化抗体	86		
精子不動化抗体(SI50)	86		
脆弱X染色体(脆弱X症候群)	122	D006-5 02+D006-5 注	2477+397
成人T細胞白血病ウイルス抗体(ATLV抗体)[CLEIA]	71	D012 31	159
成長ホルモン(GH)	36	D008 12	105
脊髄小脳変性症 遺伝子解析	160	D006-4 03 オ	8000
赤痢アメーバDNA 定性	180		
赤血球表面マーカー検査CD55、CD59	105		
セルシン→ジアゼパム	23	B001 02	特
セルセプト→ミコフェノール酸	25	B001 02	特
セルロプラスミン	92	D015 09	90
セレニカR→バルプロ酸	24	B001 02	特
セレネース→ハロペリドール	27	B001 02	特
セロトニン	40		
染色体 G-Banding	125	D006-5 03+D006-5 注1	2477+397
染色体SKY(血液疾患)	125	D006-5 01	2477
染色体SKY(先天異常)	122	D006-5 01	2477
染色体構造変異解析→マイクロアレイ染色体検査(染色体構造変異解析)	124	D006-26	8000
染色標本作製	186		
先天異常(染色体SKY)	122	D006-5 01	2477
先天性QT延長症候群遺伝子解析	161	D006-4 03 ア	8000
先天性網膜芽細胞腫RB1→13染色体(先天性網膜芽細胞腫RB1)	122	D006-5 01	2477
(抗)セントロメア抗体	81	D014 20	174
前立腺特異抗原(PSA)	47	D009 09・B001 03 □	121・腫2
前立腺特異抗原(PSA)F/T比	47	D009 17・B001 03 □	150・腫2
ソ	ページ	診療報酬区分	実施料
総コレステロール(T-Chol)	10	D007 03	17
(尿中)総三塩化物	19		
総胆汁酸	13	D007 13	47
総蛋白(TP)(血清)	1	D007 01	11
総蛋白(TP)(髄液)	1	D007 01	11
総蛋白(TP)(尿)	1、165	D001 01	7
総鉄結合能(TIBC)	18	D007 01	11
総ビリルビン(T-Bil)	18	D007 01	11
総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(BTR)	7	D010 05	283
(血中)総ホモシステイン	8	D010 04 イ	279
組織適合抗原→HLA	163		
ソトス症候群→5染色体(ソトス症候群)	122	D006-5 01	2477
ソニサミド	24	B001 02	特

索引 (五十音)

索引

ソマトメジンC(IGF-1) 36 D008 42 212

タ	ページ	診療報酬区分	実施料
第Ⅱ、Ⅴ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ、Ⅹ、Ⅺ、Ⅻ因子(凝固因子活性検査)	33	D006 29	223
第Ⅶ、Ⅸ因子(凝固抑制因子検査)	33	D006 19	144
ダイアモックス→アセタゾミド	24	B001 02	特
大腸菌ペロトキシン	171	D023-2 03	184
胎盤型アルカリフォスファターゼ(PLAP)	2		
タウ蛋白	97	D004 13	622
タクロリムス	25	B001 02	特
タゴシッド→テイコブラニン	22	B001 02	特
多発性骨髄腫解析検査 CD38マルチ解析	105	D005 15	1940
多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー (8color)	105	D005 15	1940
(総)胆汁酸	13	D007 13	47
単純ヘルペスウイルス	56	D012 11 へ	79
単純ヘルペスウイルス(1型)(2型)	57	D012 11 へ	79
単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG	57	D012 44 イ	200
単純ヘルペスウイルスDNA 定性	57		
単純ヘルペスウイルスDNA定量	57	D023 17	450
単純ヘルペスウイルス(IgM)(IgG)	56	D012 44 イ	200
単純ヘルペスウイルス特異抗原	56	D012 39	180
男性 AIRS・AICS	202		
(総)蛋白(TP)(血清)	1	D007 01	11
(総)蛋白(TP)(髄液)	1	D007 01	11
(総)蛋白(TP)(尿)	1、165	D001 01	7
蛋白分画	1	D007 04	18
タンボコール→フレカイニド	27	B001 02	特

チ	ページ	診療報酬区分	実施料
腔トリコモナスおよびマイコプラズマジェニタリウム同時核酸検出	181	D023 12	350
中性脂肪(TG)	10	D007 01	11
直接クームス試験	89	D011 02 イ	34
直接ビリルビン	18	D007 01	11

ツ	ページ	診療報酬区分	実施料
ツツガムシカーブ、カトー、ギリアム(IgG)(IgM)	79	D012 43	207

テ	ページ	診療報酬区分	実施料
ディアコミット→スチリベントール	24	B001 02	特
低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)	44	D008 24	154
テイコブラニン	22	B001 02	特
デオキシビリジノリン	96 D008 39・B001 03 □	191・腫2	
デオキシビリジノリン(DPD)(骨粗鬆症)	96	D008 39	191
テオドール→テオフィリン	28	B001 02	特
テオフィリン	28	B001 02	特
テオロン→テオフィリン	28	B001 02	特
テグレート→カルバマゼピン	23	B001 02	特
テストステロン	41	D008 13	119
(抗)デスモグレイン1抗体	86	D014 39	300
(抗)デスモグレイン3抗体	86	D014 36	270
鉄(Fe)	18	D007 01	11
(総)鉄結合能(TIBC)	18	D007 01	11
(不飽和)鉄結合能(UIBC)	18	D007 01	11
デバケン→バルプロ酸	24	B001 02	特
デヒドロエピアンドロステロンサルフェート(DHEA-S)	38	D008 31	164
テレスミン→カルバマゼピン	23	B001 02	特
デングウイルスNS1抗原	72	D012 53	233

ト	ページ	診療報酬区分	実施料
銅(Cu)	18	D007 05	23

頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	199	N005-3	2700
頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	199	N005-3	2700
透析液中エンドトキシンA液、B液、RO水、調整液、その他	74		
糖代謝解析	8		
トキシプラズマIgG抗体	80	D012 14	93
トキシプラズマIgM抗体	80	D012 15	95
特異的IgE(12種吸入性アレルギー)→アトピー鑑別試験(12種吸入性アレルギー)	100	D015 21	194
特異的IgE(C-PAC16アレルギー)、小児用、アトピー性皮膚炎用、鼻炎・喘息用	100	D015 13	1430
特異的IgE(MAST36アレルギー)	100	D015 13	1430
特異的IgE(C-PAC5アレルギー)小児除去食用	100	D015 13	550
特異的IgE(MAST48mix)	100	D015 13	1430
特異的IgE(View アレルギー 39)	100	D015 13	1430
特異的IgE(マルチアレルギー)	100	D015 13	各110
特異的IgE(シングルアレルギー)	100	D015 13	各110
特異的IgE(Ara h 2)(ピーナッツ由来)	100	D015 13	110
トータルPAI-1(tPA・PAI-1複合体)	32	D006 32	240
ドーバミン総	39		
トビナートビラマート	24	B001 02	特
トビラマート	24	B001 02	特
トブラシントブラマイシン	22	B001 02	特
トブラマイシン	22	B001 02	特
(抗)トボイソメラゼ I 抗体→抗Scl-70抗体	78	D014 16	157
塗抹鏡検(一般細菌)	169	D017 03	67
トランスサイレチン→ブレアルブミン	92	D015 12	101
トランスフェリン	93	D015 07	60
(尿中)トランスフェリン	93	D001 08	98
(尿中)トランスフェリン(クレアチニン換算値)	93	D001 08	98
トリグリセライド→中性脂肪(TG)	10	D007 01	11
(尿中)トリクロル酢酸	19		
トリコスボロン・アサヒ抗体	80	D012 64	822
鳥特異的IgG抗体	80	D012 65	873
トリプシン	3	D007 49	189
トリメタジオン	24	B001 02	特
(遊離)トリヨードサイロニン(Free T ₃)	37	D008 14	121
トリヨードサイロニン(T ₃)[CLEIA]	37	D008 07	99
(心筋)トロポニンT	93	D007 29	109
トロロンビン・アンチトロロンビンⅢ複合体(TAT)	32	D006 24	171
トロノモジュリン	35	D006 27	204

ナ	ページ	診療報酬区分	実施料
ナイアシン(ニコチン酸)	16		
ナチュラルキラー細胞活性→NK細胞活性	107		
ナトリウム(Na)	17	D007 01	11
ナバーアセトアミノフェン	28	D007 47	180
鉛(Pb)	20		

ニ	ページ	診療報酬区分	実施料
ニコチン酸(ナイアシン)	16		
ニトラゼパム	23	B001 02	特
日本脳炎ウイルス	67	D012 11 ツ	79
乳癌HER2/neuタンパク(染色法)	192	N002 03	690
乳癌HER2遺伝子(FISH)	192	N005 01	2700
乳癌HER2タンパク(IHC)4B5	192	N002 03	690
乳癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	192	N005-3	2700
乳癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142	192	N005-3	2700
乳酸	9	D007 13	47
乳酸脱水素酵素→LD(LDH)IFCC	2	D007 01	11
乳酸脱水素酵素アイソザイム→LD(LDH)アイソザイム	2	D007 14	48
ニューモシスチスカリニ(P.jirovecii)DNA	180		
尿一般検査	165	D000	★

特：特定薬剤治療管理料
腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料
★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。

尿酸(UA)	6	D007 01	11
尿素窒素(UN)	6	D007 01	11
尿中2,5-ヘキサンジオン	19		
尿中Ⅳ型コラーゲン	95	D001 15	184
尿中N-メチルホルムアミド	19		
尿中NGAL	94	D001 19	210
尿中アセトン定量	9		
尿中アルブミン	1	D001 09	99
尿中アルブミン(クレアチニン換算値)	1	D001 09	99
尿中コルチゾール	38	D008 14	121
尿中シュウ酸	9	D001 18	200
尿中スチレン代謝物	19		
尿中細菌数定量	169	D018 06	60
尿中総三塩化物	19		
尿中蛋白分画	1	D007 04	18
尿中トランスフェリン	93	D001 08	98
尿中トランスフェリン(クレアチニン換算値)	93	D001 08	98
尿中トリクロロ酢酸	19		
尿中馬尿酸	19		
尿中マンデル酸エチルベンゼン	19		
尿中ミオグロビン(CLEIA)	93	D007 36	131
尿中メチル馬尿酸	19		
尿中免疫電気泳動(尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定)	91	D015 22	201
尿沈渣	165		★
尿糖定量	165	D001 02	9

ネ	ページ	診療報酬区分	実施料
ネオプテリン	20		
ネオペリドール→ハロペリドール	27	B001 02	特
ネオラール→シクロソリリン	25	B001 02	特
ネルボン→ニトラゼバム	23	B001 02	特

ノ	ページ	診療報酬区分	実施料
(ヒト)脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)	44	D008 18	130
ノルベース→ジソピラミド	26	B001 02	特
ノロウイルスRNA定性	72		
ノロウイルス抗原	72		

ハ	ページ	診療報酬区分	実施料
肺癌ALKタンパク(IHC)D5F3	197	N002 06	2700
肺癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	197	N005-3	2700
肺癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	197	N005-3	2700
肺癌PD-L1タンパク(IHC)SP142	197	N005-3	2700
肺癌PD-L1タンパク(IHC)SP263	197	N005-3	2700
肺癌オンコマインDxTTマルチ7遺伝子CDx	152	D004-2 01(注10)+D004-2 01(注20)	18000
肺癌オンコマインDxTTマルチ7遺伝子CDx(46)	154	D004-2 01(注10)+D004-2 01(注20)	18000
肺サーファクタントプロテインA(SP-A)	14	D007 35	130
肺サーファクタントプロテインD(SP-D)	14	D007 39	136
ハイセレニン→バルプロ酸	24	B001 02	特
梅毒定性RPR(LA)	78	D012 01	15
梅毒定性TP抗体(CLEIA)	78	D012 04	32
梅毒定量TP抗体(LA)	78	D012 06	53
梅毒定量RPR(LA)	78	D012 05	34
ハイドロキシプロリン-総	8	D010 04 イ	279
培養同定(血液、穿刺液)	169	D018 03	225
培養同定(口腔、気道、呼吸器)	169	D018 01	180
培養同定(消化管)	169	D018 02	200
培養同定(その他)	169	D018 05	180
培養同定(泌尿器、生殖器)	169	D018 04	190
破傷風抗体	207		

白血病・リンパ腫解析検査(LLA)CD45ゲーティング	105	D005 15	1940
白血病キメラスクリーニング(定量)	133	D006-2	2100
(尿中)馬尿酸	19		
バニリルマンデル酸→VMA	40	D008 04	90
バファリン→サリチル酸	28	B001 02	特
ハプトグロビン	92	D015 14	129
ハベカシン→アルベカシン	22	B001 02	特
バラインフルエンザウイルス 1型	68	D012 11 ヌ	79
バラインフルエンザウイルス 2型	68	D012 11 ル	79
バラインフルエンザウイルス 3型	68	D012 11 ラ	79
パラサイロイドホルモン→PTH	37	D008 29	161
バルプロ酸	24	B001 02	特
(ヒト)バルボウイルスB19DNA 定性	53		
(ヒト)バルボウイルスB19 IgG	53		
(ヒト)バルボウイルスB19 IgM	53	D012 44 ト	200
バレリン→バルプロ酸	24	B001 02	特
ハロステン→ハロペリドール	27	B001 02	特
ハロペリドール	27	B001 02	特
ハロマンズ→ハロペリドール	27	B001 02	特
バンコマイシン	22	B001 02	特

ヒ	ページ	診療報酬区分	実施料
ヒアルロン酸(胸水)	8		
ヒアルロン酸(血清)	8	D007 46	179
ビクリン→アミカシン	22	B001 02	特
鼻汁中好酸球	31	D005 03	15
ビタミンA	15		
ビタミンB ₁	15	D007 56	239
ビタミンB ₂	15	D007 55	235
ビタミンB ₆	15		
ビタミンB ₁₂	15	D007 39	136
ビタミンC(アスコルビン酸)	16	D007 60	296
ビタミンE	16		
ビタミンE分画	16		
ビタミンK分画	16		
ヒダントール→フェニトイン	23	B001 02	特
ヒトインターフェロンγ(EIA)	99		
ヒト癌胎児性フィブロネクチン	94	D015 23	204
ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)	41	D008 18	130
ヒト絨毛性ゴナドトロピンβサブユニット(HCG-β)	41	D008 19	132
ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)	93	D007 36	131
ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)	44	D008 46	221
ヒト精巢上体タンパク4(HE4)	45	D009 29・B001 03 □	200・腫2
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)	44	D008 18	130
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	44	D008 20	136
ヒトパピローマウイルスDNA(16型、18型、その他ハイリスクグループ)	54	D023 11	347
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)	54	D023 10	347
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)(LBC)	54	D023 10	347
ヒトパピローマウイルスDNA(ローリスクグループ)	54		
ヒトパピローマウイルス(HPV)ジェノタイプ判定	54	D023 25	2000
ヒトバルボウイルスB19DNA 定性	53		
ヒトバルボウイルスB19 IgG	53		
ヒトバルボウイルスB19 IgM	53	D012 44 ト	200
ヒトヘルペスウイルス6型DNA 定性	62		
ヒトヘルペスウイルス6型DNA定量	62		
ヒトヘルペスウイルス7型DNA 定性	62		
ヒムパット→ラコサミド	24	B001 02	特
ヒメノール→ビルメノール	27	B001 02	特
百日咳菌DNA	180	D023 12	360
百日咳抗体(EIA)	77	D012 54	257

索引 (五十音)

索引

百日咳抗体 IgA	77	D012 12	80
百日咳抗体 IgM	77	D012 12	80
(抗)表皮成分自己抗体〔直接法〕	84	N002 08+N002 08 注2	400+1200
病理組織検査(一般病理)	186	N000	860
病理組織検査(肝生検)	186	N000	860
病理組織検査(骨髄生検)	186	N000	860
病理組織検査(腎生検)	186	N000	860
病理標本作製(一般材料)	186	N000	860
病理標本作製(手術材料)	186	N000	860
ビリナジン→アセトアミノフェン	28	D007 47	180
(総)ビリルビン	18	D007 01	11
ビリルビン(間接)	18		
ビリルビン(直接)	18	D007 01	11
ビルシカイニド	26	B001 02	特
ビルビン酸	9	D007 13	47
ビルメノール	27	B001 02	特

フ	ページ	診療報酬区分	実施料
フィコンパ→ベランパネル	24	B001 02	特
バイフェンド→ポリコナゾール	22	B001 02	特
フィブリノーゲン(FIB)	32	D006 04	23
(可溶性)フィブリンモノマー複合体(SFMC)	32	D006 11	93
フィブリンモノマー複合体定量	32	D006 28	215
フィラデルフィア染色体→BCR-ABL1 t(9;22)転座	127	D006-5 01	2477
フィラデルフィア染色体→末梢血好中球 BCR-ABL1 t(9;22)転座	127	D006-5 01	2477
風疹ウイルス	67	D012 11 レ	79
風疹ウイルス(IgM)(IgG)	67	D012 42 □	200
フェニトイン	23	B001 02	特
フェノバル→フェノバルビタール	23	B001 02	特
フェノバルビタール	23	B001 02	特
フェリチン	94	D007 25	102
フォン・ウィルブラント因子活性(リストセチンコファクター)	33	D006 14	126
フォン・ウィルブラント因子抗原定量	33	D006 20	147
フォン・ウィルブラント因子マルチマー解析	33		
不規則性抗体(抗体同定・抗体価測定)	89	D011 04	159
副甲状腺ホルモン(PTH)-インタクト	37	D008 29	161
副甲状腺ホルモン(Whole PTH)	37	D008 29	161
副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)	37	D008 38	186
副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	36	D008 37	184
フクチン遺伝子DNA挿入(福山型先天性筋ジストロフィー)	160	D006-4 02 ア	5000
不飽和鉄結合能(UIBC)	18	D007 01	11
プラスミノゲン	32	D006 12	100
ブラダーウィリ症候群→15染色体(ブラダーウィリ症候群)	123	D006-5 01	2477
ブラダー・ウィリ症候群→SNRPN遺伝子解析(メチレーションPCR)ブラダー・ウィリ症候群 アンジェルマン症候群	159	D006-4 02 エ	5000
フリー T ₃ →遊離トリヨードサイロニン(Free T ₃)	37	D008 14	121
フリー T ₄ →遊離サイロキシニン(Free T ₄)	37	D008 14	121
フリーテストステロン〔RIA〕	41	D008 27	159
フリーライトチェーン-免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比(フリーライトチェーン)	91	D015 29	388
ブリミドン	24	B001 02	特
ブリムロン→ブリミドン	24	B001 02	特
ブレアルブミン	92	D015 12	101
フレカイニド	27	B001 02	特
プレグナジオール	41	D008 43	213
プレグナントリオール	41	D008 48	232
プレセブシン	96	D007 61	301
プロGRP→ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)	48	D009 24・B001 03 □	175・腫2
プロウイルス→HTLV-I (ATLV)DNA(クロナリティ)	71		
フローサイトクロスマッチ(リンパ球交差試験)	164		
プロカインアミド	26	B001 02	特
プロカルシトニン	96	D007 59	276

プログラファータクロリムス	25	B001 02	特
プロゲステロン	41	D008 22	143
プロゲステロンレセプター (IHC)	192	N002 02	690
プロコラーゲンⅢペプチド(P-Ⅲ-P)(CLIA)	95	D007 39	136
プロスタグランジンE主要代謝物(PGE-MUM)	84	D001 17	187
ブロック作製	186		
プロテインC活性	35	D006 31	227
プロテインC(抗原量)	35	D006 30	226
プロテインS活性	35	D006 23	163
プロテインS(抗原量)	35	D006 22	154
プロテインS(遊離型抗原量)	35	D006 22	154
プロトボルフィリン	18	D007 58	272
プロトロンビン時間(PT)	32	D006 02	18
プロトロンビンフラグメントF1+2	32	D006 26	192
プロノン→プロバフェノン	26	B001 02	特
プロバフェノン	26	B001 02	特
プロプラノロール	26		
プロムベリドール	27	B001 02	特
ブラクチン	36	D008 06	98

ヘ	ページ	診療報酬区分	実施料
(抗)平滑筋抗体	83		
(尿中2,5)ヘキサンジオン	19		
ヘパリン	28	D007 28	108
ペプシノーゲン	4		
ヘプリコール→ヘプリジル	25	B001 02	特
ヘプリジル	25	B001 02	特
ヘモグロビンA1c(HbA1c)(NGSP)	8	D005 09	49
ベランパネル	24	B001 02	特
ヘリコバクター感受性検査	171	D019 01	185
ヘリコバクター培養同定	171	D018 02	200
(便中)ヘリコバクターピロリ抗原	77	D012 24	142
(抗)ヘリコバクターピロリ抗体(LA)	77	D012 12	80
ヘリコバクターピロリ判定	186		
(単純)ヘルペスウイルス	56	D012 11 ヘ	79
(単純)ヘルペスウイルス(1型)(2型)	57	D012 11 ヘ	79
(単純)ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG	57	D012 44 イ	200
(ヒト)ヘルペスウイルス6型DNA 定性	62		
(ヒト)ヘルペスウイルス6型DNA定量	62		
(ヒト)ヘルペスウイルス7型DNA 定性	62		
(単純)ヘルペスウイルスDNA 定性	57		
(単純)ヘルペスウイルスDNA定量	57	D023 17	450
(単純)ヘルペスウイルス(IgM)(IgG)	56	D012 44 イ	200
(単純)ヘルペスウイルス特異抗原	56	D012 39	180
便検診	173		
ベンザリン→ニトラゼバム	23	B001 02	特
ベンスジョーンス蛋白の同定(尿中免疫電気泳動)	91	D015 22	201
便中カルプロテクチン	84	D003 09	268
便中ヘモグロビン及びトランスフェリン	166	D003 08	56
便中ヘモグロビン定性	166	D003 05	37
便中ヘリコバクターピロリ抗原	77	D012 25	142
ベントラキシン3(PTX3)	93		
扁平上皮癌関連抗原→SCC	45	D009 04・B001 03 □	101・腫2

ホ	ページ	診療報酬区分	実施料
膀胱癌FISH(ウロビジョン)	183	D006-15	1597
(隣)ホスホリパーゼA ₂ (隣PLA ₂)	3	D007 51	204
補体因子(C3)	91	D015 08	70
補体因子(C4)	91	D015 08	70
(血清)補体価	91	D015 04	38

特：特定薬剤治療管理料
腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料
★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。

(血中)(総)ホモシステイン	8	D010 04 イ	279
ホモバニリン酸→HVA	40	D008 03	69
ポリコナゾール	22	B001 02	特
ホリゾン→ジアゼパム	23	B001 02	特
ホールPTH→副甲状腺ホルモン(Whole PTH)	37	D008 29	161

マ	ページ	診療報酬区分	実施料
マイクロアレイ染色体検査(染色体構造変異解析)	124	D006-26	8000
マイクロサテライト不安定性(MSI)検査	151	D004-2 01 イ-1	2500
マイコプラズマニューモニエ	78	D012 04	32
マイコプラズマニューモニエDNA	180	D023 06	291
マイスタン→クロバザム	23	B001 02	特
マイ ナイチンゲール(My Nightingale)	204		
マグネシウム(Mg)	17	D007 01	11
(α_2)マクログロブリン	92	D006 17	138
麻疹ウイルス	69	D012 11 ソ	79
麻疹ウイルス(IgM)(IgG)	69	D012 44 ホ	200
末梢血液一般検査	30	D005 05	21
末梢血液像	30	D005 03	15
末梢血好中球BCR-ABL1 t(9;22)転座	127	D006-5 01	2477
マンガ	20	D007 08	27

(尿中)マンデル酸エチルベンゼン	19		

ミ	ページ	診療報酬区分	実施料
ミオグロビン	93	D007 36	131
(尿中)ミオグロビン〔CLEIA〕	93	D007 36	131
(心室筋)ミオシン軽鎖 I	93	D007 48	184
ミコフェノール酸	25	B001 02	特
末染標本作製	186		
(特異的IgE)ミックスアレルゲン	100	D015 13	各110
(抗)ミトコンドリアM2抗体	83	D014 21	189
(抗)ミトコンドリア抗体	83	D014 20	181
ミノアレ→トリメタジオン	24	B001 02	特
(抗)ミューラー管ホルモン(AMH)〔CLEIA〕	42	D008 52	597
ミラーディカー症候群→17染色体(ミラーディカー症候群)	123	D006-5 01	2477

ム	ページ	診療報酬区分	実施料
無機リン(P)	17	D007 03	17
ムンプスウイルス	70	D012 11 リ	79
ムンプスウイルス(IgM)(IgG)	70	D012 44 へ	200

メ	ページ	診療報酬区分	実施料
メキシチール→メキシレチン	26	B001 02	特
メキシレチン	26	B001 02	特
メソトレキセート→メトトレキサート	28	B001 02	特
メタネフリン・ノルメタネフリン分画	39	D008 45	220
(尿中)メチル馬尿酸	19		
メトトレキサート	28	B001 02	特
メラノーマ PD-L1タンパク(IHC)28-8	199	N005-3	2700
免疫グロブリンH鎖C _H 再構成	145	D006-6	2373
免疫グロブリンH鎖J _H 再構成	145	D006-6	2373
免疫グロブリンL鎖C _L 再構成	145	D006-6	2373
免疫グロブリンL鎖C _L 再構成	145	D006-6	2373
免疫グロブリンL鎖J _L 再構成	145	D006-6	2373
免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比(フリーライトチェーン)	91	D015 29	388
免疫電気泳動〔抗ヒト全血清による同定〕	91	D015 17	170
免疫電気泳動〔特異抗血清による同定〕	91	D015 24	218
免疫電気泳動〔特異抗血清による同定〕(DIRA)	91	D015 24	218
免疫電気泳動〔尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定〕	91	D015 22	201
免疫複合体(モノクローナルRF)	88	D014 25	194

モ	ページ	診療報酬区分	実施料
網赤血球数(RET)	30	D005 02	12
モノクローナルRF(免疫複合体)	88	D014 25	194
モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーの自動解析	107		

ヤ	ページ	診療報酬区分	実施料
薬剤によるリンパ球刺激試験(DLST)	106		
薬物代謝酵素チトクロームP450 CYP2C19遺伝子多型解析	162		

ユ	ページ	診療報酬区分	実施料
有機酸スクリーニング検査	9	D010 08	1141
遊離HCG-β(HCG-βサブユニット)	42	D008 19	132
遊離コレステロール(F-Cho)	10	D007 01	11
遊離サイロキシシン(Free T ₄)	37	D008 14	121
遊離脂肪酸(NEFA)	10	D007 19	59
遊離トリヨードサイロニン(Free T ₃)	37	D008 14	121
ユニフィル→テオフィリン	28	B001 02	特

ヨ	ページ	診療報酬区分	実施料
葉酸	16	D007 41	146
(Con-Aによるリンパ球)幼若化検査	106	D016 07	345
(PHAによるリンパ球)幼若化検査	106	D016 07	345

ラ	ページ	診療報酬区分	実施料
ラコサミド	24	B001 02	特
ラミクタール→ラモトリギン	24	B001 02	特
ラモトリギン	24	B001 02	特
ランドセン→クロナゼパム	23	B001 02	特
卵胞刺激ホルモン(FSH)	36	D008 13	105

リ	ページ	診療報酬区分	実施料
リーマス→リチウム	27	B001 02	特
(IgG型)リウマチ因子	83	D014 26	198
リウマチ因子(RF)定量	83	D014 02	30
リストセチンコファクター(フォン・ウィルブランド因子活性)	33	D006 16	126
リスモダン→ジシプラミド	26	B001 02	特
リスラミドR→ジシプラミド	26	B001 02	特
リゾチーム	4		
リチウム	27	B001 02	特
リチオマル→リチウム	27	B001 02	特
リドカイン	26	B001 02	特
リパーゼ	3	D007 06	24
リボ蛋白分画〔アガロースゲル電気泳動法〕	13	D007 15	49
リボ蛋白リパーゼ(LPL)	14	D007 53	219
リボトリール→クロナゼパム	23	B001 02	特
リボプロテイン(a)	14	D007 27	107
硫酸キニン→キニン	27	B001 02	特
(無機)リン(P)	17	D007 03	17
淋菌DNA	181	D023 02	198
淋菌およびクラミジアトラコマチスDNA同時同定	181	D023 05	262
リン酸化タウ	97	D004 14	641
リン脂質	10	D007 02	15
(リン脂質抗体)→抗カルジオリピンIgM抗体	87	D014 30	226
(リン脂質抗体)→抗カルジオリピンβ ₂ グリコプロテインI複合体抗体	87	D014 29	223
リントン→ハロペリドール	27	B001 02	特
(フローサイトクロスマッチ)リンパ球交差試験	164		
リンパ球混合培養(MLC)	106		
(薬剤による)リンパ球刺激試験(DLST)	106		
(Two-color解析による)リンパ球表面マーカー検査	107		

特：特定薬剤治療管理料

腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料

★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。

索引 (五十音)

索引

(モノクローナル抗体による)リンパ球表面マーカーの自動解析	107			
(Con-Aによる)リンパ球幼若化検査	106	D016 07	345	
(PHAによる)リンパ球幼若化検査	106	D016 07	345	

ル		ページ	診療報酬区分	実施料

ルイネシン→ゲンタマイシン	22	B001 02	特	
ルナブロン→プロムベリドール	27	B001 02	特	
ループスアンチコアグラント〔APTT凝固時間法〕	86			
ループスアンチコアグラント〔希釈ラッセル蛇毒時間法〕	86	D014 35	265	
ループスアンチコアグラント〔リン脂質中和法〕	86	D014 35	265	
ルフィナミド	24	B001 02	特	
ルミナール→フェノバルビタール	23	B001 02	特	

レ		ページ	診療報酬区分	実施料

レキシソ→カルバマゼピン	23	B001 02	特	
レジオネラDNA 定性	180	D023 07	292	
レチノール結合蛋白(RBP)	92	D015 15	132	
レニン活性(PRA)〔EIA〕	43	D008 08	100	
レニン濃度(ARC)〔CLEIA〕	43	D008 10	102	
レプチン〔ELISA〕	44	D008 53	1000	
レベチラセタム	24	B001 02	特	
レムナント様リポ蛋白コレステロール(RLP-C)	10	D007 44	174	

ロ		ページ	診療報酬区分	実施料

ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	2	D007 01	11	
ロイシンリッチ α 2グリコプロテイン(LRG)	84	D007 57	268	

ワ		ページ	診療報酬区分	実施料

ワコビタール→フェノバルビタール	23	B001 02	特	

アルファベット

A	ページ	診療報酬区分	実施料
ABC分類(LA)	5		
ABO式血液型	89	D011 01	24
ACA→抗セントロメア抗体	81	D014 20	174
ACE(アンギオテンシンⅠ転換酵素)	4	D007 39	136
AChR→抗アセチルコリンレセプター抗体	85	D014 45	775
ACTH(副腎皮質刺激ホルモン)	36	D008 37	184
ADA(アデノシンデアミナーゼ)	2	D007 11	32
ADAMTS13 インヒビター	33	D006 35	1000
ADAMTS13-活性	33	D006 33	400
AFP→ α -フェトプロテイン定量	45	D009 03・B001 03 □	98・腫2
A/G比(アルブミン・グロブリン比)	1		
AICS	202		
AIRS	202		
Alb(アルブミン)	1	D007 01	11
ALD→アルドラーゼ	2	D007 01	11
ALK 2p23転座	125	D006-5 01	2477
ALP→アルカリフォスファターゼ(ALP)IFCC	2	D007 01	11
ALPアイソザイム(IFCC)	2	D007 14	48
ALT(GPT)	2	D007 03	17
Al(アルミニウム)	19	D007 29	109
AMA→抗ミトコンドリア抗体	83	D014 21	181
AMH→抗ミュー管ホルモン(AMH)(CLEIA)	42	D008 52	597
AmoyDx肺癌マルチパネル 7遺伝子 IVD	156	D006-24	12500
AmoyDx肺癌マルチパネル 7遺伝子 研究用	157	D006-24	12500
AMYアイソザイム→アミラーゼアイソザイム	3	D007 14	48
AMY(アミラーゼ)	3	D007 01	11
ANA(抗核抗体)	81	D014 05	99
ANP→ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)	44	D008 46	221
APOA2アイソフォーム	46		
APTT(活性化部分トロンボプラスチン時間)	32	D006 07	29
ARC→レニン濃度(ARC)(CLEIA)	43	D008 11	102
(抗)ARS抗体	83	D014 22	190
ASMA→抗平滑筋抗体	83		
ASO(抗ストレプトリジン-O抗体)	77	D012 01	15
AST(GOT)	2	D007 03	17
ATⅢ(アンチトロンビンⅢ)	32	D006 10	70
ATLV(HTLV-Ⅰ)抗体(CLEIA)	71	D012 31	159
ATLV(HTLV-Ⅰ)プロウイルスDNA(クロナリティ)	71		
ATM del(11)長腕欠失	127	D006-5 01	2477
AVP→抗利尿ホルモン	36	D008 47	224
B	ページ	診療報酬区分	実施料
BAP(骨型アルカリフォスファターゼ)	2	D008 30	157
BCA225	45	D009 20・B001 03 □	158・腫2
BCL2 18q21転座	129	D006-5 01	2477
BCL6 3q27転座	125	D006-5 01	2477
BCR-ABL1 t(9;22)転座	127	D006-5 01	2477
(末梢血好中球)BCR-ABL1 t(9;22)転座	127	D006-5 01	2477
BFP(塩基性フェトプロテイン)	45	D009 17・B001 03 □	150・腫2
BGP→オステオカルシン	44	D008 26	157
BIRC3-MALT1(API2-MALT1) t(11;18)転座	127	D006-5 01	2477
B-J蛋白→尿中免疫電気泳動(尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定)	91	D015 22	201
BMG→ β_2 -マイクログロブリン	93	D015 11	98
BNP(ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド)	44	D008 20	130
BRAF exon15 V600E(SEQ)	146		
BRAF V600E遺伝子解析(rSSO)	146	D004-2 01 □	5000
BRAF V600 変異解析(PCR)	146	D004-2 01 □	5000
BS→血糖(グルコース)	8	D007 01	11

BTR→総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比	7	D010 05	283
BUN→尿素窒素(UN)	6	D007 01	11
B型肝炎ウイルスコア関連抗原(HBcrAg)	51	D013 12	252
B細胞百分率 T細胞百分率	107	D016 03	193
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig)IgG、IgA、IgM、IgD、K、L	107	D016 01	155
C	ページ	診療報酬区分	実施料
C1q	91		
C1インアクチベーター活性(C1エステラーゼインヒビター活性)	91	D015 25	253
C1エステラーゼインヒビター活性(C1インアクチベーター活性)	91	D015 25	253
C3(補体因子)	91	D015 08	70
C4(補体因子)	91	D015 08	70
CA-3F→カタコールアミン3分画	39	D008 29	161
CA15-3	45	D009 06・B001 03 □	112・腫2
CA19-9	45	D009 09・B001 03 □	121・腫2
CA54/61	46	D009 25・B001 03 □	184・腫2
CA72-4	45	D009 16・B001 03 □	146・腫2
CA125	45	D009 11・B001 03 □	136・腫2
cAMP→サイクリックAMP	44	D008 32	165
C-ANCA→抗好中球細胞質抗体(PR3-ANCA)	88	D014 33	252
Ca(カルシウム)	17	D007 01	11
(CA・RF)→抗ガラクトース欠損IgG抗体	83	D014 07	111
CATCH22→22染色体(22q11欠失)	123	D006-5 01	2477
CA→カタコールアミン総	39	D008 37	184
CA→寒冷凝集反応	78	D014 01	11
C-band→染色体(先天異常)	122	D006-5 03+D006-5 注	2477+397
CBFB inv(16)逆位、t(16;16)転座	128	D006-5 01	2477
CBFB-MYH11 mRNA定性	135	D006-2	2100
CBFB-MYH11 mRNA定量	135	D006-2	2100
(抗)CCP抗体→抗シトルリン化ペプチド(CCP)抗体	83	D014 24	193
CCR4タンパク(IHC)	199	N002 05	10000
CD1a、CD2(リンパ球表面マーカー検査)	108		
CD3、CD4、CD8(リンパ球表面マーカー検査)	108	D016 02	185
CD4/CD8(Two-color)	109	D016 02	185
CD4/CD25(Two-color)	109	D016 02	185
CD4/CD29(Two-color)	109	D016 02	185
CD4/CD45RA(Two-color)	109	D016 02	185
CD5、CD7、CD10(リンパ球表面マーカー検査)	108		
CD11b/CD8(Two-color)	109	D016 02	185
CD11b(リンパ球表面マーカー検査)	108		
CD13、CD14(リンパ球表面マーカー検査)	108		
CD16、CD19、CD20(リンパ球表面マーカー検査)	108		
CD16/CD56(Two-color)	109		
CD20/CD5(Two-color)	109		
CD21、CD22(リンパ球表面マーカー検査)	108		
CD25、CD30、CD33(リンパ球表面マーカー検査)	108		
CD30(IHC)	186	N002 07	400
CD34、CD38、CD56(リンパ球表面マーカー検査)	108		
CD34定量	105		
CD38マルチ解析(多発性骨髄腫解析検査)	105	D005 15	1940
CD41、CD42b(血小板表面マーカー検査)	107		
CD45RO/CD4(Two-color)	109	D016 02	185
CD45ゲーティング(悪性リンパ腫解析検査)(MLA)	105	D005 15	1940
CD45ゲーティング(白血病・リンパ腫解析検査)(LLA)	105	D005 15	1940
CD55(赤血球表面マーカー検査)	105		
CD57/CD16(Two-color)	109		
CD57(リンパ球表面マーカー検査)	108		
CD59(赤血球表面マーカー検査)	105		
CD79B遺伝子変異解析	131		
Cd→カドミウム	20		

特：特定薬剤治療管理料

腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料

★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。

CDトキシシン(GDH)	171	D012 12	80
CDトキシシンB遺伝子 定性	171	D023-2 05	450
CEA(癌胎児性抗原)	45	D009 03・B001 03 □ 99・腫2	
CH50→血清補体価	91	D015 04	38
ChE(コリンエステラーゼ)	2	D007 01	11
CK(CPK)	1	D007 01	11
CK(CPK)アインザイム	1	D007 17	55
c-kit遺伝子変異解析(GIST)	150	D004-2 01 イ-2	2100
CK-MB(CPK-MB)(CLIA)	1	D007 22	90
CK-MB(CPK-MB)(免疫阻止-UV法)	1		
CKアインザイム→CK(CPK)アインザイム	1	D007 17	55
CKS1B 1q21 増幅	125	D006-5 01	2477
Cl(クロール)	17	D007 01	11
CL→抗カルジオリピンIgG抗体	87	D014 30	226
CL→抗カルジオリピンIgM抗体	87	D014 30	226
(抗)CL-β ₂ GP I 抗体→抗カルジオリピンβ ₂ グリコプロテインI複合体抗体	87	D014 29	223
CLDN18タンパク(IHC)	194	N005-3	2700
CMV DNA→サイトメガロウイルスDNA 定性	59		
CMV pp65抗原(C7-HRP)→サイトメガロウイルス pp65抗原(C7-HRP)	59	D012 54	356
CMV→サイトメガロウイルス	59	D012 11 ハ	79
CMV→サイトメガロウイルス(IgM)(IgG)	59	D012 44 ハ	200
CMV→サイトメガロウイルス核酸検出(新生児尿)	59	D023 20	801
CMV→サイトメガロウイルス核酸定量	59	D023 17	450
CMV(サイトメガロウイルス)特異的CTL解析(HLA-A*0201)、(HLA-A*2402)	121		
Con-Aによるリンパ球幼若化検査	106	D016 07	345
CPK(CK)	1	D007 01	11
CPK-MB(CK-MB)(CLIA)	1	D007 22	90
CPK-MB(CK-MB)(免疫阻止-UV法)	1		
CPKアインザイム	1	D007 17	55
CPR(C-ペプチド)	42	D008 13	105
Cp→セルロプラスミン	92	D015 09	90
CRP(C反応性蛋白)定量	93	D015 01	16
Cr→クレアチニン	6	D007 01	11
Cr→クロム	20		
CSF1R del(5)長腕欠失	126	D006-5 01	2477
CSLEX(シアリルLe ^x 抗原)	46	D009 19・B001 03 □ 156・腫2	
CT→カルシトニン	37	D008 18	130
CTP→コクリン-トモプロテイン(CTP)	97	D007 64	460
Cu(銅)	18	D007 05	23
CYFRA(シフラ)(サイトケラチン19フラグメント)	47	D009 18・B001 03 □ 154・腫2	
(HB)c抗体(IgG)	51	D013 06	130
(HB)c抗体(PHA)	51	D013 06	130
C反応性蛋白(CRP)定量	93	D015 01	16
C-ペプチド(CPR)	42	D008 12	105

D	ページ	診療報酬区分	実施料
D13S319 del(13)長腕欠失	128	D006-5 01	2477
D7S486 del(7)長腕欠失/7染色体(7モノソミー)	126	D006-5 01	2477
DA→ドーパミン総	39		
DEK-NUP214 mRNA定性	138	D006-2	2100
DEK-NUP214 mRNA定量	138	D006-2	2100
del(19)長腕欠失	129	D006-5 01	2477
del(1)短腕欠失	129	D006-5 01	2477
del(20)長腕欠失	129	D006-5 01	2477
DHEA-S(デヒドロエピアンドロステロンサルフェート)	38	D008 34	164
DLST(薬剤によるリンパ球刺激試験)	106		
(抗)DNA抗体(RIA)	81	D014 17	159
DNAタイピング(HLA-A)、(HLA-B)、(HLA-C)	163		
DNAタイピング(HLA-DQB1)	163		
DPD→デオキシビリジノリン	96	D008 39・B001 03 □ 191・腫2	

DPD(デオキシビリジノリン)(骨粗鬆症)	96	D008 39	191
(抗)ds-DNA IgG抗体	81	D014 17	159
(抗)ds-DNA IgM抗体	81		
DUPAN-2	46	D009 07・B001 03 □ 115・腫2	
Dダイマー	32	D006 15	127

E	ページ	診療報酬区分	実施料
E ₂ (エストラジオール)	41	D008 33	167
EBウイルスDNA(クロナリティ)	60		
EBウイルスDNA 定量	60	D023 08	310
EBウイルス抗EA-DR IgA(FA)	61	D012 11 ニ	79
EBウイルス抗EA-DR IgG(FA)	61	D012 44 ニ	200
EBウイルス抗EA IgG(EIA)	61	D012 44 ニ	200
EBウイルス抗EBNA(FA)	61	D012 11 ニ	79
EBウイルス抗EBNA IgG(EIA)	61	D012 44 ニ	200
EBウイルス抗VCA IgA(FA)	61	D012 11 ニ	79
EBウイルス抗VCA IgG(EIA)	61	D012 44 ニ	200
EBウイルス抗VCA IgG(FA)	61	D012 44 ニ	200
EBウイルス抗VCA IgM(EIA)	61	D012 44 ニ	200
EBウイルス抗VCA IgM(FA)	61	D012 44 ニ	200
Echo(エステル型コレステロール)	10		
EGFR変異解析 v2.0	147	D004-2 01 イ-1	2500
EGFR変異解析 v2.0(血漿)	147	D006-12	2100
EGR1 del(5)長腕欠失	126	D006-5 01	2477
EL-1→エラストーゼ1	3	D009 08・B001 03 □ 120・腫2	
EPO→エリスロポエチン	44	D008 41	209
ER/PgR→エストロゲンレセプター/プロゲステロンレセプター (IHC)	192	N002 01+N002 02 注1	720+180
ER→エストロゲンレセプター (IHC)	192	N002 01	720
ETV6-RUNX1 mRNA定性	136	D006-2	2100
ETV6-RUNX1 mRNA定量	136	D006-2	2100
ETV6-RUNX1(TEL-AML1) t(12;21)転座	128	D006-5 01	2477
EWSR1 22q12転座	129	D006-5 01	2477
EZH2遺伝子変異解析	133	D004-2 01 イ-1	2500
(HB)e抗原	51	D013 04	98
(HB)e抗体	51	D013 04	98

F	ページ	診療報酬区分	実施料
F1+2→プロトロンビン フラグメントF1+2	32	D006 26	192
Fbg→フィブリノーゲン(FIB)	32	D006 04	23
F-Cho→遊離コレステロール	10	D007 01	11
FDP定量(血漿)	32	D006 10	80
FDP定量(部分尿)	32	D001 07	72
Fe(鉄)	18	D007 01	11
FGF23 [CLEIA]	44	D007 65	788
FGFR1 8p11.2転座	127	D006-5 01	2477
FIP1L1-PDGFR del(4)長腕欠失(4q12欠失)	126	D006-5 01	2477
FLT3/ITD 変異解析	130	D006-2	2100
FLT3変異解析ITD/TKD	130	D006-14	4200
Free T ₃ →遊離トリヨードサイロニン(Free T ₃)	37	D008 14	121
Free T ₄ →遊離サイロキシニン(Free T ₄)	37	D008 14	121
FSH(卵巣刺激ホルモン)	36	D008 12	105
FT ₃ →遊離トリヨードサイロニン(Free T ₃)	37	D008 14	121
FT ₄ →遊離サイロキシニン(Free T ₄)	37	D008 14	121

G	ページ	診療報酬区分	実施料
GABA(γ-アミノ酪酸)	8	D010 04 イ	279
(抗)GAD抗体	85	D008 19	134
GATA2-MECOM inv(3)逆位,t(3;3)転座	125	D006-5 01	2477
GA→グリコアルブミン	8	D007 17	55
G-band→脆弱X染色体(先天異常)	122	D006-5 03+D006-5 注	2477+397

G-band→染色体(血液疾患)	125	D006-5 03+D006-5 注	2477+397
G-band→染色体(先天異常)	122	D006-5 03+D006-5 注	2477+397
GBM抗体→抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	86	D014 32	262
GH(成長ホルモン)	36	D008 13	105
GLU→血糖(グルコース)	8	D007 01	11
GOT(AST)	2	D007 03	17
GPT(ALT)	2	D007 03	17
GU→グアナーゼ	2	D007 12	35

H	ページ	診療報酬区分	実施料
HANP(ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド)	44	D008 46	221
HA抗体	52	D013 08	146
HA抗体-IgM	52	D013 08	146
HA→ヒアルロン酸(胸水)	8		
HA→ヒアルロン酸(血清)	8	D007 46	179
HbA1c→ヘモグロビンA1c(HbA1c)(NGSP)	8	D005 09	49
HBc抗体(IgG)	51	D013 06	130
HBc抗体-IgM	51	D013 08	146
HBc抗体(PHA)	51	D013 06	130
HBe抗原	51	D013 04	98
HBe抗体	51	D013 04	98
HBs抗原(HQ)	50	D013 03	88
HBs抗体(CLEIA)	50	D013 03	88
HBs抗体(PHA)	50	D013 02	32
HBV DNA定量(IU)	50	D023 04	256
HBVゲノタイプ	50	D013 14	340
HBコア関連抗原→HBcrAg	51	D013 12	252
HCG(絨毛性ゴナドトロピン)	42	D008 21	130
HCG-βサブユニット→遊離HCG-β	42	D008 19	132
HCV RNAコアジェノタイプ	52		
HCV RNA定量	53	D023 15	412
HCV群別(グルーピング)	52	D013 11	215
HCV抗原(コア蛋白質)	53	D013 05	102
HCV抗体(第3世代)	52	D013 05	102
HDL _{2,3} コレステロール	10		
HDL-コレステロール	10	D007 03	17
HEV抗体-IgA(定性)	53	D013 10	210
HE4→ヒト精巢上体タンパク4	45	D009 29・B001 03 □	200・腫2
H-FABP(ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白)	93	D007 36	131
HGF(肝細胞増殖因子)	44	D007 54	227
HHV-6 DNA→ヒトヘルペスウイルス6型DNA 定性	62		
HHV-7 DNA→ヒトヘルペスウイルス7型DNA 定性	62		
HIAA→5-HIAA(5-ハイドロキシインドール酢酸)	40	D008 05	95
HIT抗体(血小板第4因子・ヘパリン複合体抗体)	88	D011 10	390
HIV-1.2抗体	72	D012 16	109
HIV-1/2特異抗体	72	D012 63	660
HIV-1RNA定量	72	D023 18	520
HIV抗原・抗体	72	D012 16	109
HLA DNAタイピング(NGS-SBT法)	163		
HLA-A,B(血清対応型タイピング)	163		
HLA-A、B、C(DNAタイピング)	163		
HLA-DPB1、DRB1(DNAタイピング)	163		
HLA-DQB1(DNAタイピング)	163		
HLA-DR/CD3(Two-color)	109	D016 02	185
HLA-DR/CD4(Two-color)	109	D016 02	185
HLA-DR/CD8(Two-color)	109	D016 02	185
HLA-DR(血清対応型タイピング)	163		
HLA-DR(リンパ球表面マーカー検査)	108		
(抗)HLA抗体(スクリーニング検査)	164	D014 48	1000
HPV DNA→ヒトパピローマウイルスDNA(16型、18型、その他ハイリスクグループ)	54	D023 11	347

HPV DNA→ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)	54	D023 10	347
HPV DNA→ヒトパピローマウイルスDNA(ローリスクグループ)	54		
HPVジェノタイプ→ヒトパピローマウイルス ジェノタイプ判定	54	D023 22	2000
Hp→ハプトグロビン	92	D015 14	129
HSV DNA→単純ヘルペスウイルスDNA 定性	57		
HSV DNA→単純ヘルペスウイルスDNA定量	57	D023 17	450
HSV→単純ヘルペスウイルス	56	D012 11 へ	79
HSV→単純ヘルペスウイルス(1型)(2型)	57	D012 11 へ	79
HSV→単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG	57	D012 44 イ	200
HSV→単純ヘルペスウイルス(IgM)(IgG)	56	D012 44 イ	200
HSV特異抗原→単純ヘルペスウイルス特異抗原	56	D012 39	180
HTLV-I (ATLV)抗体(CLEIA)	71	D012 31	159
HTLV-I (ATLV)プロウイルスDNA(クロナリティ)	71		
HTLV-1核酸検出 定性	71	D023 17	450
HTLV-1抗体	71	D012 60	425
HTLV-1プロウイルスDNA 定性	71		
HTT遺伝子CAG反復配列解析(ハンチントン病)	161	D006-4 02 イ	5000
HVA	40	D008 03	69

I	ページ	診療報酬区分	実施料
(抗)IA-2抗体	85	D008 43	213
IC-mRF→免疫複合体(モノクローナルRF)	88	D014 25	194
IDH 1/2遺伝子解析(グリオーマ)	150		
IFN-γ×IL-4/CD4(Th1/Th2)	107		
IFN-γ→ヒトインターフェロンγ(EIA)	99		
IFN-λ3→インターフェロン-λ3(IFN-λ3)	98	D015 28	340
IgA	90	D015 04	38
(Sm-Ig)IgA(B細胞表面免疫グロブリン)	107	D016 01	155
IgA-HEV抗体(定性)	53	D013 10	210
(Sm-Ig)IgD(B細胞表面免疫グロブリン)	107	D016 01	155
IgE(RIST)→IgE(非特異的IgE)	100	D015 11	100
IgE(アトピー鑑別試験)→アトピー鑑別試験(12種吸入性アレルギー)	100	D015 21	194
IgE(非特異的IgE)(FEIA)	100	D015 11	100
IGF-1(ソマトメジンC)	36	D008 42	212
IgG	90	D015 04	38
(Sm-Ig)IgG(B細胞表面免疫グロブリン)	107	D016 01	155
IgG-FcR+・T細胞百分率	107	D016 03	193
IgG型リウマチ因子	83	D014 26	198
IgGサブクラス分画(TIA)	90		
IgG2	90	D014 31	239
IgG4	90	D014 41	377
IGH-BCL2 t(14;18)転座	128	D006-5 01	2477
IGH-CCND1(IGH-BCL1) t(11;14)転座	127	D006-5 01	2477
IGH-FGFR3 t(4;14)転座	126	D006-5 01	2477
IGH-MAF t(14;16)転座	128	D006-5 01	2477
IGH-MYC t(8;14)転座	126	D006-5 01	2477
IgM	90	D015 04	38
(Sm-Ig)IgM(B細胞表面免疫グロブリン)	107	D016 01	155
IgM-HA抗体	52	D013 08	146
IgM-HBc抗体	51	D013 08	146
IL-1β(インターロイキン-1β)	99		
IL-4(インターロイキン-4)(高感度)	99		
IL-6(インターロイキン-6)	99		
IL-6(インターロイキン-6)	99	D015 17	170
IL-8(インターロイキン-8)	99		
IL-10(インターロイキン-10)	99		
Intact-PTH→副甲状腺ホルモン(PTH)-インタクト	37	D008 29	161
IRI→インスリン	42	D008 08	100
IRT→トリプシン	3	D007 49	189

特：特定薬剤治療管理料

腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料

★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。

索引 (アルファベット)

索引

J	ページ	診療報酬区分	実施料
JAK2V617F遺伝子変異解析	131	D006-16	2504
(抗)Jo-1抗体	83	D014 12	140
K	ページ	診療報酬区分	実施料
KIT シーケンス解析(白血病)	130		
KL-6	96	D007 28	108
KMT2A-AFDN mRNA定性	137	D006-2	2100
KMT2A-AFDN mRNA定量	137	D006-2	2100
KMT2A-AFF1 mRNA定性	136	D006-2	2100
KMT2A-AFF1 mRNA定量	136	D006-2	2100
KMT2A(MLL)11q23.3転座	127	D006-5 01	2477
KMT2A-MLLT1 mRNA定性	137	D006-2	2100
KMT2A-MLLT1 mRNA定量	137	D006-2	2100
KMT2A-MLLT3 mRNA定性	137	D006-2	2100
KMT2A-MLLT3 mRNA定量	137	D006-2	2100
KRAS G12C変異解析	149	D004-2 01 4-1	2500
K(カリウム)	17	D007 01	11
(Sm-Ig)K鎖(B細胞表面免疫グロブリン)	101	D016 01	155
L	ページ	診療報酬区分	実施料
LAC→ループスアンチコアグラント〔APTT凝固時間法〕	86		
LAC→ループスアンチコアグラント〔希釈ラッセル蛇毒時間法〕	86	D014 35	265
LAC→ループスアンチコアグラント〔リン脂質中和法〕	86	D014 35	265
LAP→ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	2	D007 01	11
LDH(LD)IFCC	2	D007 01	11
LDH(LD)アイソザイム	2	D007 14	48
LD(LDH)IFCC	2	D007 01	11
LD(LDH)アイソザイム	2	D007 14	48
LDL-コレステロール	10	D007 04	18
LH(黄体形成ホルモン)	36	D008 12	105
(抗)LKM-1抗体	88	D014 25	215
LLA(白血病・リンパ腫解析検査)CD45ゲーティング	105	D005 15	1940
LP(a)→リポ蛋白質(a)	14	D007 27	107
LPL(リポ蛋白リパーゼ)	14	D007 53	219
LRG→ロイシンリッチα2グリコ蛋白質(LRG)	84	D007 57	268
LST→薬剤によるリンパ球刺激試験(DLST)	106		
L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)(CLEIA)	94	D001 19	210
(Sm-Ig)L鎖(B細胞表面免疫グロブリン)	107	D016 01	155
L-ドーパ	39		
M	ページ	診療報酬区分	実施料
(抗ミトコンドリア)M2抗体	83	D014 22	189
MAC核酸同定〔TRC〕	175	D023 16	421
MAC抗体(抗酸菌抗体定性)	80	D012 18	116
Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体(M2BPGi)	95	D007 50	194
Major BCR-ABL1 ABL1変異解析	134		
Major BCR-ABL1 mRNA(%)	134	D006-3 02	2520
Major BCR-ABL1 mRNA(IS)	134	D006-3 01 イ	2520
Major BCR-ABL1 mRNA定性	134	D006-2	2100
Major BCR-ABL1 mRNA定量	134	D006-2	2100
MALT1 18q21転座	128	D006-5 01	2477
MAST36アレゲン(特異的IgE)	100	D015 13	1430
MAST48mix(特異的IgE)	100	D015 13	1430
Mb→ミオグロビン	93	D007 36	131
(抗)MDA5抗体	83	D014 37	270
MDA-LDL→酸化LDL(MDA-LDL)	12	D007 50	194
MECP2遺伝子解析(レット症候群)	159		
MEFV遺伝子解析(家族性地中海熱)	161	D006-4 01 オ	3880

Mg(マグネシウム)	17	D007 01	11
MHA→メチル馬尿酸(尿中)	19		
(抗)Mi-2抗体	80	D014 37	270
micro BCR-ABL1 mRNA定性	132	D006-2	2100
minor BCR-ABL1 mRNA(%)	132	D006-3 03 イ	2520
minor BCR-ABL1 ABL1変異解析	132		
minor BCR-ABL1 mRNA定性	132	D006-2	2100
minor BCR-ABL1 mRNA定量	132	D006-2	2100
MLA(悪性リンパ腫解析検査)CD45ゲーティング	105	D005 15	1940
MLC I→心室筋ミオシン軽鎖 I	93	D007 48	184
MLC(リンパ球混合培養)	106		
(ML-NET)→悪性リンパ腫総合解析検査「ML-NET」	201	※1	6074
MMRタンパク(IHC)	194		
MMP-3(マトリックスメタロプロテイナーゼ-3)	4	D014 09	116
Mn→マンガン	20	D007 08	27
MPN遺伝子変異解析	131		
MPO-ANCA(抗好中球細胞質抗体)	88	D014 32	251
mRF→免疫複合体(モノクローナルRF)	88	D014 25	194
MRSAスクリーニング	173		
MSI検査→マイクロサテライト不安定性検査	151	D004-2 01 イ-1	2500
(抗)MuSK抗体→抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体(抗MuSK抗体)	85	D014 47	1000
MYC 8q24転座	126	D006-5 01	2477
MYCN 2p24増幅	129	D006-5 01	2477
MYD88遺伝子変異解析	131		
My Nightingale(マイ ナイチンゲール)	204		
N	ページ	診療報酬区分	実施料
(NAG)N-アセチルグルコサミニダーゼ	4	D001 05	41
Na(ナトリウム)	17	D007 01	11
NCC-ST-439	46	D009 06・B001 03 口	112・腫2
NEFA(遊離脂肪酸)	10	D007 19	59
(尿中)NGAL	94	D001 19	210
NH ₃ (アンモニア)	6	D007 16	50
NK細胞活性	107		
NPM1変異解析	130	D006-2	2100
NSE(神経特異エノラーゼ)	48	D009 14・B001 03 口	142・腫2
NT-proBNP(ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント)	44	D008 20	136
NTx(I型コラーゲン架橋N-テロペプチド)	94	D008 25・B001 03 口	156・腫2
NTx(I型コラーゲン架橋N-テロペプチド)(骨粗鬆症)	94	D008 25	156
NUDT15遺伝子codon 139多型解析	162	D006-17	2100
NUP98 11p15転座	127	D006-5 01	2477
NUP98-HOXA9 mRNA定量	138	D006-2	2100
N-アセチルグルコサミニダーゼ(NAG)	4	D001 05	41
(尿中)N-メチルホルムアミド	19		
O	ページ	診療報酬区分	実施料
O157スクリーニング	173		
P	ページ	診療報酬区分	実施料
(抗)P/Q型 電位依存性 カルシウムチャネル抗体(抗P/Q型VGCC抗体)	85	D014 47	1000
P ₂ →プレグナノジオール	41	D008 43	213
P-Ⅲ-P(プロコラーゲンⅢペプチド)(CLIA)	95	D007 39	136
P ₃ →プレグナントリオール	41	D008 48	232
PAIgG(血小板関連IgG)	88	D011 06	190
P-ANCA→抗好中球細胞質抗体(MPO-ANCA)	88	D014 32	251
PA→前立腺特異抗原(PSA)	47	D009 09・B001 03 口	121・腫2
Pb(鉛)	20		
PCA→抗胃壁細胞抗体	83		
PDGFRB 5q32転座	126	D006-5 01	2477
PD-L1タンパク(IHC)22C3	192, 194, 197, 199	N005-3	2700

※ 1: N000・N002 08・D005 15・D006-5 02+D006-5 注

特：特定薬剤治療管理料
腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料
★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。

PD-L1タンパク(IHC)28-8	194, 197, 199	N005-3	2700
PD-L1タンパク(IHC)SP142	192, 194, 197, 199	N005-3	2700
PD-L1タンパク(IHC)SP263	197	N005-3	2700
PF-4(血小板第4因子)	34	D006 25	173
PgR→プロゲステロンレセプター (IHC)	192	N002 02	690
PG→ペプシノゲン	4		
PGE-MUM[CLEIA]	84	D001 17	187
PHAによるリンパ球幼若化検査	106	D016 07	345
PICテスト(α 2ブラスミンインヒビター・ブラスミン複合体)	32	D006 21	150
PIVKA-II	48	D009 10・B001 03	131・腫2
PL→抗リン脂質抗体→抗 β_2 グリコプロテイン I IgG抗体	87	D014 30	226
PL→抗リン脂質抗体→抗 β_2 グリコプロテイン I IgM抗体	87	D014 30	226
PL→抗リン脂質抗体→抗カルジオリピンIgG抗体	87	D014 30	226
PL→抗リン脂質抗体→抗カルジオリピンIgM抗体	87	D014 30	226
PL→抗リン脂質抗体→抗カルジオリピン・ β_2 グリコプロテイン I 複合体抗体	87	D014 29	223
PL→抗リン脂質抗体→ループスアンチコアグラント (APTT凝固時間法)	86		
PL→抗リン脂質抗体→ループスアンチコアグラント (希釈ラッセル蛇毒時間法)	86	D014 35	265
PL→抗リン脂質抗体→ループスアンチコアグラント (リン脂質中和法)	86	D014 35	265
PLA ₂ →酵素ホスホリパーゼA ₂ (酵素PLA ₂)	3	D007 51	204
PLAP→胎盤型アルカリフォスファターゼ	2		
PIg→プラスミノーゲン	32	D006 12	100
PML-RARA mRNA定性	135	D006-2	2100
PML-RARA mRNA定量	135	D006-2	2100
PML-RARA t(15;17)転座	128	D006-5 01	2477
(高感度)PNH型血球検査	99		
POT法(黄色ブドウ球菌)	172		
PR3-ANCA(抗好中球細胞質抗体)	88	D014 33	252
PRA→レニン活性(PRA)[EIA]	43	D008 08	100
PR-F→蛋白分画	1	D007 04	18
PRL→プロラクチン	36	D008 06	98
ProGRP(ガストリン放出ペプチド前駆体)	48	D009 24・B001 03	175・腫2
PRRT2遺伝子解析(発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼ)	159		
PSA F/T比	47	D009 17・B001 03	150・腫2
PSA(前立腺特異抗原)	47	D009 09・B001 03	121・腫2
PTHrP(副甲状腺ホルモ関連蛋白)	37	D008 38	186
PTH(副甲状腺ホルモ)(Whole PTH)	37	D008 29	161
PTH(副甲状腺ホルモ)-インタクト	37	D008 29	161
PTフラグメントF1+2(プロトロンビンフラグメントF1+2)	32	D006 26	192
PT→プロトロンビン時間(PT)	32	D006 02	18
P型アミラーゼ定量	3	D007 14	48
P(無機リン)	17	D007 03	17

Q	ページ	診療報酬区分	実施料
Q-band→染色体(先天異常)	122	D006-5 03+D006-5 注	2477+397
QT→先天性QT延長症候群遺伝子解析	161	D006-4 03 ア	8000

R	ページ	診療報酬区分	実施料
RAS・BRAF遺伝子変異解析	151	D004-2 01 注1	4000
RBP(レチノール結合蛋白)	92	D015 15	132
RET遺伝子解析(甲状腺髄様癌)	158	D006-4 02 イ	5000
RET遺伝子シングルサイト解析(甲状腺髄様癌)	158		
RF(リウマチ因子)定量	83	D014 02	30
Rh(D因子)式血液型	89	D011 01	24
Rh-Hr式血液型	89	D011 03	148
RLP-C(レムナント様リポ蛋白コレステロール)	10	D007 44	174
(抗)RNP抗体	81	D014 13	144
ROS1融合遺伝子定性	148	D004-2 01 イ-1	2500
RSウイルス(CF)[NT]	68	D012 11 タ	79
RUNX1-MECOM mRNA定性	136	D006-2	2100
RUNX1-RUNX1T1(AML1-MTG8) t(8;21)転座	127	D006-5 01	2477

RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性	135	D006-2	2100
RUNX1-RUNX1T1 mRNA定量	135	D006-2	2100

S	ページ	診療報酬区分	実施料
SAA(血清アミロイドA蛋白)	93	D015 06	47
SCC	46	D009 04・B001 03	101・腫2
SCCA2	100	D015 26	300
(抗)Scl-70抗体	81	D014 16	157
sd LDL-コレステロール	10		
sd LDL-C(健診)	12		
sFit/PIGF比	44	D015 28	340
SFMC(可溶性フィブリンモノマー複合体)	32	D006 11	93
SHOX→X,Y染色体(身長関連遺伝子SHOX)	123	D006-5 01	2477
(SKY)→染色体SKY(血液疾患)	125	D006-5 01	2477
(SKY)→染色体SKY(先天異常)	122	D006-5 01	2477
SLX(シアリルLe ^x -i抗原)	46	D009 13・B001 03	140・腫2
SM-C→IGF-1(ソマトメジンC)	36	D008 42	212
Sm-Ig(B細胞表面免疫グロブリン)	107	D016 01	155
(抗)Sm抗体	81	D014 14	147
SNRPN遺伝子解析(メチレーションPCR)ブラダー・ウィリアムズ症候群 アンジェルマン症候群	159	D006-4 02 エ	5000
SPan-1	46	D009 15・B001 03	144・腫2
SP-A(肺サーファクタント蛋白A)	14	D007 35	130
SP-D(肺サーファクタント蛋白D)	14	D007 39	136
SRY→Y染色体(睾丸決定遺伝子SRY)	123	D006-5 01	2477
(抗)SS-A/Ro抗体	81	D014 18	161
(抗)SS-B/La抗体	81	D014 16	157
(抗)ss-DNA IgG抗体	81	D014 17	159
(抗)ss-DNA IgM抗体	81		
SSEA-1抗原→シアリルLe ^x -i抗原(SLX)	46	D009 13・B001 03	140・腫2
STIL-TAL1 mRNA定量	138	D006-2	2100
STN(シアリルTn抗原)	46	D009 16・B001 03	146・腫2
(HB)s抗原(HQ)	50	D013 03	88
(HB)s抗体[CLEIA]	50	D013 03	88
(HB)s抗体[PHA]	50	D013 02	32

T	ページ	診療報酬区分	実施料
T ₃ →トリヨードサイロニン(T ₃)[CLEIA]	37	D008 07	99
T ₄ →サイロキシシン(T ₄)[CLEIA]	37	D008 11	105
TACSTD2遺伝子解析(角膜ジストロフィー)	160	D006-20	1200
TARC(COVID-19)	98	D015 18	179
TARC(Th2ケモカイン)	98	D015 18	179
TAT(トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体)	32	D006 24	171
TBA→総胆汁酸	13	D007 13	47
TBG→サイロキシシン結合グロブリン(TBG)	37	D008 18	130
TB→総ビリルビン	18	D007 01	11
TCA→尿中トリクロロ酢酸	19		
TCF3-PBX1 mRNA定性	135	D006-2	2100
TCF3-PBX1 mRNA定量	135	D006-2	2100
TCF3-PBX1 t(1;19)転座	125	D006-5 01	2477
T-Cho(総コレステロール)	10	D007 03	17
Tf→トランスフェリン	93	D015 07	60
Tf→トランスフェリン(クレアチニン換算値)(尿中)	93	D001 08	98
Tf→トランスフェリン(尿中)	93	D001 08	98
TgAb→抗サイログロブリン抗体[CLEIA]	85	D014 10	136
Tg→サイログロブリン[CLEIA]	37	D008 16	128
TG→中性脂肪(TG)	10	D007 01	11
Th1/Th2(IFN- γ ×IL-4/CD4)	107		
Th2ケモカイン→TARC	98	D015 18	179
TIBC(総鉄結合能)	18	D007 01	11
(抗)TIF- γ 抗体	83	D014 37	270

特：特定薬剤治療管理料

腫2：悪性腫瘍特異物質治療管理料

★：保険医療機関内で実施した場合のみ算定できます。

索引 (アルファベット)

索引

TM→トロンボモジュリン	35	D006 27	204
TnT→心筋トロポニンT	93	D007 29	109
total P1NP→I型プロコラーゲン-N-プロペプチド	94	D008 32	160
TP53 del(17)短腕欠失	128	D006-5 01	2477
tPA・PAI-1複合体(トータルPAI-1)	32	D006 32	240
TP-F→蛋白分画	1	D007 04	18
(抗)TPO-Ab→抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)(CLEIA)	85	D014 11	138
TP(総蛋白)(血清)	1	D007 01	11
TP(総蛋白)(髄液)	1	D007 01	11
TP(総蛋白)(尿)	1、165	D001 01	7
TRAb→TSHレセプター抗体〔CLEIA〕	85	D014 27	214
TRACP-5b→骨型溶石酸抵抗性酸性フォスファターゼ(TRACP-5b)	3	D008 25・B001 03	156・腫2
TSAb(TSH刺激性レセプター抗体)	85	D014 40	330
TSH→甲状腺刺激ホルモン(TSH)(CLEIA)IFCC	36	D008 06	98
TSH刺激性レセプター抗体(TSAb)	85	D014 40	330
TSHレセプター抗体〔CLEIA〕	85	D014 27	214
TSHレセプター抗体(定量)	85	D014 27	214
T-SPOT→結核菌特異的IFN- γ	80	D015 30	593
TSST-1産生	172		
TTC→尿中総三塩化物	19		
TTR遺伝子解析(家族性アミロイドーシス)	159	D006-4 01	ア 3880
Two-color解析によるリンパ球表面マーカー検査	107		
T細胞百分率 B細胞百分率	107	D016 03	193
T細胞百分率・IgG-FcR ⁺	107	D016 03	193
T細胞レセプター β 鎖C β 1再構成	144	D006-6	2373
T細胞レセプター β 鎖J β 1再構成	144	D006-6	2373
T細胞レセプター β 鎖J β 2再構成	144	D006-6	2373
T細胞レセプター γ 鎖J γ 再構成	144	D006-6	2373
T細胞レセプター δ 鎖J δ 1再構成	144	D006-6	2373

U	ページ	診療報酬区分	実施料
UA(尿酸)	6	D007 01	11
ucOC→低カルボキシル化オステオカルシン	44	D008 24	154
UGT1A1遺伝子多型解析	162	D006-7	2004
UIBC(不飽和鉄結合能)	18	D007 01	11
UN(尿素窒素)	6	D007 01	11

V	ページ	診療報酬区分	実施料
View アレルギー 39(特異的IgE)	100	D015 13	1430
VMA→(バニリルマンデル酸)	40	D008 04	90
v WF→フォン・ウィルブラント因子抗原定量	33	D006 20	147
VZV DNA→水痘・帯状疱疹ウイルスDNA 定性	58		
VZV DNA→水痘・帯状疱疹ウイルスDNA定量	58	D023 17	450
VZV→水痘・帯状疱疹ウイルス	58	D012 11	ナ 79
VZV→水痘・帯状疱疹ウイルス(IgM)(IgG)	58	D012 44	チ 200
VZV抗原→水痘・帯状疱疹ウイルス抗原〔FA〕	58	D012 51	227

W	ページ	診療報酬区分	実施料
Whole PTH(副甲状腺ホルモン)	37	D008 29	161
WT1 mRNA定量	133	D006-9	2520

X	ページ	診療報酬区分	実施料
X,Y染色体(身長関連遺伝子SHOX)	123	D006-5 01	2477
X染色体(血液疾患)	129	D006-5 01	2477
X染色体(ステロイドサルファターゼ遺伝子STS)	123	D006-5 01	2477
X染色体(先天異常)	123	D006-5 01	2477

Y	ページ	診療報酬区分	実施料
Y染色体(血液疾患)	129	D006-5 01	2477
Y染色体(睾丸決定遺伝子SRY)	123	D006-5 01	2477

Y染色体(先天異常)	123	D006-5 01	2477
Y染色体微小欠失(AZF欠失)	161	D006-28	3770

Z	ページ	診療報酬区分	実施料
ZEB2遺伝子解析(モワット・ウィルソン症候群)	159	D006-4 02	オ 5000
ZnT8抗体	85		
Zn(亜鉛)	18	D007 37	132
ZTT(クンケル反応)	1		

ギリシャ文字

α	ページ	診療報酬区分	実施料
α_1 AG→ α_1 アシドグロブリン	92		
α_1 AT→ α_1 アンチトリプシン	92	D006 10	80
α_1 -M→ α_1 -マイクログロブリン	92	D015 14	129
α_1 アシドグロブリン	92		
α_1 アンチトリプシン	92	D006 10	80
α_1 -マイクログロブリン	92	D015 14	129
α_2 プラスミンインヒビター→アンチプラスミン	32	D006 16	128
α_2 プラスミンインヒビター・プラスミン複合体(PICテスト)	32	D006 21	150
α_2 -マクログロブリン	92	D006 17	138
α -hANP→ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)	44	D008 46	221
α -フェトプロテイン定量	45	D009 02・B001 03 □	98・腫2
β	ページ	診療報酬区分	実施料
β_2 GP I 抗体→抗カルジオリピン β_2 グロブリン I 複合体抗体	87	D014 29	223
(抗) β_2 グロブリン I IgG抗体	87	D014 30	226
(抗) β_2 グロブリン I IgM抗体	87	D014 30	226
β_2 -マイクログロブリン	93	D015 10	98
β -D-グルカン	79	D012 42	195
β -アミロイド1-42/1-40比	97	D004 15	1282
β -カロチン	15		
β -トロンボグロブリン(β -TG)	34	D006 24	171
β -リボ蛋白	13		
γ	ページ	診療報酬区分	実施料
γ -GT(γ -GTP)	2	D007 01	11
γ -アミノ酪酸(GABA)	8	D010 04 イ	279
γ -セミノプロテイン(γ -Sm)	47	D009 28・B001 03 □	192・腫2
δ	ページ	診療報酬区分	実施料
δ -アミノレブリン酸(δ ALA)	18	D001 11	106

数字

	ページ	診療報酬区分	実施料
1,25-(OH) $_2$ ビタミンD	16	D007 63	388
1,5AG(1,5-アンヒドロ-D-グルシトール)	8	D007 21	80
I型コラーゲンC末端テロペプチド(I CTP)	94	B001 03 □	腫2
I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTx)	94	D008 25・B001 03 □	156・腫2
I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTx)(骨粗鬆症)	94	D008 25	156
I型プロコラーゲン-N-ブロペプチド(total P1NP)	94	D008 28	160
1p36欠失症候群→1染色体(1p36欠失症候群)	122	D006-5 01	2477
1染色体(1p36欠失症候群)	122	D006-5 01	2477
(尿中)2,5-ヘキササジオン	19		
II因子(凝固因子活性検査)	33	D006 29	223
IV型コラーゲン	95	D007 36	131
IV型コラーゲン・7S(CLEIA)	95	D007 42	148
(尿中)IV型コラーゲン	95	D001 15	184
4染色体(ウォルフ・ヒルシュホーン症候群)	122	D006-5 01	2477
5-HIAA	40	D008 05	95
5-HT→セロトニン	40		
5-S-システニルドーバ(5-S-CD)	47		
V因子(凝固因子活性検査)	33	D006 29	223
5染色体(ソトス症候群)	122	D006-5 01	2477
7AAD解析 悪性リンパ腫解析検査	105	D005 15	1940
7染色体(ウイリアムス症候群)	122	D006-5 01	2477
VIII因子(凝固因子活性検査)	33	D006 29	223
VIII因子(凝固抑制因子検査)	33	D006 19	144
8color→多発性骨髄腫マルチパラメータフローサイトメトリー(8color)	105	D005 15	1940
8染色体	126	D006-5 01	2477
IX因子(凝固因子活性検査)	33	D006 29	223
IX因子(凝固抑制因子検査)	33	D006 19	144
X因子(凝固因子活性検査)	33	D006 29	223
(血中)11-OHCS	38	D008 02	60
XI因子(凝固因子活性検査)	33	D006 29	223
11-ヒドロキシコルチコステロイド→血中11-OHCS	38	D008 02	60
XII因子(凝固因子活性検査)	33	D006 29	223
12種吸入性アレルギー(アトピー鑑別試験)	100	D015 21	194
12染色体	128	D006-5 01	2477
XIII因子(凝固因子活性検査)	33	D006 29	223
13染色体	122	D006-5 01	2477
13染色体(先天性網膜芽細胞腫RB1)	122	D006-5 01	2477
15染色体(アンジェルマン症候群)	123	D006-5 01	2477
15染色体(ブラダーウイリ症候群)	123	D006-5 01	2477
17 α -ヒドロキシプロゲステロン	38	D008 43	213
17染色体(ミラーディカー症候群)	123	D006-5 01	2477
18染色体	123	D006-5 01	2477
21染色体	123	D006-5 01	2477
22染色体(22q11欠失)(CATCH22)conotruncal anomaly face症候群velo-cardio-facial症候群DiGeorge症候群	123	D006-5 01	2477
25OHビタミンD(骨粗鬆症)	16	D007 31	117
25ヒドロキシビタミンD(くる病・骨軟化症)	16	D007 31	117

ご利用の手引き

取り引きのお申し込み

最寄りの営業所・営業拠点までご連絡いただければ営業員がお伺いいたします。
ご連絡の際は裏表紙の営業所・営業拠点一覧をご参照ください。

検査のご依頼方法

1. 依頼書

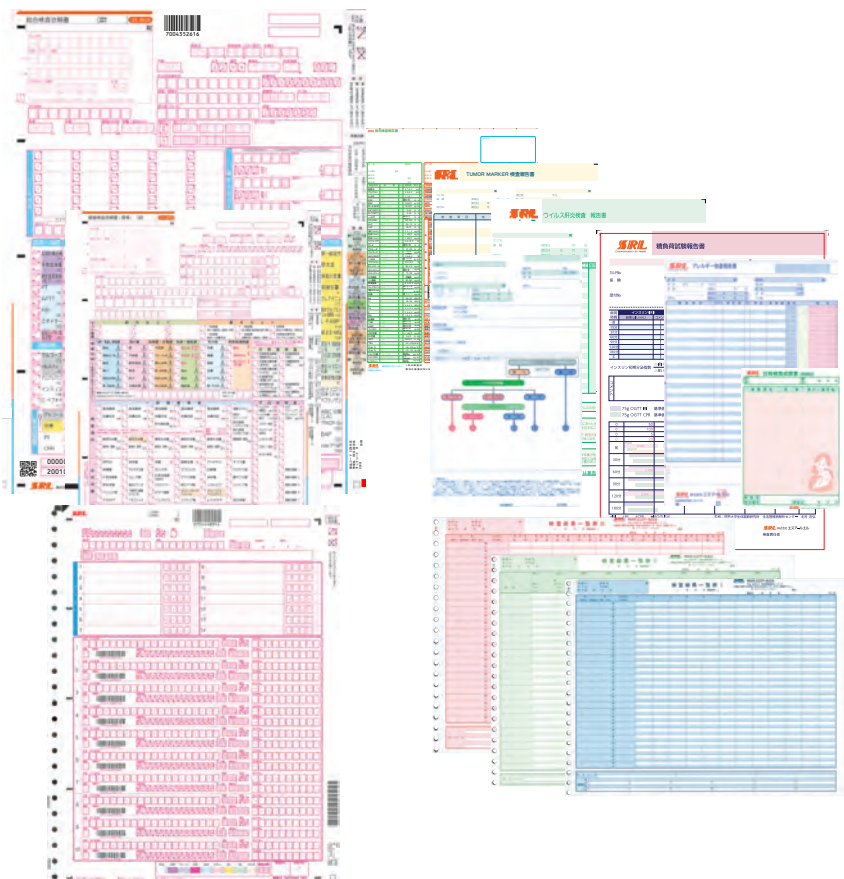
それぞれの依頼項目に適合した依頼書をご使用ください。なお、「お客様控」に診療報酬点数(実施料及び判断料区分)を掲載していますので、院内伝票としてご利用ください。

1. 総合検査依頼書
2. 細菌検査依頼書
3. 一覧検査依頼書
4. 病理・細胞診依頼書

2. 報告書

それぞれの依頼検査に適合した報告書にてご報告いたします。

1. 総合検査報告書
2. 一般細菌検査報告書
3. 抗酸菌検査報告書
4. 病理検査報告書
5. 細胞診検査報告書
6. 一覧報告書(I、II、III)
7. シール報告書
8. フリー報告書
9. その他
 - ウイルス肝炎検査報告書
 - 糖負荷試験報告書
 - TUMOR MARKER検査報告書
 - アレルギー検査報告書
 - Two-Color Analysis報告書
 - マタニティー報告書
 - 染色体検査報告書
 - HLA検査報告書
 - アミノ酸分析報告書
 - 免疫電気泳動検査報告書
 - 甲状腺機能検査報告書
 - 検査報告書



特定感染症患者の検体受託について

当社の受託体制および感染症法(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)等により、下記に該当する感染症の患者、疑似症患者、無症状病原体保有者の検体については、受託することが出来ません。あらかじめご了承ください。

【特定感染症】

・1 類感染症

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱

検査結果のお問合せについて

検査内容等のお問合せ、ご意見、ご指摘等につきましては、巻末に記載の最寄りの事業所までお問合せ下さい。
尚、業務時間は 平日は 9:00～19:00 土曜日は 9:00～18:00 となっております。

測定場所および測定委託先：備考欄に&印のない項目については、当社北信臨床にて測定実施しております。
 &3、&1、&%、&0の項目については、エスアールエル下記ラボラトリーにて測定実施しております。
 &Eから&ミの項目については、エスアールエルから下記ラボラトリーへ再委託となります。
 &p、&ウ、&の項目については、当社より下記会社へ委託外注しております。

記号	エスアールエル・グループ会社測定実施場所	検体搬送時間	記号	測定委託先	検体搬送時間
&1	エスアールエルセントラルラボラトリー	6時間以内	&Y	Nightingale health Japan株式会社	30時間以内
&3	エスアールエルMUQSラボラトリー		&I	かずさDNA研究所	
&%	エスアールエル北関東検査センター熊谷ラボラトリー		&ウ	ミルスインターナショナル	
&0	日本医学臨床検査研究所	30時間以内	&ニ	長崎大学	
記号	測定委託先	検体搬送時間	&ハ	シノテスト サイエンス・ラボ	
&E	北里大塚バイオアッセイ研究所	30時間以内	&ミ	江東微生物研究所	6時間以内
&K	Quest Diagnostics incorporated (QD)	2～3日以内	&p	株式会社東京セントラルパソロジーラボラトリー	
&M	LSIメディエンス	30時間以内	&ウ	一般財団法人京都工場保健会衛生検査所	
&N	ビー・エム・エル		&	松本市医師会検査センター	
&Q	Athena diagnostics	2～3日以内			

検体搬送時間：当社から委託外注先までの検体搬送時間

検体のご提出と搬送方法

検体は原則として、院内検査室でまとめて集荷担当者へご提出ください。なお、検体の集配につきましては、一部の地域を除き、株式会社メディスケットへ委託しております。当社は、当該委託先との契約等において、機密保持、個人情報の漏えい防止や適正な取扱いに必要な事項を取り決めるとともに、適切な管理を実施します。また当該委託先では、お預かりした検体の搬送精度向上のために、断熱材入りの専用検体搬送ボックスに専用の蓄冷剤と蓄温剤を用いて搬送しております。

検体受領場所 []
 検体平均搬送時間 [約 時間]

ご依頼検体の保管期間

お預かりいたしました検体は、依頼日より2週間保管し、再検査や追加検査のご要望にお応えしております。ただし、末梢血液検査等一部の検査につきましては1週間保管とさせていただきます。なお、保管期間を過ぎた検体につきましては、当社で処分させていただきます。また、当社から測定委託する項目につきましては、測定委託先の基準に基づいて保管させていただきます。取り扱いの定まっていない新種の感染症の検体については、保管せずに廃棄処分する場合があります。

保管期間を経過した検査済み検体の精度管理目的等への利用について

保管期間を経過した検査済み検体は個人情報特定されない状態に検体情報を加工した後、精度管理の目的等に使用することがあります。次世代シーケンサーでの測定を含む検査においては、得られた塩基配列情報が個人識別符号となる場合があります。個人識別符号と紐づいた状態で保管されている検査済み検体、及びその塩基配列情報そのものは、精度管理の目的等で使用する場合には、個人識別符号と検査済み検体を復元不可能な状態に切り離したり、塩基配列データの個人識別性を不可逆的に取り除いたりすることができません。そこで、このような場合に限り、塩基配列による個人識別性を除かないまま精度管理に利用します。ただし、塩基配列情報と検査済み検体の取り扱いを、個人情報保護教育プログラムを修了した検査員に限ることで、個人情報の保護に努めます。

統計情報について

検査のご依頼にあたり、以下の点をご了承ください。

- ・当社は、お客様より受託した検体検査の情報をもとに、統計情報を作成することがあります。統計情報は、複数の方に関する情報から共通要素に係る項目を抽出して同じ分類ごとに集約して得られる情報であって、被検者やお客様を特定することはできません。例えば、各検査項目における一定の地域・期間ごと、年齢・性別など被検者の属性ごとの、検査受託件数や陽性率がこれに含まれます。
- ・作成された統計情報は、当社において検査精度の検証に用いること、公衆衛生疫学等の分野において参照されること、当社のホームページ等で報告することがあるほか、当社または第三者の製品・サービスの開発・提供等のために利活用されることがあります。

RIA測定項目のご依頼にあたっての注意事項

シンチグラフィー等で *in vivo* に投与したアイソトープが残存するとRIAでの異常値発生の原因となることがありますので、あらかじめご了承ください。

免責について

ご依頼いただきました検査は当社検査実施基準に基づき行われますが、お預かりした検体の状態、または検査方法の技術的境界等により検査結果を臨床診断に資することが困難な場合があります。この場合、当社はその検査結果に対し免責とさせていただきます。

BCP対策

災害等想定する危機への対応手順として、初動対応、役員及び従業員の安否確認、要員や装備の確保、災害本部設置から解散、業務復旧後の事後処置等の全容を定めた事業継続策を構築しております。

ご利用の手引き

The main form consists of a large grid of test items on the left and a list of labels on the right. The grid is organized by system (e.g., Blood Chemistry, Urinalysis, etc.) and includes checkboxes for each test. The labels on the right are numbered and include fields for patient name, material name, and other information.

お客様連絡先

お客様連絡先へ委託元の緊急連絡先をご記入ください。

依頼 No. (先頭の9桁)

材料名表示ラベル

検査項目欄とラベルの色は、採血管のキャップ色と同色系にしました。

フリーラベル

その他材料ラベル
負荷検体ラベル

材料名表示

055-444 191-029
氏名 SRL タロウ

氏名記入欄

依頼書と同じ氏名をご記入ください。

材料名・負荷時間記入欄

検査材料名、負荷時間をご記入ください。

依頼書の記入要領

ご依頼は検査項目により当社指定の依頼書にてお願いいたします。

- ① 患者様氏名については、必ずカタカナでご記入ください。
 - ② 男女・入院・外来・科名・透析前後については、☒印でご記入ください。
 - ③ 病棟・提出医は、カタカナでご記入ください。
 - ④ ご依頼項目は、チェック欄に☒印をご記入ください。
 - ⑤ 記載されていない項目をご依頼の場合は、欄外項目記入欄に項目コードと項目名をご記入ください。
 - ⑥ 蓄尿量・身長・体重等を必要に応じてご記入ください。
 - ⑦ 採取月日・採取時刻等もご記入ください。
 - ⑧ 科コードはご指定の数字をご記入ください。尚、事前登録が必要の為、当社営業員にご連絡をお願いいたします。
 - ⑨ お客様連絡先へ委託元の緊急連絡先をご記入ください。
- ※尚、「お客様控」に実施料（診療報酬点数）を掲載してございますので、院内伝票としてご利用ください。

検体容器及び検体ラベルについて

- ・検体容器については①～⑤⑥ページの容器の取り扱い方法をご参照ください。
- ・検体ラベルには氏名、性別、年齢、材料名等をご記入し、提出容器に貼ってください。

検体ラベルの使用について

●総合検査依頼書には、依頼No.に対応した検体ラベル(バーコード付き)が添付されています。

(1)材料名表示ありの材料名表示ラベル(血清、血算、血糖、尿、凝固、2Na血漿の6種類)

(2)材料名表示なしのフリーラベル(4枚)

◆検体ラベルには、依頼書と同じ依頼No.(9桁)とバーコードが印刷されていますので、必ず依頼書に添付されたラベルを検体に貼付してください。

◆血清、血算、血糖、尿、凝固、2Na血漿は検査材料名を印刷した材料名表示ラベルをご使用ください。

◆材料名表示ラベルが無い材料や負荷試験の検体は、フリーラベルをご使用ください。
ただし、血清、血糖、尿の負荷前の検体には、材料名表示ラベルをご使用ください。

注:総合依頼書に印刷してある番号は10桁ですが、依頼No.は先頭の9桁で下1桁はチェックデジットになっております。

注:材料名表示ラベルに印刷してある番号は12桁ですが、依頼No.は先頭の9桁で下3桁は材料No.とチェックデジットになっております。

検体ラベルの貼付について

(1)総合依頼書に氏名をご記入ください。

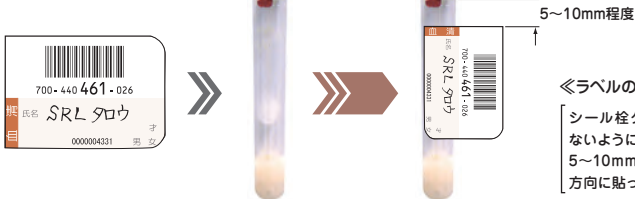
(2)検体ラベルの氏名欄に依頼書と同じ氏名や材料名、負荷時間等をご記入ください。

(3)下図のとおり、検体にラベルをタテに貼りつけてください。

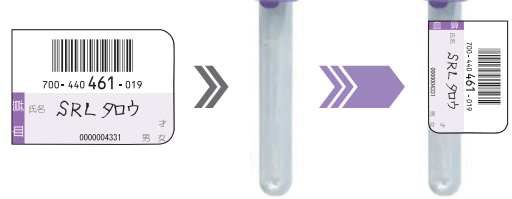
※材料名表示ラベルが破損した場合には、フリーラベルをご使用ください。

●検体ラベル貼付例

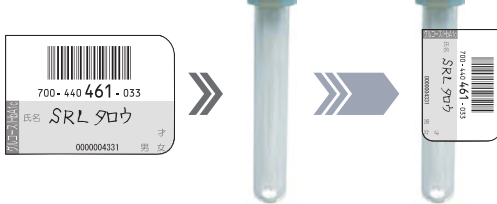
■血清



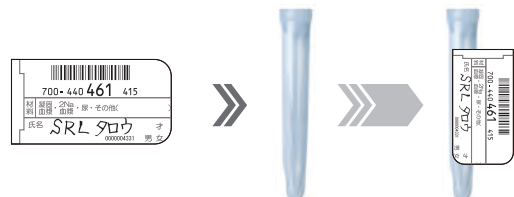
■血算



■血糖/HbA1c



■尿など



■血糖負荷「前、60分、120分」の例



■尿糖負荷「前、60分、120分」の例



《ラベル貼付時のご注意》

- (1)依頼書の依頼No.とラベルの依頼No.を照合してください。
- (2)依頼書の氏名とラベルの氏名を照合してください。
- (3)検体の材料種別とラベルの材料表示名を照合してください。

ご利用の手引き

倫理指针对象項目のご依頼にあたり

当社では「遺伝学的検査受託に関する倫理指針」(社団法人日本衛生検査所協会)等に基づき、被験者やその家族及び血縁者の人権が保障され、社会の理解の下、適正に遺伝学的検査を実施することを目的に「SRL遺伝子倫理ガイドライン」を策定しております。

遺伝学的検査の受託に際しては、「SRL遺伝子倫理ガイドライン」、日本衛生検査所協会・関連学会等の指針に準拠した受託を行っております。

SRL遺伝子倫理ガイドラインについては、SRLホームページをご参照ください。

【準拠指針等】

- ① 「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」(2022年3月改定)日本医学会
- ② 「遺伝学的検査受託に関する倫理指針」(令和4年9月1日改定)日本衛生検査所協会、遺伝子関連検査受託倫理審査委員会
- ③ 「遺伝学的検査の実施に関する指針」(平成28年4月1日)日本衛生検査所協会、日本小児科学会、日本神経学会、日本人類遺伝学会
- ④ 「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」(令和6年3月一部改正)個人情報保護委員会、厚生労働省

診断目的で検査をご依頼の場合

- ・検査実施にあたりましては、「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」(日本医学会)等のガイドラインを遵守くださいますようお願いいたします。
- ・対象の項目をご依頼いただく際は、遺伝学的検査受託専用の「倫理指針準拠依頼書」をご利用くださいますようお願いいたします。
- ・「倫理指針準拠依頼書」は「匿名化用依頼書」と「実名用依頼書」を用意しております。個人情報の保護と医療安全の確保(匿名化符号を患者名に戻す際の変換ミス等のリスクへの対応)の両面から検討し、選択してください。
- ・「匿名化用依頼書」では、被検者氏名の代わりに匿名化符号をご記入いただきますと、当社では匿名化符号をもちまして検査を実施いたします。(氏名およびカルテNo.欄を設けておりますが、当社控えの伝票には複写されないように処理をしております。)

【倫理指針準拠依頼書】

※匿名化用依頼書の例

※実名用依頼書の例

遺伝学的検査をご依頼の際には、日本医学会の「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」(2022年3月改定)を参照いただき、医療機関において各種安全管理措置(組織的、人的、物理的、技術的安全管理措置)が講じられ、個人情報の保護を適切に行うようお願いいたします。

「倫理指針準拠依頼書」では、検査の目的や限界などが説明され、被検者の自由意思による同意(インフォームド・コンセント)が得られていること、および被検者に対して事前の遺伝カウンセリングが適切に行われたことを、ご担当医の署名により確認させていただきます。

ファーマコゲノミクス(PGx)検査項目をご依頼の場合

当社は、薬物の効果や副作用の予測補助として臨床の現場で行われる遺伝学的検査につきましては、これを「ファーマコゲノミクス検査(PGx)」として、単一遺伝子疾患の診断に利用される遺伝学的検査とは区別した受託を行っております。関連ガイドラインから抜粋致しました下記の留意点をご一読いただき、検査実施にあたりましては、ガイドラインの原本をご参照くださいますようお願いいたします。

「診療における薬理遺伝学検査の運用に関する提言」日本臨床薬理学会(2022年5月9日)

※医療を必要とする遺伝性疾患の確定診断や発症リスク予測に関連しない項目の薬理遺伝学検査(表1)等の原本をご参照ください。

●個人情報の保護

医療を必要とする遺伝性疾患の確定診断や発症リスク予測に関連するしないに関わらず、薬理遺伝学検査のオーダー(院内オーダーリングシステムを含む)及び結果は診療情報であり、他の診療情報と同様に、医療者間で共有して診療に使用できるように診療録(カルテ)に記載し、要配慮個人情報として適切に管理する。

HLA DNAタイピング・キメリズム解析をご依頼の場合

1. 移植におけるHLA DNAタイピング・キメリズム解析について

移植における組織適合性検査である、HLA DNAタイピング、キメリズム解析は、遺伝学的検査(生殖細胞系列遺伝子検査)にあたりますが、疾患の診断を目的としないので、遺伝学的検査受託に関する倫理指針(日本衛生検査所協会)の適用外になります。

2. 移植以外の目的に用いるHLA DNAタイピングについて

- ①薬理遺伝学的検査に該当するHLA DNAタイピングを実施する場合には、ファーマコゲノミクスに関する指針・ガイドライン及び上記「ファーマコゲノミクス(PGx)検査項目をご依頼の場合」を参照くださいますようお願いいたします。
- ②生活習慣病等の疾患感受性(易罹患性)診断にHLA DNAタイピングを用いる場合には、医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン(日本医学会)を参照くださいますようお願いいたします。

ヒトゲノム・遺伝子解析の研究としてご依頼の場合

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和4年一部改正 文部科学省・厚生労働省・経済産業省)に則った研究につきましては、別途契約締結のうえ検査をご依頼くださいますようお願いいたします。ご契約につきましては、最寄りの営業所・営業拠点にお問い合わせください。

ご利用の手引き

包括項目

■悪性腫瘍組織検査 処理が容易なもの(◎)

肺癌におけるEGFR遺伝子検査 肺癌におけるROS1 融合遺伝子検査 肺癌におけるALK融合遺伝子検査 肺癌におけるBRAF遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。) 肺癌におけるMETex14遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。) 大腸癌におけるRAS遺伝子検査 大腸癌におけるBRAF遺伝子検査 乳癌におけるHER2遺伝子検査	固形癌におけるマイクロサテライト不安定性検査 濾胞性リンパ腫におけるEZH2遺伝子検査 肺癌におけるK-ras遺伝子検査 膵癌におけるK-ras遺伝子検査 悪性骨軟部組織腫瘍におけるEWS-Fli1遺伝子検査 悪性骨軟部組織腫瘍におけるTLS-CHOP遺伝子検査 悪性骨軟部組織腫瘍におけるSYT-SSX遺伝子検査 消化管間葉系腫瘍におけるc-kit遺伝子検査	悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節生検に係る遺伝子検査 大腸癌におけるEGFR遺伝子検査 大腸癌におけるK-ras遺伝子検査 リンチ症候群におけるマイクロサテライト不安定性検査(使用目的又は効果として、医薬品の適応を判定するための補助等に用いるものとして薬事承認又は認証を得ている体外診断用医薬品を使用した場合を除く。)

◎ 2項目 4000点 3項目 6000点 4項目以上 8000点

個別の遺伝子検査ごとではなく、臨床的な位置づけや検査技術に応じて類型化した評価体系となっています。

同一がん種に対して同時に複数の遺伝子検査を実施する場合には、検査の項目数に応じた評価となります。

患者から1回に採取した組織等を用いて同一がん種に対して、処理が容易なものとして処理が複雑なものを実施した場合は、それぞれの検査の項目数に応じた点数を合算した点数により算定できます。

■悪性腫瘍組織検査 処理が複雑なもの(●)

肺癌におけるBRAF遺伝子検査(次世代シーケンシング) 肺癌におけるMETex14 遺伝子検査(次世代シーケンシング) 肺癌におけるRET融合遺伝子検査 肺癌におけるHER2 遺伝子検査(次世代シーケンシング) 悪性黒色腫におけるBRAF遺伝子検査(リアルタイムPCR法、PCR-rSSO法) 固形癌におけるNTRK融合遺伝子検査	固形癌における腫瘍遺伝子変異量検査 固形癌におけるRET融合遺伝子検査 胆道癌におけるFGFR2 融合遺伝子検査 甲状腺癌におけるRET融合遺伝子検査 甲状腺癌におけるBRAF遺伝子検査 甲状腺髄様癌におけるRET遺伝子変異検査	固形腫瘍(肺癌及び大腸癌を除く。)におけるBRAF遺伝子検査(PCR-rSSO法) 悪性リンパ腫におけるBRAF遺伝子検査(PCR-rSSO法) 乳癌におけるAKT1 遺伝子変異検査 乳癌におけるPIK3CA遺伝子変異検査 乳癌におけるPTEN遺伝子変異検査

● 2項目 8000点 3項目以上 12000点

個別の遺伝子検査ごとではなく、臨床的な位置づけや検査技術に応じて類型化した評価体系となっています。

同一がん種に対して同時に複数の遺伝子検査を実施する場合には、検査の項目数に応じた評価となります。

患者から1回に採取した組織等を用いて同一がん種に対して、処理が容易なものとして処理が複雑なものを実施した場合は、それぞれの検査の項目数に応じた点数を合算した点数により算定できます。

■出血・凝固検査(□)

Dダイマー定性 プラスミンインヒビター(アンチプラスミン) Dダイマー半定量 von Willebrand因子(VWF)活性 Dダイマー α_2 -マクログロブリン PIVKA-II 凝固因子インヒビター von Willebrand因子(VWF)抗原	プラスミン・プラスミンインヒビター複合体(PIC) プロテインS抗原 プロテインS活性 β -トロンボグロブリン(β -TG) トロンビン・アンチトロンビン複合体(TAT) 血小板第4因子(PF ₄) プロトロンビンフラグメントF1+2 トロンボモジュリン フィブリンモノマー複合体	凝固因子(第Ⅱ因子、第Ⅴ因子、第Ⅶ因子、第Ⅷ因子、第Ⅸ因子、第Ⅹ因子、第Ⅺ因子、第Ⅻ因子、第Ⅻ因子) プロテインC抗原 プロテインC活性 tPA・PAI-1複合体

□ 3項目又は4項目 530点 5項目以上 722点

■血液化学検査(☆)

総ビリルビン 直接ビリルビン又は抱合型ビリルビン 総蛋白 アルブミン(BCP改良法・BCG法) 尿素窒素 クレアチニン 尿酸 アルカリホスファターゼ(ALP) コリンエステラーゼ(ChE) γ -グルタミルトランスフェラーゼ(γ -GT) 中性脂肪 ナトリウム及びクロール カリウム カルシウム マグネシウム	クレアチン グルコース 乳酸デヒドロゲナーゼ(LD) アミラーゼ ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP) クレアチンキナーゼ(CK) アルドラーゼ 遊離コレステロール 鉄(Fe) 血中ケトン体・糖・クロール検査(試験紙法・アンブル法・固定化酵素電極によるもの) 不飽和鉄結合能(UIBC)(比色法) 総鉄結合能(TIBC)(比色法) リン脂質 HDL-コレステロール 無機リン及びリン酸	総コレステロール アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST) アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT) LDL-コレステロール 蛋白分画 銅(Cu) リパーゼ イオン化カルシウム マンガン(Mn)

☆ 5項目以上7項目以下 93点 8項目又は9項目 99点 10項目以上 103点

■内分泌学的検査(△)

成長ホルモン(GH) 卵巣刺激ホルモン(FSH) C-ペプチド(CPR) 黄体形成ホルモン(LH) テストステロン 遊離サイロキシシン(FT ₄) 遊離トリヨードサイロニン(FT ₃) コルチゾール アルドステロン サイロキシシン結合グロブリン(TBG) サイログロブリン ヒト絨毛性ゴナドトロピン-βサブユニット(HCG-β) 脳性ナリ尿ペプチド(BNP) カルシトニン 抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体) ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定量 ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)半定量 脳性ナリ尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP) ヒト胎盤性ラクトローゲン(HPL) サイロキシシン結合能(TBC) プロゲステロン	グルカゴン 低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC) I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX) 酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b) オステオカルシン(OC) 遊離テストステロン 骨型アルカリホスファターゼ(BAP) インタクトI型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact PINP) I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(PINP) 低単位ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)半定量 副甲状腺ホルモン(PTH) カテコールアミン分画 I型コラーゲン架橋C-テロペプチド-β異性体(β-CTX)(尿) デヒドロエピアンドロステロン硫酸抱合体(DHEA-S) セクレチン I型コラーゲン架橋C-テロペプチド-β異性体(β-CTX) サイクリックAMP(cAMP) エストラジオール(E ₂) エストリオール(E ₃) エストロゲン半定量 エストロゲン定量	副甲状腺ホルモン関連蛋白C端フラグメント(C-PTHrP) 副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP) 副腎皮質刺激ホルモン(ACTH) カテコールアミン デオキシビリジノリン(DPD)(尿) 17-ケートジェニックステロイド(17-KGS) エリスロポエチン ソマトメジンC 17-ケートステロイド分画(17-KS分画) 17α-ヒドロキシプロゲステロン(17α-OHP) 抗IA-2抗体 プレグナンジオール メタネフリン 17-ケートジェニックステロイド分画(17-KGS分画) メタネフリン・ノルメタネフリン分画 心房性ナリ尿ペプチド(ANP) 抗利尿ホルモン(ADH) プレグナントリオール ノルメタネフリン インスリン様成長因子結合蛋白3型(IGFBP-3) 遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画

△3項目以上5項目以下 410点 6項目又は7項目 623点 8項目以上 900点

■腫瘍マーカー(○)

α-フェトプロテイン(AFP) 癌胎児性抗原(CEA) 扁平上皮癌関連抗原(SCC抗原) 組織ポリペプチド抗原(TPA) NCC-ST-439 CA15-3 DUPAN-2 エラスターゼ1 前立腺特異抗原(PSA) CA19-9 PIVKA-II半定量 PIVKA-II定量 CA125 核マトリックスプロテイン22(NMP22)定量(尿) 核マトリックスプロテイン22(NMP22)定性(尿)	シアリルLe ^x -i抗原(SLX) 神経特異エノラーゼ(NSE) SPan-1 CA72-4 シアリルTn抗原(STN) 塩基性フェトプロテイン(BFP) 遊離型PSA比(PSA F/T比) サイトケラチン19フラグメント(シフラ) シアリルLe ^x 抗原(CSLEX) BCA225 サイトケラチン8・18(尿) 抗p53抗体 I型コラーゲン-C-テロペプチド(ICTP) ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP) CA54/61	α-フェトプロテインレクチン分画(AFP-L3%) CA602 組織因子経路インヒビター2(TFPI2) γ-セミノプロテイン(γ-Sm) ヒト精巢上体蛋白4(HE4) 可溶性メソテリン関連ペプチド S2,3PSA% プロステートヘルスインデックス(phi) 癌胎児性抗原(CEA)定性(乳頭分泌液) 癌胎児性抗原(CEA)半定量(乳頭分泌液) HER2蛋白 アポリポ蛋白A2(APOA2)アイソフォーム 可溶性インターロイキン-2レセプター(sIL-2R)

○2項目 230点 3項目 290点 4項目以上 385点

■肝炎ウイルス関連検査(◇)

HBs抗原 HBs抗体 HBe抗原 HBe抗体 HCV抗体定性・定量 HCVコア蛋白 HBc抗体半定量・定量 HCVコア抗体	HA-IgM抗体 HA抗体 HBc-IgM抗体 HCV構造蛋白及び非構造蛋白抗体定性 HCV構造蛋白及び非構造蛋白抗体半定量 HE-IgA抗体定性 HCV血清群別判定 HBVコア関連抗原(HBcrAg)	デルタ肝炎ウイルス抗体 HCV特異抗体価 HBVジェノタイプ判定

◇3項目 290点 4項目 360点 5項目以上 425点

■自己抗体検査(★)

抗Jo-1抗体定性 抗Jo-1抗体半定量 抗Jo-1抗体定量 抗サイログロブリン抗体 抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 抗RNP抗体定性 抗RNP抗体半定量 抗RNP抗体定量 抗Sm抗体定性	抗Sm抗体半定量 抗Sm抗体定量 C ₁ q結合免疫複合体 抗Scl-70抗体定性 抗Scl-70抗体半定量 抗Scl-70抗体定量 抗SS-B/La抗体定性 抗SS-B/La抗体半定量 抗SS-B/La抗体定量	抗SS-A/Ro抗体定性 抗SS-A/Ro抗体半定量 抗SS-A/Ro抗体定量 抗RNAポリメラーゼⅡ抗体 抗ARS抗体 抗MDA5抗体 抗TIF1-γ抗体 抗Mi-2抗体

★2項目 320点 3項目以上 490点

ご利用の手引き

総合検査案内掲載内容

- 検体量**：検体量は再検査分を考慮して設定しております。
血清または血漿の場合、必要量の約3倍量を目安に血液を採血してください。（検体採血方法は①ページをご参照ください。）
- 保存**：指定の保存方法にてご提出ください。
凍結 必ず凍結(-10℃以下)保存してご提出ください。
冷蔵 冷蔵(2℃～15℃)で保存してご提出ください。
室温 必ず室温(16℃～30℃)で保存してご提出ください。
- 基準値**：「正常参考値および判定基準」は当社では「基準値」で表示しております。
「基準値」には基準範囲、臨床判断値等を含みます。
- 所要日数**：原則的には検体をお預かりした翌日を起算日とし、結果をお客様のお手元へお届けするまでの日数(通常の土曜・日曜日を含みます)です。
なお、次の場合は表示日数よりご報告が遅れることがありますので、あらかじめご了承ください。
 - ・再検査の場合や祝日の前後の場合
 - ・記載されている材料以外でのご依頼の場合
 - ・凍結マーク項目と同時のご依頼の場合
 - ・やむを得ず、重複不可マーク項目と同時のご依頼があった場合
- 実施料・判断料**：検体検査料は検体検査実施料と、検体検査判断料に区分されています。

検体検査判断料

	判断料	判断料区分		判断料	判断料区分
1. 尿・糞便等検査判断料	34点	※1	5. 生化学的検査(Ⅱ)判断料	144点	※5
2. 遺伝子関連・染色体検査判断料	100点	※2	6. 免疫学的検査判断料	144点	※6
3. 血液学的検査判断料	125点	※3	7. 微生物学的検査判断料	150点	※7
4. 生化学的検査(Ⅰ)判断料	144点	※4			

病理判断料

	判断料	判断料区分
病理判断料	130点	※8

- 採取条件**：検体を適正に採取するために、検体採取時に留意していただきたい事項です。（備考または容器の取り扱い方法をご参照ください。）
- 提出条件**：血清分離の要否など、適正な検査・測定を行うために必要な事項です。（備考または容器の取り扱い方法をご参照ください。）
 - 速やかに遠心** 採血後、長時間の室温放置は避け、速やかに遠心分離してください。遠心分離までに時間指定のある項目や、前処理、遠心分離前に冷却を必要とする項目等もありますので、備考欄または容器の取り扱い方法も併せてご参照ください。
 - 冷却遠心** 低温(4℃)にて遠心分離してください。
- 緊急報告検査値範囲** **緊急**：緊急報告検査値範囲(12ページ参照)が設定されておりますので、範囲を超えた場合には、当社より緊急連絡させていただきます。
- 予約検査** **予約検査**：予約検査となりますので、検体採取前に必ず最寄りの営業所・営業拠点へご連絡ください。
- 曜日指定** **曜日指定**：指定曜日のみ(休日除く)受託可能となりますので、ご注意ください。受託可能日につきましては、本文の備考欄をご参照ください。
- 参考文献**：検査方法についての基本的な参考文献です。（オ～ナ ページ参照）

マーク一覧

受付・報告関連	予約検査		予約検査となりますので、検体採取前に必ず最寄りの営業所・営業拠点へご連絡ください。
	曜日指定		指定曜日のみ(休日除く)受託可能となりますので、ご注意ください。受託可能日につきましては、本文の備考欄をご参照ください。
	緊急		緊急報告検査値範囲(12ページ参照)が設定されておりますので、範囲を超えた場合には、当社より緊急連絡させていただきます。
	ヒト倫理		ヒト遺伝子倫理指針対象項目となりますので、ご依頼につきましては、5ページをご参照ください。
	PGx		ファーマコゲノミクス(PGx)対象項目となりますので、ご依頼につきましては、6ページをご参照ください。
	海外		最終委託先が米国のため海外搬送となります。検体の返却等はできませんので、あらかじめご了承ください。
	重複不可		他項目との重複依頼は避けてください。やむをえず他項目と重複依頼された場合は、所要日数が変動する場合がございますので、予めご了承ください。
検体取り扱い	速やかに遠心		採血(採尿)後、長時間の室温放置は避け、速やかに遠心分離してください。遠心分離までに時間指定のある項目や、前処理、遠心分離前に冷却を必要とする項目等もありますので、備考欄または容器の取り扱い方法も併せてご参照ください。
	冷却遠心		低温(4℃)にて遠心分離してください。
	凍結		必ず凍結(-10℃以下)保存してご提出ください。
	冷蔵		冷蔵(2℃～15℃)で保存してご提出ください。 なお、長期間にわたって保存される場合は、凍結してくださいませようお願いいたします。ただし凍マークのついている項目は、長期間であっても凍結しないでください。
	室温		必ず室温(16℃～30℃)で保存してご提出ください。
	遮光		直射日光または蛍光灯等を避け、遮光した容器にてご提出ください。
	溶血不可		溶血検体は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
検査値への影響	不活化不可		不活化(非働化)検体は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
	酸性蓄尿不可		酸性蓄尿は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
	凍結不可		凍結(-10℃以下)保存は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。

主な単位記号

L	liter	M	mol/L
dL	deciliter(=0.1L)	mmol	millimole(=0.001mol)
mL	milliliter(=0.001L)	μmol	micromole(=10 ⁻⁶ mol)
μL	microliter(=10 ⁻⁶ L)	nmol	nanomole(=10 ⁻⁹ mol)
fL	femtoliter(=10 ⁻¹⁵ L)	pmol	picomole(=10 ⁻¹² mol)
kg	kirogram	fmol	femtomole(=10 ⁻¹⁵ mol)
g	gram	mm	millimeter
mg	milligram(=0.001g)	mm ²	squaremillimeter(平方ミリメートル)
μg	microgram(=10 ⁻⁶ g)	mm ³	cubicmillimeter(立方ミリメートル)
ng	nanogram(=10 ⁻⁹ g)	μ ³	cubicmicron(立方マイクロ)
pg	picogram(=10 ⁻¹² g)	Meq	megaequivalents
U	unit	mEq	milliequivalent
mU	milliunit(0.001U)	mOsm	milliosmole
μU	microunit(10 ⁻⁶ U)	%	percent
IU	international unit	‰	permill
mIU	milliinternational unit(=0.001 IU)	cpm	counts per minutes
AU	arbitrary unit	U _A	unit allergen

ご利用の手引き

検査項目欄の見かた

最終測定実施場所です。詳細につきましては②ページをご参照ください。

検体をお預かりした翌日を起算日とし、結果をお届けするまでの日数です。再検査の場合や祝日の前後はさらに日数を要することがあります。

検査方法名です。検査方法の概略につきましてはア～エページをご参照ください。

検査ご依頼にあたっての注意事項です。

項目コード
依頼書欄外項目ご
依頼時はそれぞれ
記載されている全
ての英数字をご記
入ください。

項目コード 新項目コード	検査項目名	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
P001 4 000010102 1068 5 000850129 L493 3 000850123	緊急 総蛋白(TP)	血清 0.5 髄液 0.5 蓄尿 0.5	S09 ↓ A00 A00 U00	冷蔵 (1ヵ月) 冷蔵 (1ヵ月) 冷蔵	1~2 1~2 2~4	① 11 ※4 ① 11 ※4 7 ※1	Biuret法 ピロガロール レッド法	6.7~8.3 (g/dL) 15~45 (mg/dL) 31.2~120.0 (mg/day)	&1
P002 3 000020102 4602 8 8L1130000 4603 7 8L1140000	アルブミン(Alb) 3A015-0000-023-271 尿中アルブミン 3A015-0000-004-061 尿中アルブミン (クレアチニン換算値) 3A015-0000-001-061	血清 0.5 蓄尿 0.5 部分尿 1	S09 ↓ A00 U00	冷蔵 (21日) 冷蔵 (1ヵ月) 冷蔵 (1ヵ月)	1~2 2~4 2~4	① 11 ※4 ② 99 ※1 ② 99 ※1	BCP改良法 免疫比濁法 免疫比濁法	3.8~5.2 (g/dL) 2~20 (mg/day) 尿中アルブミン換算値 10.0以下 (mg/g・CRE)	ヒトアルブミンと特異性の高いBCP と反応させる方法です。 &1 &1 &1
P020 3 000040102	A/G比 3A016-0000-023-919	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2		BCP改良法 /Biuret法	1.1~2.1	
A051 4 01213A302	蛋白分画 3A020-0000-023-237	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 18 ※4	キャピラリー 電気泳動法	ALB 55.8~66.1 (%) α1-グロブリン 2.9~4.9 (%) α2-グロブリン 7.1~11.8 (%) β1-グロブリン 4.7~7.2 (%) β2-グロブリン 3.2~6.5 (%) γ-グロブリン 11.1~18.8 (%) A/G 1.3~1.9	溶 溶血でのご依頼は避けてください。 &1
3324 8 017732702	C1q 5B040-0000-023-063	血清 0.4	S09 ↓ A00	凍結	2~8		ネフェロメトリー	8.8~15.3 (mg/dL)	&1

JLAC10の結果識別コードを除く15桁のコード(依頼項目)を記載しています。JLAC10コードは、日本臨床検査医学会が制定した臨床検査項目分類コードです。(コードの新設などの理由で変更となる場合があります。)

①「蛋白分画」、「総蛋白」及び「アルブミン」を併せて測定した場合は、主たるもの2つの所定点数を算定する。
②「尿中トランスフェリン」、「尿中アルブミン」及び「尿中M型コラーゲン」は、糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの(糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。)に対して行った場合に、3月に1回に限り算定できる。なお、これらを同時に行った場合は、主たるもののみ算定する。

ご提出いただく検体の保存条件です。採血後の保存条件ではありませんのでご注意ください。()内の安定性とは当社検討データによる検体の保存可能時間の目安を記載しています。

実施料、判断料区分です。※については⑨ページをご参照ください。
●については保険点数算定上の、同時算定不可、回数制限の算定条件を抜粋して欄外に掲載しています。

容器の取り扱いについては下記の例をご参照ください。また、取り扱い方法に条件がある項目もありますので、備考欄または容器の取り扱い方法もご参照ください。

(例1)検体が血清の場合

検体量 (mL)	容器
血清 0.5	S09 ↓ A00

汎用容器(S09)に血液を採取し、遠心分離後、血清0.5mLを別容器(A00)に移し替えてご提出ください。
血清または血漿の場合、必要量の約3倍量を目安に血液を採取してください。

(例2)添加剤入り容器に採取し、遠心分離後、上清をご提出いただく場合

検体量 (mL)	容器
血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00

当社専用容器(PN2, PN5)に血液を採取し、遠心分離後、血漿0.5mLを別容器(A00)に移し替えてご提出ください。
血清または血漿の場合、必要量の約3倍量を目安に血液を採取してください。

(例3)検体が添加剤入りの血液の場合

検体量 (mL)	容器
血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN7

当社専用容器(PN7)に血液5.0mLを採取し、よく混和させ、そのままご提出ください。
採取および提出とも同一容器(PN7)で、別容器への移し替えは不要です。

検査項目	基準値	単位	緊急報告検査値範囲
総蛋白(T P)	6.7 ~ 8.3	g/dL	5.0g/dL以下
総ビリルビン(T-Bil)	0.3 ~ 1.2	mg/dL	12.0mg/dL以上
新生児ビリルビン			20.0mg/dL以上
尿素窒素(U N)	8.0 ~ 22.0	mg/dL	80.0mg/dL以上(透析検体を除く)
クレアチニン(C r e)	M 0.61 ~ 1.04 F 0.47 ~ 0.79	mg/dL	5.00mg/dL以上(透析検体を除く)
ナトリウム(Na)	136 ~ 147	mEq/L	110mEq/L以下, 170mEq/L以上(透析検体を除く)
カリウム(k)	3.6 ~ 5.0	mEq/L	2.5mEq/L以下, 6.5mEq/L以上(透析検体を除く)
クロール(C l)	98 ~ 109	mEq/L	80mEq/L以下, 120mEq/L以上(透析検体を除く)
血糖(G L U)	70 ~ 109	mg/dL	50mg/dL以下, 500mg/dL以上
白血球数(W B C)	M 3900 ~ 9800 F 3500 ~ 9100	/ μ L	1000/ μ L以下, 25000/ μ L以上
血色素量(H b)	M 13.5 ~ 17.6 F 11.3 ~ 15.2	g/dL	5.0g/dL以下
ヘマトクリット(H t)	M 39.8 ~ 51.8 F 33.4 ~ 44.9	%	15.0%以下
血小板数(P L T)	M 13.1 ~ 36.2 F 13.0 ~ 36.9	$\times 10^4$ / μ L	3.0×10^4 / μ L以下, 100.0×10^4 / μ L以上
P T-I N R	0.85 ~ 1.15		4.00以上
血液像(S T)			芽球・幼若細胞出現時
ジゴキシン	0.8 ~ 2.0	ng/mL	2.5ng/mL以上
テオフィリン	10.0 ~ 20.0	μ g/mL	25 μ g/mL以上
フェノバルビタール	10.0 ~ 40.0	μ g/mL	60 μ g/mL以上
フェニトイン	10.0 ~ 20.0	μ g/mL	30 μ g/mL以上
カルバマゼピン	4.0 ~ 12.0	μ g/mL	12 μ g/mL以上
バルプロ酸	50.0 ~ 100.0	μ g/mL	150 μ g/mL以上

生化学的検査

蛋白・膠質反応／酵素および関連物質

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
蛋白・ 膠質反 応	P001 4 000010102	緊急 総蛋白(TP) 3A010-0000-023-271 1C010-0000-041-271 1A015-0000-004-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	① 11 ※4	Biuret法	6.7~8.3 (g/dL)	
	1068 5 000850129		髄液 0.5	A00	冷蔵	1~2	① 11 ※4	ピロガロール レッド法	15~45 (mg/dL)	
	L493 3 000850123		蓄尿 0.5	U00	冷蔵	2~4	⑦ ※1		31.2~120.0 (mg/day)	&1
	P002 3 000020102	アルブミン(Alb) 3A015-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	1~2	① 11 ※4	BCP改良法	3.8~5.2 (g/dL)	ヒトアルブミンと特異性の高いBCP と反応させる方法です。
	4602 8 8L1130000	尿中アルブミン 3A015-0000-004-061	蓄尿 0.5	U00	冷蔵 (1ヵ月)	2~4	② 99 ※1	免疫比濁法	2~20 (mg/day)	酸 &1
	4603 7 8L1140000	尿中アルブミン (クレアチニン換算値) 3A015-0000-001-061	部分尿 1	U00	冷蔵 (1ヵ月)	2~4	② 99 ※1	免疫比濁法	尿中アルブミン換算値 10.0以下 (mg/g・CRE)	酸 &1
	P020 3 000040102	A/G比 3A016-0000-023-919	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2		BCP改良法 /Biuret法	1.1~2.1	
	A051 4 01213A302	蛋白分画 3A020-0000-023-237	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 18 ※4	キャピラリー 電気泳動法	ALB 55.8~66.1 (%) α1-グロブリン 2.9~4.9 (%) α2-グロブリン 7.1~11.8 (%) β1-グロブリン 4.7~7.2 (%) β2-グロブリン 3.2~6.5 (%) γ-グロブリン 11.1~18.8 (%) A/G 1.3~1.9	溶血でのご依頼は避けてください。 溶 &1
	A262 0 000043521	尿中蛋白分画 3A020-0000-001-233	部分尿 1	U00	冷蔵		① 18 ※4	アガロースゲル 電気泳動法	(%)	血清材料は、項目コードNO.A051 4 蛋白分画をご依頼ください。 &1
	P003 2 000061102	クンケル反応(ZTT) 3A030-0000-023-292	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (3日)	1~2		日本消化器病学会 肝機能研究班 標準法変法	4.0~12.0 (U)	
酵素および 関連物質	P087 0 000070202	CK(CPK) 3B010-0000-023-272	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (10日)	1~2	11 ※4	JSCC 標準化対応法	M 62~287 F 45~163 (U/L)	
	3684 9 013740202	CK-MB (CPK-MB) 3B015-0000-023-272 3B015-0000-023-051	血清 各 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (6日)	2~4		免疫阻止-UV法	MB 25以下 TOTAL M 62 ~ 287 F 45 ~ 163 (U/L)	本項目は、TOTALのCK(CPK)の測 定結果も併せてご報告いたします。 &1
	3746 0 013741002				凍結		90 ※4	CLIA	5.0 以下 (ng/mL)	&1
	3282 5 011283502	CK(CPK) アイソザイム 3B025-0000-023-233	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結	2~4	55 ※4	アガロースゲル 電気泳動法	BB 2以下 MB 6以下 MM 93~99 (%)	採血後、速やかに血清分離してくだ さい。 &1

①「蛋白分画」、「総蛋白」及び「アルブミン」を併せて測定した場合は、主たるもの2つの所定点数を算定する。

②「尿中トランスフェリン」、「尿中アルブミン」及び「尿中IV型コラーゲン」は、糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの(糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。)に対して行った場合に、3月に1回に限り算定できる。なお、これらを同時に行った場合は、主たるもののみ算定する。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
酵 素 お よ び 関 連 物 質	0021 7 000080202	AST(GOT) 3B035-0000-023-272	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (14日)	1~2	17 ※4	JSCC 標準化対応法	10~40 (U/L)	溶血でのご依頼は避けてください。
	P007 8 000090202	ALT(GPT) 3B045-0000-023-272	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (14日)	1~2	17 ※4	JSCC 標準化対応法	5~40 (U/L)	
	L774 1 00015A802	LD(LDH)IFCC 3B050-0000-023-279	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (3日)	1~2	11 ※4	IFCC 標準化対応法	124~222 (U/L)	溶血でのご依頼は避けてください。
	3261 8 011233502	LD(LDH) アイソザイム 3B055-0000-023-233	血清 0.3	S09 ↓ A00	室温	2~4	48 ※4	アガロースゲル 電気泳動法	LDH1 21~31 LDH2 28~35 LDH3 21~26 LDH4 7~14 LDH5 5~13 (%)	溶血でのご依頼は避けてください。 (溶血の場合LDH1、2、3の上昇が 考えられます。) LDH5が多く含まれる検体では、 IFCC法に基づく分画値と乖離する 場合があります。&1
	L773 2 00017A802	アルカリフォスファターゼ (ALP)IFCC 3B070-0000-023-275	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	11 ※4	IFCC 標準化対応法	38~113 (U/L)	
	3345 5 016410602	骨型アルカリ フォスファターゼ(BAP) 3B072-0000-023-052	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	12 157 ※5	CLEIA	男性 3.7~20.9 閉経前女性 2.9~14.5 閉経後女性 3.8~22.6 (μg/L)	&1
	A190 0 030140629	胎盤型アルカリ フォスファターゼ (PLAP) 3B076-0000-041-052	髄液 0.5	A00	冷蔵 (28日)	2~6		CLEIA	(pg/mL)	&1
	3267 2 011243502	ALPアイソザイム (IFCC) 3B080-0000-023-238	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	48 ※4	アガロースゲル 電気泳動法	ALP1 0.0~5.3 ALP2 36.6~69.2 ALP3 25.2~54.2 ALP5 0.0~18.1 (%)	血液型BまたはO型でLewis分泌型 の人では、ALP総活性値および ALP5の出現率が高くなることがあ ります。&1
	0020 8 000120102	γ-GT(γ-GTP) 3B090-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	11 ※4	JSCC 標準化対応法	M 70 以下 F 30 以下 (U/L)	基準値には飲酒群が含まれておりま す。
	3686 7 012260202	アルドラーゼ 3B100-0000-023-272	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	11 ※4	UV-酵素法	2.1~6.1 (U/L)	溶血でのご依頼は避けてください。&1
物 質	P021 2 000130202	コリンエステラーゼ (ChE) 3B110-0000-023-272	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	11 ※4	JSCC 標準化対応法	M 242~495 F 200~459 (U/L)	
	3700 0 018010102	グアナーゼ 3B125-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	35 ※4	酵素法	1.0以下 (U/L)	&1
	3702 8 014560102	アデノシンデアミナーゼ (ADA) 3B130-0000-023-272	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	32 ※4	酵素法	5.0~20.0 (U/L)	&1
	P022 1 000140102	ロイシナミノペプチダーゼ (LAP) 3B135-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	11 ※4	酵素法 (L-ロイシル-p- ニトロアニリド基質)	35~73 (U/L)	

- ①「ALPアイソザイム(PAG電気泳動法)」、「ALPアイソザイム及び骨型アルカリホスファターゼ(BAP)」及び「骨型アルカリホスファターゼ(BAP)」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ②「骨型アルカリホスファターゼ(BAP)」、「I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(PINP)」、「インタクトI型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact PINP)」及び「ALPアイソザイム(PAG電気泳動法)」のうち2項目以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

生化学的検査

酵素および関連物質

生化学的検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
酵 素 お よ び 関 連 物 質	P018 6 000150102	アミラーゼ(AMY)	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	① 11 ※4	JSCC 標準化対応法	37~125 (U/L)	
	P082 5 000150121	3B160-0000-023-271 3B160-0000-001-271	部分尿 5	U00	冷蔵		① 11 ※4		65~700 (U/L)	
	3274 4 011252602	アミラーゼ アイソザイム	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 48 ※4	アガロースゲル 電気泳動法	TOTAL-S 36.0~84.3 TOTAL-P 15.7~64.0 (%)	
	4591 1 011252621	3B165-0000-023-233 3B165-0000-001-233	部分尿 0.5	U00	冷蔵		① 48 ※4		TOTAL-S 17.7~61.3 TOTAL-P 38.7~82.3 (%)	&1
	3682 1 018560102	P型アミラーゼ定量 3B175-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	① 48 ※4	JSCC 標準化対応法	21~64 (U/L)	&1
	3681 2 012230102	リパーゼ 3B180-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	① 24 ※4	合成基質 比色法	13~55 (U/L)	&1
	B049 6 000340702	トリプシン 3B185-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 189 ※4	ラテックス 凝集比濁法	210~570 (ng/mL)	&1
	3788 4 012392002	膵ホスホリパーゼA ₂ (膵PLA ₂)	冷却遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	204 ※4	RIA固相法	130~400 (ng/dL)	
	4067 3 012392003	3B192-0000-023-005 3B192-0000-022-005	冷却遠心 血漿 0.3	PN2, PN5 ↓ A00	凍結		204 ※4			&1
	3037 7 013011902	エラスターゼ1 3B195-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結	2~4	① 120 ※5 (腫2)	ラテックス 免疫比濁法	300以下 (ng/dL)	&1
質	8775 3 015140738	子宮頸管粘液中 顆粒球エラスターゼ 3B200-0000-058-062	子宮頸管 粘液	VP6	凍結 (1ヵ月)	2~4	② 116 ※1	ラテックス 凝集免疫法	1.60以下 (μg/mL)	検体採取方法は50ページを ご参照ください。 &1
	K128 9 019880802	骨型酒石酸抵抗性 酸性フォスファターゼ (TRACP-5b) 3B222-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結	2~4	③ 156 ※5 (腫2)	EIA	男性: 170~590 女性(YAM): 120~420 (mU/dL)	YAM:若年者成人平均値 女性の基準値は、健常閉経前女性(30 ~44歳)で確立された平均±1.96標 準偏差の範囲としております。なお、 閉経後女性にも適用されます。 &1

(腫2):悪性腫瘍特異物質治療管理料(47ページ参照)

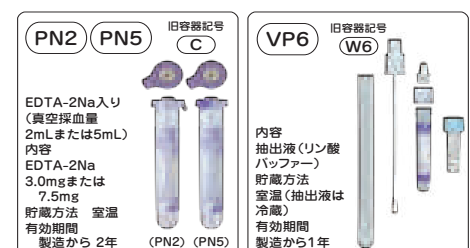
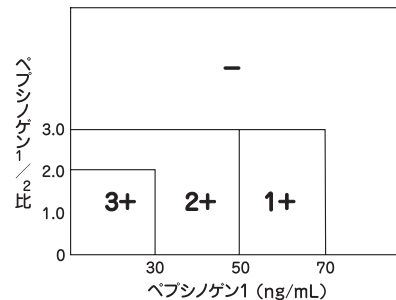
- ①「トリプシンノーゲン2(尿)」と、「アミラーゼ」、「リパーゼ」、「アミラーゼアイソザイム」、「トリプシン」又は「エラスターゼ1」を併せて実施した場合には、いずれか主たるもののみ算定する。
- ②「顆粒球エラスターゼ(子宮頸管粘液)」は、絨毛羊膜炎の診断のために妊娠満22週以上満37週未満の妊婦で切迫早産の疑いがある者に対して行った場合に算定する。
- ③「酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)」は、代謝性骨疾患及び骨転移(代謝性骨疾患や骨折の併発がない肺癌、乳癌、前立腺癌に限る)の診断補助として実施した場合に1回、その後6月以内の治療経過観察時の補助的指標として実施した場合に1回に限り算定できる。また治療方針を変更した際には変更後6月以内に1回に限り算定できる。
- 本検査と「I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX)」、「オステオカルシン(OC)」又は「デオキシピリジノリン(DPD)(尿)」を併せて実施した場合は、いずれか一つのみ算定する。

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
3683 0 012241102	リゾチーム	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4		比濁法	5.0~10.2 ($\mu\text{g/mL}$)	
4682 0 012241121	3B255-0000-023-292 3B255-0000-001-292	部分尿 0.4	U00	冷蔵				0.1未満 ($\mu\text{g/mL}$)	&1
3698 4 010190102	アンギオテンシン I 転換酵素(ACE) 3B325-0000-023-271	血清 0.7	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	136 ※4	笠原法	8.3~21.4 (U/L)	EDTA血漿は測定不能となります。 &1
4683 9 017820121	N-アセチル グルコサミニダーゼ (NAG) 3B330-0000-001-272	部分尿 0.5	U00	冷蔵	2~4	41 ※1	比色法	0.7~11.2 (IU/L)	&1
6762 9 019140602	ペプシノゲン 3B339-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4		CLEIA	下記参照	&1
4646 0 016850702	MMP-3 (マトリックスメタロ プロテイナーゼ-3) 3B503-0000-023-062	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	116 ※6	LTIA	M 36.9~121 F 17.3~59.7 (ng/mL)	不活化(非動化)検体ではデータ影 響を及ぼす場合がありますので避 けてください。 &1

- ①「リウマトイド因子(RF)定量」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定性」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定量」、「マトリックスメタロプロテイナーゼ-3(MMP-3)」、「C1q結合免疫複合体」、「モノクローナルRF結合免疫複合体」及び「IgG型リウマトイド因子」のうち3項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの2つに限り算定する。
- ②「抗シトルリン化ペプチド抗体定性」、「抗シトルリン化ペプチド抗体定量」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定性」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定量」、「マトリックスメタロプロテイナーゼ-3(MMP-3)」、「C1q結合免疫複合体」、「モノクローナルRF結合免疫複合体」及び「IgG型リウマトイド因子」のうち2項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの1つに限り算定する。

[6762 9]ペプシノゲン(判定基準)

		ペプシノゲン1	ペプシノゲン1/2比
強陽性	3+	30 ng/mL以下	かつ 2.0以下
中程度陽性	2+	50 ng/mL以下	かつ 3.0以下
陽性	1+	70 ng/mL以下	かつ 3.0以下
陰性	—	上記条件以外	



生化学的検査

酵素および関連物質

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
5506 4 T00005506	胃がんリスク層別化 検査(ABC分類) [LA] 3B347-0000-023-920	血清 各1.0	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4		ラテックス 凝集比濁法 CLEIA	下記参照	<ピロリ菌の除菌治療前> ペプシノゲンとヘリコバクターピ ロリ抗体を実施し、それぞれの検 査結果とABC分類をご報告いたし ます。 &1
5507 3 T00005507	胃がんリスク層別化 検査(ABC分類) 除菌あり[LA] 3B347-0000-023-920								<ピロリ菌の除菌治療後> ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、 ABC分類の判定対象にはなりません。 除菌判定結果に関わらず、E群 (除菌群)としてご報告いたします。 &1

[5506 4、5507 3]胃がんリスク層別化検査(ABC分類)[LA]報告書

**胃がんリスク層別化検査報告書**

〒

カルテID
材 料
受付ID

提出日
受付日
報告日

月 日
年 月 日
年 月 日

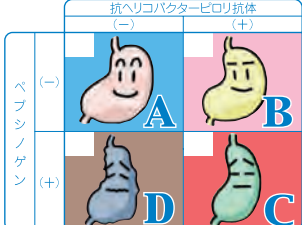
提出医
科 名
病 棟
その他

先生

院

ABC分類の判定は **です**

ピロリ菌の除菌
後の方は、E群
(除菌群)になり
ます



検 査 項 目	結 果	単 位	コ メ ン ト	判 定 基 準
ペプシノゲン1 (PG1)		ng/mL		3+: PG1 30ng/mL以下 かつ 1/2比2.0以下
ペプシノゲン2 (PG2)		ng/mL		2+: PG1 50ng/mL以下 かつ 1/2比3.0以下
ペプシノゲン1/2比				1+: PG1 70ng/mL以下 かつ 1/2比3.0以下
ペプシノゲン判定				—: 上記以外

・検査方法: CLEIA

検 査 項 目	結 果	単 位	コ メ ン ト	判 定 基 準
抗ヘリコバクターピロリ抗体		U/mL		10未満 (—)

・検査方法: ラテックス凝集比濁法(H.ピロリーラテックス「生研」)

ABC分類に適さない方
胃の病気の治療中の方、胃切除後の方、胃酸を抑える薬を服用中の方、腎不全の方、ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、医療機関にご確認・ご相談ください。

コメント

検査責任者

**株式会社 エスアールエル**
〒114-8501 東京都八王子市小宮町5-1番地
94962-1912-01-H141

胃がんリスク層別化検査は、「ヘリコバクターピロリ菌感染の有無を調べる検査」と「胃粘膜萎縮(老化)の有無を調べる検査」を組み合わせ、胃の健康度を分類するものです。
「がんを見つける検査」ではありません。

**A群**
おおむね健康的な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。逆流性食道炎などピロリ菌に関連しない病気に注意しましょう。未感染の可能性が高いですが、一部にはピロリ菌の感染や感染の既往のある方が含まれます。一度は内視鏡検査等の画像検査を受ける事が理想的です。

**B群**
少し弱った胃粘膜です。胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意しましょう。胃がんのリスクもあります。内視鏡検査を受けましょう。ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。

**C群**
萎縮の進んだ弱った胃粘膜と考えられます。胃がんになりやすいタイプと考えられます。定期的な内視鏡検査をお勧めします。ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。

**D群**
萎縮が非常に進んだ胃粘膜と考えられます。胃がんなどの病気になるリスクがあります。ピロリ菌感染診断をお勧めします。かならず専門医療機関で内視鏡など診断を受けご相談ください。

**E群**
ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果に関わらずE群(除菌群)として定期的な内視鏡検査を受けましょう。E群は除菌により胃がんになるリスクは低くなりますが、決してゼロになるわけではありませんので、除菌後も内視鏡による経過観察が必要です。

問診 除菌の有無を確認する

除菌治療をされていない場合

A群

B群

C群

D群

E群(除菌群)

内視鏡検査

除菌治療

除菌判定

リスクに応じた画像診断

除菌治療をされた場合

E群(除菌群)

ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果に関わらず、E群(除菌群)として、定期的な内視鏡検査を受けましょう。

ペプシノゲン法(検査項目名称: ペプシノゲン)
「ペプシノゲン」という物質の血中濃度を測定することで、胃粘膜の萎縮(老化)を客観的に調べる検査です。

ヘリコバクターピロリ抗体(検査項目名称: 抗ヘリコバクターピロリ抗体)
胃がヘリコバクターピロリ菌に感染していないかを調べる検査です。

監修 一般財団法人 浮風会 浮風会健康管理センター 井上和彦

[5506 4]胃がんリスク層別化検査(ABC分類)[LA]の注意事項

以下の場合には、正しい結果が得られない可能性があります。

1. 明らかな上部消化器症状のある方
2. 上部消化管疾患治療中の方
3. プロトンポンプ阻害剤服用中の方
4. 胃切除をされた方
5. 腎不全の方
6. ピロリ菌の除菌治療を受けた方

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
低分子窒素化合物	3622 7 012200102	クレアチン 3C010-0000-023-271 3C010-0000-004-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	11 ※4	酵素法	0.17~1.00 (mg/dL)	&1
	4662 2 012200123		蓄尿 5	U00	冷蔵		11 ※4		M 0.20以下 F 0.43以下 (g/day)	
	P012 2 000170102	緊急 クレアチニン 3C015-0000-023-271 3C015-0000-001-271 3C015-0000-004-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヶ月)	1~2	11 ※4	酵素法	M 0.61~1.04 F 0.47~0.79 (mg/dL)	推算GFRcreat(項目コード No.P228 3)を同時に依頼いただき ますと推算GFRcreat値をご報告 いたします。 (下記参照)
	0124 3 000170121		部分尿 5	U00	冷蔵		11 ※4		(mg/dL)	
	L484 3 000170123		蓄尿 5	U00	冷蔵	2~4	11 ※4		M 0.70~2.20 F 0.40~1.50 (g/day)	
	0112 6 019641802	シスタチン C 3C016-0000-023-064	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	112 ※4	金コロイド 凝集法	M 0.63~0.95 F 0.56~0.87 (mg/L)	推算GFRcys(項目コード No.K591 5)を同時に依頼いただき ますと推算GFRcys値をご報告い たします。 (下記参照) &1
	P016 8 000190102	尿酸(UA) 3C020-0000-023-271 3C020-0000-001-271 3C020-0000-004-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	1~2	11 ※4	酵素法 (ウリカーゼ POD法)	M 3.7~7.0 F 2.5~7.0 (mg/dL)	高尿酸血症: 7.0 mg/dL超(高尿酸 血症・痛風の治療ガイドライン(日 本痛風・核酸代謝学会)2002年) 蓄尿: 凍結保存は避けてください。 蓄尿は依頼項目ごとに単独の検体 をご提出ください。 &1
	0127 0 000190121		部分尿 5	U00	冷蔵	2~4	11 ※4		(mg/dL)	
	L485 2 000190123		蓄尿 5	U00	冷蔵		11 ※4		0.4~1.2 (g/day)	
	0004 6 000210202	緊急 尿素窒素(UN) 3C025-0000-023-272 3C025-0000-001-272 3C025-0000-004-272	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	1~2	11 ※4	ウレアーゼ GLDH・UV法 (アンモニア消去)	8.0~22.0 (mg/dL)	&1
	0104 5 000210221		部分尿 5	U00	冷蔵	2~4	11 ※4	ウレアーゼ・ LED・UV法 (回避)	(mg/dL)	
	L486 1 000210223		蓄尿 5	U00	冷蔵		11 ※4		6.5~13.0 (g/day)	
	P091 5 000160119	アンモニア 3C040-0000-031-271	速やかに遠心 除蛋白液 3	M40 ↓ A00	凍結	1~2	50 ※4	酵素サイク リング法	30~80 (μg/dL)	採血後、直ちに正確に血液1.0mLを 専用容器(M40)に加え、充分攪拌 後3000rpm5分間遠心分離し、そ の上清液をご提出ください。

- ①「イヌリン」は、「尿素窒素」又は「クレアチニン」により腎機能低下が疑われた場合に、6月に1回に限り算定できる。ただし、「クレアチニン(腎クリアランス測定)の目的で行い、血清及び尿を同時に測定する場合に限る。」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ②シスタチンC
ア「シスタチンC」は、ElA法、ラテックス凝集比濁法、金コロイド凝集法又はネフェロメトリー法により実施した場合に限り算定できる。
イ「シスタチンC」は、「尿素窒素」又は「クレアチニン」により腎機能低下が疑われた場合に、3月に1回に限り算定できる。ただし、「ペントシジン」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

推算GFRcreatについて

日本人のGFRcreat推算式

$$\text{男性: 推算GFRcreat値(mL/min/1.73m}^2\text{)} = 194 \times \text{Cr}^{-1.094} \times \text{Age}^{-0.287}$$

$$\text{女性: 推算GFRcreat値(mL/min/1.73m}^2\text{)} = 194 \times \text{Cr}^{-1.094} \times \text{Age}^{-0.287} \times 0.739$$

報告条件

- ①クレアチニン(項目コード No.P0122)と同時に依頼された場合のみ、ご報告いたします。
- ②下記に該当する場合は、ご報告できません。
 - ・「クレアチニン」あるいは「推算GFRcreat」のいずれか1項目のみご依頼された場合。
 - ・年齢及び性別が依頼書に記載されていない場合。
 - ・年齢が18歳未満の場合。
- ③正式な単位は、「mL/min/1.73m²」ですが、報告単位は「mL/min」と略して報告させていただきます。

推算GFRcysについて

日本人のGFRcys推算式

$$\text{男性: 推算GFRcys値(mL/min/1.73m}^2\text{)} = (104 \times \text{Cys} - \text{C}^{-1.019} \times 0.996^{\text{Age}}) - 8$$

$$\text{女性: 推算GFRcys値(mL/min/1.73m}^2\text{)} = (104 \times \text{Cys} - \text{C}^{-1.019} \times 0.996^{\text{Age}} \times 0.929) - 8$$

血清シスタチンCは国際的な標準物質に基づく測定結果を用いて推算いたします。
18歳以上に適用されます。(18歳未満には適用しません。)

報告条件

- ①シスタチンC(項目コード No.0112 6)と同時に依頼された場合のみ、ご報告いたします。
- ②下記に該当する場合は、ご報告できません。
 - ・「シスタチンC」あるいは「推算GFRcys」のいずれか1項目のみご依頼された場合。
 - ・年齢及び性別が依頼書に記載されていない場合。
 - ・年齢が18歳未満の場合。
- ③正式な単位は、「mL/min/1.73m²」ですが、報告単位は「mL/min」と略して報告させていただきます。



生化学的検査

低分子窒素化合物

生化学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
K347 6 02040A103	アミノ酸分析(39種類) [LC/MS] 3C045-0000-022-205	速やかに 冷却 凍心 血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	4~6	1107 ※5	LC/MS	下記参照	採血後、速やかによく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。 &1
4693 8 020401423	アミノ酸分析(41種類) 3C045-0000-004-204	酸性蓄尿 2	U00	凍結 (21日)	7~10	1107 ※5	HPLC	下記参照	6N塩酸約20mLを入れた蓄尿瓶へ24時間蓄尿し、よく混和後必要量を必ず凍結保存しご提出ください。 尿量が少ない場合には尿100mLに対して6N塩酸1mLの割合で入れてください。 必ず酸性蓄尿に(pH1.0~3.0)してください。 &1
K348 5 02040A203	アミノ酸分析(9種類) [LC/MS] 3C046-0000-022-205	速やかに 冷却 凍心 血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	3~5	1107 ※5	LC/MS	下記参照	採血後、速やかによく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。 &1
K349 4 02040A303	アミノ酸分析2種類 (チロシン・フェニルアラニン) [LC/MS] 3C046-0000-022-205	速やかに 冷却 凍心 血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	3~5	279 + 279 ※5	LC/MS	チロシン 40.4~90.3 (nmol/mL) フェニルアラニン 42.6~75.7 (nmol/mL) フィッシャー比 2.43~4.40	採血後、速やかによく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。 &1
0165 8 02305A102	総分岐鎖アミノ酸/ チロシンモル比 (BTR) 3C047-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結	2~4	283 ※5	酵素法	BCAA/TYR RATIO (BTR) 4.41~10.05 BCAA 344~713 (μmol/L) TYR 51~98 (μmol/L)	溶血でのご依頼は避けてください。 &1

アミノ酸分析(39種類(血漿)、41種類(尿)、9種類(血漿))基準値

アミノ酸名	略 号	基準値	
		血 漿	尿
Taurine	Tau	39.5~93.2	322.2~5214.5
Phosphoethanolamine★	PEA		31.0~110.0
Urea	★ Urea		◎130.3~493.2
Aspartic acid	Asp	2.4以下	12.7以下
Hydroxyproline	Hypro	21.6以下	ND
Threonine	Thr	66.5~188.9	79.9~528.3
Serine	Ser	72.4~164.5	208.8~1020.0
Asparagine	Asn	44.7~96.8	60.7~372.3
Glutamic acid	Glu	12.6~62.5	11.3~42.7
Glutamine	Gln	422.1~703.8	207.0~1357.3
Sarcosine	Sarco	TR	99.0以下
α-Aminoadipic acid	α-AAA	ND	16.7~118.6
Proline	Pro	77.8~272.7	ND
Glycine	Gly	151.0~351.0	652.1~3670.6
Alanine	Ala	208.7~522.7	141.2~833.9
Citrulline	Cit	17.1~42.6	13.5~55.6
α-Aminobutyric acid	α-ABA	7.9~26.6	27.1以下
※Valine	Val	147.8~307.0	24.8~82.2
Cystine	Cys	13.7~28.3	23.7~170.9
Cystathionine	Cystio	TR	TR~44.7
※Methionine	Met	18.9~40.5	TR~20.2
※Isoleucine	Ileu	43.0~112.8	7.5~23.5
※Leucine	Leu	76.6~171.3	24.6~89.3
※Tyrosine	Tyr	40.4~90.3	50.6~308.4
※Phenylalanine	Phe	42.6~75.7	27.2~110.2

※印はアミノ酸分析(9種類)の実施アミノ酸名

ND:測定感度以下 TR:痕跡

★印は「アミノ酸」ではありませんが、本項目に含めて測定いたします。

単位 血漿: nmol/mL、尿: μmol/day(ただし◎印(Urea)はmmol/day)

アミノ酸名	略 号	基準値	
		血 漿	尿
γ-Amino β-hydroxy butyric acid	γ-A β-HBA	ND	ND
β-Alanine	β-Ala	TR	TR~153.0
β-Amino-iso-butyric acid	β-AIBA	TR	TR~1623.9
γ-Aminobutyric acid	γ-ABA	ND	ND
Monoethanolamine	★ MEA	10.4以下	195.3~606.2
Homocystine	Homocys	ND	ND
※Histidine	His	59.0~92.0	436.4~2786.5
3-Methylhistidine	3-Me His	5.0以下	113.4~480.9
1-Methylhistidine	1-Me His	18.5以下	59.3~2816.2
Carnosine	★ Carno	ND	87.6以下
Anserine	★ Ans	ND	231.4以下
Tryptophan	Trp	37.0~74.9	20.7~150.7
Hydroxylysine	Hylys	ND	22.9以下
Ornithine	Orni	31.3~104.7	6.9~43.9
※Lysine	Lys	108.7~242.2	51.6~1639.6
※Arginine	Arg	53.6~133.6	11.6~54.8
Total AA(総アミノ酸: 非必須アミノ酸の和+ 必須アミノ酸の和)		2068.2~3510.3	
NEAA(非必須アミノ酸の和)		1381.6~2379.4	
EAA(必須アミノ酸の和)		660.0~1222.3	
BCAA(分岐鎖アミノ酸の和)		265.8~579.1	
EAA/NEAA(必須アミノ酸の和/非必須アミノ酸の和)		0.40~0.63	
BCAA/Total AA(分岐鎖アミノ酸の和/総アミノ酸)		0.11~0.18	
フィッシャー比		2.43~4.40	

EAA/NEAA、BCAA/Total AA、フィッシャー比においては単位なし

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
低分子窒素化合物	4253 6 018831403	γ-アミノ酪酸(GABA)	速やかに遠心 血漿 1.0	PH5 ↓ A00	凍結 (21日)	5~11	279 ※5	HPLC	120~210 (pmol/mL)	採血後、速やかに血漿分離してください。 &1
	6666 6 018831429	3C050-0000-022-204 3C050-0000-041-204	髄液 1.0	A00	凍結		279 ※5		(pmol/mL)	&1
	4694 7 017721423	ハイドロキシプロリン-総 3C055-0000-004-204	蓄尿 1	U00	冷蔵 (28日)	4~17	279 ※5	HPLC	83~330 (μmol/day)	&1
	9047 0 00086A103	血中総ホモシステイン 3C070-0000-022-205	速やかに遠心 血漿 0.3	PN2,PN5 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~5	279 ※5	LC/MS/MS	M 7.0~17.8 F 5.3~15.2 (nmol/mL)	採血後、速やかに血漿分離してください。 &1
糖質および関連物質	P023 0 000230203	緊急 血糖 3D010-0000-022-272	血漿 0.5	PF2 ↓ A00	冷蔵 (21日)	1~2	11 ※4	ヘキソキナーゼ UV法	70~109 (mg/dL)	
	0547 4 000250703	ヘモグロビンA1c (HbA1c)(NGSP) 3D046-0000-019-271	血液 2.0 (フッ化Na加)	PF2	冷蔵 (5日)	1~2	① 49 ※3	酵素法	4.6~6.2 (%)	凍結保存は避けてください。 データに影響を及ぼす場合がありますので、必ず専用容器(PF2)に採血しご提出ください。
	3342 8 000240102	グリコアルブミン 3D055-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	① 55 ※4	酵素法	12.4~16.3 (%)	溶 &1
	3617 3 012450702	ヒアルロン酸	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	②③ 179 ※4	ラテックス 凝集免疫比濁法	50以下 (ng/mL)	
	3627 2 012450731	3D080-0000-023-062 3D080-0000-042-062	胸水 0.4	A00					(ng/mL)	&1
	3874 8 013350102	1,5-アンヒドロ-D- グルシトール(1,5AG) 3D085-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	2~4	① 80 ※4	酵素法	M 14.9~44.7 F 12.4~28.8 (μg/mL)	溶 &1
	4644 2 02162A121	糖代謝解析	部分尿 5	A00	凍結	10~13		Gas- Chromatography- Mass Spectrometry (GC/MS)法	下記参照	食事2時間後に採尿してください。 &ツ
	7712 3 011730102	シアル酸 3D105-0000-023-272	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	2~5		酵素法	44~71 (mg/dL)	&1

- ①「ヘモグロビンA1c(HbA1c)」、「グリコアルブミン」又は「1,5-アンヒドロ-D-グルシトール(1,5AG)」のうちいずれかを同一月中に併せて2回以上実施した場合は、月1回に限り主たるもののみ算定する。ただし、妊娠中の患者、1型糖尿病患者、経口血糖降下薬の投与を開始して6月以内の患者、インスリン治療を開始して6月以内の患者等については、いずれが1項目を月1回に限り別に算定できる。また、クロザピンを投与中の患者については、「ヘモグロビンA1c(HbA1c)」を月1回に限り別に算定できる。
- ②「ヒアルロン酸」は、サンドイッチバインディングプロテインアッセイ法、¹²⁵Iによる競合法を用いたバインディングプロテインアッセイ法、LA法(測定機器を用いるもの)又はLBA法による。ただし、本検査は慢性肝炎の患者に対して、慢性肝炎の経過観察及び肝生検の適応の確認を行う場合に算定できる。
- ③「サイトケラチン18フラグメント(CK-18F)」と「プロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド(P-Ⅲ-P)」、「Ⅳ型コラーゲン」、「Ⅳ型コラーゲン・7S」、「ヒアルロン酸」、「Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体」又は「オートタキシン」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

[4644 2]糖代謝解析基準値

グ ル コ ー ス	6.25 ~ 115.85 μg/mg Cr.
ソ ル ビ ト ー ル	0.00 ~ 11.01 μg/mg Cr.
フ ル ク ト ー ス	0.00 ~ 197.62 μg/mg Cr.
ミ オ イ ノ シ ト ー ル	1.02 ~ 8.34 μg/mg Cr.
1,5-アンヒドログルシトール	0.00 ~ 9.38 μg/mg Cr.
ク レ ア チ ニ ン	0.30 ~ 2.30 mg/mL



生化学的検査

有機酸

生化学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
7706 0 012140117	乳酸 3E010-0000-031-271	速やかに遠心 除蛋白液 0.4	M30 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 47 ※4	乳酸オキシダーゼによる 酵素法	3.0~17.0 (全血中) (mg/dL)	採血後、直ちに正確に血液1.0mLを専用容器(M30)に加え、充分攪拌後3000rpm5分間遠心分離し、その上清液をご提出ください。 &1
7707 9 012150117	ピルビン酸 3E015-0000-031-271	速やかに遠心 除蛋白液 0.4	M30 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 47 ※4	ピルビン酸オキシダーゼによる 酵素法	0.30~0.94 (全血中) (mg/dL)	採血後、直ちに正確に血液1.0mLを専用容器(M30)に加え、充分攪拌後3000rpm5分間遠心分離し、その上清液をご提出ください。 &1
4641 5 01588A123	尿中シュウ酸 3E025-0000-004-237	酸性蓄尿 3	A00	冷蔵 (21日)	3~9	② 200 ※1	キャピラリー 電気泳動法	M 10.3~41.5 F 9.0~37.7 (mg/day)	凍結 6N塩酸10mLを入れた蓄尿ビンへ24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。 なお、尿量があらかじめ少ないと予想される場合には、尿200mLに対して6N塩酸1mLの割合で添加してください。酸性蓄尿されていない場合は、シュウ酸カルシウムが析出する可能性がありますので、必ず酸性蓄尿(pH1.0~2.0)してください。 凍結保存は避けてください。 &1
3774 9 018080102	血中ケトン体分画 3E045-0000-023-271 3E045-0000-020-271	速やかに冷却遠心 血清 0.5 (静脈血)	S09 ↓ A00	凍結 (7日)	2~4	③ 59 ※4	酵素法	アセト酢酸 55以下 3-ヒドロキシ酪酸 85以下 総ケトン体 130以下 (μ mol/L)	早朝空腹時採血(静脈)してください。採血後は速やかに冷却遠心にて分離し、凍結保存してください。 &1
3778 5 01808A102		速やかに冷却遠心 血清 0.5 (動脈血)				③ 59 ※4		ケトン体比 アセト酢酸/ 3-ヒドロキシ酪酸比 0.7以上	ブドウ糖投与下または食後(血糖120mg/dL以上)に動脈採血してください。採血後は速やかに冷却遠心にて分離し、凍結保存してください。 &1
3605 6 014334302	アセトン定量 3E060-0000-023-202	血清 0.7	S7P ↓ A00	凍結 (15日)	7~10		Gas- Chromatograph法	5 未満 (μ g/mL)	分離剤入り容器は使用しないでください。 &M
K153 1 014334321	尿中アセトン定量 3E060-0000-001-202	部分尿 1.2	U00	凍結	7~10		Gas- Chromatograph法	5 未満 (μ g/mL)	&M
8248 8 024246721	有機酸 スクリーニング検査 3E105-0000-001-203	部分尿 5	U00	凍結	7~14	1141 ※5	Gas- Chromatograph法 (GC-MS)		酸性蓄尿は避けてください。専用依頼書に臨床所見を必ずご記入ください。本検査は疑われる先天性有機酸代謝異常症を専門医が判定する検査です。判定医による判定に時間を要する場合は所要日数より遅れる場合があります。 &1

①「有機モノカルボン酸」については、グルタチオン、乳酸、ピルビン酸及び α -ケトグルタル酸の各物質の測定を行った場合に、それぞれの測定ごとに所定点数を算定する。

②「シュウ酸(尿)」は、再発性尿路結石症の患者に対して、キャピラリー電気泳動法により行った場合に、原則として1年に1回に限り算定する。

③「ケトン体」及び「ケトン体分画」の検査を併せて実施した場合は、ケトン体分画の所定点数のみ算定する。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
脂 質 お よ び 関 連 物 質	P011 3 000270102	中性脂肪(TG) 3F015-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	11 ※4	酵素法 (GK-GPO・ 遊離グリセロール 消去)	50~149 (mg/dL)	
	0422 2 012180102	リン脂質 3F025-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	15 ※4	酵素法	160~260 (mg/dL)	&1
	L341 1 00105A202	遊離脂肪酸(NEFA) 3F035-0000-023-271	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (28日)	2~4	59 ※4	酵素法	140~850 (μEq/L)	&1
	P010 4 000280202	総コレステロール (T-Cho) 3F050-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	17 ※4	コレステロール 酸化酵素 (COD-POD)法	150~219 (mg/dL)	
	0426 8 000290402	エステル型 コレステロール(Echo) 3F055-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4		コレステロール 酸化酵素 (COD-POD)法、 酵素法	90~200 (mg/dL)	&1
	0421 3 000310102	遊離コレステロール (F-Cho) 3F065-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	11 ※4	酵素法	30~60 (mg/dL)	&1
	0427 7 000300402	コレステロール エステル比 3F055-0000-023-919	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4		コレステロール 酸化酵素 (COD-POD)法、 酵素法	73~77 (%)	&1
	P149 1 000320102	HDL-コレステロール 3F070-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	17 ※4	直接法	M 40~86 F 40~96 (mg/dL)	
	3230 2 011219402	HDL _{2,3} コレステロール 3F075-0000-023-221	血清 1.0	S09 ↓ A00	冷蔵 (20日)	2~6		超遠心法	HDL2 コレステロール M 16.0~61.0 F 23.0~73.0 HDL3 コレステロール M 13.0~25.0 F 13.0~24.0 (mg/dL)	凍結保存は避けてください。 &1
	P151 8 000330102	LDL-コレステロール 3F077-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	18 ※4	直接法	70~139 (mg/dL)	
質	3341 9 015330102	レムナント様リポ蛋白 コレステロール(RLP-C) 3F078-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	174 ※4	酵素法	7.5 以下 (mg/dL)	凍結保存は避けてください。糖尿 病、冠動脈疾患などの既往歴のあ る場合は、5.2mg/dL以上がハイ リスク域といわれています。 &1
	B893 9 00141A102	sd LDL- コレステロール 3F088-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (5日)	2~4		直接法	35.0未満 (mg/dL)	&1

①「HDL-コレステロール」、「総コレステロール」及び「LDL-コレステロール」を併せて測定した場合は、主たるもの2つの所定点数を算定する。

②「レムナント様リポ蛋白コレステロール(RLP-C)」は免疫吸着法-酵素法又は酵素法により実施し、3月に1回を限度として算定できる。

[K836 3]LDL-C/HDL-C比

- ・ LDL-コレステロールとHDL-コレステロールと本項目の3項目を同時にご依頼いただいた場合、LDL-コレステロールとHDL-コレステロールの測定結果とともに LDL-C/HDL-C比を算出し、ご報告いたします。
- ・ LDL-C/HDL-C比のみのご依頼はできません。



生化学的検査

脂質および関連物質

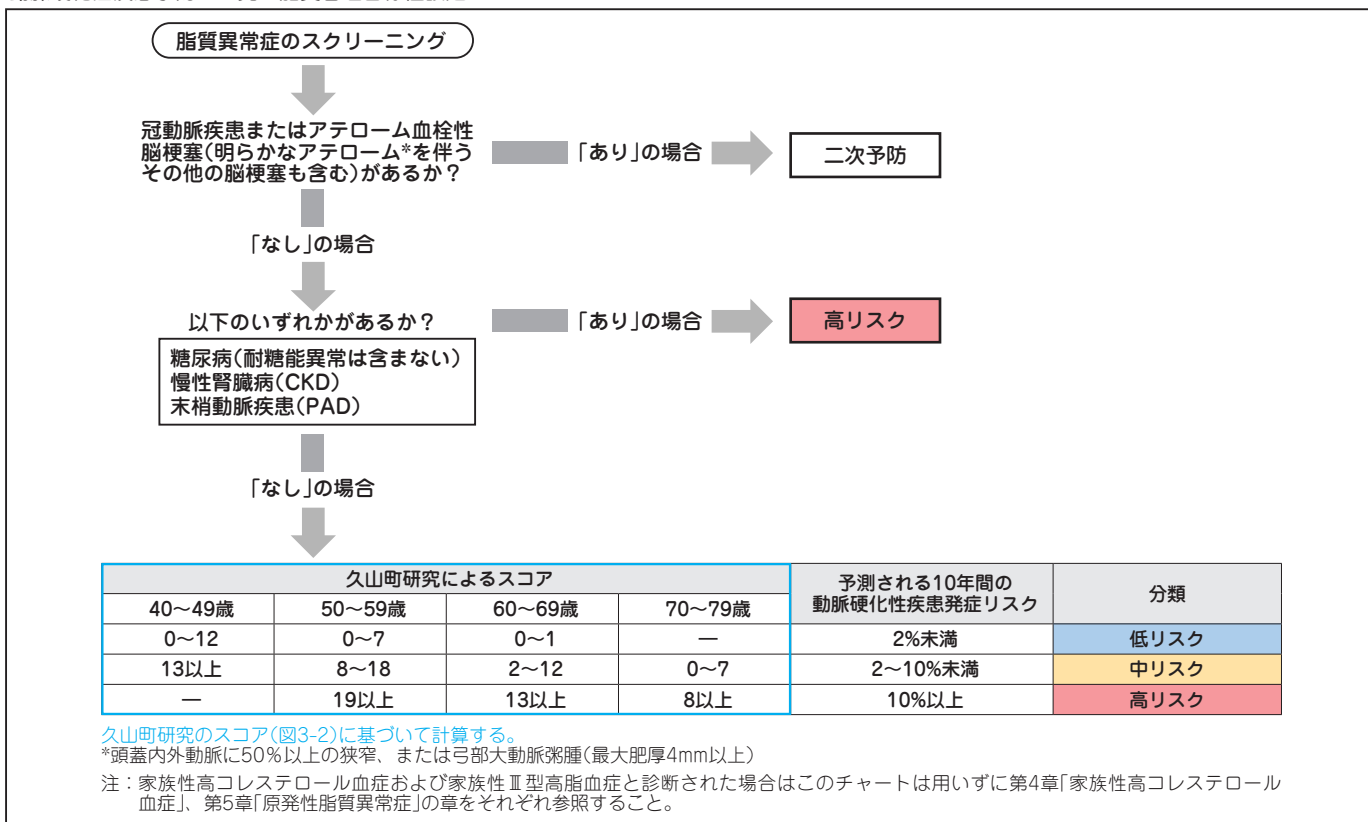
動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022年版抜粋

脂質異常症診断基準

LDLコレステロール	140mg/dL以上	高LDLコレステロール血症
	120～139mg/dL	境界域高LDLコレステロール血症**
HDLコレステロール	40mg/dL未満	低HDLコレステロール血症
トリグリセライド	150mg/dL以上(空腹時採血*)	高トリグリセライド血症
	175mg/dL以上(随時採血*)	
Non-HDLコレステロール	170mg/dL以上	高non-HDLコレステロール血症
	150～169mg/dL	境界域高non-HDLコレステロール血症**

- * 基本的に10時間以上の絶食を「空腹時」とする。ただし水やお茶などカロリーのない水分の摂取は可とする。空腹時であることが確認できない場合を「随時」とする。
 ** スクリーニングで境界域高LDL-C血症、境界域高non-HDL-C血症を示した場合は、高リスク病態がないか検討し、治療の必要性を考慮する。
 ・LDL-CはFriedewald式(TC-HDL-C-TG/5)で計算する(ただし空腹時採血の場合のみ)。または直接法で求める。
 ・TGが400mg/dL以上や随時採血の場合はnon-HDL-C(=TC-HDL-C)がLDL-C直接法を使用する。ただしスクリーニングでnon-HDL-Cを用いる時は、高TG血症を伴わない場合はLDL-Cとの差が+30mg/dLより小さくなる可能性を念頭に置いてリスクを評価する。
 ・TGの基準値は空腹時採血と随時採血により異なる。
 ・HDL-Cは単独では薬物介入の対象とはならない。

動脈硬化性疾患予防から見た脂質管理目標値設定のためのフローチャート



リスク区分別脂質管理目標値

治療方針の原則	管理区分	脂質管理目標値(mg/dL)			
		LDL-C	Non-HDL-C	TG	HDL-C
一次予防 まず生活習慣の改善を行った後 薬物療法の適用を考慮する	低リスク	<160	<190	<150(空腹時)*** <175(随時)	≥40
	中リスク	<140	<170		
	高リスク	<120 <100*	<150 <130*		
二次予防 生活習慣の是正とともに 薬物治療を考慮する	冠動脈疾患またはアテローム血栓性脳梗塞(明らかなアテローム****を伴うその他の脳梗塞を含む)の既往	<100 <70**	<130 <100**		

- ・* 糖尿病において、PAD、細小血管症(網膜症、腎症、神経障害)合併時、または喫煙ありの場合に考慮する。(第3章5.2参照)
 ・** 「急性冠症候群」、「家族性高コレステロール血症」、「糖尿病」、「冠動脈疾患とアテローム血栓性脳梗塞(明らかなアテロームを伴うその他の脳梗塞を含む)」の4病態のいずれかを合併する場合に考慮する。
 ・一次予防における管理目標達成の手段は非薬物療法が基本であるが、いずれの管理区分においてもLDL-Cが180mg/dL以上の場合は薬物治療を考慮する。家族性高コレステロール血症の可能性も念頭に置いておく。(第4章参照)
 ・まずLDL-Cの管理目標値を達成し、次にnon-HDL-Cの達成を目指す。LDL-Cの管理目標を達成してもnon-HDL-Cが高い場合は高TG血症を伴うことが多く、その管理が重要となる。低HDL-Cについては基本的には生活習慣の改善で対処すべきである。
 ・これらの値はあくまでも到達努力目標であり、一次予防(低・中リスク)においてはLDL-C低下率20～30%も目標値としてなり得る。
 ・*** 10時間以上の絶食を「空腹時」とする。ただし水やお茶などカロリーのない水分の摂取は可とする。それ以外の条件を「随時」とする。
 ・**** 頭蓋内外動脈の50%以上の狭窄、または弓部大動脈粥腫(最大肥厚4mm以上)
 ・高齢者については第7章を参照。

出典 日本動脈硬化学会(編)：動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022年版. 日本動脈硬化学会, 2022(改変)

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
脂 質 お よ び 関 連 物 質	K222 4 019980802	酸化LDL (MDA-LDL) 3F087-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (21日)	3~14	① 194 ※4	ELISA	男性 45才未満：46~82 45才以上：61~105 女性 55才未満：46~82 55才以上：61~105 (U/L)	採血後、冷蔵保存にて6時間以内に 血清分離し、速やかに凍結保存し てください。 &1
	L539 2 042770102	sd LDL-C(健診) 3F088-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (5日)	2~4		直接法	(mg/dL)	&1
	A084 8	脂肪酸分画(24成分) 3F095-0000-022-202 3F095-0000-023-202	血漿 0.5	PH5 ↓ A00	冷蔵 (45日)	10~14	393 ※5	Gas- Chromatograph法	下記参照	&1
	L349 3		血清 0.5	S09 ↓ A00			393 ※5			
	A066 8 00117A310	脂肪酸分画 (4成分) 3F095-0000-022-202 3F095-0000-023-202	血漿 0.5	PH5 ↓ A00		4~6	393 ※5	Gas- Chromatograph法	ジホモ-γ-リノレン酸 22.6~72.5 アラキドン酸 135.7~335.3 エイコサペンタエン酸 10.2~142.3 ドコサヘキサエン酸 54.8~240.3 (μg/mL) EPA/AA比 0.05~0.61 DHA/AA比 0.27~1.07 (EPA+DHA)/AA比 0.32~1.66	DHLA：ジホモ-γ-リノレン酸 AA：アラキドン酸 EPA：エイコサペンタエン酸 DHA：ドコサヘキサエン酸 &1
	G058 1 00117A302		血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (45日)		393 ※5			
	7847 4 015246703	極長鎖脂肪酸 3F096-0000-022-203	血漿 2.0	PH5 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	6~19	② 1141 ※5	Gas- Chromatograph法 (GC-MS)	C24:0 / C22:0 0.628~0.977 C25:0 / C22:0 0.012~0.023 C26:0 / C22:0 0.003~0.006	&1

- ①「マロンシアルデヒド修飾LDL(MDA-LDL)」は、冠動脈疾患既往歴のある糖尿病患者で、冠動脈疾患発症に関する予後予測の補助の目的で測定する場合に3月に1回に限り算定できる。ただし、糖尿病患者の経皮的冠動脈形成術治療時に、治療後の再狭窄に関する予後予測の目的で測定する場合、上記と別に術前1回に限り算定できる。
- ②「血中極長鎖脂肪酸」は、副腎白質ジストロフィーやペルオキシソーム形成異常症、ペルオキシソームβ酸化系酵素欠損症が疑われる患者に対して、ガスクロマトグラフ質量分析装置を用いて血中極長鎖脂肪酸の測定を行った場合に算定する。

脂肪酸分画(24成分)基準値

No	脂肪酸名	略号 (炭素数)	基 準 値	
			μg/mL	重量%
1	ラウリン酸	C12:0	10.2以下	0.31以下
2	ミリスチン酸	C14:0	10.8~61.1	0.36~1.43
3	ミリストレイン酸	C14:1 ω5	3.2以下	0.09以下
4	パルミチン酸	C16:0	495.1~918.3	19.18~23.84
5	パルミトレイン酸	C16:1 ω7	23.8~117.3	0.87~3.18
6	ステアリン酸	C18:0	167.6~312.7	6.13~8.49
7	オレイン酸	C18:1 ω9	433.9~910.1	16.19~23.66
8	リノール酸	C18:2 ω6	708.1~1286.0	23.24~36.89
9	γ-リノレン酸	C18:3 ω6	2.5~25.6	0.09~0.72
10	リノレン酸	C18:3 ω3	11.5~45.8	0.40~1.30
11	アラキジン酸	C20:0	6.9~14.4	0.24~0.46
12	エイコセン酸	C20:1 ω9	2.6~9.5	0.09~0.30
13	エイコサジエン酸	C20:2 ω6	4.3~9.3	0.15~0.26
14	5-8-11エイコサトリエン酸	C20:3 ω9	6.0以下	0.17以下
15	ジホモγ-リノレン酸	C20:3 ω6	22.6~72.5	0.79~2.05
16	アラキドン酸	C20:4 ω6	135.7~335.3	4.21~9.30
17	エイコサペンタエン酸	C20:5 ω3	10.2~142.3	0.36~3.99
18	ヘヘニン酸	C22:0	14.6~30.3	0.43~0.91
19	エルシン酸	C22:1 ω9	1.4以下	0.04以下
20	ドコサテトラエン酸	C22:4 ω6	2.9~10.4	0.10~0.30
21	ドコサペンタエン酸	C22:5 ω3	9.5~31.8	0.34~0.89
22	リグノセリン酸	C24:0	15.5~31.2	0.49~0.90
23	ドコサヘキサエン酸	C22:6 ω3	54.8~240.3	1.88~6.86
24	ネルボン酸	C24:1 ω9	27.1~53.0	0.78~1.64
T/T比(C20:3 ω9/C20:4 ω6)			0.02以下	
EPA/AA比(C20:5 ω3/C20:4 ω6)			0.05~0.61	
DHA/AA比(C22:6 ω3/C20:4 ω6)			0.27~1.07	
(EPA+DHA)/AA比			0.32~1.66	
ω3/ω6比			0.09~0.36	



生化学的検査

脂質および関連物質

生化学的検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
脂質および関連物質	2601 1 014430102	総胆汁酸 3F110-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 47 ※4	酵素法	10.0以下 (μ mol/L)	&1
	0006 4 012161302	β -リポ蛋白 3F130-0000-023-061	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4		免疫比濁法	220~650 (mg/dL)	&1
	3211 3 011223502	リポ蛋白分画 3F135-0000-023-233	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵 (7日)	2~4	49 ※4	アガロースゲル 電気泳動法	α M 26.9 ~ 50.5 F 32.6 ~ 52.5 PRE β M 7.9 ~ 23.8 F 6.6 ~ 20.8 β M 35.3 ~ 55.5 F 33.6 ~ 52.0 (%)	凍結保存は避けてください。 &1
	3226 7 018553502	コレステロール分画 3F150-0000-023-233	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵 (7日)	2~4	57 ※4	アガロースゲル 電気泳動法	HDLコレステロール 23~48 LDLコレステロール 47~69 VLDLコレステロール 2~15 (%)	凍結保存は避けてください。 &1

① 肝胆道疾患の診断の目的で尿中硫酸抱合型胆汁酸測定を酵素法により実施した場合は、「コレステロール分画」に準じて算定する。ただし、「胆汁酸」を同時に測定した場合には、いずれか一方の所定点数のみを算定する。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
脂質 および 関連 物質	3233 9 012790702	リボプロテイン(a) 3F156-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	2~4	① 107 ※4	LA(ラテックス 凝集比濁法)	40以下(参考値) (mg/dL)	①
	4480 4 015300803	リボ蛋白リパーゼ (LPL) 3F160-0000-022-023	速やかに 冷却 遠心 血漿 0.3	PH5 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	2~8	② 219 ※4	ELISA	164~284 (ng/mL)	早朝空腹時にヘパリンを体重1kgあたり30単位静注し15分後に指定の容器(PH5)に採取し、4℃で遠心分離後、上清の血漿を凍結保存にてご提出ください。EDTA血漿は避けてください。 基準値につきましては上記採取条件に基づき設定しております。 ①
	3234 8 011661302	A-I 3F180-0000-023-061	血清 各0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	2~4	③ 各31 ※4 3項目 以上測 定した 場合 94 ※4	免疫比濁法	M 119~155 F 126~165 (mg/dL)	アポリポ蛋白Bと重複依頼する場合は凍結保存を避けてください。
	3235 7 011671302	A-II 3F185-0000-023-061							M 25.9~35.7 F 24.6~33.3 (mg/dL)	
	3236 6 011691302	B 3F190-0000-023-061							M 73~109 F 66~101 (mg/dL)	凍結保存は避けてください。 ①
	3237 5 011701302	C-II 3F195-0000-023-061							M 1.8~4.6 F 1.5~3.8 (mg/dL)	アポリポ蛋白Bと重複依頼する場合は凍結保存を避けてください。
	3238 4 011481302	C-III 3F200-0000-023-061							M 5.8~10.0 F 5.4~9.0 (mg/dL)	
	3239 3 011721302	E 3F205-0000-023-061							M 2.7~4.3 F 2.8~4.6 (mg/dL)	
	3730 7 016398402	アポリポ蛋白E フェノタイプ 3F206-0000-023-236	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵 (7日)	4~20		等電点電気泳動 法によるイムノ プロット法		凍結保存は避けてください。 ①
	3343 7 016630802	肺サーファクタント プロテインA(SP-A) 3F250-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	④ 130 ※4	CLEIA	43.8未満 (ng/mL)	①
	B146 8 00140A102	肺サーファクタント プロテインD(SP-D) 3F253-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	④ 136 ※4	CLEIA	110未満 (ng/mL)	①

- ①「リボ蛋白(a)」は、3月に1回を限度として算定できる。
 ②「リボ蛋白リパーゼ(LPL)」は、高トリグリセライド血症及びLPL欠損症が疑われる場合の鑑別のために測定した場合に限り算定できる。また、ヘパリン負荷が行われた場合、投与したヘパリンは薬剤料の「薬剤」として算定できるが、注射料は算定できない。
 ③「アポリポ蛋白」は、A I、A II、B、C II、C III及びEのうち、測定した項目数に応じて、所定点数を算定する。
 ④「KL-6」、「肺サーファクタント蛋白-A(SP-A)」及び「肺サーファクタント蛋白-D(SP-D)」のうちいずれかを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。KL-6は、EIA法、ECLIA法又はラテックス凝集比濁法により、肺サーファクタント蛋白-A(SP-A)はEIA法により、肺サーファクタント蛋白-D(SP-D)は、EIA法又はラテックス免疫比濁法による。

[3730 7]アポリポ蛋白Eフェノタイプ検査結果について(試薬メーカー説明書より引用)

- ・研究用試薬のため、本測定結果は、補助診断としてご利用ください。
- ・診断・治療を決定する場合、また、臨床経過と測定値が一致しない場合は、病歴や他の検査所見も参考にして、総合的判断に行ってください。



生化学的検査

ビタミンおよび関連物質

生化学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
3619 1 022021402	β-カロチン 3G011-0000-023-204	血清 0.6	S09 ↓ ASS	凍結 (1ヵ月) 遮光	5~11		HPLC	M 6.6~47.6 F 20.4~105.2 (μg/dL)	遮光してください。 &1
3721 7 014051402	ビタミンA 3G015-0000-023-204	血清 0.4	S09 ↓ ASS	冷蔵 遮光	3~5		HPLC	97~316 (IU/dL)	遮光してください。 &1
3725 3 010121401	ビタミンB₁ 3G025-0000-019-205	血液 0.5 (EDTA-2K加)	PKF	凍結 (6ヵ月)	3~5	239 ※4	LC/MS/ MS	24~66 (ng/mL)	&1
4329 2 016591401	ビタミンB₂ 3G030-0000-019-204	血液 0.5 (EDTA-2K加)	PKF ↓ ASS	凍結 (1ヵ月) 遮光	3~5	235 ※4	HPLC	66.1~111.4 (ng/mL)	(検体のご提出について)血液は必ず 遮光ポリスビッツ(ASS)に移し替え、 凍結してご提出ください。 &1
3731 6 014151402	ビタミンB₆ 3G036-0000-023-204	血清 0.5	S09 ↓ ASS	冷蔵 遮光	3~5		HPLC	ピリドキサミン M 0.6以下 F 0.6以下 ピリドキサル M 6.0~40.0 F 4.0~19.0 ピリドキシン M 3.0以下 F 3.0以下 (ng/mL)	遮光してください。 &1
3737 0 010130602	ビタミンB₁₂ 3G040-0000-023-052	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	136 ※4	CLEIA	180~914 (pg/mL)	血清材料以外のご依頼は避けて ください。(特に、EDTA血漿はデー タ上昇傾向がみられます。) &1
8712 2 016130102	カルニチン分画 3G055-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 95+95 ※4	酵素サイク リング法	総カルニチン 45~91 遊離カルニチン 36~74 アシルカルニチン 6~23 (μmol/L)	&1

① 総カルニチン及び遊離カルニチン

ア 「総カルニチン」及び「遊離カルニチン」は、関係学会の定める診療に関する指針を遵守し、酵素サイクリング法により測定した場合に算定する。

イ 本検査を先天性代謝異常症の診断補助又は経過観察のために実施する場合は、月に1回を限度として算定する。

ウ 静脈栄養管理若しくは経腸栄養管理を長期に受けている筋ジストロフィー、筋萎縮性側索硬化症若しくは小児の患者、人工乳若しくは特殊治療用ミルクを使用している小児患者、バルプロ酸ナトリウム製剤投与中の患者、Fanconi症候群の患者又は慢性維持透析の患者におけるカルニチン欠乏症の診断補助若しくは経過観察のために、本検査を実施する場合は、6月に1回を限度として算定する。

エ 同一検体について、本検査と「先天性代謝異常症検査」を併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
3735 2 022171418	ビタミンC (アスコルビン酸) 3G060-0000-031-204	(血清中) 除蛋白上清 0.5	M50 ↓ ASS	凍結 (7日) 遮光	3~5	296 ※4	HPLC	5.5~16.8 (血清中) (μg/mL)	正確に血清0.5mLを専用容器 (M50)に加え、混和後遠心分離 し、その上清を遮光ポリスビッ (ASS)にてご提出ください。 &1
A099 2 001520902	25OHビタミンD (骨粗鬆症) 3G065-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	117 ※4	CLEIA	ビタミンD欠乏 20.0未満 ビタミンD不足 20.0 ~ 29.9 (ng/mL)	&1
A087 5 001520602	25ヒドロキシビタミンD (くる病・骨軟化症) 3G065-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	117 ※4	CLEIA	ビタミンD欠乏 20以下 (ng/mL)	&1
3794 7 015871902	1,25-(OH) ₂ ビタミンD 3G070-0000-023-001	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵	3~7	388 ※4	RIA2抗体法	成人 20.0~60.0 小児 20.0~70.0 (pg/mL)	&1
3743 3 014177802	ビタミンE 3G080-0000-023-282	血清 0.5	S09 ↓ ASS	凍結 遮光	7~13		蛍光法	0.75~1.41 (mg/dL)	遮光してください。 &M
3789 3 012351402	ビタミンE分画 3G085-0000-023-204	血清 0.5	S09 ↓ ASS	冷蔵 遮光	依頼時 にご確 認くだ さい。		HPLC	α-トコフェロール 0.49~1.09 β-トコフェロール 0.02以下 γ-トコフェロール 0.05~0.17 δ-トコフェロール 0.01以下 (mg/dL)	遮光してください。 &1
4147 4 018191403	ビタミンK分画 3G090-0000-022-204	速やかに遠心 血漿 2.0	PC5 ↓ ASS	凍結 (17日) 遮光	3~9		HPLC	ビタミン K1 0.15~1.25 ビタミン K2 (MK-4) 0.10以下 (ng/mL)	採血後、速やかに血漿分離してく ださい。血漿は必ず遮光ポリスビ ツ(ASS)で凍結してご提出くだ さい。 &1
3738 9 010140602	葉酸 3G105-0000-023-052	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	146 ※4	CLEIA	4.0以上 (ng/mL)	溶血および血清材料以外でのご依 頼は避けてください。(溶血の場合、 赤血球中葉酸の影響で高値となり ます。特に、EDTA血漿はデータ 上昇傾向がみられます。) &1
3744 2 014165101	ニコチン酸 (ナイアシン) 3G110-0000-019-905	血液 1.5 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~13		Bioassay	4.7~7.9 (μg/mL)	&1

- ①「25-ヒドロキシビタミンD」は、原発性骨粗鬆症の患者に対して、ECLIA法、CLIA法又はCLEIA法により測定した場合は、骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択時に1回に限り算定できる。なお、本検査を実施する場合は関連学会が定める実施方針を遵守すること。
- ②「25-ヒドロキシビタミンD」は、ビタミンD欠乏性くる病若しくはビタミンD欠乏性骨軟化症の診断時又はそれらの疾患に対する治療中にECLIA法、CLIA法又はCLEIA法により測定した場合は、診断時においては1回を限度とし、その後は3月に1回を限度として算定できる。
- ③「1,25-ジヒドロキシビタミンD₃」は、ランゾレセプターアッセイ法、RIA法又はELISA法により、慢性腎不全、特発性副甲状腺機能低下症、偽性副甲状腺機能低下症、ビタミンD依存症I型若しくは低リン血症性ビタミンD抵抗性くる病の診断時又はそれらの疾患に対する活性型ビタミンD₃剤による治療中に測定した場合に限り算定できる。ただし、活性型ビタミンD₃剤による治療開始後1月以内においては2回を限度とし、その後は3月に1回を限度として算定する。



生化学的検査

電解質・血液ガス

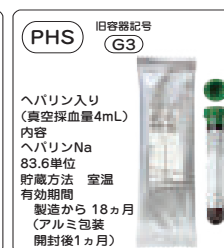
生化学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考			
電	P013 1 000350502	Na(ナトリウム)	速やかに遠心 血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	① 11 ※4	電極法	136~147 (mEq/L)	採血後は、血液凝固を確認後、速やかに血清分離してください。血液のまま放置、冷却保存はナトリウムが低値を示しますので避けてください。		
	部分尿 5		U00	冷蔵					(mEq/L)			
	L487 0 000350523		蓄尿 5	U00	冷蔵				2~4		1.6~5.8 (g/day)	&1
解	P014 0 000370502	K(カリウム)	速やかに遠心 血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	11 ※4	電極法	3.6~5.0 (mEq/L)	溶 採血後は、血液凝固を確認後、速やかに血清分離してください。血液のまま放置、冷却保存又は溶血は、カリウムが高値を示しますので避けてください。		
	部分尿 5		U00	冷蔵					(mEq/L)			
	L488 9 000370523		蓄尿 5	U00	冷蔵				2~4		1.0~3.9 (g/day)	&1
質	P015 9 000360502	Cl(クロール)	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	① 11 ※4	電極法	98~109 (mEq/L)			
	部分尿 5		U00	冷蔵					(mEq/L)			
	L489 8 000360523		蓄尿 5	U00	冷蔵				2~4		2.5~8.9 (g/day)	&1
・	0030 7 000420102	Mg(マグネシウム)	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	11 ※4	酵素法	1.8 ~2.6 (mg/dL)			
	部分尿 5		U00	冷蔵	2~4				キシリジルブルー法		(mg/dL)	&1
	L490 6 000420123		蓄尿 5	U00							冷蔵	0.02~0.13 (g/day)
血	P017 7 000380102	Ca(カルシウム)	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	1~2	② 11 ※4	アルセナゾⅢ法	8.5~10.2 (mg/dL)			
	部分尿 5		U00	冷蔵					(mg/dL)			
	L491 5 000380123		蓄尿 5	U00	冷蔵				2~4		0.1~ 0.3 (g/day)	重 (蓄尿)依頼項目ごとに単独の検体をご提出ください。蓄尿は凍結保存を避けてください。 &1
液	3641 6 014530502	イオン化カルシウム	速やかに遠心 血清 0.9	S09 ↓ A00	凍結	3~5	② 26 ※4	イオン電極法	2.41~2.72 (mEq/L)	pH=7.4、37℃にて測定。 &1		
	0005 5 000430202	P(無機リン)	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	③ 17 ※4	酵素法	2.4~4.3 (mg/dL)			
	0105 4 000430221		部分尿 5	U00	冷蔵			2~4	モリブデン酸直接法		(mg/dL)	
L492 4 000430223	蓄尿 5		U00	冷蔵	0.5~1.0 (g/day)						&1	
ガ	3771 2 014066202	浸透圧	血清 0.7	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	15 ※3	氷点降下法	276~292 (mOsm/Kg・H ₂ O)	凍 凍結保存は避けてください。 &1		
	4692 9 014066221		部分尿 1	U00					濃縮時 850以上 希釈時 40~85 (Fishberg試験時) (mOsm/Kg・H ₂ O)			
ス												

①「ナトリウム」及び「クロール」については、両方を測定した場合も、いずれか一方のみを測定した場合も、同一の所定点数により算定する。

②「カルシウム」及び「イオン化カルシウム」を同時に測定した場合には、いずれか一方についてのみ所定点数を算定する。

③「P(無機リン)」及び「リン酸」については、両方を測定した場合も、いずれか一方のみを測定した場合も、同一の所定点数により算定する。



生化学的検査

生体微量元素／生体色素関連物質

生化学的検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
生 体 微 量 金 属	P019 5 000460102	鉄(Fe)	血清 0.5	S09 ↓ AZZ	冷蔵 (21日)	1~2	11 ※4	ニトロソー PSAP法	M 54~200 F 48~154 ($\mu\text{g/dL}$)	溶 溶血でのご依頼は避けてください。
	3625 4 000463423	3I010-0000-023-271 3I010-0000-004-274	蓄尿 10	AZZ	冷蔵	6~11	11 ※4	原子吸光法	0.10~0.20 (mg/day)	※
	0038 9 000470402	総鉄結合能 (TIBC) 3I015-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ AZZ	冷蔵 (28日)	1~2	11 ※4	ニトロソー PSAP法 (計算法)	M 253~365 F 246~410 ($\mu\text{g/dL}$)	P0195鉄(Fe)と00316不飽和鉄結 合能(UIBC)を同時に依頼くださ い。
	0031 6 000480102	不飽和鉄結合能 (UIBC) 3I020-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ AZZ	冷蔵 (28日)	1~2	11 ※4	ニトロソー PSAP法	M 104~259 F 108~325 ($\mu\text{g/dL}$)	
	3653 3 012210102	Cu(銅)	血清 0.5	S09 ↓ AZZ	冷蔵 (28日)	2~4	23 ※4	比色法	68~128 ($\mu\text{g/dL}$)	※1
	4671 2 012213423	3I025-0000-023-271 3I025-0000-004-274	蓄尿 5	AZZ	冷蔵	2~6	23 ※4	原子吸光分析法	M 4.2~33.0 F 2.5~20.0 ($\mu\text{g/day}$)	※1
	3654 2 012223402	Zn(亜鉛)	速やかに遠心 血清 0.5	S09 ↓ AZZ	冷蔵 (1ヵ月)	2~4	132 ※4	比色法	80~130 ($\mu\text{g/dL}$)	溶 採血後は速やかに血清分離をし てください。
生 体 色 素 関 連 物 質	4672 1 012223423	3I030-0000-023-271 3I030-0000-004-274	蓄尿 5	AZZ	冷蔵	2~8	132 ※4	原子吸光分析法	M 260~1000 F 160~620 ($\mu\text{g/day}$)	※1
	P004 1 000490102	緊急 総ビリルビン(T-Bil) 3J010-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~2	11 ※4	酵素法	0.3~1.2 (mg/dL)	
	0012 7 000510102	直接ビリルビン 3J015-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	11 ※4	化学酸化法	0.4以下 (mg/dL)	
	0039 8 000530102	間接ビリルビン 3J020-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2		計算法	0.8以下 (mg/dL)	P0041総ビリルビン(T-Bil)と 00127直接ビリルビンを同時に 依頼ください。
	2624 6 01440A121	コプロポルフィリン 定性	部分尿 2	U00	冷蔵 遮光	3~6		HPLC	(-)	遮光してください。
	2625 5 01440A123	3J040-1351-001-204 3J040-1351-004-204	蓄尿 2	U00	冷蔵 遮光	3~6		HPLC	170以下 ($\mu\text{g/g}\cdot\text{CRE}$)	※1
	2626 4 014401421	コプロポルフィリン	部分尿 2	U00	冷蔵 遮光	3~6	131 ※1	HPLC	170以下 ($\mu\text{g/g}\cdot\text{CRE}$)	遮光してください。
	2627 3 014401423	3J040-1352-001-204 3J040-1352-004-204 3J040-0000-019-204	蓄尿 2	U00	冷蔵 遮光	3~6	131 ※1	HPLC	170以下 ($\mu\text{g/g}\cdot\text{CRE}$)	※1
	3601 0 014401401	3J040-1352-001-204 3J040-1352-004-204 3J040-0000-019-204	血液 1.5 (ヘパリン加)	PHS	冷蔵 遮光	7~11	210 ※4	HPLC	1 以下 ($\mu\text{g/dL RBC}$)	凍 凍結保存は避けてください。遮光 してください。
	4629 9 014081421	ウロポルフィリン	部分尿 2	U00	冷蔵 遮光	3~6	105 ※1	HPLC	36以下 ($\mu\text{g/g}\cdot\text{CRE}$)	遮光してください。
	4625 3 014081423	3J050-0000-001-204 3J050-0000-004-204 3J050-0000-019-204	蓄尿 2	U00	冷蔵 遮光	3~6	105 ※1	HPLC	36以下 ($\mu\text{g/g}\cdot\text{CRE}$)	※1
	3602 9 014081401	3J050-0000-001-204 3J050-0000-004-204 3J050-0000-019-204	血液 1.5 (ヘパリン加)	PHS	冷蔵 遮光	7~11		HPLC	1 以下 ($\mu\text{g/dL RBC}$)	凍 凍結保存は避けてください。遮光 してください。
	3603 8 014521401	プロトポルフィリン 3J055-0000-019-204	血液 1.5 (ヘパリン加)	PHS	冷蔵 遮光	7~11	272 ※4	HPLC	30~86 ($\mu\text{g/dL RBC}$)	凍 凍結保存は避けてください。遮光 してください。
	2609 3 014071421	δ -アミノレブリン酸 (δ ALA)	部分尿 0.7	U00	冷蔵 遮光	3~5	106 ※1	HPLC	(mg/L)	遮光してください。 21ページをご参照ください。
	2610 1 014071423	3J075-0000-001-204 3J075-0000-004-204	蓄尿 0.7	U00	冷蔵 遮光	3~5	106 ※1	HPLC	(mg/L)	※1

①「総鉄結合能(TIBC) (比色法)」と「不飽和鉄結合能(UIBC) (比色法)」を同時に実施した場合は、「不飽和鉄結合能(UIBC) (比色法)」又は「総鉄結合能(TIBC) (比色法)」の所定点数を算定する。

生化学的検査

毒物・産業医学的代謝物質

生化学的検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
4721 6 017694321	尿中総三塩化物 トリクロルエチレン 3K011-0000-001-202	部分尿 各 2	U00	冷蔵	4~10		Gas- Chromatograph法	(mg/L)	週末の作業日の作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。21ページをご参照ください。
4722 5 017704321	1・1・1-トリクロルエタン 3K012-0000-001-202								
4723 4 017714321	テトラクロルエチレン 3K013-0000-001-202								
4724 3 018034321	尿中トリクロルエタン トリクロルエチレン 3K016-0000-001-202	部分尿 各 2	U00	冷蔵	4~10		Gas- Chromatograph法	(mg/L)	&1
4725 2 018044321	1・1・1-トリクロルエタン 3K017-0000-001-202								
4726 1 018054321	テトラクロルエチレン 3K018-0000-001-202								
4697 4 017541421	尿中馬尿酸 3K025-0000-001-204	部分尿 2	U00	冷蔵	4~10		HPLC	(g/L)	連続した作業日の初日を除いた作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。21ページをご参照ください。
4698 3 017561421	尿中メチル馬尿酸 3K030-0000-001-204	部分尿 2	U00	冷蔵	4~10		HPLC	(g/L)	&1
9179 4 044801421	尿中スチレン代謝物 3K042-0000-001-204	部分尿 2	U00	冷蔵 (14日)	4~14		HPLC	(g/L)	週末の作業日の作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。測定値は、マンデル酸(MA)、フェニルグリオキシシル酸(PGA)および合算値(MA+PGA)です。生物学的許容値：0.43(g/L)以下です。(生物学的許容値とは、ほとんどのすべての労働者に健康上の悪い影響がみられないと判断される濃度です。)依頼件数によって、所要日数が変動いたします。21ページをご参照ください。
K855 2 00197A121	尿中マンデル酸 エチルベンゼン 3K041-0000-001-204	部分尿 2	U00	冷蔵 (28日)	4~14		HPLC	(g/L)	週末の作業日の作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。依頼件数によって、所要日数が変動いたします。
4703 6 018706721	尿中N-メチルホルムアミド 3K045-0000-001-203	部分尿 5	U00	冷蔵	4~10		Gas- Chromatograph法 (GC-MSD)	(mg/L)	連続した作業日の初日を除いた作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。21ページをご参照ください。
4704 5 018716721	尿中2,5-ヘキサジオン 3K050-0000-001-203	部分尿 5	U00	冷蔵	4~10		Gas- Chromatograph法 (GC-MSD)	(mg/L)	&1
3656 0 014503407	アルミニウム(Al) 3K105-0000-023-274	血清 0.6	SZZ	冷蔵	3~5	109 ※4	原子吸光分析法	10以下 (μg/L)	重 凍 SZZ容器は凍結保存を避けてください。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
毒物・産業医学的代謝物質	2620 0 014183401	鉛(Pb) 3K110-0000-019-274	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	3~5		原子吸光分析法	($\mu\text{g/dL}$)	21ページをご参照ください。 &1
	3657 9 014103401	クロム	血液 0.7 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	6~19		原子吸光 分光光度法	1.0以下 ($\mu\text{g/dL}$)	血液:凍結保存は避けてください。 &N
	4674 9 014103421	3K115-0000-019-274 3K115-0000-001-274	部分尿 1	AZZ					2以下 ($\mu\text{g/L}$)	
	3662 3 014193401	カドミウム	血液 0.5 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~11		ICP-MS	0.5以下 ($\mu\text{g/dL}$)	血液:凍結保存は避けてください。 &M
	4992 6 014193421	3K120-0000-019-299 3K120-0000-001-274	部分尿 1	AZZ		7~13			3.8以下 ($\mu\text{g/L}$)	
	9520 4 014113401	マンガン 3K125-0000-019-274	血液 0.7 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~20	① 27 ※4	原子吸光 分光光度法	0.8~2.5 ($\mu\text{g/dL}$)	凍結保存は避けてください。 &N
生化学(その他)	3787 5 012611402	ネオプテリン 3Z024-0000-023-204	血清 0.3	S09 ↓ ASS	冷蔵 遮光	6~12		HPLC	2~8 (pmol/mL)	遮光してください。 &1
	3785 7 014034301	エタノール 3Z040-0000-019-202	血液 1.0 (ヘパリン加)	PH5 ↓ A00	凍結	3~6	105 ※4	Gas- Chromatograph法	0.1未満 (mg/mL)	血液はポリスビッツに移し替え、 必ず凍結保存にてご提出ください。 &1
	E148 3 019690102	イヌリン定量	血清 0.7	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~8	② 120 ※4	酵素法	(mg/dL)	凍結保存は避けてください。本検査 方法ではコンタミネーションの影響 がより大きくなりますので、検体採 取にあたっては取り扱いに充分ご注 意ください。依頼書に臨床診断名を ご記入ください。 &1
	E149 2 019690121	3Z050-0000-023-271 3Z050-0000-001-271	部分尿 1	U00			② 120 ※4			
	7741 1 014234779	結石分析(成分比率) 3Z065-0000-081-273	結石 10mg	XC0	室温	4~6	117 ※5	赤外線吸収 スペクトロ フォトメトリー	(%)	サンプルは乾燥させ結石専用容器 にてご提出ください。血液などの 付いたサンプルは蒸留水で洗浄後、 乾燥させてご提出ください。 &%

- ①「マンガン(Mn)」は、1月以上(胆汁排泄能の低下している患者については2週間以上)高カロリー静脈栄養法が行われている患者に対して、3月に1回に限り算定することができる。
- ②「イヌリン」は、「尿素窒素」又は「クレアチニン」により腎機能低下が疑われた場合に、6月に1回に限り算定できる。ただし、「クレアチニン(腎クリアランス測定)の目的で行い、血清及び尿を同時に測定する場合に限る。」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。



生化学的検査

産業医学(有機溶剤、鉛)関連検査参考資料

産業医学(有機溶剤、鉛)関連検査

産業医学関連検査は、有機溶剤作業、鉛作業を対象として、体内に有機溶剤や鉛がどの程度取り込まれているかを定期的にチェックすることを主な目的としているため、結果の評価については、正常・異常の鑑別を目的としたものではなく、作業環境を含めた総合的な判断が必要とされています。

また、労働安全衛生法に基づく各中毒予防規則では、各健康診断結果報告書を、所轄の労働基準監督署長に提出することが定められています。

有機溶剤等健康診断結果報告書(有機溶剤中毒予防規則、様式第3号の2)
鉛健康診断結果報告書(鉛中毒予防規則、様式第3号)より

有機溶剤、鉛関連検査結果分布表

対 象 物 質	測 定 項 目	単 位	分 布			
			1	2		3
トルエン	** 尿中馬尿酸	g/L	1以下	1超	2.5以下	2.5超
キシレン	** 尿中メチル馬尿酸	g/L	0.5以下	0.5超	1.5以下	1.5超
1・1・1-トリクロロエタン	*** 尿中総三塩化物	mg/L	10以下	10超	40以下	40超
	*** 尿中トリクロロ酢酸	mg/L	3以下	3超	10以下	10超
N・N-ジメチルホルムアミド	** 尿中N-メチルホルムアミド	mg/L	10以下	10超	40以下	40超
ノルマルヘキサン	** 尿中2,5-ヘキサンジオン	mg/L	2以下	2超	5以下	5超
鉛	血中鉛	μg/dL	20以下	20超	40以下	40超
	* 尿中δ-アミノレブリン酸	mg/L	5以下	5超	10以下	10超
スチレン	*** 尿中スチレン代謝物※1	g/L	分布報告はいたしません。			
トリクロロエチレン	*** 尿中総三塩化物	mg/L	100以下	100超	300以下	300超
	*** 尿中トリクロロ酢酸	mg/L	30以下	30超	100以下	100超
テトラクロロエチレン	*** 尿中総三塩化物	mg/L	3以下	3超	10以下	10超
	*** 尿中トリクロロ酢酸	mg/L	3以下	3超	10以下	10超

※1：測定値は、マンデル酸とフェニルグリオキシル酸の合算値です。
2014年11月より、スチレン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンは、有機溶剤中毒予防規則から特定化学物質障害予防規則の対象に位置づけられました。

検体取り扱い方法

- * 遮光保存してください。
- ** 連続した作業日の初日を除いた作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。
- *** 週末の作業日の作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位) (治療濃度範囲)	採血時刻	備考 (製品名、薬剤名等)
抗 菌 薬	3854 0 013710702	アミカシン 3M601-0000-023-062	血清 0.4	S7P ↓ A00	凍結	2~4	① 特	KIMS	Peak 50~60 Trough 4未満 ($\mu\text{g/mL}$) 下記参照	点滴開始1時間後 (30分で投与した 場合、終了30分後) (Peak濃度) 投与前30分以内 (Trough濃度)	アルベカシンとの交 差反応があるのでご 注意ください。 アミカマイシン、 ピクリン &1
	3853 1 013702302	トブラマイシン 3M602-0000-023-024	血清 0.4	S7P ↓ A00	凍結	2~4	① 特	EIA	Peak 15~20 Trough 1未満 ($\mu\text{g/mL}$) 下記参照	点滴開始1時間後 (30分で投与した 場合、終了30分後) (Peak濃度) 投与前30分以内 (Trough濃度)	トブラシン &1
	3851 3 014492302	ゲンタマイシン 3M606-0000-023-024	血清 0.4	S7P ↓ A00	凍結	2~4	① 特	EIA	Peak 15~20 Trough 1未満 ($\mu\text{g/mL}$) 下記参照	点滴開始1時間後 (30分で投与した 場合、終了30分後) (Peak濃度) 投与前30分以内 (Trough濃度)	ゲンタシン、 エルタシン、 ルイネシン &1
	3830 6 013590702	アルベカシン 3M613-0000-023-062	血清 0.3	S7P ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	① 特	ラテックス 凝集比濁法	Peak 15~20 Trough 1~2未満 ($\mu\text{g/mL}$)	点滴開始1時間後 (30分で投与した 場合、終了30分後) (Peak濃度) 投与前30分以内 (Trough濃度)	ハベカシン &1
	3859 5 012462302	バンコマイシン 3M530-0000-023-062	血清 0.4	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	① 特	ラテックス 凝集比濁法	Trough 10~15 ($\mu\text{g/mL}$)	投与前30分以内 (Trough濃度)	塩酸バンコマイシン &1
	3846 9 015890702	テイコプラニン 3M532-0000-023-062	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	① 特	ラテックス 凝集比濁法	Trough 15~30 ($\mu\text{g/mL}$)	投与前30分以内 (Trough濃度)	タゴシッド &1
	K132 4 019521403	ポリコナゾール 3M698-0000-022-205	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	($\mu\text{g/mL}$)		ブイフェンド &1

特：特定薬剤治療管理料(29ページ参照)

①「特定薬剤治療管理料1」は、投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。

採血容器についての注意事項

血清分離剤入り容器の使用は避けてください。薬物検査において、測定値に影響を及ぼす場合があります。

採血時刻についての注意事項

- 1.TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
- 2.連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3.中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4.標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。

[3846 9]テイコプラニン検査について

医薬品添付文書には、「テイコプラニンのトラフレベルの血中濃度は、敗血症などの重症感染症においては確実な臨床効果を得るために $10\mu\text{g/mL}$ 以上を保つこと。ただし、トラフレベルの血中濃度が $60\mu\text{g/mL}$ 以上になった場合には腎障害、聴覚障害等の副作用の発現に注意すること。また、トラフレベルの血中濃度が $20\mu\text{g/mL}$ 以上で一過性に肝機能検査値が軽度上昇したとの報告がある。(医薬品添付文書・2003年1月改訂第8版より)」の内容が記載されております。

グラム陰性菌感染症に対する標準治療における目標値

(単位： $\mu\text{g/mL}$)

最小発育阻止濃度(MIC)	8 $\mu\text{g/mL}$ (重症)		$\leq 4\mu\text{g/mL}$ (軽・中等症)	
アミカシン	Peak 50 ~ 60	Trough 4未満	Peak 41 ~ 49	Trough 4未満
最小発育阻止濃度(MIC)	2 $\mu\text{g/mL}$ (重症)		$\leq 1\mu\text{g/mL}$ (軽・中等症)	
ゲンタマイシン	Peak 15 ~ 20	Trough 1未満	Peak 8 ~ 10	Trough 1未満
トブラマイシン				

抗菌薬TDMガイドライン2016より改変

※基準値は重症における目標値を基準値(治療濃度範囲)として設定いたしました。



薬物検査

抗てんかん薬

薬物検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位) (治療濃度範囲)	採血時刻	備考 (製品名、薬剤名等)
抗 て ん か ん 薬	P210 2 001312302	緊急 カルバマゼピン 3L115-0000-023-024	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	① 特	ラテックス 免疫凝集 阻害法	4.0~12.0 ($\mu\text{g/mL}$)	次回投与直前 (Trough濃度)	テグレトール、 テレスミン、 レキシン
	3814 4 014481402	クロナゼパム 3L125-0000-023-205	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	20~70 (ng/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	リボトリール、 ランドセン &1
	3816 2 014471402	ジアゼパム 3L130-0000-023-204	血清 0.5	S7P ↓ A00	冷蔵	3~6	① 特	HPLC	ジアゼパム 600~1000 (ng/mL)	次回投与直前 (Trough濃度) ただし、抗て んかん剤とし て用いる場合	N-デスメチルジア ゼパムも同時報告い たします。 セルシン、 ホリゾン、 ジアパックス &1
	3809 0 014002302	エトスクシミド 3L135-0000-023-024	血清 0.5	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	① 特	EIA	40.0~100.0 ($\mu\text{g/mL}$)	次回投与直前 (Trough濃度)	ザロンチン、 エビレオブチマル &1
	3085 4 024131402	クロバザム 3L145-0000-023-205	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	(ng/mL)		デスメチルクロバザ ムも同時報告いたし ます。 マイスタン &1
	3815 3 014011402	ニトラゼパム 3L165-0000-023-205	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	20~200 (ng/mL)	次回投与直前 (Trough濃度) ただし、抗て んかん剤とし て用いる場合	ベンザリン、 ネルボン &1
	P208 5 001322302	緊急 フェノバルビタール 3L175-0000-023-024	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	① 特	ラテックス 免疫凝集 阻害法	10.0~40.0 ($\mu\text{g/mL}$)	次回投与直前 (Trough濃度)	フェノバル、 ワコビタール、 ルミナール
	0063 1 001332302	緊急 フェニトイン 3L185-0000-023-024	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	① 特	ラテックス 免疫凝集 阻害法	10.0~20.0 ($\mu\text{g/mL}$)	経口: 次回投与直前 (Trough濃度) 静注: 投与後 2~4時間	アレビアチン、 ヒダントール、 ジフェニルヒダントイン

特：特定薬剤治療管理料(29ページ参照)

①「特定薬剤治療管理料1」は、投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。

採血容器についての注意事項

血清分離剤入り容器の使用は避けてください。薬物検査において、測定値に影響を及ぼす場合があります。

採血時刻についての注意事項

- 1.TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
- 2.連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3.中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4.標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位) (治療濃度範囲)	採血時刻	備考 (製品名、薬剤名等)
抗 て ん か ん 薬	3802 7 013982302	プリミドン	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	① 特	EIA	5.0~12.0 ($\mu\text{g/mL}$)	次回投与直前 (Trough濃度)	プリミドン、 プリムロン
		3L190-0000-023-024 3L190-0000-022-024	血漿 0.3	PH5 ↓ A00			① 特				&1
	P209 4 001342302	緊急 バルプロ酸	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	① 特	ラテックス 免疫凝集 阻害法	50.0~100.0 ($\mu\text{g/mL}$)	次回投与直前 (Trough濃度)	デバケン、 セレニカR、 バレリン、 ハイセレン
	3813 5 014554302	トリメタジオン	血清 0.5	S7P ↓ A00	凍結 (12日)	7~13	① 特	LC-MS/MS	300~500 ($\mu\text{g/mL}$)		ミノアレ (活性代謝物である ジメタジオンを測定) &M
	A257 6 002470702	ゾニサミド	血清 0.5	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	① 特	ラテックス 凝集法	10~30 ($\mu\text{g/mL}$)	次回投与直前 (Trough濃度)	エクセグラン &1
	E948 5 019661403	ガバペンチン	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	($\mu\text{g/mL}$)		ガバペン錠 &1
	K218 9 02797A103	ラモトリギン	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	2.5~15 ($\mu\text{g/mL}$)	次回投与直前 (Trough濃度)	ラミクタール &1
	K599 7 02090A103	トピラマート	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~5	① 特	LC/MS/MS	5~20 ($\mu\text{g/mL}$)	次回投与直前 (Trough濃度)	トピナ &1
	K598 8 02089A103	レベチラセタム	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~5	① 特	LC/MS/MS	12~46 ($\mu\text{g/mL}$)	次回投与直前 (Trough濃度)	イーケブラ &1
	A288 2 04297A103	スチリペントール	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵 (28日)	5~11	① 特	LC/MS/MS	($\mu\text{g/mL}$)		ディアコミット &1
	A289 1 04393A103	ルフィナミド	血漿 0.3	PN2,PN5 ↓ A00	冷蔵 (28日)	3~9	① 特	LC/MS/MS	($\mu\text{g/mL}$)		イノベロン &1
	A067 7 04257A110	ペランパネル	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵 (28日)	3~5	① 特	LC/MS/MS	(ng/mL)		フィコンパ &1
	A231 4 04254A110	ラコサミド	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵 (28日)	3~5	① 特	LC/MS/MS	($\mu\text{g/mL}$)	次回投与直前 (Trough濃度)	ヒムバット &1
	3817 1 017791402	アセタゾラミド	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	3~9	① 特	HPLC	($\mu\text{g/mL}$)		ダイアモックス &1

特：特定薬剤治療管理料(29ページ参照)

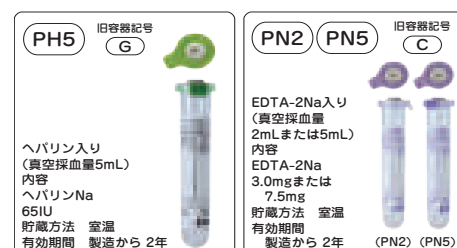
①「特定薬剤治療管理料1」は、投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。

採血容器についての注意事項

血清分離剤入り容器の使用は避けてください。薬物検査において、測定値に影響を及ぼす場合があります。

採血時刻についての注意事項

- 1.TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
- 2.連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3.中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4.標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。



薬物検査

免疫抑制薬／循環器用薬

薬物検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位) (治療濃度範囲)	採血時刻	備考 (製品名、薬剤名等)
免疫抑制薬	3873 9 018731901	シクロスポリン 3M805-0000-019-053	血液 0.7 (EDTA-2K加)	PKF	凍結	2~4	① 特	ECLIA	(ng/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	他の検査項目との同時依頼はできませんのでご注意ください。 ネオラル、サンディミュン &1
	8741 0 021663301	タクロリムス 3M810-0000-019-053	血液 0.7 (EDTA-2K加)	PKF	凍結	2~4	① 特	ECLIA	(ng/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	他の検査項目との同時依頼はできませんのでご注意ください。 プロGRAF、グラセプター &1
	A225 1 030030901	エベロリムス 3M815-0000-019-053	血液 1.0 (EDTA-2K加)	PKF	凍結	2~4	① 特	ECLIA	免疫抑制剤としてシクロスポリンと併用した場合 Trough濃度 3.0~8 抗悪性腫瘍剤として使用した場合 Trough濃度 5~15 (ng/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	他の検査項目との同時依頼はできませんのでご注意ください。 サーティカン、アフィニール &1
	A159 5 030102303	ミコフェノール酸 3M816-0000-022-024	血漿 0.5	PN2,PN5 ↓ A00	冷蔵 (7日)	2~5	① 特	EIA	(μg/mL)		セルセプト &1
循環器用薬	0068 6 001352302	緊急 ジゴキシン 3L765-0000-023-024	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	① 特	ラテックス 免疫凝集 阻害法	消失相濃度 0.8~2.0 (ng/mL)	投与後6時間~ 次回投与直前 (消失相)	ジゴキシン、 ジゴキシン
	4227 5 016661403	アミオダロン 3L800-0000-022-205	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	(ng/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	アミオダロン 有効血中濃度: 500~1000ng/mL (200mg/日投与、 定常状態、トラフ値) Desethylamiodarone /Amiodarone=0.8 (定常状態)。 アンカロン &1
	K588 9 020851403	ベプリジル 3L802-0000-022-205	血漿 0.3	PH5 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~5	① 特	LC/MS/MS	250~800 (ng/mL)		ベプリコール &1
	3839 7 018581402	アプリンジン 3L855-0000-023-205 3L855-0000-022-205	血清 0.3 血漿 0.3	S7P ↓ A00 PH5 ↓ A00	 冷蔵	 3~5	 ① 特 ① 特	 LC/MS/MS	 0.25~1.25 (μg/mL)	経口: 次回投与直前 (Trough濃度) 投与後 2~4時間 (Peak濃度) 静注: 次回投与直前 (Trough濃度)	アスベノン &1

特：特定薬剤治療管理料(29ページ参照)

①「特定薬剤治療管理料1」は、投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。

採血容器についての注意事項

血清分離剤入り容器の使用は避けてください。薬物検査において、測定値に影響を及ぼす場合があります。

採血時刻についての注意事項

- 1.TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
- 2.連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3.中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4.標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位) (治療濃度範囲)	採血時刻	備考 (製品名、薬剤名等)
循 環 器 用 薬	3836 0 011792302	ジソピラミド	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	① 特	EIA	2.0~5.0 (μg/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	ノルベース、 リスモダン、 カフィール、 リスラミドR
		3L865-0000-023-024 3L865-0000-022-024	血漿 0.3	PH5 ↓ A00							
	3834 2 012292302	リドカイン	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	① 特	EIA	1.2~5.0 (μg/mL)	静注: 投与後2時間 点滴静注: 6~12時間	キシロカイン
	3841 4 021891402	メキシレチン	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	0.5~2.0 (μg/mL)	経口: 次回投与直前 (Trough濃度) 静注: 随時	メキシチール
	3837 9 013722302	プロカインアミド	血清 0.4	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	① 特	EIA	4.0~10.0 (μg/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	アミサリン
		3L890-0000-023-024 3L890-0000-022-024	血漿 0.4	PH5 ↓ A00							
	3840 5 017771402	プロプラノロール	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	4~17		HPLC	50~100 (ng/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	インデラル
		3L895-0000-023-024 3L895-0000-022-024	血漿 0.3	PH5 ↓ A00							
	3877 5 015971402	ピルシカイニド	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	0.2~0.9 (μg/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	サンリズム
		3L896-0000-023-205 3L896-0000-022-205	血漿 0.3	PH5 ↓ A00							
薬	3822 5 015661402	プロパフェノン	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	(ng/mL)		プロノン
	8748 3 015001402	シベンゾリン	血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	3~5	① 特	LC/MS/MS	Trough濃度 70~250 (ng/mL)	朝投与直前 (Trough濃度)	シベノール
		3L898-0000-023-205 3L898-0000-022-205	血漿 0.3	PH5 ↓ A00							

特：特定薬剤治療管理料(29ページ参照)

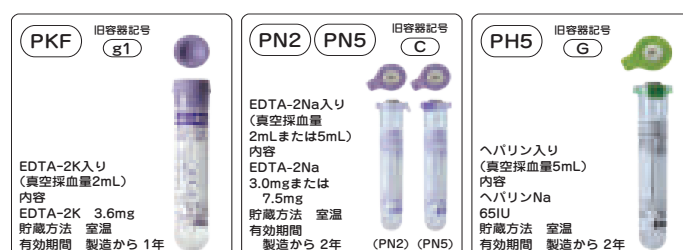
①「特定薬剤治療管理料1」は、投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。

採血容器についての注意事項

血清分離剤入り容器の使用は避けてください。薬物検査において、測定値に影響を及ぼす場合があります。

採血時刻についての注意事項

- 1.TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
- 2.連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3.中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4.標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。



薬物検査

循環器用薬／精神神経用薬

薬物検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位) (治療濃度範囲)	採血時刻	備考 (製品名、薬剤名等)
循環器用薬	4240 0 016621403	ビルメノール 3L899-0000-022-204	血漿 1.3	PH5 ↓ A00	冷蔵	3～9	① 特	HPLC	400.0以上 (ng/mL)	随時	ビメノール &1
	3835 1 011770702	キニジン 3L900-0000-023-062 3L900-0000-022-062	血清 0.4 血漿 0.4	S7P ↓ A00 PH5 ↓ A00	冷蔵	2～8	① 特	KIMS	2.0～6.0 (μg/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	硫酸キニジン &1
	8756 4 015021402	フレカイニド 3L905-0000-023-205 3L905-0000-022-205	血清 0.3 血漿 0.3	S7P ↓ A00 PH5 ↓ A00	冷蔵	3～5	① 特	LC/MS/MS	200～1000 (ng/mL)	次回投与直前 (Trough濃度)	タンボコール &1
	A978 6										
精神神経用薬	3818 0 018271802	ハロペリドール 3L300-0000-023-064	血清 0.5	S7P ↓ A00	冷蔵	2～4	① 特	金コロイド 凝集法	3～17 (ng/mL)	随時(ただし、 採血時刻を 一定とする)	ハロペリドール・ブ ロムペリドールは、 ほぼ同等の交差反応 を示すため、双方を 併用されている患者 検体の測定値は、各々 の正確な血中濃度値 とは合致しませんの で、ご注意ください。 セレネース、 ハロマンズ、 リントン、 ネオペリドール、 ハロステン &1
	3843 2 016521802	ブロムペリドール 3L302-0000-023-064	血清 0.5	S7P ↓ A00	冷蔵	2～4	① 特	金コロイド 凝集法	至適血中濃度 15以下 (ng/mL)	随時(ただし、 採血時刻を 一定とする)	ハロペリドール・ブ ロムペリドールは、 ほぼ同等の交差反応 を示すため、双方を 併用されている患者 検体の測定値は、各々 の正確な血中濃度値 とは合致しませんの で、ご注意ください。 インプロモン、 ルナブロン &1
	3807 2 014043402	リチウム 3L320-0000-023-271	血清 0.5	S7P ↓ AZZ	冷蔵	2～4	① 特	比色法	治療濃度範囲 0.3～1.2 (mEq/L)	最終投与後 12時間または 早期投与前 (Trough濃度)	リーマス、 リチオマル &1

特：特定薬剤治療管理料(29ページ参照)

①「特定薬剤治療管理料1」は、投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。

採血容器についての注意事項

血清分離剤入り容器の使用は避けてください。薬物検査において、測定値に影響を及ぼす場合があります。

採血時刻についての注意事項

- 1.TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
- 2.連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3.中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4.標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位) (治療濃度範囲)	採血時刻	備考 (製品名、薬剤名等)
3838 8 015370102	アセトアミノフェン 3L005-0000-023-024	血清 0.4	S7P ↓ A00	冷蔵	2~8	① 180 ※4	EIA	中毒域 200.1以上(4時間) 100.1以上(8時間) 50.1以上(12時間) ($\mu\text{g/mL}$)		アセトアミノフェン、 ピリナジン、 ナバ ※1
0067 7 001362302	緊急 テオフィリン 3M070-0000-023-024	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	② 特	ラテックス 免疫凝集 阻害法	10.0~20.0 ($\mu\text{g/mL}$)	☆下記参照	テオドール、 テオロング、 ユニフィル
3872 0 014020102	サリチル酸 3M205-0000-023-271	血清 0.4	S7P ↓ A00	冷蔵	2~4	② 特	酵素法	抗炎症作用として 100~250 ($\mu\text{g/mL}$)	次回投与直前 (Trough濃度)	アスピリン、 パファリン ※1
4124 9 018286403	ヘパリン 3M415-0000-022-315	速やかに遠心 血漿 0.3	PC2 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	4~8	③ 108 ※4	発色性 合成基質法	(IU/mL)		凝固検体取り扱いにつ いては、容器の取り扱 い方法②ページをご参 照ください。 ※1
3871 1 01375A102	メトトレキサート 3M725-0000-023-024 3M725-0000-022-024	血清 0.5 血漿 0.5	S7P ↓ A00 PH5 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 特 ② 特	EIA	危険限界濃度： 24時間値 10以上 48時間値 1以上 72時間値 0.1以上 ($\mu\text{mol/L}$)	メトトレキサート・ ロイコボリン 救護療法時 24、48、72時間	メソトレキサート ※1
K597 9 02088A103	イマチニブ 3M750-0000-022-205	血漿 0.3	PN2,PN5 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~16	② 特	LC/MS/MS	(ng/mL)	服用後24時間 ±2時間後 (Trough濃度)	グリベック ※1

特：特定薬剤治療管理料(29ページ参照)

- ①「アセトアミノフェン」は、同一の患者につき1月以内に2回以上行った場合は、第1回目の測定を行ったときに1回に限り算定する。
 ②「特定薬剤治療管理料1」は、投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。
 ③「ヘパリン」の血中濃度測定においては、同一の患者につき1月以内に当該検査を2回以上行った場合においては、算定は1回とし、1回目の測定を行ったときに算定する。

採血容器についての注意事項

血清分離剤入り容器の使用は避けてください。薬物検査において、測定値に影響を及ぼす場合があります。

採血時刻についての注意事項

- 1.TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
- 2.連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3.中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4.標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。

☆経口・静注

経口：徐放性製剤では投与後4時間、裸錠では投与後2時間(Peak濃度)、次回投与直前(Trough濃度)
 静注：負荷投与後30分、点滴開始後4~6、および12~18時間



薬物検査

特定薬剤治療管理料1

特定薬剤治療管理料1は、投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。

当社で取り扱っていない検査項目も掲載しております。

薬 剤 名	検 査 項 目	特定薬剤治療管理料 (同一患者月1回)		加算点 (初回月)	備考
		1~3ヵ月	4ヵ月以降		
ジギタリス製剤 (心疾患)	ジゴキシシン	470点	235点	280点	
抗てんかん剤 (てんかん)	フェノバルビタール、ブリミドン、フェニトイン、カルバマゼピン、バルプロ酸ナトリウム、エトスクシミド、トリメタジオン、クロナゼパム、ニトラゼパム、ゾニサミド、ガバペンチン、クロバザム、レベチラセタム、ラモトリギン、トピラマート、スチリペンツール、ルフィナミド、ペランパネル、ラコサミド、ジアセパム、アセタゾラミド	470点	470点	280点	*1、2
免疫抑制剤 (臓器移植後)	シクロスポリン、タクロリムス水和物、エベロリムス、ミコフェノール酸モフェチル	470点	470点	2740点 (臓器移植を行った日の属する月を含め3月に限り加算)	*3、4
テオフィリン製剤 (気管支喘息、喘息性(様)気管支炎、慢性気管支炎、肺気腫又は末熟児無呼吸発作)	テオフィリン	470点	235点	280点	
不整脈用剤 (不整脈)	プロカインアミド、N-アセチルプロカインアミド、ジソピラミド、キニジン、アプリンジン、リドカイン、ビルジカイン塩酸塩、プロパフェノン、メキシレチン、フレカイニド、シベンゾリンコハク酸塩、ビルメノール、アミオダロン、ソタロール塩酸塩、ベプリジル塩酸塩	470点	235点	280点	
ハロペリドール製剤 フロムペリドール製剤 (統合失調症)	ハロペリドール、フロムペリドール	470点	235点	280点	
リチウム製剤 (躁うつ病)	リチウム	470点	235点	280点	
バルプロ酸ナトリウム又はカルバマゼピン (躁うつ病又は躁病)	バルプロ酸ナトリウム、カルバマゼピン	470点	470点	280点	
シクロスポリン(免疫抑制剤) (ベーチェット病(活動性・難治性眼症状を有するもの)、その他の非感染性ぶどう膜炎(既存治療で効果不十分で、視力低下のおそれのある活動性の中間部又は後部の非感染性ぶどう膜炎に限る。)、再生不良性貧血、赤芽球病、尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、関節症性乾癬、全身型重症筋無力症、アトピー性皮膚炎(既存治療で十分な効果が得られない患者に限る。)、ネフローゼ症候群、川崎病の急性期)	シクロスポリン	470点	470点	280点	
タクロリムス水和物(免疫抑制剤) (全身型重症筋無力症、関節リウマチ、ループス腎炎、潰瘍性大腸炎又は間質性肺炎(多発性筋炎又は皮膚筋炎に合併するものに限る。))	タクロリムス水和物	470点	470点	280点	
サリチル酸系製剤 (若年性関節リウマチ、リウマチ熱、慢性関節リウマチ)	サリチル酸	470点	235点	280点	
メトトレキサート (悪性腫瘍)	メトトレキサート	470点	235点	280点	
エベロリムス (結節性硬化症)	エベロリムス	470点	235点	280点	
アミノ配糖体抗生物質 [入院中]	ゲンタマイシン、トブラマイシン、アミカシン、アルベカシン	470点	235点	280点	
グリコペプチド系抗生物質 [入院中]	バンコマイシン、テイコブラニン	470点	235点	280点 (バンコマイシン除く)	*5
トリアゾール系抗真菌剤 [入院中]	ポリコナゾール	470点	235点	280点	
トリアゾール系抗真菌剤 (重症又は難治性真菌感染症又は造血幹細胞移植(造血幹細胞移植の患者にあっては、深在性真菌症の予防を目的とするものに限る。))	ポリコナゾール	470点	235点	280点	
イマチニブ	イマチニブ	470点	235点	280点	
シロリムス製剤 (リンパ脈管筋腫症)	シロリムス	470点	235点	280点	
スニチニブ(抗悪性腫瘍剤) (腎細胞癌)	スニチニブ	470点	235点	280点	
バルプロ酸ナトリウム (片頭痛)	バルプロ酸ナトリウム	470点	235点	280点	
治療抵抗性統合失調症治療薬 (統合失調症)	クロザピン	470点	235点	280点	
ブスルファン	ブスルファン	470点	235点	280点	

*1：ジギタリス製剤の急速飽和を行った場合又はてんかん重複状態の患者に対して、抗てんかん剤の注射等を行った場合は、所定点数にかかわらず、1回に限り740点を算定する。

*2：てんかんの患者であって、2種類以上の抗てんかん剤を投与されているものについて、同一暦月に血中の複数の抗てんかん剤の濃度を測定し、その測定結果に基づき、個々の投与量を精密に管理した場合は、当該管理を行った月において、2回に限り所定点数を算定できる。

*3：ミコフェノール酸モフェチルを投与している臓器移植後の患者であって、2種類以上の免疫抑制剤を投与されているものについて、医師が必要と認め、同一暦月に血中の複数の免疫抑制剤の濃度を測定し、その測定結果に基づき、個々の投与量を精密に管理した場合は、6月に1回に限り250点を所定点数に加算する。

*4：エベロリムスを投与している臓器移植後の患者であって、2種類以上の免疫抑制剤を投与されているものについて、医師が必要と認め、同一暦月に血中の複数の免疫抑制剤の濃度を測定し、その測定結果に基づき、個々の投与量を精密に管理した場合は、エベロリムスの初回投与を行った日の属する月を含め3月に限り1回、4月目以降は4月に1回に限り250点を所定点数に加算する。

*5：入院中の患者であって、バンコマイシンを数日間以上投与しているものに対して、バンコマイシンの安定した血中至適濃度を得るため、血中のバンコマイシンの濃度を複数回測定し、その測定結果に基づき、投与量を精密に管理した場合は、1回に限り、530点を所定点数に加算する。

※特定薬剤治療管理料2(サリドマイド製剤及びその誘導体)は省略しております。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
血 液 一 般 形 態 検 査	5503 7 T00005503	緊急 血球計算8種 (5種, MCV, MCH, MCHC)	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2	① 21 ※3	自動化法	下記 各項目の基準値欄 をご参照ください。	凍 溶 溶血・凝固・凍結検体は避けてく ださい。 採血後直ちに4~5回軽く転倒混和 して冷蔵保存してください。 (注)採血直後、直ちに転倒混和し てください。転倒混和が不充分で あったり、転倒混和するまで時間 を要すると血液の部分凝固や目視 では確認できないレベルの血液凝 固が生じるため、検査結果に影響 を及ぼします。
	P094 2 000571201	緊急 白血球数(WBC) 2A010-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2		自動化法	M 3900~9800 F 3500~9100 (/μL)	
	P093 3 000581201	赤血球数(RBC) 2A020-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2		自動化法	M 427~570 F 376~500 (×10 ⁴ /μL)	
	P095 1 000591201	緊急 血色素量(Hb) 2A030-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2	① 21 ※3	自動化法	M 13.5~17.6 F 11.3~15.2 (g/dL)	
	P096 0 000601201	緊急 ヘマトクリット値 (Ht) 2A040-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2		自動化法	M 39.8~51.8 F 33.4~44.9 (%)	
	P097 9 000611201	緊急 血小板数(PLT) 2A050-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2		自動化法	M 13.1~36.2 F 13.0~36.9 (×10 ⁴ /μL)	
	0805 7 000620401	平均赤血球容積 (MCV) 2A060-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2		自動化法	M 82.7~101.6 F 79.0~100.0 (fL)	
	0806 6 000630401	平均赤血球血色素量 (MCH) 2A070-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2		自動化法	M 28.0~34.6 F 26.3~34.3 (pg)	
	0807 5 000640401	平均赤血球血色素 濃度(MCHC) 2A080-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2		自動化法	M 31.6~36.6 F 30.7~36.6 (%)	
	P103 1 000671201	網赤血球数(RET) 2A110-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵		12 ※3	自動化法	M 2~27 F 2~26 (%)	
	0852 5 000691201	曜日指定 好酸球数 2A090-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	2~4	② 17 ※3	自動化法	70~440 (/μL)	凍 溶 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。た だし、祝祭日の前日は受付不可 です。 検体は採取後、当日中にご提出 ください。 溶血、凝固および凍結検体は測 定できません。 &1
	P134 7 00071A101	緊急 末梢血液像 2A160-0000-019-309	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2	②③ 15 ※3	自動化法	*桿状核球(Stab): 0.0~6.0 *分葉核球(Seg): 32.0~73.0 好中球(Neut): 40.0~74.0 好酸球(Eosino): 0.0~6.0 好塩基球(Baso): 0.0~2.0 単球(Mono): 0.0~8.0 リンパ球(Lym): 18.0~59.0 (%)	凍 溶 溶血・凝固・凍結検体は避けてく ださい。 採血後直ちに4~5回軽く転倒混和 して冷蔵保存してください。 (注1)採血直後、直ちに転倒混和 してください。転倒混和が不充分 であったり、転倒混和するまで 時間を要すると血液の部分凝固 や目視では確認できないレベル の血液凝固が生じるため、検査 結果に影響を及ぼします。

- ①「末梢血液一般検査」は、赤血球数、白血球数、血色素測定(Hb)、ヘマトクリット値(Ht)、血小板数の全部又は一部を行った場合に算定する。
 ②同一検体について、「好酸球数」及び「末梢血液像(自動機械法)」又は「末梢血液像(鏡検法)」を行った場合は、主たる検査の所定点数のみを算定する。
 ③「末梢血液像(自動機械法)」、「末梢血液像(鏡検法)」及び「骨髓像」の検査については、少なくともリンパ球、単球、好中球、好酸球、好塩基球の5分類以上の同定・比率計算を行った場合に算定する。



血液学的検査

血液一般・形態検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
血液一般・形態検査	0853 4 000705445	鼻汁中好酸球	鼻汁塗抹標本 2～3枚	Z10	室温	2～4	15 ※3	メイ・グリュ ンワルド・ギ ムザ染色法に よる鏡検法	(-)	
		2A300-0000-063-604								

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
凝固・線溶関連検査	P154 5 000751703	活性化部分 トロンボプラスチン時間 (APTT) 2B020-0000-022-311	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結	1~2	29 ※3	凝固時間測定法	24.3~36.0 (秒)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。
	P185 1 000741703	緊急 プロトロンビン時間 (PT) 2B030-0000-022-311	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結	1~2	18 ※3	凝固時間測定法	秒 10.5~13.5 (秒) % 70~130 (%) 比 0.85~1.15	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 抗凝固療法の治療管理指標である国際標準化比(INR)もご報告いたします。
	P155 4 000781703	フィブリノーゲン (FIB) 2B100-0000-022-311	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結	1~2	23 ※3	凝固時間測定法	150~400 (mg/dL)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。
	0095 6 003410709	可溶性フィブリンモノマー 複合体(SFMC) 2B110-0000-022-062	速やかに遠心 血漿 0.4	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	93 ※3	LPIA	7未満 陰性 (μg/mL)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 ※1
	8558 4 018440703	フィブリンモノマー 複合体定量 2B110-0000-022-062	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	①② 215 ※3	ラテックス 免疫比濁法	6.1以下 (μg/mL)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 ※1
	4099 8 000790703	FDP定量	速やかに遠心 血漿 0.3	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	80 ※3	ラテックス 免疫比濁法	4以下 (μg/mL)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 ※1
	4738 8 000790721	2B120-0000-022-062 2B120-0000-001-062	部分尿 0.5	U90 ↓ A00	凍結 (21日)	2~6	72 ※1	LPIA	100以下 (ng/mL)	新鮮尿を専用容器(U90)に注入し、よく混和後、3000rpm5~10分間遠心分離してください。 ※1
	B143 1 017840703	Dダイマー 2B140-0000-022-062	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	127 ※3	ラテックス 免疫比濁法	1.0未満 (μg/mL)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 ※1
	0176 6 019650803	プロトロンビン フラグメントF1+2 2B170-0000-022-023	速やかに遠心 血漿 0.3	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~5	② 192 ※3	ELISA	69~229 (pmol/L)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 ※1
	4122 1 014396403	アンチトロンビンⅢ (ATⅢ) 2B200-0000-022-315	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	2~4	70 ※3	発色性 合成基質法	79~121 (%)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 ※1
	A258 5 003470609	トロンビン・アンチ トロンビンⅢ複合体(TAT) 2B210-0000-022-052	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	② 171 ※3	CLEIA	3.0以下 (ng/mL)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 ※1
	4119 5 014546403	プラスミノーゲン 2B260-0000-022-315	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結	2~4	100 ※3	発色性 合成基質法	75~125 (%)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 ※1
	4120 3 011366403	アンチプラスミン (α ₂ プラスミンインヒビター) 2B270-0000-022-315	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	2~4	128 ※3	発色性 合成基質法	85~115 (%)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 ※1
検査	4133 9 018250703	α ₂ プラスミン インヒビター・ プラスミン複合体 (PICテスト) 2B280-0000-022-062	速やかに遠心 血漿 0.2	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	150 ※3	LPIA	0.8以下 (μg/mL)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 ※1
	4166 3 015940703	トータルPAI-1 (tPA・PAI-1複合体) 2B310-0000-022-062	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~5	240 ※3	LPIA	50以下 (ng/mL)	採血後、速やかに低温(4℃)で血漿分離してください。室温遠心や専用容器(PC5)での採血はデータが高値となるため避けてください。速やかに分離できない場合は、氷水中に保存し、1時間以内に血漿分離してください。 測定対象はトータルPAI-1 (tPA・PAI-1複合体および活性型、潜在型PAI-1)です。 ※1

- ①「フィブリンモノマー複合体」は、DIC、静脈血栓症又は肺動脈血栓症の診断及び治療経過の観察のために実施した場合に算定する。
②「トロンビン・アンチトロンビン複合体(TAT)」、「プロトロンビンフラグメントF1+2」及び「フィブリンモノマー複合体」のうちいずれが複数回を同時に測定した場合、主たるもののみ算定する。

Z10 旧容器記号
t



【オブジェクト
ケース】
フレバート
(スライドグラス)

貯蔵方法 室温

PC2 旧容器記号
K



3.2%クエン酸
ナトリウム入り
(真空採血量1.8mL)
内容
3.2%クエン酸Na
0.2mL
貯蔵方法 室温
有効期間 製造から1年
(25本入りプラスチック
ケース開封後1ヵ月)

U90 旧容器記号
b2



抗プラスミン剤入り
内容
アプロチニン
精製ゼラチン
デヒドロ酢酸
ナトリウム
貯蔵方法 室温
有効期間 製造から2年
(アルミ包装
開封後1週間)

血液学的検査

凝固・線溶関連検査

項目コード 新項目コード		検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考		
凝	A302 5 003556403	第Ⅷ因子(F8) 〔合成基質法〕 2B390-0000-022-315	速やかに遠心 血漿 各 0.3		凍結 (7日)	2～6	223 ※3	合成基質法	60～140 (%)	凝固検体取り扱いについては、容 器の取り扱い方法②ページをご参 照ください。		
	A303 4 003556403	第Ⅸ因子(F9) 〔合成基質法〕 2B400-0000-022-315			凍結 (28日)		223 ※3					
固	4104 1 013611703	凝 第Ⅱ因子(F2) 2B350-0000-022-311		PC2 ↓ A00		2～4	223 ※3	凝固時間法	75～135 (%)			
	4105 0 013621703	固 第Ⅴ因子(F5) 2B370-0000-022-311					223 ※3		70～135 (%)			
	4107 8 013631703	因 第Ⅶ因子(F7) 2B380-0000-022-311					223 ※3		75～140 (%)			
	4108 7 013641703	子 第Ⅷ因子(F8) 2B390-0000-022-311					223 ※3		60～150 (%)			
	4109 6 013651703	活 第Ⅸ因子(F9) 2B400-0000-022-311					速やかに遠心 血漿 各 0.4	凍結 (21日)	223 ※3		合成基質法	70 ～ 140 (%)
	4110 4 013661703	性 第Ⅹ因子(F10) 2B410-0000-022-311					223 ※3					
	4111 3 013671703	検 第Ⅺ因子(F11) 2B420-0000-022-311					223 ※3					
	4112 2 013681703	査 第Ⅻ因子(F12) 2B430-0000-022-311					223 ※3					
	4113 1 011376403	第Ⅻ因子(F13) 2B440-0000-022-315					223 ※3					
	関	4116 8 013580703					フォン・ウィルブラント因子 抗原定量 2B450-0000-022-062	速やかに遠心 血漿 0.2	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2～4	147 ※3
4114 0 013601703		因凝 第Ⅷ(8)因子 2B460-0000-022-311	速やかに遠心 血漿 各 1.0	PC5 ↓ A00	凍結 (21日)	2～4	144 ※3	ベセスダ法	検出せず (ベセスダU/mL)	凝固検体取り扱いについては、容 器の取り扱い方法②ページをご参 照ください。 &1		
4115 9 018021703		検抑 第Ⅸ(9)因子 2B470-0000-022-311	凍結 (21日)	144 ※3								
連	4117 7 018188203	フォン・ウィルブラント因子活性 (リステチンコファクター) 2B480-0000-022-316	速やかに遠心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結 (20日)	2～4	126 ※3	固定血小板 凝集法	60～170 (%)	凝固検体取り扱いについては、容 器の取り扱い方法②ページをご参 照ください。 &1		
	B105 3 00372A203	フォン・ウィルブラント因子 マルチマー解析 2B490-0000-022-233	速やかに遠心 血漿 0.4	PC2 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	7～11		SDS アガロースゲル 電気泳動法	NORMALパターン	凝固検体取り扱いについては、容 器の取り扱い方法②ページをご参 照ください。 &1		
検	A092 9 003790809	ADAMTS13-活性 2B495-0000-022-023	速やかに遠心 血漿 0.3	PC2 ↓ A00	凍結 (28日)	2～5	① 400 ※3	ELISA	0.10以上 (IU/mL) 10以上 (%)	凝固検体取り扱いについては、容 器の取り扱い方法②ページをご参 照ください。 血栓性血小板減少性紫斑病(TTP) の判定基準：0.10未満(IU/mL)、 10未満(%) 参考基準範囲：0.78～1.57 IU/mL &1		
	A091 0 022050809	ADAMTS13 インヒビター 2B496-0000-022-023	速やかに遠心 血漿 0.6	PC2 ↓ A00	凍結 (28日)	2～5	② 1000 ※3	ELISA	0.5未満 (BU/mL) 陰性	凝固検体取り扱いについては、容 器の取り扱い方法②ページをご参 照ください。 後天性血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP)の判定基準：0.5以上(BU/mL) 陽性 &1		

① ADAMTS13活性

ア「ADAMTS13活性」は、他に原因を認めない血小板減少を示す患者に対して、血栓性血小板減少性紫斑病の診断補助を目的として測定した場合又はその再発を疑い測定した場合に算定できる。

イ 血栓性血小板減少性紫斑病と診断された患者又はその再発が認められた患者に対して、診断した日又は再発を確認した日から起算して1月以内の場合には、1週間に1回に限り別に算定できる。なお、血栓性血小板減少性紫斑病と診断した日付又はその再発を確認した日付を、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

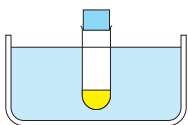
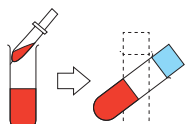
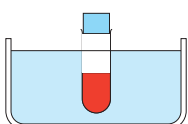
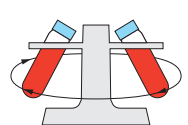
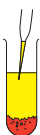
ウ 血栓性血小板減少性紫斑病に対し、血漿交換療法、免疫抑制療法及びカプラシマブ製剤による治療を行った際に治療の継続の要否を判定することを目的として測定を行った場合、30日間を超えた場合でも、1週間に1回に限り別に算定できる。なお、その医学的な必要性を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

② ADAMTS13インヒビター

ア「ADAMTS13インヒビター」は、ADAMTS13活性の著減を示す患者に対して、血栓性血小板減少性紫斑病の診断補助を目的として測定した場合又はその再発を疑い測定した場合に算定できる。

イ 後天性血栓性血小板減少性紫斑病と診断された患者又はその再発が認められた患者に対して、診断した日又は再発を確認した日から起算して1月以内の場合には、1週間に1回に限り別に算定できる。なお、後天性血栓性血小板減少性紫斑病と診断した日付又はその再発を確認した日付を、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
凝固・線溶関連検査 4101 4 013570803	β-トロンボグロブリン (β-TG) 2B600-0000-022-023	速やかに冷却 乏血小板血漿 0.3	PBT ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	2~9	171 ※3	EIA	50以下 (ng/mL)	検体採取方法は下記をご参照ください。 ※1
4102 3 012770803	血小板第4因子 (PF-4) 2B620-0000-022-023	速やかに冷却 乏血小板血漿 0.3	PBT ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	2~9	173 ※3	EIA	20以下 (ng/mL)	検体採取方法は下記をご参照ください。 ※1

容器形態	検査項目	保存	採取方法		注意事項																													
PBT 旧容器記号 Q  (真空採血禁止) 抗血小板剤入り 内 容 テオフィリン アデノシン ジビルダモール クエン酸ナトリウム クエン酸 貯蔵方法 遮光・冷蔵 有効期間 製造から 1年	β-トロンボ グロブリン(β-TG)	凍結		あらかじめ専用容器(PBT)を冷却しておいてください。	砕氷水の水面より専用容器中の液面が下になるようにしてください。角氷は使用しないでください。																													
				できるだけ20ゲージ(19~21ゲージでも可)の針を用いたプラスチック注射器で血液3.0mLを採取してください。(採血にあたって、専用容器(PBT)を使用しての直接採血は絶対にしないでください。)	真空採血管、カテーテルおよび他の方法は使用しないでください。また、駆血帯も使用しないでください。10mL以上の採血は避け、出来るだけ血管壁を損傷しないようにスムーズに採取してください。																													
				針を取って静かに専用容器(PBT)のフタを開け、血液2.7mLを静かに移し、ゆっくり2~3回転倒混和してください。	指定の専用容器以外は使用しないでください。専用容器は振とうさせないでください。																													
				専用容器を速やかに砕氷と水の入ったラックに入れてください。	砕氷水の水面より専用容器中の血液の液面が下になるようにしてください。																													
			以上の操作を2分以内に行ってください。																															
	血小板第4因子 (PF-4)	凍結		砕氷水に15 ~ 30分間放置後、採取血液を2000Gで30分間、2 ~ 4℃で遠心分離してください。(右表は2000Gにおけるローターの回転半径と回転数との関係を示します。) * 遠心機回転数の計算式 $G = 1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$ r: 遠心機のローター半径(cm) n: 1分間あたりの回転数(rpm)	1時間以内に必ず冷却下で遠心分離してください。																													
			上清の表面よりやや下の部分をマイクロピペットで1項目につき0.3mL検体容器へ採取してください。 血餅に近い部分からの採取は絶対に避けてください。 (血漿の全量採取は避けてください。) 検体は必ず凍結保存してください。 (1ヵ月安定)	<table><tr><th colspan="4">換 算 表</th></tr><tr><th>半 径 (cm)</th><th>回転数 (rpm)</th><th>半 径 (cm)</th><th>回転数 (rpm)</th></tr><tr><td>10</td><td>4200</td><td>22</td><td>2800</td></tr><tr><td>12</td><td>3800</td><td>24</td><td>2700</td></tr><tr><td>14</td><td>3500</td><td>26</td><td>2600</td></tr><tr><td>16</td><td>3300</td><td>28</td><td>2500</td></tr><tr><td>18</td><td>3100</td><td>30</td><td>2400</td></tr><tr><td>20</td><td>3000</td><td></td><td></td></tr></table>	換 算 表				半 径 (cm)	回転数 (rpm)	半 径 (cm)	回転数 (rpm)	10	4200	22	2800	12	3800	24	2700	14	3500	26	2600	16	3300	28	2500	18	3100	30	2400	20	3000
換 算 表																																		
半 径 (cm)	回転数 (rpm)	半 径 (cm)	回転数 (rpm)																															
10	4200	22	2800																															
12	3800	24	2700																															
14	3500	26	2600																															
16	3300	28	2500																															
18	3100	30	2400																															
20	3000																																	

PC2 旧容器記号 K 3.2%クエン酸 ナトリウム入り (真空採血量1.8mL) 内容 3.2%クエン酸Na 0.2mL 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年 (25本入りプラスチック ケース開封後1ヵ月)		PC5 旧容器記号 L 3.2%クエン酸 ナトリウム入り (真空採血量4.5mL) 内容 3.2%クエン酸Na 0.5mL 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年 (25本入りプラスチック ケース開封後1ヵ月)	

血液学的検査

凝固・線溶関連検査

血液学的検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
凝固・線溶関連検査	4138 4 017830703	プロテインC(抗原量) 2B700-0000-022-062	速やかに遠心 血漿 0.3	PC2 ↓ A00	凍結	2~5	226 ※3	LPIA	70~150 (%)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &1
	4139 3 018131703	プロテインC活性 2B700-0000-022-311	速やかに遠心 血漿 0.4	PC2 ↓ A00	凍結	2~4	227 ※3	凝固時間法	64~146 (%)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &1
	8540 3 012440803	プロテインS(抗原量) 2B710-0000-022-062	速やかに遠心 血漿 0.2	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	154 ※3	ラテックス凝集反応	M 73~137 F 59~143 (%)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。測定対象はトータル(遊離型および複合体型)です。 &1
	4152 8 015401703	プロテインS活性 2B710-0000-022-311	速やかに遠心 血漿 0.4	PC2 ↓ A00	凍結	2~4	163 ※3	凝固時間法	M 67~164 F 56~126 (%)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &1
	9767 1 019370703	プロテインS (遊離型抗原量) 2B711-0000-022-062	速やかに遠心 血漿 0.2	PC2 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	154 ※3	ラテックス凝集反応	M 50~131 F 49~133 (%)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &1
	A865 1 003780602	トロンボモジュリン 2B730-0000-023-052 2B730-0000-022-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	① 204 ※3	CLEIA	12.1~24.9 (U/mL)	&1
	A866 0 003780603		速やかに遠心 血漿 0.4	PC2 ↓ A00			① 204 ※3		8.7~22.7 (U/mL)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &1

①「トロンボモジュリン」は、膠原病の診断若しくは経過観察又はDIC若しくはそれに引き続いて起こるMOF観察のために測定した場合に限り算定できる。



	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
視床下部・下垂体ホルモン	3002 5	成長ホルモン(GH) 4A010-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	105 ※5	ECLIA	M 2.47以下 F 0.13~9.88 (ng/mL)	&1
	A282 8	IGF-1 (ソマトメジンC) 4A015-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (7日)	2~4	212 ※5	ECLIA	下記参照	年齢を明記してください。 &1
	3005 2	プロラクチン 4A020-0000-023-053	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	98 ※5	ECLIA	男性 4.29~13.69 閉経前女性 4.91~29.32 閉経後女性 3.12~15.39 (ng/mL)	&1
	4002 4	副腎皮質刺激ホルモン (ACTH) 4A025-0000-022-053	速やかに 冷却 血漿 0.5	PN2,PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	184 ※5	ECLIA	午前7時~10時 7.2~63.3 (pg/mL)	溶 ACTHはEDTA濃度増加により測定 値が低下するため、容器の指定容量 を採取してください。採血後、速や かに血漿分離してください。 &1
	6760 1	黄体形成ホルモン (LH) 4A030-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	105 ※5	CLIA	下記参照	性別を明記してください。 &1
	6761 0	卵胞刺激ホルモン (FSH) 4A035-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	105 ※5	CLIA	下記参照	性別を明記してください。 &1
	A477 2	甲状腺刺激ホルモン (TSH)(CLEIA)IFCC 4A056-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	1~2	98 ※5	CLEIA	0.61~4.23 (μIU/mL)	
	A208 0	抗利尿ホルモン (AVP) 4A070-0000-022-001	速やかに 冷却 血漿 1.5	PN7 ↓ A00	凍結	5~7	224 ※5	RIA2抗体法	水制限 4.0以下 自由飲水 2.8以下 (pg/mL)	溶 採血後、速やかに血漿分離してく ださい。採血後、速やかに 溶血でのご依頼は避けてください。 &1

①「インスリン様成長因子結合蛋白3型(IGFBP-3)」を「ソマトメジンC」と併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

[A282 8]IGF-1 (ソマトメジンC)年齢別・性別における基準値

(単位: ng/mL)

年齢(歳)	男性	女性	年齢(歳)	男性	女性	年齢(歳)	男性	女性
0	11~149	15~154	26	119~329	146~336	52	86~242	78~213
1	14~148	23~186	27	116~322	141~328	53	85~240	77~212
2	18~154	32~213	28	114~315	137~320	54	84~239	76~211
3	24~164	40~227	29	111~309	133~312	55	84~238	75~210
4	32~176	48~238	30	109~303	129~304	56	83~237	74~208
5	44~193	56~252	31	107~297	126~297	57	82~236	73~207
6	55~215	69~287	32	105~292	122~290	58	81~235	72~205
7	63~247	89~357	33	103~287	119~283	59	80~233	71~203
8	72~292	111~438	34	102~283	115~277	60	79~232	70~201
9	84~350	133~517	35	100~279	112~271	61	77~230	69~198
10	99~423	155~588	36	99~275	109~265	62	76~228	68~196
11	113~499	175~638	37	97~272	106~260	63	75~226	66~194
12	125~557	188~654	38	96~269	103~254	64	73~224	65~191
13	133~579	193~643	39	95~266	100~250	65	72~221	64~188
14	138~570	193~625	40	94~263	98~245	66	70~219	62~186
15	141~552	192~614	41	94~261	95~240	67	68~216	61~183
16	142~543	192~611	42	93~259	93~236	68	66~213	60~180
17	142~540	191~599	43	92~257	90~233	69	65~209	59~177
18	142~526	188~574	44	92~255	88~229	70	63~206	57~175
19	143~501	182~539	45	91~253	87~226	71	61~202	56~172
20	142~470	175~499	46	90~250	85~224	72	58~198	55~170
21	139~436	168~459	47	90~250	83~221	73	56~194	54~167
22	135~405	161~425	48	89~248	82~219	74	54~190	53~165
23	131~379	155~397	49	88~246	81~218	75	52~185	52~163
24	128~356	151~375	50	87~245	80~216	76	50~181	50~160
25	125~337	147~358	51	87~243	79~215	77	48~177	49~158

[6760 1]黄体形成ホルモン(LH)基準値

(単位: mIU/mL)

女 性	卵胞期	1.76~10.24
	排卵期	2.19~88.33
	黄体期	1.13~14.22
	閉経後	5.72~64.31
男 性		0.79~5.72

[6761 0]卵胞刺激ホルモン(FSH)基準値

(単位: mIU/mL)

女 性	卵胞期	3.01~14.72
	排卵期	3.21~16.60
	黄体期	1.47~8.49
	閉経後	157.79以下
男 性		2.00~8.30

PN2 PN5

旧容器記号 C

EDTA-2Na入り
(真空採血量
2mLまたは5mL)
内容
EDTA-2Na
3.0mgまたは
7.5mg
貯蔵方法 室温
有効期間 製造から2年

(PN2) (PN5)

PN7

旧容器記号 A

EDTA-2Na入り
(真空採血量7mL)
内容
EDTA-2Na
10.5mg
貯蔵方法 室温
有効期間 製造から2年

内分泌学的検査

甲状腺ホルモンおよび結合蛋白／副甲状腺ホルモン

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
甲状腺ホルモン および結合蛋白	A446 6 003930602	トリヨードサイロニン (T ₃) [CLEIA] 4B010-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	99 ※5	CLEIA	0.62~1.16 (ng/mL)	&1
	P183 3 00394A202	遊離トリヨードサイロニン (Free T ₃) 4B015-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	121 ※5	CLEIA	2.52 ~ 4.06 (pg/mL)	
	A452 9 003960602	サイロキシン (T ₄) [CLEIA] 4B030-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	105 ※5	CLEIA	4.53~8.38 (μg/dL)	&1
	P184 2 00397A202	遊離サイロキシン (Free T ₄) 4B035-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	121 ※5	CLEIA	0.75 ~ 1.45 (ng/dL)	
	A472 7 003980602	サイログロブリン [CLEIA] 4B040-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (23日)	2~4	128 ※5	CLEIA	35.1以下 (ng/mL)	&1
	9089 4 003990602	サイロキシン結合グロブリン (TBG) 4B045-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	130 ※5	CLEIA	14~31 (μg/mL)	&1
副甲状腺ホルモン	3154 7 001270902	副甲状腺ホルモン (PTH)-インタクト 4C025-0000-023-053	血清 0.5	冷却遠心 S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	161 ※5	ECLIA	10 ~ 65 (pg/mL)	☒ &1
	6475 8 020942103	副甲状腺ホルモン (Whole PTH) 4C026-0000-022-052	血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00	冷蔵 (14日)	2~4	161 ※5	CLEIA	8.3~38.7 (pg/mL)	&1
	3624 5 016032103	副甲状腺ホルモン 関連蛋白(PTHrP) 4C030-0000-022-006	冷却遠心 血漿 0.5	PAP ↓ A00	凍結 (7日)	5~7	186 ※5	RIA固相法 (IRMA)	1.1以下 (pmol/L)	☒ &1
	3155 6 013931902	カルシトニン 4C035-0000-023-053	速やかに遠心 血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結	2~4	130 ※5	ECLIA	M 9.52以下 F 6.40以下 (pg/mL)	速やかに血清分離後、凍結保存してください。 &1

①「副甲状腺ホルモン関連蛋白C端フラグメント(C-PTHrP)」又は「副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)」は、高カルシウム血症の鑑別並びに悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症に対する治療効果の判定のために測定した場合に限り算定する。

内分泌学的検査

副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
3050 2 010867802	血中11-OHCS 4D035-0000-023-282	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~8	60 ※5	蛍光法 (De Moor変法)	午前10時採血 7.0~23.0 ($\mu\text{g/dL}$)	&1
4019 6 010212003	コルチゾール	血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	121 ※5	ECLIA	午前6時~10時 7.07~19.6 ($\mu\text{g/dL}$)	
3051 1 010212002	4D040-0000-022-053 4D040-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結		121 ※5			&1
B793 0 004111023	尿中コルチゾール 4D045-0000-004-051	蓄尿 5	A00	冷蔵 (21日)	2~6	121 ※5	CLIA	4.3~176 ($\mu\text{g/day}$)	酸 非抱合型コルチゾールの測定となります。 &1
3055 7 013830602	デヒドロエピアンドロ ステロンサルフェート (DHEA-S) 4D090-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	164 ※5	CLEIA	下記参照	性別、年齢を明記してください。 &1
A791 3 045060802	17 α -ヒドロキシ プロゲステロン (生後4 ヶ月以下) 4F050-0000-023-021	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~9	213 ※5	ELISA	2.3以下(参考値) (ng/mL)	ご依頼の際には必ず年齢(0歳児は 月齢)を明記してください。 生後4 ヶ月以下の検体は、交差性 の影響を避けるため前処理(抽出操 作)が必要ですので、本項目にてご 依頼ください。 生後5 ヶ月以上の検体は前処理(抽 出操作)が必要ありませんので、 「B798 5: 17 α -ヒドロキシプロ ゲステロン(生後5 ヶ月以上)」にて ご依頼ください。 本項目の参考基準値は、日本人健 康児0~17歳より算出しております。 &1
B798 5 04506A102	17 α -ヒドロキシ プロゲステロン (生後5 ヶ月以上) 4F050-0000-023-021	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~9	213 ※5	ELISA	2.3以下(参考値) (ng/mL)	ご依頼の際には必ず年齢(0歳児は 月齢)を明記してください。 生後5 ヶ月以上の検体は前処理(抽 出操作)が必要ありませんので、本 項目にてご依頼ください。 生後4 ヶ月以下の検体は、交差性 の影響を避けるため前処理(抽出操 作)が必要ですので、「A791 3: 17 α -ヒドロキシプロゲステロン(生 後4 ヶ月以下)」にてご依頼くださ い。 本項目の参考基準値は、日本人健 康児0~17歳より算出しておりま す。 &1

①「17 α -ヒドロキシプロゲステロン(17 α -OHP)」は、先天性副腎皮質過形成症の診断又は治療効果判定のために行った場合に算定する。

[3055 7]デヒドロエピアンドロステロンサルフェート(DHEA-S)基準値

(単位: $\mu\text{g/dL}$)

年齢(歳)	男 性	女 性
18~20	24~537	51~321
21~30	85~690	18~391
31~40	106~464	23~266
41~50	70~495	19~231
51~60	38~313	8~188
61~70	24~244	12~133
71~	5~253	7~177

PN2

PN5

旧容器記号
C

EDTA-2Na入り
(真空採血量
2mLまたは5mL)
内容
EDTA-2Na
3.0mgまたは
7.5mg
貯蔵方法 室温
有効期間
製造から 2年

(PN2) (PN5)

PAP

旧容器記号
D

EDTA-2Na+
アプロチニン入り
(真空採血量3mL)
内容
EDTA-2Na 3.75mg
アプロチニン
(1500単位)
貯蔵方法 室温
有効期間
製造から 1年

内分泌学的検査

副腎髄質ホルモン

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
副 腎 髄 質 ホ ル モ ン	4504 7 010791423	カテコールアミン総 4E010-0000-004-204	酸性蓄尿 2	U00	冷蔵 (28日)	3~5	184 ※5	HPLC	52.0~195.3 (μ g/day)	所定量の専用蓄尿添加剤を入れた蓄尿瓶に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。酸性蓄尿されていないものはデータに影響が見られますので、必ず専用蓄尿添加剤を入れてください。 &1
	4710 8 012281403	カテコールアミン3分画 [A:アドレナリン NA:ノルアドレナリン DA:ドーパミン]	速やかに冷却 血漿 1.5	PN7 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)		161 ※5	HPLC	アドレナリン 100以下 ノルアドレナリン 100~450 ドーパミン 20以下 (pg/mL)	&1
			髄液 1.5	A00	凍結	3~5	161 ※5		(pg/mL)	
	4508 3 012281423		酸性蓄尿 2	U00	冷蔵 (28日)		161 ※5		アドレナリン 3.4~26.9 ノルアドレナリン 48.6~168.4 ドーパミン 365.0~961.5 (μ g/day)	所定量の専用蓄尿添加剤を入れた蓄尿瓶に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。酸性蓄尿されていないものはデータに影響が見られますので、必ず専用蓄尿添加剤を入れてください。 &1
	A299 0 00428A423	メタネフリン・ ノルメタネフリン 分画 4E040-0000-004-205	酸性蓄尿 2	U00	冷蔵 (28日)	3~5	① 220 ※5	LC/MS/ MS	メタネフリン 0.04~0.19 ノルメタネフリン 0.09~0.33 (mg/day)	所定量の専用蓄尿添加剤を入れた蓄尿瓶に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。酸性蓄尿されていないものはデータに影響が見られますので、必ず専用蓄尿添加剤を入れてください。メタネフリン総(mg/day)も報告いたします。 &1
	4018 7 014511403	L-ドーパ 4E045-0000-022-204	速やかに冷却 血漿 1.5	PN7 ↓ A00	凍結	5~18		HPLC	1.2~2.2 (ng/mL)	&1
	4014 1 010801403	ドーパミン総 4E050-0000-022-204 4E050-0000-041-204	速やかに冷却 血漿 1.5	PN7 ↓ A00	凍結	5~11		HPLC	1.8~7.7 (ng/mL)	&1
	7608 9 010801429		髄液 1.5	A00					(ng/mL)	

①「メタネフリン」、「メタネフリン・ノルメタネフリン分画」、「ノルメタネフリン」又は「遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画」のうちいずれかを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
副 腎 髄 質 ホ ル モ ン	4017 8 013521403	HVA	血漿 1.5	PN7 ↓ A00	冷蔵 (21日)	4~6	69 ※5	HPLC	4.4~15.1 (ng/mL)	
	7603 4 013521429		髄液 1.5	A00					(ng/mL)	
	4514 6 013521423	4E055-0000-022-204 4E055-0000-041-204 4E055-0000-004-204	酸性蓄尿 1.5	U00	冷蔵 (28日)	4~5	69 ※5		2.1~6.3 (mg/day)	所定用量の専用蓄尿添加剤を入れた蓄尿瓶に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。酸性蓄尿されていないものはデータに影響が見られますので、必ず専用蓄尿添加剤を入れてください。 &1
	4016 9 013531403	VMA	血漿 1.5	PN7 ↓ A00	冷蔵 (21日)	4~6	90 ※5	HPLC	3.3~8.6 (ng/mL)	
	4513 7 013531423		酸性蓄尿 1.5	U00					1.5~4.3 (mg/day)	
	4506 5 010871401	セロトニン	血液 1.0 (EDTA-2Na加)	PN2, PN5 ↓ A00	凍結	3~9		HPLC	57~230 (ng/mL)	(検体のご提出について)血液はポリスピッツに移し替え必ず凍結保存にてご提出ください。 &1
	4010 5 010871403		速やかに冷却 血漿 1.5	PN7 ↓ A00					P(血漿) 0.04~0.35 PRP(多血小板血漿) 0.17~0.62 (μg/mL)	P:低温(4℃)で1500rpm 10分間血漿分離 PRP:低温(4℃)で900rpm 20分間血漿分離 &1
	4015 0 013541403	5-HIAA	血漿 1.5	PN7 ↓ A00	冷蔵 (25日)	4~6	95 ※5	HPLC	1.8~6.1 (ng/mL)	
	7601 6 013541429		髄液 1.5	A00					(ng/mL)	
	4512 8 010821423		酸性蓄尿 0.5	U00	冷蔵 (28日)	3~5	95 ※5		1.0~6.0 (mg/day)	所定用量の専用蓄尿添加剤を入れた蓄尿瓶に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。酸性蓄尿されていないものはデータに影響が見られますので、必ず専用蓄尿添加剤を入れてください。 &1



内分泌学的検査

性腺・胎盤ホルモンおよび結合蛋白

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
性 腺 ・ 胎 盤 ホ ル モ ン お よ び 結 合 蛋 白	A256 7 00438A702	エストラジオール(E ₂) 4F025-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	167 ※5	ECLIA	下記参照	性別を明記してください。また妊婦の場合は妊娠週数を明記してください。 &1
	3079 1 013760902	プロゲステロン 4F045-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	143 ※5	ECLIA	下記参照	性別を明記してください。また妊婦の場合は妊娠週数を明記してください。 &1
	4545 2 013876723	プレグナンジオール 4F055-0000-004-203	蓄尿 12	U20	冷蔵 (28日)	6~7	213 ※5	Gas Chromatography-Mass Spectrometry (GC/MS)法 (酵素水解法)	下記参照	性別を明記してください。 &1
	4546 1 013886723	プレグナントリオール 4F060-0000-004-203	蓄尿 12	U20	冷蔵 (28日)	6~7	232 ※5	Gas Chromatography-Mass Spectrometry (GC/MS)法 (酵素水解法)	下記参照	性別を明記してください。 &1
	3081 8 013890902	テストステロン 4F065-0000-023-053	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	119 ※5	ECLIA	M 1.31~8.71 F 0.11~0.47 (ng/mL)	性別を明記してください。 &1
	A221 5 01857A102	フリーテストステロン (RIA) 4F070-0000-023-005	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結	2~6	159 ※5	RIA固相法	下記参照	午前中に採血してください。性別、年齢を明記してください。 &1
	6463 1 001220902	絨毛性ゴナドトロピン (HCG) 4F080-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	130 ※5	CLEIA	2.7以下 (mIU/mL)	トータルのHCGを測定しています。抗体はHCG-βを認識しています。絨毛性疾患の診断、予後管理に有用です。絨毛性疾患取り扱い規約第3版における推奨方法で、測定感度は1.0mIU/mLです。 &1
	C908 1 00449A102	遊離HCG-β (HCG-βサブユニット) 4F090-0000-023-051	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	132 ※5	CLIA	1.00未満 (ng/mL)	&1
	9247 8 00451A202	抗ミューラー管ホルモン (AMH)(CLEIA) 4F100-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	597 ※5	CLEIA	下記参照	&1

- ①「エストロゲン半定量」又は「エストロゲン定量」については、「エストリオール(E₃)」又は「エストラジオール(E₂)」と同時に実施した場合は算定できない。
 ②「ヒト絨毛性ゴナドトロピン-βサブユニット(HCG-β)」,「ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定性」,「ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定量」又は「ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)半定量」を併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。
 ③「ヒト絨毛性ゴナドトロピン-βサブユニット(HCG-β)」は、HCG産生腫瘍患者に対して測定した場合に限り算定できる。
 ④「抗ミューラー管ホルモン(AMH)」は、不妊症の患者に対して、卵巣の機能の評価及び治療方針の決定を目的として、血清又は血漿を検体としてEIA法、CLEIA法又はECLIA法により測定した場合に、6月に1回に限り算定できる。

[A256 7]エストラジオール(E₂)基準値

(単位: pg/mL)

非妊婦	女性	卵胞期	28.8～196.8
		排卵期	36.4～525.9
		黄体期	44.1～491.9
		閉経後	47.0以下
男 性		14.6～48.8	
妊婦		妊娠初期	208.5～4289
		妊娠中期	2808～28700
		妊娠後期	9875～31800

[3079 1]プロゲステロン基準値

(単位: ng/mL)

非妊婦	女性	卵胞期	0.28以下
		排卵期	5.69以下
		黄体期	2.05～24.2
		閉経後	0.33以下
男 性		0.22以下	
妊婦	妊娠初期(4～13週)		13.0～51.8
	妊娠中期(14～27週)		24.3～82.0
	妊娠後期(28～38週)		63.5～174

[4545 2]プレグナンジオール基準値

(単位: mg/day)

非妊婦	卵胞期	0.28 ~ 1.42
	黄体期	0.79 ~ 6.83
男 性		0.16 ~ 0.79
妊婦	前期	1.29 ~ 6.08
	中期	3.05 ~ 24.22
	後期	9.10 ~ 60.51

[4546 1]プレグナントリオール基準値

(単位: mg/day)

女性	卵胞期	0.13 ~ 1.30
	分泌期	0.13 ~ 1.90
	閉経後	0.02 ~ 0.83
男性		0.13 ~ 1.60

[A221 5]フリーテストステロン(RIA)

年齢別・性別における基準値(メーカー参考値)

(単位: pg/mL)

年齢	男性	女性
20 ~ 29	7.6 ~ 23.8	0.4 ~ 2.3
30 ~ 39	6.5 ~ 17.7	0.6 ~ 2.5
40 ~ 49	4.7 ~ 21.6	0.3 ~ 1.8
50 ~ 59	4.6 ~ 19.6	0.8 ~ 1.7
60 ~ 69	5.3 ~ 11.5	
70以上	4.6 ~ 16.9	

[9247 8]抗ミューラー管ホルモン(AMH)(CLEIA)基準値

(単位: ng/mL)

女性	22 ~ 25歳	0.28 ~ 8.01
	26 ~ 30歳	0.29 ~ 12.2
	31 ~ 35歳	0.07 ~ 10.0
	36 ~ 40歳	9.23以下
	41 ~ 45歳	4.48以下

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
膵・消化管ホルモン	P190 5 001280602	インスリン 4G010-0000-023-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	100 ※5	CLEIA	負荷前 1.84~12.2 (μ IU/mL)	溶
	3033 1 001290602	C-ペプチド(CPR) 4G020-0000-023-052 4G020-0000-004-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	105 ※5	CLEIA	負荷前 0.61~2.09 (ng/mL)	&1
	4503 8 001290623		蓄尿 1	U00	凍結 (20日)	2~4	105 ※5		29.2~167 (μ g/day)	重 酸 蓄尿は冷蔵保管しながら行うかあらかじめ専用保存剤を蓄尿容器に一袋全量(10g/袋 最終濃度約0.5%)を入れて蓄尿を行ってください。他項目との重複依頼は避けてください。 &1
	A248 6 03916A103	膵グルカゴン 4G030-0000-022-023	速やかに 冷却 遠心 血漿 0.5	PAP ↓ A00	凍結 (28日)	5~11	150 ※5	ELISA	空腹時 5.4~55.0 (pg/mL)	指定の容器(PAP)に採血し、よく混和させ、低温(4℃)で血漿分離し、直ちに凍結保存してください。 &1
	B790 3 00462A102	ガストリン 4G040-0000-023-002	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結 (21日)	2~6	101 ※5	RIA PEG法	11.9 ~ 46.9 (pmol/L)	安静、空腹時(10時間以上空ける)に採血してください。血清分離後、速やかに凍結保存してください。 &1

①「C-ペプチド(CPR)」を同時に血液及び尿の両方の検体について測定した場合は、血液の場合の所定点数のみを算定する。

U20
旧容器記号
(Y0)



尿用容器
貯蔵方法 室温

PAP
旧容器記号
(D)



EDTA-2Na+
アプロチニン入り
(真空採血量3mL)
内容
EDTA-2Na 3.75mg
アプロチニン
(1500単位)
貯蔵方法 室温
有効期間 製造から 1年

内分泌学的検査

内分泌学的(その他)

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
内 分 泌 学 的 (そ の 他)	9073 1 004220603	アルドステロン 〔CLEIA〕 4D115-0000-022-052 4D115-0000-023-052 4D115-0000-004-052	血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00		2~4	122 ※5	CLEIA	4.0 ~ 82.1 (pg/mL)	下記参照*1 &1
	9039 9 004220602		血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結 (21日)		122 ※5			
	A730 0 00422A423		蓄尿 1.5	A00		5~7	122 ※5			
	9040 7 004680603	レニン濃度(ARC)〔CLEIA〕 4Z020-0000-022-052	血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	102 ※5	CLEIA	2.21 ~ 39.5 (pg/mL)	下記参照*2 &1
	A719 3 00467A103	レニン活性(PRA)〔EIA〕 4Z010-0000-022-021	冷却遠心 血漿 0.7	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (14日)	3~5	100 ※5	EIA	臥位 0.2 ~ 2.3 座位 0.2 ~ 3.9 立位 0.2 ~ 4.1 (ng/mL/hr)	下記参照*3 &1
	B687 8 T00000270	アルドステロン〔CLEIA〕/ レニン濃度比 4D122-0000-022-919	血漿 1.0	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	122 + 102 ※5	CLEIA	下記参照	基準値は、日本内分泌学会の「原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021」によるカットオフ値です。 下記参照*1, 2 &1
	B691 3 T00000271	アルドステロン〔CLEIA〕/ レニン活性比 4D120-0000-022-919	冷却遠心 血漿 1.2	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (14日)	3~5	122 + 100 ※5	アルドステロン: CLEIA レニン活性: EIA	下記参照	基準値は、日本内分泌学会の「原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021」によるカットオフ値です。 下記参照*1, 3 &1

①「レニン活性」と「レニン定量」を併せて行った場合は、一方の所定点数のみ算定する。

*1: 「9073 1: アルドステロン〔CLEIA〕」、「B687 8: アルドステロン〔CLEIA〕/レニン濃度比」、「B691 3: アルドステロン〔CLEIA〕/レニン活性比」は同時依頼はできません。

*2: 「9040 7: レニン濃度(ARC)〔CLEIA〕」、「B687 8: アルドステロン〔CLEIA〕/レニン濃度比」は同時依頼はできません。

*3: 「A719 3: レニン活性(PRA)〔EIA〕」、「B691 3: アルドステロン〔CLEIA〕/レニン活性比」は同時依頼はできません。

〔9073 1、9039 9〕アルドステロン〔CLEIA〕 〔9040 7〕レニン濃度(ARC)〔CLEIA〕 の留意事項

- ・採血時間は午前が推奨されています。
- ・採血は座位で15分間安静後をお勧めいたします。
- ・冷蔵保存した場合、レニン濃度の上昇が認められます。

〔B687 8〕アルドステロン〔CLEIA〕/レニン濃度比 〔B691 3〕アルドステロン〔CLEIA〕/レニン活性比 の留意事項

- ・採血条件は早朝空腹時の安静臥位後が望ましいが、スクリーニングでは随時座位で行って良い、とされています。
- ・冷蔵保存した場合、レニン濃度の上昇が認められます。

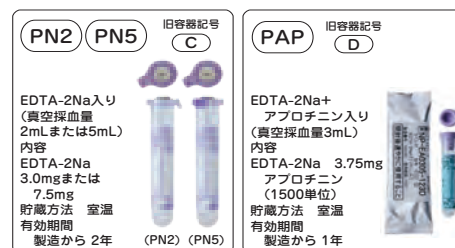
〔B687 8〕アルドステロン〔CLEIA〕/レニン濃度比 〔B691 3〕アルドステロン〔CLEIA〕/レニン活性比 基準値

アルドステロン〔CLEIA〕	(pg/mL)	4.0 ~ 82.1
レニン濃度(ARC)〔CLEIA〕	(pg/mL)	2.21 ~ 39.5
レニン活性(PRA)〔EIA〕	(ng/mL/hr)	臥位 0.2 ~ 2.3 座位 0.2 ~ 3.9 立位 0.2 ~ 4.1
アルドステロン〔CLEIA〕/レニン濃度比		20未満
アルドステロン〔CLEIA〕/レニン活性比		100未満

※陽性判定は、濃度比 ≥ 40 または活性比 ≥ 200 かつ血漿アルドステロン濃度 ≥ 60 pg/mLです。

ただし、「ARR境界域」の濃度比20 ~ 40未満または活性比100 ~ 200未満かつ血漿アルドステロン濃度 ≥ 60 pg/mLの場合には、暫定的に陽性とされます。

※暫定的に陽性の場合、患者ニーズと臨床所見、特に低カリウム血症や副腎腫瘍の有無、年齢などを考慮して、機能確認検査実施の要否を個別に検討する、とされています。



	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
内 分 泌 学 的 （ そ の 他 ）	4035 8 01016A103	サイクリックAMP	冷却速心 血漿 0.3	PN2, PN5 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	事前に ご確認 ください	165 ※5	RIA DCC法	11~21 (pmol/mL)	(蓄尿)トルエン1~2mLを入れて 冷暗所に24時間蓄尿し、よく混 和し必要量をご提出ください。
	4558 8 01016A123	4Z255-0000-022-004 4Z255-0000-004-004	蓄尿 1	U00	凍結		165 ※5		1.8~6.3 (μmol/day)	&1
	4033 0 011550603	ヒト心房性ナトリウム 利尿ペプチド(HANP) 4Z270-0000-022-052	速やかに 冷却速心 血漿 0.5	PAP ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	① 221 ※5	CLEIA	43.0以下 (pg/mL)	溶 &1
	4263 5 016210603	ヒト脳性ナトリウム 利尿ペプチド(BNP) 4Z271-0000-022-052	速やかに速心 血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00	凍結	2~4	①② 130 ※5	CLEIA	18.4以下 (pg/mL)	溶 採血後、冷蔵保存にて6時間以内に 血漿分離し、速やかに凍結保存し てください。 &1
	P265 2 001300902	ヒト脳性ナトリウム 利尿ペプチド前駆体 N端フラグメント (NT-proBNP) 4Z272-0000-023-053	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	①② 136 ※5	ECLIA	125以下 (pg/mL)	125pg/mLは心不全除外カット オフ値です。
	3171 8 011640602	エリスロポエチン 4Z275-0000-023-052	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	209 ※5	CLEIA	4.2~23.7 (mIU/mL)	&1
	A220 6 018200902	オステオカルシン 4Z280-0000-023-053	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結	2~4	③ 157 ※5	ECLIA	閉経前女性 7.8~30.8 閉経後女性 14.2~54.8 男性 8.4~33.1 (ng/mL)	溶 &1
	E779 3 019860902	低カルボキシル化 オステオカルシン (ucOC) 4Z282-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	154 ※5	ECLIA	4.50未満 (ng/mL)	溶 溶血でのご依頼は避けてください。 &1
	3795 6 015060802	肝細胞増殖因子 (HGF) 4Z315-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	2~8	227 ※4	ELISA	0.39以下 (ng/mL)	&1
	A297 2 044020602	FGF23(CLEIA) 4Z323-0000-023-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	凍結 (21日)	2~6	④ 788 ※4	CLEIA	19.9~52.9 (pg/mL)	トロンビン入り採血管は測定値に 影響を与える恐れがあるため使用 を避けてください。 FGF23関連低リン血症性くる病・ 骨軟化症のカットオフ値は30pg/ mL以上です。 &1
	K221 5 020140702	アディポネクチン [LA] 4Z401-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4		ラテックス 免疫比濁法	4.0以上 (μg/mL)	&1
	B607 6 004830802	レプチン(ELISA) 4Z400-0000-023-023	速やかに速心 血漿 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (7日)	事前に ご確認 ください	⑤ 1000 ※6	ELISA	M 0.6~8.9 F 1.9~26.6 (ng/mL)	採血後、速やかに血清分離してくだ さい。 全身性脂肪萎縮症におけるカット オフ値は男性0.6ng/mL未満、女性 1.9ng/mL未満です。 &1
	A514 0 044990902	sFlt-1/PlGF比 4Z335-0000-023-053	血清 0.7	S09 ↓ A00	冷蔵 (7日)	2~6	⑥⑦ 340 ※5	ECLIA	38.0以下	&I

- ①「脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)」、「脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)」及び「心房性ナトリウム利尿ペプチド(ANP)」のうち2項目以上をいずれかの検査を行った日から起算して1週間以内に併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。
- ②「脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)」と「脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)」は、心不全の診断又は病態把握のために実施した場合に月1回に限り算定する。
- ③「酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)」と「I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX)」、「オステオカルシン(OC)」又は「デオキシピリジノリン(DPD)(尿)」を併せて実施した場合は、いずれか一つのみ算定する。
- ④「FGF23」は、CLEIA法により、FGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症の診断時又は治療効果判定時に測定した場合に限り算定できる。ただし、診断時においては1回を限度とし、その後は腫瘍性骨軟化症の場合には腫瘍摘出後に1回、薬剤性の場合には被疑薬中止後に1回を限度として算定する。
- ⑤「レプチン」は、脂肪萎縮、食欲亢進、インスリン抵抗性、糖尿病及び脂質異常症のいずれも有する患者に対して、全身性脂肪萎縮症の診断の補助を目的として、ELISA法により測定した場合に、患者1人につき1回に限り算定する。
- ⑥「sFlt-1/PlGF比」は、妊娠18週から36週未満の妊娠高血圧腎症が疑われる妊婦であって、以下のリスク因子のうちいずれか1つを有するものに対して実施した場合に、原則として一連の妊娠につき1回に限り算定できる。なお、リスク因子を2つ以上有する場合は、原則として当該点数は算定できない。
(イ) 収縮期血圧が130mmHg以上又は拡張期血圧80mmHg以上
(ロ) 蛋白尿
(ハ) 妊娠高血圧腎症を疑う臨床症状又は検査所見
(ニ) 子宮内胎児発育遅延
(ホ) 子宮内胎児発育遅延を疑う検査所見
- ⑦「sFlt-1/PlGF比」を算定する場合は、⑥のリスク因子のいずれかに該当するかを診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。また、⑥の(ハ)又は(ホ)に該当する場合は、その医学的根拠を併せて記載すること。なお、医学的な必要性から、リスク因子を2つ以上有する妊婦において算定する場合、又は一連の妊娠につき2回以上算定する場合は、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

[A514 0]sFlt-1/PlGF比 妊娠高血圧腎症(PE)
発症予測のカットオフ値(試薬添付文書より)

●sFlt-1/PlGF比≤38:1週間以内のPEの非発症予測
●sFlt-1/PlGF比>38:4週間以内のPEの発症予測

腫瘍関連検査

腫瘍関連抗原

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
腫瘍関連抗原	P261 6 001090602	癌胎児性抗原 (CEA) 5D010-0000-023-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	① 99 ※5 (腫2)	CLEIA	5.0以下 (ng/mL)	
	P262 5 001100602	α-フェトプロテイン定量 5D015-0000-023-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	98 ※5 (腫2)	CLEIA	10.0以下 (ng/mL)	
	3129 5 018590802	塩基性フェトプロテイン (BFP) 5D025-0000-023-023	速やかに遠心 血清 0.3	S7P ↓ A00	冷蔵	2~8	150 ※5 (腫2)	EIA	75未満 (ng/mL)	溶 採血後、2時間以内に血清分離してください。 溶血でのご依頼は避けてください。&1
	A255 8 042591002	ヒト精巢上体タンパク4 (HE4) 5D110-0000-023-051	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	200 ※5 (腫2)	CLIA	閉経前女性 70.0以下 閉経後女性 140以下 (pmol/L)	&1
	P264 3 001150602	CA125 5D100-0000-023-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	② 136 ※5 (腫2)	CLEIA	35.0以下 (U/mL)	
	3115 0 001140602	CA15-3 5D120-0000-023-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	③ 112 ※5 (腫2)	CLEIA	25.0以下 (U/mL)	&1
	3116 9 010080802	BCA225 5D125-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	158 ※5 (腫2)	CLEIA	160未満 (U/mL)	&1
	P263 4 001120602	CA19-9 5D130-0000-023-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	121 ※5 (腫2)	CLEIA	37.0以下 (U/mL)	
	3012 4 018500902	CA72-4 5D150-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	146 ※5 (腫2)	ECLIA	10.0以下 (U/mL)	&1

(腫2):悪性腫瘍特異物質治療管理料(49ページ参照)

①「アポリポ蛋白A2(APOA2)アイソフォーム」と、「癌胎児性抗原(CEA)」、「DUPAN-2」又は「SPan-1」を併せて測定した場合は主たるものののみ算定する。

②「CA125」及び「CA602」を併せて測定した場合は、主たるものののみ算定する。

③「シアリルLe^x抗原(CSLEX)」と「CA15-3」を併せて測定した場合は、主たるものののみ算定する。

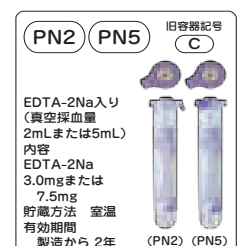
	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
腫瘍 関 連 抗 原	3131 2 013342002	シアリルTn抗原(STN) 5D153-0000-023-005	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~5	146 ※5 (腫2)	RIA固相法	45以下 (U/mL)	&1
	3448 1 021290802	CA54/61 5D155-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	3~7	184 ※5 (腫2)	ELISA	12以下 (U/mL)	&1
	3108 8 018230802	DUPAN-2 5D170-0000-023-023	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	115 ※5 (腫2)	EIA	150以下 (U/mL)	&1
	C878 5 039500803	APOA2 アイソフォーム	血漿 0.3	PN2, PN5 ↓ A00	冷蔵	5~7	1 2 3 335 ※5 (腫2)	ELISA	APOA2-i Index 59.5以上 (μg/mL)	&1
	C953 1 039500802	アイソフォーム 3F186-0000-022-023 3F186-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	5~7	1 2 3 335 ※5 (腫2)	ELISA	APOA2-i Index 59.5以上 (μg/mL)	&1
	3117 8 018152102	シアリルLe ^x -i抗原(SLX) 5D175-0000-023-006	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	140 ※5 (腫2)	RIA固相法 (IRMA)	38以下 (U/mL)	溶血でのご依頼は避けてください。 &1
	3065 6 015260802	シアリルLe ^x 抗原 (CSLEX) 5D177-0000-023-023	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~8	156 ※5 (腫2)	EIA	8.0未満 (U/mL)	&1
	3114 1 018170802	NCC-ST-439 5D200-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	112 ※5 (腫2)	EIA	女性 49歳以下 7.0未満 50歳以上 4.5未満 男性 4.5未満 (U/mL)	&1
	3113 2 018682102	SPan-1 5D220-0000-023-006	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	144 ※5 (腫2)	RIA固相法 (IRMA)	30以下 (U/mL)	&1
	3126 8 011501002	SCC 5D300-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	101 ※5 (腫2)	CLEIA	2.5以下 (ng/mL)	唾液・フケ・皮膚(表皮)・毛髪・爪 などの混入により高値傾向を示す場 合がありますので検体の取り扱いに は充分にご注意ください。 &1

(腫2):悪性腫瘍特異物質治療管理料(49ページ参照)

- 「アポリポ蛋白A2(APOA2)アイソフォーム」と、「癌胎児性抗原(CEA)」、「DUPAN-2」又は「SPan-1」を併せて測定した場合は主たるもののみ算定する。
- 「アポリポ蛋白A2(APOA2)アイソフォーム」は、以下の(イ)から(ハ)までのいずれかに該当する患者に対して、癌の診断の補助を目的として、血液を検体としてELISA法により測定した場合に、癌の診断の確定までの間に原則として1回を限度として算定できる。本検査を実施するに当たっては、関連学会が定める指針を遵守するとともに、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- (イ)関連学会が定める指針に基づき癌の高度リスクに該当する患者。ただし、本検査を実施する患者が3月以内にCA19-9検査を行われており、CA19-9の値が37.0U/mL以上である場合には、本検査は算定できない。
- (ロ)関連学会が定める指針に基づき癌の中等度リスクに該当する患者であって、癌胎児性抗原(CEA)検査の結果が陰性であり、CA19-9値が37.0U/mL以上かつ100U/mL以下の患者。
- (ハ)関連学会が定める指針に基づき癌のリスク因子が3項目以上該当する患者であって、癌胎児性抗原(CEA)及びCA19-9検査の結果が陰性である患者。
- 「アポリポ蛋白A2(APOA2)アイソフォーム」を②の(イ)に対して実施する場合はCA19-9の測定年月日及び測定結果を、②の(ロ)及び(ハ)に対して実施する場合は癌胎児性抗原(CEA)及びCA19-9の測定年月日並びに測定結果を、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- シアリルLe^x抗原(CSLEX)
ア「シアリルLe^x抗原(CSLEX)」は、診療及び他の検査の結果から乳癌の患者であることが強く疑われる者に対して検査を行った場合に算定する。
イ「シアリルLe^x抗原(CSLEX)」と「CA15-3」を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。

[C878 5、C953 1] APOA2アイソフォームの結果形式について

APOA2-ATが3.25未満、APOA2-TQが5.75未満のいずれか、もしくは両方を満たす場合、APOA2-i Indexは0.0となります。



腫瘍関連検査

腫瘍関連抗原

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
腫瘍関連抗原	P181 5 888790000	前立腺特異抗原 (PSA) 5D305-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	①② 121 ※5 (腫2)	CLEIA	4.00以下 (ng/mL)	
	A061 3 00523A102	PSA F/T比 5D308-0000-023-052	血清 0.8	S09 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	②③ 150 ※5 (腫2)	CLEIA	25 (PSA4.00 ~ 10.0ng/mLに おけるカットオフ値) (%)	本項目は、PSAとフリー PSAの測定結果も併せてご報告いたします。 (基準値について) 25%はPSA4.00 ~ 10.0ng/mLにおける前立腺癌と非癌(前立腺肥大症等)との判別に用いるカットオフ値です。(低値ほど前立腺癌の確率が高くなります)。 &1
	3121 3 017810802	γ-セミノプロテイン (γ-Sm) 5D310-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結 (21日)	2~4	192 ※5 (腫2)	CLEIA	4.0以下 (ng/mL)	(基準値について)4.0 ng/mLは良性疾患との鑑別値です。 &1
	3797 4 016050602	シフラ(CYFRA) (サイトケラチン 19フラグメント) 5D325-0000-023-052	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	④ 154 ※5 (腫2)	CLEIA	3.5以下 (ng/mL)	検体の混和・攪拌により低値傾向を示す場合がありますので検体の取り扱いにはご注意ください。 &1
	7874 4 014991402	5-S-システイニルドーパ (5-S-CD) 5D350-0000-023-204	血清 1.0	S09 ↓ A00	凍結	3~7		HPLC	1.5~8.0 (nmol/L)	&1

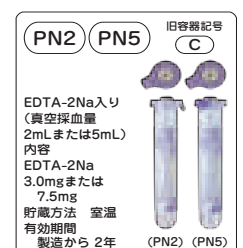
(腫2):悪性腫瘍特異物質治療管理料(50ページ参照)

- ①「前立腺特異抗原(PSA)」は、診察、腫瘍マーカー以外の検査、画像診断等の結果から、前立腺癌の患者であることを強く疑われる者に対して検査を行った場合に、前立腺癌の診断の確定又は転帰の決定までの間に原則として、1回を限度として算定する。ただし、前立腺特異抗原(PSA)の検査結果が4.0ng/mL以上であって前立腺癌の確定診断がつかない場合においては、3月に1回に限り、3回を限度として算定できる。
なお、当該検査を2回以上算定するに当たっては、検査値を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- ②「S2.3PSA%」と、「前立腺特異抗原(PSA)」、「遊離型PSA比(PSA F/T比)」又は「プロステートヘルスインデックス(phi)」を併せて実施した場合には、いずれか主たるもののみ算定する。
- ③「遊離型PSA比(PSA F/T比)」は、診察及び他の検査(前立腺特異抗原(PSA)等)の結果から前立腺癌の患者であることが強く疑われる者に対して行った場合に限り算定する。
- ④「サイトケラチン19 フラグメント(シフラ)」は、悪性腫瘍であることが既に確定診断された患者については、小細胞癌を除く肺癌の場合に限り、「悪性腫瘍特異物質治療管理料」を算定できる。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
腫 瘍 関 連 抗 原	3127 7 001160902	NSE (神経特異エノラーゼ) 5D410-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 142 ※5 (腫2)	ECLIA	16.3以下 (ng/mL)	溶 採血後、1時間以内に血清分離し冷蔵保存してください。 溶血でのご依頼は避けてください。 (溶血の場合、赤血球からNSEが逸脱して高値となります。)&1
	8608 8 001170902	PIVKA-Ⅱ 5D520-0000-023-052 5D520-0000-022-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	131 ※5 (腫2)	CLEIA	40未満 (mAU/mL)	&1
	4043 9 001170903		血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00			131 ※5 (腫2)			
	3664 1 016400603	ガストリン放出 ペプチド前駆体 (ProGRP) 5D550-0000-022-052	血漿 0.4	PN2, PN5 ↓ A00	凍結	2~4	① 175 ※5 (腫2)	CLEIA	81未満 (pg/mL)	&1
	E821 5 019810802	血清抗p53抗体 5D560-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	163 ※5 (腫2)	CLEIA	1.30以下 (U/mL)	&1
	E871 0 019741002	血清 HER2タンパク 5D590-0000-023-051	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	(腫2)	CLIA	15.2以下 (ng/mL)	
	K440 2 020240602	可溶性メソテリン 関連ペプチド 5D600-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	4~10	220 ※5 (腫2)	CLEIA	1.5未満 (nmol/L)	

(腫2):悪性腫瘍特異物質治療管理料(49ページ参照)

①「ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)」を「神経特異エノラーゼ(NSE)」と併せて実施した場合には、主たるもののみ算定する。



腫瘍関連検査

腫瘍関連検査

腫瘍マーカー

腫瘍マーカーは、悪性腫瘍の患者であることが強く疑われる者に対して検査を行った場合に、悪性腫瘍の診断の確定又は転帰の決定までの間に1回を限度として算定する。

悪性腫瘍の診断が確定し、計画的な治療管理を開始した場合、当該治療管理中に行った腫瘍マーカーの検査の費用は「特定疾患治療管理料」の「悪性腫瘍特異物質治療管理料」に含まれ、腫瘍マーカーは、原則として、「特定疾患治療管理料」の「悪性腫瘍特異物質治療管理料」と同一月に併せて算定できない。

ただし、悪性腫瘍の診断が確定した場合であっても、次に掲げる場合においては、「特定疾患治療管理料」の「悪性腫瘍特異物質治療管理料」とは別に腫瘍マーカーの検査料を算定できる。

ア)急性及び慢性膵炎の診断及び経過観察のために「エラスターゼ1」を行った場合

イ)肝硬変、HBs抗原陽性の慢性肝炎又はHCV抗体陽性の慢性肝炎の患者について、「 α -フェトプロテイン(AFP)」、「PIVKA-II半定量」又は「PIVKA-II定量」を行った場合(月1回に限る。)

ウ)子宮内膜症の診断又は治療効果判定を目的として「CA125」又は「CA602」を行った場合(診断又は治療前及び治療後の各1回に限る。)

エ)家族性大腸腺腫症の患者に対して「癌胎児性抗原(CEA)」を行った場合

悪性腫瘍特異物質治療管理料

当社で取り扱っていない検査項目も掲載しております。

	検査項目	悪性腫瘍特異物質治療 管理料(同一患者月1回)	加算点(初回月)
1.尿中BTAに係るもの [(腫1)で表示]	尿中BTA	220点	
2.その他のもの [(腫2)で表示]	α-フェトプロテイン(AFP) 癌胎児性抗原(CEA) 扁平上皮癌関連抗原(SCC抗原) 組織ポリペプチド抗原(TPA) NCC-ST-439 CA15-3 DUPAN-2 エラスターゼ1 前立腺特異抗原(PSA) CA19-9 PIVKA-Ⅱ半定量 PIVKA-Ⅱ定量 CA125 シアリルLe^x-i抗原(SLX) 神経特異エノラーゼ(NSE) SPan-1 CA72-4 シアリルTn抗原(STN) 塩基性フェトプロテイン(BFP) 遊離型PSA比(PSA F/T比) サイトケラチン19フラグメント(シフラ) シアリルLe^x抗原(CSLEX) BCA225 抗p53抗体 Ⅰ型コラーゲン-C-テロペプチド(ⅠCTP) ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP) CA54/61 α-フェトプロテインレクチン分画(AFP-L3%) CA602 組織因子経路インヒビター-2(TFPI2) γ-セミノプロテイン(γ-Sm) ヒト精巢上体蛋白4(HE4) 可溶性メソテリン関連ペプチド S2,3PSA% プロステートヘルスインデックス(phi) 癌胎児性抗原(CEA)定性(乳頭分泌液) 癌胎児性抗原(CEA)半定量(乳頭分泌液) HER2蛋白 アポリポ蛋白A2(APOA2)アイソフォーム 可溶性インターロイキン-2レセプター(sIL-2R) Ⅰ型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX) 酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b) デオキシビリジノリン(DPD)(尿)	1項目 360点 2項目以上 400点	150点

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウイルス 感染症 検査	K416 9 019100802	HBVゲノタイプ 5F015-1405-023-023	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 340 ※6	EIA		HBs抗原量の少ない検体は、判定 保留となる場合があります。 &1
	A238 7 00545A304	HBV DNA定量(IU) 5F015-1441-023-862	血清 1.8	S5F	凍結 (21日)	3~5	②③ 256 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	検出せず (LogIU/mL)	⚠ 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネー ションの影響がより大きくなりま すので、検体採取にあたっては取り 扱いに充分ご注意ください。 &1
	P267 0	HBs抗原(HQ) 5F016-1410-023-051-32	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	④ 88 ※6	CLEIA	0.005未満 (IU/mL)	⚠ 本検査方法ではコンタミネーショ ンの影響がより大きくなりますの で、検体採取にあたっては取り扱 い充分ご注意ください。
	P089 8	HBs抗体(定量) 5F016-1492-023-051-01	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	④ 88 ※6	CLEIA	10.0未満 (mIU/mL)	⚠ (基準値について)B型肝炎ウイル ス感染防御の最小HBs抗体価であ る10.0mIU/mLを基準に設定して います。
	3400 3 001063102	HBs抗体 5F016-1430-023-103	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	32 ※6	PHA	8未満 (倍)	⚠ &1

- ①「HBVジェノタイプ判定」は、B型肝炎の診断が確定した患者に対して、B型肝炎の治療法の選択の目的で実施した場合に、患者1人につき1回に限り算定できる。
 ②「HBV核酸定量」は、分岐DNAプローブ法、TMA法又はPCR法による。また、B型肝炎ウイルス既感染者であって、免疫抑制剤の投与や化学療法を行っている悪性リンパ腫等の患者に対して、B型肝炎の再活性化を考慮し、「HBV核酸定量」を行った場合は、当該治療中及び治療終了後1年以内に限り、月1回を限度として算定できる。
 ③「HBVコア関連抗原(HBcrAg)」と「HBV核酸定量」を同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。
 ④免疫抑制剤の投与や化学療法を行う患者に対して、B型肝炎の再活性化を考慮し、当該治療開始前に「HBs抗原」、「HBs抗体」及び「Hbc抗体半定量・定量」を同時に測定した場合は、患者1人につきそれぞれ1回に限り算定できる。

[P267 0]HBs抗原(HQ)について

【HBV感染の診断】

B型肝炎ウイルス(HBV)感染の診断は、他の免疫測定法等と同じく、本製品による陽性または陰性の検査結果のみにより行わず、Hbc抗体測定、HBV-DNA定量検査等、他の検査結果および臨床経過を考慮して総合的に判断してください。特に下記の場合は使用方法にご留意ください。

1.健康診断時のスクリーニング検査

できるだけ検出感度の高いEIA法／化学発光法などを用いた検出試薬を使用し、イムノクロマト法や凝集法で検出感度の低い検出試薬の使用にあたっては、充分にご留意ください。

2.緊急検査

緊急対応として実施される迅速・簡便な検出試薬において陰性と判定された場合でも、必要に応じてさらに検出感度の高い検出試薬で再検査をすることをお勧めいたします。

3.B型肝炎と診断された患者の経過観察検査

EIA法／化学発光法、凝集法、イムノクロマト法等いずれの方法を用いた検出試薬でも使用できますが、陰性化した場合はより検出感度の高い方法で確認することをお勧めいたします。

(注)HBV感染直後はウイルス量が極めて少なく、どのような高感度の検出試薬を用いてもウイルスを確認できません。この時期は「ウインドウ(空白)期間」と呼ばれており、ウインドウ時に採取された血液では、HBs抗原は必ず検出されるとは限りません。

【性 能】

感度 0.005 IU/mL以上



ウイルス感染症検査

ウイルス感染症検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウイルス感染症検査	K130 6 019920602	B型肝炎ウイルス コア関連抗原 (HBcrAg) 5F020-1410-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~5	① 252 ※6	CLEIA	2.1未満 (LogU/mL)	&1
	A059 6 005510602	HBc抗体(IgG) 5F018-1430-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	②③ 130 ※6	CLEIA	C.O.I. 1.0未満	☒ &1
	1238 6 019461002	IgM-HBc抗体 5F018-1432-023-051	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	③ 146 ※6	CLIA	S/CO 1.00未満	☒ &1
	3438 2 017103102	HBc抗体 5F018-1430-023-103	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	②③ 130 ※6	PHA	陰性(64未満) (倍)	&1
	1416 8 005540602	HBe抗原 5F019-1410-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	98 ※6	CLEIA	C.O.I. 1.0未満	☒ &1
	1227 8 005550602	HBe抗体 5F019-1430-023-052	血清 0.7	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	98 ※6	CLEIA	INHIBITION 60未満 (%)	☒ &1

- ①「HBVコア関連抗原(HBcrAg)」は、HBV感染の診断の補助及び治療効果の判定の目的で、血清又は血漿中のHBVコア関連抗原(HBcrAg)を測定した場合に1月に1回に限り算定する。なお、「HBV核酸定量」を同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。
- ②免疫抑制剤の投与や化学療法を行う患者に対して、B型肝炎の再活性化を考慮し、当該治療開始前に「HBs抗原」、「HBs抗体」及び「HBc抗体半定量・定量」を同時に測定した場合は、患者1人につきそれぞれ1回に限り算定できる。
- ③「HBc抗体半定量・定量」と「HBc-IgM抗体」を同時に測定した場合は、一方の所定点数を算定する。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウイルス 感染症 検査	E661 3 019771002	HA抗体 5F350-1430-023-051	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 146 ※6	CLIA	下記参照	☒ IgG型を測定しています。 &1
	E664 0 019761002	IgM-HA抗体 5F350-1432-023-051	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 146 ※6	CLIA	下記参照	&1
	P083 4 001081002	HCV抗体(第3世代) 5F360-1518-023-052	血清 0.7	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	102 ※6	CLEIA	1.0未満 (一) (COI)	☒ 不活化(非動化)検体は偽陽性を呈 する場合がありますので避けてく ださい。
	3435 5 016580802	HCV群別(グルーピング) 5F360-1406-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 215 ※6	CLEIA	(グループ)	☒ 不活化(非動化)検体は、判定に影 響を及ぼす場合がありますので避 けてください。 &1
	6574 8 016767504	HCV RNA コアジェノタイプ 5F360-1405-023-867	血清 0.5	S3F S5F	凍結 (3ヵ月)	3~5		RT-PCR	検出せず	☑ 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネ ーションの影響がより大きくなりま すので、検体採取にあたっては取 り扱いに充分ご注意ください。 &1

①「HA抗体」と「HA-IgM抗体」を同時に測定した場合は、一方の所定点数のみを算定する。

②「HCV血清群別判定」は、EIA法により、C型肝炎の診断が確定した患者に対して、C型肝炎の治療法の選択の目的で実施した場合に、患者1人につき1回に限り算定できる。

肝炎ウイルス項目の判定基準

検 査 項 目		陰 性	保 留	陽 性
HA抗体[CLIA]	S/CO	1.00未満		1.00以上
IgM-HA抗体[CLIA]	S/CO	0.80未満	0.80 ~ 1.20	1.21以上

[P083 4]HCV抗体(第3世代)について

本検査に用いている試薬の添付文書には重要な基本的注意点として、「C型肝炎ウイルス(HCV)感染の診断は、本製品による検査結果のみで行わず、HCV-RNA測定など、他の検査結果および臨床経過を考慮して総合的に判断すること。」が記載されております。



ウイルス感染症検査

ウイルス感染症検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウイルス 感染症 検査	E660 4 019782804	HCV RNA定量 5F360-1453-023-875	血清 1.8	S5F	凍結 (21日)	3~5	① 412 ※7	RT-PCR (リアルタイム PCR)	検出せず (Log IU/mL)	⚠ 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネー ションの影響がより大きくなりま すので、検体採取にあたっては取 り扱いに充分ご注意ください。 &1
	6234 5 017050602	HCV抗原(コア蛋白質) 5F360-1500-023-051	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	102 ※6	CLIA	3.0未満 (定量下限値) (fmol/L)	&1
	K568 1 020690802	IgA-HEV抗体(定性) 5F370-1433-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~5	210 ※6	EIA	陰性	&1
	3501 1 022090802	ヒトパルボウイルス B19 IgG 5F011-1431-023-023	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 200 ※6	EIA	0.80未満 陰性 判定基準:下記参照	固相法 &1
	3502 0 022100802	ヒトパルボウイルス B19 IgM 5F011-1432-023-023								捕捉法 &1
	8522 3 020306302	ヒトパルボウイルス B19DNA 定性 5F011-1440-023-851	血清 0.7	S09 ↓ ARR	凍結 (3ヵ月)	3~5		PCR	陰性	⚠ 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネー ションの影響がより大きくなりま すので、検体採取にあたっては取 り扱いに充分ご注意ください。 &1

①HCV核酸定量

ア「HCV核酸定量」は、分岐DNAプローブ法、PCR法又はTMA法と核酸ハイブリダイゼーション法を組み合わせた方法により、急性C型肝炎の診断、C型肝炎の治療法の選択及び治療経過の観察に用いた場合にのみ算定できる。

イ 治療経過の観察の場合において、「HCV核酸検出」及び「HCV核酸定量」を併せて実施した場合は、主たるものののみ算定する。

②グロブリンクラス別ウイルス抗体価(74ページ)を参照ください。

[3501 1、3502 0]ヒトパルボウイルスB19 (判定基準)

判 定	抗体指数
—	0.80未満
±	0.80 ~ 0.99
+	1.00以上

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウ イ ル ス 感 染 症 検 査	A011 8 601702462	ヒトパピローマ ウイルスDNA (16型、18型、 その他ハイリスクグループ)	子宮頸部 3.0	V41	室温	2~4	① 347 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	HPV16型 HPV18型 その他ハイリス クグループ	① 測定対象は16型、18型、その他ハ イリスクグループ(31、33、35、 39、45、51、52、56、58、59、 68型および66型)です。「その他 のハイリスクグループ」については、 型別の判定ではありません。検体 に血液が混入していると、データ に影響を及ぼす場合があります のでご注意ください。本検査方法 ではコンタミネーションの影響が より大きくなりますので、検体採 取にあたっては取り扱いに充分ご 注意ください。 &1
	6644 0 601295754	ヒトパピローマ ウイルスDNA (ハイリスクグループ)	組織 250mg 患部 ぬぐい液	V60	凍結 (3ヵ月)	3~5	① 347 ※7 ① 347 ※7	液相(核酸) ハイブリタイ ゼーション	陰性	① 測定対象は16、18、31、33、35、 39、45、51、52、56、58、59、 68型です。ただし型別の判定で はありません。 &1
	E188 9 601515762	ヒトパピローマ ウイルスDNA (ハイリスクグループ) (LBC)	子宮頸部 腔内容 子宮腔部	V41	室温 (1ヵ月)	3~5	① 347 ※7 ① 347 ※7 ① 347 ※7	液相(核酸) ハイブリタイ ゼーション	陰性	① 測定対象は16、18、31、33、35、 39、45、51、52、56、58、59、 68型です。ただし、型別の判定で はありません。細胞診検査(V41: ThinPrep容器)との同時依頼も可 能ですが、その際、細胞診の所要 日数が1~2日遅れます。 &1
	A017 2 02019A159	ヒトパピローマ ウイルス(HPV) ジェノタイプ判定	子宮頸部	V41	室温 (28日)	4~6	② 2000 ※7	PCR-rSSO法	陰性	② 検出可能な型は16、18、31、33、35、 39、45、51、52、56、58、59、68型 です。本検査はあらかじめ組織診 断によりCIN1またはCIN2と診断 された患者から採取された検体 を専用容器V41でご提出ください。 本検査方法ではコンタミネーシ ョンの影響がより大きくなります ので、検体採取にあたっては取 り扱いに充分ご注意ください。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。 &1
	6645 9 601305754	ヒトパピローマ ウイルスDNA (ローリスクグループ)	組織 250mg 患部 ぬぐい液	V60	凍結 (3ヵ月)	4~10		液相(核酸) ハイブリタイ ゼーション	陰性	① 測定対象は6、11、42、43、44型 です。ただし型別の判定ではあり ません。 &1

- ① HPV核酸検出、HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
ア「HPV核酸検出」及び「HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)」は、予め行われた細胞診の結果、ベセスダ分類上ASC-US(意義不明異型扁平上皮)と判定された患者又は過去に子宮頸部円錐切除若しくはレーザー照射治療を行った患者に対して行った場合に限り算定できる。なお、過去に子宮頸部円錐切除又はレーザー照射治療を行った患者以外の患者については、細胞診と同時に実施した場合は算定できない。
イ「HPV核酸検出」と「HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)」を併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。
- ② HPVジェノタイプ判定
ア「HPVジェノタイプ判定」は、あらかじめ行われた組織診断の結果、CIN1又はCIN2と判定された患者に対し、治療方針の決定を目的として、ハイリスク型HPVのそれぞれの有無を確認した場合に算定する。
イ「HPVジェノタイプ判定」は、「HPV核酸検出」及び「HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)」の施設基準を届け出ている保険医療機関のみ算定できる。
ウ 当該検査を算定するに当たっては、あらかじめ行われた組織診断の実施日及び組織診断の結果、CIN1又はCIN2のいずれに該当するかを診療報酬明細書の摘要欄に記載する。
エ 同一の患者について、「HPVジェノタイプ判定」を2回目以降行う場合は、当該検査の前回実施日を上記に併せて記載する。

[A011 8]ヒトパピローマウイルスDNA(16型、18型、その他ハイリスクグループ) について
[A017 2]ヒトパピローマウイルス(HPV)ジェノタイプ判定

[K968 7] 細胞診(婦人科LBC)または[L455 5] 細胞診(婦人科LBCベセスダシステム)との同時依頼のみ可能ですが、その際、細胞診の所要日数が1~2日遅れます。



ウイルス感染症検査

①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(74ページ)を参照ください。

*CF(補体結合反応)：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。
 出発希釈 4倍 (髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*NT(中和反応)：細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。
 出発希釈 4倍 (髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウイルス感染症検査	6821 3 018167454	単純ヘルペスウイルス 特異抗原 5F190-1420-094-161	塗抹標本 2枚	V30	凍結	2~4	① 180 ※6	FA	単純ヘルペスウイルス 1型抗原(FA) 陰性 単純ヘルペスウイルス 2型抗原(FA) 陰性	塗抹標本の採取方法は45ページを ご参照ください。 G&1
	2429 3 00579A102	単純ヘルペスウイルス 5F190-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	4~6	② 79 ※6	CF (補体結合反応)	4未満 (倍)	下記参照(*CF) G&E
	6179 7 017900802	単純ヘルペスウイルス IgG 5F190-1431-023-023 5F190-1431-041-023	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	③ 200 ※6	EIA	2.0未満 陰性 判定基準:下記参照	固相法 同時期の髄液と血清の双方を同時 測定することにより、髄液中の局 所産生抗体の証明が可能です。 G&1
	6679 2 017900829		髄液 0.4	A00			③ 200 ※6		0.20未満 陰性 判定基準:下記参照	
	6181 4 017910802	単純ヘルペスウイルス IgM 5F190-1432-023-023	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	③ 200 ※6	EIA	0.80未満 陰性 判定基準:下記参照	下記参照(*捕捉法) G&1

①「単純ヘルペスウイルス抗原定性」は、ヘルペスウイルスの型別確認を行った場合に算定できる。

②ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(74ページ)を参照ください。

③グロブリンクラス別ウイルス抗体価(74ページ)を参照ください。

*CF(補体結合反応)：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*捕捉法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 0.80未満 陰性

[6181 4]単純ヘルペスウイルスIgM
[6179 7、6679 2]単純ヘルペスウイルスIgG の判定基準

判 定	IgM (抗体指数)	IgG(EIA価)	
		血 清	髄 液
—	0.80未満	2.0未満	0.20未満
±	0.80 ~ 1.20	2.0 ~ 3.9	0.20 ~ 0.39
+	1.21以上	4.0以上	0.40以上



ウイルス感染症検査

ウイルス感染症検査

項目コード 新項目コード		検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウイルス 感染症 検査	6828 6 018336301	単純ヘルペスウイルス DNA 定性	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (10日)	3～5		PCR	陰性	重 血液:凍結保存は避けてください。 患部ぬぐい液:患部をぬぐった滅菌綿棒を1mLのPBSまたは生理食塩水が入った滅菌ポリスビッツ (ARR)に入れ、そのまま凍結保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	6827 7 018336329		髄液 0.7	ARR	凍結 (3ヵ月)					
			患部 ぬぐい液							
	6839 4 018336354		組織 50mg							
	1419 5 018332401	単純ヘルペスウイルス DNA定量	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (1ヵ月)	2～4	① 450 ※7	PCR (リアルタイムPCR)	2.0×10 ¹ 未満 (コピー /10 ⁶ cells)	重 血液:凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	B503 1 018332429	髄液 0.7	ARR	凍結 (1ヵ月)	1.0×10 ² 未満 (コピー /mL)					
	6084 2 011745502	単純ヘルペスウイルス1型 5F191-1430-023-151	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	6～12	② 79 ※6	NT (中和反応)	4未満 (倍)	下記参照(*NT) 1型、2型間には抗原交差性があります。 &1
	6085 1 011755502	単純ヘルペスウイルス2型 5F192-1430-023-151								
	A311 5 044461502	単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG 5F195-1431-023-662	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵 (15日)	3～5	③ 200 ※6	FIA	0.9未満 (AI) 判定基準: 下記参照 &1	

- ①「単純疱疹ウイルス・水痘帯状疱疹ウイルス核酸定量」は、免疫不全状態であって、単純疱疹ウイルス感染症又は水痘帯状疱疹ウイルス感染症が強く疑われる患者を対象としてリアルタイムPCR法により測定した場合に、一連として1回のみ算定できる。
 ②ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(72ページ)を参照ください。
 ③グロブリンクラス別ウイルス抗体価(72ページ)を参照ください。

*NT(中和反応): 細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。
 出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です) 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

[A311 5]単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgGの判定基準

判定	HSV-1型(抗体価*)	HSV-2型(抗体価*)
陰性(-)	0.9未満: 陰性(-)	0.9未満: 陰性(-)
判定保留(±)	0.9未満: 陰性(-)	0.9 ~ 1.0: 判定保留(±)
	0.9 ~ 1.0: 判定保留(±)	0.9未満: 陰性(-) 0.9 ~ 1.0: 判定保留(±)
陽性(+)	0.9未満: 陰性(-)	1.1以上: 陽性(+)
	0.9 ~ 1.0: 判定保留(±)	0.9未満: 陰性(-) 0.9 ~ 1.0: 判定保留(±)
	1.1以上: 陽性(+)	1.1以上: 陽性(+)

*メーカー設定した抗体価。単位はAI(Antibody Index)

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウ イ ル ス 感 染 症 検 査	6824 0 013917454	水痘・帯状疱疹 ウイルス抗原 5F193-1410-094-161	塗抹標本 2枚	V30	凍結	2~4	227 ※6	FA	陰性	塗抹標本の採取方法は④ページを ご参照ください。 &1
	6000 4 00589A102	水痘・帯状疱疹 ウイルス 5F193-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	4~6	① 79 ※6	CF (補体結合反応)	4未満 (倍)	下記参照(*CF) &E
	6171 5 017860802	水痘・帯状疱疹 ウイルス IgG 5F193-1431-023-023	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 200 ※6	EIA	2.0未満 陰性 判定基準:下記参照	下記参照(*固相法) &1
	6173 3 017870802	水痘・帯状疱疹 ウイルス IgM 5F193-1432-023-023					② 200 ※6		0.80未満 陰性 判定基準:下記参照	下記参照(*捕捉法) &1
		水痘・帯状疱疹 ウイルスDNA 定性	患部 ぬぐい液	ARR	凍結 (3ヵ月)					重 血液:凍結保存は避けてください。 患部ぬぐい液:患部をぬぐった滅 菌綿棒を1mLのPBSまたは生理 食塩水が入った滅菌ポリスビツ (ARR)に入れ、そのまま凍結保存 してください。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネ ーションの影響がより大きくなりま すので、検体採取にあたっては取り 扱いに充分ご注意ください。 &1
	6836 7 021076301		血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (10日)	3~5		PCR	陰性	
	6837 6 021076329	5F193-1440-064-851 5F193-1440-019-851 5F193-1440-041-851	髄液 0.7	ARR	凍結 (3ヵ月)					
	K311 5 021072401	水痘・帯状疱疹 ウイルスDNA定量	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	2~4	③ 450 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	2.0×10 ¹ 未満 (コピー/10 ⁶ cells)	重 血液:凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。 本検査方法ではコンタミネー ーションの影響がより大きくなりま すので、検体採取にあたっては取り 扱いに充分ご注意ください。 &1
	B504 0 021072429	5F193-1441-019-862 5F193-1441-041-862	髄液 0.7	ARR	凍結 (1ヵ月)		③ 450 ※7		1.0×10 ² 未満 (コピー/mL)	

① ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(74ページ)を参照ください。

② グロブリンクラス別ウイルス抗体価(74ページ)を参照ください。

③ 「単純疱疹ウイルス・水痘帯状疱疹ウイルス核酸定量」は、免疫不全状態であって、単純疱疹ウイルス感染症又は水痘帯状疱疹ウイルス感染症が強く疑われる患者を対象としてリアルタイムPCR法により測定した場合に、一連として1回のみ算定できる。

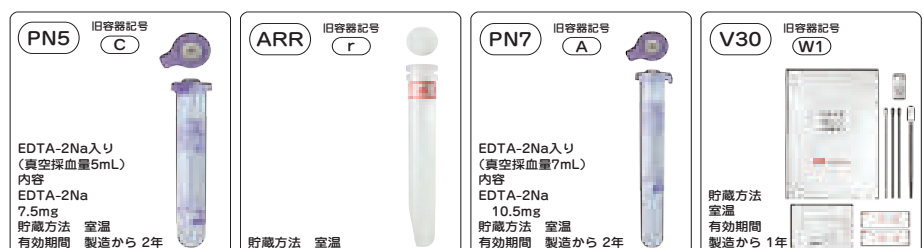
*固相法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 0.20未満 陰性

*捕捉法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 0.80未満 陰性

*CF(補体結合反応)：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、
抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。
出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

[6171 5、6173 3]水痘・帯状疱疹ウイルスの判定基準

判 定	IgG(EIA値)	IgM(抗体指数)
—	2.0未満	0.80未満
±	2.0 ~ 3.9	0.80 ~ 1.20
+	4.0以上	1.21以上



ウイルス感染症検査

ウイルス感染症検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウ イ ル ス 感 染 症 検 査	6745 8 014883701	曜日指定 サイトメガロウイルス pp65抗原(C7-HRP) 5F194-1422-019-174	血液 3.0 (EDTA-2Na加)	PN5	室温	2~4	① 356 ※6	直接酵素抗体法	陰性	受託可能日は月~金曜日です。 血液は採血後、速やかにご提出く ださい。採血後24時間以内の血液 を使用しない場合、検出率の低下 が認められます。 &1
	A002 8 00597A202	サイトメガロウイルス 5F194-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	4~6	②③ 79 ※6	CF (補体結合反応)	4未満 (倍)	下記参照(*CF) &1
	B128 8 00598A102	サイトメガロウイルス IgG 5F194-1431-023-051	血清 各 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	③④ 200 ※6	CLIA	6.0未満 陰性 (AU/mL)	下記参照 (判定基準は、案内書欄外に記載) &1
	B113 4 00599A202	サイトメガロウイルス IgM 5F194-1432-023-051					③④ 200 ※6		0.85未満 陰性 (Index)	&1
	6830 3 018346301	サイトメガロウイルス DNA 定性 5F194-1440-019-851 5F194-1440-041-851 5F194-1440-064-851 5F194-1440-001-851 5F194-1440-070-851	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (10日)					重 血液:凍結保存は避けてください。 患部ぬぐい液:患部をぬぐった滅 菌綿棒を1mLのPBSまたは生理 食塩水が入った滅菌ポリスビツ (ARR)に入れ、そのまま凍結保 存してください。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネ ーションの影響がより大きくなり ますので、検体採取にあたっては取 り扱いに充分ご注意ください。 &1
	6832 1 018346329		髄液 0.7							
			患部 ぬぐい液							
	6831 2 018346321		部分尿 0.7	ARR	凍結 (3ヵ月)	3~5				
	6658 5 018346354		組織 50mg							
	A094 7 04279A121	サイトメガロウイルス 核酸検出(新生児尿) 5F194-1440-001-890	部分尿 0.2	ARR	凍結 (42日)	3~9	③⑤ 801 ※7	等温核酸 増幅法	陰性	重 生後3週間以内に採取された新生児 尿をご提出ください。他項目との 重複依頼は避けてください。本検 査方法ではコンタミネーション(便 を含む)の影響がより大きくなり ますので、検体採取にあたっては取 り扱いに充分ご注意ください。 &1
		サイトメガロウイルス 核酸定量 5F194-1441-022-862	血漿 1.8	PSF	凍結 (84日)	2~4	⑥ 450 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	検出せず (IU/mL)	重 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネ ーションの影響がより大きくなり ますので、検体採取にあたっては取 り扱いに充分ご注意ください。 &1

- ①「サイトメガロウイルスpp65抗原定性」は免疫染色法により、臓器移植後若しくは造血幹細胞移植後の患者又はHIV感染者又は高度細胞性免疫不全の患者に対し
て行った場合に限り算定できる。ただし、高度細胞性免疫不全の患者については、当該検査が必要であった理由について、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
②ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(74ページ)を参照ください。
③先天性サイトメガロウイルス感染の診断を目的として、「サイトメガロウイルス核酸検出」と「ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)」におけるサイトメガロウイル
ス又は「グロブリンクラス別ウイルス抗体価」におけるサイトメガロウイルスを対象とした検査を併せて実施した場合には、主たるもののみ算定する。
④グロブリンクラス別ウイルス抗体価(74ページ)を参照ください。
⑤「サイトメガロウイルス核酸検出」は、先天性サイトメガロウイルス感染の診断を目的として、尿を検体として等温核酸増幅法により測定した場合に、1回に限り
算定できる。
⑥「サイトメガロウイルス核酸定量」は、以下のいずれかに該当する場合であって、血液を検体としてリアルタイムPCR法によりサイトメガロウイルスDNAを測定
した場合に算定する。
ア 臓器移植後若しくは造血幹細胞移植後の患者、HIV感染者又は高度細胞性免疫不全の患者に対して、サイトメガロウイルス感染症の診断又は治療効果判定を
目的として行った場合。ただし、高度細胞性免疫不全の患者については、本検査が必要であった理由について、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
イ 症候性先天性サイトメガロウイルス感染症患者に対して、治療効果判定を目的として行った場合。

*CF(補体結合反応): 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し
冷蔵保存してください。
出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です) 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

[B128 8、B113 4] サイトメガロウイルスの判定基準

判 定	IgG(AU/mL)	IgM(Index)
陰性	6.0未満	0.85未満
判定保留		0.85 ~ 1.00未満※2
陽性	6.0以上※1	1.00以上

- ※1: 6.0~15.0AU/mLの結果値の際には、適切な期間(例:2週間)内に再採取し再検査をお勧めします。
※2: 判定保留の際には、適切な期間(例:2週間)内に再採取し再検査をお勧めします。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウイルス 感染症検査	9212 6 04326A201	EBウイルスDNA 定量	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (28日)	2~4	① 310 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	検出せず (Log IU/mL)	① 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 ※1
		5F201-1441-019-862 5F201-1441-022-862	血漿 2.0	PN5 ↓ ARR						
	7749 3 015907601	EBウイルスDNA (クロナリティ)	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (10日)	17~23		サザンブロット ハイブリダイ ゼーション		血液:凍結保存は避けてください。化学療法などにより細胞数が減少している場合は、必要量のDNAが抽出できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。ホルマリンなどにより固定した組織は、高分子DNAが得られないため、サザンブロットハイブリダイゼーションによる解析は不可能です。本法では、ウイルスDNA数が少ないと、EBV DNAが検出されない場合があります。 ※1
		5F201-1440-019-831 5F201-1440-070-831	組織 250mg	ARR	凍結 (3ヵ月)					

- ①「EBウイルス核酸定量」は、以下のいずれかに該当する患者に対して、リアルタイムPCR法により実施した場合に算定する。
- ア 臓器移植後の患者については、移植後3月以内の場合は1週に1回、移植後1年以内の場合は1月に1回に限り算定する。ただし、移植後1年以内にEBウイルス核酸定量の測定を行い、核酸量の高値が認められた患者については、移植後1年以上経過した場合も、3月に1回に限り算定できる。
 - イ 造血幹細胞移植後の患者であって、HLA型不一致の移植が行われた患者又は移植に伴い抗胸腺細胞グロブリンが投与された患者については、移植後3月以内の場合は1週に1回、移植後1年以内の場合は1月に1回に限り算定する。
 - ウ 臓器移植後の急性拒絶反応又は造血幹細胞移植後の急性移植片対宿主病に対して抗胸腺細胞グロブリンが投与された患者については、抗胸腺細胞グロブリンの投与開始日から起算して2月以内の場合は1週に1回、6月以内の場合は1月に1回に限り算定する。
 - エ 移植後リンパ増殖性疾患を疑う患者に対して、当該疾患の診断の補助又は診断された後の経過観察を目的として実施する場合に算定する。ただし、経過観察を目的とする場合は、当該疾患と診断された日から起算して1月以内の場合は1週に1回、6月以内の場合は1月に1回に限り算定する。
 - オ 悪性リンパ腫又は白血病の患者に対して、EBウイルス陽性の確認又は確認された後の経過観察を目的として実施する場合に算定する。ただし、経過観察を目的とする場合は、悪性リンパ腫又は白血病と診断された日から1年以内に限り、1月に1回に限り算定する。
 - カ 再生不良性貧血の患者であって、抗胸腺細胞グロブリンが投与された患者については、抗胸腺細胞グロブリンの投与開始日から起算して2月以内の場合は1週に1回、6月以内の場合は1月に1回に限り算定する。
 - キ 慢性活動性EBウイルス感染症を疑う患者に対して、当該疾患の診断の補助又は診断された後の経過観察を目的に実施された場合は、1月に1回に限り算定する。
 - ク 上咽頭癌を疑う患者に対して、当該疾患の診断の補助又は診断された後の治療効果判定を目的として実施した場合に、それぞれ1回に限り算定できる。ただし、「ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)におけるEBウイルス」又は「グロブリンクラス別ウイルス抗体価におけるEBウイルス」を対象とした検査を併せて実施した場合には、主たるもののみ算定する。

EBウイルスDNA(クロナリティ)について

同時に複数検体をご依頼いただく場合は、所要日数が変動する場合がございます。あらかじめご了承ください。



ウイルス感染症検査

ウイルス感染症検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウ イ ル ス 感 染 症 検 査	6159 9 015990802	抗VCA IgG 5F202-1431-023-023	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 200 ※6	EIA	0.5未満 陰性 判定基準:下記参照	&1
	6141 8 015991502	抗VCA IgG 5F202-1431-023-162				3~5	① 200 ※6	FA (蛍光抗体法)	10未満 (倍)	出発希釈 10倍 &1
	6158 0 016000802	抗VCA IgM 5F202-1432-023-023				2~4	① 200 ※6	EIA	0.5未満 陰性 判定基準:下記参照	&1
	6142 7 016001502	抗VCA IgM 5F202-1432-023-162				3~5	① 200 ※6	FA (蛍光抗体法)	10未満 (倍)	出発希釈 10倍 &1
	6143 6 011871502	抗VCA IgA 5F202-1433-023-162				3~5	② 79 ※6	FA (蛍光抗体法)	10未満 (倍)	出発希釈 10倍 &1
	6751 1 016020802	抗EA IgG 5F203-1431-023-023				2~4	① 200 ※6	EIA	0.5未満 陰性 判定基準:下記参照	&1
	6144 5 011881502	抗EA-DR IgG 5F203-1431-023-162				3~5	① 200 ※6	FA (蛍光抗体法)	10未満 (倍)	出発希釈 10倍 &1
	6145 4 011891502	抗EA-DR IgA 5F203-1433-023-162				3~5	② 79 ※6	FA (蛍光抗体法)	10未満 (倍)	出発希釈 10倍 &1
	6146 3 011901502	抗EBNA 5F204-1430-023-162				3~5	② 79 ※6	FA (蛍光抗体法)	10未満 (倍)	出発希釈 10倍 &1
	6160 7 016010802	抗EBNA IgG 5F204-1431-023-023				2~4	① 200 ※6	EIA	0.5未満 陰性 判定基準:下記参照	&1

①グロブリンクラス別ウイルス抗体価(74ページ)を参照ください。
②ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(74ページ)を参照ください。

[6159 9]EBウイルス 抗VCA IgG
[6158 0]EBウイルス 抗VCA IgM の判定基準
[6751 1]EBウイルス 抗EA IgG
[6160 7]EBウイルス 抗EBNA IgG

判 定	抗体指数
—	0.5未満
±	0.5 ~ 0.9
+	1.0以上

ウイルス感染症検査

ウイルス感染症検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウ イ ル ス 感 染 症 検 査	6060 8 020256301	ヒトヘルペス ウイルス6型DNA 定性	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (10日)	3～9		PCR	陰性	重 血液:凍結保存は避けてください。 患部ぬぐい液:患部をぬぐった滅菌綿棒を1mLのPBSまたは生理食塩水が入った滅菌ポリスビッツ (ARR)に入れ、そのまま凍結保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	4996 2 020256302		血清 0.7	S09 ↓ ARR						
	K131 5 020256329		髄液 0.7	ARR	凍結 (3ヵ月)					
			患部ぬぐい液							
	6664 8 020256354		組織 50mg							
		5F210-1440-019-851 5F210-1440-023-851 5F210-1440-041-851 5F210-1440-085-851 5F210-1440-070-851							&1	
	0242 2 020252401	ヒトヘルペス ウイルス 6型DNA定量	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	2～4		PCR (リアルタイムPCR)	2.0×10 ¹ 未満 (コピー/10 ⁶ cells)	凍 重 凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	6646 8 015546301	ヒトヘルペス ウイルス7型DNA 定性	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (10日)	3～9		PCR	陰性	重 血液:凍結保存は避けてください。 患部ぬぐい液:患部をぬぐった滅菌綿棒を1mLのPBSまたは生理食塩水が入った滅菌ポリスビッツ (ARR)に入れ、そのまま凍結保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
			血清 0.7	S09 ↓ ARR						
	K079 4 015546329		髄液 0.7	ARR	凍結 (3ヵ月)					
			患部ぬぐい液							
		5F211-1440-019-851 5F211-1440-023-851 5F211-1440-041-851 5F211-1440-085-851 5F211-1440-070-851	組織 50mg						&1	

ウイルス感染症検査



ウイルス感染症検査

ウイルス感染症検査

項目コード 新項目コード		検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウイルス 感染症 検査	6117 5 011865502	エンテロウイルス 70型 5F270-1430-023-151	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	6~19		NT (中和反応)	4未満 (倍)	下記参照(*NT)
	6118 4 011855502	71型 5F271-1430-023-151								
	6089 7 017985502	A群2型 5F282-1430-023-151	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	7~20	① 79 ※6	NT (中和反応)	4未満 (倍)	下記参照(*NT)
	6090 5 017995502	A群3型 5F283-1430-023-151								
	6091 4 018625502	A群4型 5F284-1430-023-151								
	6092 3 018635502	A群5型 5F285-1430-023-151								
	6093 2 018645502	A群6型 5F286-1430-023-151								
	6094 1 013035502	A群7型 5F287-1430-023-151								
	6095 0 011475502	A群9型 5F289-1430-023-151								
	9265 8 00637A102	A群9型 5F289-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3			4~6	① 79 ※6	CF (補体結合反応)		下記参照(*CF)
	6096 9 018005502	A群10型 5F290-1430-023-151	血清 各 0.2			7~20	① 79 ※6	NT (中和反応)		下記参照(*NT)
	6097 8 011845502	A群16型 5F296-1430-023-151				7~13	① 79 ※6			

①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(74ページ)を参照ください。

*CF(補体結合反応)：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、
抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。
出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*NT(中和反応)：細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。
出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

ウイルス感染症検査

ウイルス感染症検査

*NT(中和反応): 細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。
 出芽希釈 4倍(髄液の測定も可能です) 検体量 各0.4ml(冷蔵) 基準値 1倍未満 出芽希釈 1倍)

ウイルス感染症検査

ウイルス感染症検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウイルス 感染症 検査	6104 9 013085502	1型 5F311-1430-023-151	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	7~18	① 79 ※6	NT (中和反応)	4未満 (倍)	下記参照(*NT)
	6105 8 011585502	3型 5F313-1430-023-151					① 79 ※6			
	6106 7 013095502	4型 5F314-1430-023-151					① 79 ※6			
	6130 0 021425502	5型 5F315-1430-023-151				7~20	① 79 ※6			
	6107 6 013105502	6型 5F316-1430-023-151				7~18	① 79 ※6			
	6108 5 011595502	7型 5F317-1430-023-151					① 79 ※6			
	6109 4 013115502	9型 5F319-1430-023-151				7~11	① 79 ※6			
	6131 9 011625502	11型 5F321-1430-023-151				7~20	① 79 ※6			
	6138 2 011635502	12型 5F322-1430-023-151					① 79 ※6			
										&1

①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(74ページ)を参照ください。

*NT(中和反応): 細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。
 出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウ イ ル ス 感 染 症 検 査	6110 2 013125502	13型 5F323-1430-023-151	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	7~18	① 79 ※6	NT (中和反応)	4未満 (倍)	下記参照(*NT)
	6139 1 021505502	14型 5F324-1430-023-151				7~20	① 79 ※6			
	6111 1 018465502	16型 5F326-1430-023-151				5~18	① 79 ※6			
	6113 9 013135502	17型 5F327-1430-023-151				7~18	① 79 ※6			
	6114 8 018455502	18型 5F328-1430-023-151				5~18	① 79 ※6			
	6132 8 021465502	19型 5F329-1430-023-151				7~20	① 79 ※6			
	6140 9 021515502	21型 5F331-1430-023-151					① 79 ※6			
	6133 7 021455502	エコーウイルス 22型 (パレコウイルス1型) 5F332-1430-023-151	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	7~20	① 79 ※6	NT (中和反応)	4未満 (倍)	下記参照(*NT) ①
	6134 6 021495502	24型 5F334-1430-023-151	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	7~20	① 79 ※6	NT (中和反応)	4未満 (倍)	下記参照(*NT) ①
	6115 7 013145502	25型 5F335-1430-023-151				7~18	① 79 ※6			
	6116 6 013465502	30型 5F340-1430-023-151					① 79 ※6			

① ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(74ページ)を参照ください。

*NT(中和反応)：細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。
 出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です) 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍

ウイルス感染症検査

ウイルス感染症検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウイルス感染症検査	6041 9 011462902	日本脳炎ウイルス (JaGAr株) 5F385-1430-023-111	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	4~7	① 79 ※6	HI (赤血球凝集 抑制反応)	ジャガー 10未満 ジャガー 2ME 10未満 (倍)	下記参照(*HI) &1
	9217 1 00678A102	日本脳炎ウイルス 5F385-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	4~6	① 79 ※6	CF (補体結合反応)	4未満 (倍)	下記参照(*CF) &E
	6045 5 011762902	風疹ウイルス 5F395-1430-023-111	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	① 79 ※6	HI (赤血球凝集 抑制反応)	8未満 (倍)	下記参照(*HI) &1
	6187 8 017920802	風疹ウイルス IgG 5F395-1431-023-023	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 200 ※6	EIA	2.0未満 陰性 判定基準:下記参照	下記参照(*固相法) &1
	6189 6 017930802	風疹ウイルス IgM 5F395-1432-023-023					② 200 ※6	EIA	0.80未満 陰性 判定基準:下記参照	下記参照(*捕捉法) &1

①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(74ページ)を参照ください。

②グロブリンクラス別ウイルス抗体価(74ページ)を参照ください。

*固相法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 0.20未満 陰性

*捕捉法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 0.80未満 陰性

*CF(補体結合反応)：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、
抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。
出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*HI(赤血球凝集抑制反応)：
・日本脳炎ウイルス(JaGAr株)：出発希釈 10倍(髄液の測定も可能です 検体量 1.0mL(冷蔵) 基準値 10倍未満 出発希釈 10倍)
・風疹ウイルス：出発希釈 8倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

[6187 8、6189 6]風疹ウイルスの判定基準

判 定	IgG(EIA価)	IgM(抗体指数)
—	2.0未満	0.80未満
±	2.0 ~ 3.9	0.80 ~ 1.20
+	4.0以上	1.21以上

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウイルス 感 染 症 検 査	6056 3 011322902	A型 (H1N1)(H3N2) 5F400-1430-023-111	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	①② 79 ※6	HI (赤血球凝集 抑制反応)	A型(H1N1) 10未満 A型(H3N2) 10未満 (倍)	検査結果はWHO方式の血清希釈倍 数で表示しています。 下記参照(*HI) &1
	0386 3 00687A302	A型 5F400-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3			4~6	①② 79 ※6	CF (補体結合反応)	4未満 (倍)	下記参照(*CF) &E
	6057 2 011332902	B型 5F410-1430-023-111	血清 0.2			3~5	①② 79 ※6	HI (赤血球凝集 抑制反応)	B-1 10未満 B-2 10未満 (倍)	検査結果はWHO方式の血清希釈倍 数で表示しています。 下記参照(*HI) &1
	0406 0 00688A202	B型 5F410-1430-023-141	速やかに遠心 血清 0.3			4~6	①② 79 ※6	CF (補体結合反応)	4未満 (倍)	下記参照(*CF) &E
	6052 7 011652902	パラインフルエンザ ウイルス 1型 5F421-1430-023-111	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	② 79 ※6	HI (赤血球凝集 抑制反応)	10未満 (倍)	検査結果はWHO方式の血清希釈倍 数で表示しています。 下記参照(*HI) &1
	6053 6 011682902	パラインフルエンザ ウイルス 2型 5F422-1430-023-111					② 79 ※6			
	6054 5 011712902	パラインフルエンザ ウイルス 3型 5F423-1430-023-111					② 79 ※6			
	9290 0 00695A102	RSウイルス	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	4~6	② 79 ※6	CF (補体結合反応)	4未満 (倍)	下記参照(*CF) &E
	6081 5 011525502	5F430-1430-023-141 5F430-1430-023-151	血清 0.2			7~11	② 79 ※6	NT (中和反応)		下記参照(*NT) &1

①「インフルエンザウイルスA型」若しくは「インフルエンザウイルスB型」又は「インフルエンザウイルス抗原定性」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
②ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(74ページ)を参照ください。

*CF(補体結合反応)：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、
抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。
出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です) 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*NT(中和反応)：細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。
出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です) 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*HI(赤血球凝集抑制反応)：出発希釈 10倍(髄液の測定も可能です) 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 10倍未満 出発希釈 10倍)

ウイルス感染症検査

ウイルス感染症検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウイルス感染症検査	6082 4 011575502	麻疹ウイルス 5F431-1430-023-151	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	7~11	① 79 ※6	NT (中和反応)	4未満 (倍)	下記参照(*NT) &1
	6183 2 017960802	麻疹ウイルス IgG 5F431-1431-023-023	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 200 ※6	EIA	2.0未満 陰性 判定基準:下記参照	下記参照(*固相法) &1
	6185 0 017970802	麻疹ウイルス IgM 5F431-1432-023-023							0.80未満 陰性 判定基準:下記参照	下記参照(*捕捉法) &1

①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(74ページ)を参照ください。

②グロブリンクラス別ウイルス抗体価(74ページ)を参照ください。

*固相法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 0.20未満 陰性

*捕捉法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 0.80未満 陰性

*NT(中和反応)：細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。
 出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

[6183 2、6185 0]麻疹ウイルスの判定基準

判 定	IgG(EIA価)	IgM(抗体指数)
—	2.0未満	0.80未満
±	2.0 ~ 3.9	0.80 ~ 1.20
+	4.0以上	1.21以上

[6185 0]麻疹ウイルスIgMの結果における注意事項

伝染性紅斑(パルボウイルスB19感染)、デング熱、突発性発疹(HHV6感染)などでも麻疹ウイルスIgMが陽性となる症例があることが報告されています。診断においては臨床症状および他の検査法を加味し、総合的に判断してください。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウイルス感染症検査	6050 9 011342902	ムンプスウイルス	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	① 79 ※6	HI (赤血球凝集 抑制反応)	8未満 (倍)	下記参照(*HI) &1
	6083 3 011345502					7~13	① 79 ※6	NT (中和反応)	4未満 (倍)	下記参照(*NT) &1
	0409 7 00701A202		速やかに通心 血清 0.3			4~6	① 79 ※6	CF (補体結合反応)		下記参照(*CF) &E
	6191 3 017940802	ムンプスウイルス IgG 5F432-1431-023-023	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 200 ※6	EIA	2.0未満 陰性 判定基準:下記参照	下記参照(*固相法) &1
	6193 1 017950802	ムンプスウイルス IgM 5F432-1432-023-023					② 200 ※6		0.80未満 陰性 判定基準:下記参照	下記参照(*捕捉法) &1

①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(74ページ)を参照ください。

②グロブリンクラス別ウイルス抗体価(74ページ)を参照ください。

*固相法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 0.20未満 陰性

*捕捉法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 0.80未満 陰性

*CF(補体結合反応)：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、
抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。
出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*NT(中和反応)：細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。
出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*HI(赤血球凝集抑制反応)：出発希釈 8倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 8倍未満 出発希釈 8倍)

[6191 3、6193 1]ムンプスウイルスの判定基準

判 定	IgG(EIA価)	IgM(抗体指数)
—	2.0未満	0.80未満
±	2.0 ~ 3.9	0.80 ~ 1.20
+	4.0以上	1.21以上

ウイルス感染症検査

ウイルス感染症検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
ウイルス 感染症 検査	A433 0 00707A102	HTLV- I (ATLV) 抗体 5F450-1430-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	159 ※6	CLEIA	陰性	検査結果が「陽性」であった場合、 ラインプロット法による確認検査 をお勧めいたします。測定対象は、 抗HTLV- I 抗体および抗HTLV- II 抗体です。型別の報告ではありま せん。 &1
	A095 6 00705A202	HTLV-1抗体 5F460-1430-023-833	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	3~5	① 425 ※6	ラインプロット法 (LIA法)	陰性 判定基準:下記参照	測定対象は、抗HTLV-1抗体およ び抗HTLV-2抗体です。型別の報 告ではありません。 &1
	A237 8 04255A101	HTLV-1核酸検出 定性 5F454-1440-019-862	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (14日)		② 450 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	陰性 (プロウイルスを認めま せんでした)	⚠️ 血液:凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。 化学療法などにより細胞数が減少 している場合は、必要量のDNAが 抽出できない場合もあります。 本検査方法ではコンタミネーショ ンの影響がより大きくなりますの で、検体採取にあたっては取り扱 いに充分ご注意ください。 &1
	A232 3 04255A201	HTLV-1 プロウイルスDNA 定性	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (14日)	10~16				
	A233 2 04255A237	5F454-1440-019-862 5F454-1440-070-862	組織 50mg	ARR	凍結					
	6815 0 021097601	HTLV- I (ATLV) プロウイルスDNA (クロナリティ)	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (10日)	17~23		サザンプロット ハイブリダイ ゼーション		血液:凍結保存は避けてください。 化学療法などにより細胞数が減少 している場合は、必要量のDNAが 抽出できない場合がありますので、 あらかじめご了承ください。 ホルマリンなどにより固定した組織は、 高分子DNAが得られないため、サザ ンプロットハイブリダイゼーション による解析は不可能です。 &1
	6814 1 021097654	5F455-1440-019-831 5F455-1440-070-831	組織 250mg	ARR	凍結 (1ヵ月)					

- ①「HTLV- I 抗体(ウエスタンプロット法及びラインプロット法)」は、「HTLV- I 抗体定性」、「HTLV- I 抗体半定量」又は「HTLV- I 抗体」によって陽性が確認された症例について、確定診断を目的としてウエスタンプロット法又はラインプロット法により行った場合に算定する。
- ②「HTLV-1核酸検出」は、「HTLV- I 抗体(ウエスタンプロット法及びラインプロット法)」によって判定保留となった妊婦、移植者(生体部分肺移植、生体部分肝移植、生体腎移植又は生体部分小腸移植の場合に限る。)又は臓器等提供者(生体部分肺移植、生体部分肝移植、生体腎移植又は生体部分小腸移植の場合に限る。)を対象として測定した場合にのみ算定する。本検査を実施した場合は、HTLV- I 抗体(ウエスタンプロット法及びラインプロット法)の判定保留を確認した年月日を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

*PA: 出発希釈 16倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 設定なし 出発希釈 2倍)

[A095 6]HTLV-1抗体[ラインプロット法](判定基準)

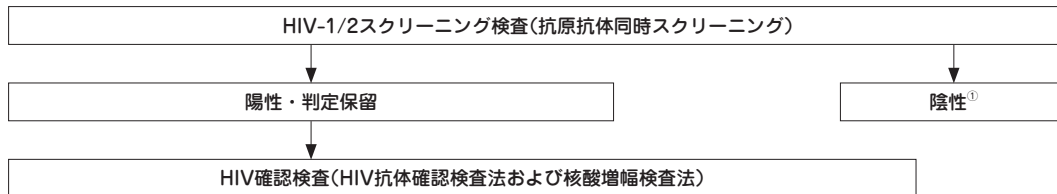
ラインが認められない		陰性
ラインが1本認められる(≧±)	gag p19かgag p24か env gp46のいずれかが認められる	
	env gp21が認められる	保留
ラインが2本認められる(≧±)	env gp21が認められない	
	env gp21が認められる	陽性
ラインが3本以上認められる(≧±)		

[6815 0、6814 1]HTLV- I (ATLV)プロウイルスDNA(クロナリティ)

同時に複数検体をご依頼いただく場合は、所要日数が変動する場合がございます。あらかじめご了承ください。

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
ウイルス 感染症 検査	P179 8 HIV-1.2抗体 5F560-1430-023-051	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	109 ※6	CLEIA	陰性	
	A239 6 00715A105 HIV-1RNA定量 5F500-1453-022-875	血漿 1.8	PSF	凍結 (22日)	3~5	520 ※7	RT-PCR (リアルタイム PCR)	検出せず (コピー /mL)	重 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。&1
	B490 6 007189302 HIV-1/2特異抗体 5F560-1430-023-190	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (7日)	3~5	660 ※6	イムノクロマト法	陰性	重 他項目との重複依頼は避けてください。確認検査(イムノクロマト法)をご依頼の際には、改めて採血しご提出ください。&1
	L193 6 8L1930000 HIV抗原・抗体 5F560-1550-023-052	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	109 ※6	CLEIA	陰性	重 他項目との重複依頼は避けてください。不活化(非動化)した検体は、判定に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。&1
	E817 0 025260826 ノロウイルス抗原 5F630-1410-015-023	糞便 0.5g	F00	凍結	2~8		ELISA	陰性	依頼件数によって、所要日数が変動いたします。&1
	A072 1 00725A126 ノロウイルス RNA定性 5F630-1450-015-875	糞便 0.5g	F00	凍結 (7日)	2~8		RT-PCR (リアルタイム PCR)	検出せず	重 他項目との重複依頼は避けてください。本検査ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。依頼件数によって、所要日数が変動いたします。&1
	A206 2 030370802 デングウイルスNS1抗原 5F390-1410-023-023	血清 0.2	S09 ↓ A00	凍結	2~8	233 ※6	ELISA	陰性	依頼件数によって、所要日数が変動いたします。&1

HIV検査手順



抗体確認検査法			総合判定	
			HIV-1核酸増幅検査法	
HIV-1	HIV-2	判定	陽性あるいは検出感度未満	検出せず
陽性	陽性 ^②	HIV-1,2感染	HIV-1およびHIV-2重複感染	HIV-1(治療中) ^③ ・HIV-2感染
	判定保留	HIV-1感染	HIV-1感染	HIV-1感染(治療中) ^③
	陰性	HIV-1感染	HIV-1感染	HIV-1感染(治療中) ^③
判定保留	陽性 ^②	HIV-2感染	急性HIVおよびHIV-2重複感染	HIV-2感染
	判定保留	HIV-1,2判定保留	急性HIV-1感染	HIV-1,2判定保留(2週間後再検査)
	陰性	HIV-1判定保留	急性HIV-1感染	HIV-1判定保留(2週間後再検査)
陰性	陽性 ^②	HIV-2感染	急性HIVおよびHIV-2重複感染	HIV-2感染
	判定保留	HIV-2判定保留	急性HIV-1感染	HIV-2判定保留(2週間後再検査)
	陰性	HIV陰性	急性HIV-1感染	HIV非感染 ^④

- ① 感染リスクがない場合は非感染と判定されますが、感染リスクがある場合または不明の場合は数週間後に再度スクリーニング検査を実施してください。
- ② HIV-2核酸増幅検査法は保険収載されていないため、専門機関に相談してください。
- ③ HIV-1治療中または低ウイルス量感染が考えられます。
- ④ 感染リスクがある場合または不明の場合は、数週間後に再検査を実施してください。



ウイルス感染症検査

ウイルス感染症検査 参考資料

ウイルス抗体検査の特徴

検査方法	原 理	特 徴
補体結合反応(CF)	抗原抗体複合体と結合した補体を感じ血球の不溶血を指標として間接的に証明します。	・群特異性が高い ・比較的早期に抗体消失 ・感染スクリーニング用
赤血球凝集抑制反応(HI)	赤血球凝集能をもつウイルスの場合、その凝集を抑制する抗体を証明します。	・型特異性が高い ・早期に抗体が上昇、持続する
蛍光抗体法(FA)	感染細胞中のウイルス抗原と抗体との反応を蛍光標識抗体で証明します。	・抗体分画が可能
中和反応(NT)	活性ウイルスを抗体により中和させ、感染防御抗体を証明します。	・型特異性が高い
酵素免疫法(EIA)	固相化したウイルス抗原と抗体を反応させ、酵素標識抗体との反応により証明します。	・抗体分画が可能 ・定量的データ ・他法に比して高感度
化学発光免疫測定法(CLIA)	検体中の抗体と磁性粒子に固相した抗原および化学発光物質で標識した抗原を反応させ、この発光強度を測定することにより、抗体の有無あるいは量を測定する方法です。	・特異性が高い ・高感度
受身(粒子)凝集反応(PA)	固相化ゼラチン粒子にウイルスを吸着させ、これに抗体を反応させ、凝集の有無により証明します。	・高感度
イムノクロマト法(IC)	メンブレンフィルター上に固相化されたHIV-1またはHIV-2抗原に、特異的に反応する抗体を検出します。	・感度・特異性が高い ・確認試験

検出抗体の性質

		性 質			
		動 態	抗ウイルス 抗体活性	補体 結合能	胎盤 移行性
抗体	IgM	早期に産生されるが短期間で消失	+	+	-
	IgG	IgMに遅れて出現。漸減しながら長期間持続	+	+	+
	IgA	IgMより多少遅れて出現するがIgMより長期間検出可能	+	-	-

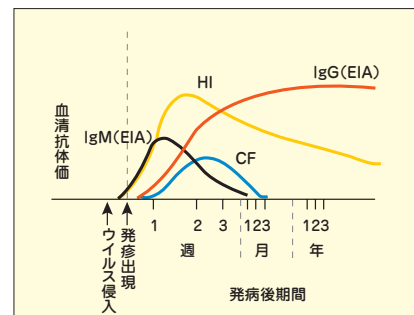
抗体価の解釈とペア血清検査の意義

ウイルス血清抗体価に正常値という概念はありません。ウイルス感染後に産生される抗体の検出は、過去にそのウイルスに感染したことを回顧的に示すだけで、現在の状態を必ずしも反映してはいません。

ウイルス抗体は感染の直後に高く、以後下降するパターンを示しますが、単一の血清の抗体価の高低だけで近い過去に感染があったかどうかの判定は出来ない場合が多いといえます。

ウイルス感染後の抗体応答パターン、各検査法の特徴、検査意義を理解し、目的に応じた検査法を選択する必要があります。

急性期(発病後早期)と回復期(発病後14～21日)のペア血清の抗体価が4倍以上上昇した場合有意と判断しそのウイルスの感染を推定します。ただし、治療にγグロブリンを投与した場合の抗体価の上昇は、必ずしも有意とは考えられません。



目的別検査法選択の目安

検査法の特徴により目的に合った検査の選択が必要です。自然感染では感染初期に応答するIgM抗体の検出やペア血清による抗体上昇をみるのが有用です。

また、既往の有無やワクチンの効果判定にはEIAによるIgG抗体の検査が有用です。

	自然感染	既往の有無	ワクチン効果判定
麻疹	NT, EIA(IgM)(IgG)	NT, EIA(IgG)	NT, EIA(IgG)
風疹	HI, EIA(IgM)(IgG)	HI, EIA(IgG)	HI, EIA(IgG)
ムンプス	CF, HI, NT, EIA(IgM)(IgG)	EIA(IgG)	NT, EIA(IgG)
水痘	CF, EIA(IgM)(IgG)	EIA(IgG)	EIA(IgG)
日本脳炎	HI, CF		HI
インフルエンザ	CF, HI		HI

依頼方法および結果解釈

測定値は病状との関連で変動しますので、必ず急性期(発病後早期)および回復期(発病後2～3週間)の血清をペアで依頼してください。なお、急性期と回復期を同時に測定し抗体価が4倍(2管差)以上の上昇が見られる場合は血清学的に有意とみなします。

ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)

同一検体についてウイルス抗体価(定性・半定量・定量)の測定を行った場合は、8項目を限度として算定する。
ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)は、治療上必要な場合に行うものとし、次に掲げるものを当該検査の対象とする。

- ①アデノウイルス ②コクサッキーウイルス ③サイトメガロウイルス ④EBウイルス ⑤エコーウイルス ⑥ヘルペスウイルス
⑦インフルエンザウイルスA型 ⑧インフルエンザウイルスB型 ⑨ムンプスウイルス ⑩パラインフルエンザウイルスⅠ型
⑪パラインフルエンザウイルスⅡ型 ⑫パラインフルエンザウイルスⅢ型 ⑬ポリオウイルスⅠ型 ⑭ポリオウイルスⅡ型
⑮ポリオウイルスⅢ型 ⑯RSウイルス ⑰風疹ウイルス ⑱麻疹ウイルス ⑲日本脳炎ウイルス ⑳オーム病クラミジア
㉑水痘・帯状疱疹ウイルス

ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)に当たって、同一検体について同一ウイルスに対する複数の測定方法を行った場合であっても、所定点数のみを算定する。

グロブリンクラス別ウイルス抗体価

同一検体について、グロブリンクラス別ウイルス抗体価の測定を行った場合は、2項目を限度として算定する。
グロブリンクラス別ウイルス抗体価は、下記の項目のウイルスのIgG型ウイルス抗体価又はIgM型ウイルス抗体価を測定した場合に算定する。
ただし、⑦のヒトパルボウイルスB19は、紅斑が出現している15歳以上の成人について、このウイルスによる感染症が強く疑われ、IgM型ウイルス抗体価を測定した場合に算定する。

- ①ヘルペスウイルス ②風疹ウイルス ③サイトメガロウイルス ④EBウイルス ⑤麻疹ウイルス ⑥ムンプスウイルス ⑦ヒトパルボウイルスB19
⑧水痘・帯状疱疹ウイルス

同一ウイルスについてIgG型ウイルス抗体価及びIgM型ウイルス抗体価を測定した場合にあっては、いずれか一方の点数を算定する。
ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)と併せて測定した場合にあっては、いずれか一方の点数を算定する。

ウイルス抗原検査の特徴

検査方法	原 理	特 徴
酵素免疫法(EIA)	ウイルス抗原と特異抗体を反応させ、酵素反応により検出。特異抗体に直接酵素を標識して検出する直接法と二次抗体に酵素標識する間接法がある。	高感度
蛍光抗体法(FA)	ウイルス抗原と特異抗体を反応させ、蛍光色素により検出。特異抗体に直接蛍光物質を標識して検出する直接法と二次抗体に蛍光物質を標識する間接法がある。	特異性が高い
遺伝子増幅法(PCR)	熱変性1本鎖DNAに目的のプライマー（特異的に増幅させたい領域の各DNA末端と相補的20～30塩基のDNA断片）を結合させ、DNAポリメラーゼによりDNA合成反応を行い、これを繰り返すことにより目的とするDNA配列を指数関数的に増幅。	高感度・特異性が高い
サザンブロット ハイブリダイゼーション	制限酵素で消化した検体DNAをアガロース電気泳動で分画、変性させた1本鎖DNAをメンブランに転写後、標識プローブとハイブリダイゼーションさせ、目的遺伝子を検出。	DNAの量的、質的変化の異常を解析

免疫血清的検査

感染症(非ウイルス)関連検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
感染症(非ウイルス)関連検査	7655 7 012430802	クラミジアトラコマトリス IgA 5E017-0000-023-023	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 200 ※6	EIA	0.90未満 陰性 判定基準:下記参照	
	7653 9 012420802	クラミジアトラコマトリス IgG 5E018-0000-023-023								
	7700 6 016242438	クラミジア トラコマトリスDNA 5E021-0000-050-862 5E021-0000-001-862 5E021-0000-079-862	分泌物	V50	室温 (28日)	2~4	②③ 188 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	陰性	凍結 凍結保存は避けてください。他項目との重複依頼は避けてください。 分泌物、部分尿:検体に大量の血液が混入した場合は、正しい結果が得られないことがあります。 男性の場合、PCR反応阻害物質の影響が稀に認められる場合がありますので、尿検体での検査をお勧めいたします。尿検体は最後の排尿から1時間以上経過後に初尿を採取してください。 うがい液:検体採取前の食事、うがい、歯磨きなどは避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	7644 9 016242421		部分尿 5	U10						
	K589 8 016242499		うがい液 5							

- ①グロブリンクラス別クラミジア・トラコマチス抗体
ア「グロブリンクラス別クラミジア・トラコマチス抗体」は、クラミジア・トラコマチス抗原検出不能又は検体採取の困難な疾患(骨盤内感染症、卵管炎、副睾丸炎、新生児・乳児肺炎等)の診断に際し、IgG抗体価又はIgA抗体価を測定した場合又は新生児・乳幼児肺炎の診断に際し、IgM抗体価を測定した場合に算定する。
イ IgG抗体価、IgA抗体価及びIgM抗体価のうち2項目以上を同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。
- ②クラミジア・トラコマチス核酸検出
ア「クラミジア・トラコマチス核酸検出」と「クラミジア・トラコマチス抗原定性」を併用した場合は、主なもののみ算定する。
イ「クラミジア・トラコマチス核酸検出」は、PCR法、LCR法、ハイブリッドキャプチャー法若しくはTMA法による同時増幅法並びにHPA法及びDKA法若しくは核酸ハイブリダイゼーション法による同時検出法、SDA法又はTRC法により、泌尿器、生殖器又は咽頭からの検体により実施した場合に限り算定できる。
- ③「クラミジア・トラコマチス抗原定性」、「淋菌抗原定性」、「細菌培養同定検査(淋菌及びクラミジアによる感染を疑って実施するもの)」、「クラミジア・トラコマチス核酸検出」又は「淋菌核酸検出」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

[7655 7、7653 9]クラミジアトラコマトリスIgA、IgG(判定基準)

インデックス値	判定
0.90未満	(-)
0.90 ~ 1.09	(±)*
1.10以上	(+)

※10日以降に採血した血清による再検査をお勧めいたします。

[7700 6、7644 9]クラミジアトラコマトリスDNAについて

[B877 7、B880 3]腔トリコモナスおよびマイコプラズマジェニタリウム同時核酸検出、[4759 5、4719 9]淋菌DNAとの同時依頼のみ可能です。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
感染症(非ウイルス)関連検査	A041 5 00738A102	オーム病クラミドフィラ (クラミジアシタシ) 5E026-0000-023-141	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	4~6	① 79 ※6	CF	4未満 (倍)	下記参照(*CF) &E
	3373 4 018061502	クラミドフィラ (クラミジア)シタシ IgG 5E027-0000-023-162	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	3~9		FA	10未満 (倍)	下記参照(*FA) &1
	3374 3 018071502	クラミドフィラ (クラミジア)シタシ IgM 5E028-0000-023-162								
	A023 5 01538A202	クラミドフィラ(クラミジア) ニューモニエ IgG 5E031-0000-023-023					②③ 70 ※6		30未満 陰性 判定基準:下記参照	
	A024 4 01539A202	クラミドフィラ(クラミジア) ニューモニエ IgA 5E032-0000-023-023	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	②③ 75 ※6	ELISA	8未満 陰性 判定基準:下記参照	
	K425 9 01661A202	クラミドフィラ(クラミジア) ニューモニエ IgM 5E033-0000-023-023					②③ 152 ※6		0.5未満 陰性 判定基準:下記参照	&1

① ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(75ページ)を参照ください。

② 「クラミドフィラ・ニューモニエIgM抗体」を、「クラミドフィラ・ニューモニエIgG抗体」又は「クラミドフィラ・ニューモニエIgA抗体」と併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。

③ 「肺炎クラミジア核酸検出」と「クラミドフィラ・ニューモニエIgG抗体」、「クラミドフィラ・ニューモニエIgA抗体」若しくは「クラミドフィラ・ニューモニエIgM抗体」、「ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)」又は「ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含む。)」を併せて実施した場合は、主たるもののみを算定する。

*CF(補体結合反応): 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*FA: 出発希釈 10倍(髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

[A023 5]クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエIgG(判定基準)

EIU値	判定
EIU<30	陰性(-)
30≤EIU≤45	判定保留(±)*
EIU>45	陽性(+)

※28日以降に採血した血清による再検査をお勧めいたします。

[A024 4]クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエIgA(判定基準)

EIU値	判定
EIU<8	陰性(-)
8≤EIU≤12	判定保留(±)*
EIU>12	陽性(+)

※28日以降に採血した血清による再検査をお勧めいたします。

[K425 9]クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエIgM(判定基準)

S/CO値	判定
S/CO<0.5	陰性(-)
0.5≤S/CO≤1.1	判定保留(±)*
S/CO>1.1	陽性(+)

※10日以降に採血した血清による再検査をお勧めいたします。



免疫血清的検査

感染症(非ウイルス)関連検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
感 染 症 (非 ウ イ ル ス) 関 連 検 査	P157 2 001390702	抗ストレプトリジン-O 抗体(ASO) 5E035-0000-023-062	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	15 ※6	ラテックス 凝集免疫法	160以下 (IU/mL)	
	6449 7 020916101	エンドトキシン定量 5E046-0000-019-297	血液 2.0 (ノボヘパリン加)	PE2	冷蔵	2~4	① 229 ※6	比濁時間分析法	1.0以下 (カットオフ値) (pg/mL)	凍結保存は避けてください。 1.0pg/mLは、グラム陰性菌による敗血症診断のカットオフ値です。 1.1pg/mL以上は、グラム陰性菌による敗血症の疑いがあります。 β-D-グルカン以外との重複依頼は避けてください。本検査においては、血漿中のエンドトキシンを測定いたします。血液2.0mLを専用容器(PE2)にて採血し、よく混和してください。データ影響が認められるため、速やかに冷蔵保存にてご提出ください。 &1
	K402 4 020910184	A液 5E048-0000-095-271	透析液中 各 4.0	PE4	冷蔵	2~4		発色合成基質法	(EU/mL)	専用依頼書、専用容器を使用して ください。採取部位(透析液の種類) を必ず明記してください。 電解質、酸、アルカリの反応阻害 を防ぐため、A液は40倍希釈、B液 は20倍希釈して測定いたします。 &1
	K403 3 02091A184	B液 5E048-0000-095-271								
	K404 2 02091A284	RO水 5E048-0000-095-271								
	K405 1 02091A384	調整液 5E048-0000-095-271								
	K406 0 02091A484	その他 5E048-0000-095-271								
	K478 1 028340802	百日咳抗体[EIA] 5E054-0000-023-023	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	257 ※6	EIA	PT-IgG 10未満 FHA-IgG 10未満 (EU/mL)	&1
	A253 0 042660802	百日咳抗体IgA 5E101-0000-023-023	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	80 ※6	ELISA	8.5未満 陰性 判定基準:下記参照	&1
	A254 9 042670802	百日咳抗体IgM 5E102-0000-023-023								
	A310 6 007551802	抗ヘリコバクター ピロリ抗体[LA] 5E064-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	② 80 ※6	ラテックス 凝集比濁法	10未満 (U/mL)	&1
	4657 8 016950826	便中ヘリコバクター ピロリ抗原 5E068-0000-015-023	糞便 (専用スティック 1本)	F20	冷蔵	2~4	② 142 ※6	EIA	陰性	必ず専用容器で採取してご提出く ださい。 &1

①「プレセプシン定量」と「プロカルシトニン(PCT)定量」、「プロカルシトニン(PCT)半定量」又は「エンドトキシン」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

②ヘリコバクター・ピロリ感染診断の保険診療上の取扱いについては「ヘリコバクター・ピロリ感染の診断及び治療に関する取扱いについて」に即して行うこと。

[A253 0、A254 9] 百日咳抗体 IgA、IgM(判定基準)

NTU値	判定
<8.5	陰性(-)
8.5 ~ 11.5	判定保留(±)※
>11.5	陽性(+)

※2 ~ 4週間後に採血した血清による再検査をお勧めいたします。



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
感染症(非ウイルス)関連検査	P177 0 001510702 梅毒定性RPR〔LA〕 5E074-1351-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	① 15 ※6	ラテックス 比濁法	(-)	溶 乳び検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 また、溶血検体では高値となる場合がありますので避けてください。
	0730 0 001520702 梅毒定量RPR〔LA〕 5E074-1352-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	① 34 ※6	ラテックス 比濁法	1.0未満 (R.U.)	溶 乳び検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 また、溶血検体では高値となる場合がありますので避けてください。
	P159 0 梅毒定性TP抗体〔CLEIA〕 5E075-0000-023-116-11	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	32 ※6	CLEIA	(-)	陽性(+)時はイムノクロマト法にて確認検査を実施します
	0728 3 001540702 梅毒定量TP抗体〔LA〕 5E075-1352-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	53 ※6	ラテックス 比濁法	5未満 (U/mL) 判定基準:下記参照	乳び検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &1
	4412 9 011947102 寒冷凝集反応 5E105-0000-023-102	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	11 ※6	HA	256未満 (倍)	採血後、速やかに血清分離してください。 (血清分離までは37℃保存) &1
	A323 2 00767A102 マイコプラズマ ニューモニエ	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	4~6	② 32 ※6	CF	4未満 (倍)	下記参照(*CF) &E
	3363 5 011781802 5E106-0000-023-141 5E106-0000-023-117	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 32 ※6	PA	40未満 (倍)	下記参照(*PA) &1

- ①「梅毒血清反応(STS)定性」、「梅毒血清反応(STS)半定量」及び「梅毒血清反応(STS)定量」は、従来の梅毒沈降反応(ガラス板法、VDRL法、RPR法、凝集法等)をいい、梅毒血清反応(STS)定性、梅毒血清反応(STS)半定量及び梅毒血清反応(STS)定量ごとに梅毒沈降反応を併せて2種類以上ずつ行った場合でも、それぞれ主たるもののみ算定する。
- ②「マイコプラズマ抗体定性」、「マイコプラズマ抗体半定量」、「マイコプラズマ抗原定性(免疫クロマト法)」又は「マイコプラズマ抗原定性(FA法)」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

*FA：髄液の測定も可能です 検体量 0.5mL(冷蔵) 基準値 陰性

*CF(補体結合反応)：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。
出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*PA：出発希釈 40倍(髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL(冷蔵) 基準値 設定なし 出発希釈 2倍)

[0728 3]梅毒定量 TP抗体〔LA〕(判定基準)

U/mL	判定
5 未満	陰性
5 ~ 9	判定保留
10 以上	陽性

梅毒血清反応検査の結果の解釈

STS RPR〔LA〕	TP抗原 TP抗体〔LA〕	結果の解釈
(-)	(-)	非梅毒 ごく初期の早期梅毒(まれ)
(+)	(-)	ごく初期の早期梅毒* 生物学的偽陽性(BFP)
(+)	(+)	活動性梅毒(要治療) 治療状態の梅毒
(-)	(+)	治療状態の梅毒 ごく初期の早期梅毒 TP抗原系の特異反応による偽陽性(まれ)

*BFPを呈する疾患や最近の感染機会の有無を調査する。
STS抗体価の推移をモニターし、TP抗体の陽性反応を認めた場合、初期の梅毒感染を疑う。
あくまでも臨床診断が優先であり、血清学的検査は補助診断である。

〔梅毒血清反応検査の使用と留意点〕

〔STS〕

カルジオリピン抗原に対する抗体。梅毒感染初期から陽性化し、治療後は陰性化する場合が多く梅毒症状をよく反映する。
生物学的偽陽性反応(BFP)が多い。

〔生物学的偽陽性(BFP)〕

STS(RPR)は生物学的偽陽性(BFP)が多く、梅毒感染以外に肝疾患、自己免疫疾患、妊婦などで偽陽性を示す場合がある。

〔TP抗体〕

トレポネマ抗原に対する抗体で梅毒感染時に認められる特異的な抗体。
過去に梅毒陽性となった患者血清では、いつまでも抗体価が高値で持続する場合がある。
まれに非特異反応が認められる。

免疫血清的検査

感染症(非ウイルス)関連検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
感 染 症 (非 ウ イ ル ス) 関 連 検 査	3380 6 013431502	ツツガムシカーブIgG 5E122-0000-023-162	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	3~6	① 203 ※6	FA	10未満 (倍)	感染の有無はペア血清で判断して ください。 &1
	3379 8 013441502	ツツガムシカーブIgM 5E123-0000-023-162					① 203 ※6			
	3378 9 013411502	ツツガムシカトー IgG 5E125-0000-023-162	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	3~6	① 203 ※6	FA	10未満 (倍)	感染の有無はペア血清で判断して ください。 &1
	3377 0 013421502	ツツガムシカトー IgM 5E126-0000-023-162					① 203 ※6			
	3376 1 013391502	ツツガムシグリアムIgG 5E128-0000-023-162	血清 各 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	3~6	① 203 ※6	FA	10未満 (倍)	感染の有無はペア血清で判断して ください。 &1
	3375 2 013401502	ツツガムシグリアムIgM 5E129-0000-023-162					① 203 ※6			
	3591 2 012851802	クリプトコックス・ ネオフォルマンス抗原	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 169 ※6	ラテックス 凝集反応	陰性	EDTA(抗凝固剤)は酵素処理に影 響を与え、検査不能となる場合が ありますので、EDTAの使用は避 けてください。 &1
	K285 5 012851829	5E140-0000-023-117 5E140-0000-041-117	髄液 0.8	A00			② 169 ※6			
	3354 5 016495002	←海外委託 クリプトコックス抗体 5E141-0000-023-121	血清 1.0	S7P ↓ A00	凍結	14~16		試験管凝集法	2未満 (倍)	&K
	K141 4 016980802	カンジダマンナン抗原 5E142-0000-023-023	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	②③ 134 ※6	ELISA	0.05未満 (U/mL)	フィブリン除去時に竹串を使用す ると、高値傾向を示す場合があり ますので検体の取り扱いに充分ご 注意ください。 &1
ウ イ ル ス) 関 連 検 査	7682 7 01780A102	←海外委託 カンジダ抗体 5E143-0000-023-091	血清 1.0	S7P ↓ A00	凍結	14~16		免疫拡散法	(-)	&K
	C771 3 007820802	アスペルギルス抗体 IgG 5E146-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	390 ※6	ELISA	5.0未満 陰性 (AU/mL) 判定基準：下記参照	&1
	3679 5 016560802	アスペルギルス抗原 5E148-0000-023-023	血清 1.0	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	②④ 157 ※6	ELISA	0.5未満 陰性	フィブリン除去時に竹串を使用す ると、高値傾向を示す場合があり ますので検体の取り扱いに充分ご 注意ください。また、 ヒペラリン/タソバクタム合剤の投 与で偽陽性となる場合があります。 &1
	3626 3 016600101	β-D-グルカン 5E151-0000-019-271	血液 2.0 (ノボヘパリン加)	PE2	冷蔵	2~4	② 195 ※6	発色合成基質法	20.0以下 (カットオフ値) (pg/mL)	凍結保存は避けてください。 (基準値について)20pg/mLは、深 在性真菌症のカットオフ値です。 エンドトキシン定量以外の項目との 重複依頼は避けてください。本検 査においては、血漿中の(1→3)-β -D-グルカンを測定いたします。血 液2.0mLを専用容器(PE2)にて採血 し、よく混和させ、速やかに冷蔵保 存にてご提出ください。グルカン製 剤(抗悪性腫瘍剤)、セルロース膜で 精製した血液製剤などの投与、セル ロース膜での透析後の血液などは、 データが高値を示す可能性があります。 また、多発性骨髄腫・高γ-G ロブリン血症では非特異的反応を示 す可能性があります。溶血検体では、 溶血の度合いにより検査不能となる 場合があります。 &1

- ①「ツツガムシ抗体半定量」又は「ツツガムシ抗体定性」は、各株ごとに算定する。
 ②「(1→3)-β-D-グルカン」を「カンジダ抗原定性」、「カンジダ抗原半定量」、「カンジダ抗原定量」、「アスペルギルス抗原」、「D-アラビニートール」、「クリプトコックス
 抗原半定量」又は「クリプトコックス抗原定性」と併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
 ③「カンジダ抗原定性」、「カンジダ抗原定量」又は「カンジダ抗原定量」は、カンジダ血症又はカンジダ肺炎の診断の目的で行った場合に算定する。
 ④「アスペルギルス抗原」はLA法又はELISA法により、侵襲性肺アスペルギルス症の診断のために実施した場合にのみ算定できる。

[C771 3]アスペルギルス抗体IgG(判定基準)

AU/mL	判定
5.0 未満	陰性
5.0 ~ 9.9	判定保留
10 以上	陽性



	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
感染症(非ウイルス)関連検査	K213 4 027950802	トリコスポロン・アサヒ抗体 5E154-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (28日)	7~14	① 822 ※6	Antigen-captured ELISA	0.15未満 (CAI) 判定基準:下記参照	&A
	B645 4	鳥特異的IgG抗体 5A110-2331-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (7日)	3~9	② 873 ※6	FEIA	陰性 判定基準:下記参照 (mg _A /L)	&1
	3471 5 013490802	トキソプラズマIgG抗体 5E156-0000-023-023	血清 各 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	93 ※6	ELISA	6未満 判定基準:下記参照	&1
	3472 4 013500802	トキソプラズマIgM抗体 5E157-0000-023-023					95 ※6		0.8未満 判定基準:下記参照	
	K602 2 02079A101	結核菌特異的IFN-γ 5E301-0000-019-031	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5	室温 (54時間)	3~5	③ 593 ※6	ELISPOT法	陰性	④ 他項目との重複依頼は避けてください。検体は採取後、当日中にご提出ください。 &1
	9163 1 044760802	MAC抗体 (抗酸菌抗体定性) 5E069-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (15日)	3~5	116 ※6	ELISA	陰性 0.7未満 (U/mL)	本検査は定性検査です。抗体濃度を参考値としてご報告いたします。 &E

- ①「抗トリコスポロン・アサヒ抗体」は、ELISA法により、夏型過敏性肺炎の鑑別診断を目的として測定した場合に算定できる。なお、鑑別診断目的の対象患者は、厚生省特定疾患びまん性肺疾患調査研究班による「過敏性肺炎の診断の手引と診断基準」により、夏型過敏性肺炎が疑われる患者とする。
- ②「鳥特異的IgG抗体」は、診察又は画像診断等により鳥関連過敏性肺炎が強く疑われる患者を対象として、EIA法により測定した場合に算定する。なお、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- ③「結核菌特異的インターフェロン-γ産生能」は、診察又は画像診断等により結核感染が強く疑われる患者を対象として測定した場合のみ算定できる。

[K213 4]トリコスポロン・アサヒ抗体(判定基準)

CAI(Corrected Absorbance Index)*	判 定
0.15未満	陰性
0.15~0.30未満	判定保留
0.30以上	陽性

※CAI(Corrected Absorbance Index)：補正吸光度

[B645 4]鳥特異的IgG抗体の判定基準

両方またはいずれか一方の測定値がカットオフ値(セキセイインコ：8.00mg_A/L、ハト：24.0mg_A/L)以上となった場合を陽性と判定し、両方がカットオフ値未満の場合を陰性と判定いたします。

	セキセイインコIgG	ハトIgG	判定
カットオフ	8.00(mg _A /L)	24.0(mg _A /L)	
結果	(+)	(+)	陽性
	(+)	(-)	
	(-)	(+)	
	(-)	(-)	陰性

[3471 5]トキソプラズマIgG抗体(判定基準)

IU/mL	判 定	解 釈
6未満	陰性	トキソプラズマの感染は認められません。
6~8	判定保留	低濃度の抗体が認められ、トキソプラズマ感染の疑いがあります。
9以上	陽性	トキソプラズマ感染が考えられます。

[3472 4]トキソプラズマIgM抗体(判定基準)

Cut off index	判 定	解 釈
0.8未満	陰性	最近のトキソプラズマ感染のいないことが考えられます。
0.8~0.9	判定保留	10~20日後に再検査およびトキソプラズマIgG抗体検査による確認をお勧めします。
1.0以上	陽性	

免疫血清的検査

自己免疫関連検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
自己免疫関連検査	1258 4 019471502	抗核抗体(ANA) 5G010-0000-023-162	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	99 ※6	FA	40未満 (倍)	&1
	3505 7 012073602	抗DNA抗体(RIA) 5G020-0000-023-002	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	159 ※6	RIA硫酸塩析法	6.0以下 (IU/mL)	&1
	E667 7 019820802	抗ss-DNA IgG抗体 5G026-0000-023-023	血清 各 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	159 ※6	ELISA	25以下 (AU/mL)	&1
	E668 6 019830802	抗ss-DNA IgM抗体 5G028-0000-023-023				2~8			17未満 (U/mL)	
	E669 5 019840802	抗ds-DNA IgG抗体 5G036-0000-023-023	血清 各 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	159 ※6	ELISA	12以下 (IU/mL)	&1
	E670 3 019850802	抗ds-DNA IgM抗体 5G038-0000-023-023				2~8			6未満 (U/mL)	
	3520 0 015173202	抗Sm抗体 5G065-0000-023-092	血清 各 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	147 ※6	オクタロニー法	陰性 (倍)	&1
	A214 3 015170602	抗Sm抗体[CLEIA] 5G065-0000-023-052				2~4	147 ※6	CLEIA	10.0未満 (U/mL)	
	3518 3 015163202	抗RNP抗体 5G066-0000-023-092	血清 各 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	144 ※6	オクタロニー法	陰性 (倍)	&1
	A213 4 015160602	抗RNP抗体[CLEIA] 5G066-0000-023-052				2~4	144 ※6	CLEIA	10.0未満 (U/mL)	
	3522 8 015183202	抗SS-A/Ro抗体 5G076-0000-023-092	血清 各 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	161 ※6	オクタロニー法	陰性 (倍)	&1
	A215 2 015180602	抗SS-A/Ro抗体 [CLEIA] 5G076-0000-023-052				2~4	161 ※6	CLEIA	10.0未満 (U/mL)	
	3524 6 015193202	抗SS-B/La抗体 5G077-0000-023-092	血清 各 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	157 ※6	オクタロニー法	陰性 (倍)	&1
	A216 1 015190602	抗SS-B/La抗体 [CLEIA] 5G077-0000-023-052				2~4	157 ※6	CLEIA	10.0未満 (U/mL)	
	3526 4 015633202	抗Scl-70抗体 5G085-0000-023-092	血清 各 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	157 ※6	オクタロニー法	陰性 (倍)	&1
	A217 0 015630602	抗Scl-70抗体 [CLEIA] 5G085-0000-023-052				2~4	157 ※6	CLEIA	10.0未満 (U/mL)	
	K034 3 020390802	抗RNAポリメラーゼⅢ抗体 5G087-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 170 ※6	ELISA	28未満 判定基準:下記参照	&1
	6203 9 021400802	抗セントロメア抗体 5G090-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 174 ※6	CLEIA	10.0未満 (U/mL)	&1

- ①「抗RNAポリメラーゼⅢ抗体」は、びまん性強皮症の確定診断を目的として行った場合に、1回を限度として算定できる。また、その際陽性と認められた患者に、腎クリーゼのリスクが高い者については治療方針の決定を目的として行った場合に、また、腎クリーゼ発症後の者については病勢の指標として測定した場合に、それぞれ3月に1回を限度として算定できる。
- ②「抗セントロメア抗体定量」又は「抗セントロメア抗体定性」は、原発性胆汁性胆管炎又は強皮症の診断又は治療方針の決定を目的に用いた場合に限り算定できる。

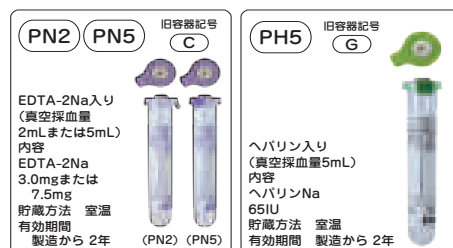
[1258 4]抗核抗体(ANA)の成人健康者における出現率

抗体価	出現率(%)
40倍未満	67~75
40倍	16~22
80倍	7~13
160倍	1~4
320倍	1

* 当社検討結果(最小・最大値)より

[K034 3]抗RNAポリメラーゼⅢ抗体(判定基準)

Index	判定
28未満	陰性(-)
28 ~ 50未満	(±)
50以上	陽性(+)



抗核抗体(ANA)染色型と主な関連検査および疾患

染色型	主な関連検査	主な関連疾患
Homogeneous型 (均質型)	抗DNA抗体(DNAテスト) ⁴⁾	全身性エリテマトーデス
	抗DNA抗体(RIA)	
	抗ss-DNA IgG抗体	
	抗ss-DNA IgM抗体	
	抗ds-DNA IgG抗体	
	抗ds-DNA IgM抗体	
	抗ヒストン抗体	全身性エリテマトーデス、薬剤性ループス
	抗核抗体(LEテスト) ⁴⁾	全身性エリテマトーデス
Peripheral型 ¹⁾ (辺縁型)	抗DNA抗体(RIA)	全身性エリテマトーデス
	抗ds-DNA IgG抗体	
	抗ds-DNA IgM抗体	
Speckled型 (斑紋型)	抗RNP抗体(オクタロニー法)	混合性結合組織病、強皮症、 全身性エリテマトーデス
	抗RNP抗体(CLEIA)	
	抗Sm抗体(オクタロニー法)	全身性エリテマトーデス
	抗Sm抗体(CLEIA)	
	抗SS-A/Ro抗体(オクタロニー法)	シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス、 関節リウマチ
	抗SS-A/Ro抗体(CLEIA)	
	抗SS-B/La抗体(オクタロニー法)	シェーグレン症候群
	抗SS-B/La抗体(CLEIA)	
	抗Ki抗体(オクタロニー法) ⁴⁾	全身性エリテマトーデス
	抗Ku抗体(オクタロニー法) ⁴⁾	筋炎・強皮症重複症候群
	抗Scl-70抗体(オクタロニー法) ³⁾	強皮症
	抗Scl-70抗体(CLEIA) ³⁾	
Nucleolar型 (核小体型)	抗U3RNP抗体 ⁴⁾	強皮症
	抗7-2RNP抗体 ⁴⁾	
	抗RNAポリメラーゼⅢ抗体	筋炎・強皮症重複症候群
	抗PM-Scl抗体 ⁴⁾	
	抗リボソームP抗体(ELISA) ²⁾	全身性エリテマトーデス(CNSループス)
Discrete-Speckled型 (セントロメア型)	抗セントロメア抗体(CLEIA)	強皮症(CREST症候群)、原発性胆汁性肝硬変
Cytoplasmic型 ⁵⁾ (細胞質型)	抗ミトコンドリア抗体(FA)	原発性胆汁性肝硬変
	抗ミトコンドリアM2抗体(CLEIA)	
	抗Jo-1抗体(オクタロニー法)	多発性筋炎・皮膚筋炎
	抗Jo-1抗体(CLEIA)	
	抗SS-A/Ro抗体(オクタロニー法)	シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス、 関節リウマチ
	抗SS-A/Ro抗体(CLEIA)	
	抗リボソームP抗体(ELISA) ²⁾	全身性エリテマトーデス(CNSループス)
	抗平滑筋抗体	自己免疫性肝炎
PCNA型	抗PCNA抗体(オクタロニー法) ⁴⁾	全身性エリテマトーデス
PCNA様型	抗Na抗体 ⁴⁾ など	全身性エリテマトーデスなど
核膜型	抗核膜ラミン抗体 ⁴⁾	原発性胆汁性肝硬変、自己免疫性肝炎など
	抗gp210抗体 ⁴⁾	
Granular型	抗p80 coilin抗体 ⁴⁾	原発性胆汁性肝硬変、シェーグレン症候群など
	抗Sp-100抗体 ⁴⁾	
紡錘体型 ⁵⁾ NuMA-1 NuMA-2	抗NuMA-1抗体 ⁴⁾	シェーグレン症候群など 全身性エリテマトーデスなど
	抗NuMA-2抗体 ⁴⁾	
中心体型 ⁵⁾	抗中心体抗体 ⁴⁾	レイノー病、強皮症など
ゴルジ体型 ⁵⁾	抗golgin-97抗体 ⁴⁾ など	シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス、 関節リウマチなど

1) Homogeneous型との鑑別は難しく、多くのPeripheral型陽性血清は希釈していくとHomogeneous型に変化します。

2) 項目の詳細につきましては営業員へお問い合わせください。

3) 染色型はSpeckled型とHomogeneous型の間間的な染色像であり、またNucleolar型が陽性となることがあります。

4) 未実施項目です。

5) 対応抗原の局在が核ではないため、狭義の抗核抗体には含まれません。

〔参考文献〕

竹内 健,他: 医学検査 51(9): 1256~1264,2002.

三森 経世: リウマチ 32(4): 366~378,1992.

免疫血清的検査

自己免疫関連検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
自己免疫関連検査	9500 6 015643202	抗Jo-1抗体 5G120-0000-023-092	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	① 140 ※6	オクタロニー法	陰性 (倍)	&1
	A218 9 015640602	抗Jo-1抗体(CLEIA) 5G120-0000-023-052	血清 0.5	A00	冷蔵	2~4	① 140 ※6	CLEIA	10.0未満 (U/mL)	不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。&1
	A022 6 030050802	抗ARS抗体 5G121-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	① 190 ※6	ELISA	25.0未満 陰性	不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。&1
	B639 1 04052A102	抗MDA5抗体 5G122-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	② 270 ※6	ELISA	32未満 陰性	不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。&1
	G979 9 040800802	抗Mi-2抗体 5G123-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	② 270 ※6	ELISA	53未満 陰性	不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。&1
	G985 2 040810802	抗TIF1-γ抗体 5G124-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	② 270 ※6	ELISA	32未満 陰性	不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。&1
	2599 5 001411302	リウマチ因子(RF) 定量 5G160-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	③④ 30 ※6	ラテックス凝集 免疫比濁法	15以下 (IU/mL)	
	3310 3 011950802	IgG型リウマチ因子 5G161-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	③⑤ 198 ※6	ELISA	2.00未満	&1
	3674 0 016430902	抗ガラクトース欠損 IgG抗体 5G166-0000-023-053	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	③④⑤ 111 ※6	ECLIA	6.0未満 (AU/mL)	&1
	E872 9 019700602	抗シトルリン化 ペプチド(CCP)抗体 5G167-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	⑤⑥ 193 ※6	CLEIA	4.5未満 (U/mL)	不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。&1
	3539 0 014251502	抗ミトコンドリア抗体 5G175-0000-023-162	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	181 ※6	FA	陰性(20未満) (倍)	&1
	A008 2 020840602	抗ミトコンドリア M2抗体 5G176-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	189 ※6	CLEIA	7.0未満	不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。&1
	3537 2 012031502	抗平滑筋抗体 5G180-0000-023-162	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4		FA	陰性(40未満) (倍)	&1
	3541 7 012121502	抗胃壁細胞抗体 5G185-0000-023-162	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4		FA	陰性(10未満) (倍)	&1
	K301 6 020360602	抗内因子抗体 5G190-0000-023-052	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵	2~6		CLEIA	(-)	ビタミンB ₁₂ 摂取後1週間以内の検体は偽陽性を呈する可能性がありますので、ご依頼は避けてください。&1

- ①「抗ARS抗体」と「抗Jo-1抗体定性」、「抗Jo-1抗体半定量」又は「抗Jo-1抗体定量」を併せて実施した場合は主たるもののみ算定する。
- ②「抗MDA5抗体」、「抗TIF1-γ抗体」及び「抗Mi-2抗体」は、厚生労働省難治性疾患克服研究事業自己免疫疾患に関する調査研究班による「皮膚筋炎診断基準」を満たす患者において、ELISA法により測定した場合に算定できる。
- ③「リウマトイド因子(RF)定量」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定性」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定量」、「マトリックスメタロプロテイナーゼ-3 (MMP-3)」、「C₁q結合免疫複合体」、「モノクローナルRF結合免疫複合体」及び「IgG型リウマトイド因子」のうち3項目以上を併せて実施した場合は、主たるもの2つに限り算定する。
- ④「抗ガラクトース欠損IgG抗体定性」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定量」、「リウマトイド因子(RF)定量」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ⑤「抗シトルリン化ペプチド抗体定性」、「抗シトルリン化ペプチド抗体定量」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定性」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定量」、「マトリックスメタロプロテイナーゼ-3 (MMP-3)」、「C₁q結合免疫複合体」、「モノクローナルRF結合免疫複合体」及び「IgG型リウマトイド因子」のうち2項目以上を併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。
- ⑥「抗シトルリン化ペプチド抗体定性」又は「抗シトルリン化ペプチド抗体定量」は、以下のいずれかの場合に算定できる。
- (イ) 関節リウマチと確定診断できない者に対して診断の補助として検査を行った場合に、原則として1回を限度として算定できる。ただし、当該検査結果が陰性の場合においては、3月に1回に限り算定できる。なお、当該検査を2回以上算定するに当たっては、検査値を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。
- (ロ) (イ)とは別に、関節リウマチに対する治療薬の選択のために行う場合においては、患者1人につき原則として1回に限り算定する。ただし、臨床症状・検査所見等の変化を踏まえ、再度治療薬を選択する必要がある場合においては、6月に1回に限り算定できる。なお、当該検査を2回以上算定するに当たっては、その医学的な必要性を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
自己 免疫 関連 検査	9252 2 032220621	プロスタグランジンE 主要代謝物 (PGE-MUM) 4Z150-0000-001-052	部分尿 2.0	A00	冷蔵 (21日)	2~6	①② 187 ※1	CLEIA	濃度 (ng/mL) 換算値 30.2以下 (カットオフ値) (μg/gCr)	潰瘍性大腸炎の病態把握の補助に おける参考カットオフ値は30.2 μg/gCr以下です。 ※1
	A399 9 042680826	便中カルプロテクチン 5C235-0000-015-023	糞便	F30	凍結 (28日)	3~7	②③ ④ 268 ※1	FEIA	50.0以下 潰瘍性大腸炎の 内視鏡的非活動状態の カットオフ値 300以下 クローン病の 内視鏡的非活動状態の カットオフ値 80以下 (mg/kg)	重 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。 ※1
	A252 1 04268A126	便中カルプロテクチン 5C235-0000-015-023	糞便 1g	F00	凍結 (28日)	5~9	②③ ④ 268 ※1	ELISA	94.0未満 潰瘍性大腸炎の病態 把握のカットオフ値 240未満 クローン病の病態 把握のカットオフ値 80以下 (μg/g)	重 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。 ※1
	9201 8 04407A102	ロイシンリッチα2 グリコプロテイン (LRG) 5C245-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	②⑤ 268 ※4	ラテックス 凝集免疫法	16.0未満 (カットオフ値) (μg/mL)	炎症性腸疾患の活動期の判定の補助 における参考基準値は16.0μg/mL です。 感染症、リウマチ等の炎症性疾患、 一部の悪性腫瘍においてLRG値が上 昇することがありますのでご注意く ださい。

- ①「プロスタグランジンE主要代謝物(尿)」は、潰瘍性大腸炎の患者の病態把握の補助を目的として、尿を検体とし、CLEIA法により測定した場合に、3月に1回を限度として算定できる。ただし、医学的な必要性から、本検査を1月に1回行う場合には、その詳細な理由及び検査結果を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- ②潰瘍性大腸炎の病態把握を目的として、「プロスタグランジンE主要代謝物(尿)」、「カルプロテクチン(糞便)」、「ロイシンリッチα₂グリコプロテイン」又は「大腸内視鏡検査」を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。
- ③「カルプロテクチン(糞便)」を慢性的な炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎やクローン病等)の診断補助を目的として測定する場合は、ELISA法、FEIA法、イムノクロマト法、LA法又は金コロイド凝集法により測定した場合に算定できる。ただし、腸管感染症が否定され、下痢、腹痛や体重減少などの症状が3月以上持続する患者であって、肉眼的血便が認められない患者において、慢性的な炎症性腸疾患が疑われる場合の内視鏡前の補助検査として実施すること。また、その要旨を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- ④「カルプロテクチン(糞便)」を潰瘍性大腸炎又はクローン病の病態把握を目的として測定する場合、潰瘍性大腸炎についてはELISA法、FEIA法、金コロイド凝集法、イムノクロマト法又はLA法により、クローン病についてはELISA法、FEIA法、イムノクロマト法、LA法又は金コロイド凝集法により測定した場合に、それぞれ3月に1回を限度として算定できる。ただし、医学的な必要性から、本検査を1月に1回行う場合には、その詳細な理由及び検査結果を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- ⑤「ロイシンリッチα₂グリコプロテイン」は、潰瘍性大腸炎又はクローン病の病態把握を目的として測定した場合に3月に1回を限度として算定できる。ただし、医学的な必要性から、本検査を1月に1回行う場合には、その詳細な理由及び検査結果を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載する。



免疫血清的検査

自己免疫関連検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
自 己 免 疫 関 連 検 査	A458 3 008260602	抗甲状腺 ペルオキシダーゼ抗体 (抗TPO抗体)[CLEIA] 5G285-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	① 138 ※6	CLEIA	3.3未満 (IU/mL)	&1
	A469 1 008270602	抗サイログロブリン抗体 [CLEIA] 5G290-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	136 ※6	CLEIA	19.3未満 (IU/mL)	&1
	B977 6 00828A102	甲状腺刺激抗体 (TSAb) 5G300-0000-023-905	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	② 330 ※6	Bioassay	110未満 (%)	④ 溶血でのご依頼は避けてください。 (溶血検体では、測定値が低値とな る可能性があります。)&1
	4199 7 01319A302	TSHレセプター抗体 (定量) 5G310-0000-023-811	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~5	② 214 ※6	RRA	1.0未満 (IU/L)	ヒト型レセプターを使用していま す。固相法の第2世代TRAbです。 (基準値について)少数の健康人 において、1.0 IU/Lを超える結果を 示すことがあるため、欧米では1.0 ~1.5 IU/Lをグレーゾーンと設定 することを推奨しています。&1
	A475 4 008300602	TSHレセプター抗体 [CLEIA] 5G310-0000-023-052	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	② 214 ※6	CLEIA	2.0未満 (IU/L)	TSHレセプターのTSH結合部位を 認識するM22抗体(抗TSHレセプ ターモノクローナル抗体(ヒト))を 用いた第3世代TRAbです。&1
	A212 5 015130802	抗GAD抗体 5G340-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	③ 134 ※5	ELISA	5.0未満 (U/mL)	&1
	A263 9 008330802	抗IA-2抗体 5G342-0000-023-023	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	3~9	④ 213 ※5	ELISA	0.6未満 (U/mL)	&1
	A160 3 030120802	亜鉛トランスポーター 8 (ZnT8)抗体 5G343-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	事前に ご確認 ください		ELISA	15.0未満 (U/mL)	&1
	K485 3 020585302	インスリン抗体 5G360-0000-023-007	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	3~7	107 ※6	RIA	0.4未満 (U/mL)	&1
	4497 6 015505302	抗アセチルコリン レセプター抗体 (抗AChR抗体) 5G385-0000-023-007	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	3~7	⑤ 775 ※6	RIA	0.2以下 (nmol/L)	&1
査	A148 7 017345302	抗筋特異的 チロシンキナーゼ抗体 (抗MuSK抗体) 5G386-0000-023-007	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	3~9	⑥ 1000 ※6	RIA	0.02未満 (nmol/L)	&1
	B671 5 045445302	抗P/Q型 電位依存性 カルシウムチャネル抗体 (抗P/Q型VGCC抗体) 5G387-0000-023-007	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~15	⑦ 1000 ※6	RIA	30.0未満 (pmol/L)	&1

- ①「抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体」を、「抗甲状腺ミクロソーム抗体半定量」と併せて実施した場合は、主たるもののみに算定する。
- ②「抗TSHレセプター抗体(TRAb)」及び「甲状腺刺激抗体(TSAb)」を同時に行った場合は、いずれか一方のみ算定する。
- ③「抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体)」は、すでに糖尿病の診断が確定した患者に対して1型糖尿病の診断に用いた場合又は自己免疫介在性脳炎・脳症の診断に用いた場合に算定できる。
- ④「抗IA-2抗体」は、すでに糖尿病の診断が確定し、かつ、「抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体)」の結果、陰性が確認された患者に対し、1型糖尿病の診断に用いた場合に算定する。
なお、当該検査を算定するに当たっては、抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体)の結果、陰性が確認された年月日を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- ⑤抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)
ア「抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)」は、重症筋無力症の診断又は診断後の経過観察の目的で行った場合に算定できる。
イ「抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)」と「抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体」を併せて測定した場合は、主たるもののみに算定する。
- ⑥抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体
ア「抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体」は、RIA法により重症筋無力症の診断又は診断後の経過観察を目的として測定した場合に算定できる。
イ「抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体」と「抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)」を併せて測定した場合は、主たるもののみに算定する。
- ⑦抗P/Q型電位依存性カルシウムチャネル抗体(抗P/Q型VGCC抗体)
ア「抗P/Q型電位依存性カルシウムチャネル抗体(抗P/Q型VGCC抗体)」は、ランバート・イートン筋無力症候群の診断を目的として、RIA法により測定した場合に算定する。
イ 本検査は、臨床症状によりランバート・イートン筋無力症候群が疑われる患者であって、反復刺激誘発筋電図検査において異常所見を認める患者を対象として実施した場合に限り算定できる。ただし、医学的な必要性から反復刺激誘発筋電図検査において異常所見を認めない患者を対象として実施する場合には、診療報酬明細書の摘要欄にその詳細な理由を記載すること。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
自己 免疫 関連 検査	6077 0 017140802	抗デスモグレイン1抗体 5G396-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	①② ③ 300 ※6	CLEIA	20.0未満 (U/mL)	☒ 不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &1
	6079 8 017150802	抗デスモグレイン3抗体 5G397-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	②③ ④ 270 ※6	CLEIA	20.0未満 (U/mL)	☒ 不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &1
	E884 6 019750802	抗BP180抗体 (血清中抗BP180NC16a抗体) 5G398-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	⑤ 270 ※6	CLEIA	9.0未満 (U/mL)	☒ 不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &1
	7685 4 016460602	抗糸球体基底膜抗体 (抗GBM抗体) 5G420-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	⑥ 262 ※6	CLEIA	3.0未満 (U/mL)	☒ 不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &1
	3550 7 018436902	精子不動化抗体 5G440-0000-023-186	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (9ヵ月)	事前に ご確認ください		不動化法 (Isojima法)	(-) 判定基準:下記参照	☒ 溶血・乳び検体などでは、精子を観察できず検査できない場合がありますのでご注意ください。 &1
	K091 0 01843A202	精子不動化抗体 (SI50) 5G440-0000-023-186	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (9ヵ月)	事前に ご確認ください		不動化法 (Isojima法)	1.0未満	☒ 溶血・乳び検体などでは、精子を観察できず検査できない場合がありますのでご注意ください。 &1
	4158 2 015041703	ループスアンチ コアグラント 5G500-0000-022-311 5G501-0000-022-311 5G502-0000-022-311	速やかに遠心 血漿 各 1.0	PC5 ↓ A00	凍結	2~4		APTT 凝固時間法	46.5以下 (秒)	採血後、速やかに室温で1500G以上15分間遠心後、パフィーコートより5mm以上うえから血漿を採取して凍結保存にてご提出ください。血小板の混入は、測定結果に影響しますのでご注意ください。 ※遠心器回転数の計算式 $G = 1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$ r:遠心器のローター半径(cm) n:1分間あたりの回転数(rpm) &1
	4167 2 01504A203					2~4	⑦ 265 ※6	希釈ラッセル 蛇毒時間法	1.2以下	
	A049 7 01504A303					2~4	⑦ 265 ※6	リン脂質中和法	1.16以下	

- ①「抗デスモグレイン1抗体」は、ELISA法又はCLEIA法により、天疱瘡の鑑別診断又は経過観察中の治療効果判定を目的として測定した場合に算定できる。なお、鑑別診断目的の対象患者は、厚生労働省難治性疾患政策研究事業研究班による「天疱瘡診断基準」により、天疱瘡が強く疑われる患者とする。
- ②「落葉状天疱瘡」の患者に対し、経過観察中の治療効果判定の目的で、「抗デスモグレイン1抗体」と「抗デスモグレイン3抗体」を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。
- ③「尋常性天疱瘡」の患者に対し、経過観察中の治療効果判定の目的で、「抗デスモグレイン3抗体」と「抗デスモグレイン1抗体」を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。
- ④「抗デスモグレイン3抗体」は、ELISA法又はCLEIA法により、天疱瘡の鑑別診断又は経過観察中の治療効果判定を目的として測定した場合に算定できる。なお、鑑別診断目的の対象患者は、厚生労働省 難治性疾患政策研究事業研究班による「天疱瘡診断基準」により、天疱瘡が強く疑われる患者とする。
- ⑤「抗BP180-NC16a抗体」は、ELISA法又はCLEIA法により、水疱性類天疱瘡の鑑別診断又は経過観察中の治療効果判定を目的として測定した場合に算定できる。
- ⑥「抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)」は、抗糸球体基底膜抗体腎炎及びグッドパスチャー症候群の診断又は治療方針の決定を目的として行った場合に限り算定する。
- ⑦「ループスアンチコアグラント定量」及び「ループスアンチコアグラント定性」は、希釈ラッセル蛇毒試験法又はリン脂質中和法により、抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として行った場合に限り算定する。

[3550 7]精子不動化抗体(判定基準)

SIV値	判 定
1.40以下	(-)
1.41~1.99	判定保留
2.00~20.00	(+)
20.01以上	STRONG POSITIVE

[4167 2]ループスアンチコアグラント(希釈ラッセル蛇毒時間法)(計算式について)

dRVVTはスクリーン比^{*1}とコンファーム比^{*2}の比から求められます。

*1:スクリーン比は患者のdRVVTスクリーン試薬測定結果(秒)と健常者のdRVVTスクリーン試薬の平均凝固時間(秒)の比から求めます。

*2:コンファーム比は患者のdRVVTコンファーム試薬測定結果(秒)とdRVVTコンファーム試薬の健常者の平均凝固時間(秒)の比から求めます。

本項目はdRVVTとあわせて、患者のdRVVTスクリーン試薬測定結果(秒)を中和前、患者のdRVVTコンファーム試薬測定結果を中和後として、それぞれ報告します。



免疫血清的検査

自己免疫関連検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
自己 免疫 関連 検査	3142 0 015290802	抗カルジオリピン β_2 グリコプロテイン I 複合体抗体 (抗CL・ β_2 GP I 抗体) 5G504-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	2~4	① 223 ※6	ELISA	3.5未満 (U/mL)	&1
	B601 2 045370802	抗 β_2 グリコプロテイン I IgG抗体 5G515-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	①② 226 ※6	CLEIA	0.7未満 (U/mL)	&1
	B597 8 045380802	抗 β_2 グリコプロテイン I IgM抗体 5G517-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	①② 226 ※6	CLEIA	17.5以下 (U/mL)	&1
	B603 0 00851A102	抗カルジオリピンIgG抗体 5G508-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (7日)	2~4	①② 226 ※6	ELISA	12.3以下 (U/mL)	&1
	B599 6 00852A102	抗カルジオリピンIgM抗体 5G510-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (14日)	2~4	①② 226 ※6	ELISA	20.8以下 (U/mL)	&1

- ①「抗カルジオリピン β_2 グリコプロテイン I 複合体抗体」と「抗カルジオリピンIgG抗体」、「抗カルジオリピンIgM抗体」、「抗 β_2 グリコプロテイン I IgG抗体」又は「抗 β_2 グリコプロテイン I IgM抗体」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ②「抗カルジオリピンIgG抗体」、「抗カルジオリピンIgM抗体」、「抗 β_2 グリコプロテイン I IgG抗体」及び「抗 β_2 グリコプロテイン I IgM抗体」を併せて実施した場合は、主たるもの3つに限り算定する。
- ③「抗 β_2 グリコプロテイン I IgG抗体」は、抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として、CLEIA法、CLIA法又はFIA法により実施した場合に、一連の治療につき2回に限り算定する。
- ④「抗 β_2 グリコプロテイン I IgM抗体」は、抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として、CLEIA法、CLIA法又はFIA法により実施した場合に、一連の治療につき2回に限り算定する。
- ⑤「抗カルジオリピンIgM抗体」は、抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として、ELISA法、CLIA法又はFIA法により実施した場合に、一連の治療につき2回に限り算定する。

免疫血清的検査

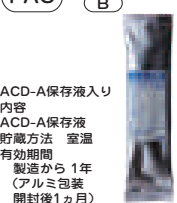
自己免疫関連検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
自己免疫関連検査	3580 4 012023102	抗血小板抗体 5G520-0000-023-103	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	3~6	261 ※6	MPHA (混合受身凝集法)	陰性	採血後室温で静置し完全に血餅凝固後、血清分離してください。(不活性化しないでください。)年齢・輸血歴・疾患名を明記してください。 &1
	3315 8 018113301	曜日指定 PAIgG (血小板関連IgG) 5G525-0000-019-021	血液 7.5 (ACD-A液加)	PAC	冷蔵	2~4	190 ※6	ELISA	46以下 (ng/10 ⁷ cells)	凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。末梢血の血小板が3×10 ⁴ /μL以下の場合、専用容器(PAC)2本を使用し必ず10mL以上採血してください。 &1
	K593 3 020871803	HIT抗体 (血小板第4因子・ヘパリン複合体抗体) 5G530-0000-022-062	速やかに通心 血漿 0.5	PC2 ↓ A00	凍結	2~6	390 ※6	ラテックス 比濁法	1.0未満 陰性 (U/mL)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。血小板第4因子・ヘパリン複合体に対するHIT抗体(IgG, IgM, IgA)を測定しております。なお、検査結果はグロブリンクラス別での報告ではありません。 &1
	7710 5 015490602	抗好中球細胞質抗体 (PR3-ANCA) 5G551-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	252 ※6	CLEIA	3.5未満 (U/mL)	不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &1
	4184 3 017040602	抗好中球細胞質抗体 (MPO-ANCA) 5G552-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	251 ※6	CLEIA	3.5未満 (U/mL)	不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &1
	4162 7 016770802	抗LKM-1抗体 5G555-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~8	215 ※6	ELISA	17未満 判定基準:下記参照	&1
	3556 1 012370802	免疫複合体 (モノクローナルRF) 5G635-0000-023-023	血清 0.2	S09 ↓ A00	凍結 (21日)	2~8	194 ※6	EIA	4.2未満 (μg/mL)	&1
	A064 0 02061A202	抗アクアポリン4抗体 5G821-0000-023-023	血清 0.4	S09 ↓ A00	凍結 (28日)	2~8	1000 ※6	ELISA	3.0未満 陰性 (U/mL)	&1
検査	7688 1 60026A130	抗表皮成分自己抗体 [直接法] 5G395-0000-200-661	皮膚組織 5×5×3mm	VP1	凍結	12~14	400 + 1200 ※8	蛍光抗体染色法		実施抗原は、「IgG、IgA、IgM、C3」の4抗原です。 &1

- ①「リウマトイド因子(RF)定量」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定性」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定量」、「マトリックスメタロプロテイナーゼ-3(MMP-3)」、「C₁q結合免疫複合体」、「モノクローナルRF結合免疫複合体」及び「IgG型リウマトイド因子」のうち3項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの2つに限り算定する。
- ②「抗シトルリン化ペプチド抗体定性」、「抗シトルリン化ペプチド抗体定量」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定性」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体定量」、「マトリックスメタロプロテイナーゼ-3(MMP-3)」、「C₁q結合免疫複合体」、「モノクローナルRF結合免疫複合体」及び「IgG型リウマトイド因子」のうち2項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの1つに限り算定する。
- ③「抗アクアポリン4抗体」は、ELISA法により視神経脊髄炎の診断(治療効果判定を除く。)を目的として測定した場合に算定できる。なお、当該検査の結果は陰性であったが、臨床症状・検査所見等の変化を踏まえ、視神経脊髄炎が強く疑われる患者に対して、疾患の診断を行う必要があり、当該検査を再度実施した場合においても算定できる。ただし、この場合、前回の検査実施日及び検査を再度実施する医学的な必要性について診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- ④「その他(1臓器につき)」について、確定診断のために4種類以上の抗体を用いた免疫染色が必要な患者に対して、標準作製を実施した場合には、1,200点を所定点数に加算する。
- ⑤「確定診断のために4種類以上の抗体を用いた免疫染色が必要な患者」とは、原発不明癌、原発性脳腫瘍、悪性リンパ腫、悪性中皮腫、肺悪性腫瘍(腺癌、扁平上皮癌)、消化管間質腫瘍(GIST)、慢性腎炎、内分泌腫瘍、軟部腫瘍、皮膚の血管炎、水疱症(天疱瘡、類天疱瘡等)、悪性黒色腫、筋ジストロフィー又は筋炎が疑われる患者を指す。これらの疾患が疑われる患者であっても3種類以下の抗体で免疫染色を行った場合は、当該加算は算定できない。
- ⑥肺悪性腫瘍(腺癌、扁平上皮癌)が疑われる患者に対して加算を算定する場合は、腫瘍が未分化であった場合等HE染色では腺癌又は扁平上皮癌の診断が困難な患者に限り算定することとし、その医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に詳細に記載すること。なお、次に掲げるいずれかの項目を既に算定している場合には、当該加算は算定できない。
- ア 肺癌におけるEGFR遺伝子検査、ROS1融合遺伝子検査、ALK融合遺伝子検査、BRAF遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。)及びMETex14遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。)に限る
- イ 肺癌におけるBRAF遺伝子検査(次世代シーケンシング)、METex14遺伝子検査(次世代シーケンシング)及びRET融合遺伝子検査に限る
- ウ 肺癌関連遺伝子多項目同時検査
- エ ALK融合遺伝子標準作製

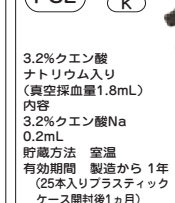
[4162 7]抗LKM-1抗体(判定基準)

Index	判定
17未満	陰性(-)
17 ~ 49	判定保留(±)
50以上	陽性(+)



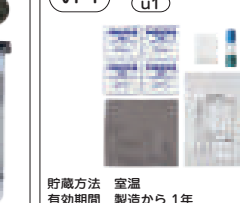
PAC 旧容器記号 (B)

ACD-A保存液入り
内容
ACD-A保存液
貯蔵方法 室温
有効期間 製造から1年
(アルミ包装
開封後1ヵ月)



PC2 旧容器記号 (K)

3.2%クエン酸
ナトリウム入り
(真空採血量1.8mL)
内容
3.2%クエン酸Na
0.2mL
貯蔵方法 室温
有効期間 製造から1年
(25本入りプラスチック
ケース開封後1ヵ月)



VP1 旧容器記号 (u1)

貯蔵方法 室温
有効期間 製造から1年

免疫血清的検査

免疫血液学的検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
免疫血液学的検査	0515 9 001422201	ABO式血液型 5H010-0000-019-101	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2	24 ※6	マイクロ プレート法		凍結保存は避けてください。 年齢・輸血歴・疾患名を明記してください。
	0517 7 001432201	Rh(D因子)式血液型 5H020-0000-019-101	血液 2.0 (EDTA-2K加)	PK2	冷蔵	1~2	24 ※6	マイクロ プレート法		凍結保存は避けてください。 年齢・輸血歴・疾患名を明記してください。
	3582 2 012002201	Rh-Hr式血液型 5H025-0000-019-101	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	2~4	148 ※6	カラム凝集法		凍結保存は避けてください。年齢・輸血歴・疾患名を明記してください。 &1
	3579 6 011982211	血液型不適合妊娠 5H030-0000-098-101	速やかに遠心 血清 4.0 と 血液 2.0 (EDTA-2Na加)	(血清) S09 ↓ A00 と (血液) PN2, PN5	冷蔵 と 室温	3~5		2-メルカプト エタノール法		※)血清と血液(EDTA-2Na加)をベアでご提出ください。 血清につきましては、血液を採血後、速やかに分離してください。 依頼項目ごとに単独の検体をご提出ください。 年齢・輸血歴・疾患名を明記してください。また、妊婦・ベビー・移植のいずれかを明記してください。 &3
	P160 8 001442201	緊急 直接クームス試験 5H121-0000-019-101	血液 1.0 (EDTA-2K加)	PK2	室温	1~2	34 ※6	試験管法	陰性	※)血液は採血後、速やかにご提出ください。 依頼項目ごとに単独の検体をご提出ください。 年齢・輸血歴・疾患名を明記してください。
	P161 7 001452202	間接クームス試験 5H122-0000-023-101	速やかに遠心 血清 2.0	(血清) S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	47 ※6	試験管法	陰性	抗凝固剤を入れずに採血してください。 ※)血液は採血後、速やかに分離し、血清をご提出ください。 依頼項目ごとに単独の検体をご提出ください。 年齢・輸血歴・疾患名を明記してください。
	3577 8 001462211	不規則性抗体 (抗体同定・抗体価測定) 5H180-0000-098-101	速やかに遠心 血清 5.0 と 血液 2.0 (EDTA-2Na加)	(血清) S09 ↓ A00 と (血液) PN2, PN5	冷蔵 と 室温	3~5	159 ※6	カラム凝集法 [クームス法、 酵素法 (フィシン法)]		※)血清と血液(EDTA-2Na加)をベアでご提出ください。 血清につきましては、血液を採血後、速やかに分離してください。 依頼項目ごとに単独の検体をご提出ください。 年齢・輸血歴・疾患名を明記してください。 &3

①「不規則抗体」は、輸血歴又は妊娠歴のある患者に対し、「腹部手術」又は「子宮全摘術」、「子宮悪性腫瘍手術」、「子宮付属器悪性腫瘍手術(両側)」、「帝王切開術」若しくは「異所性妊娠手術」が行われた場合に、手術の当日に算定する。
また、手術に際して輸血が行われた場合は、本検査又は「輸血」の「注6」に定める不規則抗体検査加算のいずれかを算定する。
この場合、診療報酬明細書の摘要欄に輸血歴がある患者又は妊娠歴がある患者のいずれに該当するかを記載する。

※)検査結果に影響を及ぼすことがありますので検体(血液や血清)は、採血当日中にご提出ください。
なお、検査時において採血後48時間を越えた検体での検査は、参考値としてご報告させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

[0515 9] ABO式血液型・[0517 7] Rh(D因子)式血液型について

ABO式血液型
生後1歳未満の乳幼児の場合は、抗A、抗B抗体の産生が不十分のため、表試験のみご報告となります。成長後の再検査をお勧めいたします。
Rh(D因子)式血液型
マイクロプレート法陰性の場合は、D陰性確認試験を実施いたします。

[P161 7] 間接クームス試験、[3577 8] 不規則性抗体、 [3579 6] 血液型不適合妊娠について

血漿検体では補体の活性化により検出される抗体を見逃す場合がありますので、血清をご提出ください。

血球を使用する検査の血液検体について

血球を使用する検査におきましては、凝固促進剤、分離剤入り容器の使用の際、偽陽性または異常反応を示す場合がありますので、血液材料は必ず指定容器(EDTA-2Na加)での提出をお願いいたします。

[3582 2] Rh-Hr式血液型・[3579 6] 血液型不適合妊娠について

同時に複数検体をご依頼いただく場合は、所要日数が変動する場合があります。あらかじめご了承ください。

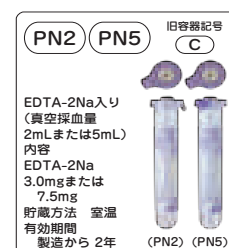
[3577 8] 不規則性抗体について

スクリーニング	クームス法	(-)	(+)	(-)	(+)
フィシン法	(-)	(-)	(+)	(-)	(+)
			同定検査		
			抗体価測定※		
		陰性報告	陽性報告		

※一部を除き、不規則性抗体が同定された場合に抗体価測定を実施します。

1. 不規則性抗体検査は、カラム凝集法にて、クームス法・酵素法(フィシン法)を実施しております。これらの方法は37℃にて加温するため、低温反応性抗体(冷式抗体および寒冷凝集素)は検出できない場合があります。
2. 自己対照陽性時の解離同定試験は実施していません。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
免疫 グ ロ ブ リ ン	3311 2 011081302	IgG 5A010-0000-023-061	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	38 ※6	免疫比濁法	870~1700 (mg/dL)	&1
	3312 1 011091302	IgA 5A015-0000-023-061	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	38 ※6	免疫比濁法	110~410 (mg/dL)	&1
	3313 0 011101302	IgM 5A020-0000-023-061	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	38 ※6	免疫比濁法	M 33~190 F 46~260 (mg/dL)	&1
	A065 9 008951302	IgGサブクラス分画 (TIA) 5A050-0000-023-920	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~6		免疫比濁法 およびラテックス 免疫比濁法	IgG1 351~962 IgG2 239~838 IgG3 8.5~140 IgG4 4.5~117 (mg/dL)	&1
	A240 4 008971302	IgG2 5A056-0000-023-061	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~6	239 ※6	免疫比濁法	239~838 (mg/dL)	&1
	A273 8 043810702	IgG4 5A058-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	377 ※6	ラテックス 免疫比濁法	11~121 (mg/dL)	&1



免疫血清的検査

免疫グロブリン／補体および関連物質

免疫血清的検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
免 疫 グ ロ ブ リ ン	3202 3 011024802	免疫電気泳動 〔抗ヒト全血清による同定〕 5A135-0000-023-081	血清 0.2	S09 ↓ A00	冷蔵	4～6	170 ※6	免疫電気泳動法		特異抗血清の検索は異常蛋白を中心に行いますので、ご了承ください。 年齢、病歴を明記してください。 &1
	A260 2 01154A602	免疫電気泳動 〔特異抗血清による同定〕 5A136-0000-023-086	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	4～6	218 ※6	免疫固定法		特異抗血清の検索は異常蛋白を中心に行いますので、ご了承ください。 年齢、病歴を明記してください。 &1
	A285 5 01154A802	免疫電気泳動 〔特異抗血清による同定〕 (DIRA) 5A136-0000-023-086	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	4～8	218 ※6	免疫固定法		多発性骨髄腫の治療薬であるダラムマブを投与しているIgGκ型多発性骨髄腫の治療効果判定検査としてのみご依頼ください。 ダラムマブを投与されていない多発性骨髄腫の治療効果判定検査は、「A260 2：免疫電気泳動〔特異抗血清による同定〕」をご依頼ください。 年齢を明記してください。 &1
	A295 4 01155A202	免疫グロブリン遊離 L鎖κ/λ比 (フリーライトチェーン) 5A141-0000-023-062	血清 0.8	S09 ↓ A00	冷蔵	2～4	388 ※6	ラテックス 比濁法	κ型 3.3～19.4 (mg/L) λ型 5.7～26.3 (mg/L) κ/λ比 0.26～1.65	&1
	A261 1 01156A221	尿中免疫電気泳動 〔尿中ベンスジョーンズ 蛋白の同定〕 5A145-0000-001-086	部分尿 0.4	U00	冷蔵	3～5	201 ※6	免疫固定法		特異抗血清の検索は異常蛋白を中心に行いますので、ご了承ください。 年齢、病歴を明記してください。使用する抗血清はIgG、IgA、IgM、κ、λの5つになります。 &1
	A259 4 01157A212	オリゴクローナルバンド 5A150-0000-098-236	血清 1.0 と 髄液 1.0	S09 ↓ A00 と A00	冷蔵	10～14	522 ※1	等電点 電気泳動法	検出せず	Ⓜ 他項目との重複依頼は避けてください。 &1
補 体 お よ び 関 連 物 質	3336 5 01105A102	クリオグロブリン定性 5A160-0000-023-920	血清 1.0	S09 ↓ A00	冷蔵	4～6	42 ※6	寒冷沈澱法	陰性	採血時より血清分離までの間は37℃の状態で行い、血清分離後は冷蔵保存してください。 必ず血清でご依頼ください。 &1
	3513 8 012083002	血清補体価 5B010-0000-023-142	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結 (-20℃以下) (1ヵ月)	2～4	38 ※6	Mayer法 相対比濁法	25.0～48.0 (CH50/mL)	血清分離後、直ちに-20℃以下で保存してください。 &1
	3325 7 011171302	C3 5B023-0000-023-061	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2～4	70 ※6	免疫比濁法	86～160 (mg/dL)	&1
	3326 6 011181302	C4 5B024-0000-023-061	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2～4	70 ※6	免疫比濁法	17～45 (mg/dL)	&1
	3324 8 017732702	C1q 5B040-0000-023-063	血清 0.4	S09 ↓ A00	凍結	2～8		ネフェロメトリー	8.8～15.3 (mg/dL)	&1
	4123 0 018146403	C1インアクチベーター活性 (C1エステラーゼ インヒビター活性) 5B045-0000-022-315	速やかに遠心 血漿 0.2	PC2 ↓ A00	凍結 (16日)	2～4	253 ※6	発色性合成基質法	70～130 (%)	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &1

- ①「免疫グロブリンL鎖κ/λ比」と「免疫電気泳動法(抗ヒト全血清)」又は「免疫電気泳動法(特異抗血清)」を同時に実施した場合は、主たるもののみ算定する。
 ②免疫電気泳動法(抗ヒト全血清)及び免疫電気泳動法(特異抗血清)
 ア「免疫電気泳動法(抗ヒト全血清)」及び「免疫電気泳動法(特異抗血清)」については、同一検体につき一回に限り算定する。
 イ 同一検体について「免疫電気泳動法(抗ヒト全血清)」及び「免疫電気泳動法(特異抗血清)」を併せて行った場合は、主たる検査の所定点数のみを算定する。
 ウ「免疫電気泳動法(特異抗血清)」は、免疫固定法により実施した場合にも算定できる。
 ③「IgGインデックス」、「オリゴクローナルバンド」及び「ミエリン塩基性蛋白(MBP)(髄液)」は、多発性硬化症の診断の目的で行った場合に算定する。

[A295 4]免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比(フリーライトチェーン)検査結果について(試薬メーカー資料より引用)

- ・本測定結果は、補助診断としてご利用ください。
- ・診断・治療を決定する場合、また、臨床経過と測定値が一致しない場合は、病歴や他の検査所見も参考にして、総合的判断で行ってください。
- ・遊離L鎖の増加のため、抗原過剰により、予想外に低い測定値を示すこともあります。
- ・遊離L鎖の構造変化により、前回測定値と結果が大きく乖離する場合があります。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
血 漿 蛋 白	3335 6 014321302	プレアルブミン 5C010-0000-023-061	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	101 ※6	免疫比濁法	22.0~40.0 (mg/dL)	&1
	3319 4 018120702	α ₁ -ミクログロブリン	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	129 ※6	ラテックス 凝集免疫法	M 12.5~25.5 F 11.0~19.0 (mg/L)	
	4608 2 018120721	5C015-0000-023-062 5C015-0000-001-062	部分尿 0.5	U00			129 ※6		M 1.0~15.5 F 0.5~9.5 (mg/L)	&1
	3317 6 011122702	α ₁ アンチトリプシン 5C020-0000-023-063	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	80 ※3	ネフェロメトリー	94~150 (mg/dL)	&1
	3318 5 011132702	α ₁ アシドグロプロテイン 5C025-0000-023-063	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4		ネフェロメトリー	M 45~98 F 39~86 (mg/dL)	&1
	3745 1 014300702	レチノール結合蛋白 (RBP) 5C030-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	132 ※6	ラテックス 凝集比濁法	M 2.7~6.0 F 1.9~4.6 (mg/dL)	&1
	3320 2 011142702	α ₂ -マクログロブリン 5C035-0000-023-063	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	138 ※3	ネフェロメトリー	M 100~200 F 130~250 (mg/dL)	&1
	3332 9 011192702	ハプトグロビン 5C040-0000-023-063	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	129 ※6	ネフェロメトリー	1-1型 83~209 2-1型 66~218 2-2型 25~176 (mg/dL)	&1
	3321 1 011152702	セルロプラスミン 5C045-0000-023-063	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	90 ※6	ネフェロメトリー	21~37 (mg/dL)	&1



免疫血清的検査

血漿蛋白

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
血	3322 0 011161302	トランスフェリン 5C060-0000-023-061	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	60 ※6	免疫比濁法	M 190~300 F 200~340 (mg/dL)	&1
	4609 1 011160723	尿中トランスフェリン 5C060-0000-004-062	蓄尿 0.5	U00	冷蔵 (1ヵ月)	2~4	98 ※1	ラテックス 凝集比濁法	0.80以下 (mg/day)	凍結保存は避けてください。採尿後、速やかにご提出ください。&1
	4606 4 011160721	尿中トランスフェリン (クレアチニン換算値) 5C060-0000-001-062	部分尿 1	U00	冷蔵 (1ヵ月)	2~4	98 ※1	ラテックス 凝集比濁法	尿中トランスフェリン 換算値 1.00以下 (mg/g・CRE)	凍結保存は避けてください。採尿後、速やかにご提出ください。&1
漿	3103 3 001490702	β ₂ -ミクログロブリン	血清 0.5	S09 ↓ A00		2~4	98 ※6		1.0~1.9 (mg/L)	&1
	4730 6 001490723	5C065-0000-023-062	蓄尿 0.5	U00	冷蔵	2~4	98 ※6	ラテックス 凝集免疫法	230以下 (μg/L)	尿はpH5.5~7.5にし、必要量をご提出ください。&1
	4551 5 001490721	5C065-0000-004-062 5C065-0000-001-062	部分尿 0.5				98 ※6			&1
蛋	P158 1 01177A202	C反応性蛋白(CRP) 定量 5C070-0000-023-062	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	16 ※6	ラテックス 凝集比濁法	0.140以下 (mg/dL)	
	K157 7 020020803	ペントラキシン3 (PTX3) 5C072-0000-022-023	速やかに 冷蔵 速心 血漿 0.3	PN2, PN5 ↓ A00	凍結	3~9		ELISA	0.73~5.49 (ng/mL)	&1
	B517 6 01179A102	血清アミロイドA蛋白 (SAA) 5C080-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	47 ※6	ラテックス 凝集免疫法	3.0以下 (mg/L)	&1
白	3172 7 014241902	ミオグロビン 5C090-0000-023-051	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	131 ※4	CLIA	男性:154.9以下 女性:106.0以下 (ng/mL)	&1
	B801 0 011800621	尿中ミオグロビン [CLEIA] 5C090-0000-001-052	部分尿 6	U50	冷蔵 (22日)	2~4	131 ※4	CLEIA	2.0未満 (ng/mL)	凍結保存は避けてください。採尿後、速やかに専用容器に入れ、冷蔵してください。凍結は避けてください。&1
	3649 8 016220702	ヒト心臓由来脂肪酸 結合蛋白(H-FABP) 5C091-0000-023-062	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	131 ※4	ラテックス 凝集法	6.2未満 (ng/mL)	&1
白	3173 6 018660802	心室筋ミオシン軽鎖 I 5C092-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~6	184 ※4	EIA	2.5以下 (ng/mL)	&1
	9532 1 012340902	心筋トロポニンT 5C093-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (14日)	2~4	109 ※4	ECLIA	0.014以下 急性心筋梗塞診断の カットオフ値 0.100 (ng/mL)	&1

- ①「トランスフェリン(尿)」、「アルブミン定量(尿)」及び「Ⅳ型コラーゲン(尿)」は、糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの(糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。)に対して行った場合に、3月に1回に限り算定できる。なお、これらを同時に行った場合は、主たるもののみ算定する。
- ②「血清アミロイドA蛋白(SAA)」を「C反応性蛋白(CRP)定性」又は「C反応性蛋白(CRP)」と併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。
- ③「心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)定性」及び「心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)定量」は、ELISA法、免疫クロマト法、ラテックス免疫比濁法又はラテックス凝集法により、急性心筋梗塞の診断を目的に用いた場合に限り算定する。ただし、「心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)定性」又は「心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)定量」と「ミオグロビン定性」又は「ミオグロビン定量」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ④「心室筋ミオシン軽鎖 I」は、同一の患者につき同一日に当該検査を2回以上行った場合は、1回のみ算定する。
- ⑤「心筋トロポニン」と「心筋トロポニンT(TnT)定性・定量」を同一月に併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。



	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
血	P180 6 001110602	フェリチン 5C095-0000-023-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	1~2	102 ※4	CLEIA	M 39.4~340.0 F 3.6~114.0 (ng/mL)	鉄欠乏性貧血および貧血のない鉄欠乏の診断基準は12ng/mL未満です。 [鉄剤の適正使用による貧血治療指針(日本鉄バリオサイエンス学会)]
	A042 4 020560621	L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)(CLEIA) 5C100-0000-001-052	部分尿 2.0	U00	冷蔵 (14日)	2~4	12 210 ※1	CLEIA	L-FABPクレアチニン換算値 8.4以下 (μg/gCr)	凍結保存は避けてください。酸性蓄尿は検査値に影響を及ぼす場合がありますので、避けてください。室温保存ではデータ影響が認められるため、速やかに冷蔵保存にてご提出ください。 ※1
	A073 0 042721021	尿中NGAL 5C230-0000-001-051	部分尿 2	↓ U00	冷蔵 (7日)	2~4	23 210 ※1	CLIA	NGAL濃度 30.5以下 (ng/mL) クレアチニン換算値 21.7以下 (μg/gCr)	白血球の混入により高値となる可能性があるため、採尿後、24時間以内にできるだけ速やかに400G以上で5分間以上遠心分離し、上清を提出容器に移しご提出ください。 ※1
漿	4157 3 016190842	ヒト癌胎児性フィブロネクチン 5C111-0000-067-023	腔分泌液	VP5	凍結 (1ヵ月)	2~4	4 204 ※6	ELISA	陰性	検体採取方法は49ページをご参照ください。 ※1
	A197 3 030320902	I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(total P1NP) 5C120-0000-023-053	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	5 160 ※5	ECLIA	男性(30~83歳) 18.1~74.1 閉経前女性(30~44歳) 16.8~70.1 閉経後女性(45~79歳) 26.4~98.2 (ng/mL)	溶血での依頼は避けてください(溶血の場合、データが低値傾向となります)。 ※1
	4716 2 015343321	I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTx) 5C123-0000-001-052	部分尿 3	U00	冷蔵	2~4	67 156 ※5 (腫2)	CLEIA	下記参照	午前中の第二尿をご提出ください。血尿でのご提出は避けてください。 ※1
蛋	4753 1 016513321	I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTx)(骨粗鬆症) 5C123-0000-001-052	部分尿 3	U00	冷蔵	2~4	67 156 ※5	CLEIA	男性 13.0~66.2 閉経前女性 9.3~54.3 閉経後女性 14.3~89.0 (参考値) (nmolBCE/mmol・CRE) 判定基準:下記参照	午前中の第二尿をご提出ください。血尿でのご提出は避けてください。 ※1
	8768 1 016441902	I型コラーゲンC末端テロペプチド(I CTP) 5C124-0000-023-001	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	(腫2)	RIA2抗体法	4.5未満 (ng/mL)	※1
白										

(腫2):悪性腫瘍特異物質治療管理料(49ページ参照)

- ①「L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)(尿)」は、原則として3月に1回に限り算定する。ただし、医学的な必要性からそれ以上算定する場合においては、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。
- ②「L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)(尿)」と「好中球ゼラチナーゼ結合性リポカリン(NGAL)(尿)」を併せて実施した場合には、主たるもののみ算定する。
- ③「好中球ゼラチナーゼ結合性リポカリン(NGAL)(尿)」は、急性腎障害の診断時又はその治療中に、CLIA法により測定した場合に算定できる。ただし、診断時には1回、その後は急性腎障害に対する一連の治療につき3回を限度として算定する。なお、医学的な必要性からそれ以上算定する場合においては、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- ④「腔分泌液中インスリン様成長因子結合蛋白1型(IGFBP-1)定性」及び「癌胎児性フィブロネクチン定性(頸管腔分泌液)」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ⑤「骨型アルカリホスファターゼ(BAP)」、「I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(P1NP)」、「インタクト I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact P1NP)」及び「ALPアイソザイム(PAG電気泳動法)」のうち2項目以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ⑥「酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)」と「I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTx)」、「オステオカルシン(OC)」又は「デオキシピリジノリン(DPD)(尿)」を併せて実施した場合は、いずれか一つのみの算定する。
- ⑦「I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTx)」及び「デオキシピリジノリン(DPD)(尿)」は、原発性副甲状腺機能亢進症の手術適応の決定、副甲状腺機能亢進症手術後の治療効果判定又は骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択に際して実施された場合に算定する。
なお、骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択時に1回、その後6月以内の薬剤効果判定時に1回に限り、また薬剤治療方針を変更したときは変更後6月以内に1回に限り算定できる。

[4716 2] I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド(NTx)基準値、判定基準

(単位: nmolBCE/mmol・CRE)

基準(参考値)	男 性	13.0 ~ 66.2
	閉経前女性	9.3 ~ 54.3
	閉経後女性	14.3 ~ 89.0
判定基準	骨吸収亢進の指標	55以上
	副甲状腺摘出術の適応	200以上
	悪性腫瘍(乳癌、肺癌、前立腺癌)の骨転移の指標	100以上

[4753 1] I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド(NTx)(骨粗鬆症)の判定基準

検査項目	骨粗鬆症薬剤治療の指標		単位
	骨折リスク	カットオフ値	
I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTx)(骨粗鬆症)	54.3	35.3	nmolBCE/mmol・CRE
デオキシピリジノリン(DPD)(骨粗鬆症)	7.6	5.9	nmol/mmol・CRE

免疫血清的検査

血漿蛋白

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
血	A040 6 030380602	Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体 (M2BPGi) 5C141-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	①② 194 ※4	CLEIA	(-) 下記参照	&1
	A097 4 042860802	オートタキシン 5C240-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	①②③ 194 ※4	CLEIA	判定基準：下記参照 (mg/L)	&1
	A234 1 011951002	プロコラーゲンⅢペプチド (P-Ⅲ-P) [CLIA] 5C130-0000-023-051	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 136 ※4	CLIA	3.62~9.52 (ng/mL)	☞ カットオフ値(肝に線維化のみられる疾患)6.95ng/mL
漿	6785 4 019150702	Ⅳ型コラーゲン 5C134-0000-023-062	血清 0.4	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	①② 131 ※4	ラテックス凝集比濁法	150以下 (ng/mL)	
	4582 1 019150821	尿中Ⅳ型コラーゲン 5C134-0000-001-023	部分尿 5	U70	冷蔵 (1ヵ月)	3~9	④ 184 ※1	EIA	30~39歳 4.0以下 40歳以上 4.9以下 (μg/g・CRE)	☞ 早朝一番尿をご提出ください。 凍結保存および他項目との重複依頼は避けてください。 なお、随時尿による参考基準値(健常人)は7.3 μg/g・CRE以下と報告されています。 &1
	9246 9 011970602	Ⅳ型コラーゲン・7S [CLEIA] 5C135-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (23日)	2~4	①② 148 ※4	CLEIA	4.4以下 (ng/mL)	&1
白	C963 0 045900802	サイトケラチン18フラグメント (CK-18F) 5D326-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (31日)	3~9	①②⑤ 194 ※4	EIA	260未満 (カットオフ値) (U/L)	非アルコール性脂肪肝炎(NASH)の診断補助のためのカットオフ値は260U/Lです。 &1

- ①「サイトケラチン18フラグメント(CK-18F)」と「プロコラーゲンⅢ-ペプチド(P-Ⅲ-P)」,「Ⅳ型コラーゲン」,「Ⅳ型コラーゲン・7S」,「ヒアルロン酸」,「Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体」又は「オートタキシン」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
②「ELFスコア」と,「Ⅳ型コラーゲン」,「Ⅳ型コラーゲン・7S」,「Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体」,「オートタキシン」又は「サイトケラチン18フラグメント(CK-18F)」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
③「オートタキシン」は、サンドイッチ法を用いた蛍光酵素免疫測定法、化学発光酵素免疫測定法又は酵素法により、慢性肝炎又は肝硬変の患者(疑われる患者を含む。)に対して、肝臓の線維化進展の診断補助を目的に実施した場合に算定する。
④「トランスフェリン(尿)」,「アルブミン定量(尿)」及び「Ⅳ型コラーゲン(尿)」は、糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの(糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。)に対して行った場合に、3月に1回に限り算定できる。なお、これらを同時に行った場合は、主たるもののみ算定する。
⑤「サイトケラチン18フラグメント(CK-18F)」は、1ステップサンドイッチ法を用いた酵素免疫測定法により、非アルコール性脂肪肝炎の患者(疑われる患者を含む。)に対して、非アルコール性脂肪性肝炎の診断補助を目的として、実施した場合に算定する。

[A040 6]Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体(M2BPGi)の判定基準

判定	C.O.I.
陰性(-)	1.00未満
陽性(1+)	1.00 ~ 3.00未満
陽性(2+)	3.00以上

[A097 4]オートタキシンの判定基準(カットオフ値)

	(mg/L)	
判定	男性	女性
①肝線維化進展例※	0.910	1.27
②肝硬変	1.69	2.12

- ①より高い検体は、肝線維化進展例と判定します。
②より高い検体は、肝硬変と判定します。
※C型肝炎治療ガイドライン(第8.2版)の「肝線維化F2以上」にあたります。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
血 漿 蛋 白	4742 3 01535A121	デオキシピリジノリン 5C146-0000-001-021	部分尿 3	U00	冷蔵	2~4	①② 191 ※5 (腫2)	EIA	クレアチニン 換算値 M 2.1~5.4 F 2.8~7.6 (nmol/mmol・CRE)	午前中の第二尿をご提出ください。 ※1
	4756 8 015353321	デオキシピリジノリン (DPD)(骨粗鬆症) 5C146-0000-001-021	部分尿 3	U00	冷蔵	2~4	①② 191 ※5	EIA	クレアチニン換算値 M 2.1~5.4 F 2.8~7.6 (nmol/mmol・CRE) 判定基準:下記参照	午前中の第二尿をご提出ください。 ※1
	3067 4 016280902	KL-6 5C210-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	③ 108 ※4	CLEIA	500未満 (U/mL)	※1
	K219 8 012060602	プロカルシトニン 5C215-0000-023-052	血清 0.4	S09 ↓ A00	凍結 (28日)	2~4	④ 276 ※4	CLEIA	0.05以下 (ng/mL)	敗血症(細菌性)鑑別診断のカット オフ値:0.50ng/mL未満 敗血症(細菌性)重症度判定のカット オフ値:2.00ng/mL以上 ※1
	A249 5 042650602	プレセプシン 5C216-0000-023-052	速やかに遠心 血清 0.4	S09 ↓ A00	凍結 (28日)	2~4	④ 301 ※4	CLEIA	敗血症(細菌性)診 断のカットオフ値 500 (pg/mL)	採血後は、速やかに血清または血 漿分離し凍結保存してください。 ホルテックスミキサー等による激 しい攪拌、緩やかな長時間攪拌、 凍結融解はデータが高値となるた め避けてください。他項目との重 複依頼は避けてください。 ※1
	A250 3 042650603	5C216-0000-022-052	速やかに遠心 血漿 0.4	PH5 ↓ A00	凍結 (28日)	2~4	④ 301 ※4			

(腫2):悪性腫瘍特異物質治療管理料(49ページ参照)

- ①「酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)」と「I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX)」、「オステオカルシン(OC)」又は「デオキシピリジノリン(DPD)(尿)」を併せて実施した場合は、いずれか一つのみ算定する。
- ②「I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX)」及び「デオキシピリジノリン(DPD)(尿)」は、原発性副甲状腺機能亢進症の手術適応の決定、副甲状腺機能亢進症手術後の治療効果判定又は骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択に際して実施された場合に算定する。
なお、骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択時に1回、その後6月以内の薬剤効果判定時に1回に限り、また薬剤治療方針を変更したときは変更後6月以内に1回に限り算定できる。
- ③「KL-6」、「肺サーファクタント蛋白-A(SP-A)」及び「肺サーファクタント蛋白-D(SP-D)」のうちいずれかを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
KL-6は、EIA法、ECLIA法又はラテックス凝集比濁法により、肺サーファクタント蛋白-A(SP-A)はEIA法により、肺サーファクタント蛋白-D(SP-D)は、EIA法又はラテックス免疫比濁法による。
- ④「プレセプシン定量」と「プロカルシトニン(PCT)定量」、「プロカルシトニン(PCT)半定量」又は「エンドトキシン」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

[4756 8]デオキシピリジノリン(DPD)(骨粗鬆症)の判定基準

検査項目	骨粗鬆症薬剤治療の指標		単位
	骨折リスク	骨量減少	
I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド(NTX) (骨粗鬆症)	54.3	35.3	nmolBCE/mmol・CRE
デオキシピリジノリン (DPD)(骨粗鬆症)	7.6	5.9	nmol/mmol・CRE



免疫血清的検査

免疫血清学(その他)

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
B590 5 045360629	β -アミロイド 1-42/1-40比 5C207-0000-041-052	髄液 2.5	XR5	冷蔵 (15日)	2~8	①② 1282 ※1	CLEIA	0.067以上 (カットオフ値)	【重】 本検査は認知症の診断に関連する十分な知識及び経験を有する医師が、検査の原理及び結果の解釈を十分に理解した上で、関連学会等の適正使用指針に従って使用してください。 「B594 1:リン酸化タウ」および「B595 0:総タウ蛋白(AD)」以外との重複依頼は避けてください。 髄液採取時、最初の1~2mLは使用しないでください。必ず指定容器(XR5)に所定の量(2.5mL)を直接採取し、ご提出ください。容器の移し替えや量不足により、データ低下の恐れがあります。血液の混入により検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。検体の取り扱い上、クロイツフェルト・ヤコブ病を疑う患者検体の場合は、ご依頼できません。 &1
B594 1 012020629	リン酸化タウ 5C201-0000-041-052	髄液 2.5	XR5	冷蔵 (15日)	2~8	②③ 641 ※1	CLEIA	21.5 ~ 59.0 (pg/mL)	【重】 本検査は、認知症の診断目的のための検査です。「B590 5: β -アミロイド1-42/1-40比」および「B595 0: 総タウ蛋白(AD)」以外との重複依頼は避けてください。 髄液採取時、最初の1~2mLは使用しないでください。必ず指定容器(XR5)に所定の量(2.5mL)を直接採取し、ご提出ください。容器の移し替えや量不足のご提出は避けてください。血液の混入により検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。検体の取り扱い上、クロイツフェルト・ヤコブ病を疑う患者検体の場合は、ご依頼できません。 &1
C889 3 01201A229	タウ蛋白 5C200-0000-041-052	髄液 2.5	XR5 Z50	凍結 (29日)	11~22	④ 622 ※1	CLEIA	171 ~ 611 (pg/mL) 非プリオン病 (健常人含む)	【重】 本検査は、クロイツフェルト・ヤコブ病の診断目的の検査です。他項目との重複依頼は避けてください。CSF容器(XR5)に採取した検体は直ちに凍結し、コンテナ容器セット(Z50)に入れ、凍結保存してください。指定外の容器で提出された場合は、データ低下の恐れがありますので、必ず指定容器で提出してください。 &2
B901 9 04285A180	コクリン- トモプロテイン (CTP) 5C260-0000-091-023	中耳 洗浄液 0.3	XR4	凍結 (28日)	事前に ご確認 ください	⑤ 460 ※1	ELISA	30.0未満 (ng/mL)	【重】 他項目との重複依頼は避けてください。 &1

- ①「アミロイド β 42/40 比(髄液)」は、厚生労働省の定めるレカネマブ(遺伝子組換え)製剤に係る最適使用推進ガイドラインに沿って、アルツハイマー病による軽度認知障害又は軽度の認知症が疑われる患者等に対し、レカネマブ(遺伝子組換え)製剤の投与の要否を判断する目的でアミロイド β 病理を示唆する所見を確認するため、CLEIA法により、脳脊髄液中の β -アミロイド1-42及び β -アミロイド1-40を同時に測定した場合、患者1人につき1回に限り算定する。ただし、レカネマブ(遺伝子組換え)製剤の投与中止後に初回投与から18か月を超えて再開する場合は、さらに1回に限り算定できる。なお、この場合においては、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- ②「アミロイド β 42/40 比(髄液)」は、「リン酸化タウ蛋白(髄液)」と併せて行った場合は主たるもののみ算定する。
- ③「リン酸化タウ蛋白(髄液)」は、認知症の診断を目的に、患者1人につき1回に限り算定する。
- ④「タウ蛋白(髄液)」は、クロイツフェルト・ヤコブ病の診断を目的に、患者1人につき1回に限り算定する。
- ⑤「コクリン-トモプロテイン(CTP)」は、ELISA法により、外リンパ瘻を疑う患者に対して、診断のために中耳洗浄液中のコクリン-トモプロテイン(CTP)を測定した場合に算定する。なお、本検査を実施する場合は関連学会が定める適正使用指針を遵守すること。

[C889 3] タウ蛋白について

同時に複数検体をご依頼の場合は、所要日数が変動する場合があります。あらかじめご了承ください。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
サ イ ト カ イ ン	A274 7 043800602	可溶性IL-2レセプター (sIL-2R) 5J095-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	2~4	① 438 ※5 ②	CLEIA	157~474 (U/mL)	&1
	E287 9 019940602	TARC (Th2ケモカイン) 5J228-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	②③ 179 ※6	CLEIA	6ヵ月以上~12ヵ月未満:1367未満 1歳以上~2歳未満:998未満 2歳以上~16歳未満:743未満 16歳以上:450未満 (pg/mL)	トロンビン入り採血管は測定値に影響を与える恐れがあるため使用を避けてください。 &1
	B531 0 045340602	TARC (COVID-19) 5J228-0000-023-052	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	④ 179 ※6	CLEIA	カットオフ値 95.1以上 (pg/mL)	採血後は速やかに血清分離をしてください。 血漿はデータ低下が見られますので避けてください。 トロンビン入り採血管は測定値に影響を与える恐れがあるため使用を避けてください。 SARS-CoV-2陽性患者の重症化リスクの判定補助のカットオフ値は95.0pg/mLです。SARS-CoV-2陽性患者において、重症(呼吸不全を伴う中等症Ⅱ以上)化する患者のTARC濃度は発症初期からカットオフ値以下の値を示すことが確認されています。 &1
	A750 8 045050602	インターフェロン-λ3 (IFN-λ3) 5J053-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (22日)	2~4	⑤ 340 ※6	CLEIA	カットオフ値 13.6未満 (pg/mL)	13.6pg/mLはSARS-CoV-2陽性患者の重症化予測診断のカットオフ値です。 溶血でのご依頼は避けてください。 不活化(非動化)検体は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 &1

②:悪性腫瘍特異物質治療管理料(49ページ参照)

- ①「可溶性インターロイキン-2レセプター(sIL-2R)」は、非ホジキンリンパ腫、ATL又はメトトレキサート使用中のリンパ増殖性疾患の診断の目的で測定した場合に算定できる。
また、非ホジキンリンパ腫又はATLであることが既に確定診断された患者に対して、経過観察のために測定した場合は、「悪性腫瘍特異物質治療管理料」の「ロ」により算定する。
- ②アトピー性皮膚炎の重症度評価の補助を目的として、血清中のTARC量を測定する場合に、月1回を限度として算定できる。
- ③アトピー性皮膚炎の重症度評価を行うことを目的として「SCCA2」及び「TARC」を同一月中に併せて行った場合は、主たるものののみ算定する。
- ④COVID-19と診断された患者(呼吸不全管理を要する中等症以上の患者を除く。)の重症化リスクの判定補助を目的として、血清中のTARC量を測定する場合は、一連の治療につき1回を限度として算定できる。
- ⑤インターフェロン-λ3(IFN-λ3)
ア「インターフェロン-λ3(IFN-λ3)」は、COVID-19と診断された患者(呼吸不全管理を要する中等症以上の患者を除く。)の重症化リスクの判定補助を目的として、2ステップサンドイッチ法を用いた化学発光酵素免疫測定法により測定した場合に算定する。
イ 本検査を2回以上算定する場合は、前回の検査結果が基準値未満であることを確認すること。

[B531 0]TARC(COVID-19)の留意事項

1. SARS-CoV-2陽性患者の重症化リスクの判定補助を目的としているため、重症化後のご依頼は避けてください。
2. 重症化する患者でもカットオフ値(95.0 pg/mL)以下であったTARC濃度が病態経過に応じて上昇する症例があるため、SARS-CoV-2陽性患者の重症化リスクの判定補助には、他の関連検査及び臨床症状等により総合的に判断してください。
3. 免疫反応においては、一般的に非特異反応により異常高値となる場合がありますのでご注意ください。
4. SARS-CoV-2陽性患者検体をご依頼の際は、カテゴリー Bの三重梱包にてご提出ください。
5. SARS-CoV-2陽性患者検体の返却はいたしません。追加検査をご検討の場合は、予備検体の採取・保管をお願いいたします。

[A750 8]インターフェロン-λ3(IFN-λ3)の留意事項

1. SARS-CoV-2陽性患者において、重症(呼吸不全を伴う中等症Ⅱ以上)化する前に、IFN-λ3の一過性の上昇が認められることが報告されているため、測定値がカットオフ値を超える一過性の上昇後、カットオフ値以下まで低下した時期に採血を行った場合は、重症化を予測できない可能性があります。
2. 免疫反応においては、一般的に非特異反応により陽性または陰性の判定となる場合がありますのでご注意ください。
3. IFN-λ3はC型慢性肝炎患者の血清で高値を示すことが報告されています。
4. 測定結果に基づく診断は他の関連検査及び臨床症状等により総合的に判断してください。
5. SARS-CoV-2陽性患者検体の返却はいたしません。追加検査をご検討の場合は、予備検体の採取・保管をお願いいたします。

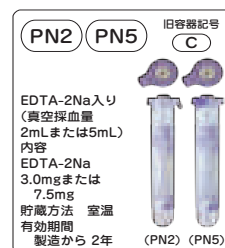


免疫血清的検査

サイトカイン

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
サイトカイン	8525 0 02165A102	ヒトインターフェロン γ (EIA) 5J050-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	事前に ご確認 ください		EIA	0.1以下 (参考値) (IU/mL)	&1
	3161 9 02193A102	IL-1 β (インターロイキン-1 β) 5J062-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	事前に ご確認 ください		ELISA	10以下 (参考値) (pg/mL)	&1
	3165 5 016340602	IL-4 (インターロイキン-4) (高感度) 5J105-0000-023-052	血清 0.3	S09 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	事前に ご確認 ください		CLEIA	6.0以下 (参考値) (pg/mL)	&1
	A545 6 012350902	インターロイキン-6 (IL-6) 5J130-0000-023-053	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結	2~4	① 170 ※6	ECLIA	7.0以下 (pg/mL)	採血後は、速やかに血清分離し凍結保存してください。 &1
	3162 8 021520602	IL-6 (インターロイキン-6) 5J130-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~5		CLEIA	4.0以下 (pg/mL)	&1
	3163 7 021950891	IL-8 (インターロイキン-8) 5J140-0000-097-023 5J140-0000-022-023	培養液 0.5	A00		事前に ご確認 ください		ELISA	(pg/mL)	血清検体は高値となります。 &1
	6169 8 021950803		血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00	凍結				2.0以下 (参考値) (pg/mL)	&1
	3185 3 015120802	IL-10 (インターロイキン-10) 5J150-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結 (1ヵ月)	事前に ご確認 ください		ELISA	5以下 (参考値) (pg/mL)	&1

①「インターロイキン-6 (IL-6)」は、全身性炎症反応症候群の患者(疑われる患者を含む。)の重症度判定の補助を目的として、血清又は血漿を検体とし、ECLIA法、CLIA法又はCLEIA法により測定した場合に、一連の治療につき2回に限り算定する。なお、本検査を実施した年月日を診療報酬明細書に記載すること。また、医学的な必要性から一連の治療につき3回以上算定する場合においては、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。



	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
アレルギー検査	7001 2	IgE(非特異的IgE) 〔FEIA〕 5A090-0000-023-023	血清 各 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	100 ※6	FEIA	173以下 (IU/mL)	&1
	A050 5 030520602	特異的IgE (MAST36アレルギー) 5A100-2807-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵	3~5	① 1430 ※6	CLEIA	MASTクラス 0 1.39以下 (LC)	判定基準、アレルギー一覧表は 101ページをご参照ください。 &1
	A089 3 043100602	特異的IgE (MAST48mix) 5A100-2809-023-052	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵 (18日)	4~6	① 1430 ※6	CLEIA	MASTクラス 0 1.39以下 (LC)	判定基準、アレルギー一覧表は 101ページをご参照ください。 &0
	A294 5 8A2940000	特異的IgE (View アレルギー 39) 5A100-2808-023-023	血清 1.0	S09 ↓ A00	冷蔵 (28日)	2~4	① 1430 ※6	FEIA	クラス 0 0.27未満 (Index)	判定基準、アレルギー一覧表は 101ページをご参照ください。 検査結果をクラスとIndex値で表 示する半定量検査です。 &1
	7003 0 012380802	アトピー鑑別試験 (12種吸入性アレルギー) 5A100-2820-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	② 194 ※6	FEIA	陰性	対象アレルギーは102ページをご 参照ください。 &1
	0396 2	小児用					① 1430 ※6			
	0397 1	特異的IgE (C-PAC16 アレルギー)	血清 各 1.8	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 1430 ※6	FEIA	クラス 0 0.35未満 (U _A /mL)	判定基準、アレルギー一覧表は 102ページをご参照ください。 &1
	0398 0	鼻炎・ 喘息用					① 1430 ※6			
	0400 6	特異的IgE (C-PAC5アレルギー) 小児除去食用 5A100-2847-023-023	血清 0.6	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 550 ※6	FEIA	クラス 0 0.35未満 (U _A /mL)	判定基準、アレルギー一覧表は 102ページをご参照ください。 &1
		特異的IgE (マルチアレルギー)	血清 各 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 各110 ※6	FEIA	クラス 0 0.35未満 (U _A /mL)	判定基準、アレルギー一覧表は 102ページをご参照ください。 &1
		特異的IgE (シングルアレルギー)	1アレルギー 血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 171ルゲ 110 ※6	FEIA	クラス 0 0.35未満 (U _A /mL)	判定基準、アレルギー一覧表は 103、104ページをご参照ください。 &1
	A026 2	特異的IgE (Ara h 2) (ピーナッツ由来) 5A100-2500-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00	冷蔵	2~4	① 110 ※6	FEIA	0.35未満 陰性 (U _A /mL)	特異的IgEピーナッツの陽性者が 対象です。判定基準は102ページ をご参照ください。 &1
	B530 1 045330802	SCCA2 5C250-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00	凍結 (30日)	11~23	③ 300 ※6	ELISA	参考基準範囲 1.6未満 軽症 1.6以上 2.6未満 中等症 2.6以上 6.0未満 重症 6.0以上 (ng/mL)	④ 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。 唾液・フケ・皮膚(表皮)・毛髪・爪 などの混入により高値傾向を示す 場合がありますので、検体の取り 扱いには充分にご注意ください。 &1

① 特異的IgE半定量・定量検査は、特異抗原の種類ごとに所定点数を算定する。ただし、患者から1回に採取した血液を用いて検査を行った場合は、1430点を限度として算定する。

② 「アトピー鑑別試験定性」は、12種類の吸入性アレルギー(ヤケヒョウヒダニ、コナヒョウヒダニ、ネコ皮膚、イヌ皮膚、ギョウギンバ、カモガヤ、ブタクサ、ヨモギ、シラカンバ(属)、スギ、カンジダ、アルテルナリア)に対する特異的IgEを測定した場合に算定する。

③ SCCA2

ア「SCCA2」は、15歳以下の小児におけるアトピー性皮膚炎の重症度評価を行うことを目的として、ELISA法により測定した場合に、月1回を限度として算定する。
イ アトピー性皮膚炎の重症度評価を行うことを目的として「SCCA2」及び「TARC」を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。

アレルギー検査

アレルギー検査

[A089 3]特異的IgE(MAST48mix)、[A050 5]特異的IgE(MAST36アレルギー)

分類	構成アレルギー	MAST48mix		MAST36アレルギー	
		項目	対象	項目	対象
食物アレルギー	ミルク*	ミルク	●	ミルク	●
	小麦*	小麦	●	小麦	●
	卵白*	卵白	●	卵白	●
	オボムコイト*	オボムコイト	●	オボムコイト	●
	ゴマ**	ゴマ	●	ゴマ	●
	ソバ*	ソバ	●	ソバ	●
	大豆**	大豆	●	大豆	●
	米	米	●	米	●
	ピーナッツ*	ピーナッツ	●	ピーナッツ	●
	サバ**	サバ	●	—	
	マグロ	マグロ	●	マグロ	●
	サケ**	サケ	●	サケ	●
	エビ*	エビ	●	エビ	●
	カニ*	カニ	●	カニ	●
	豚肉**	豚肉	●	豚肉	●
	牛肉**	牛肉	●	牛肉	●
	鶏肉**	鶏肉	●	鶏肉	●
	トマト	トマト	●	トマト	●
	モモ**	モモ	●	モモ	●
	キウイ**	キウイ	●	キウイ	●
	バナナ**	バナナ	●	バナナ	●
その他アレルギー	ヘーゼルナッツ	—		—	
	アーモンド**	木の実ミックス	●	—	
	クルミ**	—		—	

分類	構成アレルギー	MAST48mix		MAST36アレルギー	
		項目	対象	項目	対象
花粉アレルギー	スギ	スギ	●	スギ	●
	ヒノキ	ヒノキ	●	ヒノキ	●
	ハンノキ	ハンノキ	●	ハンノキ	●
	シラカンバ	シラカンバ	●	シラカンバ	●
	ヨモギ	ヨモギ	●	ヨモギ	●
	オオアワガエリ	イネ科ミックス	●	オオアワガエリ	●
	カモガヤ			カモガヤ	●
	ナガハグサ			—	
	ハルガヤ			—	
	ギョウギシバ			—	
その他アレルギー	ブタクサ	ブタクサミックス	●	ブタクサ混合物1	●
	オオブタクサ			—	
	ブタクサモドキ			—	
				—	
	ハウスダスト1	ハウスダスト1	●	ハウスダスト1	●
	アスベルギルス	アスベルギルス	●	アスベルギルス	●
	カンジダ	カンジダ	●	カンジダ	●
	ラテックス	ラテックス	●	ラテックス	●
	コナヒョウヒダニ	ダニミックス	●	コナヒョウヒダニ	●
	ヤケヒョウヒダニ			—	
	イヌ皮膚	イヌ・ネコ皮膚ミックス	●	イヌ皮膚	●
	ネコ皮膚			ネコ皮膚	●
	アルテルナリア	カビミックス	●	アルテルナリア	●
	ベニシリウム			—	
	クラドスポリウム			—	

*：食品の表示義務のある「特定原材料」に関するアレルギー
**：表示を推奨されている「特定原材料に準ずるもの」に関するアレルギー

特異的IgE(MAST48mix、MAST36アレルギー)(判定基準)

MASTクラス	ルミカウント(LC)	判定
0	0~1.39	陰性
1	1.40~2.77	疑陽性
2	2.78~13.4	陽性
3	13.5~58.0	
4	58.1~119	
5	120~159	
6	160~200	

特異的IgE(View アレルギー 39)(判定基準)

クラス	Index値	判定
0	0.27未満	陰性
1	0.27~ 0.50未満	疑陽性
2	0.50~ 1.80未満	陽性
3	1.80~ 7.05未満	
4	7.05~17.35未満	
5	17.35~29.31未満	
6	29.31以上	

[A294 5]特異的IgE(View アレルギー 39)

含まれるアレルギー
ヤケヒョウヒダニ、ネコ皮膚、イヌ皮膚、卵白*、ミルク*、小麦*、米、ゴマ**、ソバ*、ピーナッツ*、大豆**、カニ*、エビ*、豚肉**、牛肉**、マグロ、サケ**、リンゴ**、サバ**、鶏肉**、キウイ**、バナナ**、オボムコイト*、カモガヤ、オオアワガエリ、ハウスダスト1、ゴキブリ、ガ、ラテックス、アスベルギルス、カンジダ、アルテルナリア、マラセチア(属)、ハンノキ(属)、シラカンバ(属)、スギ、ヒノキ、ブタクサ、ヨモギ

*：食品の表示義務のある「特定原材料」に関するアレルギー
**：表示を推奨されている「特定原材料に準ずるもの」に関するアレルギー

[7003 0]アトピー鑑別試験(12種吸入性アレルギー)

混合アレルギーの内容(個々のアレルギーのご報告はありません)

ヤケヒョウヒダニ、コナヒョウヒダニ、ネコのフケ、イヌのフケ、ギョウギシバ、カモガヤ、フタクサ、ヨモギ、シラカンバ(属)、スギ、カンジダ、アルテルナリア

特異的IgE(C-PAC16アレルギー、C-PAC5アレルギー)(抗体保有率順)

項目コード	名 称	含まれるアレルギー
0396 2	C-PAC16 小児用	ヤケヒョウヒダニ(ダニ1)、卵白、イヌのフケ、スギ、牛乳、ネコのフケ、ピーナッツ、小麦、大豆、ゴキブリ、ソバ、イクラ、エビ、イワシ、サケ、鶏肉
0397 1	C-PAC16 アトピー性 皮膚炎用	スギ、ヤケヒョウヒダニ(ダニ1)、マラセチア(属)、カンジダ、ガ、イヌのフケ、ネコのフケ、ピーナッツ、小麦、カモガヤ、カニ、ソバ、大豆、エビ、サバ、イワシ
0398 0	C-PAC16 鼻炎・喘息用	ヤケヒョウヒダニ(ダニ1)、スギ、ガ、ネコのフケ、イヌのフケ、ゴキブリ、ヒノキ、ユスリカ(成虫)、カンジダ、カモガヤ、フタクサ、ヨモギ、アスペルギルス、ハンノキ(属)、アルテルナリア、ハムスター上皮
0400 6	C-PAC5 小児除去食用	卵白、牛乳、ピーナッツ、小麦、ソバ

※お預かりした検体の量が指定の提出量より少ない場合、全アレルギーの検査が実施できないことがあります。
この場合は、上記の抗体保有率の高いアレルギーの順から検査を実施させていただきます。

特異的IgE(マルチアレルギー)

項目コード	分 野	混合アレルギーの内容(個々のアレルギーのご報告はありません)
7461 2	イネ科 5A100-2821-023-023	G1:ハルガヤ、G2:ギョウギシバ、G3:カモガヤ、G6:オオアワガエリ、G7:アシ
7463 0	雑草 5A100-2822-023-023	W1:フタクサ、W6:ヨモギ、W7:フランスギク、W8:タンポポ(属)、W12:アキノキリンソウ
7465 8	食物 5A100-2823-023-023	F1:卵白、F2:牛乳、F4:小麦、F13:ピーナッツ、F14:大豆
7467 6	穀物 5A100-2824-023-023	F4:小麦、F8:トウモロコシ、F9:米、F10:ゴマ、F11:ソバ
7469 4	動物上皮 5A100-2825-023-023	E1:ネコのフケ、E5:イヌのフケ、E6:モルモット上皮、E87:ラット、E88:マウス
7471 1	カビ 5A100-2826-023-023	M1:ペニシリウム、M2:クラドスポリウム、M3:アスペルギルス、M5:カンジダ、M6:アルテルナリア、M8:ヘルミントスポリウム

特異的IgE(C-PAC16アレルギー)

特異的IgE(C-PAC5アレルギー)小児除去食用 (判定基準)

特異的IgE(マルチアレルギー)

クラス	特異的IgE抗体価(UA/mL)	判 定
0	0.35未満	陰性
1	0.35 ~ 0.70未満	疑陽性
2	0.70 ~ 3.50未満	陽性
3	3.50 ~ 17.5未満	
4	17.5 ~ 50.0未満	
5	50.0 ~ 100未満	
6	100以上	

[A026 2]特異的IgE(Ara h 2)(ピーナッツ由来)(判定基準)

判 定	特異的IgE抗体価(UA/mL)
陽性	4.00以上
疑陽性	0.35 ~ 3.99
陰性	0.35未満

アレルギー検査

シングルアレルゲン〔FEIA〕一覧(CAP)

特異的IgE(シングルアレルゲン)FEIA法

実施料：1アレルゲンにつき110点算定できます。ただし、1回につき1430点を限度とします。判断料区分：※6

項目コード	略語	アレルゲン名
イ ネ 科 植 物 花 粉		

7011 1	G1	ハルガヤ
7013 9	G2	ギョウギシバ
7015 7	G3	カモガヤ
7017 5	G4	ヒロハウシノケグサ
7019 3	G5	ホソムギ
7021 0	G6	オオアワガエリ
7023 8	G7	アシ
7025 6	G8	ナガハグサ
7027 4	G9	コヌカグサ(属)
7031 9	G10	セイバンモロコシ
7035 5	G17	スズメノヒエ(属)
7041 8	G15	小麦(花粉)
7043 6	G16	オオスズメノテッポウ

雑 草 花 粉		

7061 6	W1	ブタクサ
7063 4	W2	ブタクサモドキ
7065 2	W3	オオブタクサ
7069 8	W5	ニガヨモギ
7071 5	W6	ヨモギ
7073 3	W7	フランスギク
7075 1	W8	タンポポ(属)
7077 9	W9	ヘラオオバコ
7079 7	W10	シロザ
7083 2	W12	アキノキリンソウ
7089 6	W20	イラクサ(属)
7095 9	W18	ヒメスイバ
8861 7	W22	カナムグラ

樹 木 花 粉		

7111 0	T1	カエデ(属)
7113 8	T2	ハンノキ(属)
7115 6	T3	シラカンバ(属)
7119 2	T5	ブナ(属)
7121 9	T6	ビャクシン(属)
7123 7	T7	コナラ(属)
7125 5	T8	ニレ(属)
7127 3	T9	オリーブ
7129 1	T10	クルミ(属)
7133 6	T12	ヤナギ(属)
7135 4	T17	スギ
7151 6	T24	ヒノキ
7143 5	T19	アカシア(属)

項目コード	略語	アレルゲン名
7147 1	T70	クワ(属)
7149 9	T16	マツ(属)

真 菌		

7171 4	M1	ペニシリウム
7173 2	M2	クラドスポリウム
7175 0	M3	アスペルギルス
B483 4	M218	Asp f 1(アスペルギルス由来)
7177 8	M4	ムコール
7179 6	M6	アルテルナリア
7181 3	M5	カンジダ
7183 1	M8	ヘルミントスポリウム
K371 9	M227	マラセチア(属)
7239 9	M205	トリコフィトン

動 物 表 皮		

7201 0	E1	ネコのフケ
7205 6	E3	ウマのフケ
7207 4	E4	ウシのフケ
7209 2	E5	イヌのフケ
7211 9	E6	モルモット上皮
7215 5	E70	ガチョウ羽毛
7217 3	E77	セキセイインコのフン
7219 1	E78	セキセイインコ羽毛
8837 4	E80	ヤギ上皮
7221 8	E81	羊上皮
7223 6	E82	家兎上皮
7225 4	E83	豚上皮
7227 2	E84	ハムスター上皮
7229 0	E85	ニワトリ羽毛
7231 7	E86	アヒル羽毛
7233 5	E87	ラット
7235 3	E88	マウス

寄 生 虫		

7251 5	P1	回虫
7255 1	P4	アニサキス

昆 虫		

7261 4	I1	ミツバチ
7263 2	I3	スズメバチ
7265 0	I4	アシナガバチ
7267 8	I6	ゴキブリ
7273 1	I7	ユスリカ (成虫)
7269 6	I71	ヤブカ(属)
7237 1	I8	ガ

項目コード	略語	アレルゲン名
ダ		ニ

7281 2	D1	ヤケヒョウヒダニ(ダニ1)
7283 0	D2	コナヒョウヒダニ(ダニ2)
7285 8	D70	アシフトコナダニ
7287 6	D71	サヤアシシクダニ
7289 4	D72	ケナガコナダニ

室 内 塵		

7301 9	H1	ハウスダスト1
7303 7	H2	ハウスダスト2

食 餌 性 ア レ ル ゲ ン		

7311 8	F2	牛乳
7313 6	F1	卵白
7315 4	F3	タラ
7317 2	F13	ビーナッツ
7319 0	F20	アーモンド
K375 5	F202	カシューナッツ
A272 9	F443	Ana o 3(カシューナッツ由来)
7321 7	F17	ハシバミ
7323 5	F14	大豆
A054 1	F353	Gly m 4(大豆由来)
7325 3	F23	カニ
7327 1	F24	エビ
7329 9	F4	小麦
K373 7	F416	ω-5グリアジン
7331 6	F5	ライ麦
7333 4	F6	大麦
7335 2	F7	オート麦
7337 0	F8	トウモロコシ
7339 8	F12	エンドウ
7341 5	F18	ブラジルナッツ
7343 3	F9	米
7345 1	F25	トマト
7347 9	F31	ニンジン
7349 7	F33	オレンジ
7351 4	F40	マグロ
7353 2	F26	豚肉
7355 0	F35	ジャガイモ
7357 8	F36	ココナッツ
7359 6	F37	ムラサキイガイ
7361 3	F44	イチゴ
7363 1	F41	サケ
7365 9	F10	ゴマ

アレルギー検査

シングルアレルゲン〔FEIA〕一覧(CAP)

特異的IgE(シングルアレルゲン)FEIA法

実施料：1アレルゲンにつき110点算定できます。ただし、1回につき1430点を限度とします。判断料区分:※6

項目コード	略語	アレルゲン名
7367 7	F11	ソバ
7369 5	F47	ニンニク
7371 2	F48	タマネギ
7373 0	F27	牛肉
7375 8	F45	ビール酵母
7377 6	F49	リンゴ
7379 4	F75	卵黄
7381 1	F76	α -ラクトアルブミン
7383 9	F77	β -ラクトグロブリン
7385 7	F78	カゼイン
7387 5	F80	ロブスター
7389 3	F81	チーズ
7391 0	F83	鶏肉
7393 8	F84	キウイ
7395 6	F85	セロリ
7397 4	F86	パセリ
7399 2	F87	メロン
7401 8	F88	羊肉
7403 6	F89	マスタード
7405 4	F15	インゲン
8853 6	F51	タケノコ
7433 3	F54	サツマイモ
7435 1	F55	キビ

項目コード	略語	アレルゲン名
7437 9	F56	アワ
8855 4	F58	イカ
8857 2	F59	タコ
8845 5	F50	サバ
7407 2	F60	アジ
8859 0	F61	イワシ
7452 2	F79	グルテン
8863 5	F82	モールドチーズ
8849 1	F90	麦芽
8803 1	F91	マンゴ
7450 4	F92	バナナ
7448 7	F93	カカオ
7441 4	F94	洋ナシ
7487 4	F95	モモ
8865 3	F96	アボカド
0956 0	F97	ヤマイモ
8867 1	F209	グレープフルーツ
7489 2	F214	ホウレンソウ
7456 8	F225	カボチャ
7275 9	F233	オボムコイド
0958 8	F256	クルミ
A271 0	F441	Jug r 1 (クルミ由来)
0997 5	F329	スイカ

項目コード	略語	アレルゲン名
7454 0	F254	カレイ
6534 2	F349	イクラ
6536 0	F350	タラコ
6484 8	F338	ホタテ
6486 6	F207	アサリ
6488 4	F290	カキ(貝)

職業性アレルゲン

項目コード	略語	アレルゲン名
7497 3	K72	オオバコ種子
7491 9	K75	イソシアネート TDI
7477 5	K76	イソシアネート MDI
7473 9	K77	イソシアネート HDI
7479 3	K78	エチレンオキシド
7495 5	K79	無水フタル酸
7185 9	K80	ホルマリン
7475 7	K82	ラテックス
A055 0	K220	Hev b 6.02(ラテックス由来)

その他の

項目コード	略語	アレルゲン名
7529 7	C73	ヒトインシュリン
7309 1	C74	ゼラチン
7305 5	M80	黄色ブドウ球菌エンテロトキシンA
7307 3	M81	黄色ブドウ球菌エンテロトキシンB
7409 0	O1	綿

アレルギー検査

アレルゲンは一時的に入手不可能なものがありますので、あらかじめご了承ください。

特異的IgE(シングルアレルゲン)FEIA法(判定基準)

クラス	特異的IgE抗体価(U _A /mL)	判定
0	0.35未満	陰性
1	0.35 ~ 0.70未満	疑陽性
2	0.70 ~ 3.50未満	陽性
3	3.50 ~ 17.5未満	
4	17.5 ~ 50.0未満	
5	50.0 ~ 100未満	
6	100以上	

細胞性免疫検査

細胞性免疫検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
細胞性免疫検査	7880 7 01249A101	曜日指定 CD34定量 51164-0000-019-662	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5		フローサイト メトリー	(/μL)	重 受託可能日は月~金曜日です。 末梢血幹細胞(PBSC)でご依頼の 場合は、ご依頼時に最寄りの営業 所・営業拠点までご連絡ください。 なお、DMSO含有の場合は、凍結 保存してください。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。 &1
	7902 2 015584401	曜日指定 赤血球表面マーカー検査 CD55 51235-0000-019-662	血液 1.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5		フローサイト メトリー	85.4以上 (%)	受託可能日は月~金曜日です。 &1
	7903 1 015594401	曜日指定 赤血球表面マーカー検査 CD59 51247-0000-019-662	血液 1.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5		フローサイト メトリー	99.8以上 (%)	受託可能日は月~金曜日です。 &1
	A158 6 030094401	曜日指定 高感度PNH型血球検査 51050-0000-019-662	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵	3~5		フローサイト メトリー	判定基準:次ページ 参照	重 凍 EDTA-2Na入りの採血管で必ず採 血してください。 必ず冷蔵保存にてご提出ください。 受託可能日は月~金曜日です。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。 &1
	7881 6 017854401	曜日指定 白血病・リンパ腫解析検査 (LLA)CD45ゲーティング (造血器悪性腫瘍細胞検査)	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	1940 ※3	フローサイト メトリー		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 実施項目は下記をご参照ください。 &1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5	室温		1940 ※3			
	7734 9 015914401	曜日指定 悪性リンパ腫解析検査 (MLA)CD45ゲーティング (造血器悪性腫瘍細胞検査)	リンパ節 5×5×5mm	H20	冷蔵	3~5	1940 ※3	フローサイト メトリー		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 実施項目は下記をご参照ください。 &1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5	室温		1940 ※3			
	E850 3 019684428	曜日指定 多発性骨髄腫解析検査 CD38マルチ解析 (造血器悪性腫瘍細胞検査)	骨髓液 1.0	H00	冷蔵 (1日)	3~5	1940 ※3	フローサイト メトリー		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 実施項目は下記をご参照ください。 &1
細胞性免疫検査		曜日指定 多発性骨髄腫 マルチパラメーター フローサイトメトリー (8color)	骨髓液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	室温	4~6	1940 ※3	フローサイト メトリー		重 凍 骨髓液をEDTA-2Na入りの採血管に 採取し、室温にてご提出ください。 受託可能日は月~金曜日です。 実施項目は下記をご参照ください。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。 &1
		曜日指定 悪性リンパ腫解析検査 7AAD解析 (造血器悪性腫瘍細胞検査)	リンパ節 5×5×5mm	H20	冷蔵 (1日)	3~5	1940 ※3	フローサイト メトリー		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 実施項目は下記をご参照ください。 末梢血、骨髓液は避けてください。 &1

細胞性免疫検査のご依頼について

- 1.検体は採取後、当日中にご提出ください。
- 2.リンパ球が少ない場合は多めに採血してください。
- 3.骨髓液でのご依頼の場合は、専用容器(H00)を使用し冷蔵にてご提出ください。ただしCD34定量は保存液により希釈されると正しい検査結果が得られないため、専用容器(PH5)をご使用ください。
- 4.リンパ節等、組織でのご依頼の場合は、専用容器(H20)に浮遊させ冷蔵にてご提出ください。

※[A158 6]高感度PNH型血球検査、多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー(8color)は除きます。

白血病・リンパ腫解析検査(LLA)・悪性リンパ腫解析検査(MLA)

多発性骨髄腫解析検査CD38マルチ解析・多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー(8color)・悪性リンパ腫解析検査7AAD解析

項 目	検出抗体
白血病・リンパ腫解析検査(LLA)	CD1a CD2 CD3 CD4 CD5 CD7 CD8 CD10 CD13 CD14 CD19 CD20 CD33 CD34 CD41 CD56 GP-A HLA-DR
悪性リンパ腫解析検査(MLA)	CD2 CD3 CD4 CD5 CD7 CD8 CD10 CD11c CD16 CD19 CD20 CD23 CD25 CD30 CD34 CD56 κ-chain λ-chain
多発性骨髄腫解析検査CD38マルチ解析	CD7 CD19 CD20 CD33 CD45 CD49e CD54 CD56 CD138 MPC-1 cy κ-chain cy λ-chain
多発性骨髄腫マルチパラメーター フローサイトメトリー(8color)	CD19 CD27 CD38* CD45 CD56 CD138 cylg κ cylg λ
悪性リンパ腫解析検査7AAD解析	CD2 CD3 CD4 CD5 CD7 CD8 CD10 CD19 CD20 CD25 CD30 CD34 CD38 CD45 CD56 IgM κ-chain λ-chain

※マルチエピトープ抗体を使用しております。

多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー(8color)のご依頼について

- 1.検体は採取後、当日中にご提出ください。
- 2.骨髓液をEDTA-2Na入りの採血管に採取し、室温にてご提出ください。
- 3.本項目は、多発性骨髄腫の患者に対して、8カラーのマルチパラメーターフローサイトメトリーを用い、1000万個以上の白血球の解析が可能です。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
細胞性免疫検査	3929 7 012595801	曜日指定 PHAによるリンパ球 幼若化検査 51010-0000-019-814	血液 各 5.0 (ヘパリン加)	PH9	室温	7~8	① 345 ※6	³ H-サイミジン 取り込み能	PHA+ 20500~56800 CONTROL 127~456 (cpm)	受託可能日は月~金曜日です。 ①
	3932 3 012605801	曜日指定 Con-Aによるリンパ球 幼若化検査 51011-0000-019-814	同時 依頼の 場合は 8.0mL	PH9	室温	7~8	① 345 ※6	³ H-サイミジン 取り込み能	Con-A+ 20300~65700 CONTROL 127~456 (cpm)	受託可能日は月~金曜日です。 ①
	3935 0 839350000 3936 9 839360000 3937 8 839370000 3938 7 839380000 3939 6 839390000	曜日指定 薬剤によるリンパ球 刺激試験(DLST) 51014-0000-019-814	1薬剤 血液 12.0 (ヘパリン加)	PH9	室温	8~10	①	³ H-サイミジン 取り込み能	陰性	受託可能日は月~金曜日です。 1薬剤増ごとに血液5.0mL必要となります。血液と同時に依頼薬剤もご提出ください。(原則として皮内反応注射薬は検査できません。) ヘパリンが起因薬剤と疑われる場合は全ての採血管に(PNK)の容器を使用してください。 ①
	9534 9 018105801	予約検査 曜日指定 MLC (リンパ球混合培養) 5K160-0000-019-814	(受給者) 血液 20.0 (ヘパリン加) と (提供者) 血液 10.0 (ヘパリン加) と (非血縁者) 血液 10.0 (ヘパリン加)	PH9	室温	9~11		³ H-サイミジン 取り込み能		受託可能日は火~金曜日です。 続柄・臨床診断名・投与薬剤名・輸血歴・移植歴は必ず明記してください。 MLCはリンパ球を無菌状態で培養しますので、採取容器の開栓、検体の移し替えは避けてください。 MLCの非血縁者血液はコントロールとして使用します。 ①

①「リンパ球刺激試験(LST)」は、Con-A、PHA又は薬疹の被疑医薬品によるものである。(1薬剤 345点、2薬剤 425点、3薬剤以上 515点)

薬剤によるリンパ球刺激試験(DLST)の検体について

- 1.1薬剤増ごとに血液5.0mL必要となります。
- 2.1薬剤で500万個のリンパ球が必要となります。場合により検査に必要なリンパ球数が得られず、検査不能となる場合があります。
- 3.目安として白血球数が3000/μL以下の場合は倍量程度を採血しご提出ください。なお、詳しい白血球数とリンパ球%が判明している場合は、担当営業員までお問い合わせください。
- 4.2項目以上ご依頼の場合は、必ず優先順位をご指示ください。
- 5.血液と同時に依頼薬剤もご提出ください。
錠剤(1錠)、カプセル(1カプセル)、粉末(1回投与量程度1包)、リキッドタイプの飲み薬(0.5mL程度)、注射薬(1バイアル【アンプル】)。皮内反応用テストアンプルは微量のため検査できません。その他の薬剤以外で検査をご依頼の場合は、担当営業員までご連絡ください。
- 6.ヘパリンが起因薬剤と疑われる場合は全て専用容器(PNK)に採血し、ご提出ください。
- 7.「麻薬及び向精神薬取締法」第一章第二条および「覚せい剤取締法」第三章および別表に掲げられている規制対象薬剤の受領はできません。
- 8.ご依頼の際は、麻薬、覚せい剤が含まれていないことをご確認いただき、依頼書等へご署名をお願いいたします。ご署名のない場合は、受領いたしかねます。

MLC(リンパ球混合培養)について

MLC(リンパ球混合培養)は予約検査となりますので、採血前に必ず担当営業員にご連絡ください。

[A158 6] 高感度PNH型血球検査(判定基準)

	%	判定
PNH型顆粒球	0.003未満	陰性
	0.003以上	陽性
PNH型赤血球	0.005未満	陰性
	0.005以上	陽性

PH5 旧容器記号 G  ヘパリン入り (真空採血量5mL) 内容 ヘパリンNa 65IU 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年	PN5 旧容器記号 C  EDTA-2Na入り (真空採血量5mL) 内容 EDTA-2Na 7.5mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年	H00 旧容器記号 H  保存液入り (容器容量5mL) 内容 RPMI-1640 FBS:硫酸 カナマイシン;ノボ ヘパリンNa;炭酸水 素Na;HEPES 貯蔵方法 凍結 有効期間 色が薄い ピンクの状態で使用 してください。	H20 旧容器記号 H2  保存液入り (容器容量10mL) 内容 FBS PBS 硫酸カナマイシン 貯蔵方法 凍結 有効期間 製造から 1年	PN2 PN5 旧容器記号 C  EDTA-2Na入り (真空採血量 2mLまたは5mL) 内容 EDTA-2Na 3.0mgまたは 7.5mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年 (PN2) (PN5)	PH9 旧容器記号 I  ヘパリン入り (真空採血量10mL) 内容 ヘパリンNa 130IU 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年

細胞性免疫検査

細胞性免疫検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
細胞性免疫検査	3920 6 012574401	曜日指定 T細胞百分率 B細胞百分率 51020-0000-019-662	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5	193 ※6	フローサイト メトリー	T 66~89 B 4~13 (%)	受託可能日は月~金曜日です。 &1
	3923 3 012644401	曜日指定 IgG 51021-0000-019-662	血液 各 1.0 (ヘパリン加) [3項目 以上の 依頼の 場合は 3.0mL]	PH5	室温	3~5	155 ※6	フローサイト メトリー	1~3 (%)	受託可能日は月~金曜日です。 &1
	3924 2 012654401	(S m i g) IgA 51022-0000-019-662					155 ※6			
	3925 1 012664401	IgM 51023-0000-019-662					155 ※6		3~12 (%)	
	3926 0 012674401	IgD 51024-0000-019-662					155 ※6		1~10 (%)	
	3927 9 012684401	K 51025-0000-019-662					155 ※6		3~8 (%)	
	3928 8 012694401	L 51026-0000-019-662					155 ※6		1~5 (%)	
		曜日指定 モノクローナル抗体による リンパ球表面マーカーの 自動解析	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5		フローサイト メトリー	108ページ参照	受託可能日は月~金曜日です。 実施項目一覧は、108ページをご 参照ください。 10項目以上依頼の場合は血液 5.0mL採血してください。 &1
		曜日指定 Two-color解析による リンパ球表面マーカー検査	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5		Two-color フローサイト メトリー	109ページ参照	受託可能日は月~金曜日です。 実施項目一覧は、109ページをご 参照ください。 10項目以上依頼の場合は血液 5.0mL採血してください。 &1
	3922 4 012584401	曜日指定 IgG-FcR ⁺ T細胞百分率 51040-0000-019-662	血液 1.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5	193 ※6	フローサイト メトリー	2~23 (%)	受託可能日は月~金曜日です。 &1
	7900 4 015564401	曜日指定 血小板表面マーカー検査 CD41 51185-0000-019-662	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5		フローサイト メトリー	97.0以上 (%)	受託可能日は月~金曜日です。 &1
検査	7901 3 015574401	曜日指定 血小板表面マーカー検査 CD42b 51189-0000-019-662	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5		フローサイト メトリー	74.9以上 (%)	受託可能日は月~金曜日です。 &1
	7916 7 016204401	曜日指定 Th1/Th2 (IFN- γ $\times$ IL-4/CD4) 51880-0000-019-662	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	4~6		フローサイト メトリー	(%)	受託可能日は月~金曜日です。 &1
	3942 2 012637901	曜日指定 NK細胞活性 51900-0000-019-907	血液 5.0 (保存液加)	PNK	冷蔵	3~5		⁵¹ Cr遊離法	18~40 (参考値) (%)	凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1

細胞性免疫検査のご依頼について

1. 検体は採取後、当日中にご提出ください。
 2. リンパ球が少ない場合は多めに採血してください。
 3. 骨髓液でのご依頼の場合は、専用容器(H00)を使用し冷蔵にてご提出ください。ただしCD34定量は保存液により希釈されると正しい検査結果が得られないため、専用容器(PH5)をご使用ください。
 4. リンパ節など、組織でのご依頼の場合は、専用容器(H20)に浮遊させ冷蔵にてご提出ください。
- ※[7900 4、7901 3]血小板表面マーカー検査CD41、CD42bは除きます。

[7900 4、7901 3]血小板表面マーカー検査CD41、CD42bについて

検体は採取後、当日中にご提出ください。



曜日指定 受託可能日は月～金曜日です。

モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーの自動解析実施項目一覧

CD : Cluster of differentiation

項目コード 新項目コード	CD No. JLAC10	基準値 (単位)	実施料 判断料	主として反応する細胞・代表的な反応性
3946 8 017504401	CD1a 51060-0000-019-662	1.0以下(%)		胸腺皮質細胞
3945 9 017514401	CD2 51064-0000-019-662	71.0 ~ 91.0 (%)		T細胞・Eロゼット形成細胞
3972 9 017464401	CD3 51067-0000-019-662	58.0 ~ 84.0 (%)		成熟(末梢)T細胞
3973 8 017474401	CD4 51070-0000-019-662	25.0 ~ 54.0 (%)	185 ※6	ヘルパー T細胞
3974 7 017484401	CD8 51082-0000-019-662	23.0 ~ 56.0 (%)		細胞傷害性T細胞
	CD4/CD8 比	0.40 ~ 2.30		
3956 7 017594401	CD5 51073-0000-019-662	60.0 ~ 90.0 (%)		T細胞・一部のB細胞
3964 8 010024401	CD7 51079-0000-019-662	72.0 ~ 90.0 (%)		T細胞
3957 6 017674401	CD10 51088-0000-019-662	1.0以下(%)		ALL・好中球
3976 5 017534401	CD11b 51092-0000-019-662	18.0 ~ 49.0 (%)		NK細胞・T細胞の一部
3948 6 010094401	CD13 51098-0000-019-662	9.0以下(%)		単球・顆粒球・骨髓細胞
3952 1 010104401	CD14 51101-0000-019-662	5.0以下(%)		単球
3958 5 017584401	CD16 51110-0000-019-662	6.0 ~ 39.0 (%)		NK細胞(Fcγレセプター) 好中球
3959 4 010114401	CD19 51119-0000-019-662	5.0 ~ 24.0 (%)		B細胞
3947 7 018294401	CD20 51122-0000-019-662	3.0 ~ 20.0 (%)		成熟B細胞
3966 6 010184401	CD21 51125-0000-019-662	3.0 ~ 18.0 (%)		成熟B細胞
3898 2 012474401	CD22 51128-0000-019-662	2.0 ~ 17.0 (%)		B細胞
3960 2 018304401	CD25 51137-0000-019-662	8.0 ~ 34.0 (%)		IL-2レセプター Tac
3900 8 012484401	CD30 51152-0000-019-662	1.0以下(%)		活性化T・B細胞・ホジキン細胞
3967 5 011074401	CD33 51161-0000-019-662	5.0以下(%)		顆粒球・単球・骨髓細胞
3899 1 012494401	CD34 51164-0000-019-662	1.0以下(%)		造血幹細胞
3977 4 017524401	CD38 51176-0000-019-662	18.0 ~ 59.0 (%)		活性化および増殖細胞 形質細胞(強陽性)
3968 4 011204401	CD56 51238-0000-019-662	9.0 ~ 43.0 (%)		NK細胞
3961 1 017574401	CD57 51241-0000-019-662	4.0 ~ 45.0 (%)		NK細胞・LGL
3979 2 017494401	HLA-DR 51680-0000-019-662	11.0 ~ 46.0 (%)		B細胞・活性化T細胞(HLA-DR抗原) 単球

細胞性免疫検査

細胞表面マーカー

曜日指定 受託可能日は月～金曜日です。

Two-color解析によるリンパ球表面マーカー検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	基準値(%)	実施料 判断料
7841 0 017604401	Two-color CD4/CD45RA 51700-0000-019-662	CD4(-) CD45RA(+) 30.0 ~ 57.0 CD4(-) CD45RA(-) 5.0 ~ 23.0 CD4(+) CD45RA(-) 15.0 ~ 34.0 CD4(+) CD45RA(+) 9.0 ~ 37.0	185 ※6
7842 9 017614401	Two-color CD4/CD29 51701-0000-019-662	CD4(-) CD29(+) 22.0 ~ 59.0 CD4(-) CD29(-) 12.0 ~ 38.0 CD4(+) CD29(-) 9.0 ~ 34.0 CD4(+) CD29(+) 11.0 ~ 26.0	
7843 8 017624401	Two-color CD11b/CD8 51710-0000-019-662	CD11b(-) CD8(+) 11.0 ~ 40.0 CD11b(-) CD8(-) 29.0 ~ 64.0 CD11b(+) CD8(-) 8.0 ~ 32.0 CD11b(+) CD8(+) 6.0 ~ 27.0 CD8/BRIGHT 20.0以下 CD8/DULL 3.0 ~ 17.0	
4056 5 017634401	Two-color HLA-DR/CD4 51706-0000-019-662	HLA-DR(-) CD4(+) 22.0 ~ 51.0 HLA-DR(-) CD4(-) 24.0 ~ 61.0 HLA-DR(+) CD4(-) 8.0 ~ 37.0 HLA-DR(+) CD4(+) 1.0 ~ 12.0	
4046 6 017644401	Two-color HLA-DR/CD8 51707-0000-019-662	HLA-DR(-) CD8(+) 15.0 ~ 49.0 HLA-DR(-) CD8(-) 28.0 ~ 62.0 HLA-DR(+) CD8(-) 6.0 ~ 25.0 HLA-DR(+) CD8(+) 2.0 ~ 27.0	
7833 9 017654401	Two-color CD57/CD16 51721-0000-019-662	CD57(-) CD16(+) 1.0 ~ 15.0 CD57(-) CD16(-) 49.0 ~ 87.0 CD57(+) CD16(-) 2.0 ~ 40.0 CD57(+) CD16(+) 2.0 ~ 27.0	
7834 8 015604401	Two-color CD16/CD56 51724-0000-019-662	CD16(-) CD56(+) 2.0 ~ 20.0 CD16(-) CD56(-) 57.0 ~ 91.0 CD16(+) CD56(-) 9.0以下 CD16(+) CD56(+) 4.0 ~ 33.0	
7838 4 015624401	Two-color CD45RO/CD4 51703-0000-019-662	CD45RO(-) CD4(+) 6.0 ~ 34.0 CD45RO(-) CD4(-) 28.0 ~ 58.0 CD45RO(+) CD4(-) 7.0 ~ 32.0 CD45RO(+) CD4(+) 10.0 ~ 32.0	185 ※6
3893 7 016684401	Two-color CD4/CD8 51702-0000-019-662	CD4(-) CD8(+) 22.0 ~ 54.0 CD4(-) CD8(-) 14.0 ~ 38.0 CD4(+) CD8(-) 23.0 ~ 52.0 CD4(+) CD8(+) 7.0以下 CD4/CD8比 0.40 ~ 2.30	
7845 6 018724401	Two-color HLA-DR/CD3 51705-0000-019-662	HLA-DR(-) CD3(+) 33.0 ~ 75.0 HLA-DR(-) CD3(-) 7.0 ~ 36.0 HLA-DR(+) CD3(-) 3.0 ~ 18.0 HLA-DR(+) CD3(+) 5.0 ~ 33.0	
7836 6 01874A101	Two-color CD4/CD25 51751-0000-019-662	CD4(-) CD25(+) 2.0 ~ 14.0 CD4(-) CD25(-) 37.0 ~ 69.0 CD4(+) CD25(-) 15.0 ~ 39.0 CD4(+) CD25(+) 6.0 ~ 21.0	
7781 7 018754401	Two-color CD20/CD5 51715-0000-019-662	CD20(-) CD5(+) 54.0 ~ 87.0 CD20(-) CD5(-) 9.0 ~ 40.0 CD20(+) CD5(-) 9.0以下 CD20(+) CD5(+) 13.0以下	

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
ア							
00080	アーガメイトゼリー	02206	アダラートCR	05468	アリナミンEX	07209	イオバミドール
00097	アーチスト	02213	アダラートCRジョウ	05470	アリナミンF	07920	イオバミロン
00112	アーチストジョウ	02210	アダラートL	10947	アリビブラゾール	07918	イオバミロン300
00100	アーテン	01999	アタラックス	05493	アリミデックス	07915	イオバミロン370
10486	アービタックス	02000	アタラックスP	09987	アリムタ	07955	イオプロミド
37198	アーリーダ	03007	アダリムマブ	05507	ア rilイソプロビルアセチルニョウソ	07914	イオヘキソール
03110	アイエーコール	02235	アデカット	05540	アルケラン	07928	イオメロン
00106	アイオナール(向精神薬)	24815	アテディオ	05600	アルサルミン	07926	イオメロン300
00138	アイソボリン	02260	アテノロール	05660	アルジオキサ	07927	イオメロン350
00150	アイトロール	02300	アデホス	05690	アルダクトン	18772	イグザレルト
00151	アイトロールジョウ	02310	アデホスコーフ	05700	アルダクトンA	M3124	イグザレルトOD
00302	アイビーディ	02309	アデホスコーフカリュウ	05695	アルダクトンAジョウ	M2693	イコサベントサンエチル
00303	アイビーディカプセル	02233	アテレック	05730	アルタット	N0291	イコマイド
23336	アイファガン	09478	アドエア	05731	アルタットカプセル	08000	イスコチン
M0003	アイミクス	34658	アトーゼット	05740	アルツ	08001	イスコチンジョウ
N1241	アエン	13699	アドシルカ	05900	アルドメット	08090	イセバシン
14960	アカルボース	02800	アドナ	06010	アルビニー	08220	イソジン
00500	アキネトン	02375	アトニン-O	06011	アルビニーザザイ	08225	イソゾール
09749	アクテムラ	03000	アドリアシン	06015	アルビニーザヤク	08230	イソニアジド
00853	アクトス	03002	アドリアシンチュウ	06045	アルファカルシドール	08240	イソバイド
00851	アクトネル	03001	アドリアマイシン	06100	アルファロール	08250	イソヒスト
00920	アクブラ	02485	アトルバスタチン	06105	アルファロールカプセル	N0301	イソプロバノール
26279	アグリリン	03050	アトロピン	06550	アルロイドG	08259	イソプロビルアンチビルン
01010	アクロマイシンV	03149	アナフラニール	06670	アレギサル	08280	イソミタール(向精神薬)
M0013	アコファイド	03147	アナベイン	06675	アレグラ	08317	イダマイシン
01040	アザクタム	03180	アネトン	23884	アレグラFX	08358	イチショウサンイソソルビド
01015	アサコール	26766	アネメトロ	18876	アレグラOD	10667	イトフリド
01045	アザニン	06505	アバスチン	06676	アレグラジョウ	08337	イトラコナゾール
01046	アザルフィジン	10968	アバプロ	06695	アレジオン	08338	イトリゾール
01048	アザルフィジンEN	M0058	アビガン	M0096	アレセンサ	15015	イナビル
01052	アザルフィジンENジョウ	13700	アフィニトール	06699	アレトン	M0125	イニシンク
01060	アシクロビル	17260	アブラキサン	06700	アレビアチン	08450	イブ
01062	アジスロマイシン	03890	アブレース	06702	アレビアチンサン	08460	イブA
01070	アシノン	05128	アベロックス	06706	アレビアチンジョウ	29958	イブA EX
01072	アシノンカプセル	12857	アボルブ	06705	アレビアチンチュウチャヤク	08465	イブAジョウ
01105	アジャストA	04152	アマリール	06780	アレルギン	M6262	イブDX
19486	アジルバ	04149	アマリールジョウ	06773	アレロック	28608	イフェクサー SR
01109	アスゲン	28558	アマルエット	M0099	アレロックOD	06128	イブクイック
01117	アスコルビンサン	01892	アマンタジン	06769	アレロックジョウ	29992	イブクイックDX
01150	アストーマ	04180	アミオダロン	18624	アレンドロン	08500	イブプロフェン
01200	アストミン	04200	アミカシン	06830	アローゼン	33789	イブランス
01425	アズノール	04280	アミサリン	M1343	アロキシ	11809	イマチニブ
01487	アスバラCA	04435	アミノレバン	06800	アロシトール	08552	イミグラン
01500	アスバラK	N1568	アムバロ	06801	アロシトールジョウ	39658	イミダフェナシン
39754	アスバラギンサンカリウム	07535	アムビゾーム	06850	アロチーム	13984	イミダプリルエンサンエン
01600	アスピリン	04685	アムロジピン	04078	アロチノロール	08578	イムノブラダー
01610	アスピリンマツ	M3973	アムロジピンOD	06900	アロテック	08600	イムラン
01650	アスベノン	10847	アムロジピンジョウ	06950	アロフト	00648	イムランジョウ
01651	アスベノンカプセル	04683	アムロジン	06955	アロプリノール	13268	イメンド
01750	アスベリン	M0075	アムロジンOD	06965	アロマシン	19722	イリノテカンエンサンエン
01753	アスベリンサン	04684	アムロジンジョウ	07090	アンカロン	10619	イリボー
01562	アスベリンジョウ	M1861	アメナリーフ	07091	アンカロンジョウ	34436	イルアミクス
01106	アズレン	04700	アモキサン	07400	アンコチル	12322	イルベサルタン
01900	アセトアミノフェン	04701	アモキサンカプセル	07436	アンジュ 28	10015	イルベタン
01940	アゼブチン	04800	アモキシシリン	07700	アンヒバ	08673	イレッサ
23667	アセリオ	05050	アモバン	07701	アンヒバザヤク	15866	インヴェガ
23871	アセリオジョウチュウエキ	05140	アラセナ-A	07697	アンブラーグ	08990	インチンコウトウ
21899	アセルニジピン	00075	アラバ	09261	アンプロキシールエンサンエン	09095	インテバン
M1877	アソセミド	05222	アリセプト		イ	09100	インテバンSP
02200	アダラート	02439	アリセプトD	14442	イーケブラ	09123	インテバンザザイ
		05460	アリナミン	07922	イーシー .ドパール	09120	インテバンザヤク

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤

細胞性免疫検査

DLST薬剤リスト

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
09300	インデラル	M9642	エスワンタイホウ	13507	エレンタール	15200	オラスボア
09330	インドメタシン	M0167	エスワンタイホウOD	13508	エレンタールP	15202	オラスボアドライシロップ
09360	イントラリボス	34445	エゼチミブ	13506	エンサンエピナスチン	15190	オラセフ
09411	インフリー	N1569	エソメブラゾール	13610	エンサンバンコマイシン	13225	オラベネム
09413	インフリーS	M9413	エソメブラゾールカプセル	13630	エンサンプロカイン	15249	オランザピン
03636	インフリキシマブ	17257	エダラボン	02756	エンサンプロカルバジン	15287	オルガラン(PNK容器)
09419	インフルエンザHAワクチン	11395	エタンブトール	13659	エンサンメチルエフェドリン(覚醒剤原料)※	34535	オルケディア
09415	インフルエンザワクチン	11493	エチカーム	N0218	エンサンメビバカイン	15300	オルチス
20703	インライタ	11502	エチゾラム	13663	エンサンモルヒネ(麻薬)	19196	オルメサルタン
ウ		14964	エックスフォージ	13665	エンサンリドカイン	N1572	オルメサルタンOD
09500	ウィンタミン	11515	エッピカジュツトウ	37733	エンタイビオ	01695	オルメテック
10450	ヴェノグロブリン-IH	15965	エディロール	01739	エンタカボン	14536	オレンシア
20011	ヴォトリエント	M3974	エトドラク	32061	エンテカビル	25222	オロパタジンOD
09870	ウテメリン	11570	エトボシド	13800	エンドキサン	20910	オロパタジンエンサンエン
09900	ウブレチド	11640	エナラプリル	13802	エンドキサンP	22124	オングリザ
09920	ウラリット	13863	エナラプリルマレインサンエン	13900	エンビナース	15500	オンコピン
09225	ウラリット-U	11710	エバステル	14000	エンビナースP	カ	
25575	ウリアデック	11724	エバデール	14155	エンペラシン	10376	カーボスター
11647	ウリトス	11726	エバデールS	39648	エンレスト	15550	カイゲン
17262	ウリトスOD	11740	エバミール	オ		15555	カイトリル
09930	ウルグート	05329	エバルレスタット	14500	オイグルコン	15630	カコナール
10000	ウルソ	01598	エビスタ	14501	オイグルコンジョウ	15650	カシワドール
10005	ウルソ100	02521	エビスタジョウ	14608	オイラックス	18000	ガスコン
10105	ウルソデオキシコールサン	11896	エピナスチン	14613	オウゴン	18050	ガスター
25853	ウルティプロ	11930	エピネフリン	14630	オウレンゲドクトウ	18061	ガスターD
10140	ウロカルン	11933	エビビル	14240	オーグメンチン	18060	ガスターチュウシャエキ
10150	ウロキナーゼ	11800	エビフロスタット	13825	オーグメンチンハイゴウジョウ	18063	ガスチーム
10160	ウログラフィン	27945	エビリド	14288	オーネス	18199	ガストローム
10360	ウンセイイン	06052	エビリファイ	14293	オーラ	18080	ガストログラフィン
工		25479	エビルピシンエンサンエン	14300	オーラチュウ	18215	ガスピタン
11881	エカードHD	11940	エビレオプチマル	14370	オーラチュウカートリッジ	18212	ガスモチン
14348	エカードハイゴウジョウHD	M0188	エフィエント	14703	オキサトミド	18210	ガスロンN
16656	エカードハイゴウジョウLD	12100	エフェドリン(覚醒剤原料)※	04653	オキサリプラチン	15668	カゼカプセルゴールド
10700	エキセドリン	12200	エフォーワイ	14712	オキシプリノール	15660	カゼグスリ
18595	エキセメスタン	12400	エプトール	14755	オステラック	15901	カソデックス
13738	エクア	12290	エフビー(覚醒剤原料)	14850	オゼックス	16040	カタクロット
10790	エクザール	12420	エブランチル	14852	オゼックスジョウ	16100	カタプレス
10780	エクサシン	37750	エベレンソ	17739	オセルタミビル	18226	ガチフロ
00208	エクストラニール	12448	エボザック	39069	オゼンピック	16250	カックントウ
10850	エクセグラン	12450	エボジン	14890	オダイン	31095	カデチア
10851	エクセグランサン	12675	エミレース	14930	オツジトウ	13257	カデュエットハイゴウジョウ
10900	エクセラーゼ	12790	エラスターゼ	31579	オテズラ	28155	ガドピスト
10901	エクセラーゼカプセル	12900	エラスチーム	14955	オドリック	26153	カナグル
28361	エクメット	11345	エラスボール	16341	オノアクト	18243	ガナトン
M3620	エクメットハイゴウジョウHD	12950	エリーテン	15050	オノン	16400	カナマイシン
29089	エクメットハイゴウジョウLD	12975	エリカナール	15051	オノンカプセル	32972	カナリア
11000	エサンブトール	21944	エリキウス	15053	オノンドライシロップ	16586	カバサル
11001	エサンブトールジョウ	13000	エリスバン	15100	オバイリン	06822	ガバベン
M4840	エスゾピクロン	13100	エリスロシン	15110	オバルモン	16600	カピステン
11176	エスタゾラム	13104	エリスロシンDS	28094	オフエ	16900	カフコデ
11170	エスタック	13101	エリスロシンジョウ	28008	オフジーボ	16902	カフコデN
11174	エスタックイブ	13200	エリスロシンドライシロップ	27142	オブスミット	16980	カプトプリル
11189	エスタックイブエース	13300	エリスロマイシン	15142	オブチレイ	17000	カプトリル
11177	エスタックイブカリュウ	13382	エルカルチン	15144	オフロキサシン	17002	カプトリルR
11180	エスタックゴールド	13395	エルサメット	15160	オムニパーク	17005	カプロシン(PNK容器)
11250	エストラサイト	13400	エルシトニン	N1571	オメガ-3シボウサンエチル	15445	ガベキサートメシルサンエン
11290	エストリール	M2086	エルデカルシトール	15168	オメガシン	95491	カベシタピン
11285	エストリオール	M9050	エルネオBNF	15175	オメブラール	14946	カベルゴリン
11373	エスボー	04288	エルブラット	15173	オメブラールジョウ	38797	カボメティクス
09132	エスラックス	N0302	エルモンデボー	15171	オメブラゾール	17010	カマ
34223	エスワン	35888	エレトリプタン	15172	オメブラゾン	17088	カミショウヨウサン

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
29196	カムシアハイゴウジョウHD	18953	キョーリンAP2	20017	クロチアゼパム	21657	コムギ
36410	カムシアハイゴウジョウLD	18971	キョーレオピン	20020	クロナゼパム	21658	コムギコ
M9555	カモスタットメシルサンエンサン	19000	キロサイド	06262	クロビドグレル	21663	コメ
17111	カモステート	95890	キロサイドN	M0320	クロフェドリンS	21670	コメリアン
17415	カリメート	19005	キン	20550	グロベニンI	21700	コランチル
17450	カルグート	19110	ギン	20043	クロマイチツジョウ	21800	コリオバン
26019	カルシトリオール	19055	キンダベート	20046	クロミッド	21850	コルドリン
17539	カルスロット	15350	キンダリー	20050	クロム	21860	コルヒチン
17545	カルセド	ク		20059	クロラムフェニコール	22420	ゴレイサン
17548	カルタン	19189	クアゼパム	25436	クロルフェネシン	95498	ゴレイサンリョウ
17580	カルデナリン	20108	グアヤコールスルホンサンカリウム	11126	クロルプロマジンエンサンエン	21908	コレバイン
17600	カルナクリン	33811	グーフィス	ケ		21938	コロネル
23795	カルバゾクロムスルホンサンNA	19170	クーベラシン	20312	ケアラム	22045	コンゴウヤク
22094	カルバゾクロムスルホンサンナトリウム	19185	クールワン	20572	ケイガイレンギョウトウ	10211	コンサータ(向精神薬)
M1806	カルバマゼピン	95377	クエチアピン	M0326	ケイキサレートDS	22050	コンスタン
17791	カルブロック	24404	クエンサンダイイチテツNA	29047	ケイキサレートサン	22100	コンタック
M3698	カルベジロール	19212	クエンサンダイイチテツナトリウム	20585	ケイシトウ	22195	コントロール
17770	カルベニン	33843	クエンメット	20590	ケイシブクリョウガン	22200	コントミン
17776	カルボカイン	12674	グラクティブ	20591	ケイシブクリョウガンリョウ	22240	コンドロイチン
17778	カルボシステイン	20101	グラケー	20604	ケイテン	22806	コンブラビン
17779	カルボプラチン	16731	グラセプター	20619	ケイメイガシンサン	サ	
17800	カロナール	09848	グラニセトロン	20621	ケイメイガシンサンS	18168	ザーコリ
17803	カロナールサイリウム	05872	クラバモックス	20623	ケジフエン	10792	サーティカン
17799	カロナールシロップ	19496	クラビット	20645	ケタス	22439	サアミオン
17825	カンゲンカリウム	19494	クラビットテンガンエキ	20651	ケタラール(麻薬)	22500	サイクロセリン
20268	カンサイダス	19500	クラフォラン	20660	ケトコナゾール	22508	サイコ
17850	カンゾウ	20105	グラマリール	20656	ケトチフェン	22510	サイコカリウムコツボレイトウ
25038	カンデサルタン	19660	クラリシッド	20800	ケフラル	22512	サイコケイシカンキョウトウ
17866	カンプト	19664	クラリシッドDS	20801	ケフラルカプセル	22513	サイコケイシトウ
17890	カンボウヤク	19656	クラリシッドジョウ	21000	ケフレックス	15115	ザイザル
キ		19666	クラリシッドドライシロップ	21179	ゲムシタピン	M0357	ザイティガ
31835	キイトルーダ	19662	クラリス	21045	ケルロング	22520	サイトテック
18400	キサンボン	19668	クラリスDS	06225	ケンケツアルブミン	22525	サイボクトウ
18454	キシレスデシン	19669	クラリスドライシロップ	21048	ケンケツヴェノグロプリンIH	00640	ザイボックス
18451	キシレスデシンA	19663	クラリスロマイシン	04191	ケンケツグロベニン-I	27175	サイラムザ
18500	キシロカイン	19172	クラリチン	21064	ケンケツベニロン-I	22540	サイレイトウ
18507	キシロカイン1%	20110	グラン	21035	ケンコウショクヒン	22550	サイレース(向精神薬)
18506	キシロカイン2%	20120	グランダキシン	21240	ゲンタシン	23250	ザイロリック
18501	キシロカインE	19750	クリアナール	21242	ゲンタシンチュウ	13917	サインバルタ
18503	キシロカインカートリッジ	19774	クリアミン	21251	ゲンタマイシン	29981	ザガーロ
18510	キシロカインスプレー	20128	グリクラジド	コ		26123	ザクラスハイゴウジョウHD
18502	キシロカインゼリー	20140	グリコラン	21274	コアテック	27171	ザクラスハイゴウジョウLD
18520	キシロカインビスカス	20148	グリセオール	21294	コアヒビター	23300	ザジテン
94580	キシロカインボリアンプ	20400	グリチロン	01508	コウジュン	22960	サノレックス
18491	キシロカインボリアンプ1%	19800	クリノリル	01872	コエンザイムQ10	M0366	ザファテック
19472	キックリン	20427	グリベック	21280	コートリル	N0255	サフネロー
18557	キネダック	20440	グリマック	02083	コカール	23024	サブリメント
18576	キプレス	20450	グリミクロン	22407	ゴコトウ	15234	サムスカ
19049	ギメラシル	N1238	グリメピリド	22410	ゴシャジンキガン	M3295	サムスカOD
19070	ギャバロン	19820	クリンダマイシン	21400	コスバノン	23118	サラザック
38657	キャブピリン	20460	グルカゴン	21435	コスメゲン	07636	サラジエン
18695	キャベジン	20477	グルコサミン	21521	コタローマオウブシサイシントウ	23109	サラゾスルファピリジン
24627	キュウケイキュウチャクタン	20469	グルコバイ	11842	コディオハイゴウジョウEX	M6108	サラゾスルファピリジンチヨウヨウジョウ
18750	キュウシン	01907	グルファスト	18239	コディオハイゴウジョウMD	23110	サラゾピリン
19090	ギューニュー	M1709	グルベス	14403	コディンリンサンエンサン1%	95396	サリグレン
18805	キュービーコーワゴールド	10863	グレースビット	21624	コナグスリ	24277	ザルティア
18760	キューフウゴールド	10013	クレキサン(PNK容器)	21632	コナミルク	23458	ザルトプロフェン
17076	キュービシン	04980	クレストール	21633	コニール	13122	サルボグレラートエンサンエン
18821	キョウニンスイ	28532	クレマスチン	21623	コバシル	23150	サロベール
18831	キョウリョクネオミノファーゲンシー	N1239	クレメジン	21640	コバルト	23500	ザロンチン
01248	キョウリョクボステリザン	14148	クロザリル	M3601	コミナティ	N1243	サワシリン

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤

細胞性免疫検査

DLST薬剤リスト

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
23156	サワシリンDS	24470	シメチジン	27000	ストロカイン	29115	セファクロル
M2083	サワシリンカプセル	24472	シャクヤクカンゾウトウ	00541	ストロメクトール	29118	セファゾリン
23152	サワシリンサイリウム	33345	ジャドニュ	27030	スパカール	10467	セファゾリンNA
23178	サンカマグネシウム	12815	ジャヌビア	27045	スパクリット	25073	セファゾリンNAチュウシャヨウ
23190	サンザイ	18594	シュアポスト	27190	スバラ	29151	セファゾリンナトリウム
23193	サンシュコンゴウワクチン	26614	ジュウゼンタイホトウ	03206	スピリーバ	29300	セファドール
23198	サンディミュン	26615	ジュウミハイドクトウ	27281	スピルリナ	29498	セファメジンアルファ
23200	サンドスタチン	12243	ジュリナ	27290	スピロノラクトン	29497	セファメジンアルファチュウシャヨウ
23280	サンモツオウゴントウ	24485	ショウキョウ	27300	スピロベント	29600	セファランチン
23235	サンリズム	24490	ショウサイコトウ	27950	ズファジラン	29700	セファレキシン
23237	サンリズムカプセル	24492	ショウサイコトウカキョウセッコウ	10944	スプリセル	32157	ゼフィックス
シ		24517	ショウサンインソソルビド	27346	スベニール	01713	セフェビム
25728	シアグノグリーン	24496	ショウジュセン	27344	スベリア	15198	セフェビムエンサンエン
25750	シアゼバム	24505	ショウセイリユウトウ	27349	スマトリブタン	29790	セフォセフ
23600	シアナマイド	24510	ショウニヨウバファリン	27355	スマンクス	29800	セフォタックス
02517	シアリス	26700	ジョサマイシン	27370	スミフェロン	29801	セフォタックスチュウシャヨウ
27115	ジーラスタ	26712	ジルテック	27398	スリノフェン	29850	セフォチアム
07193	ジェイソロフト	24593	シロスタゾール	27400	スリンダク	M1413	セフォン
08488	ジェニナック	36020	シロドシン	27500	スルガム	N1242	セフカベン
N0256	ジェノゲスト	N1573	シロドシンOD	27540	スルタムジン	12499	セフカベンビボキシル
25803	ジェムザール	24631	シンイセイハイトウ	09322	スルバクタムアンピシリン	13156	セフカンペンボキシルエンサンエン
23640	シオゾール	24730	シングレア	27572	スルバクタムナトリウム	30012	セフキソン
M0389	ジオトリフ	24953	シンコルゲンコーワ	07272	スルバシリン	30037	セフジトレンビボキシル
23765	シカヨウ2%キシロカインカートリッジ	24965	シンサンキョウイチョウヤク	27590	スルビリド	30040	セフジニル
23760	シカヨウキシロカイン	24969	シンジキナ	27600	スルピリン	13165	セフジニルカプセル
23761	シカヨウキシロカインカートリッジ	M9232	シンジキニンカリウム	27629	スルファサラジン	20816	セフジニルサイリウム
23763	シカヨウキシロカインカートリッジ2%	24984	シンセデス	27638	スルファピリジン	30050	セフスパン
23773	シカヨウシタネストオクタプレシン	25225	シンバスタチン	27643	スルファメトキサゾール	30070	セフゾン
25840	ジキナ	25330	シンピロガンK	27680	スルベラゾン	30071	セフゾンカプセル
25850	ジキナエース	25329	シンフジイチョウヤク	27681	スルベラゾンジョウチュウヨウ	N0937	セフタジジム
25900	ジキニン	94679	シンブロンエキエース	27901	スローケー	06815	セフトリアキソンNA
23850	シグマート	25600	シンメトレル	27702	スロービット	02903	セフトリアキソンナトリウム
23860	シグマビタン	25648	シンルルA	27920	スロンノン	10225	セフメタゾールNA
23900	シクロスボリン	25653	シンルルAゴールド	セ		30099	セフメタゾールナトリウム
25931	ジクロフェナクNA	25649	シンルルAジョウ	27985	セイジョウボウフウトウ	30100	セフメタゾン
25930	ジクロフェナクナトリウム	25646	シンルル-K	27990	セイシンレンシン	30105	セフメタゾンジョウチュウヨウ
16806	ジクロフェナクナトリウムSR	25650	シンルルエース	28068	セイハイトウ	M1422	セフロニック
25990	ジコキシ	25710	シンレスター	06465	セイブル	30530	セボフルラン
25992	ジコキシN	ス		28070	セイロガン	30570	セボフレ
26100	ジゴシン	26820	スイギン	28071	セイロガントウイA	M0934	セラビナ
24150	シスプラチン	26825	スイヨウセイブレドニン	28118	セキソビット	M0933	セララ
26170	ジスロマック	10824	スーテント	28120	セキドメ	30900	セルシン
11778	ジスロマックSR	95714	スオード	28275	セサミン	30916	セルセプト
35455	シダキア	26846	スカルナーゼ	28276	セサミンE	M3271	セルトラリン
24222	シタネスト-オクタプレシン	26874	スキャンドネスト	00178	セサミンE+	30930	セルニルトン
24227	シタネストオクタプレシンカートリッジ	95704	スキャンドネストカートリッジ	39989	ゼジュラ	30960	セルベックス
11812	シタフロキサシン	00912	スコヤカ	28400	セスデン	30956	セルベックスカプセル
24228	シタラビン	01845	スコヤカミル	32050	ゼストリル	30961	セルベックスサイリウム
24235	シチコリン	26870	スズ	32100	ゼスラン	24870	ゼルヤンツ
24250	シナール	26888	スターシス	28460	セタブリル	30975	セレキノン
N0108	ジヒドロコデインリンサンエンサン1%	21696	スチバーガ	08137	ゼチーア	30990	セレクトール
26500	ジビリダモール	26921	ステアリンサンマグネシウム	09239	セチリジン	10023	セレコキシブ
17173	ジフェニドールエンサンエン	09449	ステーブラ	28465	セチロ	07909	セレコックス
26523	ジフルカン	26968	ストガー	28487	セディール	08553	セレコックスジョウ
95822	ジフルカンカプセル	26965	ストックリン	28500	セデス	31003	セレジスト
26529	ジプレキサ	26931	ストナ	28700	セデスG	30992	セレストーナ
24440	シプロキサ	26928	ストナアイビー	28710	セデスハイ	31000	セレストアミン
24438	シプロキサチュウ	26935	ストナリニ	28775	セネガ	31100	セレナール
24450	シベノール	26944	ストミンA	28900	セバゾン	31180	セレニカR
13793	シムビコート	12505	ストラテラ	28950	セバミット	31181	セレニカRカリウム
28620	ジメチコン	26950	ストレプトマイシン	28955	セバミットR	31300	セレネース

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
31355	セレベント	33462	タイレノール	34210	タンボコール	36692	ツムラシャクヤクカンゾウトウ
02162	ゼローダ	33459	タイレノールA	チ		36695	ツムラジュウゼンタイホトウ
31380	セロクエル	M1569	ダウノマイシン	35530	チアトン	36698	ツムラジュウミハイドクトウ
31400	セロクラール	33460	タウリン	24103	チアブリド	36700	ツムラショウサイコトウ
31402	セロクラールジョウ	33500	タガメット	35700	チウラジール	36704	ツムラショウサイコウカキョウセッコウ
31500	セロケン	35030	ダカルバジン	N0309	チエクール	36710	ツムラショウセイリユウトウ
N0237	セロトニン	33511	タキソール	35730	チエナム	36712	ツムラシンイセイハイトウ
31931	ゼンタコート	33512	タキソテル	10859	チエナムテンキジョウチュウヨウ	36740	ツムラセイジョウボウフウトウ
31605	センナ	N0239	タクザイロ	07767	チエベネム	36720	ツムラセイシンレンシイン
31645	センノシド	29604	タグリッソ	36000	チオラ	36752	ツムラダイオウカンゾウトウ
31670	センブリ	33513	タクロリムス	36100	チガソン	36751	ツムラダイケンチュウトウ
ソ		26040	タケキャブ	25001	チキジウムシュウカブツ	36755	ツムラダイサイコトウ
33009	ソーミッグ	26010	タケキャブジョウ	36155	チクピロン	36792	ツムラショウウトウサン
32320	ソケイカッケツトウ	33662	タケダカンボウベンピヤク	36165	チザニン	36790	ツムラチョレイトウ
10612	ソシン	33665	タケブロン	36180	チスタニン	36795	ツムラトウカクジョウキトウ
32330	ソセゴン(向精神薬)	33653	タケブロンOD	36200	チタン	36800	ツムラトウキシャクヤクサン
32334	ソタコール	33652	タケブロンODジョウ	36235	チバセン	36870	ツムラニジュツトウ
33040	ソニサミド	33668	タケブロンカプセル	10002	チャンピックス	36875	ツムラニョシンサン
N0803	ソビクロン	M0957	タケルダ	36279	チョウセンニンジン	36879	ツムラニンジンヨウエイトウ
33050	ソビラックス	33669	タゴシッド	36287	チョウトウサン	36911	ツムラバクモンドウトウ
32441	ソファルコン	M0958	タシグナ	36280	チョコラA	36900	ツムラハチミジオウガン
33060	ソラデックス	N0240	タソバクタムナトリウム	36285	チョコラBB	36920	ツムラハンゲコウボクトウ
95753	ソラデックスLA	28913	タソビベ	01397	チョコラBBプラス	36915	ツムラハンゲシャシントウ
32650	ソラナックス	39583	タダラフィルZ A	36290	チョレイトウ	36924	ツムラビャッコカニンジントウ
32700	ソランタール	33700	タチオン	36318	チラーヂンS	36930	ツムラボウイオウギトウ
32701	ソランタールジョウ	33782	タナドーバ	36350	チロナミン	36940	ツムラボウフウツウショウサン
22742	ソリフェナシン	33780	タナトリル	36372	チンコウタンサンカルシウム	36928	ツムラボチュウエキトウ
23528	ソリフェナシンコハクサンエン	35070	ダニ	ツ		36955	ツムラマオウブシサイシントウ
32726	ソル.コーテフ	33856	タバコ	M6862	ツイミーグ	36961	ツムラマシニンガン
32905	ソル.メドロール	33890	タフマック	36395	ツウサントウ	36970	ツムラリックンシトウ
03904	ソル.メルコート	33900	タフマックE	M3816	ツートラム	08949	ツルバダ
32830	ソルダクトン	34000	タベジール	27121	ツクシAMハイゴウサン	37915	ツロブテロール
20385	ソルビデムシュセキサンエン	34050	タマゴ	36450	ツベラクチン	テ	
24079	ソルビデムシュセキサンエンOD	34062	タミフル	36481	ツベルミン	37957	ティーエスワン
N0238	ソルマルトリエキ	34076	タミフル75	37001	ツムラ1	22008	ティーエスワンOD
28785	ソルミトリブタン	34053	タミフルドライシロップ	37104	ツムラ104	94631	ティーエスワンカプセル
26399	ソレドロンサン	13088	タムスロシンエンサンエン	37114	ツムラ114	38818	ティオバン
32910	ソレト	18916	タムスロシンエンサンエンOD	37029	ツムラ29	38817	ティオバンジョウ
95922	ソレトンジョウ	34060	タモキシフェン	37041	ツムラ41	37980	ティコプラニン
33000	ソロン	M7848	ダラキューロ	37043	ツムラ43	12934	ディナゲスト
33001	ソロンサイリュウ	35100	ダラシン	37050	ツムラ50	38820	ディブリバン
タ		35203	ダラシンS	37062	ツムラ62	37998	ティブンシデキストラ
34300	ダーゼン	35198	ダラシンSチュウシャエキ	37096	ツムラ96	M0555	ディレグラ
M2122	ダーブロック	35103	ダラシンカプセル	36555	ツムラウンケイトウ	39043	デエビゴ
34310	ダイアート	36118	タリージェ	36558	ツムラウンセイイン	38160	テオドール
34320	ダイアップ	34081	タリオン	36572	ツムラオウレンゲドクトウ	38310	テオフィリン
34400	ダイアモックス	34085	タリビッド	36580	ツムラオツジトウ	38340	テオロン
34476	ダイオウカンゾウトウ	34074	タリビッドジョウ	36600	ツムラカクコントウ	38850	デカドロン
34475	ダイオウマツ	34072	タルク	36621	ツムラカミキヒトウ	38345	テガフル
M0952	タイケルブ	04533	タルセバ	36620	ツムラカミショウヨウサン	38900	デキサート
34506	ダイケンチュウトウ	13500	ダルテバリンNA(PNK容器)	36637	ツムラケイガイレンギョウトウ	38920	デキサメタゾン
34510	ダイサイコトウ	N0241	ダルボガエチンアルファ	36641	ツムラケイシカジュツプトウ	38932	デキストロメトルファン
33307	タイショウイチョウヤク	35270	ダルメート	36639	ツムラケイシブクリョウガン	38400	デグレートール
33300	タイショウカンボウイチョウヤク	34104	タンカルジョウ	36643	ツムラコウソサン	38402	デグレートールサイリュウ
34670	ダイズ	25997	タンカン	36644	ツムラゴシャジンキガン	38411	デグレートールジョウ
94674	ダイスイソフラボン	34095	タンサンカルシウム	36650	ツムラゴレイサン	M1002	デザレックス
34730	ダイドロネル	34096	タンサンスイソナトリウム	36660	ツムラサイコカリウコツボレイトウ	38420	デジブール
34770	ダイフェン	N1574	タンサンランタン	36663	ツムラサイコケイシカンキョウトウ	38945	デジレル
20242	ダイフェンハイゴウカリユウ	34100	タンサンリチウム	36675	ツムラサイコケイシトウ	34318	テセントリク
16632	ダイフェンハイゴウジョウ	35280	ダントリウム	36680	ツムラサイボクトウ	38965	デゾラム
34806	ダイメジン	34150	タンニンサンアルブミン	36690	ツムラサイレイトウ	38971	デタントールR

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤

細胞性免疫検査

DLST薬剤リスト

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
38447	テトカイン	39500	トフィソバム	ニ		43907	ノーシンピュア
38451	テトラカイン	41708	トブス	42790	ニコランジル	43910	ノーシンホワイト
38460	テトラミド	09959	トブタミン	42800	ニコリン	43911	ノーシンホワイトジョウ
38470	テナキシル	41709	ドブトレックス	11063	ニガチジン	M1459	ノーベルパール
19543	テネリア	39600	トブラシン	42845	ニセルゴリン	39095	ノクサフィル
38500	テノーミン	39700	トフラニール	42875	ニチファーゲン	44570	ノスカビン
38985	デノシン	39827	トボテシン	42885	ニッケル	44655	ノックピン
M0561	デノタス	39860	トミロン	42890	ニトラゼバム	44690	ノバミン
22145	デノタスチュアブル	39862	トミロンDS	42895	ニドラン	16473	ノベルジン
39000	デバケン	39865	トミロンサイリュウ	42900	ニトロール	44717	ノボヘパリン(PNK容器)
39003	デバケンR	95335	トミロンジョウ	43000	ニトロールR	95832	ノボヘパリンチュウ1000 (PNK容器)
00672	デバケンRジョウ	39870	トヨファロール	N0947	ニトロールRカプセル	44711	ノボラビッド
39006	デバケンサイリュウ	41783	ドラー	43052	ニトロダーム	44726	ノボリン30R
39007	デバケンジョウ	03682	トライコア	43053	ニトロダームTTS	44719	ノボリンN
39005	デバケンシロップ	34228	トラセミド	43055	ニトロベン	44724	ノボリンR
39010	デバス	18704	トラゼンタ	43064	ニバジール	44730	ノリトレン
39011	デバスジョウ	N0166	トラディアン	M3258	ニフェジピン	44741	ノルアドレナリン
N0242	デビケイ	39960	トラネキサムサン	10626	ニフェジピンCR	44745	ノルバスク
38530	デブレノン	39970	トラベルミン	12698	ニフェジピンL	44748	ノルバスクジョウ
39100	デプロメール	16094	トラマール	43200	ニフラン	44750	ノルパデックス
M2481	デベルザ	M0579	トラムセット	43199	ニフランジョウ	44755	ノルパデックスD
13211	デモカブリルエンサンエン	40200	トランコロン	43280	ニボラジン	44870	ノルモナール
33389	デモゾロミド	M4128	トランコロンP	43350	ニホンノウエンワクチン	ハ	
07180	デモダール	40400	トランサミン	43450	ニューカイトキZ	22486	バージェタ
38774	デュタステリド	40402	トランサミンカプセル	43460	ニューサンカルシウム	45210	ハーセプチン
37186	デュビクセント	N0168	トリアソラム	43475	ニュートウ	45226	ハーフジゴキシン
39200	デュファストン	40664	トリキュラー 21	43473	ニューモバックス	00933	ハーフジゴキシンKY
M2023	デュロキセチン	40665	トリキュラー 28	43500	ニューレプチル	00213	ハーフジゴキシンKYジョウ
17031	テラビック	40701	トリクロリール	43503	ニューロタン	28306	ハーボニー
32714	テラムロA P	40704	トリクロリールシロップ	43502	ニューロタンジョウ	48400	バーロデル
N1575	テラムロB P	40705	トリクロルメチアジド	43510	ニョシンサン	46710	バイアグラ
38560	テラルピシン	41100	トリプタノール	43550	ニンジンヨウエイトウ	46711	バイアスピリン
38585	テルギンG	41123	トリメトプリム	43569	ニンニクランオウ	46713	バイアスピリン100
38600	テルネリン	10689	トリメプチンマレインサンエン	ネ		46712	バイアスピリンジョウ
38631	テルビナフィン	37810	トリンテリックス	34713	ネイリン	46800	バイカロン
M3970	テルミサルタン	41840	ドルナー	34640	ネイリンカプセル	45310	ハイシー
35519	テルミサルタンODジョウ	41860	ドルミカム	43610	ネオイスコチン	46910	バイシリンG
32128	テルミサルタンジョウ	28953	トルリシティ	43605	ネオーラル	45400	ハイゼット
ト		15922	トレアキシン	43620	ネオドバストン	45500	ハイチオール
N0167	トアラセット	20761	トレシーバ	43625	ネオドバゾール	45510	ハイチオールC
39324	トウカクジョウウキトウ	41228	トレドミン	43629	ネオビタカイン	45550	ハイトラシン
39338	トウキギャクカゴシュウジョウキョウ	41229	トレドミンジョウ	43630	ネオファーゲン	45560	ハイドレア
39330	トウキシャクヤクサン	12687	トレリーフ	43650	ネオファーゲンC	45561	ハイドレアカプセル
95169	トウモロコシデンプン	41310	トロキシン	43700	ネオフィリン	46943	バイナス
39317	トーフチーム	42050	ドロレプタン	16716	ネキシウム	45830	ハイベン
07004	ドキサゾシン	M3972	ドンベリドン	M0605	ネクスパール	45831	ハイベンジョウ
11861	ドキシル	N1244	ドンペリン	14491	ネシーナ	45900	ハイボン
39345	トキシゾド	ナ		08109	ネスブ	46950	バイミカード
41400	ドグマチール	42200	ナイキサン	06493	ネドリール	46970	バイロテンシン
N0164	トコフェロール	42201	ナイキサンジョウ	43890	ネルボン	48484	バキシル
39370	トスキサシン	42500	ナウゼリン	43895	ネンブタール(向精神薬)	45922	ハグクミ
19383	トスフロキサシントシルサンエン	42595	ナゼア	ノ		47200	バクシダール
41480	ドセタキセル	M1027	ナゼアOD	44100	ノアルテンD	47300	バクタ
17291	ドネベジル	42650	ナトリックス	44200	ノイエール	47340	バクタカリュウ
19247	ドネベジルOD	00278	ナファモスタット	44201	ノイエールカプセル	47302	バクタジョウ
N0165	ドネベジルエンサンエン	11799	ナファモスタットメシルサンエン	44300	ノイキノン	47400	バクトラミン
01025	ドバコール	42693	ナベルピン	44420	ノイトロジン	47414	バクモンドウトウ
21538	トビエース	42709	ナポールSR	44550	ノイロトロピン	48492	バクリタキセル
08602	トビナ	42710	ナポールSRカプセル	44560	ノイロピタン	48496	バシル
22352	トピロリック	42740	ナロン	24029	ノウリアスト	48511	バズクロス
39449	トフィス	42742	ナロンエース	43900	ノーシン	48600	バセトシン

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
48606	バセトシンカプセル	46640	ハンゲコウボクトウ	52427	ビベラシリンナトリウム	53931	フェルムカプセル
48602	バセトシンサイリュウ	46650	ハンゲシャシントウ	29837	ビベリデンエンサンエン	54000	フェログラデュメット
45950	ハチミジオウガン	N0219	ハンゲビャクジュツテンマトウ	50770	ヒベルナ	M1091	フェロベリン
48650	パチュナ	48300	バンコマイシン	50775	ヒボカ	54060	フェロベリンA
45975	ハッキン	12144	バンコマイシンエンサンエン	30023	ビムパット	54070	フェロミア
47750	バップフォー	48301	バンコマイシンジヨウチュウヨウ	94722	ビムロ	54071	フェロミアジョウ
49000	パナルジン	49800	パンスボリン	52423	ビメノール	54080	フェロン
48905	パナルジンジョウ	49803	パンスボリンジヨウチュウヨウ	07748	ビモベンダン	54090	フェンタニル(麻薬)
47800	バナン	15458	バンテチン	50800	ヒャクソウガン	54180	フォイバン
47801	バナンDS	49900	バントシン	50850	ヒューマリンN	54178	フォサマック
47804	バナンジョウ	49950	バンビタン	50855	ヒューマリンR	M0690	フォシーガ
47802	バナンドライシロップ	46657	ハンブ	50859	ヒューマログ	95944	フォスブロック
49100	パニマイシン		ヒ	12264	ヒュミラ	54185	フォリアミン
47831	バファリン	01972	ビ.シフロール	52440	ビラジナミド	14790	フォルテオ
47829	バファリン330	95207	ヒアルロンサン	M1076	ビラノア	55357	ブクリョウ
47839	バファリン81	N0220	ヒアルロンサンNA	52453	ビラマイド	54210	フサン
95447	バファリン81MG	52361	ビーエイ	12806	ビリドキシンエンサンエン	55380	ブシラミン
47833	バファリンA	52365	ビーエイジョウ	52600	ビリナジン	54230	フスコデ
01513	バファリンAジョウ	52371	ビーゼットシー	52700	ビル	54232	フスコデシロップ
47832	バファリンショウニョウ	28610	ビートル	20439	ビルシカイニドエンサンエン	55400	フスコパン
47828	バファリンプラス	50950	ビームゲン	50881	ヒルドイド	54290	フスタゾール
49150	バブロン	50998	ビオスリー	50900	ヒルナミン	39674	ブソフェキ
49158	バブロンS	01970	ビオチアスミンA	10912	ビレスパ	22865	ブチルスコブラミンシュウカブツ
01354	バブロンSCジョウ	51018	ビオチン	52800	ビレチア	54400	フトラフル
49161	バブロンSゴールド	51050	ビオフェルミン	N0125	ビンゼレックス	55660	ブプロロン
49164	バブロンSゴールドジョウ	51060	ビオフェルミンR		フ	54548	フメイ
49162	バブロンSゴールドビリュウ	51101	ビカルタミド	52929	ファーストシン	54700	フラグミン(PNK容器)
49159	バブロンSジョウ	51100	ビクシリン	52931	ファーストシンジヨウチュウヨウ	M0695	ブラケニル
49148	バブロンエース	51200	ビクシリンS	53010	ファスティック	15464	ブラザキサ
49181	バブロンエースカリュウ	51105	ビクシリンカプセル	22776	ファボワール	54600	フラジール
49300	バブロンゴールド	51104	ビクシリンチュウシャヨウ	34714	ファムシクロビル	55800	ブラダロン
08425	バブロンゴールドA	19605	ビコスルファートNA	10502	ファムビル	56770	ブラノパール
49297	バブロンゴールドビリュウ	16761	ビコスルファートナトリウム	53062	ファモスタジン	56775	ブラノプロフェン
49304	バブロンビエンカプセル	09642	ビジパーク	53050	ファモチジン	56785	ブラバスタチンナトリウム
00167	バブロンビエンジョウS	52400	ビシバニール	06319	ファモチジンD	01280	ブラバメイト
45990	ハベカシン	13987	ヒシファージェン	53060	ファルモルビシン	54750	フラビタン
06989	バラクルード	02027	ビジョンドロップ	53080	ファロム	05859	フラビックス
49330	バラジウム	04975	ビシリバクタ	53081	ファロムジョウ	06050	フラビックスジョウ
47845	バラシクロビル	50200	ヒスロン	53093	ファンガード	54800	フラベリック
47850	バラシリン	50210	ヒスロンH	53100	ファンギゾン	16091	フラボキサートエンサンエン
49350	バラブラチン	25141	ビソノテープ	53102	ファンギゾンシロップ	35419	ブラミベキソールエンサンエン
49401	バラミチン	19762	ビソプロロールフマルサンエン	M1085	フィコンパ	54900	フランドル
49460	バリエット	51600	ビソルボン	14773	フィナステリド	54912	フランドルテープS
49461	バリエットジョウ	16025	ビダーザ	04872	フィニバックス	00272	フランルカスト
04077	バリキサ	51630	ビタノイリン	04566	ブイフェンド	M4091	フリウエル
M1810	バルサルタン	51635	ビタミン	53240	フィルデシン	55900	ブリカニール
46100	ハルシオン	51641	ビタミンB	53295	フェアストーン	14043	ブリディオ
48123	バルトレックス	51643	ビタミンB6	22168	フェキソフェナジンエンサンエン	54955	フリバス
46105	ハルナール	51645	ビタミンC	53300	フェジン	M0706	フリバスOD
48125	バルネチール	51650	ビタミンE	53575	フェニトイン	01277	フリバスジョウ
29736	バルヒディオ	51700	ビタメジン	53600	フェノバル	57200	ブリモボラン
48145	バルプロサン	50300	ヒダントール	53603	フェノバルサン	57400	ブリンベラン
48149	バルプロサンナトリウム	50500	ヒダントールF	53604	フェノバルジョウ	57401	ブリンベランジョウ
49522	バルミコート	52420	ビドキサール	53650	フェノバルビタール	55000	フルイトラン
34570	バルモディア	50753	ヒドロクロロチアジド	53651	フェノバルビタールサン	56405	ブルーベリー
48180	バレオン	52424	ビノルビン	M1868	フェノフィブラート	56403	ブルーベリーアイ
48200	バレリン	N1145	ビバンセカプセル(覚醒剤原料)	23389	フェブキソスタット	56408	ブルーベリーエクス
49540	バロキセチン	14874	ビビアント	15907	フェブリク	55103	フルオレサイト
46500	ハロペリドール	51880	ビビットエース(向精神薬)	06403	フェマーラ	55108	フルカム
49700	バンクレアチン	50760	ヒビテン	12391	フェルピナク	N1576	フルコナゾール
46600	ハンゲ	51900	ヒプラマイシン	53930	フェルム	57470	ブルゼニド

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤

細胞性免疫検査

DLST薬剤リスト

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
57474	ブルゼニドジョウ	58689	プロボリス	18234	ヘラバミルエンサンエン	63640	ボニウ
56350	フルタール	58700	プロボリスエキス	60585	ヘラブロスト	38685	ボノサップ
55129	フルタイト	N0160	プロマゼバム	61530	ベリアクチン	11586	ボノテオ
55130	フルツロン	58760	プロマック	61520	ベリアクチンサン	63944	ボビドンヨード
55131	フルツロンカプセル	M0724	プロマックD	61600	ベリシット	17719	ボブスカイン
55157	フルニトラゼバム(向精神薬)	58763	プロマックカリュウ	60600	ベリチーム	62924	ホホエミ
14075	フルバスタチン	08963	プロムヘキシエンサンエン	60650	ベリリウム	62926	ホホエミミルク
56400	ブルフェン	55315	フロモックス	07119	ヘルケイド	63965	ボラキス
56401	ブルフェンジョウ	55319	フロモックスDS	61700	ベルサンチン	63670	ボラザG
55190	フルマリン	55316	フロモックスジョウ	61701	ベルサンチンL	64000	ボララミン
55193	フルマリンジョウチュウヨウ	55320	フロモックスジョウニョウサイリユウ	61800	ベルジピン	N0162	ポリコナゾール
55200	フルメジン	55330	フロリード	61810	ベルジピンLA	63200	ホリゾン
55210	フルメトロン	58940	フロレナール	M0743	ベルソムラ	64171	ポリフル
56428	ブレオ	へ		61820	ベルタゾン(向精神薬)	64200	ポリミキシンB
56430	ブレオマイシン	59576	ベイスン	59400	ヘルベッサー	63700	ボルタレン
55229	フレカイニド	02710	ベイスンOD	59402	ヘルベッサー R	63705	ボルタレンSR
39732	ブレガバリン	35459	ページニオ	59403	ヘルベッサー Rカプセル	63756	ボルタレンSRカプセル
57500	ブレコール	M3241	ベオーバ	61835	ベルマックス	63752	ボルタレンザザイ
57507	ブレコールジソクセイカプセル	61060	ベオン	61900	ベレックス	63707	ボルタレンサボ
57696	ブレタール	61063	ベオンジョウ	61902	ベレックスカリュウ	63750	ボルタレンザヤク
57697	ブレタールジョウ	01147	ベガシス	60750	ヘロテック	M5677	ボルタレンジョウ
14238	ブレタールOD	M1656	ベクティビックス	61999	ベングッド	63207	ホルマリン
56450	ブレディニン	59750	ベサコリン	60890	ベンコール	63900	ボンゾール
57800	ブレドニソロン	59751	ベサコリンサン	60900	ベンザエース	64500	ボンタール
57801	ブレドニソロンジョウ	59760	ベザトール	60909	ベンザエースA	64501	ボンタールカプセル
57900	ブレドニン	59770	ベザトールSR	60920	ベンザブロック	64502	ボンタールサン
58000	ブレマリン	59771	ベサノイド	60936	ベンザブロックIP	64510	ボンタールシロップ
07293	ブレミネント	N1577	ベザフィブラートSR	60934	ベンザブロックIPジョウ	マ	
18141	プロカインエンサンエン	06236	ベシケア	02656	ベンザブロックL	64600	マーカイン
26325	プロカテロールエンサンエン	59847	ベタセレミン	61000	ベンザリン	64602	マーカインチュウ
58215	プログラフ	17126	ベタニス	60935	ベンズプロマロン	64790	マーズレン
58230	プロゲステロン	59865	ベタフェロン	62030	ベントサ	64800	マーズレンS
58235	プロゲストン	59870	ベタマック	27693	ベントサカリュウ	64801	マーズレンSカリュウ
58280	プロサイリン	59876	ベタメタゾン	62032	ベントサジョウ	64807	マーベロン
00931	プロジフ	59881	ベック	N0163	ベントサチュウチョウエキ	64880	マーロックス
58294	プロスコープ	60030	ベナンバックス	62100	ベントジン(向精神薬)	64964	マイスタン
58300	プロスター	07353	ベニジピンエンサンエン	62200	ベントシリン	64959	マイスリー
58301	プロスターL	61250	ベニシリン	62204	ベントシリンチュウシャヤク	65050	マイテラーゼ
38546	プロスタグランジン	61280	ベニシリンG	62202	ベントシリンチュウシャヨウ	65100	マイトマイシン
58380	プロスタルモンF	61300	ベニシリンGカリウム	ホ		65101	マイトマイシンC
58385	プロスタンディン	60049	ベニロン-I	63540	ボウイオウギトウ	33440	マヴィレット
58403	プロセキソール	M3999	ベネクレクタ	63531	ボウフウツウショウサン	65107	マオウトウ
55240	フロセミド	60100	ベネシッド	62550	ホクナリン	65108	マオウブシサイシントウ
58440	フロタミン	60149	ベネット	62549	ホクナリンテープ	29858	マキサカルシトール
58450	フロチアデン	60200	ベネトリン	63541	ボグリボース	65117	マキシビーム
56541	プロチゾラム	59120	ヘバリン(PNK容器)	25962	ボシュリフ	65143	マキョウカンセキトウ
56544	プロチンエキ	59143	ヘバリンNA(PNK容器)	63915	ボステリザン	65126	マグコロール
56570	プロチンコデイン	59124	ヘバリンカルシウム(PNK容器)	M1509	ホストイン	M1164	マクサルト
56548	プロチンコデインエキ	59125	ヘバリンナトリウム(PNK容器)	62571	ホスホマイシンカルシウム	10587	マグセント
58463	プロテカジン	59126	ヘバリンナトリウムチュウシャエキ(PNK容器)	62575	ホスホマイシンナトリウム	01035	マグネスコープ
58493	プロナーゼ	60550	ヘブシド	62700	ホスミシン	65130	マグネビスト
56552	プロニカ	60551	ヘブシドS	62750	ホスミシンDS	95821	マグミット
58495	プロノン	60555	ヘブリコール	62800	ホスミシンS	65157	マクログール
58497	プロバジール	61360	ヘブレオ	62801	ホスミシンSジョウチュウヨウ	65134	マシニングガン
56610	プロプレス	N0161	ヘボタスチンベシルサンエン	62701	ホスミシンジョウ	65340	マックターゼ
56611	プロプレスジョウ	61380	ヘミラストン	62720	ホスミシンドライシロップ	65355	マドバー
58618	プロベシア	13902	ヘミロック(PNK容器)	63527	ボスミン	01158	マリキナカリュウ
58600	プロヘパール	59156	ヘムテツ	12353	ホスレノール	31270	マリゼブ
58615	プロベラ	M2424	ヘムリディ	62810	ホチュウエキキトウ	65680	マルチビタミン
55300	フロベン	13750	ヘメトレキセド	06055	ボトレンド	65673	マルチミネラル
58620	プロボフォール	59150	ヘモクロン	63634	ボナロン	65743	マレインサンクロールフェニラミン

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘバリン系薬剤

薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名	薬剤コード	薬剤名
65756	マンダコウソ		メ	69815	モービックカプセル	71110	ラスデット
65752	マンニットール	67014	メiakクト	69806	モーラステープ	71112	ラスデットチュウ
	ミ	67012	メiakクトDS	22169	モサブリドクエンサンエン	37743	ラズビク
65800	ミオナール	02176	メiakクトMS	69840	モダシン	38826	ラツーダ
65802	ミオナールジョウ	06809	メiakクトMSジョウ	69843	モダシンジョウチュウヨウ	71169	ラックビー
65920	ミオリラーウ	67011	メiakクトジョウ	15719	モディオダール(向精神薬)	71280	ラニチジン
N0257	ミカファンギン	67047	メiakクトショウニヨウサイリウ	M3967	モンテルカスト	71300	ラニラビッド
15243	ミカムロ	94607	メイジホホエミ		ヤ	15365	ラビアクタ
65923	ミカルディス	67020	メイセリン	15728	ヤーズ	00465	ラフチジン
01584	ミカルディスカプセル	67021	メイラックス	34959	ヤーボイ	06143	ラベブラゾール
65992	ミグシス	67022	メイロン	70049	ヤクザイA	15318	ラベブラゾールナトリウム
31880	ミグリトール	67025	メインテート	94651	ヤクザイメイフメイ	71390	ラボナ(向精神薬)
66100	ミケラン	67030	メキシチール	70082	ヤスヤノコウス	71395	ラボナール
02452	ミコシスト	67040	メキシチールカプセル		ユ	10639	ラミクタール
10564	ミコブティン	09716	メキシレチンエンサンエン	70265	ユーエフティ	10798	ラミクタールジョウ
13011	ミコンビAP	67060	メキタジン	70268	ユーエフティ E	71435	ラミシール
18874	ミコンビBP	67080	メコバラミン	70270	ユーエフティ Eカリュウ	71436	ラミシールジョウ
66157	ミダゾラム	67130	メサラジン	70267	ユーエフティカプセル	71600	ラリキシン
31044	ミチグリニド	23785	メサラジンジョウ	14676	ユーシオン	29747	ラロキシフェンエンサンエン
66192	ミドリン	38178	メサラジンチュウチョウ	07195	ユーシオンS	N0290	ランオウ
66300	ミニプレス	M1932	メサラジンショウヨウジョウ	00729	ユーセル	M1897	ランソプラゾール
22118	ミニリンメルト	67160	メジコン	70400	ユーロジン	M3709	ランソプラゾールOD
37254	ミネプロ	67161	メジコンサン	70500	ユナシン	71650	ランダ
66460	ミノサイクリン	00749	メジコンジョウ	70501	ユナシンS	00904	ランタス
22684	ミノサイクリンカプセル	67170	メスチノン	70502	ユナシン-S	71651	ランダチュウ
N0258	ミノサイクリンカリュウ	67200	メソトレキセート	70515	ユナシンSジョウチュウヨウ	71700	ランツジール
25160	ミノサイクリンジョウ	20273	メタクト	70516	ユナシンSチュウ	71749	ランデル
12062	ミノサイクリンテンキジョウチュウヨウ	67600	メタルカプターゼ	70513	ユナシンサイリウ	71750	ランデルジョウ
34496	ミノドロンサン	67650	メチエフ(覚醒剤原料)※	70504	ユナシンジョウ	71770	ランドセン
66500	ミノマイシン	67700	メチコパール	70503	ユナシンチュウシャヤク	71860	ランバク
66510	ミノマイシンカプセル	67721	メチルエルゴメトリン	07480	ユナスピン	71879	ランユ
66513	ミノマイシンカリュウ	35473	メトアナ	15999	ユニシアHD		リ
66524	ミノマイシンジョウ	15751	メトグルコ	70549	ユニフィル	30632	リアルダ
66514	ミノマイシンテンキジョウチュウヨウ	68150	メトクロブラミド	70548	ユニフィルジョウ	71900	リーゼ
N1240	ミヤBM	68248	メトトレキサート	70581	ユビデカレノン	19516	リーダイ
66709	ミヤBMサイリウ	24069	メトホルミンエンサンエン	70600	ユベラ	72130	リーバウト
66710	ミラクリッド	M7433	メトホルミンエンサンエンMT	70705	ユベラN	72000	リーマス
66715	ミラドール	68350	メトリジン	70710	ユベラNソフト	72001	リーマスジョウ
19612	ミラベックス	02167	メトレート	70720	ユベラNソフトカプセル	72180	リウマトレックス
66730	ミリダシン	68370	メドロール	70700	ユベラニコチネート	72181	リウマトレックスカプセル
66750	ミルク	68550	メネシット	05806	ユリーフ	23906	リオナ
16862	ミルセラ	68745	メパロチン	28846	ユリーフOD	16846	リオベル
12220	ミルタザピン	68746	メパロチンジョウ	38359	ユリス	72190	リオレサール
66754	ミルナシبران	M2927	メビバカインエンサンエン	70800	ユリノーム	11891	リカルボン
66763	ミルリーラ	68900	メブチン	70783	ユリノームジョウ	17301	リクシアナ
	ム	68905	メブチンミニ		ヨ	33356	リクシアナOD
66778	ムコサール	16144	メモリー	70816	ヨウカカリウム	72300	リザベン
66785	ムコサールL	36059	メマンチン	97922	ヨウカカリウムガン	72305	リザベンカプセル
66775	ムコスタ	69200	メリスロン	95162	ヨウサン	72311	リシノプリル
M5241	ムコスタジョウ	69201	メリスロンジョウ	70803	ヨーデルS	72316	リスバダール
66780	ムコソルバン	69400	メルカゾール	70905	ヨクイニン	02081	リスバダールジョウ
97976	ムコソルバンDS	69401	メルカゾールジョウ		ラ	01737	リスバダールナイヨウエキ
66782	ムコソルバンL	69600	メレックス	29571	ライソデグ	72420	リスベリドン
01797	ムコソルバンLカプセル	69701	メロキシカム	70950	ラキソベロン	72390	リスミー
66797	ムコソルバンジョウ	69707	メロベネム	70953	ラクツロース	72395	リズミック
66800	ムコダイン	69704	メロベン	M8217	ラゲブリオ	72396	リズミックジョウ
66904	ムコダインDS	69706	メロベンテンキキョウ	16530	ラコールNF	72400	リスモダン
66850	ムコダインサイリウ	69750	メンドン	71034	ラジカット	72402	リスモダンR
66801	ムコダインジョウ		モ	71000	ラシックス	23370	リセドロン
66803	ムコダインシロップ	69810	モーバー	71002	ラシックスジョウ	72530	リゾチーム
66950	ムスイカフェイン	69814	モービック	12833	ラジレス	72600	リタリン(向精神薬)

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤

細胞性免疫検査

DLST薬剤リスト

薬剤コード	薬剤名
72635	リツキサン
96008	リツキシマブ
72650	リックンシトウ
72680	リドカイン
16567	リトドリンエンサンエン
03778	リネゾリド
19138	リバクレオン
72867	リバロ
22189	リバロOD
72866	リバロジョウ
72885	リビオドール
03543	リビディル
72884	リビトール
72879	リビトールジョウ
72900	リファジン
72901	リファジンカプセル
73000	リファンピシン
73008	リファンピシンカプセル
30872	リフキシマ
73010	リブル
12488	リフレックス
M6695	リベルサス
73200	リボトリール
73210	リボバス
73213	リボバスジョウ
73450	リマチル
73453	リマチルジョウ
21187	リマブロスタアルファデクス
08464	リマルモン
34663	リムパーザ
73480	リュウカクサン
73500	リュウサンアトロピン
73550	リュウサンアミカシン
73600	リュウサンストレプトマイシン
M8438	リュウサンニッケル
73670	リュエブリン
13172	リュエプロレリンサクサンエン
14076	リリカ
73770	リルテック
N0303	リルマザホンエンサンエン
73780	リレンザ
39240	リンヴォック
73789	リングルアイビージェルカプセル
73800	リンコシン
73808	リンコデ(麻薬)
73860	リンサンコデイン(麻薬)
73857	リンサンコデインサン(麻薬)
73851	リンサンジヒドロコデイン(麻薬)
73880	リンサンピリドキサル
31780	リンゼス
73900	リンデロン
74100	リンラキサー
ル	
74152	ルーラン
74155	ルゴール
74300	ルジオミール
74319	ルテイン
74325	ルテオニン
74400	ルネトロン
74436	ルブラック
74471	ルフレン

薬剤コード	薬剤名
74440	ルボック
74477	ルボックス
74600	ルリッド
74650	ルル
74755	ルルA
74651	ルルAゴールド
74756	ルルAジョウ
レ	
34264	レキサルティ
75100	レキソタン
08869	レキップ
75107	レギュラーミルク
16345	レクサプロ
75130	レクチゾール
75131	レクチゾールジョウ
22026	レグテクト
09361	レグバラ
15104	レザルタスHD
75170	レシカルボン
75300	レジン
75315	レスタス
75320	レスタミン
75325	レスタミンコーワ
75450	レスプレッ
75500	レスミット
75520	レスリン
75538	レダコート
75540	レダマイシン
27302	レトロゾール
75650	レトロビル
95912	レナジェル
95965	レナジェルジョウ
75675	レニベース
75677	レニベースジョウ
75714	レバミビド
12139	レバミビドジョウ
14209	レブラミド
75900	レベタン(向精神薬)
16037	レベチラセタム
75885	レベトール
75890	レベニン
37825	レボセチリジンエンサンエン
75980	レボチロキシンNA
75982	レボチロキシンナトリウム
76000	レボトミン
76005	レボフロキサシン
08133	レボホリナート
76010	レボメフロマジン
14975	レボレード
76020	レミカット
00986	レミケード
12522	レミッチ
12798	レメロン
76140	レリフェン
76142	レルボックス
76165	レンドルミン
01278	レンドルミンD
27029	レンビマ
ロ	
76280	ロイケリン
76282	ロイケリンサン

薬剤コード	薬剤名
76290	ロイコポリン
76350	ロイコン
76400	ロイナーゼ
76200	ローコール
76201	ローコールカプセル
76230	ローヘバ(PNK容器)
76253	ローヤルゼリー
76464	ロカイン
76465	ロカルトロール
76467	ロキソニン
76468	ロキソニンジョウ
M6506	ロキソプロフェン
76477	ロキソプロフェンNA
76486	ロキソプロフェンナトリウム
76478	ロキソマリン
76474	ロクシンガン
12343	ロクロニウム
40128	ロケルマ
76498	ロコイド
76500	ロコルナール
19474	ロサルタンK
76503	ロサルタンカリウム
24715	ロサルヒド
36807	ロスーゼット
19595	ロスバスタチン
76515	ロセフィン
76514	ロセフィンジョウチュウヨウ
14443	ロゼレム
76550	ロドピン
20716	ロトリガ
10209	ロナセン
76750	ロビオン
76800	ロヒブノール(向精神薬)
M1825	ロフラゼブサンエチル
76850	ロブレゾール
76860	ロベミン
76862	ロベミンカプセル
17934	ロベラミド
76940	ロラゼパム
17513	ロラタジン
76945	ロラメット
76965	ロルカム
76968	ロルカムジョウ
76980	ロレルコ
76988	ロンゲス
25057	ロンサーフ
ワ	
77000	ワーファリン
01033	ワイスタール
77080	ワイテンス
77100	ワイドシリン
77101	ワイドシリンサイリュウ
77200	ワイバックス
77600	ワソラン
77670	ワルファリン
77672	ワルファリンK
77650	ワンアルファ
M0908	ワントラム

麻薬

覚せい剤(原料)

向精神薬

ヘパリン系薬剤

薬剤コード	薬剤名
アルファベット	
80050	ABPC
80160	AMPC
80250	ATP
80259	AU
80353	BCG
80375	CAM
80400	CCL
80462	CDDP
80800	CEZ
81350	CMZ
81354	CO
81420	CPT-11
81430	CR
81500	CTX
81774	DL-エンサンメチルエフェドリン(覚醒剤原料)※
N0254	DL-クロルフェニラミンマレインサンエン
81785	DL-マレインサンククロルフェニラミン
11047	DL-メチルエフェドリンエンサンエン(覚醒剤原料)※
81782	DPT
16984	D-クロルフェニラミンマレインサンエン
95105	D-ソルビトール
81753	D-マレインサンククロルフェニラミン
34363	D-マンニトール
81758	D-マンニトール
81810	EAC
81850	EB
82130	EM
82150	EPA
82163	EPL
82170	EVE
82200	FOY
82292	HBワクチン
82298	HG
82360	INH
82623	LVFX
82500	L-ケフレックス
82675	MA-1
82989	MRA
00396	MRAチュウ(アクテムラ)
82978	MSコンチン(麻薬)
83000	MTX
01607	NAF
83175	NEソフト
83165	NI
83167	NISO4
83248	PA
83247	PAジョウ
83550	PIPC
83600	PL
13245	PLハイゴウカリユウ
83860	PZA
83900	RFP
83921	RTX
02413	SG
13756	SGハイゴウカリユウ
84100	SM
83980	SMサン
84134	SPトローチ
84340	TH
84481	TS-1

薬剤コード	薬剤名
84480	TS-1カプセル
84620	UFT
84625	UFT-E
84626	UFT-Eカリユウ
84621	UFTカプセル
84623	UFTカリユウ
84690	ZN

薬剤コード	薬剤名
数字	
84707	0.5%マーカイン
84810	1%カルボカイン
84828	1%キシロカイン
84835	1%キシロカインポリアンブ
84797	1%ディブリバン
88116	10%フェノバル
84842	2%キシロカイン
84855	2%キシロカインEカートリッジ
84858	2%キシロカインカートリッジ
01400	2%キシロカインポリアンブ
84833	2%シカヨウキシロカイン
84882	3%シタネストオクタプレシン
87000	5-FU

※10%まで非覚醒剤原料

細胞性免疫検査

抗原特異的CTL

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
抗原特異的CTL		曜日指定 サイトメガロウイルス 特異的CTL解析 (HLA-A*0201) 5L501-0000-019-662	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5		フローサイト メトリー	(%)	受託可能日は月～金曜日です。 本検査はHLA-Aの遺伝子型が*0201 の場合のみ検査対象となります。そ れ以外の遺伝子型は検査できません。 &1
		曜日指定 サイトメガロウイルス 特異的CTL解析 (HLA-A*2402) 5L502-0000-019-662	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5	室温	3~5		フローサイト メトリー	(%)	受託可能日は月～金曜日です。 本検査はHLA-Aの遺伝子型が*2402 の場合のみ検査対象となります。そ れ以外の遺伝子型は検査できません。 &1

「テトラマー」は株式会社エスアールエルの日本国における登録商標です。

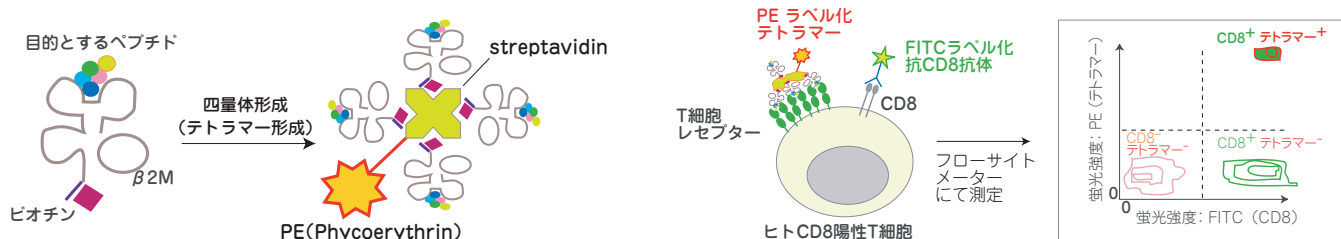
テトラマー検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

テトラマー法について

テトラマー法では、まずMHC(major histocompatibility complex：主要組織適合遺伝子複合体)分子と目的とする抗原ペプチドを結合し、ビオチン化MHC class I /peptide complexの単量体化したものを調製します。この単量体はそのままでは目的の細胞との結合力が弱くなることから、PE(Phycoerythrin)ラベルされたstreptavidinと結合させ、四量体化(テトラマー)とすることで結合力を高めています。(下左図)

このテトラマーを用いた検査は、ウイルス感染細胞、ガン細胞等の除去に重要な役割を担っている細胞傷害性T細胞(CTL：Cytotoxic T lymphocyte)の解析に非常に有用となります。従来のCTL解析は、リンパ球中に占めるCD8の割合で評価してきましたが、テトラマー法を用いることにより、抗原特異的CTLを定量的に解析することができます。このことは、感染症やガン患者の免疫状態をモニターする手段として免疫学的研究および、臨床上非常に有用となります。(下図)



Julian K Hickling, Measuring human T-lymphocyte function, Experimental Reviews of Molecular Medicine. 13, 1998, copyright(C)Cambridge University Press, reproduced with permission



	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
先天異常の染色体検査	3910 7 012094901	G-Banding 8B200-0000-019-403	血液 各 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~16	2477 + 397 ※2	G-band		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見などをご記入ください。 新生児採血において、必要検体量に満たない場合はご相談ください。 ※1
	3911 6 01321A101	倫理指針対象 曜日指定 C-Banding 8B200-0000-019-406						C-band		
	3912 5 01322A101	染色体 Q-Banding 8B200-0000-019-404						Q-band		
	3914 3 01324A101	高精度分染法 8B200-0000-019-417						高精度分染法		
	4327 4 018955901	倫理指針対象 曜日指定 染色体SKY(先天異常) 8B200-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	25~29	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見などをご記入ください。 新生児採血において、必要検体量に満たない場合はご相談ください。 ※1
	3995 4 01211A101	倫理指針対象 曜日指定 脆弱X染色体 (脆弱X症候群) 8B260-0000-019-401	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	14~16	2477 + 397 ※2	G-bandによる 脆弱X染色体 の検出		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月、火、金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見などをご記入ください。 ※1
	A230 5 018595901	倫理指針対象 曜日指定 1染色体 (1p36欠失症候群) 8B315-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	8~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見などをご記入ください。 新生児採血において、必要検体量に満たない場合はご相談ください。 ※1
		倫理指針対象 曜日指定 4染色体 (ウォルフ・ヒルシュホーン症候群) 8B343-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見などをご記入ください。 新生児採血において、必要検体量に満たない場合はご相談ください。 ※1
	0689 7 019085901	倫理指針対象 曜日指定 5染色体 (ソトス症候群) 8B355-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見などをご記入ください。 新生児採血において、必要検体量に満たない場合はご相談ください。 ※1
	7778 1 016325901	倫理指針対象 曜日指定 7染色体 (ウィリアムス症候群) 8B373-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 該当する疾患にて依頼ください。 本検査は疾患に直接関与する遺伝子を検出する検査ではなく、責任領域の欠失の有無を判断する検査です。 新生児採血において、必要検体量に満たない場合はご相談ください。 ※1
染色体検査	3907 1 020745901	倫理指針対象 曜日指定 13染色体 8B430-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~9	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 新生児採血において、必要検体量に満たない場合はご相談ください。 ※1
		倫理指針対象 曜日指定 13染色体 (先天性網膜芽細胞腫RB1) 8B433-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見などをご記入ください。 新生児採血において、必要検体量に満たない場合はご相談ください。 ※1

① 分染法を行った場合は、分染法加算として、397点を所定点数に加算する。染色体検査の分染法加算については、その種類、方法にかかわらず、1回の算定とする。
② FISH法を用いた場合については、患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫又は多発性骨髄腫の診断の目的で検査を行った場合に、患者の診断の確定までの間に3回に限り算定する。

倫理指針対象 (⑤ページ参照)

染色体検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

[3914 3]染色体 高精度分染法の留意事項

1. 臨床診断名および染色体の指定部位は必ずご記入ください。
2. 数的異常が疑われる疾患は検査の特性上受託できません。
3. 臨床診断名および部位を指定できない場合は、G-bandの検査から行ってください。
4. 形態検査での判定可能なレベルおよび文献的に特定の染色体の部位に異常が報告されている疾患が対象となります。

染色体検査

先天異常の染色体検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
先天異常の染色体検査	3585 9 015075901	倫理指針対象 曜日指定 15染色体 (ブリーダーウィリ症候群) 8B453-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	8~10	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 片親性ダイソミーの検索はできません。 受託可能日は月～金曜日です。 該当する疾患名にてご依頼ください。 本検査は疾患に直接関与する遺伝子 を検出する検査ではなく、責任領域の 欠失の有無を判断する検査です。 新生児採血において、必要検体量に 満たない場合はご相談ください。 &1
	3586 8 015085901	倫理指針対象 曜日指定 15染色体 (アンジェルマン症候群) 8B454-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	8~10	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 該当する疾患名にてご依頼ください。 本検査は疾患に直接関与する遺伝子 を検出する検査ではなく、責任領域の 欠失の有無を判断する検査です。 新生児採血において、必要検体量に 満たない場合はご相談ください。 &1
	3587 7 015095901	倫理指針対象 曜日指定 17染色体 (ミラーディカー症候群) 8B473-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~10	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 該当する疾患名にてご依頼ください。 本検査は疾患に直接関与する遺伝子 を検出する検査ではなく、責任領域 の欠失の有無を判断する検査です。 新生児採血において、必要検体量に 満たない場合はご相談ください。 &1
	3908 0 020765901	倫理指針対象 曜日指定 18染色体 8B480-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~9	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 新生児採血において、必要検体量 に満たない場合はご相談ください。 &1
	3909 9 020785901	倫理指針対象 曜日指定 21染色体 8B510-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~9	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 新生児採血において、必要検体量 に満たない場合はご相談ください。 &1
	7846 5 016125901	倫理指針対象 曜日指定 22染色体(22q11欠失) (CATCH22) conotruncal anomaly face症候群 velo-cardio-facial症候群 DiGeorge症候群 8B523-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	8~10	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 該当する疾患名にてご依頼ください。 本検査は疾患に直接関与する遺伝子 を検出する検査ではなく、責任領域 の欠失の有無を判断する検査です。 新生児採血において、必要検体量に 満たない場合はご相談ください。 &1
	3879 3 020805901	倫理指針対象 曜日指定 X染色体 8B530-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~9	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 新生児採血において、必要検体量に 満たない場合はご相談ください。 &1
		倫理指針対象 曜日指定 X染色体 (ステロイドサルファターゼ遺伝子STS) 8B531-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~10	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。依頼 書に臨床診断名および臨床所見など をご記入ください。 新生児採血において、必要検体量に 満たない場合はご相談ください。 &1
	3880 1 020815901	倫理指針対象 曜日指定 Y染色体 8B540-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~9	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 新生児採血において、必要検体量に 満たない場合はご相談ください。 &1
	4326 5 018915901	倫理指針対象 曜日指定 Y染色体 (睾丸決定遺伝子SRY) 8B543-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~10	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見 などをご記入ください。 新生児採血において、必要検体量に 満たない場合はご相談ください。 &1
		倫理指針対象 曜日指定 X,Y染色体 (身長関連遺伝子SHOX) 8B551-0000-019-841	血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~10	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見 などをご記入ください。 新生児採血において、必要検体量に 満たない場合はご相談ください。 &1

① FISH法を用いた場合については、患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫又は多発性骨髄腫の診断の目的で検査を行った場合に、患者の診断の確定までの間に3回に限り算定する。

倫理指針対象 (5) ページ参照

染色体検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

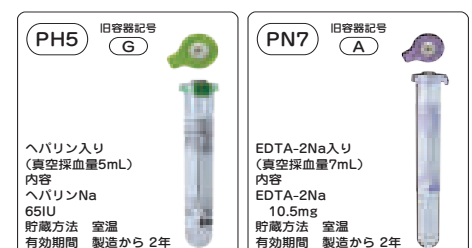
項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
先天異常の染色体検査	倫理指針対象 マイクロアレイ 染色体検査 (染色体構造変異解析)	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (7日)	7~16	①② ③④ 8000 ※2	アレイ CGH法		凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。 依頼書に性別・臨床診断名および 臨床所見などをご記入ください。 新生児採血において、必要検体量 に満たない場合はご相談ください。
	8B200-0000-019-961								※1

- ①「染色体構造変異解析」は、薬事承認を得ている体外診断用医薬品を用いて、アレイCGH法により染色体ゲノムDNAのコピー数変化及びヘテロ接合性の喪失を測定した場合に、患者1人につき1回に限り算定する。
- ②本検査は、12q14欠失症候群、15q13.3欠失症候群、15q24反復性微細欠失症候群、15q26過成長症候群、16p11.2重複症候群、16p11.2-p12.2欠失症候群、16p11.2-p12.2重複症候群、16p13.11反復性微細欠失症候群、16p13.11反復性微細重複症候群、17q21.31反復性微細欠失症候群、1p36欠失症候群、1q21.1反復性微細欠失症候群、1q21.1反復性微細重複症候群、1q21.1領域血小板減少-橋骨欠損症候群、22q11.2欠失症候群、22q11重複症候群、22q11.2遠位欠失症候群、22q13欠失症候群(フェラン・マクダーミド症候群)、2p15-16.1欠失症候群、2p21欠失症候群、2q33.1欠失症候群、2q37モノソミー、3q29欠失症候群、3q29重複症候群、7q11.23重複症候群、8p23.1微細欠失症候群、8p23.1重複症候群、8q21.11欠失症候群、9q34欠失症候群、アンジェルマン症候群、ATR-16症候群、22qテトラソミー症候群(キャットアイ症候群)、シャルコー・マリー・トウス病、5p-症候群、遺伝性脆弱性ニューロパチー、レリー・ワイル症候群、ミラー・ディカー症候群、NF1欠失症候群、ベリツェウス・メルツバッハ病(先天性大脳白質形成不全症)、ボトキ・ルプスキ症候群、ボトキ・シェイファー症候群、プラダー・ウィリ症候群、腎嚢胞-糖尿病症候群、16p12.1反復性微細欠失症候群、ルビンシュタイン・テイビ症候群、スミス・マギニス症候群、ソトス症候群、裂手/裂足奇形1、ステロイドスルファターゼ欠損症、WAGR症候群、ウィリアムズ症候群、ウォルフ・ヒルシュホーン症候群、Xp11.22連鎖性知的障害、Xp11.22-p11.23重複症候群、MECP2重複症候群、ベックウィズ・ウィーデマン症候群、シルバー・ラッセル症候群、第14番染色体父親性ダイソミー症候群(鏡-緒方症候群)又は14番染色体母親性ダイソミーおよび類縁疾患のいずれかを疑う患者に対して実施すること。
- ③本検査を実施する場合は、関連学会が定める指針を遵守し、本検査を実施する医学的な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- ④別に厚生労働大臣が定める施設基準を満たす保険医療機関において行われる場合に算定する。

倫理指針対象 (国ページ参照)

染色体検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。



染色体検査

白血病や悪性リンパ腫の染色体検査

染色体検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
白血病や悪性リンパ腫の染色体検査		曜日指定 染色体 G-Banding	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	8~14	① 2477 + 397 ※2	G-band		凍結保存は避けてください。 受託可能日は(血液、骨髓液共に)月～金曜日です。 該当する疾患名にてご依頼ください。 対象疾患名は下記をご参照ください。 判定に時間を要する場合は、所要日数が20日前後となります。 &1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	4328 3 018965901	曜日指定 染色体SKY(血液疾患)	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	25~29	② 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 依頼書に臨床診断名および臨床所見などをご記入ください。 &1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
		曜日指定 TCF3-PBX1 t(1;19)転座	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	② 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 &1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
		曜日指定 CKS1B 1q21 増幅	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	② 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 &1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	0724 7 017035928	曜日指定 ALK 2p23転座	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	② 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 &1
			骨髓液 1.0	PH5						
		曜日指定 GATA2-MECOM inv(3)逆位,t(3;3)転座	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	② 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 &1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
		曜日指定 BCL6 3q27転座	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	② 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 &1
			骨髓液 1.0	PH5						

①分染法を行った場合は、分染法加算として、397点を所定点数に加算する。染色体検査の分染法加算については、その種類、方法にかかわらず、1回の算定とする。
②FISH法を用いた場合については、患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫又は多発性骨髄腫の診断の目的で検査を行った場合に、患者の診断の確定までの間に3回に限り算定する。

染色体検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

血液疾患染色体検査(G-Banding)留意事項

- G-bandingの判定には、性別情報が必要なため、性別を必ず依頼書にご記入ください。
また骨髄移植後にG-bandingをご依頼の場合にも、ドナー性別を必ず依頼書にご記入ください。
- 骨髄染色体検査には有核細胞1000万個(1×10⁷個)が必要です。この量を充分満たすように骨髓液を無菌的に採取してください。
(これは骨髓の有核細胞数が10万個/μLの場合の骨髓液0.1mL、1万個/μLの場合の骨髓液1mLに相当します)
- ステロイド系薬剤、アルキル化薬剤、および代謝拮抗薬剤の投与中は染色体分裂像が得られず検査ができない場合があります。
- 末梢血液でご依頼の際、血中に幼若細胞(blast)の出現がみられない場合、また寛解期患者の血液では染色体分裂像が得られず検査ができない場合があります。

血液疾患染色体G-Banding対象疾患名

・該当する疾患名にてご依頼ください。

Myeloid系		Lymphoid系	
項目コード・ 新項目コード	疾患名	項目コード・ 新項目コード	疾患名
3751 4-014204901	MDS(骨髄異形成症候群) 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403	3756 9-014354901	ALL(急性リンパ性白血病) 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403
	MPN(骨髄増殖性腫瘍) 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403		CLL(慢性リンパ性白血病) 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403
3752 3-014214901	AML(急性骨髄性白血病) 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403	3757 8-014364901	ML(悪性リンパ腫) 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403
	BMT(骨髄移植)ドナー男性 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403		MM/PL(多発性骨髄腫/形質細胞性白血病) 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403
3753 2-014224999	BMT(骨髄移植)ドナー女性 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403	3758 7-014414901	その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403
	その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403		その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403
A369 2-01855C128	その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403	3759 6-014424901	その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403
	その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403		その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403
A370 0-01855C101	その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403	3760 4-014454901	その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403
	その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403		その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403
A372 8-01855C528	その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403		
	その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403		
A373 7-01855C501	その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403		
	その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403		
3755 0-014294901	その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403		
	その他 8B220-0000-046-403 8B220-0000-019-403		

染色体検査

白血病や悪性リンパ腫の染色体検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
白 血 病 や 悪 性 リ ン パ 腫 の 染 色 体 検 査	K499 8 019485928	曜日指定 IGH-FGFR3 t(4;14)転座 8B344-0000-046-841 8B344-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 ※1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	K302 5 020335928	曜日指定 FIP1L1-PDGFR del(4)長腕欠失(4q12欠失) 8B345-0000-046-841 8B345-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 ※1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	7876 2 015215928	曜日指定 CSF1R del(5)長腕欠失 8B354-0000-046-841 8B354-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 CSF1レセプターを指標として5q- を検出します。 ※1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
		曜日指定 EGR1 del(5)長腕欠失 8B356-0000-046-841 8B356-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 ※1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
		曜日指定 PDGFRB 5q32転座 8B357-0000-046-841 8B357-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 ※1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	K401 5 021055928	曜日指定 D7S486 del(7)長腕欠失/ 7染色体(7モノソミー) 8B374-0000-046-841 8B374-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 ※1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	7849 2 016695928	曜日指定 8染色体 8B380-0000-046-841 8B380-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 ※1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
		曜日指定 MYC 8q24転座 8B383-0000-220-841 8B383-0000-046-841 8B383-0000-019-841	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 ※1
			骨髓液 1.0	H00						
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	K125 2 016945928	曜日指定 IGH-MYC t(8;14)転座 8B384-0000-220-841 8B384-0000-046-841 8B384-0000-019-841	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	① 2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 ※1
			骨髓液 1.0	H00						
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						

① FISH法を用いた場合については、患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫又は多発性骨髄腫の診断の目的で検査を行った場合に、患者の診断の確定までの間に3回に限り算定する。

染色体検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

染色体検査

染色体検査

白血病や悪性リンパ腫の染色体検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
白血病や悪性リンパ腫の染色体検査		曜日指定 RUNX1-RUNX1T1 (AML1-MTG8) t(8;21)転座 8B385-0000-046-841 8B385-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
		曜日指定 FGFR1 8p11.2転座 8B386-0000-046-841 8B386-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	7867 2 015015901	曜日指定 BCR-ABL1 t(9;22)転座 8B395-0000-046-841 8B395-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	4185 2 017065901	曜日指定 末梢血好中球 BCR-ABL1 t(9;22)転座 8B396-0000-019-841	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 血液は採血後、速やかにご提出ください。 採血後30時間以上経過した血液を使用した場合、細胞の形態的变化により、判定に影響がでる場合がありますため検査できません。 &1
		曜日指定 KMT2A(MLL) 11q23.3転座 8B413-0000-046-841 8B413-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	1339 4 016815928	曜日指定 IGH-CCND1 (IGH-BCL1) t(11;14)転座 8B414-0000-220-841 8B414-0000-046-841 8B414-0000-019-841	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
			骨髓液 1.0							
	E947 6 017095901	曜日指定 NUP98 11p15転座 8B415-0000-046-841 8B415-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	E876 5 01973A166	曜日指定 BIRC3-MALT1 (API2-MALT1) t(11;18)転座 8B416-0000-220-841 8B416-0000-046-841 8B416-0000-019-841	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。胃生検材料の場合は、5個以上をH00の容器1本に入れてご提出ください。 &1
			骨髓液 1.0							
		曜日指定 ATM del(11)長腕欠失 8B417-0000-046-841 8B417-0000-019-841	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 &1
			血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						

① FISH法を用いた場合については、患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫又は多発性骨髄腫の診断の目的で検査を行った場合に、患者の診断の確定までの間に3回に限り算定する。

染色体検査のご提出について

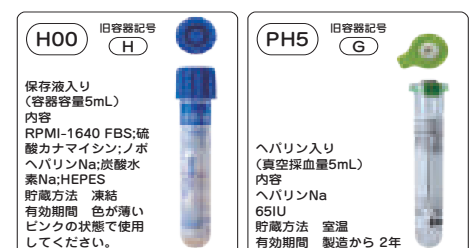
検体は採取後、当日中にご提出ください。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
白 血 病 や 悪 性 リ ン パ 腫 の 染 色 体 検 査	7850 0 016705928	曜日指定 12染色体	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。
		8B420-0000-046-841 8B420-0000-019-841	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
										&1
		曜日指定 ETV6-RUNX1 (TEL-AML1) t(12;21)転座	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。
		8B424-0000-046-841 8B424-0000-019-841	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
										&1
	E785 6 021015928	曜日指定 D13S319 del(13)長腕欠失	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。
		8B434-0000-046-841 8B434-0000-019-841	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
										&1
	1789 5 016825928	曜日指定 IGH-BCL2 t(14;18)転座	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。
		8B443-0000-220-841 8B443-0000-046-841 8B443-0000-019-841	骨髓液 1.0 血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
										&1
	E875 6 019535928	曜日指定 IGH-MAF t(14;16)転座	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。
		8B445-0000-046-841 8B445-0000-019-841	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
										&1
	7790 7 015955928	曜日指定 PML-RARA t(15;17)転座	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。
		8B455-0000-046-841 8B455-0000-019-841	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
										&1
		曜日指定 CBFB inv(16)逆位、 t(16;16)転座	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。
		8B463-0000-046-841 8B463-0000-019-841	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
										&1
	K181 0 021025928	曜日指定 TP53 del(17)短腕欠失	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。
	A170 2 019065901	8B475-0000-046-841 8B475-0000-019-841	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
										&1
	2376 2 019735966	曜日指定 MALT1 18q21転座	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 胃生検材料の場合は、5個以上を H00の容器1本に入れてご提出くだ さい。
	B536 5 019735928	8B483-0000-220-841 8B483-0000-046-841 8B483-0000-019-841	骨髓液 1.0 血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
										&1
	B537 4 019735901									

① FISH法を用いた場合については、患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫又は多発性骨髄腫の診断の目的で検査を行った場合に、患者の診断の確定までの間に3回に限り算定する。

染色体検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。



染色体検査

白血病や悪性リンパ腫の染色体検査／固形腫瘍の染色体検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
白血病や悪性リンパ腫の染色体検査		曜日指定 BCL2 18q21転座	リンパ節 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。
			骨髓液 1.0							
		8B484-0000-220-841 8B484-0000-046-841 8B484-0000-019-841	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
		曜日指定 del(20)長腕欠失	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。
		8B503-0000-046-841 8B503-0000-019-841	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	7851 9 016715928	曜日指定 X染色体	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。
		8B530-0000-046-841 8B530-0000-019-841	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	7852 8 016735928	曜日指定 Y染色体	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。
		8B540-0000-046-841 8B540-0000-019-841	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
	7791 6 015965928	曜日指定 異性間BMT(骨髓移植) (X,Y染色体)	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。
		8B550-0000-046-841 8B550-0000-019-841	血液 5.0 (ヘパリン加)	PH5						
固形腫瘍の染色体検査		曜日指定 del(1)短腕欠失	組織 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 対象疾患は、脳腫瘍・神経芽細胞腫です。
		8B316-0000-070-841								&1
		曜日指定 MYCN 2p24増幅	組織 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 主な対象疾患は、神経芽細胞腫です。
		8B324-0000-070-841 8B324-0000-046-841	骨髓液 1.0							&1
		曜日指定 del(19)長腕欠失	組織 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 対象疾患は、脳腫瘍です。
		8B493-0000-070-841								&1
		曜日指定 EWSR1 22q12転座	組織 5×5×5mm	H00	冷蔵	7~10	2477 ※2	FISH		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月～金曜日です。 主な対象疾患は、ユーイング肉腫、P-NETです。
		8B524-0000-070-841 8B524-0000-046-841	骨髓液 1.0							&1

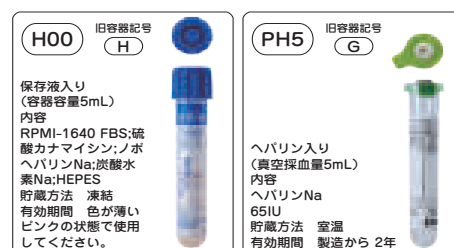
① FISH法を用いた場合については、患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫又は多発性骨髄腫の診断の目的で検査を行った場合に、患者の診断の確定までの間に3回に限り算定する。

染色体検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

染色体検査と関連する疾患

検査項目	主な対象疾患	主な用途
del(1)短腕欠失	脳腫瘍 神経芽細胞腫	治療感受性 予後推定
MYCN 2p24増幅	神経芽細胞腫	予後推定
del(19)長腕欠失	脳腫瘍	治療感受性
EWSR1 22q12転座	ユーイング肉腫 P-NET	



	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
造血器腫瘍遺伝子検査	K277 4 020216328	FLT3/ITD 変異解析	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	7~11	①② 2100 ※2	PCR	ITD変異認めず	凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 ※1
			血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5						
	8C071-9951-046-851 8C071-9951-019-851	FLT3変異解析 ITD/TKD	骨髓液 1.0	H00	冷蔵 (7日)	4~8	①③ 4200 ※2	PCR- キャピラリー 電気泳動法	陰性	凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 本検査は、EDTA-2Na入り採血管(PN5)によるご提出も可能です。 ※1
			血液 3.0 (ヘパリン加)	PH5						
	8C071-0000-046-955 8C071-0000-019-955	NPM1変異解析	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	10~16	①② 2100 ※2	PCR (リアルタイム PCR)	変異検出せず	凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 ※1
			血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5						
	8C565-0000-046-862 8C565-0000-019-862	KIT シーケンス解析 (白血病)	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	10~14		ダイレクト シーケンス法	変異を認めず	凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査はexon8、10、11、17を解析しています。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 ※1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	K278 3 020229128		骨髓液 1.0	H00	冷蔵					
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	8C059-9951-046-848 8C059-9951-019-848		骨髓液 1.0	H00	冷蔵					
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみに算定する。
- ②「造血器腫瘍遺伝子検査」は、PCR法、LCR法又はサザンブロット法により行い、月1回を限度として算定できる。
- ③「FLT3遺伝子検査」は、急性骨髄性白血病(急性前骨髄性白血病を除く。)の骨髓液又は末梢血を検体とし、PCR法及びキャピラリー電気泳動法により、抗悪性腫瘍剤による治療法の選択を目的として、FLT3遺伝子の縦列重複(ITD)変異及びチロシンキナーゼ(TKD)変異の評価を行った場合に、患者1人につき1回に限り算定する。

造血器腫瘍遺伝子検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

FLT3変異解析ITD/TKDの判定基準

FLT3変異解析		ITD SIGNAL RATIO	
		0.05未満	0.05以上
TKD SIGNAL RATIO	0.05未満	陰性	陽性
	0.05以上	陽性	陽性

H00旧容器記号
(H)

保存液入り
(容器容量5mL)
内容
RPMI-1640 FBS; 硫酸
カナマイシン; ノボ
ヘパリンNa; 炭酸水
素Na; HEPES
貯蔵方法 凍結
有効期間 色が薄い
ピンクの状態で使用
してください。



PN2 PN5旧容器記号
(C)

EDTA-2Na入り
(真空採血量
2mLまたは5mL)
内容
EDTA-2Na
3.0mgまたは
7.5mg
貯蔵方法 室温
有効期間 製造から 2年



PH5旧容器記号
(G)

ヘパリン入り
(真空採血量5mL)
内容
ヘパリンNa
65IU
貯蔵方法 室温
有効期間 製造から 2年



PN7旧容器記号
(A)

EDTA-2Na入り
(真空採血量7mL)
内容
EDTA-2Na
10.5mg
貯蔵方法 室温
有効期間 製造から 2年



PN5旧容器記号
(C)

EDTA-2Na入り
(真空採血量5mL)
内容
EDTA-2Na
7.5mg
貯蔵方法 室温
有効期間 製造から 2年



ARR旧容器記号
(r)

貯蔵方法 室温



遺伝子関連検査

造血器腫瘍遺伝子検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
造血器腫瘍遺伝子検査	JAK2V617F 遺伝子変異解析 8C491-9951-019-859	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (3日)	4~8	①② 2504 ※2	アレル特異的 定量PCR (リアルタイムPCR)	1.000%以下陰性	重凍 凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	MPN遺伝子 変異解析 8C494-9951-019-856	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (3日)	4~8		PCR	変異検出せず	重凍 凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 JAK2 遺伝子(V617F, exon12)、 MPL 遺伝子(W515L, W515K)、 CALR 遺伝子(type I~V)の変異 解析を目的としております。 検出対象としていない変異がある場合、PCR反応およびハイブリダイス反応に影響を及ぼす場合があります。そのため、このような変異を有する検体では正確な判定結果が得られない可能性があります。 &1
	MYD88遺伝子 変異解析	組織 125mg (5×5×5mm)	ARR	凍結	12~14		ダイレクト シーケンス法		重 本項目は、MYD88遺伝子L265を解析しています。 ホルマリンなどにより固定した組織はDNAが断片化している可能性があるため避けてください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	CD79B遺伝子 変異解析	組織 125mg (5×5×5mm)	ARR	凍結	12~14		ダイレクト シーケンス法		重 本項目は、CD79B遺伝子Y196を解析しています。 ホルマリンなどにより固定した組織はDNAが断片化している可能性があるため避けてください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1

①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。
②「JAK2遺伝子検査」は、骨髓液又は末梢血を検体とし、アレル特異的定量PCR法により、真性赤血球増加症、本態性血小板血症及び原発性骨髄線維症の診断補助を目的として、JAK2 V617F遺伝子変異割合を測定した場合に、患者1人につき1回に限り算定する。

造血器腫瘍遺伝子検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

MPN遺伝子変異解析の検出対象

報告対象	遺伝子	エクソン	検出対象変異 (アミノ酸)	報告対象	遺伝子	エクソン	検出対象変異 (アミノ酸)
JAK2 V617F	JAK2	14	V617F	MPL W515L	MPL	10	W515L
JAK2 exon12(※)		12	N542_E543del	MPL W515K			W515K
			E543_D544del	CALR type I	CALR	9	L367fs*46
			R541_E543>K	CALR type II			K385fs*47
			F537_K539>L	CALR type III			L367fs*48
			K539L (TT)	CALR type IV			K368fs*51
K539L (CT)		CALR type V	E364fs*46				

(※)検出対象毎には報告いたしません。

MYD88遺伝子変異解析、CD79B遺伝子変異解析の留意事項

- 手術後のリンパ節125mg(5×5×5mm)を指定の容器に採取し、直ちに凍結保存してください。
- 検体に含まれる腫瘍細胞が少ない場合、変異が検出できない可能性があります。あらかじめご了承ください。

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
造血器腫瘍遺伝子検査	EZH2遺伝子 変異解析 8C935-9951-075-862	未染標本 スライド 5枚 厚さ5μm	Z10	室温	7~11	①② 2500 ※2	PCR (リアルタイム PCR)		重 病理材料でEZH2遺伝子 (Y646N、Y646F、Y646X、 A682G、A692V)の変異解析を目 的としております。検査に必要な腫 瘍細胞の割合は15%以上です。 未染標本スライド提出に際しての 留意事項は66ページを参照くださ い。 他項目との重複依頼は避けてくださ い。 ※1
	A032 5 020882828	骨髄液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①③ 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイム PCR)	(コピー/μgRNA)	重 凍 14項目のセット項目です。凍結保存 は避けてください。受託可能日は月 ~金曜日です。検体採取後、速やか にご提出ください。他項目との重複 依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーション の影響がより大きくなりますので、 検体採取にあたっては取り扱いに充 分ご注意ください。 ※1
	曜日指定 白血病キメラ スクリーニング(定量)	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	K867 9 024212801	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	4~6	④ 2520 ※2	RT-PCR (リアルタイム PCR)	(コピー/μgRNA)	重 凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出くださ い。他項目との重複依頼は避けてく ださい。 本検査方法ではコンタミネーション の影響がより大きくなりますので、 検体採取にあたっては取り扱いに充 分ご注意ください。 ※1
	曜日指定 WT1 mRNA定量 8C505-9962-019-875 8C505-9962-046-875	骨髄液 1.0	H00						

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。
- ②「悪性腫瘍遺伝子検査」は、固形腫瘍又は悪性リンパ腫の腫瘍細胞を検体とし、悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った、遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算定する。
- ③「造血器腫瘍遺伝子検査」は、PCR法、LCR法又はサザンブロット法により行い、月1回を限度として算定できる。
- ④「WT1 mRNA」は、リアルタイムRT-PCR法により、急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病又は骨髄異形成症候群の診断の補助又は経過観察時に行った場合に月1回を限度として算定できる。

造血器腫瘍遺伝子検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

白血病キメラスクリーニング(定量)

項目名	キメラmRNA遺伝子
白血病キメラスクリーニング(定量)	Major <i>BCR-ABL1</i> 、minor <i>BCR-ABL1</i> 、 <i>PML-RARA</i> 、 <i>RUNX1-RUNX1T1</i> 、 <i>CBFB-MYH11</i> 、 <i>DEK-NUP214</i> 、 <i>NUP98-HOX49</i> 、 <i>ETV6-RUNX1</i> 、 <i>TCF3-PBX1</i> 、 <i>STIL-TAL1</i> 、 <i>KMT2A-AFF1</i> 、 <i>KMT2A-AFDN</i> 、 <i>KMT2A-MLLT3</i> 、 <i>KMT2A-MLLT1</i>

WT1 mRNA定量

受託数の増減により、所要日数が変わる場合がございます。あらかじめご了承ください。

遺伝子関連検査

造血器腫瘍遺伝子検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
造血器腫瘍遺伝子検査	A086 6 8A0860000	曜日指定 Major BCR-ABL1 mRNA定量 8C125-9962-046-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵 (1日)	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを検出せず (コピー/μgRNA)	【重】 【凍】 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	A037 0 030292801	曜日指定 Major BCR-ABL1 mRNA(IS) 8C125-9962-019-875	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (1日)	4~6	③ 2520 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)		【重】 【凍】 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	B973 0 01984A601	曜日指定 Major BCR-ABL1 mRNA(%) 8C125-9962-019-875 8C125-9962-046-875	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (1日)	4~6	④ 2520 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)		【重】 【凍】 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 本検査は、e13a2及びe14a2の測定はできませんが、e13a3又はe14a3の融合mRNAの測定はできません。また、e13a2及びe14a2の融合mRNAにおいてもプライマー及びプローブが結合する領域に変異がある場合には、Major BCR-ABL1 mRNAの測定ができないことがあります。 &1
	C765 0 01984A628		骨髓液 1.0	H00						
	3888 3 020557501	曜日指定 Major BCR-ABL1 mRNA定性 8C125-9961-019-867 8C125-9961-046-867	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (1日)	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを検出せず	【重】 【凍】 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	C876 7 019837528		骨髓液 1.0	H00						
検査	L457 3 C877 6 019829101	曜日指定 Major BCR-ABL1 ABL1変異解析 8C125-9951-046-848 8C125-9951-019-848	骨髓液 1.0 血液 7.0 (EDTA-2Na加)	H00 PN7	冷蔵 (1日)	10~14		ダイレクトシーケンス法		【重】 【凍】 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。本検査はMajor BCR-ABL1におけるABL1領域codon 115-486を解析します。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。
 ②「造血器腫瘍遺伝子検査」は、PCR法、LCR法又はサザンプロット法により行い、月1回を限度として算定できる。
 ③「Major BCR-ABL1 (mRNA定量(国際標準値))」は、慢性骨髄性白血病の診断補助及び治療効果のモニタリングを目的として、リアルタイムRT-PCR法により測定した場合に限り算定できる。
 ④「Major BCR-ABL1 (mRNA定量)」は、フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病の診断補助及び治療効果のモニタリングを目的として、リアルタイムRT-PCR法により測定した場合に限り算定できる。

造血器腫瘍遺伝子検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

[A037 0]Major BCR-ABL1 mRNA(IS)、[B973 0、C765 0]Major BCR-ABL1 mRNA(%)について

- ・受託数の増減により、所要日数が変わる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・慢性骨髄性白血病(CML)には[A037 0]Major BCR-ABL1 mRNA(IS)をご依頼ください。
- ・フィラデルフィア染色体(Ph)陽性急性リンパ性白血病(ALL)には[B973 0、C765 0]Major BCR-ABL1 mRNA(%)をご依頼ください。

[L457 3、C877 6]Major BCR-ABL1 ABL1変異解析

ご提出にあたっては、必ずキメラ遺伝子の存在をご確認のうえ、本項目をご依頼ください。



Z10 旧容器記号 **t**

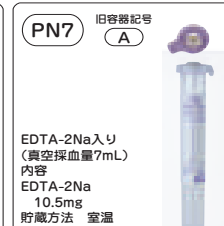
【オブジェクトケース】
フレバート
(スライドグラス)

貯蔵方法 室温



H00 旧容器記号 **H**

保存液入り
(容器容量5mL)
内容
RPMI-1640 FBS;硫酸
カロナール;シリン;ポ
ヘパリンNa;炭酸水
素Na;HEPES
貯蔵方法 凍結
有効期間 色が薄い
ピンクの状態で使用
してください。



PN7 旧容器記号 **A**

EDTA-2Na入り
(真空採血量7mL)
内容
EDTA-2Na
10.5mg
貯蔵方法 室温
有効期間 製造から 2年

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
造血器腫瘍遺伝子検査	8657 1 045492801	曜日指定 minor BCR-ABL1 mRNA(%)	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (1日)	3~5	① 2520 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 本検査は、e1a2の測定はできませんが、e1a3の融合mRNAの測定はできません。また、e1a2の融合mRNAにおいてもプライマー及びプローブが結合する領域に変異がある場合には、minor BCR-ABL1 mRNAの測定ができないことがあります。 &1
	8776 9 045492828		骨髓液 1.0	H00						
			8C127-9962-019-875 8C127-9962-046-875							
		曜日指定 minor BCR-ABL1 mRNA定量	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	②③ 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを検出せず (コピー/μgRNA)	凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
			8C127-9962-046-875 8C127-9962-019-875							
	3889 2 020317501	曜日指定 minor BCR-ABL1 mRNA定性	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	6~9	②③ 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを検出せず	凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			骨髓液 1.0	H00						
			8C127-9961-019-867 8C127-9961-046-867							
		曜日指定 micro BCR-ABL1 mRNA定性	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (1日)	6~9	②③ 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを検出せず	凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			骨髓液 1.0	H00						
			8C128-9961-019-866 8C128-9961-046-866							
		曜日指定 minor BCR-ABL1 ABL1変異解析	骨髓液 1.0	H00	冷蔵 (1日)	10~14		ダイレクトシーケンス法		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。本項目はminor BCR-ABL1におけるABL1領域codon 115-486を解析します。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
			8C127-9951-046-848 8C127-9951-019-848							

- ①「minor BCR-ABL mRNA」は、フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病の診断補助及び治療効果のモニタリングを目的として、リアルタイムRT-PCR法により測定した場合に限り算定できる。
- ②「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のいずれかを同一月中に併せて行った場合には、主たるもののみ算定する。
- ③「造血器腫瘍遺伝子検査」は、PCR法、LCR法又はサザンブロット法により行い、月1回を限度として算定できる。

造血器腫瘍遺伝子検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

[B657 1、B776 9]minor BCR-ABL1 mRNA(%)報告内容について

事例	minor BCR-ABL1/ABL1比 報告内容	報告コメント
minor BCR-ABL1 mRNA測定値が 測定下限値13.58コピー/テスト未満の場合	(13.58/ABL1 mRNA測定値)%未満	なし
minor BCR-ABL1 mRNA測定値が 検出されなかった場合	検出せず	BCR-ABL1が検出されませんでした
ABL1 mRNA測定値が 10000コピー/テスト未満の場合	計算不能	別紙ラポレーター※

※正報告書と合わせて、別紙報告書にて詳細をご報告いたします。

minor BCR-ABL1 ABL1変異解析

ご提出にあたっては、必ずキメラ遺伝子の存在をご確認のうえ、本項目をご依頼ください。

遺伝子関連検査

造血器腫瘍遺伝子検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
造血器腫瘍遺伝子検査		曜日指定 TCF3-PBX1 mRNA定量 8C396-9962-046-875 8C396-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー/μgRNA)	重 凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	7802 3 015937501	曜日指定 TCF3-PBX1 mRNA定性 8C396-9961-019-867 8C396-9961-046-867	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを 検出せず	重 凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			骨髓液 1.0	H00						
	6279 6 020292828	曜日指定 PML-RARA mRNA定量 8C421-9962-046-875 8C421-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー/μgRNA)	重 凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	3887 4 020297528	曜日指定 PML-RARA mRNA定性 8C421-9961-046-867 8C421-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを 検出せず	重 凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
		曜日指定 CBFB-MYH11 mRNA定量 8C425-9962-046-875 8C425-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー/μgRNA)	重 凍 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	7855 5 016647528	曜日指定 CBFB-MYH11 mRNA定性 8C425-9961-046-867 8C425-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを 検出せず	重 凍 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	7800 5 017127528	曜日指定 RUNX1-RUNX1T1 mRNA定量 8C428-9962-046-875 8C428-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー/μgRNA)	重 凍 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
		曜日指定 RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性 8C428-9961-046-867 8C428-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを 検出せず	重 凍 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						

①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。

②「造血器腫瘍遺伝子検査」は、PCR法、LCR法又はサザンブロット法により行い、月1回を限度として算定できる。

造血器腫瘍遺伝子検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。



	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
造血器腫瘍遺伝子検査	7853 7 018937528	曜日指定 RUNX1-MECOM mRNA定性 8C429-9961-046-867 8C429-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを 検出せず	凍結保存は避けてください。受託可能日は月～金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	K304 3 020012828	曜日指定 ETV6-RUNX1 mRNA定量 8C436-9962-046-875 8C436-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイム PCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー / μgRNA)	凍結保存は避けてください。受託可能日は月～金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
		曜日指定 ETV6-RUNX1 mRNA定性 8C436-9961-046-867 8C436-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを 検出せず	凍結保存は避けてください。受託可能日は月～金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
		曜日指定 KMT2A-AFF1 mRNA定量 8C443-9962-046-875 8C443-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイム PCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー / μgRNA)	凍結保存は避けてください。受託可能日は月～金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	7894 2 015417528	曜日指定 KMT2A-AFF1 mRNA定性 8C443-9961-046-867 8C443-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを 検出せず	凍結保存は避けてください。受託可能日は月～金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。
②「造血器腫瘍遺伝子検査」は、PCR法、LCR法又はサザンブロット法により行い、月1回を限度として算定できる。

造血器腫瘍遺伝子検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

遺伝子関連検査

造血器腫瘍遺伝子検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
造血器腫瘍遺伝子検査		曜日指定 KMT2A-AFDN mRNA定量 8C444-9962-046-875 8C444-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー/μgRNA)	重要 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、 検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
		曜日指定 KMT2A-AFDN mRNA定性 8C444-9961-046-867 8C444-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを 検出せず	重要 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、 検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
		曜日指定 KMT2A-MLLT3 mRNA定量 8C445-9962-046-875 8C445-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー/μgRNA)	重要 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、 検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	7895 1 015427528	曜日指定 KMT2A-MLLT3 mRNA定性 8C445-9961-046-867 8C445-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを 検出せず	重要 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、 検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
		曜日指定 KMT2A-MLLT1 mRNA定量 8C447-9962-046-875 8C447-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを 検出せず (コピー/μgRNA)	重要 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、 検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	7896 0 015437528	曜日指定 KMT2A-MLLT1 mRNA定性 8C447-9961-046-867 8C447-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを 検出せず	重要 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、 検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
			血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。
 ②「造血器腫瘍遺伝子検査」は、PCR法、LCR法又はサザンプロット法により行い、月1回を限度として算定できる。

造血器腫瘍遺伝子検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。

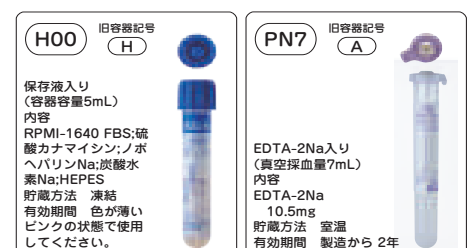


項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
造血器腫瘍遺伝子検査	曜日指定 NUP98-HOXA9 mRNA定量 8C450-9962-046-875 8C450-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを検出せず (コピー/μgRNA)	凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	曜日指定 STIL-TAL1 mRNA定量 8C465-9962-046-875 8C465-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを検出せず (コピー/μgRNA)	凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	曜日指定 DEK-NUP214 mRNA定量 8C481-9962-046-875 8C481-9962-019-875	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	3~5	①② 2100 ※2	RT-PCR (リアルタイムPCR)	キメラmRNAを検出せず (コピー/μgRNA)	凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						
	7854 6 018997528 曜日指定 DEK-NUP214 mRNA定性 8C481-9961-046-867 8C481-9961-019-867	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	6~9	①② 2100 ※2	RT-PCR	キメラmRNAを検出せず	凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。
②「造血器腫瘍遺伝子検査」は、PCR法、LCR法又はサザンブロット法により行い、月1回を限度として算定できる。

造血器腫瘍遺伝子検査のご提出について

検体は採取後、当日中にご提出ください。



遺伝子関連検査

白血病キメラ遺伝子検査の利用手引き

白血病キメラ遺伝子検査の利用手引き

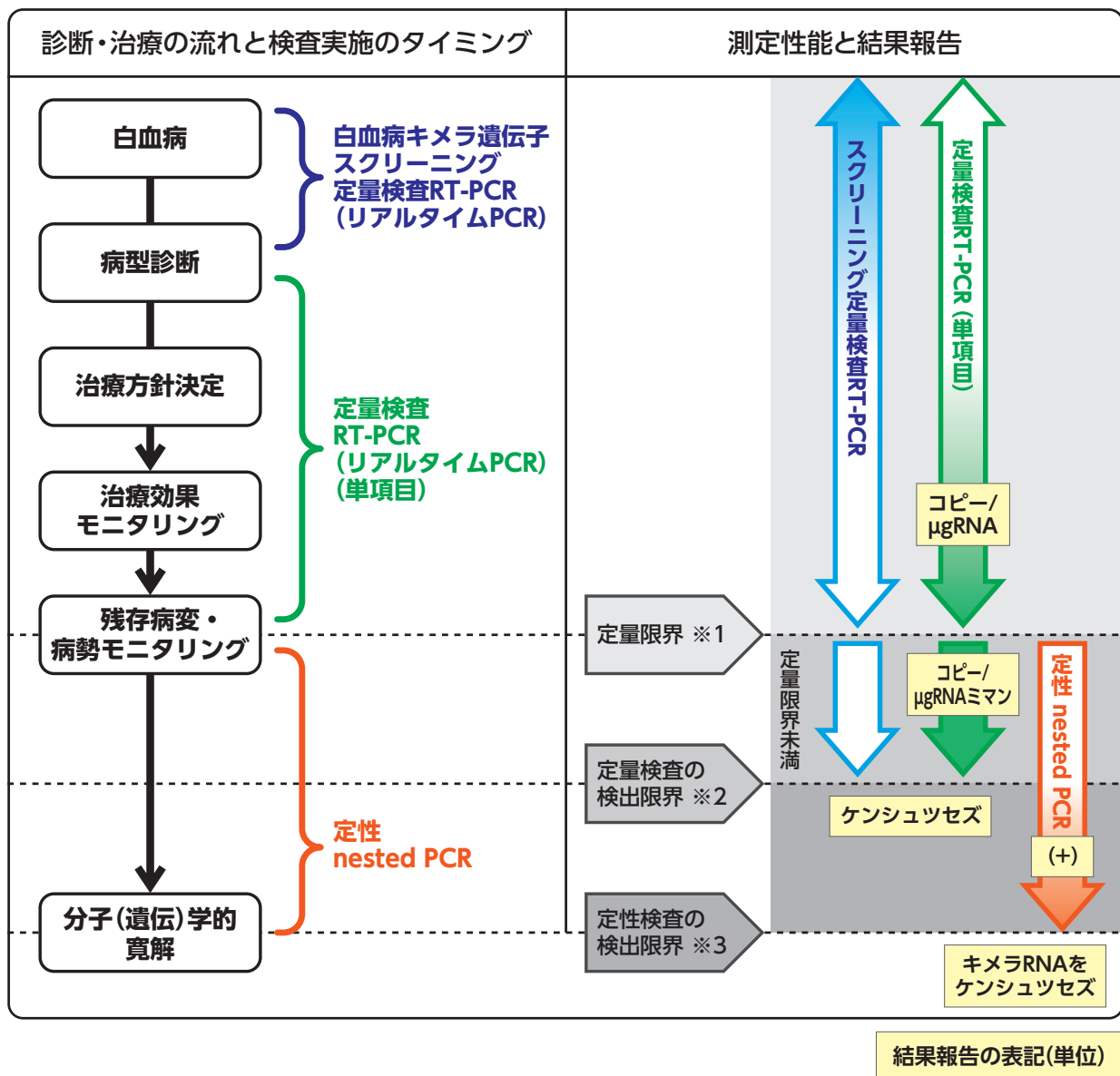
スクリーニング	ポイント	白血病疑いの初診時(高発現時)に用いるスクリーニング検査です。白血病キメラ遺伝子を検出いたします。キメラmRNAを検出した場合は、検出されたキメラmRNAの「コピー数/μgRNA」を報告いたします。 治療のモニタリングは、スクリーニング検査で検出されたキメラ遺伝子の定量および定性の単項目のご依頼をお願いいたします。 本検査試薬は自家調製です。	
	性能	定量限界(最小報告値)は50コピー / μgRNAです。	
	該当項目	白血病キメラスクリーニング(定量) 項目構成(下記14項目) Major BCR-ABL1、minor BCR-ABL1、PML-RARA、RUNX1-RUNX1T1、CBFB-MYH11、DEK-NUP214、NUP98-HOXA9、ETV6-RUNX1、TCF3-PBX1、STIL-TAL1、KMT2A-AFF1、KMT2A-AFDN、KMT2A-MLLT3、KMT2A-MLLT1	
定量 (リアルタイムPCR)	ポイント	治療のモニタリングに用いる検査です。 報告値は、「キメラmRNA補正值(コピー数/μgRNA)」、「キメラmRNA実測値(コピー数/μgRNA)」、「GAPDH(内部標準)実測値(コピー数/μgRNA)」です。 定量限界未満の報告 ■50コピー / μgRNA未満 ■検出せず(本測定系の検出限界未満) 検出せず(本測定系の検出限界未満)と判定された場合でも、各種キメラ遺伝子の存在を否定するものではありません。臨床診断においては、他の検査結果や臨床所見と合わせて総合的に判断してください。 本検査試薬は自家調製です。	
	性能	定量限界(最小報告値)は50コピー / μgRNAです。	
	該当項目	Major BCR-ABL1 mRNA定量 minor BCR-ABL1 mRNA定量 TCF3-PBX1 mRNA定量 PML-RARA mRNA定量 CBFB-MYH11 mRNA定量 RUNX1-RUNX1T1 mRNA定量 ETV6-RUNX1 mRNA定量	KMT2A-AFF1 mRNA定量 KMT2A-AFDN mRNA定量 KMT2A-MLLT3 mRNA定量 KMT2A-MLLT1 mRNA定量 NUP98-HOXA9 mRNA定量 STIL-TAL1 mRNA定量 DEK-NUP214 mRNA定量
定性 (nested PCR)	ポイント	治療のモニタリングおよび再発のモニタリングに用いる検査です。 各種キメラmRNAを高感度に検出することができます。 報告値は「キメラmRNAを検出せず」「検出しました」です。 ※定性検査においても、検出限界はあるため、「検出せず」となった場合でも完全にMRDを否定するものではありません。 本検査試薬は自家調製です。	
	性能	検出限界は10コピー / μgRNAです。	
	該当項目	Major BCR-ABL1 mRNA定性 minor BCR-ABL1 mRNA定性 micro BCR-ABL1 mRNA定性 TCF3-PBX1 mRNA定性 PML-RARA mRNA定性 CBFB-MYH11 mRNA定性 RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性	RUNX1-MECOM mRNA定性 ETV6-RUNX1 mRNA定性 KMT2A-AFF1 mRNA定性 KMT2A-AFDN mRNA定性 KMT2A-MLLT3 mRNA定性 KMT2A-MLLT1 mRNA定性 DEK-NUP214 mRNA定性

白血病の診断・治療と遺伝子検査の流れ及び測定性能について

白血病は白血病細胞が無秩序に増加する疾患であり、白血病の病型によって白血病細胞に特徴的なキメラ遺伝子が発現しています。診断にはキメラ遺伝子の発現の有無を確認すること、また治療効果判定には高感度な測定方法を選択することが重要です。

【留意事項】

- ・白血病キメラ遺伝子によってはバリエーションが存在し、検出できない場合があります。
- ・検体の性状（治療後で少ない細胞数など）によっては、低値または偽陰性の結果となる場合があります。
- ・白血病キメラ遺伝子定量検査における定量限界未満の確認検査として定性nested PCRをお勧めしています。
- ・自家調製試薬を用いた白血病キメラ遺伝子については、施設間差・測定方法間差が認められています。ご利用にあたってはご注意ください。



※1 定量検査(RT-PCR)において定量が可能な最小濃度を示します。

※2 定量検査(RT-PCR)において定量範囲外(定量限界未満)である一方、PCRシグナルが信頼性をもって検出できる限界を示します。

※3 定性検査(nested PCR)において電気泳動バンドが信頼性をもって確認(検出)できる限界を示します。

監修：東海大学医学部 基盤診療学系 臨床検査学 教授/学長 宮地 勇人

遺伝子関連検査

白血病関連遺伝子検査の主な別称

白血病関連遺伝子検査の主な別称

HGNC(HUGO Gene Nomenclature Committee)2024-01-11 update ver. より引用

Approved symbol	Approved Name	HGNC ID	Previous Symbols	Alias symbols
BCR	BCR activator of RhoGEF and GTPase	HGNC:1014	D22S11 BCR1	D22S662 CML PHL ALL
ABL1	ABL proto-oncogene 1, non-receptor tyrosine kinase	HGNC:76	ABL	JTK7 c-ABL p150
RUNX1	RUNX family transcription factor 1	HGNC:10471	AML1 CBFA2	PEBP2A2 AMLCR1
MECOM	MDS1 and EVI1 complex locus	HGNC:3498	MDS1 EVI1	MDS1-EVI1 PRDM3 KMT8E
RUNX1T1	RUNX1 partner transcriptional co-repressor 1	HGNC:1535	AML1T1 CBFA2T1	CDR ETO MTG8 ZMYND2
DEK	DEK proto-oncogene	HGNC:2768	-	D6S231E
NUP214	nucleoporin 214	HGNC:8064	-	CAIN CAN D9S46E N214
PML	PML nuclear body scaffold	HGNC:9113	-	MYL TRIM19 RNF71
RARA	retinoic acid receptor alpha	HGNC:9864	-	RAR NR1B1 RARalpha RAR-alpha
CBFB	core-binding factor subunit beta	HGNC:1539	-	PEBP2B
MYH11	myosin heavy chain 11	HGNC:7569	-	SMMHC SMHC SMMS-1
KMT2A	lysine methyltransferase 2A	HGNC:7132	MLL	TRX1 HRX ALL-1 HTRX1 CXXC7 MLL1A MLL1 ALL1 HTRX
AFF1	ALF transcription elongation factor 1	HGNC:7135	PBM1 MLLT2	AF-4 AF4 FEL
AFDN	afadin, adherens junction formation factor	HGNC:7137	MLLT4	AF-6 AF6
MLLT3	MLLT3 super elongation complex subunit	HGNC:7136	-	AF-9 AF9 YEATS3
STIL	STIL centriolar assembly protein	HGNC:10879	SIL	MCPH7
TAL1	TAL bHLH transcription factor 1, erythroid differentiation factor	HGNC:11556	TCL5	SCL bHLHa17
MLLT1	MLLT1 super elongation complex subunit	HGNC:7134	-	ENL LTG19 YEATS1
TCF3	transcription factor 3	HGNC:11633	-	E2A ITF1 MGC129647 MGC129648 bHLHb21 VDIR E47 p75
PBX1	PBX homeobox 1	HGNC:8632	-	-
ETV6	ETS variant transcription factor 6	HGNC:3495	-	TEL
NUP98	nucleoporin 98 and 96 precursor	HGNC:8068	-	NUP96 Nup98-Nup96 Nup98-96 NUP196
HOXA9	homeobox A9	HGNC:5109	HOX1G HOX1	-
WT1	WT1 transcription factor	HGNC:12796	GUD	WAGR WIT-2 AWT1 NPHS4 WT-1
FLT3	fms related receptor tyrosine kinase 3	HGNC:3765	-	STK1 FLK2 CD135
KIT	KIT proto-oncogene, receptor tyrosine kinase	HGNC:6342	PBT	CD117 SCFR C-Kit
JAK2	Janus kinase 2	HGNC:6192	-	JTK10
NPM1	nucleophosmin 1	HGNC:7910	-	B23 NPM
MPL	MPL proto-oncogene, thrombopoietin receptor	HGNC:7217	-	CD110 TPOR THPOR
CALR	calreticulin	HGNC:1455	-	RO SSA cC1qR CRT FLJ26680 CALR1
MYD88	MYD88 innate immune signal transduction adaptor	HGNC:7562	-	-
CD79B	CD79b molecule	HGNC:1699	IGB	B29 Ig-beta Igbeta
EZH2	enhancer of zeste 2 polycomb repressive complex 2 subunit	HGNC:3527	-	EZH1 ENX-1 KMT6 KMT6A

造血器腫瘍関連項目一覧(FISH・遺伝子)

検出対象		FISH	遺伝子	主な対象疾患									
染色体	遺伝子	検査項目	検査項目	骨髄性			リンパ性				他		
				MPN	CML	MDS	AML	ALL	CLL	ML	MM	BMT	
t(9;22)(q34.1;q11.2)	BCR-ABL1	BCR-ABL1 t(9;22)転座	Major BCR-ABL1 mRNA定量		●			●					
			Major BCR-ABL1 mRNA(IS)		●								
			Major BCR-ABL1 mRNA(%)					●					
			Major BCR-ABL1 mRNA定性		●			●					
			Major BCR-ABL1 ABL1変異解析		●			●					
			minor BCR-ABL1 mRNA定量		●			●					
			minor BCR-ABL1 mRNA定性		●			●					
			minor BCR-ABL1 ABL1変異解析		●			●					
			minor BCR-ABL1 mRNA(%)					●					
			micro BCR-ABL1 mRNA定性		●			●					
		末梢血好中球 BCR-ABL1 t(9;22)転座			●								
		FIP1L1-PDGFRα del(4)長腕欠失(4q12欠失)		●									
		PDGFRβ 5q32転座		●									
		FGFR1 8p11.2転座		●									
		D7S486 del(7)長腕欠失／7染色体(7pモノソミー)				●	●						
del(13q-)/13q-	RUNX1-RUNX1T1	RUNX1-RUNX1T1 (AML1-MTG8) t(8;21)転座	CSF1R del(5)長腕欠失			●							
			EGR1 del(5)長腕欠失			●							
			8染色体	●		●	●						
			D13S319 del(13)長腕欠失			●			●		●		
			TP53 del(17)短腕欠失	●	●	●			●		●		
			del(20q)/20q-	●		●							
			t(8;21)(q22;q22.1)				●						
			inv(16)(p13.1;q22) or t(16;16)(p13.1;q22)				●						
			t(15;17)(q24.1;q21.2)				●						
			11q23.3転座				●						
			t(4;11)(q21;q23.3)				●						
			t(6;11)(q27;q23.3)				●						
			t(9;11)(p21.3;q23.3)				●						
			t(11;19)(q23.3;p13.3)				●						
inv(3)(q21.3;q26.2) or t(3;3)(q21.3;q26.2)	GATA2-MECOM	GATA2-MECOM inv(3)逆位.t(3;3)転座	KMT2A-MLL T1 mRNA定量				●						
			KMT2A-MLL T1 mRNA定性				●						
			KMT2A-AFDN mRNA定量				●						
			KMT2A-AFDN mRNA定性				●						
			KMT2A-MLL T3 mRNA定量				●						
			KMT2A-MLL T3 mRNA定性				●						
			KMT2A-MLL T1 mRNA定量				●						
			KMT2A-MLL T1 mRNA定性				●						
			DEK-NUP214 mRNA定量				●						
			DEK-NUP214 mRNA定性				●						
			GATA2-MECOM inv(3)逆位.t(3;3)転座		●	●	●						
			NUP98 11p15転座				●						
			NUP98 rearranged				●						
			NUP98-HOXA9				●						
			NUP98-HOXA9 mRNA定量				●						

遺伝子関連検査

造血器腫瘍関連項目一覧(FISH・遺伝子)

造血器腫瘍関連項目一覧(FISH・遺伝子)

検出対象		FISH	遺伝子	主な対象疾患									
染色体	遺伝子	検査項目	検査項目	MPN	CML	骨髄性			リンパ性				他
						MDS	AML	ALL	CLL	ML	MM	BMT	
t(3;21)(q26.2;q22.1)	RUNX1-MECOM		RUNX1-MECOM mRNA定性			●	●						
t(12;21)(p13.2;q22.1)	ETV6-RUNX1		ETV6-RUNX1 mRNA定量					●					
t(1;19)(q23;p13.3) or der(19)t(1;19)(q23;p13.3)	TCF3-PBX1		TCF3-PBX1 mRNA定性					●					
del(1p32)/1p-	STIL-TAL1		STIL-TAL1 mRNA定量					●					
del(11q)/11q-	ATM	ATM del(11)長腕欠失							●				
+12		12染色体							●				
t(11;14)(q13;q32)	IGH-CCND1	IGH-CCND1(IGH-BCL1) t(11;14)転座							●	●			
t(4;14)(p16;q32)	IGH-FGFR3	IGH-FGFR3 t(4;14)転座									●		
t(14;16)(q32;q23)	IGH-MAF	IGH-MAF t(14;16)転座									●		
1q21領域の増幅(Amp1q21)		CKS1B 1q21 増幅									●		
t(11;18)(q21;q21)	BIRC3-MALT1	BIRC3-MALT1(API2-MALT1) t(11;18)転座								●			
18q21転座	MALT1 rearranged	MALT1 18q21転座								●			
t(14;18)(q32;q21)	IGH-BCL2	IGH-BCL2 t(14;18)転座								●			
18q21転座	BCL2 rearranged	BCL2 18q21転座								●			
3q27転座	BCL6 rearranged	BCL6 3q27転座								●			
t(8;14)(q24;q32)	IGH-MYC	IGH-MYC t(8;14)転座								●	●		
8q24転座	MYC rearranged	MYC 8q24転座								●			
2p23転座	ALK rearranged	ALK 2p23転座								●			
	MYD88 mutation		MYD88遺伝子変異解析							●			
	CD79B mutation		CD79B遺伝子変異解析							●			
	EZH2 mutation		EZH2遺伝子変異解析							●			
	JAK2 mutation		JAK2 V617F遺伝子変異解析	●									
	MPL mutation			●									
	CALR mutation												
	FLT3 mutation		FLT3/ITD 変異解析				●						
	NPM1 mutation		FLT3変異解析ITD/TKD				●						
	KIT mutation		NPM1 変異解析				●						
			KIT シーケンス解析(白血病)				●						
			白血病キメラスクリーニング(定量)				●	●					
			WT1 mRNA定量			●	●						
			キメリズム解析移植前レジビエント(PCR)									●	
		異性間BMT(骨髄移植)(X,Y染色体)	キメリズム解析移植前ドナー (PCR)									●	
			キメリズム解析移植後 (PCR)									●	

* MPNはCMLを別枠としている。

白血病患者キメラスクリーニング(定量) *項目構成 (14項目)	Major BCR-ABL1, minor BCR-ABL1, PML-RARA, RUNX1-RUNX1T1, CBFB-MYH11, DEK-NUP214, NUP98-HOXA9, ETV6-RUNX1, TCF3-PBX1, STIL-TAL1, KMT2A-AFF1, KMT2A-MLL1, KMT2A-MLL2, KMT2A-MLL3, KMT2A-MLL11

監修：三浦 偉久男,SRL学術顧問 元聖マリアンナ医科大学 血液・腫瘍内科 教授

遺伝子関連検査

免疫関連遺伝子再構成検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
免 疫 関 連 遺 伝 子 再 構 成 検 査	3878 4 018377601	T細胞レセプター β鎖Cβ1再構成 8C652-9931-019-831 8C652-9931-046-831 8C652-9931-099-831 8C652-9931-070-831	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	11~13	①② 2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などをご記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。 ※1
			骨髄液 1.0	H00						
			細胞 2×10 ⁷ cells	培養 容器						
			組織 250mg	ARR						
	7795 2 020177601	T細胞レセプター β鎖Jβ1再構成 8C654-9931-019-831 8C654-9931-046-831 8C654-9931-099-831 8C654-9931-070-831	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	11~13	①② 2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などをご記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。 ※1
			骨髄液 1.0	H00						
			細胞 2×10 ⁷ cells	培養 容器						
			組織 250mg	ARR						
	7796 1 020187601	T細胞レセプター β鎖Jβ2再構成 8C655-9931-019-831 8C655-9931-046-831 8C655-9931-099-831 8C655-9931-070-831	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	11~13	①② 2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などをご記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。 ※1
			骨髄液 1.0	H00						
			細胞 2×10 ⁷ cells	培養 容器						
			組織 250mg	ARR						
	7797 0 020157601	T細胞レセプター γ鎖Jγ再構成 8C663-9931-019-831 8C663-9931-046-831 8C663-9931-099-831 8C663-9931-070-831	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	11~13	①② 2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などをご記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。 ※1
			骨髄液 1.0	H00						
			細胞 2×10 ⁷ cells	培養 容器						
			組織 250mg	ARR						
	7798 9 020287601	T細胞レセプター δ鎖Jδ1再構成 8C671-9931-019-831 8C671-9931-046-831 8C671-9931-099-831 8C671-9931-070-831	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	11~13	①② 2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などをご記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。 ※1
			骨髄液 1.0	H00						
			細胞 2×10 ⁷ cells	培養 容器						
			組織 250mg	ARR						

遺伝子関連検査

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。
②「免疫関連遺伝子再構成」は、PCR法、LCR法又はサザンブロット法により、悪性リンパ腫、急性リンパ性白血病又は慢性リンパ性白血病の診断の目的で検査を行った場合に、6月に1回を限度として算定できる。

遺伝子関連検査

免疫関連遺伝子再構成検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
免 疫 関 連 遺 伝 子 再 構 成 検 査	3891 9 018357601	免疫グロブリン H鎖J _H 再構成	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	11~13	①② 2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などをご記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。 &1
			骨髄液 1.0	H00						
			細胞 2×10 ⁷ cells	培養 容器						
			組織 250mg	ARR						
	7792 5 015457601	免疫グロブリン H鎖C _μ 再構成	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	11~13	①② 2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などをご記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。 &1
			骨髄液 1.0	H00						
			細胞 2×10 ⁷ cells	培養 容器						
			組織 250mg	ARR						
	3892 8 018367601	免疫グロブリン L鎖J _κ 再構成	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	11~13	①② 2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などをご記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。 &1
			骨髄液 1.0	H00						
			細胞 2×10 ⁷ cells	培養 容器						
			組織 250mg	ARR						
	7793 4 015467601	免疫グロブリン L鎖C _κ 再構成	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	11~13	①② 2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などをご記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。 &1
			骨髄液 1.0	H00						
			細胞 2×10 ⁷ cells	培養 容器						
			組織 250mg	ARR						
	7794 3 015477601	免疫グロブリン L鎖C _λ 再構成	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	11~13	①② 2373 ※2	サザンブロット ハイブリダイ ゼーション	遺伝子再構成を 認めず	血液/骨髄液/細胞:凍結保存は避け てください。 依頼書に臨床診断名などをご記入く ださい。 細胞は、院内でご使用の培養容器(培 養液を満たしたもの)に入れ、冷蔵 保存にてご提出ください。 ホルマリンなどにより固定した組織 は、高分子DNAが得られないため、 サザンブロットハイブリダイゼー ションによる解析は不可能です。 &1
			骨髄液 1.0	H00						
			細胞 2×10 ⁷ cells	培養 容器						
			組織 250mg	ARR						

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。
②「免疫関連遺伝子再構成」は、PCR法、LCR法又はサザンブロット法により、悪性リンパ腫、急性リンパ性白血病又は慢性リンパ性白血病の診断の目的で検査を行った場合に、6月に1回を限度として算定できる。



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	BRAF V600 変異解析(PCR)	未染標本 スライド 5~10枚 厚さ10μm	Z10	室温	4~10	①② 5000 ※2	PCR (リアルタイム PCR)		重 病理材料でBRAF阻害剤(一般名: ベムラフェニブ)による悪性黒色 腫(メラノーマ)治療の適用を判断 することを目的としております。 V600の変異の種類は区別できませ ん。また、病理材料以外は受託で きません。 検査に必要な腫瘍細胞の割合は 50%以上です。未染標本スライド 提出に際しての留意事項は54ペー ジをご参照ください。他項目との 重複依頼は避けてください。 &1
	8C155-9951-075-862 曜日指定 BRAF V600E 遺伝子解析(rSSO)	未染標本 スライド 5枚 厚さ 5~10μm	Z10	室温	5~10	①③ 5000 ※2	PCR-rSSO法		重 受託可能日は月~金曜日です。 ダブラフェニブメシル酸塩及びト ラメチニブジメチルスルホキシド 付加物の固形腫瘍(大腸癌、肺癌、 悪性黒色腫を除く)、及び有毛細胞 白血病患者への適応判定の補助を 目的としております。 病理材料でBRAF遺伝子V600E変 異を解析しています。病理材料以 外はご依頼できません。 検査に必要な腫瘍細胞の割合は 10%以上です。10%に満たない検 体については判定保留・偽陰性の 可能性があります。 未染標本スライド提出に際しての 留意事項は54ページをご参照く ださい。他項目との重複依頼は避 けてください。 &1
	K624 8 Q28049154 BRAF exon15 V600E(SEQ)	未染標本 スライド ※下記参照	Z10	室温	11~14		ダイレクト シーケンス法		重 病理材料でBRAF V600Eの変異 解析を目的としております。病理 材料以外は受託できません。なお、 病理検査材料は、組織のホルマリ ン固定によりDNAが断片化されて いるため、固定液の種類や、固定 時間といった保存状況、保存年数 によっては、解析不可能な場合 がありますので、あらかじめご了 承ください。 他項目との重複依頼はできません。 &1
	8C155-9951-075-848								

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合には、主たるもののみ算定する。
- ②「悪性腫瘍遺伝子検査」は、固形腫瘍又は悪性リンパ腫の腫瘍細胞を検体とし、悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った、遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算定する。
- ③「悪性腫瘍遺伝子検査」は、固形腫瘍又は悪性リンパ腫の腫瘍細胞を検体とし、悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った、遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算定する。
- 処理が複雑なもの 固形腫瘍(肺癌及び大腸癌を除く。)におけるBRAF遺伝子検査(PCR-rSSO法)、悪性リンパ腫におけるBRAF遺伝子検査(PCR-rSSO法)

[K624 8] BRAF exon15 V600E(SEQ)の検査材料

下記の未染標本スライドを製し、スライドのおもてに切片の厚さを記入し、オブジェクトケース(Z10)に入れ、室温保存にてご提出ください。
 BRAF exon15 V600E(SEQ)、c-kit遺伝子変異解析(GIST)単独または2項目同時のご依頼の際は、必ず「腫瘍部位確認用検査」を併せてご依頼くださいますようお願いいたします。

未染標本スライドの種類と枚数

未染標本スライド種類	切片の厚さ	枚数
腫瘍部位確認用	3~4μm	2枚
DNA抽出用	10μm	5~10枚

遺伝子関連検査

悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	A056 9 01976C174	EGFR変異解析 v2.0 8C051-9951-075-862	未染標本 スライド 5~10枚 厚さ10μm	Z10	室温	3~6	①② ③ 2500 ※2	PCR (リアルタイム PCR)		① 検査に必要な腫瘍細胞の割合は10%以上です。未染標本スライド提出に際しての留意事項は54ページをご参照ください。他項目との重複依頼は避けてください。 &1
	A098 3 01976C103	EGFR変異解析 v2.0 (血漿) 8C051-9951-022-862	血漿5.0	PK5, PK7 ↓ ARR	凍結	3~6	③④ ⑤ 2100 ※2	PCR (リアルタイム PCR)		① ●血漿材料について EDTA-2Kの採血管で提出検体量(血漿5mL)を考慮した充分量を採取し、採血後、8時間以内に必ず血漿分離してください。 分離後、直ちに滅菌ポリスピット2本に2.5mLずつの血漿を分取し凍結保存してください。血漿分取する際には、白血球成分由来のゲノムDNAの混入を防ぐためデカンテーションを行わないでください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体の採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合には、主たるもののみ算定する。
- ②「悪性腫瘍遺伝子検査」は、固形腫瘍又は悪性リンパ腫の腫瘍細胞を検体とし、悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った、遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算定する。ただし、「肺癌におけるEGFR遺伝子検査」については、再発や増悪により、2次的遺伝子変異等が疑われ、再度治療法を選択する必要がある場合にも算定できる。
- ③「EGFR遺伝子検査(血漿)」、肺癌の組織を検体とした悪性腫瘍遺伝子検査のうち、「肺癌におけるEGFR遺伝子検査」又は「肺癌関連遺伝子多項目同時検査」を同一月中に併せて行った場合には、主たるもののみ算定する。
- ④肺癌の詳細な診断及び治療法を選択する場合、又は肺癌の再発や増悪により、EGFR遺伝子変異の2次的遺伝子変異等が疑われ、再度治療法を選択する場合に、患者1人につき、診断及び治療法を選択する場合には1回、再度治療法を選択する場合には2回に限り算定できる。ただし、本検査の実施は、医学的な理由により、肺癌の組織を検体として、「悪性腫瘍遺伝子検査」のうち、「肺癌におけるEGFR遺伝子検査」を行うことが困難な場合に限る。
- ⑤「EGFR遺伝子検査(血漿)」を実施した場合には、肺癌の組織を検体とした検査が実施困難である医学的な理由を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

[A098 3]EGFR変異解析 v2.0(血漿)の留意事項(試薬添付文書より)

- 1.血漿検査では、腫瘍由来DNAが血漿中に十分に漏出していないために、腫瘍組織にはEGFR遺伝子変異が存在してもEGFR遺伝子変異が検出できない可能性があります。そのため血漿検査が先に実施され、EGFR遺伝子変異陰性の結果が得られた場合には、可能な限り組織検査の実施を考慮してください。
- 2.血漿検査は、組織検査と完全に置き換わる検査ではありません。

Z10 旧容器記号 **t**



【オブジェクト
ケース】
プレパレート
(スライドグラス)

貯蔵方法 室温

PK5 PK7



EDTA-2K入り
(真空採血量
5mLまたは7mL)
内容
EDTA-2K
9.5mgまたは
13.3mg
貯蔵方法 室温
有効期間
製造から 2年 (PK5) (PK7)

ARR 旧容器記号 **r**



貯蔵方法 室温

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	A251 2 042642854	曜日指定 ROS1融合 遺伝子定性 8C055-0000-070-875 8C055-0000-042-875 8C055-0000-091-875 8C055-0000-091-875	組織 100mg	ARR	凍結	4~8	①② 2500 ※2	RT-PCR (リアルタイム PCR)	陰性	【重】 受託可能日は月～金曜日です。 材料は悪性腫瘍が認められていること を確認のうえ、ご提出ください。特に 生検組織は検体が微量であることが多 く、組織自体がほとんど消失している 場合や、腫瘍細胞が含まれていない組 織片になっている可能性があるため、 あらかじめご注意願います。他項目と の重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの 影響がより大きくなりますので、検体 採取にあたっては取り扱いに充分ご注 意ください。 &1
			胸水 沈渣物							
			肺胞洗浄液 沈渣物							
			気管支擦過 洗浄液 沈渣物							
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	L477 1 042632874	ROS1融合 遺伝子定性(FFPE) 8C055-0000-075-875 8C055-0000-075-875	未染色 パラフィン切片 5枚	ARR	室温	4~8	①② 2500 ※2	RT-PCR (リアルタイム PCR)	陰性	【重】 検査に必要な腫瘍細胞の割合は30% 以上です。未染標本スライド提出に際 しての留意事項は56ページをご参照 ください。他項目との重複依頼は避け てください。基準値は本検査項目の試 薬添付文書に則った表記としておりま す。 &1
			未染標本 スライド 5枚 厚さ5μm	Z10						

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合には、主たるもののみ算定する。
- ②「悪性腫瘍遺伝子検査」は、固形腫瘍又は悪性リンパ腫の腫瘍細胞を検体とし、悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った、遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算定する。

ROS1融合遺伝子定性

- 組織以外の材料について
採取した胸水、肺胞洗浄液、気管支擦過洗浄液を指定容器(ARR)に入れ、室温にて遠心分離(760G[2000 ~ 3000rpm]×10分間)し、上清を出来るだけ取り除いた沈渣を、必ず凍結しご提出ください。
- 留意事項
検体採取後2時間以内に処理願います。また、ご提出された検体の細胞数が少ない場合には、検査不能となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
基準値は、本検査項目の試薬添付文書に則った表記としております。

遺伝子関連検査

悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査		KRAS G12C変異解析 8C221-0000-075-862	未染標本 スライド 5枚 厚さ5μm	Z10	室温	4~10	①② 2500 ※2	PCR (リアルタイム PCR)		重 がん組織から抽出したゲノムDNAにて、KRAS G12C遺伝子変異を解析し、非小細胞肺癌に対してソトラシブの適応を判断することを目的としております。 検査に必要な腫瘍細胞の割合は20%以上が推奨です。未染標本スライドの提出に際しての留意事項は64ページをご参照ください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合には、主たるもののみ算定する。
- ②「悪性腫瘍遺伝子検査」は、固形腫瘍又は悪性リンパ腫の腫瘍細胞を検体とし、悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った、遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算定する。

KRAS G12C変異解析について

<対象遺伝子変異等と関連する医薬品および適応がん腫>

遺伝子変異等	がん腫	関連する医薬品
KRAS G12C遺伝子変異	非小細胞肺癌	ソトラシブ(商品名 ルマケラス®)

遺伝子関連検査



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	IDH1/2遺伝子解析 (グリオーマ) (FFPE) 8C570-0000-075-848	未染標本 スライド 5~10枚 厚さ 4~10μm	Z10	室温	11~14		ダイレクト シーケンス法		重 神経膠腫(グリオーマ)における遺伝子変異である、 <i>IDH1</i> R132および <i>IDH2</i> R172を解析しています。急性骨髄性白血病(AML)患者でみられる <i>IDH2</i> の遺伝子変異は測定できませんのでご注意ください。検査に必要な腫瘍細胞の割合は20%以上です。未染標本スライド提出に際しての留意事項は66ページをご参照ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	IDH1/2遺伝子解析 (グリオーマ) (FF) 8C570-0000-070-848	組織 125mg	ARR	凍結	11~14		ダイレクト シーケンス法		重 神経膠腫(グリオーマ)における遺伝子変異である、 <i>IDH1</i> R132および <i>IDH2</i> R172を解析しています。急性骨髄性白血病(AML)患者でみられる <i>IDH2</i> の遺伝子変異は測定できませんのでご注意ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	c-kit遺伝子変異解析 (GIST) 8C059-9951-070-848 8C059-9951-075-848	組織 250mg 未染標本 スライド ※下記参照	ARR Z10	凍結 室温	11~23	①② 2100 ※2	ダイレクト シーケンス法		重 本検査は、 <i>c-kit</i> 遺伝子exon9、11の変異解析を目的としております。他項目との重複依頼は避けてください。 &1

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるものののみ算定する。
- ②「悪性腫瘍遺伝子検査」は、固形腫瘍又は悪性リンパ腫の腫瘍細胞を検体とし、悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った、遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算定する。

IDH1/2遺伝子解析(グリオーマ)(FF)の留意事項

生検材料(新鮮凍結組織)は、検体が微量であることが多く組織自体がほとんど消失している場合や、腫瘍細胞が含まれていない組織片になっている可能性がありますので、あらかじめご注意ください。

未染標本スライド材料について

未染標本スライドは、組織のホルマリン固定によりDNAが断片化されているため、固定液の種類や、固定時間といった保存状況、保存年数によっては、解析不可能なことがありますので、あらかじめご了承ください。

c-kit遺伝子変異解析(GIST)の留意事項

当該検査に供する組織片は必ず病理組織的に鏡検され、腫瘍組織の存在が確認されていることが受託の必須条件となります。

c-kit遺伝子変異解析(GIST)の検査材料

下記の未染標本スライドを作製し、スライドのおもてに切片の厚さを記入し、オブジェクトケース(Z10)に入れ、室温保存にてご提出ください。
BRAF exon15 V600E(SEQ)、c-kit遺伝子変異解析(GIST)単独または2項目同時のご依頼の際は、必ず「腫瘍部位確認用検査」を併せてご依頼くださいますようお願いいたします。

未染標本スライドの種類と枚数

未染標本スライド種類	切片の厚さ	枚数
腫瘍部位確認用	3~4μm	2枚
DNA抽出用	10μm	5~10枚

遺伝子関連検査

悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	RAS・BRAF遺伝子 変異解析	未染標本 スライド 5枚 厚さ5~ 10μm	Z10	室温	4~7	①② 4000 ※2	PCR-rSSO法		重 病理材料でRAS及びBRAF遺伝子(KRAS遺伝子、NRAS遺伝子ともに exon2 codon12,13, exon3 codon 59,61, exon4 codon117,146を、BRAF遺伝子は、exon15codon 600)の変異解析を目的としております。病理材料以外は受託できません。検査に必要な腫瘍細胞の割合は10%以上です。未染標本スライド提出に際しての留意事項は56ページをご参照ください。他項目との重複依頼は避けてください。 &1
	A269 3 04260A174 マイクロサテライト 不安定性(MSI)検査 (FFPE)	未染標本 スライド 5~10枚 厚さ5μm	Z10	室温	4~8	②③ 2500 ※2	マルチプレックス PCR-フラグメント 解析		重 5種類のマーカー (BAT25、BAT26、NR21、NR24、MONO27)について解析し判定致します。検査に必要な腫瘍細胞の割合は50%以上です。未染標本スライド提出に際しての留意事項は56ページをご参照ください。他項目との重複依頼は避けてください。 &1
	A270 1 04260A254 マイクロサテライト 不安定性(MSI)検査 (FF)	組織 50mg	ARR	凍結	4~8	②③ 2500 ※2	マルチプレックス PCR-フラグメント 解析		重 5種類のマーカー (BAT25、BAT26、NR21、NR24、MONO27)について解析し判定致します。他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合には、主たるもののみ算定する。
- ②「悪性腫瘍遺伝子検査」は、固形腫瘍又は悪性リンパ腫の腫瘍細胞を検体とし、悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った、遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算定する。
- ③マイクロサテライト不安定性検査については、リンチ症候群の診断の補助を目的とする場合又は固形癌の抗悪性腫瘍剤による治療法の選択を目的とする場合に、当該検査を実施した後に、もう一方の目的で当該検査を実施した場合であっても、別に1回に限り算定できる。

RAS・BRAF遺伝子変異解析の留意事項

本検査に使用する組織片は、病理組織学的な評価がなされ、腫瘍組織の存在や含有量が確認されていることが受託の必須条件となります。切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌における治療選択の補助を目的として検査を実施した場合の保険請求上の名称は、「BRAF遺伝子検査」および「RAS遺伝子検査」で、悪性腫瘍遺伝子検査(2項目)の所定点数となります。

[A270 1]マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(FF)の留意事項

生検材料(新鮮凍結組織)は、検体が微量であることが多く組織自体がほとんど消失している場合や、腫瘍細胞が含まれていない組織片になっている可能性がありますので、あらかじめご注意願います。



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	肺癌オンコマイン DxTT マルチ7遺伝子CDx FFPE	未染標本 スライド 5~10枚 厚さ5μm	Z10	室温	6~9	①②③ 18000 ※2	次世代 シーケンス (NGS)法		重 がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、<i>BRAF</i>遺伝子V600E変異、<i>EGFR</i>遺伝子変異、<i>HER2 (ERBB2)</i>遺伝子変異、<i>ALK</i>融合遺伝子、<i>ROS1</i>融合遺伝子、<i>RET</i>融合遺伝子、<i>MET</i>ex14スキッピング変異を解析し、非小細胞肺癌患者に対して別表の医薬品の適応判定の補助をすることを目的としております。 検査に必要な腫瘍細胞の割合は30%以上です。未染標本スライド提出に際しての留意事項は56ページをご参照ください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目も併せてご依頼ください。 ⑤1
	曜日指定 肺癌オンコマイン DxTT マルチ7遺伝子CDx FF	組織 100mg	ARR	凍結	6~9	①②③ 18000 ※2	次世代 シーケンス (NGS)法		重 がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、<i>BRAF</i>遺伝子V600E変異、<i>EGFR</i>遺伝子変異、<i>HER2 (ERBB2)</i>遺伝子変異、<i>ALK</i>融合遺伝子、<i>ROS1</i>融合遺伝子、<i>RET</i>融合遺伝子、<i>MET</i>ex14スキッピング変異を解析し、非小細胞肺癌患者に対して別表の医薬品の適応判定の補助をすることを目的としております。 受託可能日は月～金曜日です。材料は腫瘍部位が含有されていることを確認のうえ、ご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目も併せてご依頼ください。 ⑤1

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合には、主たるもののみ算定する。
- ②「悪性腫瘍遺伝子検査」は、固形腫瘍又は悪性リンパ腫の腫瘍細胞を検体とし、悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った、遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算定する。
- イ 処理が容易なもの/医薬品の適応判定の補助等に用いるもの 肺癌における*EGFR*遺伝子検査、*ROS1*融合遺伝子検査、*ALK*融合遺伝子検査
- ロ 処理が複雑なもの 肺癌における*BRAF*遺伝子検査、*RET*融合遺伝子検査、*HER2*遺伝子検査(次世代シーケンシング)、*MET*ex14遺伝子検査(肺癌)(次世代シーケンシング)
- ③次世代シーケンシングを用いて、抗悪性腫瘍剤による治療法の選択を目的として特定の遺伝子の変異の評価を行う際に、包括的なゲノムプロファイルを併せて取得している場合には、包括的なゲノムプロファイルの結果ではなく、目的とする遺伝子変異の結果についてのみ患者に提供すること。また、その場合においては、目的以外の遺伝子の変異に係る検査結果については患者の治療方針の決定等には用いないこと。

肺癌オンコマインDxTTマルチ7遺伝子CDxについて

<対象遺伝子変異等と関連する医薬品および適応がん腫>

遺伝子変異等	がん腫	関連する医薬品
<i>BRAF</i> 遺伝子V600E変異	非小細胞肺癌	ダブラフェニブメシル酸塩及びトラメチニブジメチルスルホキシド付加物の併用投与
<i>EGFR</i> 遺伝子変異		ゲフィチニブ、エルロチニブ塩酸塩、アファチニブマレイン酸塩、オシメルチニブメシル酸塩、ダコミチニブ水和物
<i>HER2 (ERBB2)</i> 遺伝子変異		トラスツズマブ デルクステカン(遺伝子組換え)
<i>ALK</i> 融合遺伝子		クリソチニブ、アレクチニブ塩酸塩、ブリグチニブ、ロルラチニブ
<i>ROS1</i> 融合遺伝子		クリソチニブ、エヌトレクチニブ
<i>RET</i> 融合遺伝子		セルベルカチニブ
<i>MET</i> ex14スキッピング変異		カブマチニブ塩酸塩水和物、テボチニブ塩酸塩水和物

肺癌オンコマインDxTTマルチ7遺伝子CDx FFの留意事項

- 組織以外の材料について
採取した胸水、肺胞洗浄液、気管支擦過洗浄液を指定容器(ARR)に入れ、室温にて遠心分離(760G [2000 ~ 3000rpm]×10分間)し、上清をできるだけ取り除いた沈渣を、必ず凍結しご提出ください。
- 留意事項
検体採取後、直ちに処理してください。また、ご提出された検体の細胞数が少ない場合には、検査不能となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

遺伝子関連検査

悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	甲状腺癌 オンコマインDxTT マルチ2遺伝子CDx FFPE	未染標本 スライド 5~10枚 厚さ5μm	Z10	室温	6~11	①② ③ 8000 ※2	次世代 シーケンス (NGS)法		重 がん組織から抽出したゲノム DNA・RNAにて、RET融合遺伝 子、RET遺伝子変異、BRAF遺伝 子V600E変異を解析し、甲状腺癌 および甲状腺髄様癌に対して別表 の医薬品の適応判定の補助をする ことを目的としております。 検査に必要な腫瘍細胞の割合は 30%以上です。未染標本スライド 提出に際しての留意事項は66ペ ージをご参照ください。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネ ーションの影響がより大きくなり ますので、検体採取にあたっては取 り扱いに充分ご注意ください。 本検査をご依頼の際には、必ず核 酸抽出項目も併せてご依頼くださ い。 &1
	曜日指定 甲状腺癌 オンコマインDxTT マルチ2遺伝子CDx FF	組織 100mg	ARR	凍結	6~11	①② ③ 8000 ※2	次世代 シーケンス (NGS)法		重 がん組織から抽出したゲノム DNA・RNAにて、RET融合遺伝 子、RET遺伝子変異、BRAF遺伝 子V600E変異を解析し、甲状腺癌 および甲状腺髄様癌に対して別表 の医薬品の適応判定の補助をする ことを目的としております。 受託可能日は月~金曜日です。 材料は腫瘍部位が含有されている ことを確認のうえ、ご提出くださ い。他項目との重複依頼は避けて ください。本検査方法ではコンタ ミネーションの影響がより大き くなりますので、検体採取にあた っては取り扱いに充分ご注意くだ さい。 本検査をご依頼の際には、必ず核 酸抽出項目も併せてご依頼くださ い。 &1

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合には、主たるもののみ算定する。
- ②「悪性腫瘍遺伝子検査」は、固形腫瘍又は悪性リンパ腫の腫瘍細胞を検体とし、悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った、遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算定する。
- 処理が複雑なもの 甲状腺癌におけるRET融合遺伝子検査、BRAF遺伝子検査、甲状腺髄様癌におけるRET遺伝子変異検査
- ③次世代シーケンシングを用いて、抗悪性腫瘍剤による治療法の選択を目的として特定の遺伝子の変異の評価を行う際に、包括的なゲノムプロファイルを併せて取得している場合には、包括的なゲノムプロファイルの結果ではなく、目的とする遺伝子変異の結果についてのみ患者に提供すること。また、その場合においては、目的以外の遺伝子の変異に係る検査結果については患者の治療方針の決定等には用いないこと。

甲状腺癌オンコマインDxTTマルチ2遺伝子CDxについて

<対象遺伝子変異等と関連する医薬品および適応がん腫>

遺伝子変異等	がん腫	関連する医薬品
RET融合遺伝子	甲状腺癌	セルベルカチニブ
BRAF遺伝子V600E変異		エンコラフェニブ及びビニメチニブ
RET遺伝子変異	甲状腺髄様癌	セルベルカチニブ

甲状腺癌オンコマインDxTTマルチ2遺伝子CDx FFの留意事項

検体採取後、直ちに処理してください。また、ご提出された検体の細胞数が少ない場合には、検査不能となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	肺癌オンコマイン DxTT マルチ7遺伝子CDx (46)FFPE	未染標本 スライド 5~10枚 厚さ5μm	Z10	室温	6~9	①② ③ 18000 ※2	次世代 シーケンス (NGS)法		重 がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、<i>BRAF</i>遺伝子V600E変異、<i>EGFR</i>遺伝子変異、<i>HER2</i> (<i>ERBB2</i>)遺伝子変異、<i>ALK</i>融合遺伝子、<i>ROS1</i>融合遺伝子、<i>RET</i>融合遺伝子、<i>MET</i>ex14スキッピング変異を解析し、非小細胞肺癌患者に対して別表の医薬品の適応判定の補助をすることを目的としております。また研究目的での使用に限り、薬事承認の46遺伝子の解析結果をあわせてご報告いたします。検査に必要な腫瘍細胞の割合は30%以上です。未染標本スライド提出に際しての留意事項は56ページをご参照ください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目も併せてご依頼ください。 ⑤1
	曜日指定 肺癌オンコマイン DxTT マルチ7遺伝子CDx (46)FF	組織 100mg	ARR	凍結	6~9	①② ③ 18000 ※2	次世代 シーケンス (NGS)法		重 がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、<i>BRAF</i>遺伝子V600E変異、<i>EGFR</i>遺伝子変異、<i>HER2</i> (<i>ERBB2</i>)遺伝子変異、<i>ALK</i>融合遺伝子、<i>ROS1</i>融合遺伝子、<i>RET</i>融合遺伝子、<i>MET</i>ex14スキッピング変異を解析し、非小細胞肺癌患者に対して別表の医薬品の適応判定の補助をすることを目的としております。また研究目的での使用に限り、薬事承認の46遺伝子の解析結果をあわせてご報告いたします。受託可能日は月~金曜日です。材料は腫瘍部位が含有されていることを確認のうえ、ご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目も併せてご依頼ください。 ⑤1

- ①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合には、主たるもののみ算定する。
- ②「悪性腫瘍遺伝子検査」は、固形腫瘍又は悪性リンパ腫の腫瘍細胞を検体とし、悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った、遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算定する。
- イ 処理が容易なもの/医薬品の適応判定の補助等に用いるもの 肺癌における*EGFR*遺伝子検査、*ROS1*融合遺伝子検査、*ALK*融合遺伝子検査
- ロ 処理が複雑なもの 肺癌における*BRAF*遺伝子検査、*RET*融合遺伝子検査、*HER2*遺伝子検査(次世代シーケンシング)、*MET*ex14遺伝子検査(肺癌)(次世代シーケンシング)
- ③次世代シーケンシングを用いて、抗悪性腫瘍剤による治療法の選択を目的として特定の遺伝子の変異の評価を行う際に、包括的なゲノムプロファイルを併せて取得している場合には、包括的なゲノムプロファイルの結果ではなく、目的とする遺伝子変異の結果についてのみ患者に提供すること。また、その場合においては、目的以外の遺伝子の変異に係る検査結果については患者の治療方針の決定等には用いないこと。

肺癌オンコマインDxTTマルチ7遺伝子CDx(46)について

<対象遺伝子変異等と関連する医薬品および適応がん腫>

遺伝子変異等	がん腫	関連する医薬品
<i>BRAF</i> 遺伝子V600E変異	非小細胞肺癌	ダブラフェニブメシル酸塩及びトラメチニブジメチルスルホキシド付加物の併用投与
<i>EGFR</i> 遺伝子変異		ゲフィチニブ、エルロチニブ塩酸塩、アファチニブマレイン酸塩、オシメルチニブメシル酸塩、ダコミチニブ水和物
<i>HER2</i> (<i>ERBB2</i>)遺伝子変異		トラスツズマブ デルクステカン(遺伝子組換え)
<i>ALK</i> 融合遺伝子		クリゾチニブ、アレクチニブ塩酸塩、ブリグチニブ、ロルラチニブ
<i>ROS1</i> 融合遺伝子		クリゾチニブ、エモトレクチニブ
<i>RET</i> 融合遺伝子		セルベルカチニブ
<i>MET</i> ex14スキッピング変異		カブマチニブ塩酸塩水和物、テボチニブ塩酸塩水和物

肺癌オンコマインDxTTマルチ7遺伝子CDx(46)FFの留意事項

- 組織以外の材料について
採取した胸水、肺胞洗浄液、気管支擦過洗浄液を指定容器(ARR)に入れ、室温にて遠心分離(760G [2000 ~ 3000rpm]×10分間)し、上清をできるだけ取り除いた沈渣を、必ず凍結しご提出ください。
- 留意事項
検体採取後、直ちに処理してください。また、ご提出された検体の細胞数が少ない場合には、検査不能となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

遺伝子関連検査

悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	甲状腺癌 オンコマインDxTT マルチ2遺伝子 CDx(46) FFPE	未染標本 スライド 5~10枚 厚さ5μm	Z10	室温	6~11	①②③ 8000 ※2	次世代 シーケンス (NGS)法		重 がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、RET融合遺伝子、RET遺伝子変異、BRAF遺伝子V600E変異を解析し、甲状腺癌および甲状腺髄様癌に対して別表の医薬品の適応判定の補助をすることを目的としております。また研究目的での使用に限り、薬事承認の46遺伝子の解析結果をあわせてご報告いたします。 検査に必要な腫瘍細胞の割合は30%以上です。未染標本スライド提出に際しての留意事項は56ページをご参照ください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目も併せてご依頼ください。 &1
	曜日指定 甲状腺癌 オンコマインDxTT マルチ2遺伝子 CDx(46) FF	組織 100mg	ARR	凍結	6~11	①②③ 8000 ※2	次世代 シーケンス (NGS)法		重 がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、RET融合遺伝子、RET遺伝子変異、BRAF遺伝子V600E変異を解析し、甲状腺癌および甲状腺髄様癌に対して別表の医薬品の適応判定の補助をすることを目的としております。また研究目的での使用に限り、薬事承認の46遺伝子の解析結果をあわせてご報告いたします。 受託可能日は月~金曜日です。 材料は腫瘍部位が含まれていることを確認のうえ、ご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目も併せてご依頼ください。 &1

①「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」又は「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合には、主たるもののみ算定する。
②「悪性腫瘍遺伝子検査」は、固形腫瘍又は悪性リンパ腫の腫瘍細胞を検体とし、悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った、遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算定する。
③ 処理が複雑なもの 甲状腺癌におけるRET融合遺伝子検査、BRAF遺伝子検査、甲状腺髄様癌におけるRET遺伝子変異検査
④ 次世代シーケンシングを用いて、抗悪性腫瘍剤による治療法の選択を目的として特定の遺伝子の変異の評価を行う際に、包括的なゲノムプロファイルを併せて取得している場合には、包括的なゲノムプロファイルの結果ではなく、目的とする遺伝子変異の結果についてのみ患者に提供すること。また、その場合においては、目的以外の遺伝子の変異に係る検査結果については患者の治療方針の決定等には用いないこと。

甲状腺癌オンコマインDxTTマルチ2遺伝子CDx(46)について

<対象遺伝子変異等と関連する医薬品および適応がん腫>

遺伝子変異等	がん腫	関連する医薬品
RET融合遺伝子	甲状腺癌	セルベルカチニブ
BRAF遺伝子V600E変異		エンコラフェニブ及びビニメチニブ
RET遺伝子変異	甲状腺髄様癌	セルベルカチニブ

甲状腺癌オンコマインDxTTマルチ2遺伝子CDx(46)FFの留意事項

検体採取後、直ちに処理してください。また、ご提出された検体の細胞数が少ない場合には、検査不能となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



遺伝子関連検査

悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD (3ヵ月以下) 8D100-9957-075-862	未染標本スライド 各7~10枚 厚さ5μm	Z10	室温	4~7	①② 12500 ※2	PCR (リアルタイムPCR)、 RT-PCR (リアルタイムPCR)		重 がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、 <i>BRAF</i> V600E変異、 <i>EGFR</i> 遺伝子変異、 <i>ALK</i> 融合遺伝子、 <i>ROS1</i> 融合遺伝子、 <i>MET</i> 遺伝子エクソン14スキッピング変異、 <i>KRAS</i> G12C遺伝子変異、 <i>RET</i> 融合遺伝子を解析し、非小細胞肺癌患者に対して別表の医薬品の適応を判断することを目的としております。 検査に必要な腫瘍細胞の割合は20%以上(推奨30%以上)です。未染標本スライド提出に際しての留意事項は66ページをご参照ください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目も併せてご依頼ください。 &1
	AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD (3~12ヵ月) 8D100-9957-075-862								
	AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD (12~24ヵ月) 8D100-9957-075-862								
	曜日指定 AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD(FF) 8D100-9957-070-862	組織 100mg	ARR	凍結	4~7	①② 12500 ※2	PCR (リアルタイムPCR)、 RT-PCR (リアルタイムPCR)		重 がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、 <i>BRAF</i> V600E変異、 <i>EGFR</i> 遺伝子変異、 <i>ALK</i> 融合遺伝子、 <i>ROS1</i> 融合遺伝子、 <i>MET</i> 遺伝子エクソン14スキッピング変異、 <i>KRAS</i> G12C遺伝子変異、 <i>RET</i> 融合遺伝子を解析し、非小細胞肺癌患者に対して別表の医薬品の適応を判断することを目的としております。 受託可能日は月~金曜日です。材料は腫瘍部位が含有されていることを確認のうえ、ご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目も併せてご依頼ください。 &1

- ①「肺癌関連遺伝子多項目同時検査」は、肺癌患者の腫瘍組織を検体とし、EGFR遺伝子検査、ROS1融合遺伝子検査、ALK融合遺伝子検査、BRAF遺伝子検査、METex14遺伝子検査、KRAS遺伝子検査及びRET融合遺伝子検査をリアルタイムPCR法により同時に実施した場合に、患者1人につき1回に限り算定する。
- ②「肺癌関連遺伝子多項目同時検査」と「悪性腫瘍組織検査」の医薬品の適応判定の補助等に用いるもの(肺癌におけるEGFR遺伝子検査、ROS1融合遺伝子検査、ALK融合遺伝子検査、BRAF遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。)、METex14遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。))又はKRAS遺伝子変異(G12C)検査に限る。」「悪性腫瘍組織検査」の処理が複雑なもの(肺癌におけるBRAF遺伝子検査(次世代シーケンシング)、METex14遺伝子検査(次世代シーケンシング)又はRET融合遺伝子検査に限る。))、「EGFR遺伝子検査(血漿)」、「悪性腫瘍遺伝子検査(血液・血漿)」の「ROS1融合遺伝子検査」、「ALK融合遺伝子検査」若しくは「METex14遺伝子検査」、「免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製」の「EGFRタンパク」若しくは「ALK融合タンパク」又は「ALK融合遺伝子標本作製」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVDについて

<対象遺伝子変異等と関連する医薬品および適応がん種>

遺伝子変異等	がん腫	関連する医薬品
<i>BRAF</i> V600E変異	非小細胞肺癌	ダブラフェニブメシル酸塩及びトラメチニブジメチルスルホキシド付加物の併用投与
<i>EGFR</i> 遺伝子変異		ゲフィチニブ、エルロチニブ塩酸塩、アファチニブマレイン酸塩、オシメルチニブメシル酸塩
<i>ALK</i> 融合遺伝子		クリゾチニブ、アレクチニブ塩酸塩、ブリグチニブ
<i>ROS1</i> 融合遺伝子		クリゾチニブ、エヌトレクチニブ
<i>MET</i> ex14スキッピング変異		テボチニブ塩酸塩水和物、カブマチニブ塩酸塩水和物、グマロンチニブ水和物
<i>KRAS</i> G12C遺伝子変異		ソトラシブ
<i>RET</i> 融合遺伝子		セルベルカチニブ

AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD(FF)の留意事項

検体採取後、直ちに処理してください。また、ご提出された検体の細胞数が少ない場合には、検査不能となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

遺伝子関連検査

悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査		AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(3ヵ月以下) 8D100-9957-075-862	未染標本スライド 各7~10枚 厚さ5μm	Z10	室温	4~7	12500 ※2	PCR (リアルタイムPCR)、 RT-PCR (リアルタイムPCR)		【重】 がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、<i>BRAF</i> V600E変異、<i>EGFR</i>遺伝子変異、<i>ALK</i>融合遺伝子、<i>ROS1</i>融合遺伝子、<i>MET</i>遺伝子エクソン14スキッピング変異、<i>KRAS</i> G12C遺伝子変異、<i>RET</i>融合遺伝子を解析し、非小細胞肺癌患者に対して別表の医薬品の適応を判断することを目的としております。 検査に必要な腫瘍細胞の割合は20%以上(推奨30%以上)です。未染標本スライド提出に際しての留意事項は56ページをご参照ください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目も併せてご依頼ください。 &1
		AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(3~12ヵ月) 8D100-9957-075-862								
		AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(12~24ヵ月) 8D100-9957-075-862								
		曜日指定 AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(FF) 8D100-9957-070-862	組織 100mg	ARR	凍結	4~7	12500 ※2	PCR (リアルタイムPCR)、 RT-PCR (リアルタイムPCR)		【重】 がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、<i>BRAF</i> V600E変異、<i>EGFR</i>遺伝子変異、<i>ALK</i>融合遺伝子、<i>ROS1</i>融合遺伝子、<i>MET</i>遺伝子エクソン14スキッピング変異、<i>KRAS</i> G12C遺伝子変異、<i>RET</i>融合遺伝子を解析し、非小細胞肺癌患者に対して別表の医薬品の適応を判断することを目的としております。 受託可能日は月~金曜日です。材料は腫瘍部位が含まれていることを確認のうえ、ご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目も併せてご依頼ください。 &1

①「肺癌関連遺伝子多項目同時検査」は、肺癌患者の腫瘍組織を検体とし、EGFR遺伝子検査、ROS1融合遺伝子検査、ALK融合遺伝子検査、BRAF遺伝子検査、METex14遺伝子検査、KRAS遺伝子検査及びRET融合遺伝子検査をリアルタイムPCR法により同時に実施した場合に、患者1人につき1回に限り算定する。

②「肺癌関連遺伝子多項目同時検査」と「悪性腫瘍組織検査」の医薬品の適応判定の補助等に用いるもの(肺癌におけるEGFR遺伝子検査、ROS1融合遺伝子検査、ALK融合遺伝子検査、BRAF遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。)、METex14遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。))又はKRAS遺伝子変異(G12C)検査に限る。」「悪性腫瘍組織検査」の処理が複雑なもの(肺癌におけるBRAF遺伝子検査(次世代シーケンシング)、METex14遺伝子検査(次世代シーケンシング)又はRET融合遺伝子検査に限る。))、「EGFR遺伝子検査(血液・血漿)」、「悪性腫瘍遺伝子検査(血液・血漿)」の「ROS1融合遺伝子検査」、「ALK融合遺伝子検査」若しくは「METex14遺伝子検査」、「免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製」の「EGFRタンパク」若しくは「ALK融合タンパク」又は「ALK融合遺伝子標本作製」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用について

<対象遺伝子変異等と関連する医薬品および適応がん種>

遺伝子変異等	がん腫	関連する医薬品
<i>BRAF</i> V600E変異	非小細胞肺癌	ダブラフェニブメシル酸塩及びトラメチンブジメチルスルホキシド付加物の併用投与
<i>EGFR</i> 遺伝子変異		ゲフィチニブ、エルロチニブ塩酸塩、アファチニブマレイン酸塩、オシメルチニブメシル酸塩
<i>ALK</i> 融合遺伝子		クリゾチニブ、アレクチニブ塩酸塩、ブリグチニブ
<i>ROS1</i> 融合遺伝子		クリゾチニブ、エストレクチニブ
<i>MET</i> ex14スキッピング変異		テボチニブ塩酸塩水和物、カブマチニブ塩酸塩水和物、グラロンチニブ水和物
<i>KRAS</i> G12C遺伝子変異		ソトラシブ
<i>RET</i> 融合遺伝子		セルベルカチニブ

AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(FF)の留意事項

検体採取後、直ちに処理してください。また、ご提出された検体の細胞数が少ない場合には、検査不能となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Z10

旧容器記号
t



【オブジェクト
ケース】
フレバート
(スライドグラス)

貯蔵方法 室温

ARR

旧容器記号
r



貯蔵方法 室温

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
遺 伝 学 的 検 査	A435 8	倫理指針対象 RET遺伝子解析 (甲状腺髄様癌) 8C061-9951-019-848	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵 (3日)	17~21	① 5000 ※2	ダイレクト シーケンス法		凍 凍 凍結保存は避けてください。 RET遺伝子のexon10,11,13,14, 15,16を解析しています。他項目 との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーショ ンの影響がより大きくなりますの で、検体採取にあたっては取り扱 いに充分ご注意ください。 &1
	A436 7	倫理指針対象 RET遺伝子 シングルサイト解析 (甲状腺髄様癌) 8C061-9951-019-848	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵 (3日)	17~21		ダイレクト シーケンス法		凍 凍 凍結保存は避けてください。 発端者で検出されたバリエーション と同一バリエーションの有無を調べます。 ご依頼の際は、発端者で検出され てバリエーション情報を必ず明記して ください。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネー ションの影響がより大きくなります ので、検体採取にあたっては取り 扱いに充分ご注意ください。 &1

①「遺伝学的検査」は遺伝子疾患が疑われる場合に行うものとし、原則として患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、2回以上実施する場合は、その医療上の必要性について診療報酬明細書の摘要欄に記載する。

倫理指針対象 (⑤ページ参照)

[A436 7]RET遺伝子シングルサイト解析(甲状腺髄様癌)

ご依頼の際は発端者で検出されたバリエーション情報が必要なため、発端者を解析した際の検査受付日、ID、検出されたバリエーション情報を依頼書へ記載のうえ、匿名化した報告書コピーを添付してください。

遺伝子関連検査

遺伝学的検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
遺 伝 学 的 検 査	K4196 02091B101	倫理指針対象 SNRPN遺伝子解析 〔メチレーションPCR〕 (ブラダー・ウィリ症候群 アンジェルマン症候群) 8C861-9952-019-865	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (3日)	12~16	①② 5000 ※2	メチレーション PCR		凍結 凍結保存は避けてください。 <i>SNRPN</i> 遺伝子の5' CpGアイランドのメチル化 を解析しています。他項目との重複依 頼は避けてください。本検査方法はコ ンタミネーションの影響がより大き くなりますので、検体採取にあたって は取り扱いに充分ご注意ください。 &1
		倫理指針対象 PRRT2遺伝子解析 (発作性運動誘発性 舞蹈アテトーゼ) 8C575-0000-019-848	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (3日)	12~16		ダイレクト シーケンス法		凍結 凍結保存は避けてください。 本項目は <i>PRRT2</i> 遺伝子のc.649du pCのみを解析しています。他項目 との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーショ ンの影響がより大きくなりますの で、検体採取にあたっては取り扱 いに充分ご注意ください。 &1
		倫理指針対象 TTR遺伝子解析 (家族性アミロイドー シス) 8C851-9951-019-848	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵 (3日)	17~21	① 3880 ※2	ダイレクト シーケンス法		凍結 凍結保存は避けてください。 <i>TTR</i> 遺伝子の全exon(exon1~4) を解析しています。他項目との重 複依頼は避けてください。本検査 方法ではコンタミネーションの影 響がより大きくなりますので、検 体採取にあたっては取り扱いに充 分ご注意ください。 &1
		倫理指針対象 MECP2遺伝子解析 (レット症候群) 8C805-9951-019-848	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (3日)	17~21		ダイレクト シーケンス法		凍結 凍結保存は避けてください。 本項目は <i>MECP2</i> 遺伝子のexon3,4 を解析しています。他項目との重 複依頼は避けてください。本検査 方法ではコンタミネーションの影 響がより大きくなりますので、検 体採取にあたっては取り扱いに充 分ご注意ください。 &1
		倫理指針対象 曜日指定 ZEB2遺伝子解析 (モワット・ウィルソ ン症候群) 8C805-9951-019-848	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (3日)	30~90	①③ 5000 ※2	ダイレクト シーケンス法		凍結 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~水曜日です。 <i>ZEB2</i> 遺伝子のexon2~10とその 周辺のintronを解析しています。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネ ーションの影響がより大きくなりま すので、検体採取にあたっては取 り扱いに充分ご注意ください。 &1

①「遺伝学的検査」は以下の遺伝子疾患が疑われる場合に行うものとし、原則として患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、2回以上実施する場合は、その医療上の必要性について診療報酬明細書の摘要欄に記載する。
②別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において検査が行われる場合に算定できる。
③臨床症状や他の検査等では診断がつかない場合に、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において検査が行われる場合に算定できる。

倫理指針対象 (⑤ページ参照)

ZEB2遺伝子解析(モワット・ウィルソン症候群)について

ダイレクトシーケンス法で有意な結果が得られなかった場合は、MLPA法を併用させていただきます。
バリエーションが見つからない場合、MLPA法の解析を行う場合、予想外の結果が出た場合などでは、報告日数が6ヵ月程度まで遅くなる場合があります。



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
遺 伝 学 的 検 査	倫理指針対象 TACSTD2 遺伝子解析 (角膜ジストロフィー) 8C837-9951-019-848	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵 (3日)	12~16	①② 1200 ※2	ダイレクト シーケンス法		重 凍 凍結保存は避けてください。 TACSTD2遺伝子の全コーディン グ領域(exon1)を解析しています。 (TACSTD2遺伝子は、シングルエ クソン遺伝子です。)他項目との重 複依頼は避けてください。本検査 方法ではコンタミネーションの影 響がより大きくなりますので、検 体採取にあたっては取り扱いに充 分ご注意ください。 &1
	E190 6 019909001 倫理指針対象 ジストロフィン 遺伝子解析 (デュシェンヌ型 筋ジストロフィー ベッカー型 筋ジストロフィー) 8C831-9901-019-856	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (3日)	12~16	③ 3880 ※2	MLPA	遺伝子の欠失およ び重複を認めず	凍 凍結保存は避けてください。 ジストロフィン遺伝子の全79領域 について、欠失、重複変異の有無 を解析します。なおエクソンの欠 失、重複以外のDMD遺伝子変異で ある微細な欠失、重複や挿入、一 塩基置換、スプライス変異は解析 できません。また、単一のエクソ ンにのみ変異が検出された場合は、 一塩基置換などのミスマッチ配列 の可能性があります。 本検査方法ではコンタミネーシ ョンの影響がより大きくなりますの で、検体採取にあたっては取り扱 いに充分ご注意ください。 &1
	E877 4 019726301 倫理指針対象 フクチン遺伝子 DNA挿入 (福山型先天性筋ジ ストロフィー) 8C832-9936-019-851	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵 (3日)	12~16	③ 5000 ※2	PCR	挿入を認めず	凍 凍結保存は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーシ ョンの影響がより大きくなりますの で、検体採取にあたっては取り扱 いに充分ご注意ください。依頼書 に臨床診断名をご記入ください。 &1
	倫理指針対象 脊髄小脳変性症 遺伝子解析	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵 (3日)	19~23	③④ 8000 ※2	マルチプレックス PCR-フラグメント 解析	下記参照	重 凍 凍結保存は避けてください。 SCA1、SCA2、MJD/SCA3、 SCA6、SCA7、SCA8、SCA12、 SCA17、DRPLAに関わるリピ ート伸長及びSCA31に関わる伸長挿 入とPLEKHG4遺伝子のc.-16を解 析しています。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネ ーションの影響がより大きくなりま すので、検体採取にあたっては取 り扱いに充分ご注意ください。 &1

①角膜ジストロフィー遺伝子検査

(1)「角膜ジストロフィー遺伝子検査」は、角膜混濁等の前眼部病変を有する患者であって、臨床症状、検査所見、家族歴等から角膜ジストロフィーと診断又は疑われる者に対して、治療方針の決定を目的として行った場合に算定する。本検査を実施した場合には、その医学的な必要性を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

(2)検査の実施に当たっては、個人情報保護委員会・厚生労働省「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」及び関係学会による「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」を遵守すること。

②別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に、患者1人につき1回に限り算定する。

③「遺伝学的検査」は遺伝子疾患が疑われる場合に行うものとし、原則として患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、2回以上実施する場合は、その医療上の必要性について診療報酬明細書の摘要欄に記載する。

④臨床症状や他の検査等では診断がつかない場合に、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において検査が行われる場合に算定できる。

⑤別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、患者から1回に採取した検体を用いて複数の遺伝子疾患に対する検査を実施した場合は、主たる検査の所定点数及び当該主たる検査の所定点数の100分の50に相当する点数を合算した点数により算定する。

倫理指針対象 (⑤ページ参照)

脊髄小脳変性症 遺伝子解析の判定基準

疾患略号	遺伝子名	リピート塩基	判定基準 (リピート数)
			正常
SCA1	ATXN1	CAG	35以下
SCA2	ATXN2	CAG	14 ~ 31
MJD/SCA3	ATXN3	CAG	12 ~ 44
SCA6	CACNA1A	CAG	4 ~ 18
SCA7	ATXN7	CAG	7 ~ 17
SCA8	ATXN8OS	CAG/CTG	15 ~ 34
SCA12	PPP2R2B	CAG	9 ~ 18
SCA17	TBP	CAA/CAG	29 ~ 42
DRPLA	ATN1	CAG	6 ~ 35

疾患略号	遺伝子名	リピート塩基 /バリエーション	判定基準
			正常
SCA31	BEAN1	TGGAA	伸長挿入を認めず
	PLEKHG4	c.-16C>T	—

遺伝子関連検査

遺伝学的検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
遺 伝 学 的 検 査		倫理指針対象 先天性QT延長 症候群遺伝子解析 8C845-0000-019-966	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (10日)	35~80	① 8000 ※2	次世代 シーケンス (NGS)法		重 凍 凍結保存は避けてください。 本項目は、 <i>KCNQ1</i> 、 <i>KCNH2</i> 、 <i>SCN5A</i> 遺伝子のexonとそのintron境界部分 を解析しています。他項目との重複 依頼は避けてください。本検査方 法ではコンタミネーションの影響 がより大きくなりますので、検体 採取にあたっては取り扱いに充分 ご注意ください。 &1
		倫理指針対象 MEFV遺伝子解析 (家族性地中海熱) 8C848-9951-019-848	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵 (3日)	28~35	① 3880 ※2	ダイレクト シーケンス法		重 凍 凍結保存は避けてください。 <i>MEFV</i> 遺伝子の全exon(exon1~ 10)を解析しています。他項目と の重複依頼は避けてください。本 検査方法ではコンタミネーション の影響がより大きくなりますので、 検体採取にあたっては取り扱いに 充分ご注意ください。 &1
		倫理指針対象 SOD1遺伝子解析 (筋萎縮性側索硬化症) 8C833-9901-019-851	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵 (3日)	17~21	①② 5000 ※2	ダイレクト シーケンス法		重 凍 凍結保存は避けてください。 本項目は、 <i>SOD1</i> 遺伝子の全exon (exon1~5)を解析しています。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネ ーションの影響がより大きくなりま すので、検体採取にあたっては取 り扱いに充分ご注意ください。 &1
	A993 9	倫理指針対象 予約検査 HTT遺伝子 CAG反復配列解析 (ハンチントン病) 8C833-9901-019-851	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (3日)	12~16	① 5000 ※2	PCR		重 凍 凍結保存は避けてください。 本項目は <i>HTT</i> 遺伝子 exon1領域 内のCAG反復回数を解析していま す。他項目との重複依頼は避けて ください。 本検査方法ではコンタミネーショ ンの影響がより大きくなりますの で、検体採取にあたっては取り扱 いに充分ご注意ください。 &1
	9037 1 020406301	倫理指針対象 アンドロゲン レセプター遺伝子 CAG反復配列解析 (球脊髄性筋萎縮症) 8C834-9901-019-851	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵 (3日)	12~16	① 3880 ※2	PCR		重 凍 凍結保存は避けてください。 本項目はアンドロゲンレセプター 遺伝子 exon1領域内のCAG反復回 数を解析しています。他項目との 重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーショ ンの影響がより大きくなりますの で、検体採取にあたっては取り扱 いに充分ご注意ください。 &1
	B573 4 03214A201	倫理指針対象 Y染色体微小欠失 (AZF欠失) 8C896-9935-019-898	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵 (3日)	7~11	③④ 3770 ※2	PCR-rSSO法		重 凍 凍結保存は避けてください。 本検査は、Y染色体微小欠失を検出 する、男性を対象とした検査です。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネ ーションの影響がより大きくなりま すので、検体採取にあたっては取 り扱いに充分ご注意ください。 &1

- ①「遺伝学的検査」は遺伝子疾患が疑われる場合に行うものとし、原則として患者1人につき1回に限り算定できる。ただし、2回以上実施する場合は、その医療上の必要性について診療報酬明細書の摘要欄に記載する。
- ②臨床症状や他の検査等では診断がつかない場合に、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において検査が行われる場合に算定できる。
- ③「Y染色体微小欠失検査」は、不妊症の患者であって、生殖補助医療を実施しているものに対して、PCR-rSSO法により、精巢内精子採取術の適応の判断を目的として実施した場合に、患者1人につき1回に限り算定する。なお、本検査を実施する医学的な理由を診療録に記載すること。
- ④別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において実施した場合に限り算定する。

倫理指針対象 (⑤ページ参照)

先天性QT延長症候群遺伝子解析について

受託数の増減により所要日数が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。
夏休みの7~8月や年末年始などの長期休暇の時期は受託数が増加する傾向があります。

[B573 4] Y染色体微小欠失 (AZF欠失) の主な欠失部位

検出対象となる主な欠失*	AZFa欠失
	AZFb欠失
	AZFb+c欠失
	AZFc欠失

- ※その他Y染色体上の微小欠失が検出される場合もございます。
- ※臨床的意義不明の欠失が認められた場合は、判定不能とご報告いたします。
- ※AZFc部分欠失(gr/gr)は、日本人男性の約1/3に認められます。

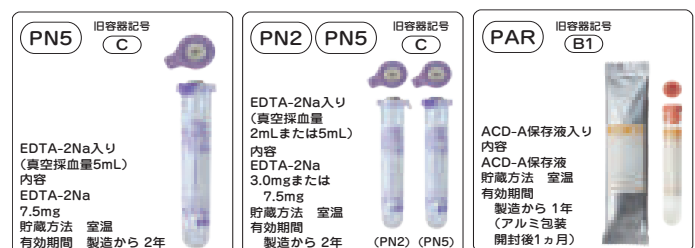
項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
薬剤応答遺伝子検査	A204 4 02043A101 PGx対象 薬物代謝酵素 チトクロームP450 CYP2C19 遺伝子多型解析 8C921-9956-019-862	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	12~16		PCR(リアル タイムPCR)		凍 凍 凍結保存は避けてください。 本項目はCYP2C19*2 (G681A)お よび*3 (G636A)を解析します。他 項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネー ションの影響がより大きくなりますの で、検体採取にあたっては取り扱い に充分ご注意ください。 &1
	PGx対象 UGT1A1 遺伝子多型解析 8C933-9956-019-951	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	4~8	① 2004 ※2	インバーダー法		凍 凍 凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。本検査方法ではコンタミネー ションの影響がより大きくなります ので、検体採取にあたっては取り 扱いに充分ご注意ください。 &1
	PGx対象 NUDT15遺伝子 codon 139 多型解析 8C955-9956-019-862	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵 (3日)	4~8	② 2100 ※2	PCR(リアル タイムPCR)		凍 凍 凍結保存は避けてください。本項 目はNUDT15遺伝子codon139の 遺伝子多型を検出し、アミノ酸表 記(Arg/Arg、Arg/Cys、Arg/ His、Cys/Cys、Cys/His、His/ His)にて報告いたします。 他項目との重複依頼は避けてくだ さい。 本検査方法ではコンタミネー ションの影響がより大きくなりますの で、検体採取にあたっては取り扱い に充分ご注意ください。 &1

- ①「UDPグルクロン酸転移酵素遺伝子多型」は、塩酸イリノテカンの投与対象となる患者に対して、その投与量等を判断することを目的として、インバーダー法又はPCR法により測定を行った場合、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定する。
- ②「NUDT15遺伝子多型」は、難治性の炎症性腸疾患、急性リンパ性白血病及び治療抵抗性のリウマチ性疾患(全身性血管炎(顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、結節性多発動脈炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、高安動脈炎等)、全身性エリテマトーデス(SLE)、多発性筋炎、皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病及び難治性リウマチ性疾患)、自己免疫性肝炎の患者であって、チオプリン製剤の投与対象となる患者に対して、その投与の可否、投与量等を判断することを目的として、リアルタイムPCR法により測定を行った場合に、当該薬剤の投与を開始するまでの間に1回を限度として算定する。

PGx対象 (⑥ページ参照)

NUDT15遺伝子codon 139多型解析の検出対象

塩基配列	アミノ酸	NUDT15遺伝子多型
CGT	アルギニン(Arg)	野生型
TGT	システイン(Cys)	c.415C>T (rs116855232)
CAT	ヒスチジン(His)	c.416G>A (rs147390019)



遺伝子関連検査

移植関連遺伝子検査

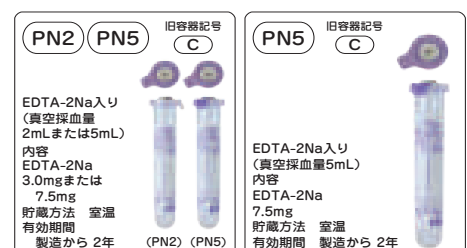
	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
移植関連遺伝子検査		曜日指定 HLA DNAタイピング [NGS-SBT法] 5K010-0000-019-966	血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN5	冷蔵	9~20		NGS-SBT法		凍結保存は避けてください。 本項目は、HLA遺伝子11 Locus (HLA-A、B、C、DRB1、DRB3、DRB4、DRB5、DQA1、DQB1、DPA1、DPB1)を測定しています。受託可能日は月~金曜日です。続柄・臨床診断名・投与薬剤名・輸血歴・移植歴は必ず明記してください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	6782 7 01917A101	曜日指定 HLA-A,B (血清対応型タイピング) 5K020-0000-019-898	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	3~5		PCR-rSSO法		凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。続柄・臨床診断名・投与薬剤名・輸血歴・移植歴は必ず明記してください。HLA検査2項目以上同時依頼の場合は血液2.0mLで検査可能です。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	6789 0 01647A101	曜日指定 HLA-A (DNAタイピング) 5K116-0000-019-899	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	6~7		PCR-SBT法		
	6790 8 01648A101	曜日指定 HLA-B (DNAタイピング) 5K117-0000-019-899	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	6~7		PCR-SBT法		
	6783 6 01912A101	曜日指定 HLA-C (DNAタイピング) 5K118-0000-019-899	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	6~7		PCR-SBT法		
	6784 5 01918A101	曜日指定 HLA-DR (血清対応型タイピング) 5K065-0000-019-898	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	3~5		PCR-rSSO法		
	7787 1 01629A101	曜日指定 HLA-DRB1 (DNAタイピング) 5K120-0000-019-899	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	6~7		PCR-SBT法		
	7789 9 01631A101	曜日指定 HLA-DPB1 (DNAタイピング) 5K121-0000-019-899	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	6~7		PCR-SBT法		
	7788 0 01630A101	曜日指定 HLA-DQB1 (DNAタイピング) 5K130-0000-019-899	血液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5	冷蔵	6~7		PCR-SBT法		&1

HLAの検体について

- 必ず専用容器にて規定量を採血してください。やむを得ず規定量に満たない場合は、蓋を開けて陰圧を解除してください。ただし、MLC(リンパ球混合培養)と同時依頼の場合は、無菌であることが重要となりますので必ず規定量を採血してください。
- HLA-A、B、C、DPB1、DRB1、DQB1(DNAタイピング)及びHLA DNAタイピング[NGS-SBT法]検査は、必要に応じてPCR-SSP法、PCR-rSSO法も併用させていただきます。
- 移植後のHLAタイピングをご依頼の場合は、レシピエントとドナーのアレルが混在し判定できない場合がありますのであらかじめご了承ください。
【ご注意】
移植後のHLAタイピングをご依頼の場合は、移植前のHLAの結果と提供者のHLAの結果を必ず依頼書にご記入ください。

HLA DNAタイピングの種類について

下記日本組織適合性学会のホームページにて最新情報をご確認ください。
https://jsi.smoosy.atlas.jp/ja/hla_data



	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
移植関連遺伝子検査	A290 9 04382A102	抗HLA抗体 (スクリーニング検査) 5G535-0000-023-045	血清 1.0	S09 ↓ A00	凍結 (26日)	3~6	① 1000 ※6	Luminex法		重 他項目との重複依頼は避けてください。 ※1
		曜日指定 フローサイト クロスマッチ (リンパ球交差試験) 5K210-0000-019-662	(受給者) 血液 2.0 (提供者) 血液 7.5 (ACD-A液加)	(受給者) S7P (提供者) PAR	室温 (2日)	3~5		フローサイト メトリー	B細胞 2.00未満 T細胞 1.50未満	重凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 血液以外の材料は受託できません。 必ず専用依頼書を用いて、疑陽性反応を示すリツキシマブ(リツキサン)およびThymoglobulin投与の有無と移植(予定)日、受給者の臨床診断名、妊娠歴、輸血歴、受給者と提供者との続柄、受給者と提供者の性別、年齢を漏れなく記載しご依頼ください。 受給者用検体と提供者用検体を必ずペアでご提出ください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。 ※1
	4778 4 019326301	曜日指定 キメリズム解析移植前 レシピエント [PCR]	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	4~6		PCR		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 受給者の場合、化学療法などにより細胞数が減少し、DNAが回収できない場合がありますので細胞数 2×10^5 個を最低限としてご提出ください。 必ず受給者、供給者のペアでご提出ください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 ※1
		8C981-9902-019-851 8C981-9902-046-851	骨髓液 1.0	H00						
	4779 3 019336301	曜日指定 キメリズム解析移植前 ドナー [PCR]	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7	冷蔵	4~6		PCR		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 受給者の場合、化学療法などにより細胞数が減少し、DNAが回収できない場合がありますので細胞数 2×10^5 個を最低限としてご提出ください。 必ず受給者、供給者のペアでご提出ください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 ※1
		8C981-9902-019-851 8C981-9902-046-851 8C981-9902-029-851	骨髓液 1.0 臍帯血 1.0	H00						
	4780 1 019346301	曜日指定 キメリズム解析移植後 [PCR]	骨髓液 1.0	H00	冷蔵	4~6		PCR		凍 凍結保存は避けてください。 受託可能日は月~金曜日です。 受給者の場合、化学療法などにより細胞数が減少し、DNAが回収できない場合がありますので細胞数 2×10^5 個を最低限としてご提出ください。移植前に「キメリズム解析移植前レシピエント、ドナー [PCR]」の検査を実施してください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 ※1
		8C981-9903-046-851 8C981-9903-019-851	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	PN7						

①「抗HLA抗体(スクリーニング検査)」は、肺移植、心移植、肝移植、脾移植、小腸移植若しくは腎移植後の患者又は日本臓器移植ネットワークに移植希望者として登録された患者であって、輸血歴や妊娠歴等から医学的に既存抗体陽性が疑われるものに対して実施した場合に、原則として1年に1回に限り算定する。ただし、抗体関連拒絶反応を強く疑う場合等、医学的必要性がある場合には、1年に1回に限り更に算定できる。なお、この場合においては、その理由及び医学的必要性を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

[A290 9]抗HLA抗体(スクリーニング検査)に関する注意事項

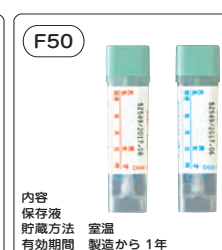
検体中に過剰に抗体、もしくは補体が存在する場合、抗原・抗体反応が抑制され、偽陰性となる可能性があります。
★本検査は、日本組織適合性学会 QCWS参考プロトコルを遵守して測定実施いたします。

キメリズム解析検査のご依頼について

- キメリズム解析移植後の判定には、移植前の結果が必要なため、キメリズム解析移植前レシピエントとドナーの検査をご依頼されていることがキメリズム解析移植後の受託条件となります。
- キメリズム解析移植前の検査をご依頼の場合には、移植歴の有無を必ず依頼書にご記入ください。



	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
糞便検査	E776 6 025411626	便中ヘモグロビン及び トランスフェリン 1B042-0000-015-064	糞便	F80	冷蔵	2~4	56 ※1	金コロイド法	ヘモグロビン 100未満 トランスフェリン 50未満 (ng/mL)	凍結保存は避けてください。 専用採便容器に採取してご提出ください。 &1
	P212 0	便中ヘモグロビン1回目 1B040-1301-015-062	糞便	F50	冷蔵	1~2	37 ※1	ラテックス 凝集法	(-)	凍結保存は避けてください。 専用採便容器に採取してご提出ください。 2回法依頼時は1回目=青色、2回目=赤色ラベル容器を使用してください。
	P214 8	便中ヘモグロビン2回目 1B040-1302-015-062	糞便	F50	冷蔵	1~2	37 ※1		(-)	



微生物学的検査

微生物学的検査

一般細菌 結果判定基準

下記項目の検査結果は、次の当社基準に基づき、下記表示方法にて報告します。

(参考：Clinical Microbiology Procedures Handbook – 4th edition, 2016.)

項目名	区分および鏡検倍率	表示方法	細菌数／細胞数	備 考
塗抹鏡検	細菌数※ (鏡検倍率1,000倍)	(－)	菌がみられない	
		1+	1視野 <1	
		2+	1視野 1～5	
		3+	1視野 6～30	
		4+	1視野 >30	
	細胞数(白血球・上皮細胞) (鏡検倍率100倍)	(－)	細胞がみられない	
		1+	1視野 <1	
		2+	1視野 1～9	
		3+	1視野 10～25	
		4+	1視野 >25	

※カルチャーボトルおよび菌株で受託した際、細菌数の表示方法は「陽性」となります。

項目名	表示方法	培地発育状態	備 考
培養同定 嫌気性培養	(－)	未発育	菌種名は、細菌命名に関する国際規約に基づき報告します。
	1+	1/3未満	
	2+	1/3以上2/3未満	
	3+	2/3以上	
	4+	培地全面	

項目名	表示方法	内 容	備 考
薬剤感受性検査	S	Susceptible(感性)	CLSIの基準に基づき表示します。
	I	Intermediate(中間)	
	R	Resistant(耐性)	

CLSI : Clinical and Laboratory Standards Institute (旧 NCCLS)

抗酸菌 結果判定基準

下記項目の検査結果は、次の当社基準に基づき、下記表示方法にて報告します。(参考：抗酸菌検査ガイド*2020)

項目名	表示方法	蛍光法(200倍)	チール・ネルゼン法(1,000倍)	備 考 (相当するガフキー号数)
抗酸菌塗抹 〔集菌蛍光法〕	－	0 / 30視野	0 / 300視野	G0 [☆]
	±	1～2 / 30視野	1～2 / 300視野	G1
	1+	1～19 / 10視野	1～9 / 100視野	G2
	2+	>20 / 10視野	>10 / 100視野	G5
	3+	>100 / 1視野	>10 / 1視野	G9

※ガフキー号数は現在では使用しない。また、簡易法との一致は正確ではない。(抗酸菌検査ガイド*2020より)

☆抗酸菌塗抹〔集菌蛍光法〕で陰性の場合、ガフキー号数は記載しません。

主な材料の釣菌基準

一般細菌培養同定における釣菌工程は、次の当社基準に基づき実施します。

菌 名	喀痰、咽頭	尿	腔分泌物	血液、髄液
黄色ブドウ球菌	○	○	○	◎
コアグララーゼ陰性ブドウ球菌	◆注1	○	○	◎
β-溶血連鎖球菌	◎	○	◎	◎
肺炎球菌	◎	○	○	◎
腸球菌	◆注1	○	○	◎
腸内細菌	◆注2、注3	○	○	◎
緑膿菌	○	○	○	◎
非発酵菌	◆注1	○	○	◎
ヘモフィルス	◆注2	—	○	◎
モラクセラ	◆注2	—	—	◎

記号表示内容

- ◎：1コロニーでも釣菌します。
 ○：1+以上検出されたとき釣菌します。
 ◆：2+以上検出されたとき釣菌します。
 —：対象外

注1：優位な発育でなければ釣菌しません。
 注2：1+でも優位な発育ならば釣菌します。
 注3：1+でも肺炎桿菌ならば釣菌します。

上記以外の菌については、目的菌のご依頼をいただいた場合のみ釣菌します。（目的菌は170ページをご参照ください。）
 目的菌のご依頼がある場合は、1コロニーでも釣菌します。

便の釣菌基準

材料が便の場合、次の当社基準に基づき釣菌します。

区 分	釣菌対象菌	備 考
通常釣菌	サルモネラ菌、赤痢菌、コレラ菌、 ビブリオ、エルシニア、エロモナス、 プレジオモナス、黄色ブドウ球菌	検出時に必ず釣菌します。
優位発育時釣菌	クレブシエラ・オキシトカ、緑膿菌、セレウス菌	優位に発育した場合のみ釣菌します。
依頼時釣菌	下痢原性大腸菌	培養同定と目的菌をご依頼いただいた場合のみ釣菌します。
	カンピロバクター	培養同定と目的菌をご依頼いただいた場合のみ釣菌します。
	クロストリジオイデス・ディフィシル	培養同定と嫌気性培養をご依頼いただいた場合のみ釣菌します。
	クロストリジウム・パーフリンゲンス	培養同定と嫌気性培養、目的菌をご依頼いただいた場合のみ釣菌します。

微生物学的検査

微生物学的検査

一般細菌

項目コード	検査項目	検査材料		容器	保存	検査方法	実施料 判断料	所要日数	備考
00665 3	塗抹鏡検	口腔、気道 または 呼吸器 からの検体	喀痰 咽頭ぬぐい液	177 178 ページ 参照	冷蔵	グラム染色	①② 67 ※7	2～4	＆1
00666 2	培養同定					培養同定および MALDI-TOF-MS	③ 180 ※7	3～6	＆1
00669 9	嫌気性培養					嫌気培養同定および MALDI-TOF-MS	④⑤ 122 ※7	6～14	必ず培養同定と同時にご依頼ください。
00668 0	感受性検査					微量液体希釈法 ディスク拡散法	⑥	3～6	☆ ＆1
00670 7	塗抹鏡検	消化管 からの検体	糞便 胆汁 胃液			グラム染色	①② 67 ※7	2～4	便での塗抹鏡検は実施しておりません。 ＆1
00671 6	培養同定					培養同定および MALDI-TOF-MS	③ 200 ※7	3～6	＆1
00674 3	嫌気性培養					嫌気培養同定および MALDI-TOF-MS	④⑤ 122 ※7	6～14	必ず培養同定と同時にご依頼ください。
00673 4	感受性検査					微量液体希釈法 ディスク拡散法	⑥	3～6	☆ ＆1
00675 2	塗抹鏡検	泌尿器 または 生殖器 からの検体	中間尿 カテーテル尿 腔分泌物 膿			グラム染色	①② 67 ※7	2～4	＆1
00676 1	培養同定					培養同定および MALDI-TOF-MS	③ 190 ※7	3～6	目的菌が淋菌の場合は 室温 保存して ください。 ＆1
00679 8	嫌気性培養					嫌気培養同定および MALDI-TOF-MS	④⑤ 122 ※7	6～14	必ず培養同定と同時にご依頼ください。
00678 9	感受性検査					微量液体希釈法 ディスク拡散法	⑥	3～6	☆ ＆1
00680 6	尿中生菌数定量	血液 または 穿刺液	静脈血 動脈血 髄液 胸水 腹水 関節液			標準白金耳法	③ 60 ※7	3～5	尿以外の材料では実施しておりません。 (単位：CFU/mL) ＆1
00681 5	塗抹鏡検					グラム染色	①② 67 ※7	2～4	髄液は 室温 保存してください。 血液はカルチャーボトルに入れ 室温 保存してください。 ＆1
00682 4	培養同定					培養同定および MALDI-TOF-MS	③ 225 ※7	3～10	＆1
00685 1	嫌気性培養					嫌気培養同定および MALDI-TOF-MS	④⑤ 122 ※7	6～14	必ず培養同定と同時にご依頼ください。
00684 2	感受性検査	その他の 部位からの 検体	耳漏 眼脂 皮膚 爪 組織 膿			微量液体希釈法 ディスク拡散法	⑥	3～10	☆ ＆1
00686 0	塗抹鏡検					グラム染色	①② 67 ※7	2～4	＆1
00687 9	培養同定					培養同定および MALDI-TOF-MS	③ 180 ※7	3～6	＆1
00690 5	嫌気性培養					嫌気培養同定および MALDI-TOF-MS	④⑤ 122 ※7	6～14	必ず培養同定と同時にご依頼ください。
00689 7	感受性検査					微量液体希釈法 ディスク拡散法	⑥	3～6	☆ ＆1

- ①同一検体について「排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査のその他のもの」と「尿沈渣(鏡検法)」又は「尿沈渣(フローサイトメトリー法)」を併せて行った場合は、主たる検査の所定点数のみ算定する。
- ②「排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査」と「尿沈渣(鏡検法)」又は「尿沈渣(フローサイトメトリー法)」を同一日に併せて算定する場合は、当該検査に用いた検体の種類の種類を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- ③細菌培養同定検査
ア「細菌培養同定検査」は、抗酸菌を除く一般細菌、真菌、原虫等を対象として培養を行い、同定検査を行うことを原則とする。
イ 同定検査を予定して培養したものであれば、菌が陰性の場合であっても「口腔、気道又は呼吸器からの検体」から「その他の部位からの検体」までの項により算定するが、あらかじめ培養により菌の有無のみを検索する場合は、検体の種類にかかわらず「簡易培養」により算定する。
ウ 細菌培養同定検査は、検体ごとに「口腔、気道又は呼吸器からの検体」から「その他の部位からの検体」までの所定点数を算定できるが、同一検体を用いて簡易培養を併せて行った場合は、「簡易培養」は算定できない。
エ 症状等から同一起因菌によると判断される場合であって、当該起因菌を検索する目的で異なった部位から、又は同一部位の数か所から検体を採取した場合は、主たる部位又は1か所のみの所定点数を算定する。ただし、血液を2か所以上から採取した場合に限り、「血液又は穿刺液」を2回算定できる。この場合、「嫌気性培養加算」及び「質量分析装置加算」の加算は2回算定できる。
オ 各検体別の所定点数には、定量培養を行った場合を含む。
④同一検体について一般培養と併せて嫌気性培養を行った場合は、嫌気性培養加算として、122点を所定点数に加算する。
⑤嫌気性培養のみを行った場合は、所定点数のみ算定し、「嫌気性培養加算」は算定できない。
⑥1菌種 185点 ※7、2菌種 240点 ※7、3菌種以上 310点 ※7
☆ 感受性薬剤は、当社標準の薬剤にて実施します。
注)ご依頼の検査の内容によっては、所要日数がさらにかかる場合があります。

目的菌

項目コード	目的菌名	項目コード	目的菌名	項目コード	目的菌名	備 考(全目的菌共通)
06907 8	下痢原性大腸菌(O157含)	03077 3	赤痢菌	03377 0	A群溶連菌	●目的菌のみのご依頼はできません。一般細菌培養同等も同時に依頼ください。 ●クロストリジイデス・ディフィシル、クロストリジウム・パーフリンゲンスは嫌気性培養を同時にご依頼ください。便の嫌気性培養で目的菌のご依頼がない場合はクロストリジイデス・ディフィシルを対象として検査します。 ●下痢原性大腸菌、O157大腸菌は、培養同定(消化管)と同時に依頼ください。(注)チェックがない場合は検査を実施いたしませんのでご注意ください。 ●MRSAは薬剤感受性の結果から判定されます。薬剤感受性のご依頼がない場合、スクリーニング培地の結果から判定しますので、より確実な判定のため薬剤感受性検査の同時依頼をお勧めします。 ●百日咳菌、レジオネラ、ジフテリア菌などはチェックをいただいた場合のみ検査を実施します。 ●目的菌の指定は10項目までをお願いします。それ以上のご依頼は、報告書には反映できません。
06906 9	O157大腸菌	03073 7	サルモネラ菌	03106 0	B群溶連菌(GBS)	
03087 2	エルシニア菌	03080 9	腸炎ビブリオ	0X766 8	クロストリジイデス・ディフィシル	
03067 4	百日咳菌	03083 6	コレラ菌	03382 4	クロストリジウム・パーフリンゲンス	
03101 5	淋菌	03375 2	緑膿菌	0X108 8	カンジダ	
0Y102 3	髄膜炎菌	03376 1	ヘモフィルス	03403 0	クリプトコッカス	
03097 1	カンピロバクター	03401 2	ブドウ球菌	0X109 7	アスペルギルス	
03069 2	レジオネラ	03374 3	MRSA	0X110 5	白癬菌	
03068 3	ジフテリア菌	03379 8	肺炎球菌	0X112 3	糸状菌	

(注)175点※6
「大腸菌血清型別」は、「細菌培養同定検査」により大腸菌が確認され、及び「大腸菌ベロトキシン定性」により毒素が確認又は腸管出血性大腸菌用の選択培地に菌の発育が確認され、並びに血清抗体法により大腸菌のO抗原又はH抗原の同定を行った場合に、使用した血清の数、菌種等に関わらず算定する。この場合において「細菌培養同定検査」の費用は別に算定できない。

薬剤感受性標準セット

菌 群			ブドウ球菌	グラム陽性桿菌	パチルス菌	リステリア菌	ノカルジア菌	モラクセラ	肺炎球菌	連鎖球菌	腸球菌	ヘモフィルス	グラム陰性桿菌	緑膿菌	アシネータバクター	マルトフィリア	バクテロイデス	その他の非芽胞菌	グラム陰性桿菌	カンピロバクター	ビブリオ	嫌気性菌	淋菌
系 統	略 号	一 般 名																					
ペニシリン系(penicillins)	PCG	ベンジルペニシリン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●									●	◎	
	MPIPC	オキシサリン	●																				
	ABPC	アンピシリン	●	●	●	●		●	●	●	●	●								●	●	●	
	PIPC	ピペラシリン											●	●							●	●	
セフェム系(cephems)	CEZ	セファゾリン	●										●								●		
	CTM	セフォチアム	●					●					●	●									
	CXM	セフロキシム							●														
	CTX	セフォタキシム		●	●		●	●	●				●	●		●					●	●	
	CMX	セフメノキシム		●									●										
	CAZ	セフトアジウム											●	●	●	●	●	●			●		
	CTRX	セフトリアキソン					●	●	●	●			●									◎	
	CFPM	セフェピム		●			●	●	●				●	●	●					●	●		
	CMZ	セフメタゾール											●								●		
	CCL	セファクロル											●	●									◎
	CFIX	セフィキシム											●	●									
	CPDX-PR	セフボドキシム-プロキセチル											●										
	CDTR-PI	セフジレン-ピボキシル											●										
カルバペネム系(carbapenems)	CFDN	セフジニル											●										
	FMOX	フロモキシセフ	●																				
	LMOX	ラタモキシセフ											●										
	IPM/CS	イミベネム/シラスタチン	●	●	●		●				●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
モノバクタム系(monobactams)	MEPM	メロベネム		●		●			●	●			●	●	●		●				●	●	
	DRPM	ドリベネム											●										
	AZT	アズトレオナム											●	●						●	●	●	
	CVA/AMPC	クラバン酸/アモキシシリン						●	●	●			●	●		●					●	●	
β-ラクタマーゼ阻害剤合剤(β-lactamase inhibitors)	SBT/ABPC	スルバクタム/アンピシリン	●					●					●	●		●					●	●	
	SBT/CPZ	スルバクタム/セフォペラゾン											●										
	TAZ/PIPC	タゾバクタム/ピペラシリン											●	●	●	●					●	●	
	GM	ゲンタマイシン	●	●	●	●							●	●	●					●	●	●	
アミノグリコシド系(aminoglycosides)	AMK	アミカシン			●		●						●	●	●					●	●	●	
	TOB	トブラマイシン											●	●	●					●	●	●	
	ABK	アルベカシン	●										●	●	●								
	CAM	クラリスロマイシン							●		●									●			
マクロライド系(macrolides)	EM	エリスロマイシン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●											
	AZM	アジスロマイシン						●	●	●	●	●	●							●	●	●	
	MINO	ミノサイクリン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	
	TC	テトラサイクリン						●	●	●	●	●	●							●	●	●	◎
リンコマイシン系(lincomycins)	CLDM	クリンダマイシン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●										●	
	LVFX	レボフロキサシン	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	
	CPFX	シプロフロキサシン		●			●	●					●	●	●	●	●	●	●			◎	
	MFLX	モキシフロキサシン						●					●	●	●	●	●	●	●			●	
キノロン系(quinolones)	GRNX	ガレノキサシン							●				●										
	STFX	シタフロキサシン							●														
	VCM	バンコマイシン	●	●	●				●	●	●											▲	
	TEIC	テイコブラニン	●									●											
その他の系(miscellaneous antibacterial agents)	ST	スルファトキサゾール/トリメトプリム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
	FOM	ホスホマイシン										●	●							●			
	CP	クロラムフェニコール			●			●	●	●		●				●	●	●	●	●	●	●	
	MNZ	メトロニダゾール														●	●	●	●			●	
	RFP	リファンピシン	●										●										
	LZD	リネゾリド	●	●			●					●											
	DAP	ダプトマイシン	●									●											

- 検出された菌種(群)によって、効力の高い薬剤の組み合わせが検査されます。
 - 上記一覧の菌種(群)に該当しない場合は、当社にて薬剤の選定をさせていただきます。
 - 検出された菌種によっては、標準薬剤パターンで検査できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

▲ : VCMは *C.difficile* 検出時報告します。

◎ : 淋菌はディスク拡散法を用いて検査します。
- 常在細菌(Normal flora)の感受性検査は実施しておりません。
 - 感受性検査の報告は下記カテゴリーにて報告します。

S : 感 性(Susceptible)

I : 中 間(Intermediate)

R : 耐 性(Resistant)

微生物学的検査

微生物学的検査

一般細菌特殊検査

項目コード	検査項目 JLAC10	検査材料	容 器	保 存	検査方法	実施料 判断料	所要 日数	備 考
02232 1	ヘリコバクター培養同定	胃生検組織	C20	冷蔵	培養同定	① 200 ※7	9～11	採取法は179ページ参照 &1
02884 8	ヘリコバクター感受性検査				寒天平板希釈法	185 ※7	14～20	薬剤名：アモキシシリン、クラリスロマイシン、メトロニダゾール &1
01055 9	CDトキシン(GDH)	便1.0g	F00	冷蔵	イムノクロマト法	80 ※6	2～4	単独の検体にてご依頼ください。 凍結保存は避けてください。 &1
04897 2	CDトキシンB遺伝子 定性 68642-0000-015-862	便1.0g	F00	冷蔵	PCR (リアルタイムPCR)	②③ 450 ※7	2～4	基準値：陰性 単独の検体にてご依頼ください。 凍結保存は避けてください。 &1

- ①「大腸菌O157抗体定性」、「大腸菌O157抗原定性」及び「細菌培養同定検査の消化管からの検体によるもの」のうちいずれかを複数測定した場合は、主たるもののみ算定する。なお、「大腸菌O157抗体定性」はLA法による。
- ②クロストリジオイデス・ディフィシルのトキシンB遺伝子検出
ア「クロストリジオイデス・ディフィシルのトキシンB遺伝子検出」は、以下の(イ)から(ハ)をいずれも満たす入院中の患者に対して実施した場合に限り算定する。
(イ)クロストリジオイデス・ディフィシル感染症を疑う場合であって、「クロストリジオイデス・ディフィシル抗原定性」において、クロストリジオイデス・ディフィシル抗原陽性かつクロストリジオイデス・ディフィシルトキシン陰性であること。
(ロ)2歳以上でBristol Stool Scale 5以上の下痢症状があること。
(ハ)24時間以内に3回以上、又は平常時より多い便回数があること。
イ 本検査は、関連学会の定める指針に沿って実施した場合に限り算定できる。なお、下痢症状並びに本検査を行う前のクロストリジオイデス・ディフィシル抗原及びクロストリジオイデス・ディフィシルトキシンの検査結果について診療録に記載すること。
- ③別に厚生労働大臣が定める施設基準を満たす保険医療機関において実施した場合に算定する。

大腸菌毒素関連

項目コード	検査項目	検査材料	容 器	保 存	検査方法	実施料 判断料	所要 日数	備 考
02220 4	大腸菌ベロトキシン	菌株	—	室温	RPLA	① 184 ※7	3～6	下痢原性大腸菌検出時の追加時には、最寄りの営業所・営業拠点までご連絡ください。 &1

- ①大腸菌ベロトキシン定性
ア「大腸菌ベロトキシン定性」は、「細菌培養同定検査」により大腸菌が確認され、病原性大腸菌が疑われる患者に対して行った場合に算定する。
イ「大腸菌ベロトキシン定性」のうち、細菌培養を行うことなく糞便から直接検出する方法であってELISA法によるものについては、臨床症状や流行状況から腸管出血性大腸菌感染症が強く疑われる場合に限り、「細菌培養同定検査」を踏まえることなく行った場合にも算定できる。
※当社で検出された大腸菌に追加した場合の所要日数です。

環境検査

項目コード	検査項目	検査材料	容 器	保 存	検査方法	実施料 判断料	所要 日数	備 考
0Y103 2	院内環境(ふきとり法)	環境材料	VS1	冷蔵	培養同定		4～8	採取法は179ページ参照 &1
0Y126 7	院内環境(スタンプ法)	環境材料	C30	室温				

※院内環境検査は、MRSAを含むブドウ球菌、腸内細菌、緑膿菌、酵母様真菌、糸状菌等の一般細菌を目的として検査します。

黄色ブドウ球菌関連

項目コード	検査項目 JLAC10	検査材料	容 器	保 存	検査方法	実施料 判断料	所要 日数	備 考
08834 7	コアグラゼ型別	菌株	—	室温	中和反応		4～6	純培養された黄色ブドウ球菌をご提出ください。
08917 5	エンテロトキシン型別				RPLA		4～6	
08918 4	TSST-1産生						4～6	
05762 0	POT法(黄色ブドウ球菌) 6B631-0000-080-856						POT法	14～21

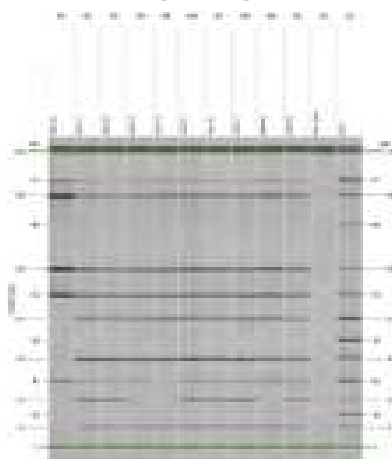
[05762 0] POT法(黄色ブドウ球菌)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)などによる院内感染は、分子疫学的解析検査(POT法)の測定により感染源・感染ルートの解析が可能となります。

当社におきましては、鮮明な泳動写真をご報告するとともに、POT型からご依頼いただきました菌の関連性について判定し報告します。

POT法の解析例

【泳動写真】



【POT型】

菌株番号	POT型
1	93-136-16
2	93-221-57
3	93-221-57
4	93-217-125
5	93-209-109
6	93-221-57
7	93-221-57
8	93-221-57
9	93-217-117
10	93-221-61

同一POT型(3つのPOT値がすべて同一)の分離株は、水平伝播の可能性が疑われます。

微生物学的検査

微生物学的検査

スクリーニング検査

項目コード	検査項目	検査材料	容 器	保 存	検査方法	実施料 判断料	所要 日数	備 考
02128 7	O157スクリーニング	便	VS1	冷蔵	培養同定		4～6	病院内、施設内職員(健常者)のスクリーニング検査としてご依頼ください。
02174 6	MRSAスクリーニング	咽頭ぬくい液、鼻腔など	VS1 VS2				3～5	

&1

便検診検査

項目コード	検査項目	検査材料	容 器	保 存	検査方法	実施料 判断料	所要 日数	備 考
0Y084 4	便検診2菌種	便	VS1	冷蔵	培養同定		4～6	病院内、施設内職員(健常者)のスクリーニング検査としてご依頼ください。 対象菌種については下記便検診対象一覧をご参照ください。
0Y066 4	便検診3菌種-1							
0Y087 1	便検診3菌種-2							
0Y067 3	便検診3菌種-3							
0Y303 0	便検診3菌種-4							
0Y056 5	便検診4菌種-1							
0Y057 4	便検診4菌種-2							
0Y095 2	便検診4菌種-3							
0Y073 6	便検診4菌種-4							
0Y304 9	便検診4菌種-5							
0Y305 8	便検診4菌種-6							
0Y074 5	便検診5菌種-1							
0Y075 4	便検診5菌種-2							
0Y306 7	便検診6菌種-1							

&1

便検診対象一覧

検査項目	対 象 菌 種											
	赤痢	サルモネラ	下痢原性 大腸菌	O157	腸炎 ビブリオ	腸チフス	パラチフス	コレラ	黄色 ブドウ球菌	カンピロ バクター	ビブリオ	エルシニア
便検診2菌種	○	○										
便検診3菌種-1	○	○	○									
便検診3菌種-2	○	○		○								
便検診3菌種-3	○	○			○							
便検診3菌種-4	○	○									○	
便検診4菌種-1	○					○	○	○				
便検診4菌種-2	○	○	○		○							
便検診4菌種-3	○	○		○	○							
便検診4菌種-4	○	○	○						○			
便検診4菌種-5	○	○		○							○	
便検診4菌種-6	○	○	○								○	
便検診5菌種-1	○	○		○		○	○					
便検診5菌種-2	○	○		○	○					○		
便検診6菌種-1	○	○		○	○					○		○

抗酸菌

項目コード	検査項目	検査材料	容器	保存	検査方法	実施料 判断料	所要 日数	備 考
00692 3	緊急 抗酸菌塗抹 〔集菌蛍光法〕	喀痰、気管支洗浄液、胃液、中間尿、胸水などの検体 (上記以外はお問い合わせください。)	178 ページ 参照		集菌蛍光法	① 50+35 ※7	2～4	蛍光法で発光する細菌を認めた場合は、チールネルゼン法にて抗酸性・形態の確認を実施します。 ※1
0Y263 5	緊急 〔液体法〕 抗酸菌				酸素感受性 蛍光センサー法	② 300 ※7	～6週	陽性の場合は、随時報告します。 陰性の場合は、3週で中間報告します。 ※1
00693 2	分離培養 〔小川法〕				変法小川法	② 209 ※7	4～8週	4週、6週で中間報告します。 ※1
0U168 5	抗酸菌同定 〔質量分析〕	培養陽性菌株または菌株(菌株 に対して行う検査です。生材料 からは直接検査できません。)			MALDI-TOF-MS	③ 361 ※7	2～5*	同定可能な菌種は176ページをご参照ください。 ※1
03700 0	結核菌群抗原				イムノクロマト法	291 ※6	2～4	※1
00697 8	抗酸菌薬剤感受性				一濃度比率法	④ 400 ※7	2～4週*	SM、EB、KM、INH、RFP、LVFX、TH、PAS、EVM、CSを実施します。検査結果はカテゴリー(S:感受性 R:耐性)を報告します。 ※1
03687 6	結核菌感受性(MIC)☆				微量液体希釈法	④ 400 ※7	2～3週*	SM、EB、KM、INH、RFP、LVFX、CPFX、RBTを実施します。検査結果はMIC値を報告します。 (対象菌種: <i>Mycobacterium tuberculosis</i>) ※1
00T98 4	抗酸菌感受性(MIC) SGM☆							AMK、KM、AZM、CAM、MFLX、STFX、DOXY、MINO、LZD、EB、TH、INH、RBT、RFPを実施します。検査結果はMIC値を報告します。 (対象菌種: 非結核性抗酸菌の遅発育菌) ※1
00U90 1	抗酸菌感受性(MIC) RGM☆							FRPM、MEPM、IPM、AMK、TOB、AZM、CAM、LVFX、MFLX、STFX、DOXY、LZD、ST、CLFを実施します。検査結果はMIC値を報告します。 (対象菌種: 非結核性抗酸菌の迅速発育菌) ※1

①集菌塗抹法を行った場合には、「集菌塗抹法加算」として、35点を所定点数に加算する。

②抗酸菌分離培養検査

(1)「抗酸菌分離培養検査」は、検体の採取部位が異なる場合であっても、同時に又は一連として検体を採取した場合は、1回のみ所定点数を算定する。

(2)「抗酸菌分離培養(液体培地法)」は、液体培地を用いて培養を行い、酸素感受性蛍光センサー、二酸化炭素センサー又は酸化還元呈色色素を用いて検出を行った場合に算定する。

(3)「抗酸菌分離培養(それ以外のもの)」は、(2)に掲げるものの以外について算定する。

(4)「抗酸菌分離培養検査」は、結核患者の退院の可否を判断する目的で、患者の病状を踏まえ頻回に行われる場合においても算定できる。

③抗酸菌同定は、検査方法、培地数にかかわらず、1回のみ所定点数を算定する。

④抗酸菌薬剤感受性検査は、直接法、間接法等の方法及び培地数にかかわらず、感受性検査を行った薬剤が4種類以上の場合に限り算定する。

★[0Y263 5]抗酸菌分離培養〔液体法〕からの検査の場合は、平板培地に増菌後に実施となるため日数がさらにかかります。(＋3～7日)

☆[03687 6]結核菌感受性(MIC)と[00T98 4]抗酸菌感受性(MIC)SGMおよび[00U90 1]抗酸菌感受性(MIC)RGMは同時にご依頼いただけません。

注) ご依頼の検査の内容によっては、所要日数がさらにかかる場合があります。

微生物学的検査

微生物学的検査

核酸増幅同定検査

項目コード	検査項目	検査材料	容 器	保 存	検査方法	実施料 判断料	所要 日数	備 考
0Y9106	緊急 結核菌群核酸同定 〔TRC〕	喀痰、気管支洗浄液、 胃液、中間尿、胸水 などの検体 (上記以外はお問い 合わせください。)	177 178 ページ 参照	冷蔵	TRC	① 410 ※7	2~4	検体は充分量をご提出願います(検体量が 少ない場合は検出感度が低下します)。ス ワブで提出された場合、きわめて検体量が 少ないために偽陰性となることがあります ので、ご提出はお避けください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響 がより大きくなりますので、検体採取にあ たっては取り扱いに充分ご注意ください。 81
0Y9115	緊急 MAC核酸同定 〔TRC〕					② 421 ※7		

①「結核菌群核酸検出」は、核酸増幅と液相ハイブリダイゼーション法による検出を組み合わせた方法、LCR法による核酸増幅とEIA法による検出を組み合わせた方法、LAMP法又は核酸増幅とキャピラリー電気泳動分離による検出を組み合わせた方法による。

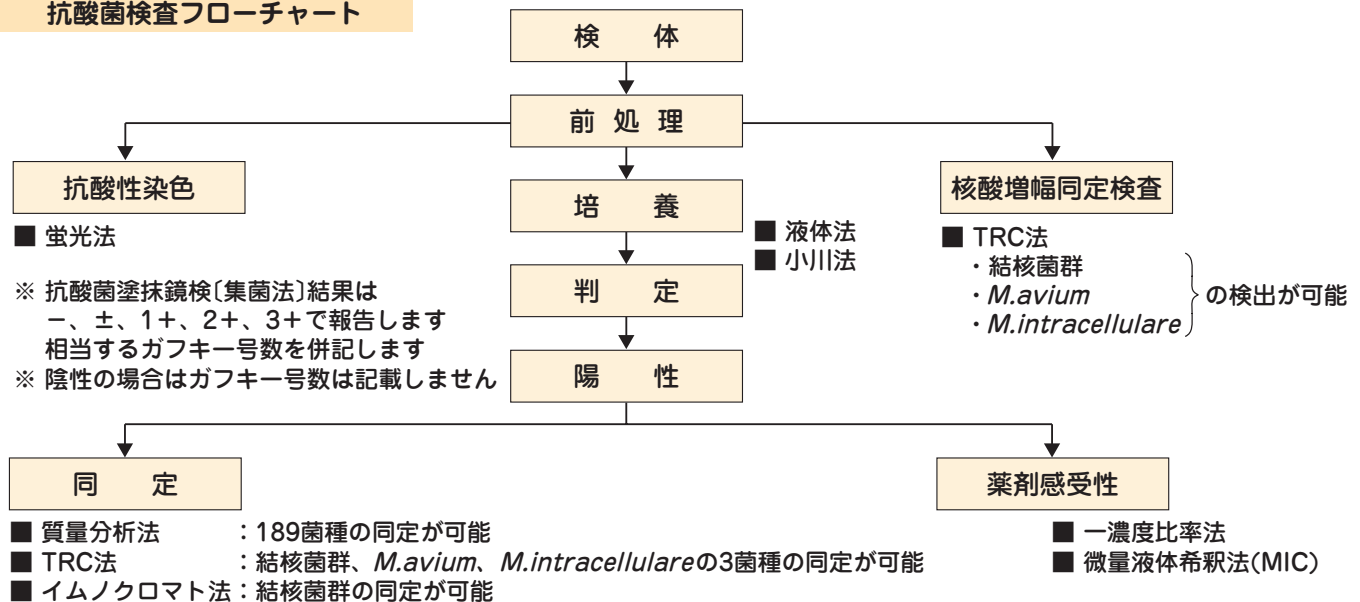
なお、結核患者の退院の可否を判断する目的で、患者の病状を踏まえ頻回に行われる場合においても算定できる。

②マイコバクテリウム・アビウム及びイントラセルラー (MAC)核酸検出

ア「マイコバクテリウム・アビウム及びイントラセルラー (MAC)核酸検出」は、他の検査により結核菌が陰性であることが確認された場合のみに算定できる。

イ「抗酸菌同定」と併せて実施された場合にあつては、主なもののみ算定する。

抗酸菌検査フローチャート



抗酸菌同定〔質量分析〕で同定可能な189菌種抗酸菌名

菌 種 名	菌 種 名	菌 種 名
<i>M. abscessus</i>	<i>M. fortuitum</i>	<i>M. noviomagense</i>
<i>M. agri</i>	<i>M. fortuitum</i> complex	<i>M. novocastrense</i>
<i>M. aichiense</i>	<i>M. fragae</i>	<i>M. obuense</i>
<i>M. aichiense/aromaticivorans</i>	<i>M. franklinii</i>	<i>M. pallens</i>
<i>M. algericum</i>	<i>M. frederiksbergense</i>	<i>M. palustre</i>
<i>M. alsense</i>	<i>M. gadium</i>	<i>M. paraense</i>
<i>M. alvei</i>	<i>M. gadium/tusciae</i>	<i>M. paraffinicum</i>
<i>M. angelicum</i>	<i>M. gastris</i>	<i>M. parafortuitum</i>
<i>M. angelicum/szulgai</i>	<i>M. genavense</i>	<i>M. paragordoniae</i>
<i>M. anyangense</i>	<i>M. gilvum</i>	<i>M. parakoreense</i>
<i>M. aquaticum</i>	<i>M. goodii</i>	<i>M. parascrofulaceum</i>
<i>M. aquaticum/brisbanense</i>	<i>M. gordonae</i>	<i>M. paraseoulense</i>
<i>M. arabiense</i>	<i>M. grossiae</i>	<i>M. paraterrae</i>
<i>M. arcueilense</i>	<i>M. haemophilum</i>	<i>M. parmense</i>
<i>M. arcueilense/peregrinum</i>	<i>M. hassiacum</i>	<i>M. peregrinum</i>
<i>M. aromaticivorans</i>	<i>M. heckeshornense</i>	<i>M. phlei</i>
<i>M. arosiense</i>	<i>M. heidelbergense</i>	<i>M. phocaicum</i>
<i>M. arupense</i>	<i>M. helvum</i>	<i>M. porcinum</i>
<i>M. asiaticum</i>	<i>M. heraklionense</i>	<i>M. poriferae</i>
<i>M. aubagnense</i>	<i>M. hiberniae</i>	<i>M. pseudoshottsii</i>
<i>M. aurum</i>	<i>M. hippocampi</i>	<i>M. psychrotolerans</i>
<i>M. austroafricanum</i>	<i>M. hodleri</i>	<i>M. pulveris</i>
<i>M. austroafricanum/vanbaalenii</i>	<i>M. holsaticum</i>	<i>M. pyrenivorans</i>
<i>M. avium</i> *	<i>M. houstonense</i>	<i>M. rhodesiae</i>
<i>M. bacteremicum</i>	<i>M. immunogenum</i>	<i>M. riadhense</i>
<i>M. boenickei</i>	<i>M. insubricum</i>	<i>M. rufum</i>
<i>M. bohemicum</i>	<i>M. interjectum</i>	<i>M. rutilum</i>
<i>M. botniense</i>	<i>M. intermedium</i>	<i>M. salmoniphilum</i>
<i>M. bourgelatii</i>	<i>M. intracellulare</i> *	<i>M. saopaulense</i>
<i>M. branderi</i>	<i>M. iranicum</i>	<i>M. sarraceniae</i>
<i>M. brisbanense</i>	<i>M. kansasii</i>	<i>M. saskatchewanense</i>
<i>M. brumae</i>	<i>M. komossense</i>	<i>M. scrofulaceum</i>
<i>M. canariasense</i>	<i>M. koreense</i>	<i>M. sediminis</i>
<i>M. canariasense/cosmeticum</i>	<i>M. kubicae</i>	<i>M. senegalense</i>
<i>M. celatum</i>	<i>M. kumamotoense</i>	<i>M. senuense</i>
<i>M. celeriflavum</i>	<i>M. kyorinense</i>	<i>M. seoulense</i>
<i>M. chelonae</i>	<i>M. lacus</i>	<i>M. septicum</i>
<i>M. chelonae complex</i>	<i>M. lehmannii</i>	<i>M. setense</i>
<i>M. chitae</i>	<i>M. lehmannii/neumannii</i>	<i>M. sherrisii</i>
<i>M. chlorophenolicum</i>	<i>M. lentiflavum</i>	<i>M. sherrisii/simiae</i>
<i>M. chubuense</i>	<i>M. litorale</i>	<i>M. shimoidei</i>
<i>M. chubuense complex</i>	<i>M. llutzerense</i>	<i>M. shinjukuense</i>
<i>M. colombiense</i>	<i>M. longobardum</i>	<i>M. simiae</i>
<i>M. conceptionense</i>	<i>M. lutetiense</i>	<i>M. smegmatis</i>
<i>M. confluentis</i>	<i>M. madagascariense</i>	<i>M. sphagni</i>
<i>M. conspicuum</i>	<i>M. mageritense</i>	<i>M. stephanolepidis</i>
<i>M. cookii</i>	<i>M. malmoense</i>	<i>M. stomatepiae</i>
<i>M. cosmeticum</i>	<i>M. mantanii</i>	<i>M. szulgai</i>
<i>M. crocinum</i>	<i>M. marinum</i>	<i>M. talmoniae</i>
<i>M. crocinum/pallens</i>	<i>M. marseillense</i>	<i>M. terrae</i>
<i>M. diernhoferi</i>	<i>M. minnesotense</i>	<i>M. thermoresistibile</i>
<i>M. doricum</i>	<i>M. monacense</i>	<i>M. tokaiense</i>
<i>M. duvalii</i>	<i>M. montefiorensense</i>	<i>M. triplex</i>
<i>M. eburneum</i>	<i>M. montmartrense</i>	<i>M. triviale</i>
<i>M. eburneum/talmoniae</i>	<i>M. moriokaense</i>	<i>M. tuberculosis</i> *
<i>M. elephantis</i>	<i>M. mucogenicum</i>	<i>M. tusciae</i>
<i>M. engbaekii</i>	<i>M. murale</i>	<i>M. vaccae</i>
<i>M. europaeum</i>	<i>M. murale/tokaiense</i>	<i>M. vanbaalenii</i>
<i>M. fallax</i>	<i>M. nebraskense</i>	<i>M. virginienne</i>
<i>M. farcinogenes</i>	<i>M. neoaurum</i>	<i>M. vulnerans</i>
<i>M. flavescens</i>	<i>M. neumannii</i>	<i>M. wolinskyi</i>
<i>M. florentinum</i>	<i>M. neworleansense</i>	<i>M. xenopi</i>
<i>M. fluoranthenvivorans</i>	<i>M. nonchromogenicum</i>	<i>Mycobacterium</i> sp.

※TRC法 同定可能菌種

微生物学的検査

微生物学的検査

検査材料および採取方法

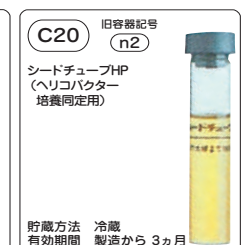
ご依頼の際は、必ず材料・由来を明記してください。

	分類 (由来)	材料	検体量	容 器	保存	採取方法
一 般 細 菌	口 腔 ・ 気 道 ・ 呼吸器	喀痰	2～3mL	X00 滅菌喀痰採取容器	冷蔵	上気道・口腔内常在菌により、できるかぎり汚染されないように滅菌喀痰採取容器に採取し、直ちに冷蔵保存してください。(患者に充分説明し、うがいにより清潔にした後に、咳によって深部から喀出された、しかも唾液混入の少ない喀痰を採取してください。)
		咽頭粘液	適量	VS1 eSwab105レギュラー FLOQスワブ	冷蔵	eSwab105レギュラー FLOQスワブの綿棒で咽頭をこすって、粘液を採取し、直ちに付属のアミーズ培地に無菌的に入れ、速やかに冷蔵保存してください。
	消化管	便	適量	VS1 eSwab105レギュラー FLOQスワブ	冷蔵	eSwab105レギュラー FLOQスワブを用い適量の便を採取し付属のアミーズ培地に無菌的に入れてください。 ・クロストリジウムデフィシルの検査には嫌気ポーターを使用してください。 ・便の塗抹鏡検は実施しておりません。
		胆汁(A・B・C) 胃液 十二指腸液	各5～10mL	C10 嫌気ポーター	冷蔵	無菌的に採取し、嫌気ポーターに速やかに注入し、直ちに冷蔵保存してください。
	泌尿器 ・ 生殖器	部分尿 尿管カテーテル 膀胱カテーテル	各5～10mL	ARR 滅菌ポリスピッツ	冷蔵	・無菌的に採取し、滅菌ポリスピッツに入れ、直ちに冷蔵保存してください。 ・淋菌の検索を目的とする場合は室温保存してください。 ・トリコモナスの検索を目的とする場合は室温保存してください。
		前立腺液 陰分泌物 膿	各適量	VS1 eSwab105レギュラー FLOQスワブ	冷蔵	eSwab105レギュラー FLOQスワブの綿棒で適量を採取し、付属のアミーズ培地に入れ、直ちに冷蔵保存してください。 ・淋菌の検索を目的とする場合は室温保存してください。 ・トリコモナスの検索を目的とする場合は室温保存してください。
	血 液 ・ 穿刺液	動脈血 静脈血	各3～10mL (最適8～10mL)	CBG、CBS カルチャーボトル	室温	カルチャーボトル好気性菌用CBS、嫌気性菌用CBGの2本にそれぞれ3～10mLの血液を無菌的に注入し、緩やかに転倒混和し、室温保存してください。フラン器での保存は検査結果に影響を与えます。
		髄液 腰椎穿刺液	各3～5mL	C10 嫌気ポーター	室温	3～5mLのサンプルを無菌的に採取し、嫌気ポーターに速やかに注入し、室温保存してください。
		胸水 腹水 関節液	各5～10mL	C10 嫌気ポーター	冷蔵	5～10mLの各サンプルを無菌的に採取し、嫌気ポーターに速やかに注入し、直ちに冷蔵保存してください。
	その他	耳漏	適量	VS1 eSwab105レギュラー FLOQスワブ	冷蔵	eSwab105レギュラー FLOQスワブの綿棒で適量を無菌的に採取し、付属のアミーズ培地に入れ、直ちに冷蔵保存してください。
		皮膚 爪 毛髪	各適量	ARR 滅菌ポリスピッツ	冷蔵	各適量を無菌的に採取し、滅菌ポリスピッツに入れ、直ちに冷蔵保存してください。 ・真菌検査のみ実施いたします。
		組織 膿	各適量	C10 嫌気ポーター	冷蔵	各サンプルを綿棒で無菌的に採取し、嫌気ポーターに速やかに入れ、直ちに冷蔵保存してください。
	他	便	1.0g	F00 糞便容器	冷蔵	単独の検体にてご依頼ください。 凍結保存は避けてください。

	検査材料	検体量	容 器	保存	採取方法
抗 酸 菌	喀痰	2～3mL	X00 滅菌喀痰採取容器	冷蔵	上気道・口腔内常在菌により、できるかぎり汚染されないように滅菌喀痰採取容器に採取し、直ちに冷蔵保存してください。(患者に充分説明し、うがいにより清潔にした後に、咳によって深部から露出された、しかも唾液混入の少ない喀痰を採取してください。)
	便	小指頭大	ARR 滅菌ポリスピッツ	冷蔵	適量が無菌的に採取し、滅菌ポリスピッツに入れ冷蔵保存してください。 ・便の塗抹鏡検は実施しておりません。
	胸水 腹水 胃液	各5～10mL	ARR 滅菌ポリスピッツ	冷蔵	各サンプルを無菌的に採取し、滅菌ポリスピッツに入れ、直ちに冷蔵保存してください。 ・一般細菌を同時に依頼される場合は嫌気ポーターをご使用ください。
	部分尿	5～10mL	ARR 滅菌ポリスピッツ	冷蔵	無菌的に採取し、滅菌ポリスピッツに入れ、直ちに冷蔵保存してください。
抗 酸 菌 核 酸 同 定	喀痰	2.0mL	X00 滅菌喀痰採取容器	冷蔵	核酸同定検査ではコンタミネーションの影響が大きくなりますので検体採取にあたっては、取扱いに充分ご注意ください。 上気道・口腔内常在菌により、できるかぎり汚染されないように滅菌喀痰容器に採取し、冷蔵で提出してください。

〔留意事項〕

- 1.検査材料は、外部に漏れないように完全に密封してご提出ください。
- 2.呼吸器の材料でマイコプラズマの検出には検体を凍結してください。(この場合、一般細菌、抗酸菌検査は実施できません。)
- 3.嫌気性菌を検出する場合は嫌気ポーターを使用して、できるだけ空気に触れないように速やかに採取してください。
- 4.抗酸菌検査において、血液、髄液の各材料およびカルチャーボトルでの提出はお受けできません。
- 5.緊急連絡
 - (1) 検査材料が血液および髄液の場合は、菌が検出された場合に直ちにご連絡いたします。
 - (2) 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法)において、二類感染症、三類感染症に分類される細菌が分離された場合は材料を問わず直ちにご連絡いたします。
 - (3) 抗酸菌塗抹鏡検において、抗酸菌が認められた場合は、直ちにご連絡いたします。



微生物学的検査

微生物学的検査

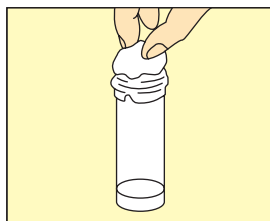
細菌検査採取方法

- 検査材料名または材料採取部位を必ず明記してください。
- 目的菌が淋菌、髄膜炎菌の場合は、**室温**保存してください。
- 嫌気性培養の検査材料は、嫌気ポーターに採取してください。
- 所要日数は目的菌等により異なりますので、ご了承ください。

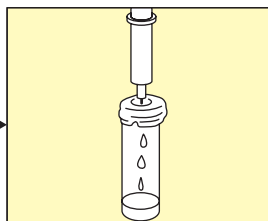
<嫌気ポーターの取り扱い方法>

① 液状検体の場合

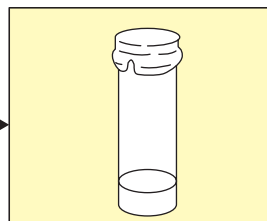
(胸水、腹水、尿、穿刺液など)



消毒用アルコール綿などを用いて穿刺部を消毒する。



消毒液が完全に乾燥してから注射針を刺し、検体を注入する。



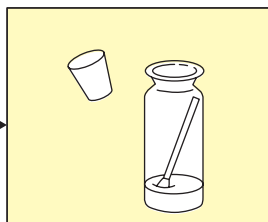
冷蔵保存する。

② 固形状検体の場合

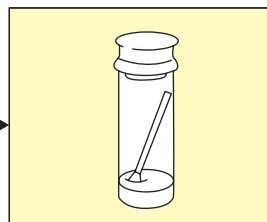
(便、膿、組織など)



容器は立てたままの状態で見え深くゴムキャップを外す。
(無風状態が理想)



速やかに(5秒以内)検体を入れる。

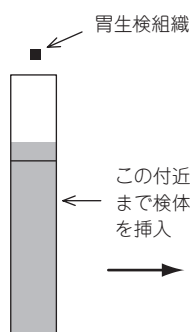


直ちにゴムキャップをかぶせて栓をする。

ヘリコバクター培養同定採取方法

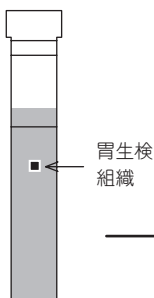
<シードチューブHPの取り扱い方法>

1. 採取した「胃生検組織」を直ちに採取容器(C20)に入れ、黒線より下へ挿入してください。
2. 検体は30分以内に **冷蔵** 保存し、当日中にご依頼ください。



胃生検組織

この付近まで検体を挿入



胃生検組織

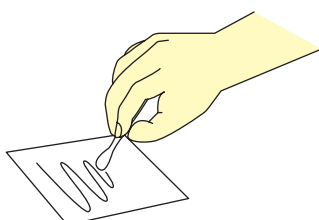
30分以内に冷蔵保存

24時間以内に当社到着

環境検査採取方法

院内環境検査(ふきとり法)

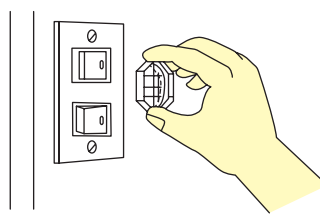
被検体の一定面積(10cm×10cm通例)をeSwab105レギュラーFLOQスワブに添付されている綿棒(あらかじめ培地に刺して湿らせておく)にてよくふきとり再度培地に刺しご提出ください。



テープ等でわくをつくり、培地で湿らせた綿棒で全体をよくふきとります。

院内環境検査(スタンプ法)

スタンプ培地(C30)のキャップをとりはずし、培地面に手指等触れないよう注意し被検体の表面に培地面をかるく押しつけます。約5秒後再びキャップをしてご提出ください。



約5秒間かるく押しつけます。
(スタンプ培地は担当営業までお問い合わせください)

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
培養同定検査	6853 8 02108A140	ニューモシスチス カリニ(P.jirovecii) DNA 6B614-0000-061-851 6B614-0000-091-851 6B614-0000-042-851 6B614-0000-070-851	喀痰 2.0	X00	凍結 (3ヵ月)	3~5		PCR	陰性	重 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	K299 0 02108A181		肺胞洗浄液 0.7							
	K300 7 02108A131		胸水 0.7	ARR						
			組織 50mg							
	K600 4 02077A150	マイコプラズマ ニューモニエDNA 6B616-0000-064-883 6B616-0000-061-883	咽頭ぬぐい液	ARR	凍結 (21日)	2~4	291 ※7	LAMP	陰性	重 咽頭ぬぐい液は、滅菌綿棒で拭い、滅菌ポリスピッツ(ARR)に綿棒を入れて凍結保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	K601 3 02077A140		喀痰 2.0	X00						
	A293 6 04410A140	レジオネラDNA 定性 6B611-0000-061-883	喀痰 1.0	X00	凍結 (28日)	3~9	292 ※7	LAMP	陰性	重 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	A235 0 04060A1E8	百日咳菌DNA 6B636-0000-063-883	後鼻腔ぬぐい液	VS4 ARR	凍結 (21日)	2~4	① 360 ※7	LAMP	陰性	重 後鼻腔ぬぐい液は、必ずフロックスワブ(VS4)で採取し、滅菌ポリスピッツ(ARR)にスワブを入れて凍結保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	A264 8 043296326	赤痢アメーバ DNA 定性 6B637-0000-015-851	糞便 0.5g	F00	凍結	5~11		PCR	陰性	重 採便後、速やかに凍結保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1

①「百日咳菌核酸検出」は、関連学会が定めるガイドラインの百日咳診断基準における臨床判断例の定義を満たす患者に対して、LAMP法又はPCR法により測定した場合に算定できる。



微生物学的検査

培養同定検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
培養同定検査	4759 5 016452438	淋菌DNA 6B610-0000-050-862 6B610-0000-001-862 6B610-0000-079-862	分泌物	V50	室温 (28日)	2~4	① 198 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	陰性	【重 凍】 凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。 分泌物、部分尿:検体に大量の血液が混入した場合は、正しい結果が得られないことがあります。 男性の場合、PCR反応阻害物質の影響が稀に認められる場合がありますので、尿検体での検査をお勧めいたします。 尿検体は最後の排尿から1時間以上経過後に初尿を採取してください。 うがい液:検体採取前の食事、うがい、歯磨きなどは避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	4719 9 016452421		部分尿 5	U10						
	K590 6 016452499		うがい液 5							
	A004 6 020862438	淋菌および クラミジア トラコマチスDNA 同時同定 6B615-0000-050-862 6B615-0000-001-862 6B615-0000-079-862	分泌物	V50	室温 (28日)	2~4	② 262 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	陰性	【重 凍】 凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。 分泌物、部分尿:検体に大量の血液が混入した場合は、正しい結果が得られないことがあります。 男性の場合、PCR反応阻害物質の影響が稀に認められる場合がありますので、尿検体での検査をお勧めいたします。 尿検体は最後の排尿から1時間以上経過後に初尿を採取してください。 うがい液:検体採取前の食事、うがい、歯磨きなどは避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	A005 5 020862421		部分尿 5	U10						
	A006 4 020862499		うがい液 5							
検査	B877 7 045662438	腔トリコモナスおよび マイコプラズマ ジェニタリウム 同時核酸検出 6B643-0000-050-862 6B643-0000-001-862	分泌物	V50	室温 (28日)	2~4	③ 350 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	陰性	【重 凍】 凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。 分泌物、部分尿:検体に大量の血液が混入した場合は、正しい結果が得られないことがあります。 男性の場合、PCR反応阻害物質の影響が稀に認められる場合がありますので、尿検体での検査をお勧めいたします。 尿検体は最後の排尿から1時間以上経過後に初尿を採取してください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
	B880 3 045662421		部分尿 5	U10						

① 淋菌核酸検出

ア「淋菌核酸検出」,「淋菌抗原定性」又は「細菌培養同定検査(淋菌感染を疑って実施するもの)」を併せて実施した場合は、主なもののみ算定する。
 イ「淋菌核酸検出」は、DNAプローブ法、LCR法による増幅とEIA法による検出を組み合わせた方法、PCR法による増幅と核酸ハイブリダイゼーション法による検出を組み合わせた方法、SDA法、TMA法による同時増幅法並びにHPA法及びDKA法による同時検出法又はTRC法による。「淋菌核酸検出」は、泌尿器、生殖器又は咽頭からの検体(尿検体を含む。)によるものである。なお、SDA法、PCR法による増幅と核酸ハイブリダイゼーション法による検出を組み合わせた方法、TMA法による同時増幅法並びにHPA法及びDKA法による同時検出法又はTRC法においては咽頭からの検体も算定できる。

② 淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出

ア「淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出」は、クラミジア・トラコマチス感染症若しくは淋菌感染症が疑われる患者又はクラミジア・トラコマチスと淋菌による重複感染が疑われる患者であって、臨床所見、問診又はその他の検査による病原微生物鑑別が困難なものに対して治療法選択のために実施した場合及びクラミジア・トラコマチスと淋菌の重複感染者に対して治療効果判定に実施した場合に算定できる。
 ただし、「クラミジア・トラコマチス抗原定性」、「淋菌抗原定性」、「細菌培養同定検査(淋菌及びクラミジアによる感染を疑って実施するもの)」、「クラミジア・トラコマチス核酸検出」又は「淋菌核酸検出」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

イ「淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出」は、TMA法による同時増幅法並びにHPA法及びDKA法による同時検出法、PCR法による同時増幅法及び核酸ハイブリダイゼーション法による同時検出法、SDA法又はTRC法による。「淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出」は、泌尿器、生殖器又は咽頭からの検体(尿検体を含む。)によるものである。なお、TMA法による同時増幅法並びにHPA法及びDKA法による同時検出法、SDA法、PCR法による同時増幅法及び核酸ハイブリダイゼーション法による同時検出法又はTRC法においては咽頭からの検体も算定できる。

③ 腔トリコモナス及びマイコプラズマ・ジェニタリウム核酸同時検出

ア腔トリコモナス感染症を疑う患者であって、鏡検が陰性又は実施できないもの若しくはマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症を疑う患者に対して、治療法の選択を目的として行った場合。
 イ腔トリコモナス感染症又はマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症の患者に対して、治療効果判定を目的として実施した場合。

[B877 7、B880 3]腔トリコモナスおよびマイコプラズマジェニタリウム同時核酸検出について

[A004 6、A005 5]淋菌およびクラミジアトラコマチスDNA同時同定、[4759 5、4719 9]淋菌DNA、[7700 6、7644 9]クラミジアトラコマチスDNAとの同時依頼のみ可能です。

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
培養 同定 検査	6703 4 011828850	ウイルス分離 6B655-1410-064-748	下記参照	V10	冷蔵	4~21		細胞変性効果、 血球吸着現象、 赤血球凝集反応		凍結保存は避けてください。 分離、同定検査は以下の細胞を使用しています。 PHfb(ヒト繊維芽細胞)、HEp-2(ヒト喉頭癌細胞)、Vero(ミドリザル腎細胞)、MA104(アカモザル腎細胞)、RD-18S(ヒト横紋筋腫細胞)、MDCK(イヌ腎細胞)、B95a(マーモセットB細胞)、AGMK(アフリカミドリザル腎細胞)、A549(ヒト肺癌細胞)、Caco-2(ヒト結腸腺癌細胞) &1
	6704 3 011838850	ウイルス同定 6B705-1410-064-748	※1参照	V10	冷蔵	13~29		標準抗血清による中和反応・ 免疫蛍光抗体法・ 赤血球凝集抑制反応		

[6704 3]ウイルス同定

同時に複数検体をご依頼いただく場合は、所要日数が変動する場合がございます。あらかじめご了承ください。

検査材料

ウイルス分離・同定検査を実施するためには適切な分離用検査材料と、同時に発病後できるだけ早期に採取することが大切です。ウイルス分離材料の選択は、分離率向上のため、できる限り複数の材料をご提出ください。

臨床症状	分離可能ウイルス	主要検査材料
上気道感染症	ライノ、バライフルエンザ	咽頭ぬぐい液、鼻分泌液
	アデノ、コクサッキー、エコー	咽頭ぬぐい液、糞便
下気道感染症	インフルエンザ、バライフルエンザ、アデノ、RS、サイトメガロ	咽頭ぬぐい液、喀痰、気管支洗浄液
紅斑性発疹症	麻疹、風疹	咽頭ぬぐい液
	エコー、コクサッキー	咽頭ぬぐい液、糞便
水疱性発疹症	単純ヘルペス、水痘・帯状疱疹	水疱内容
	コクサッキー、エンテロ71	水疱内容、咽頭ぬぐい液、糞便
中枢神経系疾患	エコー、コクサッキー	咽頭ぬぐい液、髄液、糞便
	水痘・帯状疱疹、ムンプス	咽頭ぬぐい液、髄液
先天性異常	サイトメガロ、風疹	咽頭ぬぐい液、尿、髄液
	単純ヘルペス、水痘・帯状疱疹	水疱内容
嘔吐・下痢症	エコー、コクサッキー、アデノ	咽頭ぬぐい液、糞便
出血性膀胱炎	アデノ	尿
耳下腺炎	ムンプス	咽頭ぬぐい液
眼疾患	アデノ、単純ヘルペス、水痘・帯状疱疹	結膜ぬぐい液

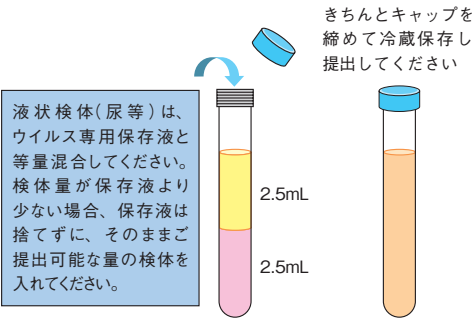
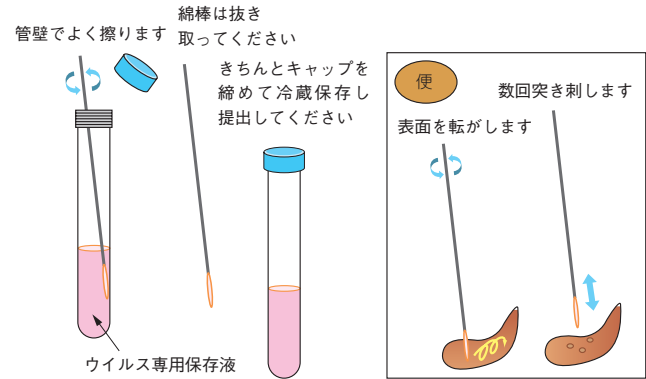
検体採取および保存方法

検査材料	ウイルス専用容器への採取方法
患部ぬぐい液・水疱内容・糞便 等	※2 滅菌綿棒でぬぐい、下図の採取方法でウイルス専用保存液に採取し、冷蔵保存してください。
尿・髄液・胸水・鼻汁 等	下図の採取方法でウイルス専用保存液と等量の検体を採取し、冷蔵保存してください。
組織	組織小片(5mm角程度)をウイルス専用保存液に入れ冷蔵保存してください。

※1 同定検査は当社の分離検査において分離された検体のみの受け付けとなります。

※2 滅菌綿棒はプラスチック棒かアルミニウム棒付の綿棒で採取してください。

●ウイルス専用保存液は当社にて準備しておりますので、ご依頼前に営業員にお申し付けください。



病理学的検査

細胞診検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検査材料	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法
細胞診検査	9352 1 893520000	一般細胞診	喀痰	塗抹標本 (湿固定)2枚	Z10	室温	4~7	①②③ 1部位につき 190 ※8	(喀痰) パバニコロウ染色 (その他) パバニコロウ染色と PAS染色または ギムザ染色 ※1
			擦過物・洗浄液・ 針穿刺吸引液状検体 (胸水・腹水・尿・髄液・胆汁等)・ 捺印標本(リンパ節等)・ 圧挫標本・その他	塗抹標本2枚 (湿固定)1枚 (乾燥固定)1枚	Z10	室温			
	L455 5	細胞診(婦人科LBC ベセスダシステム) 7A020-1652-076-650	子宮頸部・子宮腔部・腔内容・ 腔断端	容器ごと提出	V41	室温	4~7	②④⑤ 1部位につき 150+45 ※8	TP染色 ※1
				塗抹標本 (湿固定)1枚	Z10				
	K968 7 8K9680000	細胞診(婦人科LBC) 7A020-8910-076-650	子宮頸部・子宮腔部・腔内容・ 腔断端	容器ごと提出	V41	室温	4~7	①②③ 1部位につき 150 ※8	パバニコロウ染色 ※1
				塗抹標本 (湿固定)1枚	Z10				
	K968 7 8K9680000	細胞診 〔喀痰集細胞法〕 (Class判定) 7A030-8920-061-433	喀痰 (3~5日蓄痰)	容器ごと提出	X10	室温	4~7	①②③ 1部位につき 190 ※8	パバニコロウ染色 ※1
				容器ごと提出	X10				
	K968 7 8K9680000	細胞診 〔尿LBC〕 7A050-8910-001-433	泌尿器材料	尿沈渣 2~4mL	UV6	室温	4~7	①②③ 1部位につき 190 ※8	パバニコロウ染色 ※1
				尿沈渣 (33mL以上の 尿から作製)	UV7	冷蔵 (30日)	7~11	⑥ 1597 ※2	FISH ※1

- ①腔脂膏顕微鏡標本作製、胃液、腹腔穿刺液等の癌細胞標本作製及び眼科プロヴァツェク小体標本作製並びに天疱瘡又はヘルペスウイルス感染症におけるTzanck細胞の標本作製は、細胞診により算定する。
- ②同一又は近接した部位より同時に数検体採取して標本作製を行った場合であっても、1回として算定する。
- ③「穿刺吸引細胞診、体腔洗浄等」とは、喀痰細胞診、気管支洗浄細胞診、体腔液細胞診、体腔洗浄細胞診、体腔臓器擦過細胞診及び髄液細胞診等を指す。
- ④「婦人科材料等によるもの」について、固定保存液に回収した検体から標本作製して、診断を行った場合には、「婦人科材料等液状化検体細胞診加算」として、45点を所定点数に加算する。
- ⑤「注1」に規定する「婦人科材料等液状化検体細胞診加算」は、採取と同時にを行った場合に算定できる。なお、過去に穿刺又は採取し、固定保存液に回収した検体から標本作製し診断を行った場合には算定できない。
- ⑥膀胱がん関連遺伝子検査
- (1)膀胱がん関連遺伝子検査は、膀胱がんの患者であって、上皮内癌(CIS)と診断され、過去に「経尿道的手術」を行った者に対して、FISH法により、再発の診断の補助を目的として実施した場合に、経尿道的手術後2年以内に限り、2回を限度として算定する。ただし、同時に膀胱鏡により、膀胱がん再発の所見が認められないことを確認した患者に対して実施した場合に限る。
- (2)本検査を実施した場合には、上皮内癌(CIS)と診断された病理所見、「経尿道的手術」の実施日及び本検査を過去に算定している場合にはその算定日を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。
- (3)本検査と同時に「穿刺吸引細胞診、体腔洗浄等によるもの」を実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- *専門医の判定が必要な場合(原則的にASC-US、ClassⅡaまたは判定C以上)は通常日数より遅れる場合があります。
- *検査材料、検体量につきましては171ページを参照ください。

細胞診検査の注意事項

細胞診検査は、必ずしも確定診断ではありません。検査結果はご提出いただいた標本において下されたもので、病変全体を反映するものではないことを、あらかじめご承知ください。組織診検査等による総合的な診断をお勧めいたします。(検診検査は偽陰性となる可能性があります。)

一次スクリーニングを東京セントラルパソロジーラボラトリー (TCPL)へ委託する場合がございます。その場合、細胞診検査報告書の細胞検査士名の後に「T」マークが表示されます。

[L455 5]細胞診(婦人科LBC ベセスダシステム)、[K968 7]細胞診(婦人科LBC)について

ヒトパピローマウイルス検査(V41: ThinPrep容器)との同時依頼が可能です。その際、細胞診の所要日数が1~2日遅れます。

依頼書、スライドグラスおよびオブジェクトケースへの記入方法

■依頼書

細胞診検査は各種の臨床情報を参考にして行う形態学的検査です。細胞診検査のご依頼にあたっては専用の細胞診検査依頼書に下記の内容を記載してください。細胞診の判定内容を左右する因子ですので記載もれがないようお願いいたします。

- a) 氏名、性別、年齢、生年月日、科名等
b) 検査材料、採取方法
c) 臨床診断、臨床経過、検査、治療諸事項
d) 病変の大きさ、性状
- e) 婦人科材料や乳腺材料の場合月経等諸事項
f) 前回の登録標本番号
g) ご提出のスライドグラス枚数

■スライドグラス

- a) スリガラス部に氏名をご記入ください。 b) 乾燥固定の場合は「乾燥」または「ドライ」とご記入ください。

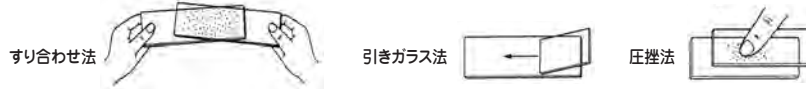
■オブジェクトケース

- a) 氏名、性別、年齢 b) 標本枚数(湿固定枚数と乾燥固定枚数)

検査材料の提出方法[塗抹、固定、検査材料、検体量]

■各種材料の塗抹

塗抹の仕方は検査材料の種類、性状等に応じて異なります。下記の要領で塗抹してください。



■標本の固定

固定は細胞の変性・融解等の変化を停止させる作業ですので、塗抹後直ちに固定する必要があります。湿固定はババニコロウ染色、PAS染色等のための固定法で、乾燥固定はギムザ染色等のための固定法です。固定の良否は採取部位・方法とともに細胞診判定内容を左右する重要な因子の一つです。迅速な固定をお願いいたします。

1) 湿固定【婦人科細胞診・一般細胞診】

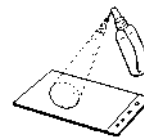
塗抹したスライドグラスを95%エタノールに30分以上浸漬して固定してください。湿固定にはサイトタック等を用いたコーティング固定法もあります。コーティング固定剤を使用する場合は、ムラが生じないように固定液を塗抹全面に十分に噴霧または滴下してください。

2) 乾燥固定【一般細胞診】

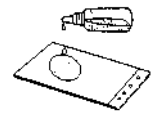
塗抹後直ちに、塗抹面を扇風機や冷風ドライヤー等で急速に乾燥させます。自然乾燥は乾燥むらを生じるので不十分です。

コーティング固定剤の使用法

噴霧式



滴下式



■検査材料、検体量

【一般細胞診】

1) 喀痰

「小豆」大の喀痰を2枚のスライドグラスの間にはさみ、前後左右に押しつぶすように満遍なくのばしてください(すり合わせ法)。癌細胞は血痰部や不透明白濁部、セリー状粘液部に多く含まれるので、その部分を塗抹してください。

検体量：湿固定塗抹標本 2枚

2) 擦過材料(気管支、消化管、胸膜・腹膜等)

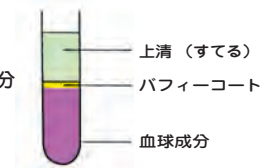
ブラシ、綿棒等により病巣等を擦過しスライドグラスに塗抹してください。擦過物は非常に乾燥しやすいので塗抹固定を迅速に行うことが必要です。

検体量：湿固定塗抹標本 1枚、乾燥固定塗抹標本 1枚

3) 液状材料(尿、胸水、腹水、心嚢液、陰嚢水腫液、各種洗浄液等)

1500rpm5分間遠心後、沈渣をすり合わせ法または引きガラス法によって塗抹してください。血性検体の場合は有核成分が多いパフィーコート部分を塗抹してください。

検体量：尿・胸水・腹水・心嚢液・陰嚢水腫液、各種洗浄液等 湿固定塗抹標本 1枚、乾燥固定塗抹標本 1枚



4) 針穿刺吸引材料(乳腺、甲状腺、肺、リンパ節、前立腺、睾丸、軟部腫瘍、肝等)

穿刺針内に吸引された材料をスライドグラス中央に静かに吹きだし塗抹します。検体が微量なときはもう1枚のスライドグラスを合わせてからはがし2枚作製してください。多めに得られたときや多量の場合は引きガラス法で塗抹してください。

検体量：湿固定塗抹標本 1枚、乾燥固定塗抹標本 1枚

5) 捺印標本(各種固定腫瘍、リンパ節等)

メスやカミソリで切った新しい組織断面をスライドグラスに軽く捺印してください。

検体量：湿固定塗抹標本 1枚、乾燥固定塗抹標本 1枚

6) 圧搾標本(中枢神経腫瘍、甲状腺腫瘍等)

組織の小塊(直径1-2mm)を2枚のスライドグラスの間にはさみ、軽く押しつぶして組織が伸展したらスライドグラスをはなし、厚い方を湿固定、薄い方を乾燥固定してください。

検体量：湿固定塗抹標本 1枚、乾燥固定塗抹標本 1枚

<注意> 検体採取から塗抹固定までの許容時間(室温)

喀痰・胸水・腹水・心嚢液…12時間以内
尿・穿刺液・洗浄液・髄液…1時間以内

胆汁・胆汁・十二指腸液…氷冷中の容器に採取し、1時間以内
擦過材料・捺印材料・圧搾材料…5秒以内

【細胞診(婦人科)、細胞診(婦人科ベセスダシステム)】

婦人科材料

乾燥しやすいので塗抹後直ちに湿固定してください。

検体量：湿固定塗抹標本 1枚

● 検体の取り扱い上、以下の検体についてはご依頼できませんので、ご注意ください。

- ・ホルマリン固定された検体
 - ・凍結保存された検体
 - ・修復不可能な破損標本
 - ・下記に示すような検査材料
- 組織、爪、毛髪、便、血液、胆石、結石、骨髓

病理学的検査

細胞診検査

検査結果の報告

1) ベセスダシステム

▼標本の適正・不適正の評価について

適正検体：保存状態がよく、鮮明に見える扁平上皮細胞が直接塗抹法では8000～12000個、LBCの場合では5000個以上とされています。
不適正検体：扁平上皮細胞の75%以上が不明瞭である場合、炎症細胞、出血により覆われていた場合、過度な乾燥によるアーチファクトが見られた場合等が当てはまります。

*適正検体とされた場合に、下記の細胞判定が実施されます。

ベセスダ表記	表記の説明	推定病変
陰性 (NILM)	陰性	微生物 その他の非腫瘍性所見
扁平上皮系異常		
ASC-US	意義不明な異型扁平上皮細胞	軽度扁平上皮内病変疑い
ASC-H	HSILを除外できない異型扁平上皮細胞	高度扁平上皮内病変疑い
LSIL	軽度扁平上皮内病変	HPV感染 軽度異形成
HSIL	高度扁平上皮内病変	中等度異形成 高度異形成 上皮内癌
SCC	扁平上皮癌	扁平上皮癌
腺系異常およびその他の悪性腫瘍		
AGC	異型腺細胞	腺異型または腺癌疑い
AIS	上皮内腺癌	上皮内腺癌
Adenocarcinoma	腺癌	腺癌
Other malign.	その他の悪性腫瘍	その他の悪性腫瘍

2) Class判定

Class I : Absence of atypical or abnormal cells.

Class II : Atypical cytology but no evidence of malignancy.

Class III : Cytology suggestive of, but not conclusive for malignancy.

Class III a : Probably benign atypia.

Class III b : Malignancy suspected.

Class IV : Cytology strongly suggestive of malignancy.

Class V : Cytology conclusive for malignancy.

*Class判定について、I、IIを陰性、III、III a、III b、を疑陽性、IV、Vを陽性と読み換えることが可能です。

3) ABC判定

判定区分	細胞所見	指導区分
A	喀痰中に組織球を認めない	材料不適、再検査
B	正常上皮細胞のみ 基底細胞増生 軽度異型扁平上皮細胞 繊毛円柱上皮細胞	現在異常を認めない 次回定期検査
C	中等度異型扁平上皮細胞 核の増大や濃染を伴う円柱上皮細胞	再塗抹または6ヵ月内の再検査
D	高度(境界)異型扁平上皮細胞または悪性腫瘍 が疑われる細胞を認める	直ちに精密検査
E	悪性腫瘍細胞を認める	

肺癌検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分(2016改定)臨床・病理肺癌取扱い規約第8版

参考文献

- Masayoshi Takahashi : Color Atlas of Cancer Cytology. IGAKU-SHOIN : 1981.
- 田中 昇, 他 : 細胞診教本. 宇宙堂八木書店 : 1988.
- 田嶋 基男, 他 : 細胞診全書 II 細胞診の基本技術および細胞診に必要な病理学各論. 宇宙堂八木書店 : 1980.
- 栗原 操寿, 他 : 日本臨床細胞学会教育委員会, 編: 臨床細胞診断学教本. 医学図書出版 : 1985.
- 高橋 正宜, 他 : 病理と臨床3(臨時増刊号)針生検細胞診. 文光堂 : 1985.
- 日本病理学会, 編 : 病理技術マニュアル6 細胞診とその技術. 医歯薬出版 : 1982.
- 上井 良夫 : 病理と臨床7(臨時増刊号)腫瘍細胞診 最近の進歩 : 1989.
- 矢谷 隆一, 他 : 細胞診を学ぶ人のために. 医学書院 : 1990.
- D. Solomon, R. Nayar編 平井康夫監訳 : ベセスダシステム2001アトラス
- 日本産婦人科医会 : ベセスダシステム2001準拠子宮頸部細胞診報告様式の理解のために : 2008. 12



項目コード		検査項目 JLAC10	提出材料	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法
病 理 組 織		病理組織検査 (一般病理) 7B010-0000-075-432	ホルマリン固定組織		VP0	室温	5〜7*	①臓器 につき 860 ※8	ヘマトキシリン・ エオジン染色 ①
		病理組織検査 (肝生検) 7B010-0000-501-432	ホルマリン固定組織 (肝生検)		VP0	室温	10〜14*		ヘマトキシリン・ エオジン染色および 特殊染色**
		病理組織検査 (腎生検) 7B010-0000-651-432	ホルマリン固定組織 (腎生検)		VP0	室温	10〜14*		
		病理組織検査 (骨髄生検) 7B010-0000-231-432	ホルマリン固定組織 (骨髄生検)		VP0	室温	10〜14*		
		手術材料 7B010-0000-075-432	病理組織検査(一般病理)と同時にご依頼ください。						①
		ヘリコバクター ピロリ判定 7B010-0000-075-602	病理組織検査(一般病理)と同時にご依頼ください。 ギムザ染色を追加して判定いたします。						①
組 織		病理標本作製 (一般材料)	ホルマリン固定組織		VP0	室温	4〜6	①臓器 につき 860 ※8	ヘマトキシリン・ エオジン染色 ①
		病理標本作製 (手術材料)					7〜10		
		ブロック作製	ホルマリン固定組織	1×1×1mm以上 10×10×5mm以下	VP0	室温	5〜7*		
		未染標本作製	パラフィンブロック		室温	5〜7*			
		染色標本作製 (189ページ参照)	未染標本スライド	未染標本スライド2枚	Z10	室温	5〜7*		
	酵素抗体染色 [ホルマリン固定組織] (190、191ページ参照)	ホルマリン固定組織 (パラフィンブロック・ 未染色標本スライドでも可)		VP0	室温	5〜8*	②③ ④⑤ ①臓器 につき 400 ※8		
検 査		CD30 (IHC) 7B100-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド2枚	Z10	室温	4〜6	②⑥ 400 ※8	免疫組織化学染色法 ①
		悪性リンパ腫 ALKタンパク(IHC) 5D594-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド2枚	Z10	室温	5〜8	②⑦ 2700 ※8	免疫組織化学染色法 ①

① 病理組織標本作製

- (1)「組織切片によるもの」について、次に掲げるものは、各区分ごとに1臓器として算定する。
ア 気管支及び肺臓 イ 食道 ウ 胃及び十二指腸 エ 小腸 オ 盲腸 カ 上行結腸、横行結腸及び下行結腸 キ S状結腸 ク 直腸 ケ 子宮体部及び子宮頸部
- (2)「セルブロック法によるもの」について、同一又は近接した部位より同時に数検体を採取して標本作製を行った場合であっても、1回として算定する。
- (3)病理組織標本作製において、1臓器又は1部位から多数のブロック、標本等を作製した場合であっても、1臓器又は1部位の標本作製として算定する。
- (4)病理組織標本作製において、悪性腫瘍がある臓器又はその疑いがある臓器から多数のブロックを作製し、又は連続切片標本作製した場合であっても、所定点数のみ算定する。
- (5)当該標本作製において、ヘリコバクター・ピロリ感染診断を目的に行う場合の保険診療上の取扱いについては、「ヘリコバクター・ピロリ感染の診断及び治療に関する取扱いについて」に即して行うこと。
- (6)「セルブロック法によるもの」は、悪性中皮腫を疑う患者又は組織切片を検体とした病理組織標本作製が実施困難な肺悪性腫瘍、胃癌、大腸癌、卵巣癌、悪性リンパ腫若しくは乳癌を疑う患者に対して、穿刺吸引等により採取した検体を用いてセルブロック法により標本作製した場合に算定する。なお、肺悪性腫瘍、胃癌、大腸癌、卵巣癌、悪性リンパ腫又は乳癌を疑う患者に対して実施した場合には、組織切片を検体とした病理組織標本作製が実施困難である医学的合理的理由を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- ②「免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製」は、病理組織標本作製にあたり免疫染色を行った場合に、方法(蛍光抗体法又は酵素抗体法)又は試薬の種類にかかわらず、1臓器につき1回のみ算定する。
- ③「その他(1臓器につき)」について、確定診断のために4種類以上の抗体を用いた免疫染色が必要な患者に対して、標本作製を実施した場合には、1,200点を所定点数に加算する。
- ④「確定診断のために4種類以上の抗体を用いた免疫染色が必要な患者」とは、原発不明癌、原発性脳腫瘍、悪性リンパ腫、悪性中皮腫、肺悪性腫瘍(腺癌、扁平上皮癌)、消化管間質腫瘍(GIST)、慢性腎炎、内分泌腫瘍、軟部腫瘍、皮膚の血管炎、水疱症(天疱瘡、類天疱瘡等)、悪性黒色腫、筋ジストロフィー又は筋炎が疑われる患者を指す。これらの疾患が疑われる患者であっても3種類以下の抗体で免疫染色を行った場合は、当該加算は算定できない。
- ⑤肺悪性腫瘍(腺癌、扁平上皮癌)が疑われる患者に対して加算を算定する場合は、腫瘍が未分化であった場合等H-E染色では腺癌又は扁平上皮癌の診断が困難な患者に限り算定することとし、その医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に詳細に記載すること。なお、次に掲げるいずれかの項目を既に算定している場合には、当該加算は算定できない。
ア 肺癌におけるEGFR遺伝子検査、ROS1融合遺伝子検査、ALK融合遺伝子検査、BRAF遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。)及びMETex14遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。))に限る
イ 肺癌におけるBRAF遺伝子検査(次世代シーケンシング)、METex14遺伝子検査(次世代シーケンシング)及びRET融合遺伝子検査に限る
ウ 肺癌関連遺伝子多項目同時検査
エ ALK融合遺伝子標本作製
- ⑥「CD30」は、HQリンカーを用いた免疫組織化学染色法により、悪性リンパ腫の診断補助を目的に実施した場合に算定する。
- ⑦「ALK融合タンパク」は、以下に掲げる場合において算定できる。
ア 非小細胞肺癌患者に対して、ALK阻害剤の投与の適応を判断することを目的として、ブリッジ試薬を用いた免疫組織染色法により病理標本作製を行った場合(当該薬剤の投与方針の決定までの間の1回に限る。)
イ 悪性リンパ腫患者に対して、悪性リンパ腫の診断補助を目的として免疫組織染色法により病理標本作製を行った場合(悪性リンパ腫の病型分類までの間の1回に限る。)

病理学的検査

病理組織検査

* 所要日数

	所要日数
脱脂処理・脱灰処理が必要な場合	7～12日
酵素抗体染色が必要な場合	約2週間
蛍光抗体が必要な場合	2～3週間
骨髓像が必要な場合	約3週間
専門医による診断が必要な臓器(皮膚・心臓・口腔等)	約2週間
手術材料(切り出し時、5ブロック以上になる場合)	2～3週間

※特殊なご依頼の場合やまとまった件数(処理内容により異なりますがおおむね20件以上)の場合は通常より所要日数が遅れますので、事前に営業員にお問い合わせください。

※上記所要日数は目安です。検査性質上、病理医による判定を含みますため、多少前後する可能性があります。

* 特殊染色

- ・病理組織検査(肝生検)：ビクトリア青、アザン、鍍銀
- ・病理組織検査(腎生検)：PAS、PAM、マッソン
- ・病理組織検査(骨髄生検)：ギムザ、ナフトール、鍍銀、鉄

●病理組織検査におけるHE染色標本は当社で10年間保管させていただきます。

HE染色標本の返却をご要望の際は、当社保管分をお引渡しいたしますので、依頼書の所定欄にチェックをお願いいたします。

なお、返却後の検査結果等についてのお問い合わせの際は再度標本をご提出していただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

●検査を実施する上で、HE染色および上記特殊染色以外に各種染色・酵素抗体染色等が必要となった場合は、追加オーダーさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

●ブロック作製をご依頼される際、摘出臓器のままご提出される場合は、その切り出し図と包埋の方向について依頼書に必ず記載してください。

●パラフィンブロックで染色のみをご依頼される場合は、未染色標本作製の料金もご請求申し上げます。

●未染色標本スライドで染色標本作製をご依頼される場合は、1染色2枚をご提出ください。

●作製ブロック数が1～4ブロックは一般材料、5ブロック以上は手術材料になります。

●検体の取り扱い上、以下の検体についてはご依頼できませんので、ご注意ください。

- ・生体組織材料以外の検体
- ・凍結組織や乾燥した組織
- ・長期間に渡り放置された組織
- ・ヒト以外の動植物組織
- ・クロイツフェルト・ヤコブ病が疑われる患者検体
- ・犯罪が示唆されるような生体組織材料
- ・高放射性検体と疑われる生体組織材料(放射能が充分崩壊するまで保管する設備が整っていないため)

病理専用容器(VP0)について

病理専用容器(VP0)に10～20%ホルマリン液を充填し、組織を固定してご提出ください。

病理専用容器(VP0)に入らない大きさの組織は、十分に固定後、ヒストパック(特大、大、中、小)に入れてご提出ください。

病理標本作製(一般材料)、病理標本作製(手術材料)について

- ・核酸抽出の用途でのご依頼は避けてください。
- ・本項目は、ホルマリン固定組織から1ブロックにつきHE染色標本1枚を作製し、返却する項目となります。

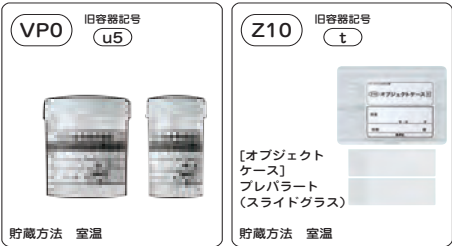
CD30(IHC)、悪性リンパ腫ALKタンパク(IHC)の提出方法について

1)本検査は、免疫組織化学染色により、悪性リンパ腫の診断補助を目的とした検査です。

別途、鑑別診断を必要とされる場合は、他の染色標本や試料等も必要となるため、検査室までお問い合わせください。

2)未染色標本スライドでご提出の場合は、標本は3～4μmの厚さに薄切し、シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、スライドガラス端から50mm以内に貼り付けてください。

3)パラフィンブロックにてご依頼の場合、未染色標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。また、未染色標本作製の料金もご請求申し上げます。



検査材料の提出方法

病理学的検査のご提出の際は10～20%ホルマリン固定組織、パラフィンブロック、未染標本スライド、染色済標本をお願いいたします。
注)放射線による治療または検査を実施した患者様検体で、放射能汚染の可能性がある際には、事前にデータインフォメーションへお知らせください。

■10～20%ホルマリン固定組織

- 1) 摘出した組織を自家融解、乾燥から防ぐため、直ちに10～20%ホルマリン液を充填した(VPO)容器に入れ固定してください。
 - 2) 固定液は、10～20%ホルマリン液を使用し、組織の10倍を目安とし充分量を使用してください。
 - 3) 胃生検等の微小組織片をご提出の場合は、濾紙等に貼り付け10～20%ホルマリン液へ入れてください。
(なお、複数個ご提出の際は、濾紙ヘナナンバー等を鉛筆で記入するか、または、採取部位(各ナンバー)ごとに10～20%ホルマリンの入った容器に入れてください。)
 - 4) 一容器に一臓器(一種類の臓器)を入れてご提出ください。なお、大きさが著しく異なる臓器は必ず容器を分けてください。
 - 5) 検体輸送時における安全上の観点から、提出容器に「ホルマリン固定組織」であることを明示したうえでご提出ください。
- 注1) 組織を10～20%ホルマリン液に入れた日時を必ず依頼書(「採取月日」「採取時刻」欄)にご記入ください。
注2) 下記の組織を提出される際は、表中の点に注意してください。

組 織	注 意 点
消化管・胆嚢	薄い板に粘膜面を上にして、虫ピンでとめ、10～20%ホルマリン液に入れます。充分固定が行われたのち(約1日)上記方法にてご提出ください。
肺	切り出した面の気管支断端から10～20%ホルマリン液を注入し、できるだけ肺胞をふくらませ空気を追い出したのちに組織を10～20%ホルマリン液に浸してください。充分固定が行われたのち(約1日)上記方法にてご提出ください。
子宮・乳房・腎	子宮や大きい臓器等では、固定が不十分となることが多いので、あらかじめ割面を入れてから固定してください。
胃、腸などのパンチバイオプシー(濾紙につける場合)	生検材料の水分をよく取りのぞき、濾紙の上に10秒程度のせたのちにそのまま10～20%ホルマリン液に入れてください。(組織を乾燥させないよう充分注意してください)

注3) 病理専用容器(VPO)に入らない大きさの組織は、下記方法にてヒストパックに入れてご提出ください。
固定が十分にされた組織より虫ピンなどをはずした後、ヒストパックに移し、少量のホルマリン固定液を入れます。
ヒストパック内の空気を十分に抜いて、上部のジッパーを閉めてください。ヒストパックには患者名などを記載したらラベルを貼付してください。

■パラフィンブロック

すでに作製済みのパラフィンブロックを、破損のないようガーゼ等で包みビニール袋等に入れてご提出ください。

■未染標本スライド

未染標本スライドにより各種染色をご依頼される場合は、スライドガラスにナンバー等を記入の上、切片が傷つかぬようにしてご提出ください。
染色標本作製や酵素抗体依頼で染色によりましては、染色中に切片がはがれたりする場合があります。その時は、未染標本スライドの再度提出をお願いいたしますのでご了承ください。

■極微細組織

極微細組織などで、検査の材料の有無が不明の検体につきましては、お客様による再確認のため、検体を返却させていただく場合がございます。

依頼書およびラベルへの記入方法

病理組織検査をご依頼の際は専用の「病理検査依頼書」および容器をご使用ください。なお、依頼書およびラベルには下記事項を必ずご記入ください。

■依頼書

- 1) 氏名、性別、年齢、生年月日
- 2) 切除(採取)日、切除臓器名、切除数
- 3) 臨床診断名、臨床経過、治療、臨床検査諸事項
- 4) 前回実施の登録標本No
- 5) 婦人科疾患、女性乳腺疾患等の場合は月経、妊娠の状態等をご記入ください。
- 6) 胃や肺など大きな組織を提出される場合は、切り出し部位の指示をご記入ください。

■容器ラベルおよび凍結組織ラベル

- 1) 施設名、氏名、性別、年齢
- 2) 依頼書における容器Noとのひも付けのため、必ず容器No(1、2、3、……)をご記入ください。
また、併せて臓器名、切除数もご記入ください。
(容器Noと臓器名称が不明確な場合には、検査結果をお返しできないこともございます)

検査結果の報告

■酵素抗体染色検査および各種染色検査報告

検査結果は、ご依頼の染色済標本の返送をもって行います。

病理学的検査

病理組織検査

各種染色一覧

染色法	目的		結果	備考
ヘマトキシリン・エオジン (HE)染色	一般染色		細胞核、軟骨、細菌、末脱灰石灰化部-青藍色(ヘマトキシリン) 細胞質、結合組織、筋組織、赤血球-種々の紅～赤紅色(エオジン)	すべての染色の基本染色
エラスチカ・ワンギーソン染色	結合組織の染色	膠原線維	膠原線維-鮮紅色(酸フクシン)、筋線維、赤血球、細胞質-黄色(ピクリン酸)、核-黒褐色(ワイゲルト鉄ヘマトキシリン)、弾性線維-黒紫色	ワンギーソン染色の単染色で利用されることもあります
アザン染色			膠原線維、細網線維、腎糸球体および尿細管基底膜、粘液、軟骨-青色(アニリン青)核、細胞質、筋組織、線維素-赤～紅色(アソカルミンG)、赤血球-赤～赤橙色(アソカルミンG、オレンジG)	酸フクシンで染める方法があります
マッソン・トリクローム染色			核-黒褐色(ワイゲルト鉄ヘマトキシリン)使用する染色液により結果が異なる	各種の変法があります
レゾルシン・フクシン染色		弾性線維	弾性線維-黒紫色	代表的な染色法、ワンギーソン染色と重染色することがあります
オルセイン染色			弾性線維、HBs抗原-茶褐色	HBs抗原染色として利用されることもあります
銀染色(鍍銀法)		細網線維	好銀線維(細網線維)-黒色 膠原線維-赤紫色	
リントングステン酸ヘマトキシリン (PTAH)染色	線維素、神経膠組織		横紋筋内横紋、線維素、核-青藍色 神経膠細胞、神経膠線維-茶褐色	横紋筋の横紋が染まります
PAS反応	多糖類染色	糖原(グリコーゲン)	グリコーゲン-赤～赤紫色、核-青藍色(ヘマトキシリン)	粘液、肥満細胞顆粒、アメーバ、真菌も染まります PAS反応は各種の染色目的に利用されます グリコーゲンは唾液、シアスターゼ消化法で確認、アルコール固定も可
アルシアン青染色		酸性粘液多糖類	酸性粘液多糖類-青色、核-赤色(ケルンエヒトロート)	PAS染色との重染色法があります
ムチカルミン染色		粘液	粘液-赤色、核-青藍色(ヘマトキシリン)	上皮性粘液がよく染まります
トルイジン青染色			粘液・肥胖細胞の顆粒・軟骨基質-赤紫色、核-青	
コンゴ赤染色	アミロイド染色		アミロイド-赤橙色、核-青藍色(ヘマトキシリン)	過マンガン酸処理によるアミロイドの鑑別があります
ダイロン(ダイレクトファーストスカーレット)染色			アミロイド-橙色、核-青藍色(ヘマトキシリン)	
グリメリウス法(好銀性染色)	内分泌細胞の鑑別染色		消化管好銀細胞、下垂体好銀細胞、カルチノイド、膵ラ島A細胞、内分泌腫瘍細胞-黒褐色	ブアン固定も可
フォンタナ・マッソン法			消化管銀還元細胞、銀還元性カルチノイド、メラニン細胞-黒褐色	メラニン細胞の証明にも用います
コッサ法	組織内無機物の染色	カルシウム	カルシウム沈着部-黒褐色	貴金属を含む固定液は避けてください
ベルリン青染色		鉄	ヘモジデリン-青色、背景-淡紅色(ケルンエヒトロート)	染色対象はほとんどヘモジデリンです
ルベアン酸法		銅染色	銅-黒緑色	
レフレルのメチレン青単染色	組織内病原体の染色	一般細菌	単染色 細菌-濃青色、核、背景-淡青色	
フッカー・コンのグラム染色		グラム染色	グラム陽性菌-濃青色 グラム陰性菌-赤色	
チール・ネルゼンの抗酸菌染色		抗酸菌染色	抗酸菌-赤色、背景-淡い青色(メチレン青)	
グロコット染色		真菌	真菌-黒色、背景-緑色(ライト緑)	グリコーゲン、粘液も黒染します
オルセイン染色		HBs抗原	HBs抗原、弾性線維-茶褐色	HBs抗原は細胞質内封入体または細胞内にび慢性に染め出されます
ピクトリア青染色			HBs抗原、弾性線維-青色	弾性線維染色にも用いられます
ルクソール・ファスト青染色(クリューバ・パレラ染色)	中枢神経の染色	髄鞘、ニッスル小体重染色	髄鞘-青緑色 ニッスル顆粒、核-紫色	
ニッスル小体・単染色			ニッスル顆粒-紫色	
過ヨウ素酸メセナミン銀 (PAM)染色	腎の染色		腎糸球体基底膜、細網線維-黒色	腎以外多目的に利用されます ブアン固定も可
ギムザ染色	組織内血液細胞の染色		核-赤紫色、核小体-赤色、好酸顆粒-桃紫色 好塩基性顆粒-青紫色～青色	ヘリコバクターピロリ菌も染まります ピロリ菌-青紫色
ナフトールAS-Dクロロアセートエステラーゼ染色	白血病細胞の鑑別、単球の鑑別、FAB分類		骨髄球系-青色顆粒	

当社では、10～20%ホルマリン固定液を基本として各種染色を行っております。

酵素抗体染色一覧

室温 (材料：ホルマリン固定組織 (パラフィンブロック・未染標本スライドも可))

項目コード	検査項目	抗原分布	臨床的意義
腫瘍関連			
	CEA	正常大腸粘膜、胎児胃粘膜(幽門部)、胎児唾液腺導管	多くの腺癌、一部の扁平上皮癌、一部のカルチノイド、甲状腺髄様癌、一部の肺小細胞癌
	AFP(α-フェトプロテイン)	胎児期の肝細胞・卵黄嚢・腸管上皮	肝細胞癌、卵黄嚢腫瘍、胃癌の一部、未熟奇形腫、脾芽腫
	CA19-9	正常膵、消化管粘膜	膵癌、胃癌
	CA125		上皮性卵巣癌
	NSE	神経細胞、神経線維、内分泌細胞(一部)、副腎髄質細胞	神経内分泌系腫瘍、黒色腫、筋原性腫瘍
	HCG	胎盤絨毛合胞細胞	絨毛上皮腫、胃癌などの腺癌の一部、カルチノイド(α-subunit)、胚細胞腫、肺大細胞癌、悪性ラ氏島腫瘍
免疫グロブリンおよび補体			
	IgG	Bリンパ球、形質細胞	形質細胞腫、骨髄腫、原発性系球体疾患および他の疾患に伴う系球体疾患
	IgA		
	IgM		形質細胞腫
	κ鎖		
	λ鎖		
	C1q		原発性系球体疾患および他の疾患に伴う系球体疾患
	C3		
	フィブリノーゲン		
組織マーカー			
	上皮細胞膜抗原(EMA)	多くの腺上皮・導管上皮、一部の中皮	多くの腺癌、扁平上皮癌、中皮腫(一部)、滑膜肉腫、脊索腫
	ケラチン(広範囲)	ほぼ全ての上皮細胞、中皮細胞	扁平上皮癌、一部の腺癌、中皮腫、adenomatoid tumor、肺小細胞癌、甲状腺髄様癌、カルチノイド、類上皮肉腫、滑膜肉腫、脊索腫、胸腺腫、脈絡叢乳頭腫
	高分子ケラチン(34βE12)	扁平上皮細胞	扁平上皮癌
	低分子ケラチン8(35βH11)	一部の腺上皮細胞	一部の未分化腺癌
	ビメンチン	間葉系細胞、分裂期上皮細胞、胎児尿管上皮	間葉系腫瘍、一部の癌(Grawitz腫瘍、甲状腺癌)、未分化癌(一部)
	ミオグロビン	骨格筋、胸腺髄質myoid cell	横紋筋肉腫、横紋筋への分化を示す腫瘍成分
	デスミン	平滑筋細胞、骨格筋細胞	筋肉系腫瘍
	S100蛋白	星状膠細胞、Schwann細胞、satellite cell(神経節細胞)、軟骨細胞、脂肪細胞、T-zone組織球、Langerhans細胞(皮膚)、筋上皮細胞	神経膠腫、神経鞘腫、母斑、黒色腫、Paraganglioma(satellite cell)、線維性組織球腫(一部)、histiocytosis X、軟骨肉腫、脊索腫、脂肪肉腫、唾液腺混合腫
	グリア線維性酸性蛋白(GFAP)	星状膠細胞、脳室上衣細胞	神経膠腫、上衣腫、髄芽腫、脈絡叢乳頭腫
	神経細胞線維(NF)	神経細胞、神経線維、副腎髄質細胞、内分泌細胞(一部)	神経芽腫、褐色細胞腫、カルチノイド、肺小細胞癌、甲状腺髄様癌、松果体細胞腫
	第Ⅷ因子関連抗原	血管内皮、リンパ管内皮(一部)、骨髄巨核球	血管腫、Kaposi肉腫
	前立腺特異抗原(PA)	前立腺上皮	前立腺癌
	前立腺性酸性フォスファターゼ(PSAP)	前立腺上皮、一部の内分泌細胞	前立腺癌、一部の内分泌系腫瘍
	リゾチーム	Paneth細胞、幽門腺、唾液腺、気管支腺、胆導付属腺、尿管上皮、顆粒球、大食細胞	胃・肺・胆導系由来の腺癌、唾液腺腫瘍、組織球系腫瘍
	α1-アンチトリプシン	肝細胞、その他の上皮細胞(一部)、組織球	肝細胞癌、腺癌(特に胃癌)、卵黄嚢腫瘍、組織球系腫瘍

酵素抗体染色一覧

酵素抗体染色一覧

室温 { 材料：ホルマリン固定組織 (パラフィンブロック・未染標本スライドも可) }

項目コード	検査項目	抗原分布	臨床的意義
ホルモン(膵臓・消化管)			
	インスリン	ランゲルハンス氏島B細胞	ランゲルハンス氏島腺腫、異所産生腫瘍
	グルカゴン	ランゲルハンス氏島A細胞	
	ガストリン	胃・腸のG細胞	
	ソマトスタチン	ランゲルハンス氏島D細胞、胃・腸のD細胞	
	膵特異ポリペプチド(PPP)	ランゲルハンス氏島D細胞の数％	
	血管作用性腸管ポリペプチド(VIP)		
	セロトニン	正常内分泌細胞	カルチノイド
ホルモン(胎盤機能)			
	胎盤性アルカリフォスファターゼ(PLAP)	胎盤絨毛合胞細胞、子宮頸癌reserve cell、子宮内膜被覆上皮	精上皮腫、腺癌の一部、子宮頸癌(例外的)
ホルモン(甲状腺・上皮小体機能)			
	サイログロブリン	正常甲状腺ろ胞上皮	甲状腺癌
	カルシトニン	甲状腺C細胞、気管支K細胞	甲状腺髄様癌、肺小細胞癌、気管支カルチノイド、ランゲルハンス氏島腫瘍(一部)
	パラサイロイドホルモン(PTH)	上皮小体細胞	上皮小体癌、異所産生腫瘍
ホルモン(下垂体機能)			
	甲状腺刺激ホルモン(TSH)	下垂体前葉	下垂体腺腫、異所産生腫瘍
	成長ホルモン(GH)		
	黄体形成ホルモン(LH)		
	卵胞刺激ホルモン(FSH)		
	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)		
	プロラクチン(PRL)		
	抗利尿ホルモン(ADH)	下垂体後葉	
リンパ球関連			
	白血球共通抗原(LCA)	リンパ球、組織球(一部)	悪性リンパ腫、形質細胞腫、緑色腫
	Tリンパ球 UCHL-1	Tリンパ球、多形核白血球、組織球(一部)	悪性Tリンパ腫
	Bリンパ球 L-26	Bリンパ球	悪性Bリンパ腫
	Leu7	NK細胞、神経線維、内分泌細胞、稀突起神経膠細胞	神経内分泌系腫瘍、肺腺癌(一部)、稀突起神経膠細胞腫
	Leu M1	多形核白血球、単球、活性化Tリンパ球、正常上皮細胞、近位尿管管上皮	ホジキン細胞腫

参考文献

- ① 渡辺 慶一, 編：病理と臨床2(特集Ⅰ)：1399～1486, 1984.

② 渡辺 慶一, 編：病理と臨床2(特集Ⅱ)：1535～1633, 1984.

③ 渡辺 慶一, 編：病理と臨床4(特集Ⅲ)：243～314, 1986.

④ 渡辺 慶一, 中根 一穂, 編：酵素抗体法(改訂3版)一巻 二巻, 学際企画：1992.

⑤ 日本病理学会, 編：病理技術マニュアル3 病理組織標本作製技術(上)初版. 医歯薬出版：1981.
- ⑥ 日本病理学会, 編：病理技術マニュアル3 病理組織標本作製技術(下)初版. 医歯薬出版：1981.

⑦ 中尾 誠, 他：乳癌の臨床1(2)：292, 1986.

⑧ 浅野 伍郎, 編：病理技術詳解3 免疫組織化学法. 藤田企画出版：1995.

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	提出材料	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法
病 理 組 織 検 査	A883 1 60099A154	エストロゲンレセプター (IHC) 7B020-7725-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド4枚	Z10	室温	7	①② 720 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
	A891 2 60100A154	プロゲステロンレセプター (IHC) 7B020-7726-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド4枚	Z10	室温	7	①② 690 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
	A899 4 614356054	エストロゲンレセプター / プロゲステロンレセプター (IHC)	未染標本スライド	未染標本スライド6枚	Z10	室温	7	①② 720 + 180 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
	C817 2 61473A154	乳癌HER2タンパク (IHC)4B5 5D590-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド4枚	Z10	室温	7	②③ 4 690 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
	A937 1 60101A154	乳癌HER2/neuタンパク (染色法) 5D590-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド4枚	Z10	室温	7	②③ 5 690 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
	B004 5 60276A154	乳癌HER2遺伝子 (FISH) 8C053-0000-075-841	未染標本スライド	未染標本スライド4枚	Z10	室温	7~11	⑤⑥ 2700 ※8	FISH &1
		乳癌PD-L1タンパク (IHC)22C3 5D597-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド4枚	Z10	室温	5~10	⑦ 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 &1
		乳癌 PD-L1タンパク (IHC)SP142 5D599-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド4枚	Z10	室温	5~10	⑦ 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 &1

- ①「エストロゲンレセプター」及び「プロゲステロンレセプター」の病理組織標本作製を同一月に実施した場合は、180点を主たる病理組織標本作製の所定点数に加算する。
- ②「免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製」は、病理組織標本作製するにあたり免疫染色を行った場合に、方法(蛍光抗体法又は酵素抗体法)又は試薬の種類にかかわらず、1臓器につき1回のみ算定する。
- ③「HER2タンパク」は、半定量法又はEIA法(酵素免疫測定法)による病理標本作製を行った場合に限り算定する。
- ④「HER2タンパク」は、化学療法歴のある手術不能又は再発乳癌患者に対して、過去に乳癌に係る本標本作製を実施した場合であって、抗HER2ヒト化モノクローナル抗体抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判定するための補助に用いるものとして薬事承認又は認証を得ている体外診断用医薬品を用いて、HER2低発現の確認により当該抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判断することを目的として、本標本作製を再度行う場合に限り、別に1回に限り算定できる(乳癌に係る初回の本標本作成を令和6年3月31日以降に実施した場合にあっては、令和8年5月31日までの間に限る。)。なお、再度免疫染色が必要である医学的な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- ⑤「HER2遺伝子標本作製」と「HER2タンパク」を併せて行った場合は3,050点の算定となります。
- ⑥「HER2遺伝子標本作製」は、抗HER2ヒト化モノクローナル抗体抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判断することを目的として、FISH法、SISH法又はCISH法により遺伝子増幅標本作製を行った場合に、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定する。
- ⑦「PD-L1タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製」は、抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤又は抗PD-L1抗体抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判断することを目的として、免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製を行った場合に、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定する。

病理学的検査

病理組織検査

エストロゲンレセプター (IHC)
プロゲステロンレセプター (IHC)
エストロゲンレセプター / プロゲステロンレセプター (IHC) の提出方法
乳癌HER2/neuタンパク(染色法)
乳癌HER2遺伝子(FISH)

- 1)本検査は病理検査により確定診断がなされた症例について治療の方針を判定するための検査ですので、病理検査依頼書に病理診断名・組織型をご記入のうえ、ご依頼ください。
- 2)癌細胞の有無、組織型が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、病理検査依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 3)材料は乳癌(原発巣または転移巣)の末染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。固定時間は10%中性緩衝ホルマリンで下記時間が推奨されています。

【固定時間】

項目コード	検査項目	時間
A883 1	エストロゲンレセプター (IHC)	6 ~ 48時間
A891 2	プロゲステロンレセプター (IHC)	6 ~ 48時間
A899 4	エストロゲンレセプター / プロゲステロンレセプター (IHC)	6 ~ 48時間
A937 1	乳癌HER2/neuタンパク(染色法)	24 ~ 48時間
B004 5	乳癌HER2遺伝子(FISH)	24 ~ 48時間

- 4)免疫組織化学染色法をご依頼の場合、組織切片を4μmの厚さに薄切してください。
FISHをご依頼の場合、組織切片を4 ~ 6μmの厚さに薄切してください。
組織切片はなるべく中央に貼り付けてください。
- 5)乳癌HER2のIHC検査、もしくはFISH検査を既に実施している場合は、その検査成績を依頼書にご記入ください。

乳癌HER2タンパク(IHC)4B5の提出方法

- 1)癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2)材料は乳癌(原発巣または転移巣)の末染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、速やかにご提出ください。高温での乾燥は、60℃で30分以内の処理を推奨します。長時間、高温に置くことは避けてください。
- 3)脱灰処理を行った検体については、正しい結果が得られないため、ご依頼いただけません。
- 4)固定時間は10%中性緩衝ホルマリンで6 ~ 72時間以内(生検標本の場合は検体の大きさに準ずる。)が望ましいとされています。
- 5)組織は4μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- 6)パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

乳癌HER2タンパク(IHC)4B5 乳癌HER2/neuタンパク(染色法) のスコアリング基準

スコア	乳癌・胃癌HER2病理診断ガイドライン 第2版(2021年4月) 染色パターン
0	染色像が認められない または、≤10%の腫瘍細胞にかすかな/かろうじて認識できる不完全な膜染色が認められる
1+	>10%の腫瘍細胞にかすかな/かろうじて認識できる不完全な膜染色が認められる
2+	>10%の腫瘍細胞に弱/中等度の全周性の膜染色が認められる
3+	>10%の腫瘍細胞に強い完全な全周性の膜染色が認められる

乳癌PD-L1タンパク(IHC)22C3及び乳癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142の提出方法

- 1)癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2)材料は浸潤性乳癌(原発巣または転移巣)の末染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3)組織は4 ~ 5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- 4)パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

<乳癌PD-L1タンパク(IHC)22C3>の報告内容

CPS
1未満
1以上 10未満
10以上

<ベムプロリスマブの投与基準(試薬添付文書より)>

対象患者	投与基準
乳癌	CPSが10以上

CPS(Combined Positive Score: 全腫瘍細胞数中のPD-L1陽性腫瘍細胞とPD-L1陽性免疫細胞の割合)のみの結果報告となります。
単位はございません。

<乳癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142>の判定基準

判定	腫瘍浸潤免疫細胞のスコア	腫瘍浸潤免疫細胞の発現率
陰性	IC0	1%未満
陽性	IC1	1%以上 5%未満
陽性	IC2	5%以上 10%未満
陽性	IC3	10%以上

IC(tumor-infiltrating Immune Cells): 腫瘍浸潤免疫細胞



	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	提出材料	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法
病 理 組 織 検 査		胃癌HER2遺伝子 (FISH) 8C053-0000-075-841	未染標本スライド	未染標本スライド4枚	Z10	室温	7~10	①② 2700 ※8	FISH ①② ※8
		胃癌HER2タンパク (IHC) 5D590-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド4枚	Z10	室温	4~6	① 690 ※8	免疫組織化学 染色法 ① ※8
		CLDN18タンパク (IHC) 5D630-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド4枚	Z10	室温	5~10	③ 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 ③ ※8
		胃癌PD-L1タンパク (IHC)22C3 5D597-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド4枚	Z10	室温	5~10	④ 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 ④ ※8
		胃癌PD-L1タンパク (IHC)28-8 5D598-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド4枚	Z10	室温	5~10	④ 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 ④ ※8
		食道癌PD-L1タンパク (IHC)22C3 5D597-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド4枚	Z10	室温	5~10	④ 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 ④ ※8
		食道癌PD-L1タンパク (IHC)28-8 5D598-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド4枚	Z10	室温	5~10	④ 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 ④ ※8
		子宮頸癌PD-L1タンパク (IHC)22C3 5D597-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド4枚	Z10	室温	5~10	④ 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 ④ ※8
		MMRタンパク(IHC) 5D615-0000-075-666	未染標本スライド	未染標本スライド9枚	Z10	室温	5~10	⑤ 2700 ※8	免疫組織化学 染色法 ⑤ ※8

- ①「HER2遺伝子標本作製」と「HER2タンパク」を併せて行った場合は3,050点の算定となります。
- ②「HER2遺伝子標本作製」は、抗HER2ヒト化モノクローナル抗体抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判断することを目的として、FISH法、SISH法又はCISH法により遺伝子増幅標本作製を行った場合に、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定する。
- ③CLDN18タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製は、治療切除不能な進行・再発の胃癌患者を対象として、抗CLDN18.2モノクローナル抗体抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判断することを目的として、免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製を行った場合に、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定する。
- ④「PD-L1タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製」は、抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤又は抗PD-L1抗体抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判断することを目的として、免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製を行った場合に、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定する。
- ⑤ミスマッチ修復タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製
- (1)「ミスマッチ修復タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製」は、以下のいずれかを目的として、免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製を行った場合に、患者1人につき1回に限り算定する。
- ア 固形癌における抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤の適応判定の補助
- イ 大腸癌におけるリンチ症候群の診断の補助
- ウ 大腸癌における抗悪性腫瘍剤による治療法の選択の補助
- (2)(1)に掲げるいずれか1つの目的で当該標本作製を実施した後に、別の目的で当該標本作製を実施した場合であっても、別に1回に限り算定できる。なお、この場合にあっては、その医学的な必要性を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- (3)本標本作製及び「マイクロサテライト不安定性検査」を同一の目的で実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- (4)「注」に規定する「遺伝カウンセリング加算」は、本標本作製(リンチ症候群の診断の補助に用いる場合に限る。)を実施する際、以下のいずれも満たす場合に算定できる。
- ア 本標本作製の実施前に、臨床遺伝学に関する十分な知識を有する医師が、患者又はその家族等に対し、当該標本作製の目的並びに当該標本作製の実施によって生じる利益及び不利益についての説明等を含めたカウンセリングを行うとともに、その内容を文書により交付すること。
- イ 臨床遺伝学に関する十分な知識を有する医師が、患者又はその家族等に対し、本標本作製の結果に基づいて療養上の指導を行うとともに、その内容を文書により交付すること。ただし、この場合において、同一の目的で実施した「マイクロサテライト不安定性検査」に係る「遺伝カウンセリング加算」は別に算定できない。
- なお、遺伝カウンセリングの実施に当たっては、厚生労働省「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイダンス」及び関係学会による「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」を遵守すること。

病理学的検査

病理組織検査

胃癌HER2タンパク(IHC)及び胃癌HER2遺伝子(FISH)の提出方法

- 1)本検査は病理検査により確定判断がなされた症例について治療の方針を判定するための検査ですので、病理検査依頼書に病理診断名・組織型をご記入のうえ、ご依頼ください。
- 2)癌細胞の有無、組織型が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 3)材料は胃癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、速やかにご提出ください。組織剥離防止の為にベーキングさせる場合でも、なるべく短時間(1時間以内)で処理を行い、スライドグラスをそれ以上の時間、高温に置くことは避けてください。
- なお、胃がんHER2検査病理部会作成の検査ガイドでは10%中性緩衝ホルマリンで6~72時間以内(生検標本の場合は検体の大きさに準ずる。但し、固定時間は6時間以上。)固定した材料が望ましいとされています。
- 4)胃癌HER2タンパク(IHC)をご依頼の場合、組織は3~4μmの厚さに薄切し、フロスト端から15mm以上、スライドグラス端から2mm以上離してなるべく中央に貼り付けてください。
- 5)胃癌HER2遺伝子(FISH)をご依頼の場合、組織は4~6μmの厚さに薄切してください。
- 6)パラフィンブロックで受託した場合、未染標本スライド作製のため所要日数が1日延長いたします。
- 7)胃癌HER2タンパク(IHC)と胃癌HER2遺伝子(FISH)を同一IDで受託した場合、所要日数のかかる胃癌HER2遺伝子(FISH)に合わせたの同時報告となります。

CLDN18タンパク(IHC)の提出方法

- 1)癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)
- なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2)材料は胃癌または食道胃接合部癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3)組織は4~5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- 4)パラフィンブロックで依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

胃癌PD-L1タンパク(IHC)22C3の提出方法

- 1)癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)
- なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2)材料は胃癌または食道胃接合部癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3)組織は4~5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- 4)パラフィンブロックで依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

<胃癌PD-L1タンパク(IHC)22C3>の報告内容

CPS
1未満
1以上10未満
10以上

CPS(Combined Positive Score : 全腫瘍細胞数中のPD-L1陽性腫瘍細胞とPD-L1陽性免疫細胞の割合)のみの結果報告となります。
単位はございません。

胃癌PD-L1タンパク(IHC)28-8の提出方法

- 1)癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)
- なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2)材料は胃癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3)組織は4~5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- 4)パラフィンブロックで依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

<胃癌PD-L1タンパク(IHC)28-8>の報告内容

CPS
1未満
1以上 5未満
5以上

CPS(Combined Positive Score : 全腫瘍細胞数中のPD-L1陽性腫瘍細胞とPD-L1陽性免疫細胞の割合)のみの結果報告となります。
単位はございません。



食道癌PD-L1タンパク(IHC)22C3の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は食道癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4～5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

<食道癌PD-L1タンパク(IHC)22C3>の報告内容

CPS
1未満
1以上 10未満
10以上

<ペムプロリズマブの投与基準(試薬添付文書より)>

対象患者	投与基準
食道癌	CPSが10以上

CPS(Combined Positive Score：全腫瘍細胞数中のPD-L1陽性腫瘍細胞とPD-L1陽性免疫細胞の割合)のみの結果報告となります。
単位はございません。

食道癌PD-L1タンパク(IHC)28-8の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は食道癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4～5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

子宮頸癌PD-L1タンパク(IHC)22C3の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は子宮頸癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4～5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

<子宮頸癌PD-L1タンパク(IHC)22C3>の報告内容

CPS	判定
1未満	発現なし
1以上	発現あり

CPS(Combined Positive Score)：全腫瘍細胞数中のPD-L1陽性腫瘍細胞とPD-L1陽性免疫細胞の割合

MMRタンパク(IHC)の留意事項

- ・本検査は、ミスマッチ修復タンパク質であるMLH1、MSH2、PMS2、MSH6の保持・消失を免疫組織化学染色(IHC)法により確認いたします。
- ・本検査は、該当する診療報酬区分における「抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤の固形癌患者への適応を判定するための補助に用いる場合」、「大腸癌における抗悪性腫瘍剤による治療法の選択の補助に用いる場合」を目的とした検査です。
- ・本検査の結果により、リンチ症候群を疑う要因となる可能性があります。
- ・検査に際しては、日本遺伝性腫瘍学会の「悪性腫瘍に対するマイクロサテライト不安定性検査およびミスマッチ修復タンパク質に対する免疫組織化学検査の利用に関する見解 ver.2」に以下の通り記載されています。
「臨床的にLynch症候群が疑われる場合や、検査の結果dMMR腫瘍であることが明らかとなった場合はLynch症候群に関する情報提供を十分にを行い、必要に応じて他の医療機関への紹介を含め、適切な遺伝カウンセリングおよび遺伝診療の機会を提供することが望まれる。」

MMRタンパク(IHC)の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は固形癌の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。
- 5) 組織の固定については、10%中性緩衝ホルマリンが推奨されています。

病理学的検査

病理組織検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	提出材料	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法
病理組織検査		肺癌 PD-L1タンパク (IHC)22C3 5D597-0000-075-666	未染標本スライド*	未染標本スライド4枚	Z10	室温	5~7	① 2700 ※8	免疫組織化学染色法 &1
		肺癌 PD-L1タンパク (IHC)28-8 5D598-0000-075-666	未染標本スライド*	未染標本スライド4枚	Z10	室温	5~7	① 2700 ※8	免疫組織化学染色法 &1
		肺癌 PD-L1タンパク (IHC)SP142 5D599-0000-075-666	未染標本スライド*	未染標本スライド4枚	Z10	室温	5~10	① 2700 ※8	免疫組織化学染色法 &1
		肺癌 PD-L1タンパク (IHC)SP263 5D605-0000-075-666	未染標本スライド*	未染標本スライド4枚	Z10	室温	5~10	① 2700 ※8	免疫組織化学染色法 &1
		肺癌ALKタンパク(IHC) D5F3 5D594-0000-075-666	未染標本スライド*	未染標本スライド4枚	Z10	室温	5~10	② 2700 ※8	免疫組織化学染色法 &1

①「PD-L1タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製」は、抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤又は抗PD-L1抗体抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判断することを目的として、免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製を行った場合に、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定する。

②「ALK融合タンパク」は、以下に掲げる場合において算定できる。

ア 非小細胞肺癌患者に対して、ALK阻害剤の投与の適応を判断することを目的として、ブリッジ試薬を用いた免疫組織染色法により病理標本作製を行った場合(当該薬剤の投与方針の決定までの間の1回に限る。)

イ 悪性リンパ腫患者に対して、悪性リンパ腫の診断補助を目的として免疫組織染色法により病理標本作製を行った場合(悪性リンパ腫の病型分類までの間の1回に限る。)



肺癌 PD-L1タンパク(IHC)22C3の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は肺癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4～5μmの厚さに薄切し、フロスト端から15mm以上、スライドグラス端から15mm以上離してなるべく中央に貼り付けてください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染色スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

〈肺癌 PD-L1タンパク(IHC)22C3〉の注意事項
判定基準

TPS(%)	判定
0	陰性
1-49	発現あり
50以上	高発現

〈ベムプロリズマブの投与基準(試薬添付文書より)〉

対象患者	投与基準
既治療 非小細胞肺癌	TPSが1%以上
未治療 非小細胞肺癌	TPSが50%以上

TPS(Tumor Proportion Score)：腫瘍細胞中のPD-L1発現陽性細胞の割合

肺癌 PD-L1タンパク(IHC)28-8の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は肺癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4～5μmの厚さに薄切し、フロスト端から15mm以上、スライドグラス端から15mm以上離してなるべく中央に貼り付けてください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染色スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

肺癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142、SP263の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は肺癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4～5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

〈肺癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142〉の判定基準

腫瘍細胞のスコア	腫瘍細胞の発現率	腫瘍浸潤免疫細胞のスコア	腫瘍浸潤免疫細胞の発現率
TC0	1%未満	IC0	1%未満
TC1	1%以上 5%未満	IC1	1%以上 5%未満
TC2	5%以上 50%未満	IC2	5%以上 10%未満
TC3	50%以上	IC3	10%以上

TC(Tumor Cells)：腫瘍細胞 IC(tumor-infiltrating Immune Cells)：腫瘍浸潤免疫細胞

肺癌ALKタンパク(IHC)D5F3の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は非小細胞肺癌を含む組織のホルマリン固定パラフィン包埋ブロックから作製された未染標本スライドとなります。スライドはPoly-L-lysineまたはシラン等のコーティングしたスライドをご使用ください。
- 3) 組織切片は4μmの厚さに薄切し、なるべくスライド中央に貼り付け、37℃で24時間乾燥させた後、ご提出ください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

病理学的検査

病理組織検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	提出材料	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法
病理組織検査		メラノーマ PD-L1タンパク (IHC)28-8 5D598-0000-075-666	未染標本スライド*	未染標本スライド*4枚	Z10	室温	5~10	① 2700 ※8	免疫組織化学染色法 &1
		頭頸部癌 PD-L1タンパク (IHC)22C3 5D597-0000-075-666	未染標本スライド*	未染標本スライド*4枚	Z10	室温	5~10	① 2700 ※8	免疫組織化学染色法 &1
		頭頸部癌 PD-L1タンパク (IHC)28-8 5D598-0000-075-666	未染標本スライド*	未染標本スライド*4枚	Z10	室温	7~10	① 2700 ※8	免疫組織化学染色法 &1
		CCR4タンパク (IHC) 5D596-0000-075-666	未染標本スライド*	未染標本スライド*6枚	Z10	室温	6~7	② 10000 ※8	酵素抗体法 (ポリマー法) &1

①「PD-L1タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製」は、抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤又は抗PD-L1抗体抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判断することを目的として、免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製を行った場合に、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定する。

②「CCR4タンパク」及び「CCR4タンパク(フローサイトメトリー法)」を同一の目的で実施した場合は、原則として主たるもののみ算定する。ただし、医学的な必要性がある場合には、併せて実施した場合であっても、いずれの点数も算定できる。なお、この場合においては、診療報酬明細書の摘要欄にその理由及び医学的必要性を記載すること。

Z10

旧容器記号
t



【オブジェクト
ケース】
プレパレート
(スライドグラス)



貯蔵方法 室温

メラノーマPD-L1タンパク(IHC)28-8の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料はメラノーマ(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4～5μmの厚さに薄切し、フロスト端から15mm以上、スライドグラス端から15mm以上離してなるべく中央に貼り付けてください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染色スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)22C3の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は頭頸部癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4～5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

<頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)22C3>の報告内容

CPS
1未満
1以上20未満
20以上

CPS(Combined Positive Score : 全腫瘍細胞数中のPD-L1陽性腫瘍細胞とPD-L1陽性免疫細胞の割合)のみの結果報告となります。
単位はございません。

頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)28-8の提出方法

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。)なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は頭頸部癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4～5μmの厚さに薄切し、フロスト端から15mm以上、スライドグラス端から15mm以上離してなるべく中央に貼り付けてください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染色スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

CCR4タンパク(IHC)の注意事項

モガムリズマブ(遺伝子組換え)の適応を判断するための補助に用います。疾病の診断や治療効果の確認を目的とした場合、有効性が確認されておりませんので、そのような目的で使用しないでください。(試薬添付文書より)

CCR4タンパク(IHC)の提出方法

- 1) 本検査は、「ATL(成人T細胞白血病リンパ腫)、再発または難治性のPTCL(末梢性T細胞リンパ腫)およびCTCL(皮膚T細胞性リンパ腫)患者」について治療の方針を判定するための検査ですので、依頼書に診断名をご記入のうえ、ご依頼ください。また、可能であれば検査ご依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。
- 2) 材料は組織を10～20%ホルマリン固定液に24～48時間程度の固定をし、包埋したパラフィンブロックから作製された未染標本スライドとなります。標本は3～4μmの厚さに薄切し、シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。

総合解析検査

総合解析検査

	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
総合 解析 検査		悪性リンパ腫 総合解析検査 「ML-NET」	組織(生) 0.5g (10×10× 5mm程度) と ホルマリン 固定組織 0.5g (10×10× 5mm程度) と 凍結組織0.5g (10×10× 5mm程度)	(組織 (生)) H20 と (ホルマリン 固定組織) VP0 と (凍結 組織) VP1	(組織 (生)) 冷蔵 と (ホルマリン 固定組織) 室温 と (凍結 組織) 凍結	*	6074 ※2 ※3 ※8	(病理組織検査) ヘマトキシリン・ エオジン染色、 特殊染色 (PAS、鍍銀) および免疫組織 化学染色法 (LSMA CD45 ゲーティング) フローサイト メトリー (染色体検査) G-bandまたは FISH		重 組織(生):凍結保存は避けてください。 受託可能日は、月～金曜日です。 他の項目との重複依頼は避けてください。 本検査は、病理組織検査、 酵素抗体染色、表面マーカー検査、 染色体検査を用いた総合解析検査 です。 本検査で判定が困難な症例につき ましては、当社から追加検査のご 確認をさせていただきます。
										&1

悪性リンパ腫総合解析検査の所要日数と実施料・判断料について

* 所要日数

一次解析検査9～13日前後(症例により遅延することがあります)

総合解析検査約1ヵ月前後

**実施料/判断料

病理組織標本作製860点(※8) 免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製400点(※8) 造血器腫瘍細胞抗原検査1940点(※3)

染色体検査2477点+分染法加算397点(※2)

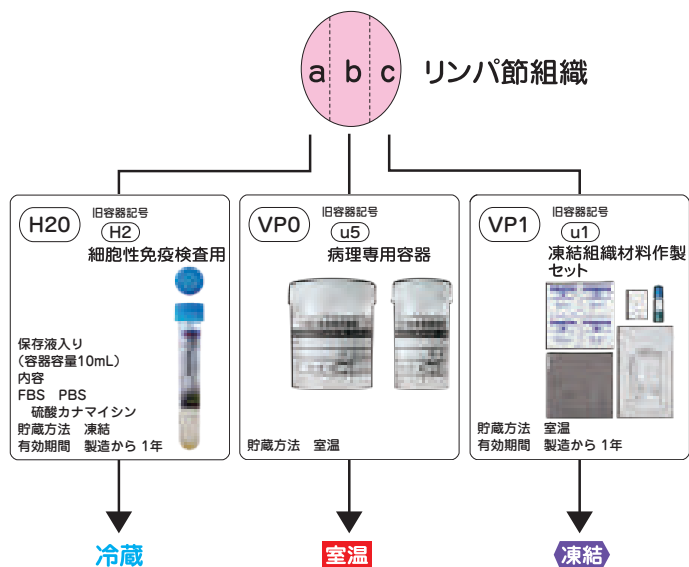
悪性リンパ腫総合解析検査「ML-NET」について

- 1)染色体FISHは、染色体G-bandingが検査できない場合に適切なFISH項目を自動追加いたします。
- 2)本検査で判定が困難な症例につきましては、当社から追加検査のご確認をさせていただきます。
追加検査につきましては、別途検査料金をご請求申し上げますので、あらかじめご了承ください。

追加項目名称	備 考
酸素抗体染色	症例により検査内容が異なります。
遺伝子解析検査	

悪性リンパ腫総合解析検査「ML-NET」の提出方法

- 1)検体は採取後、当日中にご提出ください。
- 2)組織は無菌的に採取してください。
- 3)採取した組織を3分割してください。
- 4)分割した組織(a)は専用容器(H20)に無菌的に入れ冷蔵保存してください。
- 5)分割した組織(b)は10～20%ホルマリン液を充填した専用容器(VP0)に無菌的に入れて固定し室温保存してください。
- 6)分割した組織(c)は凍結組織材料作製セット(VP1)の添付資料に従って処理し必ず凍結保存してください。



	項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
リ ス ク 検 査	5521 7 T00000246	男性AIRS (認知機能評価あり)	速やかに冷却 血漿 各0.5	PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	9~12		LC/MS		【重要】 50歳以上の方、かつAIRS(認知機能低下)を選択した方が受診する際には、本コードをご選択ください。なお、49歳以下の方は、AIRS(認知機能低下)の検査対象外(除外基準)となりますので、別コード(認知機能評価なし)をご選択ください。 検体取扱いは次ページをご参照ください。 本項目は、血液中のアミノ酸濃度から、委託先(味の素株式会社)にてデータ解析することにより、AICS [®] 及びAIRLS [®] を報告する検査です。なお、本検査結果はその他の検査結果を考慮して総合的に判断してください。 &1
	5523 5 T00000248	女性AIRS (認知機能評価あり)								
	5519 0 T00000245	男性AIRS (認知機能評価なし)	速やかに冷却 血漿 各0.5	PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	9~12		LC/MS		【重要】 49歳以下の方は、AIRS(認知機能低下)の検査対象外(除外基準)となります。49歳以下の方、あるいは50歳以上の方であってもAIRS(認知機能低下)を選択しなかった方が受診する際には、本コード(認知機能評価なし)をご選択ください。 検体取扱いは次ページをご参照ください。 本項目は、血液中のアミノ酸濃度から、委託先(味の素株式会社)にてデータ解析することにより、AICS [®] 及びAIRLS [®] を報告する検査です。なお、本検査結果はその他の検査結果を考慮して総合的に判断してください。 &1
	5522 6 T00000247	女性AIRS (認知機能評価なし)								
	5957 4 T00005957	男性AICS(5種)	速やかに冷却 血漿 各0.5	PN5 ↓ A00	凍結 (21日)	9~12		LC/MS		【重要】 検体取扱いは次ページをご参照ください。 本項目は、血液中のアミノ酸濃度から、委託先(味の素株式会社)にてデータ解析することにより現在、がんである可能性を評価する検査です。なお、本検査結果は、その他の検査結果を考慮して総合的に判断してください。 &1
	5958 3 T00005958	女性AICS(6種)								

アミノインデックス[®]とは

アミノインデックス[®]は、血液中の各種アミノ酸濃度のバランスから、現在の健康状態や病気の可能性を明らかにする検査です。アミノインデックス[®]の解析は、味の素株式会社に委託して解析されています。

AIRS[®](AminoIndex[®] Risk Screening)とは

アミノインデックス[®]を用いて1回の採血で、血液中のアミノ酸バランスから、現在・将来のさまざまな疾患リスクを一度に評価する検査です。

AICS[®](AminoIndex[®] Cancer Screening)とは

アミノインデックス[®]を用いて、現在がんである可能性を評価する検査です。

男性AICS5種:胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん

女性AICS6種:胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮がん(子宮頸がん、子宮体がん)・卵巣がん

エーアイエルエス

AIRLS[®](AminoIndex[®] LifeStyle diseases)とは

血液中のアミノ酸濃度バランスから10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク、4年以内に糖尿病を発症するリスク、血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ、および現在認知機能が低下している可能性を評価し、検査結果に基づくI~IV、およびI*~IV*のタイプを報告します。また、このタイプをもとに、生活改善評価情報が提供できます。なお、AIRLS[®]単独での受託はできません。

リスク検査

リスク検査

AIRS[®]、AICS[®]の留意事項

AIRS[®]は下記年齢の日本人(妊娠されている方を除く)を対象として開発された検査です。これらの方以外は評価対象外となります。

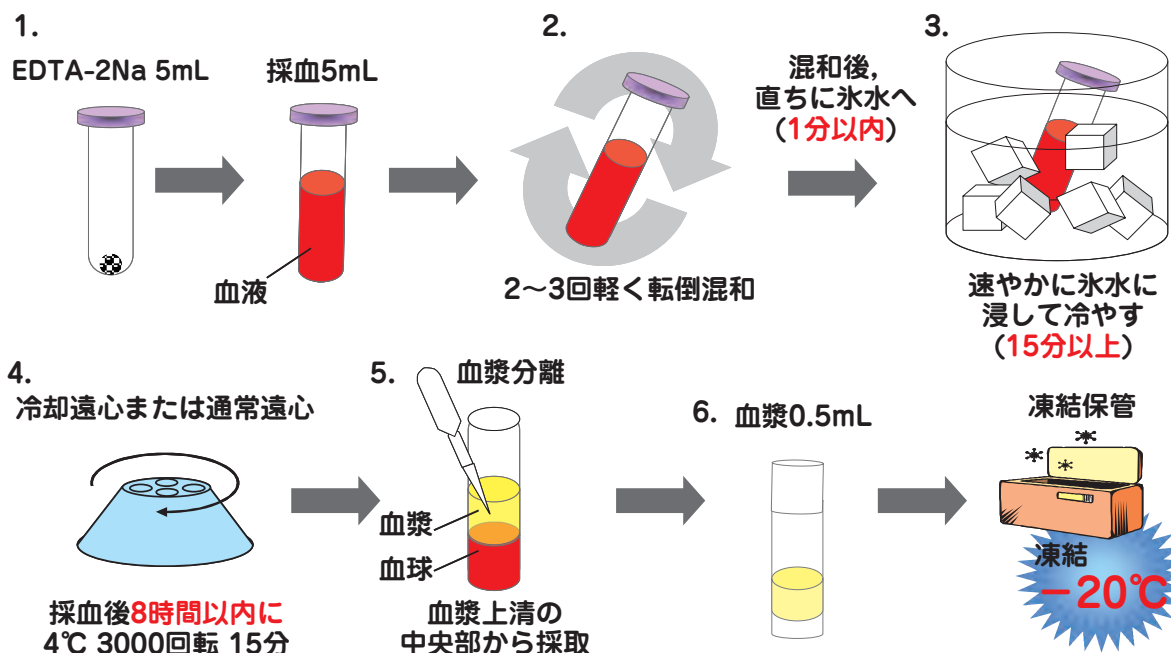
検査項目	評価対象	対象年齢
男性	AICS(5種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん
		前立腺がん
	AILS(脳心疾患リスク)	10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク
	AILS(糖尿病リスク)	4年以内に糖尿病を発症するリスク
	AILS(アミノ酸レベル)	血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ
女性	AILS(認知機能低下)	現在認知機能が低下している可能性 ※AILS(認知機能低下)については49歳以下の方は選択できません
	AICS(6種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん
		子宮がん・卵巣がん
	AILS(脳心疾患リスク)	10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク
	AILS(糖尿病リスク)	4年以内に糖尿病を発症するリスク
	AILS(アミノ酸レベル)	血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ
女性	AILS(認知機能低下)	現在認知機能が低下している可能性 ※AILS(認知機能低下)については49歳以下の方は選択できません
		50歳～100歳※

・脳卒中の方・心筋梗塞の方、糖尿病の方、認知症の方、軽度認知障害の方(いずれも医療機関で診断を受けた方、あるいは治療中の方)の場合、その疾病・所見に関するAILS値や生活習慣改善タイプは出力されますが、いずれも評価対象外となります。

- ・妊娠されている方、授乳中の方、がん患者(治療中を含む)の方、先天性代謝異常の方、透析患者の方は、検査結果に影響があるため、検査の実施はご遠慮ください。
- ・なお、AILS(認知機能低下)については49歳以下の方は選択できません。
- ・検査前8時間以内に、水以外(食事、サプリメント等)は摂取せず、午前中に採血してください。(検査前日の高タンパク質の食事も避けてください)
- ・また、当日朝の運動は控えください。
- ・薬剤による本検査への影響はわかっておりません。
- ・他項目との重複依頼は避けてください。
- ・強溶血検体や、血漿(EDTA-2Na)以外の材料での、受託はできません。
- ・ご依頼の際は性別・年齢を必ず明記してください。

検体の取り扱いについて

1. EDTA-2Na入り採血チューブにて血液約5mLを採取してください。
2. 採血直後、血液を2～3回軽く転倒混和してください。(ローラーでの混和は行わないでください。)
3. 混和後直ちに(1分以内)採血チューブを氷水中(血液の液面まで氷水につかる状態)で冷却(15分以上、遠心操作まで冷却)してください。
4. 採血から8時間以内に冷却条件で遠心分離(4℃、3000回転、15分)または通常遠心分離(3000回転、15分、ローターが昇温していないこと)してください。
5. 遠心後、直ちに上清の血漿を血液との界面に触れないように血漿上清の中央部から採取し、分注してください。
6. 分注後、血漿を4時間以内に凍結保存してください。



項目コード 新項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考
リスク検査 B751 6 T00000275	My Nightingale (マイ ナイチンゲール)	速やかに遠心 血清 1.0	S09 ↓ A00	凍結 (30日)	12~18		プロトン核 磁気共鳴 (NMR) 分光法		重 検体の取り扱い方法は下記をご参照ください。本項目は株式会社ウェルタスへ委託し、Nightingale Health Japan株式会社にて測定・解析することで総合的な健康状態を把握するための検査です。本検査は特定の病気の診断をするものではありません。

※Y

My Nightingale™(マイ ナイチンゲール)とは

My Nightingale™(マイ ナイチンゲール)は、プロトン核磁気共鳴(NMR)分光法を用いて250項目の血清中バイオマーカーを測定し、得られた測定値からNightingale Health社が開発した総合健康指標(ナイチンゲールヘルススコア)および各種健康指標(炎症スコア/コレステロールバランススコア/脂肪酸バランススコア/糖尿病耐性スコア/心臓年齢/心血管疾患リスク/2型糖尿病リスク)を算出し、総合的な健康状態を把握するための検査です。

バイオマーカー測定値より算出される総合健康指標および各種健康指標

炎症スコア	...	全身の炎症状態の把握。慢性的な全身の軽度炎症は、特に腹部の過剰な脂肪量に関連しており、糖尿病や心臓病などの慢性疾患の発症に中心的役割を果たしていることがわかっています。
コレステロールバランススコア	...	HDL粒子のタンパク質であるApoA1とVLDLやLDL粒子のタンパク質であるApoBの比率。この比が高いほど血中コレステロールのバランスが良いといえます。
脂肪酸バランススコア	...	多価不飽和脂肪酸(PUFA)と一価不飽和脂肪酸(MUFA)の比率。PUFAは糖尿病や心臓病のリスクを軽減し、MUFAが高いと太り過ぎやインスリン抵抗性を示唆する。脂肪酸バランスが高いほど健康的であるといえます。
糖尿病耐性スコア	...	2型糖尿病の発症に対し、なりにくさを知るための推測値。グルコース、中性脂肪、HDLコレステロール、糖タンパクアセチルなど複数のバイオマーカーから算出されます。
心臓年齢	...	実年齢に対する心血管系の健康状態を反映します。コレステロール、糖タンパクアセチル、ApoB/ApoA1比などから今後10年間の心臓病リスクを算出し、標準データと比較して心臓年齢を算出します。
心血管疾患リスク	...	今後10年間の心血管疾患罹患リスク
2型糖尿病リスク	...	今後10年間の2型糖尿病罹患リスク
ナイチンゲールヘルススコア	...	各種健康指標から算出された総合健康指標。日常生活における生活習慣や食生活の状況を反映し、継続的に検査を受けることで全身の健康状態の変化を把握することができます。

各種健康指標及び総合健康指標の判定基準

スコア名	評価内容	スコア名	評価内容
炎症スコア	非常に良好(90-100) 良好(80-89) 改善の余地あり(60-79) 要改善(50-59) 要注意(40-49)	心血管疾患リスク	低/境界/平均/高
コレステロールバランススコア		2型糖尿病リスク	低/境界/平均/高
脂肪酸バランススコア		心臓年齢	18~∞(歳) 良い(実年齢+1歳未満) 要改善(実年齢+1歳以上)
糖尿病耐性スコア			
ナイチンゲールヘルススコア			

[B751 6] My Nightingale(マイ ナイチンゲール)の留意事項

- 空腹時採血による検査です。採血前4時間以上の絶食をお願いします。
- 検査当日に食事をする場合は、脂質の多い食事や食べ過ぎに注意してください。
- 本検査結果は受診者の血液から測定したバイオマーカー（血液中に含まれる様々な成分）を分析することで、集団における統計的な傾向や、測定値が受診者と同様の人の結果を示すことを目的としており、受診者の健康状態や体質、病気を診断するものではありません。
- 現在妊娠中の方、病気をお持ちの方、治療中・投薬中の方は正確な結果が得られない可能性があります。
- 本検査のバイオマーカー測定結果は既存測定方法と同じ値にならない可能性があります。
- 他項目との重複依頼は避けてください。
- 強溶血検体や指定容器以外で採血された検体の受託はできません。
- ご依頼の際は採取日、年齢、性別を必ず記載してください。

検体の取り扱いについて

- 指定の採血容器に5mL程度を採血し、4~5回転倒混和してください。
- 採血後、室温保存(9~25℃)^{*1}では2時間以内、冷所保存(0~15℃)^{*1}では12時間以内に遠心分離(15~20℃で1500G、10分以上)し、血清1.0mLを分注してください。
- ※分離剤入り採血管で遠心分離した際は、室温保存(9~25℃)^{*1}の場合8時間以内、冷所保存(0~15℃)^{*1}の場合48時間以内に分注してください。
- 分注後、直ちに凍結してご提出ください。

*1 採血後、遠心分離までの間の保存温度は委託先による設定となります。

検査方法の概略

アレイCGH法

蛍光標識したサンプル由来DNAと正常細胞由来DNAを比較することにより、ゲノムに生じる増幅や欠失などのコピー数変化(CNV)を検出するcomparative genomic hybridization (CGH)の原理とマイクロアレイの技術を組み合わせた方法です。

インベーター法

DNAの三重鎖構造を特異的に認識して切断するクリベース(エンドヌクレアーゼの一種)を利用した、二段階のホモジニアスな等温反応からなる遺伝子多型の判定法。

ウエスタンブロット法(Western blot)

目的とする蛋白質を電気泳動により分画し、電氣的にニトロセルロース膜に転写して、目的の蛋白質に対する抗体を反応させた後、酵素で標識した抗体を2次反応させ、目的の蛋白質を検出する方法。イムノブロット法とも呼ばれる。

液相(核酸)ハイブリダイゼーション

液相中でrRNAを遊離させ、化学発光物質で標識したDNAプローブを用いてハイブリダイゼーションを行い、ハイブリッドを分離剤に吸着させた後、化学発光により検出する方法。

オクタロニー法(Ouchterlony method)

平板内二重免疫拡散法

平板内二重免疫拡散法と呼ばれるゲル内拡散法の1つ。ゲル内で抗体と抗原を拡散させ、抗原抗体反応により形成された沈降線の数や反応性の有無から、抗原と抗体の反応を確認する方法。

凝固時間法

測定対象となる因子の欠乏血漿とトロンボプラスチン、アクチン、塩化カルシウムを加え、凝固するまでの時間を測定する方法。

金コロイド法

金コロイド標識抗体を反応させ、抗原抗体反応により金コロイド粒子が凝集する色調変化を光学的に測定する方法。

原子吸光分析法

元素試料を化学炎中や加熱グラファイト管中などで元素の原子化を行い、この原子蒸気に元素固有の共鳴線をあてると原子蒸気中の原子の数に応じて吸収されることを利用して、吸光度から元素量を定量する方法。

酵素抗体法

目的とする抗原に対して、酵素で標識した抗体を用いて抗原抗体反応を行い、発色基質を加えて酵素活性を測定する方法。
酵素で標識した抗体を直接反応させる直接法と、抗原に対して未標識の抗体を反応させた後、酵素で標識した抗体を2次反応させる間接法がある。

酵素法

測定原理は比色法と同様で、測定物質を酵素を用いて特異的に測定する方法。

サザンブロットハイブリダイゼーション(Southern blot hybridization)

制限酵素で消化したDNAを電気泳動により分画し、1本鎖DNAに変性後、毛細管現象を利用してナイロンメンブレンに転写して、標的プローブとハイブリダイゼーションを行い、目的の遺伝子を検出する方法。DNAの量的、質的変化の異常を解析する場合に用いられる。

次世代シーケンス(NGS)法

次世代シーケンサーを用いて、膨大な数のDNA断片の塩基配列の決定を、同時並行的に行う方法。

ダイレクトシーケンス法

PCR法で増幅したDNAを鋳型として直接塩基配列を決定する方法。

超遠心法

超遠心機を用いて蛋白質の比重の差により分離し測定する方法。

電気泳動法

荷電粒子の浮遊する電解質溶液に通電すると、粒子は各粒子の荷電と逆の極側に移動する現象を利用し、移動度から目的の物質を測定する方法。
水溶液支持体にはセルロースアセテート膜、アガロースゲル、ポリアクリルアミドゲルなどが用いられる。

電極法

電極と溶液界面における電荷移行反応を利用した方法。
イオン選択電極は特定のイオンに应答し、イオンの活量の対数に比例して生じる電位差からイオンの濃度を測定する。

等温核酸増幅法

PCR法とは異なり、鎖置換型DNA合成酵素などを用いて、核酸を一定温度で増幅する方法。

ネフェロメトリー (Nephelometry)

抗原抗体反応による混濁物に光を照射させ、光の散乱強度を測定する方法。

発色性合成基質法

ヘパリンを加えてAT-Ⅲ-ヘパリン複合体を形成させ、そのトロンビン不活化能をトロンビンに対する発色性合成基質を用いて測定する方法。

比色法(Colorimetry)

測定物質を着色物質に変換後、可視部波長を照射して吸光度を測定して色調を標準液と比較する方法。

フローサイトメトリー (Flow cytometry)

蛍光色素で標識したモノクローナル抗体で染色した細胞を高速度で流しながらレーザー光を照射し、前方散乱光(細胞の大きさ)や90°散乱光(細胞の内部構造)と蛍光強度(細胞表面の対応抗原)から個々の細胞を解析する方法。
2種類の蛍光色素を用いて二重染色を行い解析する場合はTwo-colorフローサイトメトリーと呼ばれる。

プロトン核磁気共鳴(NMR)分光法

静磁場に置かれた物質の構成原子核がその核特有の周波数のラジオ波に共鳴して低エネルギーの核スピン状態から高エネルギーの核スピン状態に移移することに伴いラジオ波を吸収する現象を利用したスペクトル測定法。

マルチプレックスPCR-フラグメント解析(Multiplex PCR Fragment Analysis)

複数の標的遺伝子を増幅後、PCR増幅産物をシーケンサーにてキャピラリー電気泳動を行う。
DNAのサイズに応じて分離され、増幅量に応じたピークを専用ソフトウェアにより設定されたQMVR幅により解析、識別する方法。

メチレーションPCR

非メチル化シトシンがバイサルファイト処理でウラシルに変換されることを利用し、バイサルファイト処理後のメチル化シトシンと非メチル化シトシンの塩基配列の違いから対象領域のメチル化をPCRで確認する方法。

ラインプロット法(Line immunoassay)

抗原を機械的にメンブレン上に点着し、抗原に対する特異的抗体を反応させた後、酵素で標識した抗体を、2次反応させ、抗体の検出を行う方法。

リアルタイムPCR

PCR法を基本原理とする核酸増幅法の一種であり、分解により蛍光を発するオリゴヌクレオチドを利用することにより、PCRサイクルごとに蛍光シグナルを確認することでリアルタイムにターゲット核酸の定量が可能となる測定方法。

(各種)band

リンパ球または骨髄細胞を培養し、分裂中期の細胞を固定する。その後、色素で染色体上に縞模様(バンド)を染め出し、その分布と濃度から分析を行う方法。
トリプシン溶液で処理後ギムザ染色を行うG-Banding、HCl、Ba(OH)₂、2×SCCで処理後ギムザ染色するC-Banding、キナクリン・マスタードで染色後、蛍光顕微鏡で観察するQ-Banding、分裂前期の終わりから分裂中期の始めの分裂像を用い、通常よりバンド数を増やして観察する高精度分染法などがある。

CF(Complement fixation)

補体結合反応

補体が抗原抗体複合体と結合することと溶血反応を引き起こすことを利用した方法。
赤血球に溶血素を結合した感作赤血球は補体が結合すると溶血を起こすが、抗原抗体複合体が存在すると補体が消費され溶血が阻止されることから、溶血の程度から抗体の存在を判定する。

CLEIA(Chemiluminescent enzyme immunoassay)

化学発光酵素免疫測定法

固相化した抗体に対して抗原を反応させた後、酵素標識した抗体を抗原に2次反応させ、化学発光基質を加えて発光強度を測定する方法。

CLIA(Chemiluminescent immunoassay)

化学発光免疫測定法

固相化した抗体に対して抗原を反応させた後、化学発光性物質で標識した抗体を抗原に2次反応させ、化学発光性物質の発光強度を測定する方法。

ECLIA(Electro chemiluminescence immunoassay)

電気化学発光免疫測定法

抗体を結合したビーズを用いて抗原と反応させた後、ルテニウムピリジン錯体で標識した抗体を抗原に2次反応させ、電気化学反応によりルテニウムピリジン錯体の発光強度を測定する方法。

EIA(Enzyme immunoassay)

酵素免疫測定法

測定原理はRIAと同様で、標識物質に酵素で標識した抗原または抗体を用いて抗原抗体反応を行い、発色基質を加えて酵素活性を測定する方法。

ELISA(Enzyme-Linked immunosorbent assay)

酵素免疫測定法

固相化した抗体に対して抗原を反応させた後、酵素標識した抗体を抗原に2次反応させ、発色基質を加えて酵素活性を測定する方法。

ELISPOT(Enzyme-Linked ImmunoSpot)

抗体を固相化したプレートに、分離細胞と特異抗原を加え培養し、細胞から産生されたタンパク質を発色基質と反応させ、スポットを得る方法。

FA(Fluorescent antibody method)

蛍光抗体法

IFA(Indirect Fluorescent antibody method)

間接蛍光抗体法

目的とする抗原に対して、蛍光色素で標識した抗体を用いて抗原抗体反応を行い、蛍光顕微鏡下で蛍光強度を測定する方法。
蛍光色素で標識した抗体を直接反応させる直接法と、抗原に対して抗体を反応させた後、蛍光色素で標識した抗体を2次反応させる間接法がある。

FEIA(Fluorescence enzyme immunoassay)

蛍光酵素免疫測定法

EIAの1つで、標識物質に酵素で標識した抗原または抗体を用いて抗原抗体反応を行い、蛍光基質を加えて蛍光強度を測定する方法。

FIA(Fluorescence Immunoassay)

蛍光免疫測定法

固相化した抗原に対して標的物質を反応させた後、蛍光物質で標識した抗体または抗原を2次反応させ、蛍光強度を測定する方法。

FISH(Fluorescence in situ hybridization)

蛍光 in situ ハイブリダイゼーション

蛍光色素で標識したプローブを用いて標的DNAとハイブリダイゼーションを行い、特定の波長で発色させた蛍光部位を染色体上のシグナルとして蛍光顕微鏡下で検出する方法。
蛍光色素で標識したプローブと標的DNAを直接結合させる直接法と、標識物質で標識したプローブと標的DNAを結合させた後に、標識プローブと蛍光物質を結合させて発色させる間接法がある。

HA(Hemagglutination)

赤血球凝集反応

赤血球の表面抗原と抗体を反応させ、抗原抗体反応による凝集の有無により抗体の存在を判定する方法。

HI(Hemagglutination inhibition)

赤血球凝集抑制反応

ウイルスのもつ赤血球凝集能が、ウイルスに対する抗体により抑制されることを利用した方法。抗原抗体複合体と赤血球を反応させ、凝集抑制の有無によりウイルスに対する抗体の存在を判定する。

検査方法の概略

HPLC(High performance liquid chromatography)

高速液体クロマトグラフィー

移動相に液体を用いる液体クロマトグラフィーで、高密度充填カラムと高圧ポンプを用いて高速かつ高精度に分離する方法。

IC(Immuno-Chromatography)

イムノクロマト法

検体中の抗原または抗体と、金コロイド粒子などで標識させた標識抗体または標識抗原が、メンブレンフィルター上を免疫複合体を形成しながら移動し、メンブレンフィルター上にあらかじめ固定化された抗体または抗原で免疫複合体が補足され、呈色し、目視などで結果判定する検出法。

IRMA(Immuno radio metric assay)

免疫放射定量法

RIAの1つで、固相化した抗体に対して抗原を反応させた後、放射性同位元素(RI)で標識した抗体を抗原に2次反応させる方法。固相化抗体と標識抗体が抗原を挟む形で結合することから、サンドイッチ法とも呼ばれる。

KIMS(Kinetic Interaction of Microparticles in a Solution)

抗原または抗体を結合させたマイクロパーティクルを用いて抗原抗体反応を行い、抗原抗体反応による凝集の濁度を、光を照射させて透過率から測定する方法。

LA(Latex agglutination)

ラテックス凝集反応

抗原または抗体を吸着(結合)させたラテックス粒子(感作ラテックス粒子)を用いて抗原抗体反応を行い、抗原抗体反応による凝集の有無により抗体または抗原の存在を判定する方法。

LA(Latex agglutination immunoassay)

ラテックス凝集比濁法

抗原または抗体を吸着(結合)させたラテックス粒子を用いて抗原抗体反応を行い、抗原抗体反応による凝集の濁度を、光を照射させて透過率または光の散乱強度から測定する方法。

LAMP(Loop-Mediated Isothermal Amplification)

標的遺伝子の配列から6つの領域に対して4種類のプライマーを設定し、鎖置換反応を利用して一定温度で反応させる方法。

LC/MS(Liquid chromatography/mass spectrometry)

液体クロマトグラフィー質量分析法

目的物質を高速かつ高精度に分離するHPLCに、MS(質量分析)を検出器として結合させ、検出選択性・定性機能を更に向上させた方法。

LC/MS/MS(Liquid chromatography tandem mass spectrometry)

液体クロマトグラフィータンデム四重極型質量分析法

液体クロマトグラフで親和性の差を利用して目的とする物質の成分を分解し、質量分析計でさらに質量ごとに分離して特定の質量イオンを解離・フラグメント化させ、それらのイオンを検出する方法。

LPIA(Latex photometric immunoassay)

ラテックス近赤外免疫比濁法

抗原または抗体を結合させたラテックス粒子を用いて抗原抗体反応を行い、抗原抗体反応による凝集の濁度を、近赤外光を照射させて透過率を測定する方法。

MALDI-TOF-MS

レーザー光を吸収するマトリックスと分析物の混合物にレーザー照射し、タンパク質を分解させずにイオン化する方法(MALDI)と、生成されたイオンの質量電荷比によりイオンの飛行時間が異なることを利用して質量分析を行う方法(TOF-MS)を組み合わせた方法。
MALDI: Matrix-Assisted Laser Desorption/Ionization
マトリックス支援レーザー脱離イオン化
TOF-MS: Time-of-Flight Mass Spectrometry
飛行時間型質量分析法

MLPA(Multiplex ligation-dependent probe amplification)

共通PCRプライマー配列を融合させた特異プローブを標識領域にハイブリダイズ後、PCRを行い、その増幅産物の量的変化について、比較的大規模なゲノム欠失もしくは重複を検出する方法。

NT(Neutralization test)

中和反応

ウイルスがウイルスに対する抗体との反応により感染性が失われる(中和)ことを利用した方法。
ウイルスと抗体を反応させた後、ウイルスに感受性のある培養細胞に接種し、細胞変性効果(cytopathogenic effect:CPE)の有無により中和抗体の存在を判定する。

PA(Particle agglutination)

粒子凝集反応

抗原または抗体を吸着(結合)させたゼラチン粒子など(感作粒子)を用いて抗原抗体反応を行い、抗原抗体反応による凝集の有無により抗体または抗原の存在を判定する方法。

PCR(Polymerase chain reaction)

DNAが加熱により2本鎖から1本鎖に解離し、冷却することで2本鎖に戻ることを利用し、1本鎖DNAを鋳型として目的のプライマーを結合させ、DNAポリメラーゼの転写反応によりDNA合成を行うことを繰り返し、目的とするDNA領域を指数関数的に増幅させる方法。

PHA(Passive hemagglutination)

受身赤血球凝集反応

赤血球の表面に抗原を吸着(結合)させた感作赤血球を用いて抗体を反応させ、抗原抗体反応による凝集の有無により抗体の存在を判定する方法。

POT法(PCR-based ORF Typing)

菌株毎に保有状態が異なるORF(Open Reading Frame:遺伝子の読み枠)を選んでおき、それらの保有パターンをマルチプレックスPCRによって検出することで菌株の遺伝子型(POT型)を決定する方法。POT型を比較することで菌株レベルの識別が可能となり、集団感染から得られた分離株は、多くの場合、同一POT型になります。

RIA(Radio immunoassay)

放射性免疫測定法

抗体に対して放射性同位元素(RI)で標識した抗原と検体中の抗原を競合的に抗原抗体反応を行い、抗体と結合した標識抗原(結合型: Bound)と抗体と結合していない標識抗原(遊離型: Free)を分離し、その割合を放射活性から抗原の濃度として測定する方法。
結合型と遊離型の分離方法(B/F分離)として、抗体を固相化しておく固相法、抗原抗体複合体に第2抗体を結合させて沈澱させる2抗体法、抗原抗体複合体を硫酸アンモニウム(硫酸)で沈澱させる硫酸塩析法、抗原抗体複合体を沈澱試薬で沈澱させるPEG法などがある。

RRA(Radio receptor assay)

ラジオレセプターアッセイ

測定原理はRIAと同様で、抗体の代わりにレセプター（受容体）を用いて、その反応性から生物活性を求める方法。

RT-PCR(Reverse transcriptase-polymerase chain reaction)

RNAが増幅対象の場合に、RNAを鋳型として逆転写酵素(reverse transcriptase:RT)により相補的なcDNAを合成してPCRを行う方法。

TIA(Turbidimetric immunoassay)

免疫比濁法

抗原抗体反応による混濁物に光を照射させ、透過率を測定する方法。

TMA(Transcription mediated amplification)

2種類の酵素と2種類のプライマーおよび基質を用いてRNAを増幅する方法。

抽出したRNAから逆転写酵素により2本鎖DNAを合成し、この2本鎖DNAを鋳型としてRNAポリメラーゼの転写反応によりRNAを合成することを繰り返し、目的とするRNA領域を増幅させる。

TRC(Transcription Reverse Transcription Concerted reaction)

インターカレーター性蛍光色素が標識されたDNAプローブと一定温度RNA増幅法を組み合わせて、RNAを1ステップで増幅・リアルタイム検出する方法。

UV法(Ultraviolet absorption spectrophotometry)

紫外部吸光光度分析

測定原理は比色法と同様で、紫外部波長を用いて測定する方法。通常は200～400nmの近紫外部の波長が使われる。

^3H -サイミジン取り込み能(^3H -TdR uptake)

リンパ球が非自己抗原による刺激に反応して芽球化する現象を利用した方法。

リンパ球に刺激物質と ^3H -サイミジンを加えて培養し、DNA合成により ^3H -サイミジンが細胞に取り込まれる量を放射活性として測定する。刺激物質にはPHA、Con-A、薬剤などが用いられる。

検査項目

測定参考文献

蛋白・膠質反応

総蛋白(TP)(血清)	Gornall AG et al : J Biol Chem 177 : 751 ~ 766, 1949.
総蛋白(TP)(髄液・蓄尿)	田中 雅美,他 : 医療と検査機器・試薬 33 (3) : 393 ~ 397, 2010.
アルブミン(Alb)	浅井 孝道 : 検査と技術 7 (10) : 815 ~ 820, 1979.
尿中アルブミン	舩方 栄二 : 検査と技術 33 (7) : 625 ~ 630, 2005.
尿中アルブミン(クレアチニン換算値)	舩方 栄二 : 検査と技術 33 (7) : 625 ~ 630, 2005.
A/G比	浅井 孝道 : 検査と技術 7 (10) : 815 ~ 820, 1979.
蛋白分画	伊藤 喜久 : Medical Technology 39 (3) : 278 ~ 284, 2011.
尿中蛋白分画	伊藤 喜久 : Medical Technology 39 (3) : 278 ~ 284, 2011.
クンケル反応(ZTT)	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 第34版(金原出版) : 458, 2015.

酵素および関連物質

CK(CPK)	日本臨床化学会 : 臨床化学 19 (2) : 184 ~ 208, 1990.
CK-MB(CPK-MB)(免疫阻止-UV法)	Wurzburg U et al : Klinische Wochenschrift 54 : 357 ~ 360, 1976.
CK-MB(CPK-MB)(CLIA)	Plran U et al : Clinical Chemistry 33 (9) : 1517 ~ 1520, 1987.
CK(CPK)アイソザイム	高木 康,他 : 臨床検査 32 (11) : 1309 ~ 1315, 1988.
AST(GOT)	日本臨床化学会 : 臨床化学 18 (4) : 226 ~ 230, 1989.
ALT(GPT)	日本臨床化学会 : 臨床化学 18 (4) : 250 ~ 254, 1989.
LD(LDH)IFCC	Schumann et al : Clin Chem Lab Med 49 (9) : 1439 ~ 1446, 2011.
LD(LDH)アイソザイム	森山 隆則,他 : Medical Technology 25 (1) : 45 ~ 51, 1997.
アルカリフォスファターゼ(ALP)IFCC	Schumann et al : Clin Chem Lab Med 49 (9) : 1439 ~ 1446, 2011.
骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)	倉澤 健太郎,他 : 医学と薬学 55 (2) : 279 ~ 285, 2006.
胎盤型アルカリフォスファターゼ(PLAP)	Shinichiro Watanabe, et al : Pediatr Neurosurg 48 : 141 ~ 145, 2012.
ALPアイソザイム(IFCC)	芝 紀代子 : 目でみる電気泳動法 2 (医歯薬出版) : 55 ~ 71, 1989.
γ-GT(γ-GTP)	日本臨床化学会酵素専門委員会 : 臨床化学 24 (2) : 106 ~ 121, 1995.
アルドラーゼ	三浦 雅一,他 : 臨床検査機器・試薬 12 (5) : 1005 ~ 1009, 1989.
コリンエステラーゼ(ChE)	大澤 進,他 : 臨床化学 24 (3) : 138 ~ 145, 1995.
グアナーゼ	手登根 稔,他 : 検査と技術 13 (10) : 901 ~ 905, 1985.
アデノシンデアミナーゼ(ADA)	佐野 史良,他 : 臨床検査機器・試薬 9 (4) : 715 ~ 720, 1986.
ロイシニアミノペプチダーゼ(LAP)	小林 照明,他 : 臨床検査機器・試薬14 (6) : 929 ~ 935, 1991.
アミラーゼ(AMY)	高笠 信之 : The Chemical Times 201 (3) : 9 ~ 11, 2006.
アミラーゼアイソザイム	星野 忠,他 : 日本臨床検査自動化学会会誌 37 (3) : 293 ~ 297, 2012.
P型アミラーゼ定量	高笠 信之 : The Chemical Times 201 (3) : 9 ~ 11, 2006.
リパーゼ	宇治 義則,他 : 検査と技術 25 (10) : 819 ~ 824, 1997.
トリブシン	植田 進之介,他 : 医学と薬学 77 (12) : 1659 ~ 1668, 2020.
膵ホスホリパーゼA ₂ (膵PLA ₂)	竹田 昌弘,他 : ホルモンと臨床 38 (7) : 729 ~ 734, 1990.
エラスターゼ1	大出 勝也,他 : 肝と膵 23 (6) : 477~480, 2002.
子宮頸管粘液中 顆粒球エラスターゼ	北村 光,他 : 臨床検査機器・試薬 21 (4) : 357 ~ 361, 1998.
骨型酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ(TRACP-5b)	西沢 良記,他 : 医学と薬学 54 (5) : 709 ~ 717, 2005.
リゾチーム	北村 元仕 : 実践臨床化学 増補 : 432 ~ 436, 1982.
アンギオテンシン I 転換酵素(ACE)	Kasahara Y et al : Clinical Chemistry 27 (11) : 1922 ~ 1925, 1981.
ペプシノゲン	三木 一正,他 : 医学と薬学 56 (6) : 889 ~ 896, 2006.
MMP-3 (マトリックスメタプロテイナーゼ-3)	氏家 真二,他 : 医学と薬学 67 (5) : 741 ~ 747, 2012.
胃がんリスク層別化検査(ABC分類)(LA)	乾 正幸,他 : 日本ヘリコバクター学会誌 19 (1) : 33 ~ 42, 2017.

低分子窒素化合物

クレアチニン	安原 正善,他 : 臨床検査機器・試薬 17 (1) : 59 ~ 67, 1994.
シスタチンC	Tanaka M, et al : Clinical Biochemistry 37 : 27 ~ 35, 2004.
尿酸(UA)	金井 泉,他 : 臨床検査法提要 第32版(金原出版) : 503 ~ 507, 2005.
尿素窒素(UN)	森下 芳孝 : Medical Technology 26 (6) : 695 ~ 700, 1998.
アンモニア	奥田 拓道,他 : 最新医学 21 (3) : 622 ~ 627, 1966.
アミノ酸分析(39種類)(LC/MS)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
アミノ酸分析(41種類)	日本生化学会 : 生化学実験講座11 アミノ酸代謝と生体アミン 1版 : 53 ~ 67, 1976.
アミノ酸分析(9種類)(LC/MS)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
アミノ酸分析2種類(チロシン・フェニルアラニン)(LC/MS)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(BTR)	中村 俊之,他 : 臨床病理 37 (8) : 911 ~ 917, 1989.
γ-アミノ酪酸(GABA)	Fujiwara M et al : Analytical Biochemistry 166 : 72 ~ 78, 1987.
ハイドロキシプロリン-総	鈴木 隆夫,他 : 日本臨床化学会年会記録 28 : 118, 1988.
血中総ホモシステイン	Christian Hellmuth, et al : Journal of Chromatography B, 879 : 83 ~ 89, 2011.

糖質および関連物質

グルコース	日本臨床化学会試薬専門委員会 : 臨床化学 20 (4) : 247 ~ 254, 1991.
ヘモグロビンA1c(HbA1c)(NGSP)	水松 良光,他 : 日本臨床検査自動化学会会誌 41 (2) : 215 ~ 220, 2016.
グリコアルブミン	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 52 (3) : 403 ~ 412, 2004.

検査項目	測定参考文献
ヒアルロン酸	島村 朗,他:医学と薬学 44 (6):1141~1146,2000.
1,5-アンヒドロ-D- グルシトール(1,5AG)	遠藤 輝夫,他:医療と検査機器・試薬 26 (1):45~50,2003.
糖代謝解析	張 春花,他:金医大誌 21:399~410,1996.
シアル酸	水田 亘,他:臨床病理 特(54):128~134,1983.
有機酸	
乳酸	浅沼 和子,他:生物試料分析 8 (3):16~24,1985.
ビルビン酸	浅沼 和子,他:生物試料分析 8 (3):16~24,1985.
尿中シュウ酸	小川 由英,他:腎と透析 臨増:151~157,1997.
血中ケトン体分画	西ヶ谷 晴美,他:医学検査 45 (3):353,1996.
アセトン定量	深堀 すみ江,他:労働科学 59 (12):555~562,1983.
有機酸スクリーニング検査	河野 芳功,他:日本小児科学会雑誌 89 (10):2327~2334,1985.
脂質および関連物質	
中性脂肪(TG)	Tamaoku K et al:Chem Pharm Bull 30 (7):2492~2497,1982.
リン脂質	Takayama M et al:Clinica Chimica Acta 79:93~98,1977.
遊離脂肪酸(NEFA)	Sugo S, et al: Clinical Chemistry 36 (1):163,1990.
総コレステロール(T-Cho)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第34版(金原出版):512,2015.
エステル型コレステロール(Echo)	Richmond W: Clinical Chemistry 19 (12):1350~1356,1973.
遊離コレステロール(F-Cho)	Richmond W: Clinical Chemistry 19 (12):1350~1356,1973.
コレステロールエステル比	Richmond W: Clinical Chemistry 19 (12):1350~1356,1973.
HDL-コレステロール	田口 隆由,他:臨床検査機器・試薬 24 (1):35~41,2001.
HDL _{2,3} コレステロール	Bronzert TJ et al: Clinical Chemistry 23 (11):2089~2098,1977.
LDL-コレステロール	菅野 剛史,他:医学と薬学 37 (3):635~644,1997.
レムナント様リポ蛋白コレステロール(RLP-C)	大石 千早,他:日本臨床検査自動化学会会誌 35 (1):83~87,2010.
sd LDL-コレステロール	伊藤 康樹,他:日本臨床検査自動化学会会誌 37 (1):10~16,2012.
酸化LDL(MDA-LDL)	小谷 一夫:酸化ストレスマーカー 学術出版センター:243~246,2005.
sd LDL-C(健診)	伊藤 康樹,他:日本臨床検査自動化学会会誌 37 (1):10~16,2012.
脂肪酸分画(24成分)	小沢 昭夫,他:分析化学 31:87~91,1982.
脂肪酸分画(4成分)	小沢 昭夫,他:分析化学 31:87~91,1982.
極長鎖脂肪酸	小池 亮子:小児科診療 53 (増):394~397,1990.
総胆汁酸	今野 稔:臨床検査機器・試薬 16 (3):472~479,1993.
β -リポ蛋白	金井 正光,他:臨床検査法提要 第32版(金原出版):548,2005.
リポ蛋白分画(アガロースゲル電気泳動法)	芝 紀代子:目でみる電気泳動法2:91~99,1989.
コレステロール分画	櫻林 郁之介,他:HDL-コレステロール基礎と臨床(株)テクノ:207~220,1980.
リポ蛋白(a)	岡野 芳幸,他:日本臨床検査自動化学会会誌 21 (5):705~709,1996.
リポ蛋白リパーゼ(LPL)	Kobayashi J et al: Clinica Chimica Acta 216:113~123,1993.
アポリポ蛋白 A-I	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会会誌 12 (4):334,1987.
アポリポ蛋白 A-II	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会会誌 12 (4):334,1987.
アポリポ蛋白 B	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会会誌 12 (4):334,1987.
アポリポ蛋白 C-II	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会会誌 12 (4):334,1987.
アポリポ蛋白 C-III	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会会誌 12 (4):334,1987.
アポリポ蛋白 E	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会会誌 12 (4):334,1987.
アポリポ蛋白Eフェノタイプ	片岡 伸久朗,他:臨床検査 37 (12):1267~1271,1993.
肺サーファクタント プロテインA(SP-A)	大木 卓,他:医学と薬学 71 (1):161~166,2014.
肺サーファクタント プロテインD(SP-D)	土居 耕介,他:医学と薬学 78 (3):261~267,2021.
ビタミンおよび関連物質	
β -カロチン	加美山 茂利,他:臨床検査 31 (3):268~274,1987.
ビタミンA	須原 聡,他:臨床検査 36 (3):235~239,1992.
ビタミンB ₁	宮川 秀則,他:生物試料分析 36 (4):327~330,2013.
ビタミンB ₂	大石 誠子:ビタミンハンドブック3 ビタミン分析法(化学同人):71~80,1989.
ビタミンB ₆	吉田 継親,他:薬学雑誌 98 (10):1319~1326,1978.
ビタミンB ₁₂	中森 誠,他:医療と検査機器・試薬 27 (3):215~221,2004.
カルニチン分画	伊丹 儀友,他:臨床検査58 (5):651~658,2014.
ビタミンC(アスコルビン酸)	Lykkesfeldt J et al: Analytical Biochemistry 229:329~335,1995.
25OHビタミンD(骨粗鬆症)	小島 哲:臨床化学 48 (3):239~244,2019.
25ヒドロキシビタミンD(くる病・骨軟化症)	小島 哲:臨床化学 48 (3):239~244,2019.
1,25-(OH) ₂ ビタミンD	Fraser WD et al: Ann Clin Biochem 34:632~637,1997.
ビタミンE	阿部 皓一,他:栄養と食糧 28 (5):277~280,1975.
ビタミンE分画	阿部 皓一,他:ビタミン 49 (7):259~263,1975.
ビタミンK分画	langenbergh JP et al: Journal of Chromatography 305:61~72,1984.
葉酸	西村 和子,他:生物試料分析 35 (4):299~308,2012.
ニコチン酸(ナイアシン)	宮沢 滋:ビタミン 56 (9・10):487~499,1982.

検査項目	測定参考文献
電解質・血液ガス	
Na(ナトリウム)	桑 克彦：臨床検査 34 (11)：1353～1358, 1990.
K(カリウム)	桑 克彦：臨床検査 34 (11)：1353～1358,1990.と高橋 勝幸：検査と技術20 (6)：106～110, 1992.
Cl(クロール)	関口 光夫：検査と技術 17 (9)：1167～1172,1989.と桑 克彦：臨床検査 34 (11)：1353～1358, 1990.
Mg(マグネシウム)	北村 元仕：実践臨床化学 1 版(医歯薬出版)：166～171, 1974.
Ca(カルシウム)	根占 哲也：都臨技会誌 34 (5)：270～281, 2006.
イオン化カルシウム	桑 克彦：検査と技術 19 (2)：119～124, 1991.
P(無機リン)	Drewes PA：Clinica Chimica Acta 39：81～88, 1972.
浸透圧	鈴木 明,他：検査と技術 6 (9)：759～762, 1978.
生体微量元素	
鉄(Fe)(血清)	荒明 洋,他：臨床検査機器・試薬 6 (2)：359～366, 1983.
鉄(Fe)(尿)	溝口 秀昭：臨床医 8 (10)：1624～1626, 1982.
総鉄結合能(TIBC)	荒明 洋,他：臨床検査機器・試薬 6 (2)：359～366, 1983.
不飽和鉄結合能(UIBC)	荒明 洋,他：臨床検査機器・試薬 6 (2)：359～366, 1983.
Cu(銅)(血清)	Abe A et al：Clinical Chemistry 35 (4)：552～554, 1989.
Cu(銅)(尿)	Ichida T et al：Clinica Chimica Acta 24：299～303, 1969.
Zn(亜鉛)(血清)	井上 哲,他：医療と検査機器・試薬 41 (3)：283～287, 2018.
Zn(亜鉛)(尿)	Meret S et al：Clinical Chemistry 17 (5)：369～373, 1971.
生体色素関連物質	
総ビリルビン(T-Bil)	徳田 邦明,他：臨床化学 22 (2)：116～122, 1993.
ビリルビン(直接, 間接)	徳田 邦明,他：臨床化学 22 (2)：116～122, 1993.
コプロボルフィリン 定性	近藤 雅雄：日本臨牀 53 (6)：1377～1382, 1995.
コプロボルフィリン(尿)	近藤 雅雄：日本臨牀 53 (6)：1377～1382, 1995.
コプロボルフィリン(血液)	Salmi M et al：Clinical Chemistry 26 (13)：1832～1835, 1980.
ウロボルフィリン(尿)	近藤 雅雄：日本臨牀 53 (6)：1377～1382, 1995.
ウロボルフィリン(血液)	Salmi M et al：Clinical Chemistry 26 (13)：1832～1835, 1980.
プロトボルフィリン	Salmi M et al：Clinical Chemistry 26 (13)：1832～1835, 1980.
δ -アミノレブリン酸(δ ALA)	園藤 陽子,他：産業医学 35：126～127, 1993.
毒物・産業医学的代謝物質	
尿中総三塩化物 トリクロロエチレン	城山 康,他：松仁会医誌 25 (2)：225～231, 1986.
尿中総三塩化物 1・1・1-トリクロロエタン	城山 康,他：松仁会医誌 25 (2)：225～231, 1986.
尿中総三塩化物 テトラクロロエチレン	城山 康,他：松仁会医誌 25 (2)：225～231, 1986.
尿中トリクロロ酢酸 トリクロロエチレン	城山 康,他：松仁会医誌 25 (2)：225～231, 1986.
尿中トリクロロ酢酸 1・1・1-トリクロロエタン	城山 康,他：松仁会医誌 25 (2)：225～231, 1986.
尿中トリクロロ酢酸 テトラクロロエチレン	城山 康,他：松仁会医誌 25 (2)：225～231, 1986.
尿中馬尿酸	岸浪 菊江子,他：臨床化学 17 (3)：128～135, 1988.
尿中メチル馬尿酸	岸浪 菊江子,他：臨床化学 17 (3)：128～135, 1988.
尿中スチレン代謝物	岸浪 菊江子,他：臨床化学 17 (3)：128～135, 1988.
尿中マンデル酸エチルベンゼン	岸浪 菊江子,他：臨床化学 17 (3)：128～135, 1988.
尿中N-メチルホルムアミド	Mraz J et al：Journal of Chromatography 414：399～404, 1987.
尿中2,5-ヘキササンジオン	Iwata M et al：Int Arch Occup Environ Health 51：253～260, 1983.
アルミニウム(Al)	Oster O：Clinica Chimica Acta 114：53～60, 1981.
クロム	松岡 澄：産業医学13 (6)：525～537,1971.と田中 俊行,他：医学と生物学101 (5)：277～281, 1980.
カドミウム	Lagesson V et al：Clinical Chemistry 25 (11)：1948～1953, 1979.
マンガン	Tsalev DL et al：Bulletin of Environmental Contamination & Toxicology 17 (6)：660～666, 1977.
生化学(その他)	
ネオブテリン	Hausen A et al：Journal of Chromatography 227：61～70, 1982.
エタノール	馬嶋 正隆,他：北里医学 14：424～430, 1984.
イヌリン定量	木全 伸介,他：医療と検査機器・試薬 28 (2)：143～149, 2005.
結石分析(成分比率)	神 ちひろ,他：分析化学 53 (7)：735～741, 2004.
抗菌薬	
アミカシン	木村 英樹,他：日本臨床検査自動化学会会誌 33 (5)：860～864, 2008.
トブラマイシン	木村 英樹,他：日本臨床検査自動化学会会誌 33 (5)：860～864, 2008.
ゲンタマイシン	石橋 みどり,他：医学と薬学 42 (6)：1061～1074, 1999.
バンコマイシン	石澤 春美,他：栃木県臨床衛生検査技師会雑誌 8 (2)：103～107, 2013.
テイコブラニン	諸岡 美里,他：日本臨床検査自動化学会会誌 38 (1)：79～82, 2013.
抗てんかん薬	
カルバマゼピン	石橋 みどり,他：医学と薬学 42 (6)：1061～1074, 1999.

検査項目	測定参考文献
ジアゼパム	Brodie RR et al : Journal of Chromatography 150 : 361 ~ 366, 1978.
エトスクシミド	宮本 侃治 : 臨床化学 6 (3) : 202 ~ 211, 1978.
フェノバルビタール	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
フェニトイン	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
ブリミドン	宮本 侃治 : 臨床化学 6 (3) : 202 ~ 211, 1978.
バルプロ酸	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
トリメタジオン	斉藤 正行,他 : ドラッグレベルモニタリング 治療への臨床化学的アプローチ : 100 ~ 110, 1982.
ゾニサミド	安田 真依,他 : 医療と検査機器・試薬 38 (2) : 205 ~ 210, 2015.
トピラマート	Matar, K M : Clinica Chimica Acta 411 : 729 ~ 734, 2010.
レベチラセタム	Mendu, D R, Soldin S J : Clinical Biochemistry 43 : 485 ~ 489, 2010.
スチリベントール	Deeb S,et al : J Anal Toxicol 38 (8) : 485 ~ 494, 2014.
ルフィナミド	Deeb S,et al : J Anal Toxicol 38 (8) : 485 ~ 494, 2014.
ペランパネル	Mano Y, et al : J Pharm Biomed Anal 107 : 56 ~ 62, 2015.
ラコサミド	Drew Payto, et al : Bioanalysis 6 (23) : 3161 ~ 3168, 2014.
アセタゾラミド	Sadee W et al : ドラッグレベルモニタリング : 90 ~ 91, 1982.
免疫抑制薬	
シクロスポリン	古屋 実,他 : 医学と薬学 70 (5・6) : 961 ~ 973, 2013.
タクロリムス	古屋 実,他 : 医学と薬学 70 (5・6) : 961 ~ 973, 2013.
ミコフェノール酸	細坪 秀夫,他 : 今日の移植 14 (4) : 485 ~ 491, 2001.
循環器用薬	
ジゴキシン	水内 由利,他 : 医学と薬学 35 (4) : 847 ~ 851, 1996.
ジノピラミド	扇谷 茂樹,他 : 臨床検査機器・試薬 6 (2) : 520 ~ 523, 1983.
リドカイン	宮本 侃治 : 臨床化学 6 (3) : 202 ~ 211, 1978.
プロカインアミド	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
プロプラノロール	Ahnoff M et al : Journal of Chromatography 340 : 73 ~ 138, 1985.
ビルメノール	市川 林,他 : 臨床医薬 11 (4) : 903 ~ 906, 1995.
キニジン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
精神神経用薬	
ハロペリドール	白井 晶子,他 : 医学と薬学 49 (6) : 1011 ~ 1017, 2003.
フロムペリドール	白井 晶子,他 : 医学と薬学 50 (1) : 101 ~ 107, 2003.
リチウム	細羽 恵美子,他 : 臨床化学 46 (1) : 39 ~ 46, 2017.
薬物(その他)	
アセトアミノフェン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
テオフィリン	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
サリチル酸	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
ヘパリン	Teien A et al : Thrombosis Reseach 8 (3) : 413 ~ 416, 1976.
メトトレキサート	中原 佑香里,他 : 医学と薬学 72 (4) : 761 ~ 767, 2015.
イマチニブ	Bakhtiar R, et al : Journal of Chromatography B 768 : 325 ~ 340, 2002.
血液一般・形態検査	
血液一般検査	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 第32版 (金原出版) : 265 ~ 295, 2005.
好酸球数	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 第32版 (金原出版) : 265 ~ 295, 2005.
網赤血球数(RET)	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 第32版 (金原出版) : 265 ~ 295, 2005.
末梢血液像	西 国広,他 : 血液形態観察のすすめ方 第2版 : 1 ~ 288, 1995.
鼻汁中好酸球	巽 典之,他 : 自動血液検査品質保証論 : 26 ~ 27, 2005.
奥田 稔 : 臨床検査 29 (3) : 267 ~ 272, 1985.	
凝固・線溶関連検査	
活性化部分 トロンボプラスチン時間(APTT)	日野 志郎 : 臨床検査講座15 血液学 : 244 ~ 250, 1984.
プロトロンビン時間(PT)	高宮 脩 : 臨床検査機器・試薬 17 (6) : 1079 ~ 1085, 1994.
フィブリノーゲン(FIB)	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 第33版 (金原出版) : 358 ~ 360, 2010.
可溶性フィブリンモノマー複合体(SFMC)	八戸 雅孝,他 : 臨床病理 60 (12)別冊 : 1139 ~ 1144, 2012.
フィブリンモノマー複合体定量	内藤 澄悦,他 : 医学と薬学 48 (4) : 595 ~ 599, 2002.
FDP定量(血漿)	長野 美恵子,他 : 医療と検査機器・試薬 27 (1) : 23 ~ 29, 2004.
FDP定量(尿)	堀内 伸純,他 : 臨床検査機器・試薬 14 (2) : 267 ~ 270, 1991.
Dダイマー	大石 彩,他 : Sysmex Journal Web 17 (4) : 1 ~ 10, 2016.
プロトロンビンフラグメントF1+2	Pelzer H, et al : Thrombosis and Haemostasis 65 (2) : 153 ~ 159, 1991.
アンチトロンビンⅢ(ATⅢ)	Scully MF et al : Clinica Chimica Acta 79 : 595 ~ 602, 1977.
トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体(TAT)	木村 真波,他 : 医療と検査機器・試薬 33 (4) : 525 ~ 533, 2010.
プラスミノーゲン	Friberger P et al : Haemostasis 7 : 138 ~ 145, 1978.

参考文献一覧

検査項目

測定参考文献

アンチプラスミン(α_2 プラスミンインヒター)	Friberger P et al : Haemostasis 7 : 138 ~ 145, 1978.
α_2 プラスミンインヒター・プラスミン複合体(PICテスト)	徐 吉夫,他: 臨床検査機器・試薬 16 (6) : 1107 ~ 1113, 1993.
トータルPAI-1 (tPA・PAI-1複合体)	曾我部 万紀,他: 医学のあゆみ 173 (12) : 997 ~ 998, 1995.
凝固因子活性検査 第Ⅷ因子(F8)(合成基質法)	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第34版(金原出版) : 407 ~ 410, 2015.
凝固因子活性検査 第Ⅸ因子(F9)(合成基質法)	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第34版(金原出版) : 407 ~ 410, 2015.
凝固因子活性検査 第Ⅱ因子(F2)	安達 眞二 : Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅴ因子(F5)	安達 眞二 : Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅶ因子(F7)	安達 眞二 : Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅷ因子(F8)	安達 眞二 : Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅸ因子(F9)	安達 眞二 : Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅹ因子(F10)	安達 眞二 : Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅺ因子(F11)	安達 眞二 : Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅻ因子(F12)	安達 眞二 : Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅻ因子(F13)	Fickenscher K et al : Thrombosis and Haemostasis 65 (5) : 535 ~ 540, 1991.
凝固抑制因子検査 第Ⅷ(8)因子	Sirridge MS et al : Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis 3rd : 196 ~ 198, 1983.
凝固抑制因子検査 第Ⅸ(9)因子	Sirridge MS et al : Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis 3rd : 196 ~ 198, 1983.
フォン・ウィルブラント因子活性(リストセチンコファクター)	Macfarlane DE et al : Thrombos Diathes Haemorth 34 : 306 ~ 308, 1975.
フォン・ウィルブラント因子マルチマー解析	Susan Oliver et al : international journal of laboratory hematology 41 (6) : 762~771, 2019.
ADAMTS13-活性	伊藤 晋,他: 日本輸血細胞治療学会誌 56 (1) : 27 ~ 35, 2010.
ADAMTS13 インヒター	伊藤 晋,他: 日本輸血細胞治療学会誌 56 (1) : 27 ~ 35, 2010.
β -トロンボグロブリン(β -TG)	高橋 芳右,他: 血液と脈管 18 (4) : 326 ~ 335, 1987.
血小板第4因子(PF-4)	高橋 芳右,他: 血液と脈管 18 (4) : 326 ~ 335, 1987.
プロテインC(抗原量)	筒井 聡明,他: 検査と技術 12 (7) : 581 ~ 587, 1984.
プロテインC活性	藤岡 貴 : 医学と薬学 73 (5) : 621 ~ 626, 2016.
プロテインS(抗原量)	安藤 秀実,他: 医療と検査機器・試薬 41 (5) : 509 ~ 519, 2018.
プロテインS活性	藤岡 貴 : 医学と薬学 73 (5) : 621 ~ 626, 2016.
プロテインS(遊離型抗原量)	安藤 秀実,他: 医療と検査機器・試薬 41 (5) : 509 ~ 519, 2018.
トロンボモジュリン	小野 真弓,他: 日本臨床検査自動化学会会誌 38 (1) : 114 ~ 117, 2013.

視床下部・下垂体ホルモン

成長ホルモン(GH)	小山 沙世,他: 医学と薬学 68 (5) : 899 ~ 910, 2012.
プロラクチン	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
黄体形成ホルモン(LH)	皆方 良介,他: 臨床検査機器・試薬 22 (5) : 429 ~ 438, 1999.
卵巣刺激ホルモン(FSH)	皆方 良介,他: 臨床検査機器・試薬 22 (5) : 429 ~ 438, 1999.
甲状腺刺激ホルモン(TSH)(CLEIA)IFCC	北川 亘,他: 医学と薬学 78 (1) : 59 ~ 70, 2021.
抗利尿ホルモン(AVP)	田中 誠仁,他: 医学と薬学 72 (8) : 1379 ~ 1388, 2015.

甲状腺ホルモンおよび結合蛋白

遊離トリヨードサイロニン(Free T ₃)	矢野 美沙紀,他: 医学と薬学 77 (5) : 793 ~ 804, 2020.
遊離サイロキシニン(Free T ₄)	矢野 美沙紀,他: 医学と薬学 77 (5) : 793 ~ 804, 2020.
サイログロブリン(CLEIA)	北村 由之,他: 医学と薬学 77 (12) : 1683 ~ 1690, 2020.

副甲状腺ホルモン

副甲状腺ホルモン(PTH)-インタクト	猪俣 啓子,他: 医学と薬学 74 (1) : 45 ~ 54, 2017.
副甲状腺ホルモン(Whole PTH)	森山 和重,他: 医学と薬学 70 (4) : 829 ~ 836, 2013.
副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)	福本 誠二,他: ホルモンと臨床 40 (12) : 1309 ~ 1314, 1992.
カルシトニン	北川 亘,他: 医学と薬学 72 (1) : 97 ~ 108, 2015.

副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白

血中11-OHCS	宇田川 美佐子,他: 臨床化学 5 (3) : 321 ~ 325, 1977.
コルチゾール	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
尿中コルチゾール	関口 昌江,他: 医学と薬学 69 (6) : 985 ~ 991, 2013.
デヒドロエピアンドロステロンサルフェート(DHEA-S)	増戸 梨恵,他: 医学と薬学 56 (3) : 443 ~ 448, 2006.
17 α -ヒドロキシprogテストロン(生後4 ヲ以下)	柳瀬 里美,他: 医学と薬学 78 (4) : 461 ~ 466, 2021.
17 α -ヒドロキシprogテストロン(生後5 ヲ以上)	柳瀬 里美,他: 医学と薬学 78 (4) : 461 ~ 466, 2021.

副腎髄質ホルモン

カテコールアミン総	Honda S et al : Analytica Chimica Acta 149 : 297 ~ 303, 1983.
カテコールアミン3分画(血漿)	辻 潮,他: 臨床検査機器・試薬 11 (4) : 635 ~ 641, 1988.
カテコールアミン3分画(尿)	Honda S et al : Analytica Chimica Acta 149 : 297 ~ 303, 1983.
メタネフリン・ノルメタネフリン分画	Clark ZD, et al : Journal of Chromatography B 879 (31) : 3673 ~ 3680, 2011.
ドーパ	守 和子 : 産業医学 17 : 170 ~ 171, 1975.
ドーパミン総	守 和子 : 産業医学 17 : 170 ~ 171, 1975.

検査項目	測定参考文献
HVA	Gironi A et al : Clinical Chemistry 34 (12) : 2504 ~ 2506, 1988.
VMA	Gironi A et al : Clinical Chemistry 34 (12) : 2504 ~ 2506, 1988.
セロトニン(血液)	Anderson GM et al : Gastroenterology 88 : 86 ~ 89, 1985.
セロトニン(血漿)	Nebinger P et al : Journal of Chromatography 427 : 326 ~ 330, 1988.
5-HIAA(血漿)	小島 司,他 : 臨床化学 21 (2) : 119 ~ 126, 1992.
5-HIAA(尿)	Mailman RB et al : Clinical Chemistry 31 (11) : 1849 ~ 1854, 1985.
性腺・胎盤ホルモンおよび結合蛋白	
エストラジオール(E ₂)	古屋 実,他 : 医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
プロゲステロン	古屋 実,他 : 医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
プレグナジオール	平井 利生,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 9 (2) : 564 ~ 567, 1984.
プレグナントリオール	平井 利生,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 9 (2) : 564 ~ 567, 1984.
テストステロン	古屋 実,他 : 医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
絨毛性ゴナドトロピン(HCG)	Cole LA, et al : Clinical Chemistry 47 (2) : 308 ~ 315, 2001.
遊離HCG-β (HCG-βサブユニット)	Cole LA : Clinical Chemistry 43 (12) : 2233 ~ 2243, 1997.
抗ミュー管ホルモン(AMH)(CLEIA)	浅田 義正,他 : 医学と薬学 76 (10) : 1527 ~ 1532, 2019.
膵・消化管ホルモン	
インスリン	唐澤 美佳,他 : 医療と検査機器・試薬 29 (5) : 479 ~ 484, 2006.
C-ペプチド(CPR)	唐澤 美佳,他 : 医療と検査機器・試薬 29 (5) : 485 ~ 491, 2006.
膵グルカゴン	稲垣 貴之,他 : 医学と薬学 72 (3) : 491 ~ 497, 2015.
ガストリン	花石 智子,他 : 医学と薬学 80 (5) : 513 ~ 520, 2023.
内分泌学的(その他)	
アルドステロン(CLEIA)	佐藤 文俊,他 : 医学と薬学 76 (12) : 1819 ~ 1826, 2019.
レニン濃度(ARC)(CLEIA)	佐藤 文俊,他 : 医学と薬学 76 (12) : 1827 ~ 1832, 2019.
レニン活性(PRA)(EIA)	宇津 貴央,他 : 医学と薬学 73 (3) : 311 ~ 321, 2016.
サイクリックAMP	孫 孝義,他 : 日本内分泌学会雑誌 61 (9) : 912 ~ 923, 1985.
ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)	浜 典男,他 : 基礎と臨床 25 (13) : 4205 ~ 4212, 1991.
ヒト脳性ナトリウム 利尿ペプチド(BNP)	伊藤 洋子,他 : 医学と薬学 64 (6) : 931 ~ 939, 2010.
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント (NT-proBNP)	古屋 実,他 : 医学と薬学 74 (5) : 607 ~ 617, 2017.
エリスロポエチン	増田 詩織,他 : 医学と薬学 67 (2) : 297 ~ 306, 2012.
オステオカルシン	吉村 典子,他 : Osteoporosis Japan 13 (3) : 759 ~ 765, 2005.
低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)	西村 順,他 : 医学と薬学 57 (4) : 523 ~ 535, 2007.
肝細胞増殖因子(HGF)	二井谷 好行,他 : 臨床検査 35 (13) : 1360 ~ 1364, 1991.
FGF23(CLEIA)	和泉 裕一,他 : 医療と検査機器・試薬 42 (3) : 219 ~ 224, 2019.
アディポネクチン(LA)	Nishimura A. et al : Clinica Chimica Acta 371 : 163 ~ 168, 2006.
レプチン(ELISA)	小川 佳宏,他 : 医学と薬学 77 (5) : 1 ~ 8, 2020.
sFit-1/PIGF比	Stefan Verlohren, et al : American Journal of Obstetrics Gynecology 202 (2) : 161.e1 ~ 161.e11, 2009.
腫瘍関連抗原	
癌胎児性抗原(CEA)	鈴木 尚子,他 : 医学と薬学 56 (6) : 897 ~ 907, 2006.
α-フェトプロテイン定量	鈴木 尚子,他 : 医学と薬学 56 (6) : 897 ~ 907, 2006.
塩基性フェトプロテイン(BFP)	設楽 光弘,他 : 臨床病理 36 (9) : 1039 ~ 1044, 1988.
CA125	黒田 雅顕 : 医療と検査機器・試薬 29 (6) : 589 ~ 596, 2006.
CA15-3	黒田 雅顕 : 医療と検査機器・試薬 29 (6) : 589 ~ 596, 2006.
BCA225	小林 美耶子,他 : 医学と薬学 72 (7) : 1249 ~ 1259, 2015.
CA19-9	鈴木 尚子,他 : 医学と薬学 56 (6) : 897 ~ 907, 2006.
CA72-4	矢田 紗世,他 : 医学と薬学 74 (7) : 831 ~ 840, 2017.
シアリルTn抗原(STN)	井村 裕夫,他 : 癌と化学療法 16 (9) : 3213 ~ 3219, 1989.
CA54/61	野澤 志朗,他 : 癌と化学療法 19 (12) : 2085 ~ 2093, 1992.
DUPAN-2	櫻林 郁之介,他 : 臨床病理 34 (6) : 705 ~ 710, 1986.
APOA2アイソフォーム	十亀 麻子,他 : 医学と薬学 80 (11) : 1089 ~ 1096, 2023.
シアリルLe ^x -I抗原(SLX)	井村 裕夫,他 : 癌と化学療法 14 (5) : 1315 ~ 1321, 1987.
シアリルLe ^x 抗原(CSLEX)	三嶋 芳樹,他 : 医学と薬学 29 (5) : 1193 ~ 1200, 1993.
NCC-ST-439	吉岡 久,他 : 臨床病理 35 (11) : 1233 ~ 1238, 1987.
SPan-1	梅山 馨,他 : 脾臓 3 (4) : 528 ~ 539, 1988.
SCC	林 圭織,他 : 医学と薬学 76 (12) : 1809 ~ 1818, 2019.
前立腺特異抗原(PSA)	細羽 恵美子,他 : 医学と薬学 76 (11) : 1635 ~ 1641, 2019.
γ-セミノプロテイン(γ-Sm)	佐藤 達郎,他 : 医学と薬学 43 (1) : 97 ~ 106, 2000.
シフラ(CYFRA)(サイトケラチン19フラグメント)	黒田 雅顕 : 医療と検査機器・試薬 29 (6) : 597 ~ 602, 2006.
5-S-システニルドーバ(5-S-CD)	Wakamatsu K et al : Clinical Chemistry 40 (3) : 495 ~ 496, 1994.
NSE(神経特異エノラーゼ)	矢田 紗世,他 : 医学と薬学 74 (7) : 831 ~ 840, 2017.
PIVKA-II	古谷 桃子,他 : 医学検査 68 (1) : 56 ~ 60, 2019.

検査項目

測定参考文献

ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)	山本 典江,他：医療と検査機器・試薬 32 (2)：263～267, 2009.
血清抗p53抗体	橋本 礼輔,他：医学と薬学 75 (8)：955～964, 2018.
血清 HER2タンパク	LuftnerD, et al：The International Journal of Biological Markers 19 (3)：175～182, 2004.
可溶性メソテリン関連ペプチド	中町 衛,他：医学と薬学 65 (2)：261～267, 2011.

ウイルス感染症検査

HBVゲノタイプ	田中 靖人,他：臨床病理 57 (1)：42～47, 2009.
HBV DNA定量(IU)	菅原 昌章,他：医学と薬学 73 (10)：1329～1339, 2016.
HBs抗原(HQ)	戸来 孝,他：医学と薬学 72 (9)：1569～1577, 2015.
HBs抗体(CLEIA)	大根 久美子,他：臨床病理 63 (8)：907～912, 2015.
HBs抗体	蒲池 正次,他：臨床検査機器・試薬 17 (6)：1173～1180, 1994.
B型肝炎ウイルスコア関連抗原(HBcrAg)	Inoue T, et al：J Hepatol 75 (2)：302～310, 2021.
HBc抗体(IgG)	八橋 弘,他：医学と薬学 66 (6)：1075～1081, 2011.
IgM-HBc抗体	熊谷 保之：日本臨床検査自動化学会会誌 25 (1)：70～74, 2000.
HBc抗体	森藤 隆夫,他：臨床病理 特(67)：101～108, 1986.
HA抗体	矢野 公士,他：医学と薬学 58 (1)：151～161, 2007.
IgM-HA抗体	矢野 公士,他：医学と薬学 58 (1)：151～161, 2007.
HCV群別(グルーピング)	長谷川 瞳,他：医学と薬学70 (3)：633～641, 2013.
HCV RNAコアジェノタイプ	Ohno T et al：Journal of Clinical Microbiology 35 (1)：201～207, 1997.
HCV RNA定量	菅原 昌章,他：医学と薬学 73 (10)：1329～1339, 2016.
HCV抗原(コア蛋白質)	田原 和子,他：日本臨床検査自動化学会会誌 36 (2)：267～274, 2011.
IgA-HEV抗体(定性)	飯野 四郎,他：医学と薬学 53 (4)：461～469, 2005.
ヒトパルボウイルスB19 IgG	要藤 裕孝,他：感染症学雑誌 69 (10)：1135～1140, 1995.
ヒトパルボウイルスB19 IgM	要藤 裕孝,他：感染症学雑誌 69 (10)：1135～1140, 1995.
ヒトパルボウイルスB19DNA 定性	Sevall JS：Molecular and Cellular Probes 4：237～246, 1990.
ヒトパピローマウイルスDNA(16型、18型、その他ハイリスクグループ)	三浦 俊昭,他：医学と薬学 69 (1)：157～162, 2013.
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)	Clavel C et al：Diagnostic Molecular Pathology 9 (3)：145～150, 2000.
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)(LBC)	Ko. V et al：Cancer Cytopathology 108 (6)：468～474, 2006.
ヒトパピローマウイルス(HPV)ジェノタイプ判定	尾崎 聡,他：臨床病理 60 (7)：621～626, 2012.
ヒトパピローマウイルスDNA(ローリスクグループ)	Clavel C et al：Diagnostic Molecular Pathology 9 (3)：145～150, 2000.
アデノウイルス	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
アデノウイルスDNA 定性	Hierholzer JC et al：Journal of Clinical Microbiology 31 (7)：1886～1891, 1993.
アデノウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
アデノウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
アデノウイルス 3型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
アデノウイルス 4型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
アデノウイルス 5型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
アデノウイルス 6型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
アデノウイルス 7型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
アデノウイルス 11型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
アデノウイルス 19型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
アデノウイルス 21型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
アデノウイルス 37型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
単純ヘルペスウイルス特異抗原	川名 尚,他：感染症学雑誌 61 (9)：1030～1037, 1987.
単純ヘルペスウイルス	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
単純ヘルペスウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
単純ヘルペスウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
単純ヘルペスウイルス DNA 定性	Cao M et al：J Invest Dermatol 82：391～392, 1989.
単純ヘルペスウイルス DNA定量	Stevens J：実験医学 15 (7S)：728～733, 1997.
単純ヘルペスウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
単純ヘルペスウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG	林 伸英,他：生物試料分析 36 (3)：229～234, 2013.
水痘・帯状疱疹ウイルス抗原	新村 真人,他：感染症学雑誌 64 (2)：195～201, 1990.
水痘・帯状疱疹ウイルス	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
水痘・帯状疱疹ウイルス IgG	吉田 晃,他：臨床とウイルス 13 (4)：490～496, 1985.
水痘・帯状疱疹ウイルス IgM	平野 勝,他：医学と薬学 42 (4)：641～645, 1999.
水痘・帯状疱疹ウイルスDNA 定性	本藤 良,他：日本臨牀 50 (特別号)：160～165, 1992.
水痘・帯状疱疹ウイルスDNA定量	Kimura H et al：The Journal of Infectious Diseases 178：310～317, 1998.
サイトメガロウイルス pp65抗原(C7-HRP)	榎藤 久司,他：臨床血液 34 (11)：1438～1444, 1993.
サイトメガロウイルス	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
サイトメガロウイルス IgG	熊田 洋高,他：医学と薬学 72 (6)：1087～1094, 2015.
サイトメガロウイルス IgM	熊田 洋高,他：医学と薬学 72 (6)：1087～1094, 2015.
サイトメガロウイルス DNA 定性	Olive DM et al：Journal of Clinical Microbiology 27 (6)：1238～1242, 1989.
サイトメガロウイルス核酸検出(新生児尿)	Mitani Y, et al：Nat Methods 4 (3)：257～262, 2007.

検査項目	測定参考文献
サイトメガロウイルス核酸定量	森 沙耶香,他：医学と薬学 77 (8)：1181～1188, 2020.
EBウイルスDNA 定量	Kimura H, et al：J Clin Microbiol 37 (1)：132～136, 1999.
EBウイルスDNA(クロナリティ)	Raab-Traub N et al：Cell 47：883～889, 1986.
EBウイルス 抗VCA IgG[EIA]	脇口 宏,他：医学と薬学 58 (2)：363～369, 2007.
EBウイルス 抗VCA IgG[FA]	日沼 頼夫,他：臨床病理 特(35)：179～189, 1978.
EBウイルス 抗VCA IgM[EIA]	脇口 宏,他：医学と薬学 58 (2)：363～369, 2007.
EBウイルス 抗VCA IgM[FA]	日沼 頼夫,他：臨床病理 特(35)：179～189, 1978.
EBウイルス 抗VCA IgA	日沼 頼夫,他：臨床病理 特(35)：179～189, 1978.
EBウイルス 抗EA IgG	脇口 宏,他：医学と薬学 58 (2)：363～369, 2007.
EBウイルス 抗EA-DR IgG	日沼 頼夫,他：臨床病理 特(35)：179～189, 1978.
EBウイルス 抗EA-DR IgA	日沼 頼夫,他：臨床病理 特(35)：179～189, 1978.
EBウイルス 抗EBNA	日沼 頼夫,他：臨床病理 特(35)：179～189, 1978.
EBウイルス 抗EBNA IgG	脇口 宏,他：医学と薬学 58 (2)：363～369, 2007.
ヒトヘルペスウイルス6型DNA 定性	近藤 一博,他：蛋白質核酸酵素 35 (17)：3041～3047, 1990.
ヒトヘルペスウイルス6型DNA定量	Tanaka N et al：Bone Marrow Transplantation 26：1193～1197, 2000.
ヒトヘルペスウイルス7型DNA 定性	Yalcin S et al：Archives of Virology 136：183～190, 1994.
エンテロ ウイルス 70型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エンテロ ウイルス 71型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス A群2型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス A群3型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス A群4型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス A群5型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス A群6型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス A群7型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス A群9型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス A群9型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
コクサッキーウイルス A群10型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス A群16型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス B群1型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス B群1型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
コクサッキーウイルス B群2型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス B群2型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
コクサッキーウイルス B群3型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス B群3型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
コクサッキーウイルス B群4型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス B群4型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
コクサッキーウイルス B群5型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス B群5型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
コクサッキーウイルス B群6型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス B群6型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
エコーウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 3型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 4型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 5型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 6型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 7型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 9型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 11型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 12型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 13型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 14型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 16型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 17型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 18型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 19型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 21型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 22型(パレコウイルス1型)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 24型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 25型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 30型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
日本脳炎ウイルス(JaGAr株)	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第2分冊：81～97, 1987.
日本脳炎ウイルス	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
風疹ウイルス	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
風疹ウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.

検査項目	測定参考文献
風疹ウイルス IgM	佐藤 俊則,他：臨床とウイルス 23 (1)：44～47, 1995.
インフルエンザウイルス A型(H1N1)(H3N2)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
インフルエンザウイルス A型	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
インフルエンザウイルス B型[HI]	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
インフルエンザウイルス B型[CF]	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
パラインフルエンザウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
パラインフルエンザウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
パラインフルエンザウイルス 3型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
RSウイルス[CF]	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
RSウイルス[NT]	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
麻疹ウイルス	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
麻疹ウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
麻疹ウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
ムンプスウイルス[HI]	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
ムンプスウイルス[NT]	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
ムンプスウイルス[CF]	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
ムンプスウイルス IgG	尾崎 隆男,他：臨床とウイルス 50 (3)：129～133, 2022.
ムンプスウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
HTLV- I (ATLV) 抗体[CLEIA]	植柳 泰,他：医学と薬学 73 (8)：1031～1035, 2016.
HTLV-1抗体	Zrein M, et al：Clin Diagn Lab Immunol 5 (1)：45～49, 1998.
HTLV-1核酸検出(妊婦) 定性	Miyazato P, et al：Journal of Virology 80 (21)：10683～10691, 2006.
HTLV-1プロウイルスDNA 定性	Miyazato P, et al：Journal of Virology 80 (21)：10683～10691, 2006.
HTLV- I (ATLV) プロウイルスDNA(クロナリティ)	渡辺 俊樹,他：Meidical Immunology 16 (6)：785～791, 1988.
HIV-1RNA定量	目崎 和久,他：医学と薬学 73 (6)：705～709, 2016.
HIV-1/2特異抗体	Kondo M, et al：PLOS ONE 13 (10) e0198924：1～10, 2018.
HIV抗原・抗体	桜庭 尚哉,他：医学と薬学 65 (5)：663～672, 2011.
ノロウイルス抗原	田中 智之：医学と薬学 61 (1)：93～98, 2009.
ノロウイルスRNA定性	Kageyama T, et al：J Clin Microbiol 41 (4)：1548～1557, 2003.
感染症(非ウイルス)関連検査	
クラミジアトラコマトリス IgA	梶原 祥子,他：医学と薬学 37 (3)：711～719, 1997.
クラミジアトラコマトリス IgG	梶原 祥子,他：医学と薬学 37 (3)：711～719, 1997.
クラミジアトラコマトリスDNA	熊本 悦明,他：医学と薬学 66 (6)：1007～1014, 2011.
オーム病クラミドフィラ(クラミジア シッタシ)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：62～75, 1987.
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：62～75, 1987.
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgG	松本 明：第22回日本臨床微生物学会総会ワークショップ1
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgA	松本 明：第22回日本臨床微生物学会総会ワークショップ1
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgM	宮下 修行,他：小児科診療 71 (1)：95～99, 2008
抗ストレプトリジン-O 抗体(ASO)	伊藤 忠一：臨床検査 39 (6)：685～688, 1995.
エンドトキシン定量	土谷 正和,他：日本細菌学雑誌 45 (6)：903～911, 1990.
透析液中エンドトキシン A液	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン B液	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン RO水	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン 調整液	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン その他	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
百日咳抗体[EIA]	岡田 賢司：医学と薬学 65 (4)：531～536, 2011.
抗ヘリコバクターピロリ抗体[LA]	乾 正幸,他：日本ヘリコバクター学会誌 19 (1)：33～42, 2017.
便中ヘリコバクターピロリ抗原	朝日 佳代子,他：医学と薬学 57 (2)：253～260, 2007.
梅毒定性 RPR[LA]	桜庭 尚哉：医学と薬学 63 (1)：103～109, 2010.
梅毒定量 RPR[LA]	桜庭 尚哉：医学と薬学 63 (1)：103～109, 2010.
梅毒定性 TP抗体[LA]	高橋 勝幸,他：医療と検査機器・試薬 33 (1)：89～95, 2010.
梅毒定量 TP抗体[LA]	高橋 勝幸,他：医療と検査機器・試薬 33 (1)：89～95, 2010.
寒冷凝集反応	原島 典子,他：衛生検査 27 (1)：67～71, 1978.
マイコプラズマニューモニエ[CF]	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
マイコプラズマニューモニエ[PA]	大関 トシイ,他：自治医科大学臨床検査技師年報 12：62～64, 1988.
ツツガムシカーブ IgG	山本 正悟：臨床とウイルス 12 (3)：270～274, 1984.
ツツガムシカーブ IgM	山本 正悟：臨床とウイルス 12 (3)：270～274, 1984.
ツツガムシカトー IgG	山本 正悟：臨床とウイルス 12 (3)：270～274, 1984.
ツツガムシカトー IgM	山本 正悟：臨床とウイルス 12 (3)：270～274, 1984.
ツツガムシギリアム IgG	山本 正悟：臨床とウイルス 12 (3)：270～274, 1984.
ツツガムシギリアム IgM	山本 正悟：臨床とウイルス 12 (3)：270～274, 1984.
クリプトコックス・ネオフォルマンس抗原	篠田 孝子,他：真菌と真菌症 30 (3)：211～221, 1989.
カンジダマンナン抗原	新崎 晃弘,他：臨床検査機器・試薬 23 (3)：197～203, 2000.

検査項目

測定参考文献

アスペルギルス抗原	見手倉 久治,他:医学と薬学 42 (1): 207 ~ 212, 1999.
β -D-グルカン	吉田 耕一郎,他:医学と薬学 67 (6): 895 ~ 902, 2012.
トリコスポロン・アサヒ抗体	三宅 修司,他:日本呼吸器学会誌 39 (1): 7 ~ 11, 2001.
トキソプラズマ IgG抗体	亀井 喜世子,他:臨床病理 42 (7): 743 ~ 747, 1994.
トキソプラズマ IgM抗体	亀井 喜世子,他:臨床病理 42 (7): 743 ~ 747, 1994.
結核菌特異的IFN- γ	Meier T, et al: European Journal of Clinical Microbiology & Infectious Diseases24: 529 ~ 536, 2005.
MAC抗体(抗酸菌抗体定性)	Kitada S, et al: AMERICAN JOURNAL OF Respiratory and Critical Care Medicine 177 (1): 793~797, 2008.

自己免疫関連検査

抗核抗体(ANA)	東條 毅:臨床検査 30 (7): 687 ~ 692, 1986.
抗DNA抗体(RIA)	鈴木 王洋,他:臨床免疫 25 (8): 1096 ~ 1102, 1993.
抗ss-DNA IgG抗体	陣内 記代,他:日本臨床検査自動化学会誌 26 (6): 747 ~ 753, 2001.
抗ss-DNA IgM抗体	山下 雅樹,他:医学と薬学 58 (5): 763 ~ 767, 2007.
抗ds-DNA IgG抗体	陣内 記代,他:日本臨床検査自動化学会誌 26 (6): 747 ~ 753, 2001.
抗ds-DNA IgM抗体	山下 雅樹,他:医学と薬学 58 (5): 763 ~ 767, 2007.
抗Sm抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗Sm抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗RNP抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗RNP抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗SS-A/Ro抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗SS-A/Ro抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗SS-B/La抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗SS-B/La抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗Scl-70抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗Scl-70抗体(CLEIA)	松下 雅和,他:医学と薬学 70 (1): 109 ~ 117, 2013.
抗RNAポリメラーゼIII抗体	桑名 正隆:リウマチ科 40 (3): 239 ~ 245, 2008.
抗セントロメア抗体	小島 和夫,他:医学と薬学 69 (4): 677 ~ 687, 2013.
抗Jo-1抗体(オクタロニー法)	西海 正彦:臨床検査機器・試薬 13 (4): 835 ~ 838, 1990.
抗Jo-1抗体(CLEIA)	松下 雅和,他:医学と薬学 70 (1): 109 ~ 117, 2013.
抗ARS抗体	山田 祐介,他:リウマチ科 45 (2): 133 ~ 138, 2011.
抗MDA5抗体	Sato S, et al: PLOS ONE 11 (4): e0154285, 2016.
抗Mi-2抗体	Fujimoto M, et al: J Dermatol Sci. 84 (3): 272 ~ 281, 2016.
抗TIF1- γ 抗体	Fujimoto M, et al: J Dermatol Sci. 84 (3): 272 ~ 281, 2016.
リウマチ因子(RF) 定量	鬼塚 聖子,他:日本臨床検査自動化学会誌 35 (1): 17 ~ 22, 2010.
IgG型リウマチ因子	中國 清:医学と薬学 45 (3): 481 ~ 486, 2001.
抗ガラクトース欠損IgG抗体	平山 吉郎,他:医学と薬学 42 (5): 817 ~ 828, 1999.
抗シトルリン化ペプチド(CCP)抗体	山下 里美,他:医学と薬学 66 (3): 569 ~ 576, 2011.
抗ミトコンドリア抗体	山内 進:臨床免疫 7 (7): 825 ~ 830, 1975.
抗ミトコンドリア M2抗体	丹野 瑞木,他:医学と薬学 67 (3): 485 ~ 495, 2012.
抗平滑筋抗体	山内 進:臨床免疫 7 (7): 825 ~ 830, 1975.
抗胃壁細胞抗体	山内 進:衛生検査 22 (12): 1085 ~ 1089, 1973.
抗内因子抗体	Elizabeth A. Gomez et al: Clinical Chemistry 51 (1): 232 ~ 235, 2005.
プロスタグランジンE主要代謝物(PGE-MUM)	森山 和重,他:医学と薬学 77 (3): 393 ~ 401, 2020.
ロイシンリッチ α 2グリコプロテイン(LRG)	高山 茂雄,他:医学と薬学 76 (12): 1769 ~ 1780, 2019.
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)(CLEIA)	矢野 美沙紀,他:医学と薬学 77 (5): 793 ~ 804, 2020.
抗サイログロブリン抗体(CLEIA)	矢野 美沙紀,他:医学と薬学 77 (5): 793 ~ 804, 2020.
甲状腺刺激抗体(TSAb)	保科 元気,他:医学と薬学 79 (8): 1079 ~ 1086, 2022.
TSHレセプター抗体(定量)	小森 明日香,他:医学と薬学 46 (4): 563 ~ 570, 2001.
TSHレセプター抗体(CLEIA)	矢野 美沙紀,他:医学と薬学 77 (5): 793 ~ 804, 2020.
抗GAD抗体	及川 洋一,他:医学と薬学 72 (9): 1551 ~ 1560, 2015.
抗IA-2抗体	川崎 英二,他:医学と薬学 66 (2): 345 ~ 352, 2011.
亜鉛トランスポーター 8 (ZnT8)抗体	Eiji Kawasaki et al: Acta Diabetol 51 (3): 429 ~ 434, 2014.
インスリン抗体	内潟 安子,他:医学と薬学 65 (4): 525 ~ 530, 2011.
抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)	太田 光熙,他:ホルモンと臨床 48 (1): 89 ~ 93, 2000.
抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体(抗MuSK抗体)	本村 政勝,他:医学と薬学 70 (2): 421 ~ 428, 2013.
抗P/Q型電位依存性カルシウムチャネル抗体(抗P/Q型VGCC抗体)	本村 政勝,他:医学と薬学 77 (7): 1057 ~ 1063, 2020.
抗デスモグレイン1抗体	吉田 かおり,他:医学と薬学 70 (5・6): 989 ~ 1000, 2013.
抗デスモグレイン3抗体	吉田 かおり,他:医学と薬学 70 (5・6): 989 ~ 1000, 2013.
抗BP180抗体(血清中抗BP180NC16a抗体)	吉田 かおり,他:医学と薬学 70 (5・6): 989 ~ 1000, 2013.
抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	白井 丈一,他:医学と薬学 68 (4): 697 ~ 704, 2012.
精子不動化抗体	香山 浩二:日本産科婦人科学会雑誌 42 (11): N209 ~ N212, 1990.
精子不動化抗体(Si50)	香山 浩二:日本産科婦人科学会雑誌 42 (11): N209 ~ N212, 1990.
ルーブスアンチコアグラント(APTT凝固時間法)	後藤 守孝,他:Modern Physician 15 (12): 1545 ~ 1550, 1995.
ルーブスアンチコアグラント(希釈ラッセル蛇毒時間法)	藤岡 貴:医学と薬学 73 (5): 621 ~ 626, 2016.

検査項目

測定参考文献

ループスアンチコアグラント〔リン脂質中和法〕	藤岡 貴：医学と薬学 73 (5)：621～626, 2016.
抗カルジオリピン β_2 グリコプロテイン I 複合体抗体(抗CL・ β_2 GPI 抗体)	野島 順三,他：医学と薬学 32 (6)：1315～1320, 1994.
抗 β_2 グリコプロテイン I IgG抗体	小川 昌起,他：医学と薬学 78 (4)：447～459, 2021.
抗 β_2 グリコプロテイン I IgM抗体	小川 昌起,他：医学と薬学 78 (4)：447～459, 2021.
抗カルジオリピンIgG抗体	小川 昌起,他：医学と薬学 78 (4)：447～459, 2021.
抗カルジオリピンIgM抗体	小川 昌起,他：医学と薬学 78 (4)：447～459, 2021.
抗血小板抗体	柴田 洋一：輸血学 (中外医学社)：457～470, 1978.
PAIgG(血小板関連IgG)	林 悟,他：臨床病理 32 (11)：1253～1257, 1984.
HIT抗体(血小板第4因子・ヘパリン複合体抗体)	阪田 敏幸：医学と薬学 68 (3)：547～555, 2012.
抗好中球細胞質抗体(PR3-ANCA)	松下 雅和,他：医学と薬学 66 (5)：823～828, 2011.
抗好中球細胞質抗体(MPO-ANCA)	松下 雅和,他：医学と薬学 66 (5)：823～828, 2011.
抗LKM-1抗体	竹村 真理,他：医学と薬学 46 (1)：109～114, 2001.
免疫複合体(モノクローナルRF)	森 勝志,他：医学と薬学 27 (2)：347～354, 1992.
抗アクアポリン4抗体	高橋 利幸,他：医学と薬学 73 (10)：1297～1300, 2016.
抗表皮成分自己抗体(直接法)	川生 明：病理と臨床 6 (増)：10～13, 1988.

免疫血液学の検査

ABO・Rh(D因子)式血液型	長田 広司：医薬ジャーナル 32 (S1)：215～219, 1996.
Rh-Hr式血液型	長田 広司：医薬ジャーナル 32 (S1)：215～219, 1996.
血液型不適合妊娠	支倉 逸人：日本臨牀 26 (2)：262～272, 1968.
直接クームス試験	浅井 隆善：医学のあゆみ 167 (9)：700, 1993.
間接クームス試験	浅井 隆善：医学のあゆみ 167 (9)：700, 1993.
不規則性抗体(抗体同定・抗体価測定)	浅井 隆善：医学のあゆみ 167 (9)：700, 1993.

免疫グロブリン

IgG	金井 正光,他：臨床検査法提要 第31版(金原出版)：823～827, 1998.
IgA	金井 正光,他：臨床検査法提要 第31版(金原出版)：823～827, 1998.
IgM	金井 正光,他：臨床検査法提要 第31版(金原出版)：823～827, 1998.
IgGサブクラス分画(TIA)	川 茂幸,他：医学と薬学 74 (4)：463～470, 2017.
IgG2	川 茂幸,他：医学と薬学 74 (4)：463～470, 2017.
IgG4	松木 友里,他：医学と薬学 75 (7)：849～858, 2018.
免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同定)	大谷 英樹,他：日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版：8～26, 1977.
免疫電気泳動(特異抗血清による同定)	大谷 英樹,他：日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版：8～26, 1977.
免疫電気泳動(特異抗血清による同定)(DIRA)	McCudden C, et al：Clin Chem Lab Med 54 (6)：1095～1104, 2016.
免疫グロブリン遊離L鎖 κ / λ 比(フリーライトチェーン)	守田 由香,他：医学と薬学 74 (8)：945～950, 2017.
尿中免疫電気泳動(尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定)	大谷 英樹,他：日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版：8～26, 1977.
オリゴクローナルバンド	佐々木 征治,他：最新電気泳動実験法(医歯薬出版)：61～74, 1999.
クリオグロブリン定性	青木 紀生,他：Medical Technology 6 (8)：619～624, 1978.

補体および関連物質

血清補体価	中藤 聡子,他：臨床検査機器・試薬 19 (4)：609～613, 1996.
C3	金井 正光,他：臨床検査法提要 第31版(金原出版)：833～837, 1998.
C4	金井 正光,他：臨床検査法提要 第31版(金原出版)：833～837, 1998.
C1q	櫻林 郁之介,他：臨床病理 特(53)：71～81, 1983.
C1インアクチベーター活性(C1エステラーゼインヒビター活性)	Dick W et al：Immun Infekt 13：113～118, 1985.

血漿蛋白

ブレアルブミン	古田島 伸雄,他：日本臨床検査自動化学会会誌 32 (1)：84～88, 2007.
α_1 -マイクログロブリン	中野 卓,他：臨床検査機器・試薬 11 (3)：469～476, 1988.
α_1 アンチトリプシン	櫻林 郁之介,他：臨床病理 特(53)：71～81, 1983.
α_1 アシドグリコプロテイン	櫻林 郁之介,他：臨床病理 特(53)：71～81, 1983.
レチノール結合蛋白(RBP)	古田島 伸雄,他：日本臨床検査自動化学会会誌 32 (1)：84～88, 2007.
α_2 -マクログロブリン	櫻林 郁之介,他：臨床病理 特(53)：71～81, 1983.
ハプトグロビン	櫻林 郁之介,他：臨床病理 特(53)：71～81, 1983.
セルロプラスミン	櫻林 郁之介,他：臨床病理 特(53)：71～81, 1983.
トランスフェリン	伊藤 忠一：検査と技術 16 (7)：593～598, 1988.
尿中トランスフェリン	齋藤 良一,他：日本臨床検査自動化学会会誌 25 (5)：687～690, 2000.
尿中トランスフェリン(クレアチニン換算値)	齋藤 良一,他：日本臨床検査自動化学会会誌 25 (5)：687～690, 2000.
β_2 -マイクログロブリン	伊藤 浩治,他：医療と検査機器・試薬 26 (2)：127～134, 2003.
C反応性蛋白(CRP)定量	小林 咲絵,他：医学と薬学 78 (1)：81～89, 2021.
ベントラキシン3(PTX3)	Inoue et al：Arterioscler Thromb Vasc Biol. 27 (1)：161～167, 2007.
血清アミロイドA蛋白(SAA)	永徳 広美,他：生物物理化学 37 (1)：19～23, 1993.
ミオグロビン	吉川 文雄,他：医学と薬学 37 (5)：1243～1253, 1997.
ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)	藤田 孝,他：医療と検査機器・試薬 33 (5)：629～632, 2010.

検査項目	測定参考文献
心室筋ミオシン軽鎖 I	宮崎 修一,他：医学と薬学 52 (3)：443～449, 2004.
心筋トロポニンT	古屋 実,他：医学と薬学 74 (5)：607～617, 2017.
フェリチン	唐澤 美佳,他：医療と検査機器・試薬 29 (5)：493～497, 2006.
L型脂脂肪酸結合蛋白(L-FABP)[CLEIA]	森 さゆり,他：医療と検査機器・試薬 41 (6)：615～620, 2018.
尿中NGAL	Cullen MR, et al：Ann Clin Biochem 49 (2)：190～193, 2012.
ヒト癌胎児性フィブロネクチン	Lockwood CJ et al：The New England Journal of Medicine 325 (10)：669～674, 1991.
I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(total P1NP)	日高 好博：医学と薬学 70 (2)：357～365, 2013.
I型コラーゲンC末端 テロペプチド(I CTP)	清原 剛,他：ホルモンと臨床 42 (12)：1189～1193, 1994.
Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体(M2BPGI)	柴田 宏,他：臨床病理 63 (1)：72～77, 2015.
オートタキシン	宇佐美 陽子,他：医学検査 68 (1)：99～104, 2019.
プロコラーゲンⅢペプチド(P-Ⅲ-P)[CLIA]	北原 志穂,他：医学と薬学 72 (9)：1579～1590, 2015.
尿中Ⅳ型コラーゲン	小幡 賢一,他：臨床検査機器・試薬 18 (3)：439～444, 1995.
Ⅳ型コラーゲン・7S[CLEIA]	大高木 結媛,他：医学と薬学 77 (5)：785～792, 2020.
デオキシビリジノリン	山本 逸雄,他：ホルモンと臨床 44 (7)：747～757, 1996.
デオキシビリジノリン(DPD)(骨粗鬆症)	山本 逸雄,他：ホルモンと臨床 44 (7)：747～757, 1996.
KL-6	桜庭 尚哉,他：医学と薬学 61 (4)：629～635, 2009.
プロカルシトニン	小林 一三,他：医学と薬学 73 (4)：459～467, 2016.
免疫血清学(その他)	
β-アミロイド1-42/1-40比	Maria João Leitão, et al：Alzheimers Res Ther 11 (1)：91, 2019.
リン酸化タウ	Maria João Leitão, et al：Alzheimers Res Ther 11 (1)：91, 2019.
タウ蛋白	湯原 麻子,他：医学と薬学 79 (1)：91～97, 2022.
コクリン-トモプロテイン(CTP)	池園 哲郎：Otolology Japan 22 (5)：911～917, 2012.
サイトカイン	
可溶性IL-2レセプター (sIL-2R)	林 圭織,他：医学と薬学 75 (12)：1611～1620, 2018.
TARC(Th2ケモカイン)	山脇 一恋,他：医療と検査機器・試薬 44 (5)：428～433, 2021.
IL-4 (インターロイキン-4)(高感度)	Kricka LJ：Clinical Chemistry 37 (9)：1472～1481, 1991.
インターロイキン-6 (IL-6)	B Prieto, et al：Clin Chem Lab Med 48 (6)：835～838, 2010.
IL-6 (インターロイキン-6)	竹村 正男,他：医学と薬学 36 (5)：1071～1076, 1996.
IL-10 (インターロイキン-10)	Groote DD et al：Journal of Immunological Methods 177：225～234, 1994.
アレルギー検査	
特異的IgE(MAST36アレルギー)	中川 武正,他：アレルギーの臨床 26 (3)：238～242, 2006.
特異的IgE(MAST48mix)	澤崎 健：アレルギーの臨床 38 (12)：1145～1151, 2018.
特異的IgE(View アレルギー 39)	張田 聖恵：医学と薬学 73 (6)：721～726, 2016.
特異的IgE(ミックスアレルギー)	右田 忍,他：医学と薬学 48 (1)：101～107, 2002.
特異的IgE(シングルアレルギー)[CLEIA]	右田 忍,他：医学と薬学 48 (1)：101～107, 2002.
アトピー鑑別試験(12種吸入性アレルギー)	奥田 勲,他：医学検査 46 (10)：1525～1530, 1997.
細胞性免疫検査	
CD34定量	Chen CH et al：Journal of Hematotherapy 3：3～13, 1994.
高感度PNH型血球検査	日本臨床検査標準協議会 血液検査標準化検討委員会：日本臨床検査標準協議会誌 18 (2)：69～85, 2003.
白血病・リンパ腫解析検査(LLA)CD45ゲーティング(造血器悪性腫瘍細胞検査)	Borowitz MJ et al：American Journal of Clinical Pathology 100：534～540, 1993.
悪性リンパ腫解析検査(MLA)CD45ゲーティング(造血器悪性腫瘍細胞検査)	Borowitz MJ et al：American Journal of Clinical Pathology 100：534～540, 1993.
多発性骨髄腫解析検査 CD38マルチ解析(造血器悪性腫瘍細胞検査)	HASSERT J, ET AL：CYTOMETRY 22：264～281, 1995.
多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー(8color)	Takamatsu H, et al：Int J Hematol 109 (4)：377～381, 2019.
悪性リンパ腫解析検査 7AAD解析(造血器悪性腫瘍細胞検査)	HASSERT J, ET AL：CYTOMETRY 22：264～281, 1995.
PHAによるリンパ球 幼若化検査	笠原 忠,他：臨床検査 23 (7)：660～667, 1979.
Con-Aによるリンパ球 幼若化検査	笠原 忠,他：臨床検査 23 (7)：660～667, 1979.
薬剤によるリンパ球 刺激試験(DLST)	北見 啓之,他：臨床免疫 15 (9)：727～736, 1983.
MLC(リンパ球混合培養)	笹月 健彦,他：移植 14 (2)：93～113, 1979.
T細胞百分率 B細胞百分率	Wauwe JV et al：Immunology 44：865～871, 1981.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgG	Ip SH et al：Clinical Chemistry 28 (9)：1905～1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgA	Ip SH et al：Clinical Chemistry 28 (9)：1905～1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgM	Ip SH et al：Clinical Chemistry 28 (9)：1905～1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgD	Ip SH et al：Clinical Chemistry 28 (9)：1905～1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) K	Ip SH et al：Clinical Chemistry 28 (9)：1905～1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) L	Ip SH et al：Clinical Chemistry 28 (9)：1905～1909, 1982.
モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーの自動解析	Ip SH et al：Clinical Chemistry 28 (9)：1905～1909, 1982.
IgG-FcR ⁺ ・T細胞百分率	Perussia B et al：The Journal of Immunology 130 (5)：2133～2141, 1983.
血小板表面マーカー検査 CD41	野村 昌作,他：臨床免疫 19 (8)：717～724, 1987.
血小板表面マーカー検査 CD42b	野村 昌作,他：臨床免疫 19 (8)：717～724, 1987.
Th1/Th2 (IFN-γ×IL-4/CD4)	渋谷 和子：細胞工学 17 (5)：807～816, 1998.

検査項目

測定参考文献

NK細胞活性

康 浩一,他：Medical Technology 21（7）：574～580, 1993.

抗原特異的CTL

サイトメガロウイルス 特異的CTL解析(HLA-A*0201)

馬場 俊之,他：血液腫瘍科 45（1）：22～27, 2002.

サイトメガロウイルス 特異的CTL解析(HLA-A*2402)

馬場 俊之,他：血液腫瘍科 45（1）：22～27, 2002.

先天異常の染色体検査

染色体 G-Banding

Seabright M：The Lancet 2：971～972, 1971.

染色体 C-Banding

Sumner AT et al：Exp Cell Res 75：304～306, 1972.

染色体 Q-Banding

Caspersson T et al：Hereditas 67：89～102, 1971.

染色体 高精度分染法

Ikeuchi T et al：Proc Japan Acad 55（1）：15～18, 1979.

染色体SKY(先天異常)

Veldman T et al：Nature Genetics 15：406～410, 1997.

脆弱X染色体(脆弱X症候群)

Sutherland GR：Science 197：265～266, 1977.

1染色体(1p36欠失症候群)

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

4染色体(ウォルフ・ヒルシュホーン症候群)

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

5染色体(ソトス症候群)

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

7染色体(ウイリアムス症候群)

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

13染色体

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

13染色体(先天性網膜芽細胞腫RB1)

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

15染色体(ブラダーウイリ症候群)

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

15染色体(アンジェルマン症候群)

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

17染色体(ミラーディカー症候群)

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

18染色体

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

21染色体

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

22染色体(22q11欠失)(CATCH22) conotruncal anomaly face 症候群velo-cardio-facial症候群 DiGeorge症候群

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

X染色体

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

X染色体(ステロイドサルファターゼ遺伝子STS)

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

Y染色体

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

Y染色体(睾丸決定遺伝子SRY)

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

X,Y染色体(身長関連遺伝子SHOX)

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

マイクロアレイ染色体検査(染色体構造変異解析)

David T. Miller, et al：Am J Hum Genet. 86（5）：749～764, 2010.

白血病や悪性リンパ腫の染色体検査

血液疾患染色体 G-Banding

Seabright M：The Lancet 2 971～972, 1971.

染色体SKY(血液疾患)

Veldman T et al：Nature Genetics 15：406～410, 1997.

TCF3-PBX1 t(1;19)転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

CKS1B 1q21 増幅

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

ALK 2p23転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

GATA2-MECOM inv(3)逆位,t(3;3)転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

BCL6 3q27転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

IGH-FGFR3 t(4;14)転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

FIP1L1-PDGFRΑ del(4) 長腕欠失(4q12欠失)

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

CSF1R del(5)長腕欠失

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

EGR1 del(5)長腕欠失

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

PDGFRB 5q32転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

D7S486 del(7)長腕欠失／7染色体(7モノソミー)

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

8染色体

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

MYC 8q24転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

IGH-MYC t(8;14)転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

RUNX1-RUNX1T1(AML1-MTG8) t(8;21)転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

FGFR1 8p11.2転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

BCR-ABL1 t(9;22)転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

末梢血好中球 BCR-ABL1 t(9;22)転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

KMT2A(MLL) 11q23.3転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

IGH-CCND1(IGH-BCL1) t(11;14)転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

NUP98 11p15転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

BIRC3-MALT1(API2-MALT1) t(11;18)転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

ATM del(11)長腕欠失

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

12染色体

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

ETV6-RUNX1(TEL-AML1) t(12;21)転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

D13S319 del(13)長腕欠失

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

IGH-BCL2 t(14;18)転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

IGH-MAF t(14;16)転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

PML-RARA t(15;17)転座

稲澤 謙治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

検査項目

測定参考文献

CBFB inv(16)逆位、t(16;16)転座	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
TP53 del(17)短腕欠失	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
MALT1 18q21転座	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
BCL2 18q21転座	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
del(20)長腕欠失	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
X染色体	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
Y染色体	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
異性間BMT(骨髄移植)(X,Y染色体)	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

固形腫瘍の染色体検査

del(1)短腕欠失	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
MYCN 2p24増幅	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
del(19)長腕欠失	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
EWSR1 22q12転座	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

造血器腫瘍遺伝子検査

FLT3/ITD 変異解析	Kiyoi. H, et al : Leukemia 11 : 1147～1452, 1997.
FLT3変異解析ITD/TKD	Murphy KM, et al : J Mol Diagn 5 (2) : 96～102, 2003.
NPM1変異解析	Gorello P, et al : Leukemia, 20 (6) : 1103～1108, 2006.
KIT シーケンス解析(白血病)	E Barragan, et al : Hematologica 89 (8) : 920～925, 2004.
JAK2V617F遺伝子変異解析	桐戸 敬太,他：臨床血液 59 (6) : 669～674, 2018.
MPN遺伝子変異解析	Tsunedomi R, et al : Cancer Science 108 (7) : 1504～1509, 2017.
MYD88遺伝子変異解析	Kraan W, et al : Blood Cancer J. 3 (9) : e139, 2013.
CD79B遺伝子変異解析	Kraan W, et al : Blood Cancer J. 3 (9) : e139, 2013.
EZH2遺伝子変異解析	Heid CA, et al : Genome Res. 6 (10) : 986～994, 1996.
白血病キメラスクリーニング(定量)	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2) : 65～68, 2000.
WT1 mRNA定量	宮脇 修一,他：臨床血液 46 (12) : 1279～1287, 2005.
Major BCR-ABL1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2) : 65～68, 2000.
Major BCR-ABL1 mRNA(IS)	Nakamae H, et al : Int J Hematol 102 (3) : 304～311, 2015.
Major BCR-ABL1 mRNA(%)	Nakamae H, et al : Int J Hematol 102 (3) : 304～311, 2015.
Major BCR-ABL1 mRNA定性	Kawasaki ES, et al : Proc Natl Acad Sci USA 85 (15) : 5698～5702, 1988.
Major BCR-ABL1 ABL1変異解析	Arghya Ray, et al : Blood 109 (11) : 5011～5015, 2007.
minor BCR-ABL1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2) : 65～68, 2000.
minor BCR-ABL1 mRNA定性	Kawasaki ES, et al : Proc Natl Acad Sci USA 85 (15) : 5698～5702, 1988.
micro BCR-ABL1 mRNA定性	Kawasaki ES, et al : Proc Natl Acad Sci USA 85 (15) : 5698～5702, 1988.
minor BCR-ABL1 ABL1変異解析	Arghya Ray, et al : Blood 109 (11) : 5011～5015, 2007.
minor BCR-ABL1 (%)	J Gabert, et al : Leukemia 17 (12) : 2318～2357, 2003.
min BCR-ABL1 (%)マルク	J Gabert, et al : Leukemia 17 (12) : 2318～2357, 2003.
TCF3-PBX1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2) : 65～68, 2000.
TCF3-PBX1 mRNA定性	Hunger SP et al : Blood 77 (4) : 687～693, 1991.
PML-RARA mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2) : 65～68, 2000.
PML-RARA mRNA定性	Borrow J et al : Science 249 : 1577～1580, 1990.
CBFB-MYH11 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2) : 65～68, 2000.
CBFB-MYH11 mRNA定性	Claxton DF et al : Blood 83 (7) : 1750～1756, 1994.
RUNX1-RUNX1T1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2) : 65～68, 2000.
RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性	Miyoshi H et al : Proc Natl Acad Sci USA 88 (23) : 10431～10434, 1991.
RUNX1-MECOM mRNA定性	Mitani K et al : The EMBO Journal 13 (3) : 504～510, 1994.
ETV6-RUNX1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2) : 65～68, 2000.
ETV6-RUNX1 mRNA定性	Shurtleff SA et al : Leukemia 9 (12) : 1985～1989, 1995.
KMT2A-AFF1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2) : 65～68, 2000.
KMT2A-AFF1 mRNA定性	Yamamoto K et al : Blood 83 (10) : 2912～2921, 1994.
KMT2A-AFDN mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2) : 65～68, 2000.
KMT2A-AFDN mRNA定性	Yamamoto K et al : Blood 83 (10) : 2912～2921, 1994.
KMT2A-MLLT3 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2) : 65～68, 2000.
KMT2A-MLLT3 mRNA定性	Yamamoto K et al : Blood 83 (10) : 2912～2921, 1994.
KMT2A-MLLT1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2) : 65～68, 2000.
KMT2A-MLLT1 mRNA定性	Yamamoto K et al : Blood 83 (10) : 2912～2921, 1994.
NUP98-HOXA9 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2) : 65～68, 2000.
STIL-TAL1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2) : 65～68, 2000.
DEK-NUP214 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2) : 65～68, 2000.
DEK-NUP214 mRNA定性	Soekarman D et al : Blood 79 (11) : 2990～2997, 1992.

免疫関連遺伝子再構成検査

T細胞レセプター β 鎖C β 1再構成	村上 龍文,他：日本臨牀 47 (増刊号) : 113～123, 1989.

検査項目	測定参考文献
T細胞レセプター β 鎖J β 1再構成	村上 龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.
T細胞レセプター β 鎖J β 2再構成	村上 龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.
T細胞レセプター γ 鎖J γ 再構成	村上 龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.
T細胞レセプター δ 鎖J δ 1再構成	村上 龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.
免疫グロブリンH鎖J μ 再構成	村上 龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.
免疫グロブリンH鎖C μ 再構成	村上 龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.
免疫グロブリンL鎖J κ 再構成	村上 龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.
免疫グロブリンL鎖C κ 再構成	村上 龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.
免疫グロブリンL鎖C λ 再構成	村上 龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.

悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	
BRAF V600E遺伝子解析(rSSO)	Bando H. et al：BMC Cancer 13：405, 2013.
BRAF exon15 V600E(SEQ)	日本臨床腫瘍学会：大腸がん患者におけるKRAS遺伝子変異の測定に関するガイダンス 第1版 2008.
EGFR変異解析 v2.0	Benlloch S. et al：PLOS ONE 9（2）：e89518, 2014.
EGFR変異解析 v2.0（血漿）	Benlloch S. et al：PLOS ONE 9（2）：e89518, 2014.
ROS1融合遺伝子定性	日本肺癌学会：肺癌患者におけるROS1融合遺伝子検査の手引き 第1.0版 2017年4月6日
ROS1融合遺伝子定性(FFPE)	日本肺癌学会：肺癌患者におけるROS1融合遺伝子検査の手引き 第1.0版 2017年4月6日
KRAS G12C変異解析	Whitcombe D et al：Nature Biotech 17（8）：804～807, 1999.
IDH1/2遺伝子解析(グリオーマ)(FFPE)	Arita H. et al：Brain Tumor Pathol 32（1）：22～30, 2015.
IDH1/2遺伝子解析(グリオーマ)(FF)	Arita H. et al：Brain Tumor Pathol 32（1）：22～30, 2015.
c-kit遺伝子変異解析(GIST)	Alessandra Maleddu. et al：Journal of Translational Medicine 9：75, 2011.
RAS・BRAF遺伝子変異解析	Bando H. et al：BMC Cancer 13：405, 2013.
マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(FFPE)	Buhand O. et al：J Clin Oncol. 24（2）：241～251, 2006.
マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(FF)	Buhand O. et al：J Clin Oncol. 24（2）：241～251, 2006.
肺癌オンコマインDxTTマルチ7遺伝子CDx FFPE	Meenakshi M. et al：PLOS ONE 12（8）：e0181968, 2017.
肺癌オンコマインDxTTマルチ7遺伝子CDx FF	Meenakshi M. et al：PLOS ONE 12（8）：e0181968, 2017.
甲状腺癌オンコマインDxTTマルチ2遺伝子CDx FFPE	Meenakshi M. et al：PLOS ONE 12（8）：e0181968, 2017.
甲状腺癌オンコマインDxTTマルチ2遺伝子CDx FF	Meenakshi M. et al：PLOS ONE 12（8）：e0181968, 2017.
肺癌オンコマインDxTTマルチ7遺伝子CDx(46)FFPE	Meenakshi M. et al：PLOS ONE 12（8）：e0181968, 2017.
肺癌オンコマインDxTTマルチ7遺伝子CDx(46)FF	Meenakshi M. et al：PLOS ONE 12（8）：e0181968, 2017.
甲状腺癌オンコマインDxTTマルチ2遺伝子CDx(46)FFPE	Meenakshi M. et al：PLOS ONE 12（8）：e0181968, 2017.
甲状腺癌オンコマインDxTTマルチ2遺伝子CDx(46)FF	Meenakshi M. et al：PLOS ONE 12（8）：e0181968, 2017.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD(3ヵ月以下)	Hirsch. F.R. et al：Lancet Oncol 10（5）：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD(3～12ヵ月)	Hirsch. F.R. et al：Lancet Oncol 10（5）：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD(12～24ヵ月)	Hirsch. F.R. et al：Lancet Oncol 10（5）：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD(FF)	Hirsch. F.R. et al：Lancet Oncol 10（5）：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(3ヵ月以下)	Hirsch. F.R. et al：Lancet Oncol 10（5）：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(3～12ヵ月)	Hirsch. F.R. et al：Lancet Oncol 10（5）：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(12～24ヵ月)	Hirsch. F.R. et al：Lancet Oncol 10（5）：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(FF)	Hirsch. F.R. et al：Lancet Oncol 10（5）：432～433, 2009.

遺伝学的検査	
RET遺伝子解析(甲状腺髄様癌)	Kihara M. et al：Auris Nasus Larynx 43（5）：551～555, 2016.
RET遺伝子シングルサイト解析(甲状腺髄様癌)	Kihara M. et al：Auris Nasus Larynx 43（5）：551～555, 2016.
SNRPN遺伝子解析(メチレーションPCR)(ブラダー・ウィリ症候群 アンジェルマン症候群)	Kenjiro K. et al：Am J Med Genet. 73（3）：308～313, 1997.
PRRT2遺伝子解析(発作性運動誘発性舞踏アテトーゼ)	Ono S. et al：J Hum Genet 57（5）：338～341, 2012.
TTR遺伝子解析(家族性アミロイドーシス)	Booth DR. et al：Circulation. 91（4）：962～967, 1995.
MECP2遺伝子解析(レット症候群)	Thierry Bienvenu et al：Human Molecular Genetics 9（9）：1377～1384, 2000.
ZEB2遺伝子解析(モット・ウィルソン症候群)	Yamada Y. et al：Am J Med Genet A. 164A(8)：1899～1908, 2014.
TACSTD2遺伝子解析(角膜炎ジストロフィー)	Nagahara Y. et al：Hum Genome Var. 6：33, 2019.
ジストロフィン遺伝子解析(デュシェンヌ型筋ジストロフィー ベッカー型筋ジストロフィー)	Lai KKS et al：Clin Biochemistry 39（4）：367～372, 2006.
フクチン遺伝子DNA挿入(福山型先天性筋ジストロフィー)	Watanabe M et al：American Journal of Medical Genetics 138A：344～348, 2005.
脊髄小脳変性症 遺伝子解析	石毛 崇之,他：日本臨床検査自動化学会会誌 39（2）：250～256, 2014.
先天性QT延長症候群遺伝子解析	Fujiki R. et al：J Mol Diagn/pii：S1525-1578（17）30554-8：Jun 25, 2018.
MEFV遺伝子解析(家族性地中海熱)	The International FMF Consortium：Cell. 90（4）：797～807, 1997.
HTT遺伝子CAG反復配列解析(ハンチントン病)	La Spada A. R. et al：Nature 352：77～79, 1991.
アンドロゲンレセプター遺伝子CAG反復配列解析(球脊髄性筋萎縮症)	La Spada A. R. et al：Nature 352：77～79, 1991.
Y染色体微小欠失(AZF欠失)	Masashi Iijima. et al：Int J Urol. 21（9）：910～916, 2014.

薬剤応答遺伝子検査	
薬物代謝酵素チトクロームP450 CYP2C19遺伝子多型解析	平塚 真弘：薬学雑誌 122（7）：451～463, 2002.
UGT1A1遺伝子多型解析	森 篤雄,他：Bio Clinica 23（7）：643～648, 2008.
NUDT15遺伝子codon 139多型解析	Moriyama T. et al：Nat Genet. 48（4）：367～373, 2016.

検査項目

測定参考文献

移植関連遺伝子検査

HLA DNAタイピング(NGS-SBT法)	中條 聖子：臨床病理レビュー 164：132～139, 2020.
HLA-A,B(血清対応型タイピング)	吉川 枝里,他：MHC 10 (1)：21～31, 2003.
HLA-A(DNAタイピング)	石川 善英：MHC 5 (2)：96～100, 1998.
HLA-B(DNAタイピング)	石川 善英：MHC 5 (2)：96～100, 1998.
HLA-C(DNAタイピング)	石川 善英：MHC 5 (2)：96～100, 1998.
HLA-DR(血清対応型タイピング)	吉川 枝里,他：MHC 10 (1)：21～31, 2003.
HLA-DRB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他：MHC 5 (2)：101～106, 1998.
HLA-DPB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他：MHC 5 (2)：101～106, 1998.
HLA-DQB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他：MHC 5 (2)：101～106, 1998.
抗HLA抗体(スクリーニング検査)	日本組織適合性学会 認定制度委員会：QCWS参考プロトコル 抗体検査(LABScreen)平成29年度版.
フローサイトクロスマッチ(リンパ球交差試験)	石塚 敏：日本組織適合性学会誌 20 (2)：121～129, 2013.
キメリズム解析移植前レシピエント(PCR)	白濱 秀也,他：SRL宝函 26 (1)：71～76, 2002.
キメリズム解析移植前ドナー (PCR)	白濱 秀也,他：SRL宝函 26 (1)：71～76, 2002.
キメリズム解析移植後(PCR)	白濱 秀也,他：SRL宝函 26 (1)：71～76, 2002.

尿一般検査

尿一般検査	金井 泉,他：臨床検査法提要 第34版(金原出版)：128～148, 2015.
尿沈渣	日本臨床検査標準協議会 尿沈渣専門委員会：尿沈渣検査法2010 日本臨床検査標準協議会会誌.

糞便検査

便中ヘモグロビン及びトランスフェリン	加藤 節子,他：医療と検査機器・試薬 29 (5)：473～478, 2006.
便中ヘモグロビン定性・定量(金コロイド法)	加藤 節子,他：医療と検査機器・試薬 29 (5)：473～478, 2006.

微生物学的検査

一般細菌 (塗抹鏡検、培養同定、嫌気性培養、感受性検査、尿中生菌数定量、目的菌、環境検査、便検診検査)	Krieg NR, et al：Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.1. Williams & Wilkins, 1984. Krieg NR, et al：Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.2. Williams & Wilkins, 1986. 小酒井 望：臨床検査技術全書 7 微生物検査 初版 医学書院, 1974. 微生物検査必携 細菌・真菌検査(厚生省監修) 第3版 財団法人日本公衆衛生協会, 1987. CLSI M100：Performance Standards for Antimicrobial Susceptibility Testing 30th Edition, 2020. 日本化学療法学会抗菌薬感受性測定法検討委員会報告(1989年)：Chemotherapy 38 (1)：102～105, 1990. 抗菌薬感受性測定法検討委員会報告(1992年)：Chemotherapy 41 (2)：183～190, 1993. 三原 利仁,他：臨床と微生物 23 (2)：249～254, 1996. 川上 小夜子,他：日本臨床微生物雑誌 12 (2)：86～92, 2002. Clinical Microbiology Procedures Handbook-4th edition, 2016. 永沢 善三,他：日本臨床微生物雑誌 第27巻：臨床微生物質量分析計検査法ハンドブック：5～40, 2017.
ヘリコバクター培養同定・感受性検査	後藤 陽一郎,他：検査と技術 21 (13)：1061～1066, 1993. 日本化学療法学会抗菌薬感受性測定委員会、ヘリコバクターピロリ委員会：日本化学療法学会誌 50 (1)：54～58, 2002.
CDトキシン(GDH)	蔵田 訓,他：臨床と微生物 37 (5)：465～470, 2010. Limaye P. A. et al：J. Clin. Microbiol. 38 (4)：1696～1697, 2000.
CDトキシンB遺伝子 定性	松浦 成美,他：医学検査 67 (4)：451～455, 2018.
POT法(黄色ブドウ球菌)	鈴木 匡弘：THE CHEMICAL TIMES 221 (3)：16～21, 2011.
抗酸菌(塗抹、分離培養、結核菌群抗原、感受性検査)	日本結核病学会 抗酸菌検査法検討委員会：抗酸菌ガイド2016. 小栗 豊子,編 臨床微生物検査ハンドブック 第4版. 三輪書店, 2011.
抗酸菌同定(質量分析)	大楠 清文,他：抗酸菌検査ガイド 2016：60～65, 2016.
抗酸菌感受性(MIC)SGM	日本結核・非結核性抗酸菌症学会 抗酸菌検査法検討委員会：抗酸菌検査ガイド2020, 2020.
抗酸菌感受性(MIC)RGM	日本結核・非結核性抗酸菌症学会 抗酸菌検査法検討委員会：抗酸菌検査ガイド2020, 2020.
結核菌群核酸同定(TRC)	田村 卓,他：日本臨床微生物学雑誌 18 (1)：15～19, 2008.
MAC核酸同定(TRC)	田村 卓,他：日本臨床微生物学雑誌 18 (1)：15～19, 2008.

培養同定検査

ニューモシスチスカリニ(P.jirovecii)DNA	Wakefield AE et al：The Lancet 336：451～453, 1990.
マイコプラズマニューモニエDNA	山口 恵三,他：医学と薬学 58 (4)：565～571, 2007.
レジオネラDNA 定性	山口 恵三,他：医学と薬学 58 (4)：565～571, 2007.
百日咳菌DNA	Kamachi K, et al：J Clin Microbiol 44 (5)：1899～1902, 2006.
赤痢アメーバDNA 定性	Tachibana H, et al：J Infect Dis 164 (4)：825～826, 1991.
淋菌DNA	熊本 悦明,他：医学と薬学 66 (6)：1007～1014, 2011.
淋菌およびクラミジアトラコマチスDNA同時同定	熊本 悦明,他：医学と薬学 66 (6)：1007～1014, 2011.
腔トリコモナスおよびマイコプラズマジェニタリウム同時核酸検出	Van Der Pol B,et al：JCM 59 (10)：e00264-21, 2021.(腔トリコモナス) Van Der Pol B,et al：JCM 58 (6)：e01214-19, 2020.(マイコプラズマジェニタリウム)
ウイルス分離	Hsiung GD：Diagnostic Virology An Illustrated Handbook：3～20, 1973.
ウイルス同定	Hsiung GD：Diagnostic Virology An Illustrated Handbook：3～20, 1973.

細胞診検査

細胞診(婦人科LBCベセスダシステム)	Strander B et al：Cancer 111 (5)：285～291, 2007.
細胞診(婦人科ベセスダシステム)	Strander B et al：Cancer 111 (5)：285～291, 2007.

検査項目

測定参考文献

細胞診(婦人科LBC)	Strander B et al : Cancer 111 (5) : 285 ~ 291, 2007.
細胞診(尿LBC)	Strander B et al : Cancer 111 (5) : 285 ~ 291, 2007.
膀胱癌FISH(ウロビジョン)	Sarosdy MF, et al : J Urol 168 (5) : 1950 ~ 1954, 2002.

病理組織検査

病理標本作製(一般材料)	日本臨床衛生検査技師会：病理検査技術教本(丸善出版)：2017.
病理標本作製(手術材料)	日本臨床衛生検査技師会：病理検査技術教本(丸善出版)：2017.
CD30(IHC)	長塩 亮,他：病理と臨床 32 (臨増)：12 ~ 18, 2014.
悪性リンパ腫ALKタンパク(IHC)	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
エストロゲンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177 ~ 184, 1996.
プロゲステロンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177 ~ 184, 1996.
エストロゲンレセプター /プロゲステロンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177 ~ 184, 1996.
乳癌HER2タンパク(IHC)4B5	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
乳癌HER2/neuタンパク(染色法)	谷 洋一：Pharma Medica 18 (8) : 87 ~ 92, 2000.
乳癌HER2遺伝子(FISH)	Persons DL et al : Annals of Clinical Laboratory Science 30 (1) : 41 ~ 48, 2000.
乳癌 PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
乳癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
胃癌HER2遺伝子(FISH)	Persons DL et al : Ann Clin Lab Sci 30 (1) : 41 ~ 48, 2000.
胃癌HER2タンパク(IHC)	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：136 ~ 143, 2002.
CLDN18タンパク(IHC)	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
胃癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
胃癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
食道癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
食道癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
子宮頸癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
MMRタンパク(IHC)	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)SP263	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
肺癌ALKタンパク (IHC)D5F3	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
メラノーマPD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.
CCR4タンパク(IHC)	名倉 宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画)：147 ~ 150, 2002.

総合解析検査

悪性リンパ腫 総合解析検査「ML-NET」	菊池 昌弘：Medical Technology 28 (2) : 114 ~ 121, 2000.

リスク検査

男性AIRS(認知機能評価あり)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
女性AIRS(認知機能評価あり)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
男性AIRS(認知機能評価なし)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
女性AIRS(認知機能評価なし)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
男性AICS(5種)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
女性AICS(6種)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.

検体の採取・取り扱い方法

血液

〔採血時間〕 一般的に早朝安静空腹時(緊急性や指定条件を除き)を原則としています。

〔検体採取〕

- 血液 所定の抗凝固剤入り採血容器にて採血後、速やかに転倒混和させ、特に指定が無い場合、室温および冷蔵保存の場合はこのままで、凍結保存の場合は提出容器に移して指定の保存条件にてご提出ください。
- 血清 必要量の3倍量を目安に血液を採血してください。
特に指定が無い場合、採血後室温に静置させ、凝固を確認後、遠心分離してください。
遠心分離後、上清を提出容器に移し、指定の保存条件にてご提出ください。
保存条件は検査項目により異なりますので、各検査項目の保存条件をご参照ください。
- 血漿 必要量の3倍量を目安に血液を採血してください。
特に指定が無い場合、所定の抗凝固剤入り採血容器にて採血後、速やかに転倒混和し、遠心分離してください。
遠心分離後、上清を提出容器に移し、指定の保存条件にてご提出ください。
採取方法および保存条件は検査項目により異なりますので、各検査項目の備考および保存条件、容器の取り扱い方法をご参照ください。
容器の規定採血量より少ない場合、項目によってはデータに影響を及ぼすことがあります。必ず指定容量を採取してください。

〔注意事項〕

- 真空採血にあたり
容器の規定採血量より少ない場合、容器内部が陰圧状態のままとなり溶血を引き起こす原因となります。
必ず、指定容量を採取してください。
- シリンジ採血にあたり
シリンジから注射針を外し、採血管の側面に沿わせてゆっくりと注入してください。
- 溶血を避けるにあたり
採血時に無理な圧力や泡立ちを避けてください。
十分に乾燥した採血容器を用いてください。
物理的刺激(極度の高温や低温、振動等)を避けてください。

尿

〔部分尿〕

採尿容器に尿を採取して、必要量を提出容器に移し、指定の保存条件にてご提出ください。

採尿時間を指定している検査項目もありますので、各検査項目の備考および容器の取り扱い方法をご参照ください。

〔24時間蓄尿〕

蓄尿開始時に完全に排尿させ(捨てる)、それ以降の翌日同時刻までに排尿した尿の全てを蓄尿容器に採尿します。

蓄尿の間は、蓄尿容器に蓋をして冷暗所にて保存してください。

蓄尿終了後、蓄尿量を測定し、よく混和させ必要量を提出容器に移し蓄尿時間と蓄尿量を記入のうえ、指定の保存条件にてご提出ください。

○酸性蓄尿

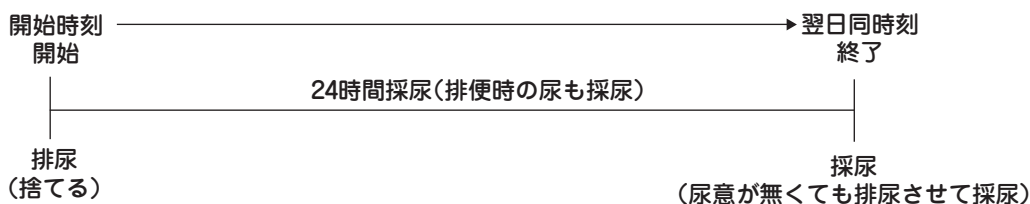
検査項目により、防腐・安定化等を目的に当社では、下記の蓄尿時に尿を酸性化する方法を採用しております。
ただし、これらの方法にて酸性化した尿検体ではデータに影響がある検査項目もありますので、ご依頼いただく各検査項目の備考を必ずご参照ください。

1.防腐剤を使用する方法

蓄尿量にかかわらず、専用防腐剤(錠剤と顆粒)全てを蓄尿容器にいれて蓄尿します。

2.塩酸を使用する方法

規定量の6Nの塩酸を蓄尿容器にいれて蓄尿します。(添加する詳細な規定量や注意事項は各検査項目の備考をご参照ください。)



容器の取り扱い方法

凝固検査用検体のご提出方法（凝固検査検体取扱いに関するコンセンサスより抜粋）

〔採血管〕

- ・容器の素材は、プラスチック製もしくはシリコン処理済みガラス製を使用する
- ・抗凝固剤には、0.105～0.109M(3.13～3.2%)クエン酸ナトリウム溶液を使用する
- ・クエン酸ナトリウム溶液と血液の比率は1:9とし、許容採血量は公称採血量±10%までとする
- ・患者のヘマトクリット値(Ht)が55%以上の場合はクエン酸ナトリウム溶液を調整する

〔採血〕

JCCLSの標準採血法ガイドラインGP4-A3に従う

- ・真空採血、注射器採血のいずれの組み合わせも使用可とする
 - 採血針を用いた真空採血：1番目に凝固検査用採血管もしくは血清用採血管で採血する
 - 翼状針を用いた真空採血：1番目にダミーの採血管もしくは他の検査用採血管で採血後、凝固時間検査用採血管で採血する
 - 注射器採血：1番目に凝固検査用採血管に血液を分注する
- ・最低限の血流うっ滞(駆血帯処理)で清潔に穿刺する
- ・個別の状況に応じて対応することも可能とするため、21～23Gの注射針あるいは翼状針を使用する
- ・ヘパリンが混在する静脈ラインは使用不可である
- ・正確な血液量が採血管に流入したことを確認し、血液と抗凝固剤は速やかに5回程度泡立たぬよう転倒混和する

〔遠心分離〕

- ・遠心分離の温度設定は室温(18～25℃)にコントロールする
- ・平均遠心重力は1500×gで最低15分間、または2000×gで最低10分間の遠心分離処理を推奨する
- ・血小板の混入は測定結果に影響するため、残存血小板数を1万/μL未満になるようバフィーコートから最低5mm離れた上清を使用する

〔凝固検体の確認〕

採血困難な患者を中心に検査室到着時にすでに凝結が確認できる検体があり、遠心前に凝結を視認した場合は、再採血による検査続行か検査中止の確認を臨床側と相談する。

〔補足〕

CLSI Approved guideline 5th ed H21-A5では、Vascular access device(VAD)からの採血では、エアリークが無いことを確認し、可能な限りヘパリンフラッシュを避け、ヘパリンの混入あるいは希釈を避けることが明記されている。具体的にはまず生食5mLでフラッシュ、続いて5mLあるいはVADのdead spaceの6倍容量の血液を廃棄したのち検体を採取する。生食ロック(cap-off intravenous port)からの採血ではカテーテルと延長セット(extension set)dead spaceの2倍量を廃棄することが明記されている。

〔参考〕

1. 日本検査血液学会標準化委員会凝固検査標準化ワーキンググループ
凝固検査検体取扱いに関するコンセンサス 日本検査血液学会雑誌 17, 149-168, 2016.
2. Ieko M et al : expert consensus regarding standardization of sample preparation for clotting time assays. Int J Hematol 112; 614-620, 2020

専用容器について

各頁掲載の専用容器は当社にて準備してございますので最寄りの営業所・営業拠点までお申し付けください。
なお、有効期間につきましては目安とお考えください。

分割販売について

当社は、お客様からの指示に基づき、容器の被包等を開き、小包装単位で販売(分割販売)を行う場合があります。この場合、お客様には以下の事項をご承諾いただくものとします。

- ①分割販売の対象となる容器について、その製造者が開示または能書に記載している有効期限内の品質保証が担保されない場合があること。
- ②分割販売の対象となる容器は、その受領後速やかに使用する必要があること。
- ③分割販売された容器について、当社は法律上の契約不適合責任を負わないこと。

ラベル貼付済み容器の取り扱いについて

当社は、お客様からの指示のもと、容器に所定のラベルを貼り付ける場合があります。この場合、容器の販売に関する契約・発注書等の記載にかかわらず、ラベル貼付の対象となる容器の所有権は、お客様から容器のご発注を頂いた時点でお客様に移転するものとします。

容器形態

A00

旧容器記号

X

貯蔵方法 室温



ポリスピッツ

容器形態

ARR

旧容器記号

r

貯蔵方法 室温



滅菌ポリスピッツ

容器形態

ASS

旧容器記号

i

貯蔵方法 室温



遮光ポリスピッツ

容器形態

AZZ

旧容器記号

Z

酸洗浄済みのポリスピッツ
貯蔵方法 室温

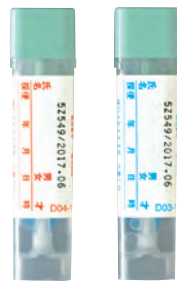


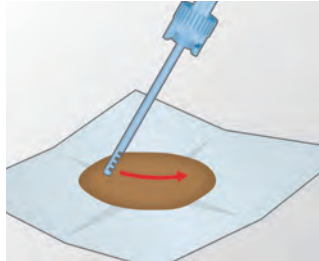
金属検査

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
F00 旧容器記号 U 	アデノウイルス DNA 定性	糞便 500mg			糞便500mgを左図の容器に入れ、必ず凍結保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	ノロウイルス抗原	糞便 各小指先大		凍結	糞便の中央部より0.5g(小指先大)を左図の容器に入れ、必ず凍結保存してください。
	ノロウイルス RNA定性	糞便 1g			糞便1g(拇指頭大)を左図の容器に入れ、必ず凍結保存してください。
	便中カルプロテクチン	糞便 各拇指頭大		冷蔵	糞便1g(拇指頭大)を左図の容器に入れ、冷蔵保存してください。
	虫卵〔塗抹〕	糞便 各拇指頭大		冷蔵	糞便1g(拇指頭大)を左図の容器に入れ、冷蔵保存してください。
	虫卵〔集卵〕	糞便 0.5g		凍結	糞便の中央部より0.5g(小指先大)を左図の容器に入れ、速やかに凍結保存してください。
	赤痢アメーバDNA 定性				

容器形態	検 査 項 目	保 存	採 取 方 法
F20 旧容器記号 d4 便中ヘリコバクターピロリ抗原専用容器  内 容 ほう酸1mL 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年	便中ヘリコバクター ピロリ抗原	冷蔵	1.(準備)容器の白ラベルを途中まではがし氏名・日付等を記入し、また巻いてください。ピンクの採便棒を回して引き抜いてください。 2.(便をとる)採便棒先端の溝すべてが便でうまるように、便の表面をこすりとってください。 3.(便をとったあと)採便棒を容器にもどして根元までしっかりねじ込んでください。再び開けないでください。 4.(保管上の注意)添付のビニール袋に入れて提出まで冷暗所に保管してください。採便後は、すみやかに提出してください。 (注)出来るだけ新しい便を提出してください。 (注)採便容器の緑キャップは、絶対にはずしたり、ゆるめたりしないでください。

容器形態	検 査 項 目	保 存	採 取 方 法
F50  便中ヘモグロビン 専用容器 貯蔵方法 室温 有効期限 製造から 1年	便中ヘモグロビン (特異的便潜血反応)	冷蔵	採便スティックの溝が埋まる程度に便の表面をまんべんなくこすり取る。(取りすぎ、少なすぎは不可) キャップを容器に差込しっかりしめて下さい。(容器内の液を捨てないで採取して下さい。)

容器形態	検査項目	保存
F30 旧容器記号 d9 	便中カルプロテクチン〔FEIA〕	凍結
	採取方法	
	 1. キャップの青色部分を押さえながら、その上の水色部分を左に回し、スティックを引き抜きます。	 2. スティック先端の4つの溝が、十分に埋まるように便をこすり取ります。
	 3. スティックの先端についた便をトイレトペーパー等で取り除きます。	 4. スティックを容器に差し込み、キャップの水色部分が青色部分にカチッと合まるまで右に回します。
●注意事項 容器中の保存液が、目や口に入ったり皮膚に付着したりしないようご注意ください。誤って付着した場合は水で十分に洗い流してください。		

内容
トリス緩衝液
BSA
アジ化ナトリウム
(0.1%以下)
貯蔵方法 冷蔵
有効期間 製造から 24ヵ月

容器形態	検査項目	保存	採取方法
F80 旧容器記号 d8 	便中ヘモグロビン及びトランスフェリン	冷蔵	●採取方法 1. キャップを回してスティックを取り出し、便の表面をまんべんなくこすり採ります。 2. 1回だけ差し込み、キャップをしっかり締めます。 3. 袋に入れ冷蔵保存し、ご提出ください。 ●注意事項 1. 容器の中の保存液は捨てないでください。 2. 便は溝が埋まるくらい採ります。採りすぎ、少なすぎにご注意ください。 3. 排便時の食事制限はありません。
	便中ヘモグロビン及びトランスフェリン(1回目)		
	便中ヘモグロビン及びトランスフェリン(2回目)		
	便中ヘモグロビン定性〔金コロイド法〕		
	便中ヘモグロビン定性〔金コロイド法〕 1回目		
	便中ヘモグロビン定性〔金コロイド法〕 2回目		
	便中ヘモグロビン定量〔金コロイド法〕 1回目		
内 容 保存液 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年	便中ヘモグロビン定量〔金コロイド法〕 2回目		

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
H00 旧容器記号 H 	白血病・リンパ腫解析検査 (LLA)CD45ゲーティング (造血器悪性腫瘍細胞検査)	骨髓液 各1.0	骨髓液 (保存液加) 各1.0		指定の採取量を採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。
	多発性骨髄腫解析検査 CD38マルチ解析 (造血器悪性腫瘍細胞検査)				
	染色体 G-Banding				
	染色体SKY (血液疾患)				
	TCF3-PBX1 t(1;19)転座				
	CKS1B 1q21増幅	リンパ節 5×5× 5mm	リンパ節 (保存液加) 5×5×5mm		リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。
	ALK 2p23転座				
	GATA2-MECOM inv(3)逆位, t(3;3)転座	骨髓液 各1.0	骨髓液 (保存液加) 各1.0	冷蔵	骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。
	BCL6 3q27転座	リンパ節 5×5× 5mm	リンパ節 (保存液加) 5×5×5mm		リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。
	IGH-FGFR3 t(4;14)転座	骨髓液 各1.0	骨髓液 (保存液加) 各1.0		骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。
	FIP1L1-PDGFR del(4)長腕欠失 (4q12欠失)				
	CSF1R del(5)長腕欠失				
	EGR1 del(5)長腕欠失				
	PDGFRB 5q32転座				
	D7S486 del(7)長腕欠失/ 7染色体(7モノソミー)				
	血液疾患染色体 8染色体				

保存液入り
(容器容量5mL)

内 容

RPMI-1640
FBS
硫酸カナマイシン
ノボヘパリンNa
炭酸水素Na
HEPES

貯蔵方法

凍結

有効期間

色が薄いピンク
の状態で使用し
てください。(凍
結時は淡黄色で
すが解凍すると
薄いピンク色に
戻ります。)

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法	
H00 旧容器記号 H  保存液入り (容器容量5mL) 内 容 RPMI-1640 FBS 硫酸カナマイシン ノボヘパリンNa 炭酸水素Na HEPES 貯蔵方法 凍結 有効期間 色が薄いピンク の状態で使用し てください。(凍 結時は淡黄色で すが解凍すると 薄いピンク色に 戻ります。)	MYC 8q24転座	骨髓液 1.0	骨髓液 (保存液加) 1.0	冷蔵	骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。	
	IGH-MYC t(8;14)転座	リンパ節 各5×5×5mm	リンパ節 (保存液加) 各5×5×5mm		リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。	
		RUNX1-RUNX1T1 (AML1-MTG8) t(8;21)転座	骨髓液 各1.0		骨髓液 (保存液加) 各1.0	骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
		FGFR1 8p11.2転座				
		BCR-ABL1 t(9;22)転座				
	KMT2A(MLL) 11q23.3転座					
	IGH-CCND1 (IGH-BCL1) t(11;14)転座	リンパ節 5×5×5mm	リンパ節 (保存液加) 5×5×5mm		リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。	
		NUP98 11p15転座	骨髓液 各1.0		骨髓液 (保存液加) 各1.0	骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	BIRC3-MALT1 (API2-MALT1) t(11;18)転座	リンパ節 5×5×5mm	リンパ節 (保存液加) 5×5×5mm		リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。	
		ATM del(11)長腕欠失	骨髓液 各1.0		骨髓液 (保存液加) 各1.0	骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	血液疾患染色体 12染色体					
	ETV6-RUNX1 (TEL-AML1) t(12;21)転座					
	D13S319 del(13)長腕欠失					
	IGH-BCL2 t(14;18)転座	リンパ節 5×5×5mm	リンパ節 (保存液加) 5×5×5mm		リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。	
	IGH-MAF t(14;16)転座	骨髓液 各1.0	骨髓液 (保存液加) 各1.0		骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。	
						PML-RARA t(15;17)転座
						CBFB inv(16)逆位、 t(16;16)転座

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
H00 旧容器記号 H  保存液入り (容器容量5mL) 内 容 RPMI-1640 FBS 硫酸カナマイシン ノボヘパリンNa 炭酸水素Na HEPES 貯蔵方法 凍結 有効期間 色が薄いピンク の状態で使用し てください。(凍 結時は淡黄色で すが解凍すると 薄いピンク色に 戻ります。)	TP53 del(17)短腕欠失	骨髓液 1.0	骨髓液 (保存液加) 1.0		骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	MALT1 18q21転座	リンパ節 5×5× 5mm	リンパ節 (保存液加) 5×5×5mm		リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
		骨髓液 1.0	骨髓液 (保存液加) 1.0		骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	BCL2 18q21転座	リンパ節 5×5× 5mm	リンパ節 (保存液加) 5×5×5mm		リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	del(20)長腕欠失				
	血液疾患染色体 X染色体	骨髓液 各1.0	骨髓液 各1.0		骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	血液疾患染色体 Y染色体				
	異性間BMT(骨髓移植) (X,Y染色体)				
	del(1)短腕欠失	組織 各5×5× 5mm	組織 (保存液加) 各5×5×5mm	冷蔵	組織5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	MYCN 2p24増幅				
		骨髓液 1.0	骨髓液 (保存液加) 1.0		骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	del(19)長腕欠失	組織 各5×5× 5mm	組織 (保存液加) 各5×5×5mm		組織5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	EWSR1 22q12転座				
	FLT3/ITD 変異解析				骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	FLT3変異解析 ITD/TKD				
	NPM1変異解析				左図の容器に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	KIT シーケンス解析(白血病)	骨髓液 各1.0	骨髓液 (保存液加) 各1.0		
	白血病キメラ スクリーニング(定量)				指定の採取量を採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
H00 旧容器記号 H 	保存液入り (容器容量5mL) 内 容 RPMI-1640 FBS 硫酸カナマイシン ノボヘパリンNa 炭酸水素Na HEPES 貯蔵方法 凍結 有効期間 色が薄いピンク の状態で使用し てください。(凍 結時は淡黄色で すが解凍すると 薄いピンク色に 戻ります。)	WT1 mRNA定量	骨髄液 各1.0	骨髄液 (保存液加) 各1.0	冷蔵 骨髄液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
		Major BCR-ABL1 mRNA定量			
		Major BCR-ABL1 mRNA(%)			
		Major BCR-ABL1 mRNA定性			
		Major BCR-ABL1 ABL1変異解析			
		min BCR-ABL1 (%)マルク			
		minor BCR-ABL1 mRNA定量			
		minor BCR-ABL1 mRNA定性			
		micro BCR-ABL1 mRNA定性			
		minor BCR-ABL1 ABL1変異解析			
		TCF3-PBX1 mRNA定量			
		TCF3-PBX1 mRNA定性			
		PML-RARA mRNA定量			
		PML-RARA mRNA定性			
		CBFB-MYH11 mRNA定量			
		CBFB-MYH11 mRNA定性			
		RUNX1-RUNX1T1 mRNA定量			
		RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性			
		RUNX1-MECOM mRNA定性			
		ETV6-RUNX1 mRNA定量			
		ETV6-RUNX1 mRNA定性			
		KMT2A-AFF1 mRNA定量			
		KMT2A-AFF1 mRNA定性			
		KMT2A-AFDN mRNA定量			
		KMT2A-AFDN mRNA定性			

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
H00 旧容器記号 H 	保存液入り (容器容量5mL)				骨髓液1.0mLを左図の容器に無菌的に採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	KMT2A-MLLT3 mRNA定量				
	KMT2A-MLLT3 mRNA定性				
	KMT2A-MLLT1 mRNA定量				
	KMT2A-MLLT1 mRNA定性				
	NUP98-HOXA9 mRNA定量				
	STIL-TAL1 mRNA定量				
	DEK-NUP214 mRNA定量				
	DEK-NUP214 mRNA定性				
	T細胞レセプターβ鎖Cβ1再構成				
	T細胞レセプターβ鎖Jβ1再構成				
	T細胞レセプターβ鎖Jβ2再構成				
	T細胞レセプターγ鎖Jγ再構成				
	T細胞レセプターδ鎖Jδ1再構成				
	免疫グロブリンH鎖JH再構成				
	免疫グロブリンH鎖Cμ再構成				
	免疫グロブリンL鎖Jκ再構成				
	免疫グロブリンL鎖Cκ再構成				
	免疫グロブリンL鎖Cλ再構成				
	キメリズム解析移植前レシピエント〔PCR〕				指定の採取量を採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	キメリズム解析移植前ドナー〔PCR〕	臍帯血 1.0	臍帯血 (保存液加) 1.0		
	キメリズム解析移植後〔PCR〕	骨髓液 1.0	骨髓液 (保存液加) 1.0		

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
H20 旧容器記号 H2 	保存液入り (容器容量10mL) 内 容 FBS PBS 硫酸カナマイシン 貯蔵方法 凍結 有効期間 製造から 1年 悪性リンパ腫解析検査 (MLA)CD45ゲーティング (造血器悪性腫瘍細胞検査) 悪性リンパ腫解析検査 7AAD解析 (造血器悪性腫瘍細胞検査)	リンパ節 各5×5× 5mm	リンパ節 (保存液加) 各5×5×5mm	冷蔵	リンパ節5×5×5mmを左図の容器に浮遊させ、冷蔵保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。
容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
M30 旧容器記号 r3 	除蛋白液入り (内容量1mL) 内 容 0.8N過塩素酸 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造から 1年 乳酸 ピルビン酸	血液 各1.0	速やかに遠心 除蛋白液 各0.4	冷蔵	採血後、直ちに正確に血液1.0mLを専用容器に加え、充分攪拌後3000rpm5分間遠心分離し、その上清液をご提出ください。
容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
M40 旧容器記号 r4 	除蛋白液入り (内容量4mL) 内 容 タングステン酸Na、 硫酸 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造から 1年 アンモニア	血液 1.0	速やかに遠心 除蛋白液 3	凍結	採血後、直ちに正確に血液1.0mLを専用容器に加え、充分攪拌後3000rpm5分間遠心分離し、その上清液をご提出ください。

容器の取り扱い方法

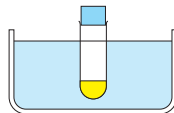
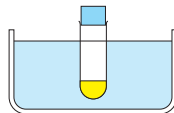
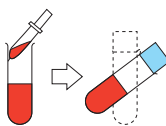
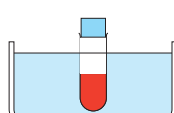
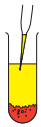
容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
M50 旧容器記号 r5 	除蛋白液入り (内容量0.5mL) 内 容 0.8N過塩素酸 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造から 1年	ビタミンC (アスコルビン酸) (遮光)	血清 0.5	除蛋白上清 0.5 (凍結)	採血後、直ちに血清分離し、正確に血清 0.5mLを専用容器に加え、充分攪拌後、 3000rpm5分間遠心分離し、その上清液を 遮光ポリスピッツ(ASS)に移し替え、凍結 してご提出ください。

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PAC 旧容器記号 B 	ACD-A保存液入り 内 容 ACD-A保存液 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年 (アルミ包装 開封後1ヵ月)	PAIgG (血小板関連IgG)	血液 7.5	血液 (ACD-A液加) 7.5 (冷蔵)	指定の採血量を採血し、左図の容器に注入 し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 (注)末梢血の血小板数が $3 \times 10^4/\mu\text{L}$ 以下の 場合は、専用容器2本を使用し、必ず10mL 以上採血してください。

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PAP 旧容器記号 D 	EDTA-2Na+ アプロチニン入り (真空採血量3mL)	副甲状腺ホルモン 関連蛋白(PTHrP)	冷却 遠心 血漿 0.5	(凍結)	左図の容器に採血し、よく混和させ、低温 (4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
	内 容 EDTA-2Na 3.75mg アプロチニン (1500単位) 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年		速やかに 冷却遠心 血漿 0.5		左図の容器に採血し、よく混和させ、低温 (4℃)で血漿分離し、直ちに凍結保存してく ださい。
			速やかに 冷却遠心 血漿 0.5		安静時に指定の採取量を左図の容器に採血 し、よく混和させ、低温(4℃)で血漿分離し てください。 血漿は必ず凍結保存してください。

容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
PAR 旧容器番号 B1 	ACD-A保存液入り 内 容 ACD-A保存液 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年 (アルミ包装 開封後 1ヵ月)	フローサイト クロスマッチ (リンパ球交差試験)	血液 7.5	血液 (ACD-A液加) 7.5	室温 指定の採血量を採血し、左図の容器に注入し、よく混和させ、室温保存してください。

容器形態	検査項目	保存	採取方法																															
PBT 旧容器記号 Q  (真空採血禁止) 抗血小板剤入り 内 容 テオフィリン アデノシン ジピリダモール クエン酸ナトリウム クエン酸 貯蔵方法 遮光・冷蔵 有効期間 製造から 1年 <td rowspan="5">β-トロンボ グロブリン(β-TG)</td> <td rowspan="5">凍結</td> <td></td> <td>あらかじめ専用容器(PBT)を冷却しておいてください。 砕氷水の水面より専用容器中の液面が下になるようにしてください。 角氷は使用しないでください。</td>	β-トロンボ グロブリン(β-TG)	凍結		あらかじめ専用容器(PBT)を冷却しておいてください。 砕氷水の水面より専用容器中の液面が下になるようにしてください。 角氷は使用しないでください。																														
				できるだけ20ゲージ(19～21ゲージでも可)の針を用いたプラスチック注射器で血液3.0mLを採取してください。(採血にあたって、専用容器(PBT)を使用しての直接採血は絶対にしないでください。)	真空採血管、カテーテルおよび他の方法は使用しないでください。また、駆血帯も使用しないでください。10mL以上の採血は避け、出来るだけ血管壁を損傷しないようにスムーズに採取してください。																													
				針を取って静かに専用容器(PBT)のフタを開け、血液2.7mLを静かに移し、ゆっくり2～3回転倒混和してください。	指定の専用容器以外は使用しないでください。 専用容器は振とうさせないでください。																													
				専用容器を速やかに砕氷と水の入ったラックに入れてください。	砕氷水の水面より専用容器中の血液の液面が下になるようにしてください。																													
			以上の操作を2分以内に行ってください。																															
血小板第4因子 (PF-4)			砕氷水に15～30分間放置後、採取血液を2000Gで30分間、2～4℃で遠心分離してください。(右表は2000Gにおけるローターの回転半径と回転数との関係を示します。) * 遠心機回転数の計算式 G=1.118×10 ⁻⁵ ×r×n ² r: 遠心機のローター半径(cm) n: 1分間あたりの回転数(rpm)	1時間以内に必ず冷却下で遠心分離してください。																														
			上清の表面よりやや下の部分をマイクロピペットで1項目につき0.3mL検体容器へ採取してください。血餅に近い部分からの採取は絶対に避けてください。 (血漿の全量採取は避けてください。) 検体は必ず凍結保存してください。(1ヵ月安定)	<table><tr><th colspan="4">換 算 表</th></tr><tr><th>半 径 (cm)</th><th>回転数 (rpm)</th><th>半 径 (cm)</th><th>回転数 (rpm)</th></tr><tr><td>10</td><td>4200</td><td>22</td><td>2800</td></tr><tr><td>12</td><td>3800</td><td>24</td><td>2700</td></tr><tr><td>14</td><td>3500</td><td>26</td><td>2600</td></tr><tr><td>16</td><td>3300</td><td>28</td><td>2500</td></tr><tr><td>18</td><td>3100</td><td>30</td><td>2400</td></tr><tr><td>20</td><td>3000</td><td></td><td></td></tr></table>	換 算 表				半 径 (cm)	回転数 (rpm)	半 径 (cm)	回転数 (rpm)	10	4200	22	2800	12	3800	24	2700	14	3500	26	2600	16	3300	28	2500	18	3100	30	2400	20	3000
換 算 表																																		
半 径 (cm)	回転数 (rpm)	半 径 (cm)	回転数 (rpm)																															
10	4200	22	2800																															
12	3800	24	2700																															
14	3500	26	2600																															
16	3300	28	2500																															
18	3100	30	2400																															
20	3000																																	

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PC2 旧容器記号 K 	ヘパリン	血液 各1.8	速やかに遠心 血漿 0.3	凍結	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5～6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。 (複数の検査項目をご依頼される場合で、採血量が1.8mL以上の場合、(PC5)の容器をご利用ください。) 〔注意事項〕 *トータルPAI-1につきましては以下の点にご注意ください。 1.採取容器は(PC2)を用い、必ず冷却遠心してください。室温遠心や容器(PC5)での採血はデータが高値となるため、避けてください。 2.速やかに分離できない場合は、氷水中に保存し、1時間以内に分離してください。
	活性化部分 トロンボプラスチン時間 (APTT)				
	プロトロンビン時間 (PT)		速やかに遠心 血漿 各0.5		
	フィブリノーゲン (FIB)				
	可溶性フィブリンモノマー 複合体(SFMC)		速やかに遠心 血漿 0.4		
	フィブリンモノマー 複合体定量		速やかに遠心 血漿 0.5		
	FDP定量		速やかに遠心 血漿 0.3		
	Dダイマー		速やかに遠心 血漿 0.5		
	プロトロンビン フラグメントF1+2		速やかに遠心 血漿 0.3		
	アンチトロンビンⅢ (ATⅢ)				
	トロンビン・ アンチトロンビンⅢ 複合体(TAT)		速やかに遠心 血漿 各0.5		
	プラスミノーゲン				
	アンチプラスミン (α_2 プラスミンインヒビター)				
	α_2 プラスミンインヒビター・ プラスミン複合体(PICテスト)		速やかに遠心 血漿 0.2		
3.2%クエン酸 ナトリウム入り (真空採血量1.8mL) 内 容 3.2%クエン酸Na 0.2mL 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から1年 (25本入りプラスチックケース 開封後1ヵ月)	トータルPAI-1 (tPA・PAI-1複合体)		速やかに冷却遠心 血漿 0.5		
	活凝 第Ⅷ因子(F8) 性固 〔合成基質法〕 検因 第Ⅸ因子(F9) 査子 〔合成基質法〕		速やかに遠心 血漿 各0.3		

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PC2 旧容器記号 K 	3.2%クエン酸 ナトリウム入り (真空採血量1.8mL) 内 容 3.2%クエン酸Na 0.2mL 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年 (25本入りブラ スティックケー ス開封後1ヵ月)	第Ⅱ因子 (F2)			3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液 1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5～6回 繰り返した後、速やかに血漿分離してくだ さい。 血漿は必ず凍結保存してください。 (複数の検査項目をご依頼される場合で、採 血量が1.8mL以上の場合、(PC5)の容器をご 利用ください。)
		第Ⅴ因子 (F5)			
		第Ⅶ因子 (F7)			
		第Ⅷ因子 (F8)			
		凝固因子 活性検査 第Ⅸ因子 (F9)	速やかに 遠心	血漿 各0.4	
		第Ⅹ因子 (F10)			
		第Ⅺ因子 (F11)			
		第Ⅻ因子 (F12)			
		第Ⅼ因子 (F13)			
		フォン・ウィルブランド 因子抗原定量	速やかに 遠心	血漿 0.2	
		フォン・ウィルブランド 因子活性 (リストセチンコファクター)	速やかに 遠心	血漿 0.5	
		フォン・ウィルブランド 因子マルチマー解析	速やかに 遠心	血漿 0.4	
		ADAMTS13-活性	速やかに 遠心	血漿 0.3	
		ADAMTS13 インヒビター	速やかに 遠心	血漿 0.6	
		プロテインC (抗原量)	速やかに 遠心	血漿 0.3	
		プロテインC活性	速やかに 遠心	血漿 0.4	
		プロテインS (抗原量)	速やかに 遠心	血漿 0.2	
		プロテインS活性	速やかに 遠心	血漿 0.4	
		プロテインS (遊離型抗原量)	速やかに 遠心	血漿 0.2	
		トロンボモジュリン	速やかに 遠心	血漿 0.4	

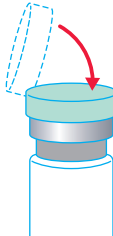
容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PC2 旧容器記号 (K) 	3.2%クエン酸 ナトリウム入り (真空採血量1.8mL) 内 容 3.2%クエン酸Na 0.2mL 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年 (25本入りプラ スティックケー ス開封後1ヵ月)	HIT抗体 (血小板第4因子・ ヘパリン複合体抗体)	速やかに遠心 血漿 0.5	凍結	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液 1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5～6回繰 り返した後、速やかに血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
		血液 各1.8	速やかに遠心 血漿 0.2		3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液 1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5～6回繰 り返した後、速やかに血漿分離してくださ さい。 血漿は必ず凍結保存してください。 (複数の検査項目をご依頼される場合で、採 血量が1.8mL以上の場合、(PC5)の容器をご 利用ください。)

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PC5 旧容器記号 (L) 	3.2%クエン酸 ナトリウム入り (真空採血量4.5mL) 内 容 3.2%クエン酸Na 0.5mL 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年 (25本入りプラ スティックケー ス開封後1ヵ月)	遮光 ビタミンK分画	速やかに遠心 血漿 2.0	凍結	3.2%のクエン酸ナトリウム0.5mLに血液 4.5mLの割合で採血し、転倒混和を5～6回繰 り返した後、速やかに血漿分離してくださ さい。 血漿は必ず「遮光ポリスピッツ」(ASS)にて ご提出ください。 血漿は必ず凍結保存してください。
	凝固抑制 因子検査 第Ⅷ(8) 因子 第Ⅸ(9) 因子	血液 各4.5	速やかに遠心 血漿 各1.0		3.2%のクエン酸ナトリウム0.5mLに血液 4.5mLの割合で採血し、転倒混和を5～6回繰 り返した後、速やかに血漿分離してくださ さい。 血漿は必ず凍結保存してください。
	ループスアンチ コアグラント		速やかに遠心 血漿 1.0		採血後、速やかに室温で1500G以上15分間 遠心後、パフィーコートより5mm以上、上 から血漿を採取して凍結保存にてご提出く ださい。血小板の混入は、測定結果に影響 しますのでご注意ください。 ※遠心機回転数の計算式 $G = 1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$ r:遠心機のローター半径(cm) n:1分間あたりの回転数 (rpm)

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PE2 旧容器記号 (T3) 	(真空採血量2mL) 内 容 ノボヘパリン 15IU 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年	エンドトキシン定量	血液 (ノボヘパリン加) 各2.0	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和してくださ さい。室温保存ではデータ影響が認められる ため、速やかに冷蔵保存してください。 β-D-グルカン以外との重複依頼は避けてく ださい。
	β-D-グルカン				左図の容器に採血し、よく混和してくださ さい。速やかに冷蔵保存してください。 エンドトキシン定量以外との重複依頼は避 けてください。

容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	採取方法
PE4 旧容器記号 T4  (真空採取量：4.0mL) 内容 安定化剤 0.1mL 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造から 1年	A液	透析液 (安定化剤入) 各4.0		冷蔵	1  PE4容器のカラーキャップを矢印の方向に引き上げ、アルミ部分を切らないように、(カラーキャップが完全に外に落ちないように)開け、ゴム栓部分を消毒用アルコール綿で拭きます。
	B液				2  無菌的に透析液を注射針付きのシリンジで採取し、PE4容器のゴム栓部に刺します。
	RO水				3  注入が終わりましたら、カラーキャップを元通りに被せ、直ちに4回ほど容器を振り、安定化剤を均質に混ぜ、速やかに冷蔵保存し、提出してください。
	調整液				
	その他				

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
PF2 旧容器記号 E 	フッ化Na入り (真空採血量2mL)	血液 1.5~2.0	血漿 0.5	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は冷蔵保存してください。
	内 容 フッ化Na 2.5mg ヘパリンNa 25uspu EDTA-2Na 7.4mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年				左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。
	グリコアルブミン				左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は冷蔵保存してください。

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PH5 旧容器記号 G 	γ-アミノ酪酸 (GABA)	血液 3.0	速やかに 遠心 血漿 1.0	凍結	左図の容器に採血し、よく混和させ、直ちに血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
	脂肪酸分画(24成分)	血液 各1.5~2.0	血漿 各0.5	冷蔵	早朝空腹時に左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は冷蔵保存してください。
	脂肪酸分画(4成分)				
	極長鎖脂肪酸	血液 4.5~5.0	血漿 2.0		左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は凍結保存してください。
	リポ蛋白リパーゼ (LPL)	血液 1.5~2.0	速やかに 冷却遠心 血漿 0.3	凍結	早朝空腹時にヘパリンを体重1kgあたり30単位静注し、15分後に左図の容器に採血し低温(4℃)で遠心分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
	ニコチン酸 (ナイアシン)	血液 (ヘパリン加) 1.5	冷蔵		左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。
	鉛(Pb)	血液 (ヘパリン加) 3.0			
	クロム	血液 (ヘパリン加) 0.7			
	カドミウム	血液 (ヘパリン加) 0.5			
	マンガン	血液 (ヘパリン加) 0.7			
	エタノール	血液 (ヘパリン加) 1.0	凍結	左図の容器に採血し、よく混和させた後、血液をポリスピッツに移し、必ず凍結保存してください。	
	ポリコナゾール	血液 各1.5~2.0	血漿 0.3	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は冷蔵保存してください。
	カルバマゼピン		血漿 各0.5		
	エトスクシミド				
	フェノバルビタール				
	フェニトイン		血漿 0.3		
	プリミドン				
	バルプロ酸		血漿 0.5		

ヘパリン入り
(真空採血量5mL)
内 容
ヘパリンNa
65IU
貯蔵方法
室温
有効期間
製造から 2年

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PH5 旧容器記号 G 					
	ガバペンチン				
	ラモトリギン				
	トピラマート				
	レベチラセタム				
	スチリペントール				
	ペランパネル		血漿 各0.3		
	ラコサミド				
	アミオダロン	血液 各1.5~2.0			
	ベプリジル				
	アブリンジン				
	ジソピラミド				
	プロカインアミド		血漿 各0.4		
	プロプラノロール				
	ピルシカイニド		血漿 各0.3		
	シベンゾリン				
	ピルメノール	血液 3.0~4.0	血漿 1.3		
	キニジン		血漿 0.4		
	フレカイニド		血漿 0.3		
	テオフィリン	血液 各1.5~2.0			
	メトトレキサート		血漿 各0.5		

ヘパリン入り
(真空採血量5mL)

内 容
ヘパリンNa
65IU
貯蔵方法
室温
有効期間
製造から 2年

冷蔵

左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。
血漿は冷蔵保存してください。

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法	
PH5 旧容器記号 G 	結核菌特異的 IFN- γ	血液 (ヘパリン加) 5.0		室温	左図の容器に採血し、よく混和させ、室温 保存(18～25℃)してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。	
	プレセプシン	血液 1.5～2.0	速やかに遠心 血漿 0.4	凍結	左図の容器に採血後、2～3回軽く転倒混和 し、速やかに血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。 ボルテックスミキサー等による激しい攪拌、 緩やかな長時間攪拌、凍結融解はデータが 高値となるため避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。	
	CD34定量	血液 (ヘパリン加) 5.0			左図の容器に採血し、よく混和させ、室温 保存してください。 DMSO含有の場合は、凍結保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。	
	赤血球表面マーカー検査 CD55	血液 (ヘパリン加) 各1.0		室温	左図の容器に採血し、よく混和させ、室温 保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。	
	赤血球表面マーカー検査 CD59					
	白血病・リンパ腫解析検査 (LLA)CD45ゲーティング (造血器悪性腫瘍細胞検査)	血液 (ヘパリン加) 各5.0				
	悪性リンパ腫解析検査 (MLA)CD45ゲーティング (造血器悪性腫瘍細胞検査)					
	T細胞百分率 B細胞百分率	血液 (ヘパリン加) 3.0			左図の容器に採血し、よく混和させ、室温 保存(17～25℃)してください。 なお、リンパ球が少ない場合は多めに採血 してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。	
	B細胞表面免疫 グロブリン (Sm-Ig)	IgG	血液 (ヘパリン加) 各1.0		左図の容器に採血し、よく混和させ、室温 保存(17～25℃)してください。 なお、リンパ球が少ない場合は多めに採血 してください。 (3項目以上依頼の場合は3.0mL) 検体は採取後、当日中にご提出ください。	
		IgA				
		IgM				
		IgD				
		K				
	L					
	モノクローナル抗体 によるリンパ球表面 マーカーの自動解析	血液 (ヘパリン加) 各3.0			室温	左図の容器に採血し、よく混和させ、室温 保存してください。 (10項目以上の場合は血液5.0mL採血してく ださい)。 検体は採取後、当日中にご提出ください。
Two-color解析に よるリンパ球表面 マーカー検査						
IgG-FcR ⁺ T細胞百分率	血液 (ヘパリン加) 1.0			左図の容器に採血し、よく混和させ、室温 保存(17～25℃)してください。 なお、リンパ球が少ない場合は多めに採血 してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。		
血小板表面マーカー検査 CD41	血液 (ヘパリン加) 各5.0			左図の容器に採血し、よく混和させ、室温 保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。		
血小板表面マーカー検査 CD42b						
Th1/Th2 (IFN- γ × IL-4/CD4)	血液 (ヘパリン加) 3.0					

ヘパリン入り
(真空採血量5mL)

内 容
ヘパリンNa
65IU
貯蔵方法
室温
有効期間
製造から 2年

ヘパリン入り
(真空採血量5mL)

内 容
ヘパリンNa
65IU
貯蔵方法
室温
有効期間
製造から 2年

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PH5 旧容器記号 G	サイトメガロウイルス 特異的CTL解析 (HLA-A*0201) サイトメガロウイルス 特異的CTL解析 (HLA-A*2402)	血液 (ヘパリン加) 各5.0		室温	左図の容器に採血し、よく混和させ、室温保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。
	G-Banding C-Banding 先天異常 染色体 Q-Banding 高精度分染法 染色体SKY (先天異常) 脆弱X染色体 (脆弱X症候群) 1染色体 (1p36欠失症候群) 4染色体 (ウォルフ・ヒルシュホーン症候群) 5染色体 (ノース症候群) 7染色体 (ウイリアムス症候群) 先天異常染色体 13染色体 13染色体 (先天性網膜芽細胞腫RB1) 15染色体 (ブラダーウィリ症候群) 15染色体 (アンジェルマン症候群) 17染色体 (ミラーディカー症候群) 先天異常染色体 18染色体 先天異常染色体 21染色体 22染色体(22q11欠失) (CATCH22) conotruncal anomaly face症候群 velo-cardio-facial症候群 DiGeorge症候群 先天異常染色体 X染色体 X染色体(ステロイドサル ファターゼ遺伝子STS)	血液 (ヘパリン加) 各3.0		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。



ヘパリン入り
(真空採血量5mL)
内 容
ヘパリンNa
65IU
貯蔵方法
室温
有効期間
製造から 2年

容器の取り扱い方法

容 器 形 態		検 査 項 目		採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PH5 旧容器記号 G 	へパリン入り (真空採血量5mL) 内 容 へパリンNa 65IU 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年	先天異常染色体 Y染色体	血液 (へパリン加) 各3.0			冷蔵 左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵 保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。	
		Y染色体(睾丸決定 遺伝子SRY)					
		X,Y染色体(身長 関連遺伝子SHOX)					
		血液疾患染色体 G-Banding	血液 (へパリン加) 各5.0				
		染色体SKY (血液疾患)					
		TCF3-PBX1 t(1;19)転座					
		CKS1B 1q21増幅					
		ALK 2p23転座					
		GATA2-MECOM inv(3)逆位, t(3;3)転座					
		BCL6 3q27転座					
		IGH-FGFR3 t(4;14)転座					
		FIP1L1-PDGFR del(4) 長腕欠失(4q12欠失)					
		CSF1R del(5)長腕欠失					
		EGR1 del(5)長腕欠失					
		PDGFRB 5q32転座					
		D7S486 del(7)長腕欠失/ 7染色体(7モノソミー)					
		血液疾患染色体 8染色体					
		MYC 8q24転座					
		IGH-MYC t(8;14)転座					
		RUNX1-RUNX1T1 (AML-MTG8) t(8;21)転座					
		FGFR1 8p11.2転座					
		BCR-ABL1 t(9;22)転座					

ヘパリン入り
(真空採血量5mL)

内 容
ヘパリンNa
65IU
貯蔵方法
室温
有効期間
製造から 2年

冷蔵

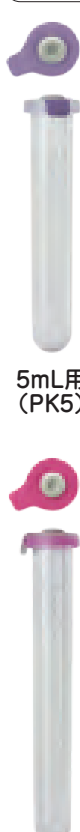
容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PH5 旧容器記号 G 	末梢血好中球 BCR-ABL1 t(9;22)転座	血液 (ヘパリン加) 各5.0		左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 血液は採取後、速やかにご提出ください。 採血後30時間以上経過した血液を使用した場合、細胞の形態的变化により、判定に影響がでる場合があるため検査できません。	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。
	KMT2A(MLL) 11q23.3転座				
	IGH-CCND1 (IGH-BCL1) t(11;14)転座				
	NUP98 11p15転座				
	BIRC3-MALT1 (API2-MALT1) t(11;18)転座				
	ATM del(11)長腕欠失				
	血液疾患染色体 12染色体				
	ETV6-RUNX1 (TEL-AML1) t(12;21)転座				
	D13S319 del(13)長腕欠失				
	IGH-BCL2 t(14;18)転座				
	IGH-MAF t(14;16)転座				
	PML-RARA t(15;17)転座				
	CBFB inv(16)逆位、 t(16;16)転座				
	TP53 del(17)短腕欠失				
	MALT1 18q21転座				
ヘパリン入り (真空採血量5mL) 内 容 ヘパリンNa 65IU 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年	BCL2 18q21転座 del(20)長腕欠失 血液疾患染色体 X染色体 血液疾患染色体 Y染色体 異性間BMT(骨髄 移植)(X,Y染色体)				
	FLT3変異解析 ITD/TKD	血液 (ヘパリン加) 3.0		左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。	

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PH9 旧容器記号 I 	PHAによるリンパ球 幼若化検査	血液 (ヘパリン加) 各5.0			左図の容器に採血し、よく混和させ、室温 保存(17～25℃)してください。 なお、リンパ球が少ない場合は多めに採血 してください。 (2項目同時依頼の場合は8.0mL) 検体は採取後、当日中にご提出ください。
	Con-Aによるリンパ球 幼若化検査				
	薬剤によるリンパ球 刺激試験(DLST)	1薬剤 血液 (ヘパリン加) 12.0	室温	1薬剤につき指定の容器(2本)に採血し、よく混和させ、必ず室温保存してください。 1.1薬剤増ごとに血液5.0mL必要となります。 2.1薬剤で500万個のリンパ球が必要となります。場合により検査に必要なリンパ球数が得られず、検査不能となる場合があります。 3.目安として白血球数が3000/ μ L以下の場合は倍量程度を採血しご提出ください。 なお、詳しい白血球数とリンパ球%が判明している場合は、担当営業員までお問い合わせください。 4.2項目以上ご依頼の場合は、必ず優先順位をご指示ください。 5.血液と同時にご依頼薬剤もご提出ください。 錠剤(1錠)、カプセル(1カプセル)、粉末(1回投与量程度1包)、リキッドタイプの飲み薬(0.5mL程度)、注射薬(1バイアル【アンプル】) 皮内反応用テストアンプルは微量のため検査できません。その他の薬剤以外で検査をご依頼の場合は、担当営業員までご連絡ください。 6.ヘパリンが起因薬剤と疑われる場合は全て専用容器(PNK)に採血しご提出ください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。 7.「麻薬及び向精神薬取締法」第一章第二条および「覚醒剤取締法」第三章および別表に掲げられている規制対象薬剤の受領はできません。 8.ご依頼の際は、麻薬、覚醒剤が含まれていないことをご確認いただき、依頼書などへご署名をお願いいたします。ご署名のない場合は、受領いたしかねます。	
MLC (リンパ球混合培養)	血液 (ヘパリン加) (受給者) 20.0 (提供者) 10.0 (非血縁者) 10.0	受給者(Recipient)血液20.0mL(2本)と提供者(Donor)血液10.0mL(1本)、非血縁者血液 10.0mL(1本)を左図の容器に採血し、よく混和させ、室温保存してください。 MLCはリンパ球を無菌状態で培養しますので、採取容器の開栓、検体の移し替えは避けてください。 容器のラベルに施設名、氏名を記入してください。 なお、リンパ球が少ない場合は多めに採血してください。			

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PHS 旧容器記号 G3 	ヘパリン入り (真空採血量4mL) 内 容 ヘパリンNa 83.6単位 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 18ヵ月 (アルミ包装 開封後1ヵ月)	遮光 コプロポルフィリン	血液 (ヘパリン加) 各1.5	冷蔵	左図の遮光容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 血液は必ず遮光容器にてご提出ください。
		遮光 ウロポルフィリン			
		遮光 プロトポルフィリン			
容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PK2 旧容器記号 g 	EDTA-2K入り (真空採血量2mL) 内 容 EDTA-2K 3.8mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年	血液計算8種 (5種, MCV, MCH, MCHC)	血液 (EDTA-2K加) 各2	冷蔵	左図の容器に採血し、直ちに5回以上軽く転倒混和させ、冷蔵保存してください。 溶血、凝固および凍結検体は測定できません。 検体は採取後、当日中にご提出ください。
		白血球数(WBC)			
		赤血球数(RBC)			
		血色素量(Hb)			
		ヘマトクリット値(Ht)			
		血小板数(PLT)			
		平均赤血球容積(MCV)			
		平均赤血球色素量(MCH)			
		平均赤血球血色素濃度(MCHC)			
		好酸球数			
		網赤血球数(RET)			
		末梢血液像			
		ABO式血液型			
		Rh(D因子)式血液型			
		直接クームス試験			

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PK5 PK7  5mL用 (PK5) 7mL用 (PK7)	EDTA-2K入り (真空採血量 5 mL または 7mL) 内 容 EDTA-2K 9.5mg または 13.3mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年	EGFR変異解析 v2.0 (血漿)	血液 10.0~14.0 血漿 5.0	凍結	左図の採血管で提出検体量(血漿5mL)を考慮した充分量を採血し、採血後、4時間以内に必ず血漿分離してください。 分離後、直ちに滅菌ポリスピッツ(Arr) 2本に2.5mLずつの血漿を分取し、凍結保存してください。血漿分取する際には、白血球成分由来のゲノムDNAの混入を防ぐためデカンテーションを行わないでください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体の採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PKF 旧容器記号 g1 	EDTA-2K入り (真空採血量2mL) 内 容 EDTA-2K 3.6mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年	ビタミンB₁ 遮光 ビタミンB₂ シクロスポリン タクロリムス エベロリムス	血液 (EDTA-2K加) 各0.5 血液 (EDTA-2K加) 各0.7 血液 (EDTA-2K加) 1.0	凍結	左図の容器に採血し、よく混和させ、凍結保存してください。 左図の容器に採血し、よく混和させ、必ず遮光ポリスピッツ (ASS) に移し替え、凍結してご提出ください。 左図の容器に採血し、よく混和させ、血液のまま凍結保存してください。他の検査項目との同時依頼はできませんのでご注意ください。 左図の容器に採血し、よく混和させ、血液のまま凍結保存してください。他の検査項目との同時依頼はできませんのでご注意ください。 左図の容器に採血し、よく混和させ、血液のまま凍結保存してください。他の検査項目との同時依頼はできませんのでご注意ください。

容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
PN2 PN5 旧容器記号 C  2mL用 (PN2)  5mL用 (PN5)	脛ホスホリパーゼ A ₂ (脛PLA ₂)	血液 各1.5~2.0	冷却 遠心 血漿 0.3	凍結	左図の容器に採血し、よく混和させ、低温 (4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
	アミノ酸分析 (39種類) [LC/MS]		速やかに 冷却遠心 血漿 各0.5		左図の容器に採血し、速やかによく混和さ せ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
	アミノ酸分析 (9種類) [LC/MS]		凍結	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿 分離してください。 血漿は冷蔵保存してください。
	アミノ酸分析2種類 (チロシン・フェニルアラニン) [LC/MS]				
	血中総ホモシステイン				
	ルフィナミド		血漿 0.3	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿 分離してください。 血漿は冷蔵保存してください。
	ミコフェノール酸		血漿 0.5		
	イマチニブ		血漿 0.3		
	副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)		速やかに 冷却遠心 血漿 0.5	凍結	早朝安静時に左図の容器に採血し、速やか によく混和させ、低温(4℃)で血漿分離して ください。 血漿は必ず凍結保存してください。
	副甲状腺ホルモン (Whole PTH)		血漿 各0.5	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿 分離してください。 血漿は冷蔵保存してください。
	コルチゾール				早朝安静時に左図の容器に採血し、よく混 和させ、血漿分離してください。 血漿は凍結保存してください。
	セロトニン	血液 (EDTA-2Na加) 1.0	血漿 各0.5	凍結	左図の容器に採血し、よく混和させた後、 血液をポリスピッツに移し、必ず凍結保存 してください。
	アルドステロン [CLEIA]	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿 分離してください。 血漿は凍結保存してください。			
	レニン濃度(ARC) [CLEIA]	血液 各1.5~2.0	凍結	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿 分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。	
	レニン活性(PRA) [EIA]			冷却 遠心 血漿 0.7	左図の容器に採血し、よく混和させ、低温 (4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
	アルドステロン [CLEIA]/ レニン濃度比	血液 各4.0	血漿 1.0	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿 分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。	
	アルドステロン [CLEIA]/ レニン活性比		冷却 遠心 血漿 1.2	左図の容器に採血し、よく混和させ、低温 (4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。	
	サイクリックAMP	血液 1.5~2.0	冷却 遠心 血漿 0.3	凍結	左図の容器に採血し、よく混和させ、低温 (4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。

EDTA-2Na入り
(真空採血量
2mLまたは5mL)

内 容
EDTA-2Na
3.0mgまたは
7.5mg
貯蔵方法
室温
有効期間
製造から 2年

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PN2 PN5 旧容器記号 C  2mL用 (PN2)  5mL用 (PN5)	ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)	血液 各1.5~2.0	速やかに遠心 血漿 0.5	凍結	安静時に左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存にて6時間以内に血漿分離してください。 血漿は速やかに凍結保存してください。
	APOA2 アイソフォーム		血漿 0.3	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は冷蔵保存してください。
	PIVKA-II		血漿 0.5		
	ガストリン放出ペプチド前駆体 (ProGRP)		血漿 0.4	凍結	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
	鳥特異的IgG抗体		血漿 0.5	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。血漿は冷蔵保存してください。
	Rh-Hr式血液型	血液 (EDTA-2Na加) 2.0			
	血液型不適合妊娠	血液 10.0~12.0 (別容器に採血) と 血液 2.0	速やかに遠心 血清 4.0 と 血液 (EDTA-2Na加) 2.0	室温	血液2.0mLを左図の容器に採血し、よく混和させ、室温保存で速やかにご提出ください。また、別容器に血液10.0~12.0mL採血し、速やかに血清分離し、冷蔵保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。
		血液 10.0~15.0 (別容器に採血) と 血液 2.0	速やかに遠心 血清 5.0 と 血液 (EDTA-2Na加) 2.0	冷蔵	
	不規則性抗体 (抗体同定・抗体価測定)			室温	血液2.0mLを左図の容器に採血し、よく混和させ、室温保存で速やかにご提出ください。また、別容器に血液10.0~15.0mL採血し、速やかに血清分離し、冷蔵保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。
	ペントラキシン3 (PTX3)	血液 各1.5~2.0	速やかに冷却遠心 血漿 0.3	凍結	左図の容器に採血し、速やかによく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
	IL-8 (インターロイキン-8)		血漿 0.5		
	多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー (8 color)	骨髄液 (EDTA-2Na加) 2.0		室温	骨髄液2.0mLを採取し、左図の容器(PN5もしくはPN2)に、よく混和させ、室温保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。
	FLT3/ITD 変異解析	血液 (EDTA-2Na加) 各2.0		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	NPM1変異解析				

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PN2 PN5 旧容器記号 C  2mL用 (PN2)  5mL用 (PN5)	RET遺伝子解析 (甲状腺髄様癌)	血液 (EDTA-2Na加) 各2.0		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	RET遺伝子シングル サイト解析 (甲状腺髄様癌)				
	TTR遺伝子解析 (家族性アミロイドーシス)				
	TACSTD2遺伝子解析 (角膜ジストロフィー)				
	脊髄小脳変性症 遺伝子解析				
	MEFV遺伝子解析 (家族性地中海熱)				
	SOD1遺伝子解析 (筋萎縮性側索硬化症)				左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 HLA検査2項目以上同時依頼の場合は血液2.0mLで検査可能です。 ただし、受給者の場合、化学療法などにより細胞数が減少し、DNAが回収できない場合がありますので細胞数2×10^6個を最低限としてご提出ください。白血球数(WBC)1000/μLを下回る受給者の場合は、血液2.0mL(PN2容器)を2本以上、または血液5.0mL(PN5容器)をご提出ください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	Y染色体微小欠失 (AZF欠失)				
	薬物代謝酵素チトクローム P450 CYP2C19 遺伝子多型解析				
	UGT1A1 遺伝子多型解析				
	NUDT15 遺伝子codon 139 多型解析				
	HLA-A,B (血清対応型タイピング)				
	HLA-A (DNAタイピング)				
	HLA-B (DNAタイピング)				
	HLA-C (DNAタイピング)				
	HLA-DR (血清対応型タイピング)				
	HLA-DRB1 (DNAタイピング)				
	HLA-DPB1 (DNAタイピング)				
	HLA-DQB1 (DNAタイピング)				

容器の取り扱い方法

容 器 形 態		検 査 項 目		採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PN5 旧容器記号 C 	EDTA-2Na入り (真空採血量5mL) 内 容 EDTA-2Na 7.5mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年	単純ヘルペス ウイルスDNA 定性	血液 (EDTA-2Na加) 各2.0		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵 保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響 がより大きくなりますので、検体採取にあ たっては取り扱いに充分ご注意ください。	
		水痘・帯状疱疹 ウイルスDNA 定性					
		サイトメガロウイルス pp65抗原(C7-HRP)	血液 (EDTA-2Na加) 3.0	室温	左図の容器に採血し、よく混和させ、室温 保存してください。採血後速やかにご提出 ください。 採血後24時間以内の血液を使用しない場合、 検出率の低下が認められます。		
		サイトメガロ ウイルスDNA 定性	血液 (EDTA-2Na加) 各2.0		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵 保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響 がより大きくなりますので、検体採取にあ たっては取り扱いに充分ご注意ください。	
		EBウイルスDNA 定量					血液 5.0
		ヒトヘルペス ウイルス6型 DNA 定性	血液 (EDTA-2Na加) 各2.0		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵 保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響 がより大きくなりますので、検体採取にあ たっては取り扱いに充分ご注意ください。	
		ヒトヘルペス ウイルス7型 DNA 定性					
		高感度PNH型 血球検査	血液 (EDTA-2Na加) 各5.0		冷蔵	必ず左図の容器で採血し、冷蔵保存にてご 提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。	
		JAK2V617F 遺伝子変異解析					
		MPN 遺伝子変異解析					
		SNRPN遺伝子解析 〔メチレーションPCR〕 (ブラダー・ウィリ症候群 アンジェルマン症候群)					
		ZEB2遺伝子解析 (モワット・ウィルソ ン症候群)					
		先天性QT延長 症候群遺伝子解析					
		HTT遺伝子CAG 反復配列解析 (ハンチントン病)					
		アンドロゲンレセプター 遺伝子CAG反復配列解析 (球脊髄性筋萎縮症)					

EDTA-2Na入り
(真空採血量5mL)
内 容
EDTA-2Na
7.5mg
貯蔵方法
室温
有効期間
製造から 2年

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PN5 旧容器記号 C 	HLA DNAタイピング [NGS-SBT法]	血液 (EDTA-2Na加) 5.0		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。ただし、受給者の場合、化学療法などにより細胞数が減少し、DNAが回収できない場合がありますので、白血球数(WBC)1000/ μ Lを下回る受給者の場合は、血液5.0mL(PN5容器)を2本以上ご提出ください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	EDTA-2Na入り (真空採血量5mL)	血液 各5.0	速やかに 冷却遠心 血漿 各0.5	凍結	- EDTA-2Na入り採血チューブ(左図)にて血液約5mLを採取してください。 - 採血直後、血液を2～3回軽く転倒混和してください(ローラーでの混和は行わないでください)。 - 混和後直ちに(1分以内)採血チューブを氷水中(血液の液面まで氷水につかる状態)で冷却(15分以上、遠心操作まで冷却)してください。 - 採血から8時間以内に冷却条件で遠心分離(4℃、3000回転、15分)または通常遠心分離(3000回転、15分、ローターが昇温してないこと)してください。 - 遠心後、直ちに上清の血漿を血液との界面に触れないように血漿上清の中央部から採取し、分注してください。 - 分注後、血漿を4時間以内に凍結保存してください。
	内 容 EDTA-2Na 7.5mg				
	貯蔵方法 室温				
	有効期間 製造から 2年				
	男性AIRS (認知機能評価あり)				
	女性AIRS (認知機能評価あり)				
	男性AIRS (認知機能評価なし)				
	女性AIRS (認知機能評価なし)				
	男性AICS(5種)				
	女性AICS(6種)				

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PN7 旧容器記号 A 	抗利尿ホルモン (AVP)	血液 各4.0~5.0	速やかに 冷却速心 血漿 各1.5	凍結	左図の容器に採血し、速やかによく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
	カテコールアミン3分画 A:アドレナリン NA:ノルアドレナリン DA:ドーパミン				左図の容器に採血し、速やかによく混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
	L-ドーパ				
	ドーパミン総		血漿 各1.5	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。 血漿は冷蔵保存してください。
	HVA				
	VMA		速やかに 冷却速心 血漿 1.5	凍結	左図の容器に採血し、速やかによく混和させ、低温(4℃)で900rpm20分間(PRP)または1500rpm10分間(P)で血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。
	セロトニン				
	5-HIAA	血漿 1.5			
	EDTA-2Na入り (真空採血量7mL)	単純ヘルペスウイルス DNA定量	血液 (EDTA-2Na加) 各5.0	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	内容 EDTA-2Na 10.5mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年	水痘・帯状疱疹 ウイルスDNA定量			左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	EBウイルスDNA (クロナリティ)	血液 (EDTA-2Na加) 7.0	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。		
	ヒトヘルペス ウイルス6型DNA 定量	血液 (EDTA-2Na加) 5.0	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。		
	HTLV-1核酸検出 (妊婦)定性	血液 (EDTA-2Na加) 各7.0	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存でご提出ください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。	
	HTLV-1 プロウイルスDNA 定性			左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。	
	HTLV- I (ATLV) プロウイルスDNA (クロナリティ)			左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。	



EDTA-2Na入り
(真空採血量7mL)

内 容
EDTA-2Na
10.5mg
貯蔵方法
室温
有効期間
製造から 2年

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PN7 旧容器記号 A 					左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。
	マイクローレイ染色体検査 (染色体構造変異解析)				
	KIT シーケンス解析 (白血病)				
	白血病キメラ スクリーニング(定量)				
	WT1 mRNA定量				
	Major BCR-ABL1 mRNA(IS)				
	Major BCR-ABL1 mRNA(%)				
	Major BCR-ABL1 mRNA定性				
	Major BCR-ABL1 ABL1変異解析				
	minor BCR-ABL1 (%)				
	minor BCR-ABL1 mRNA定量				
	minor BCR-ABL1 mRNA定性				
	micro BCR-ABL1 mRNA定性				
	minor BCR-ABL1 ABL1変異解析				
	TCF3-PBX1 mRNA定量				
	TCF3-PBX1 mRNA定性				
	PML-RARA mRNA定量				
	PML-RARA mRNA定性				
	CBFB-MYH11 mRNA定量				
	CBFB-MYH11 mRNA定性				
	RUNX1-RUNX1T1 mRNA定量				
	RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性				

EDTA-2Na入り
(真空採血量7mL)

内 容
EDTA-2Na
10.5mg
貯蔵方法
室温
有効期間
製造から 2年

血液
(EDTA-2Na加)
各7.0

冷蔵

左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。
検体は採取後、当日中にご提出ください。
他項目との重複依頼は避けてください。
本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PN7 旧容器記号 A	RUNX1-MECOM mRNA定性	血液 (EDTA-2Na加) 各7.0		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 検体は採取後、当日中にご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	ETV6-RUNX1 mRNA定量				
	ETV6-RUNX1 mRNA定性				
	KMT2A-AFF1 mRNA定量				
	KMT2A-AFF1 mRNA定性				
	KMT2A-AFDN mRNA定量				
	KMT2A-AFDN mRNA定性				
	KMT2A-MLLT3 mRNA定量				
	KMT2A-MLLT3 mRNA定性				
	KMT2A-MLLT1 mRNA定量				
	KMT2A-MLLT1 mRNA定性				左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。
	NUP98-HOXA9 mRNA定量				
	STIL-TAL1 mRNA定量				
	DEK-NUP214 mRNA定量				
	DEK-NUP214 mRNA定性				
	T細胞レセプターβ鎖Cβ1再構成				
	T細胞レセプターβ鎖Jβ1再構成				
	T細胞レセプターβ鎖Jβ2再構成				
	T細胞レセプターγ鎖Jγ再構成				
	T細胞レセプターδ鎖Jδ1再構成				
	EDTA-2Na入り (真空採血量7mL)				
	内 容 EDTA-2Na 10.5mg				
	貯蔵方法 室温				
	有効期間 製造から 2年				

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PN7 旧容器記号 A 	PRRT2遺伝子解析 (発作性運動誘発性 舞蹈アテトーゼ)	血液 (EDTA-2Na加) 各7.0		冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵 保存してください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響 がより大きくなりますので、検体採取にあ たっては取り扱いに充分ご注意ください。
	MECP2遺伝子解析 (レット症候群)				
	ジストロフィン遺伝子解析 (デュシェンヌ型筋ジストロフィー ベッカー型筋ジストロフィー)				
	フクチン遺伝子DNA挿入 (福山型先天性筋ジスト ロフィー)				
	キメリズム解析移植前 レシピエント(PCR)				
	キメリズム解析移植前 ドナー〔PCR〕				
EDTA-2Na入り (真空採血量7mL) 内 容 EDTA-2Na 10.5mg 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年	キメリズム解析移植後 〔PCR〕				左図の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵 保存してください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響 がより大きくなりますので、検体採取にあ たっては取り扱いに充分ご注意ください。

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PNK 旧容器記号 R 	保存液入り (真空採血量5mL) 内 容 保存液 0.7mL 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造から 1年 (アルミシート 開封後1ヵ月)	NK細胞活性	血液 (保存液加) 5.0	冷蔵	左図の容器に採血し、よく混和させ冷蔵保存してください。 なお、リンパ球の少ない患者さんは多めに採血してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
PSF 旧容器記号 P3 	EDTA - 2K + 血漿分離剤入り (真空採血量5mL) 貯蔵方法 4 ~ 25℃ 有効期間 製造から 1年	サイトメガロウイルス 核酸定量 HIV-1RNA定量	血液 各5.0 血漿 各1.8	凍結	指定の採取量を左図の容器に採血後、4 ~ 5回静かに転倒混和し、室温にて遠心分離しそのまま凍結してご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	検体の取り扱い方法																												
S09 S06  9mL用 (S09) 6mL用 (S06)	分離剤入り (真空採血量 9mL又は6mL) 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年	生化学検査一般 血清学的検査一般 その他	適量	適量																												
左図の容器に、検査項目に応じて必要量を採血した後、4～5回静かに転倒混和し、室温にて30～60分放置してください。 血液の凝固を確認後、遠心分離し容器A00（ポリスピッツ）に血清を分注しご提出ください。 検体量不足にならないようご注意ください。 遠心分離は、2000Gで10分間遠心してください。 (下表は2000Gにおけるローターの回転半径と回転数との関係を示しています。) 換 算 表 <table><tr><th>半径(cm)</th><th>回転数(rpm)</th><th>半径(cm)</th><th>回転数(rpm)</th></tr><tr><td>10</td><td>4200</td><td>22</td><td>2800</td></tr><tr><td>12</td><td>3800</td><td>24</td><td>2700</td></tr><tr><td>14</td><td>3500</td><td>26</td><td>2600</td></tr><tr><td>16</td><td>3300</td><td>28</td><td>2500</td></tr><tr><td>18</td><td>3100</td><td>30</td><td>2400</td></tr><tr><td>20</td><td>3000</td><td></td><td></td></tr></table>					半径(cm)	回転数(rpm)	半径(cm)	回転数(rpm)	10	4200	22	2800	12	3800	24	2700	14	3500	26	2600	16	3300	28	2500	18	3100	30	2400	20	3000		
半径(cm)	回転数(rpm)	半径(cm)	回転数(rpm)																													
10	4200	22	2800																													
12	3800	24	2700																													
14	3500	26	2600																													
16	3300	28	2500																													
18	3100	30	2400																													
20	3000																															

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
S3F S5F 旧容器記号 P1  3mL採血用 (S3F)  5mL採血用 (S5F)	HBV DNA定量 (IU)	血液 5.0	血清 1.8		指定の採取量を左図の容器に採血後、4～5回静かに転倒混和し、室温にて30～60分放置してください。凝固完了を確認後、遠心分離しそのまま凍結してご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
	HCV RNA コアジェノタイプ	血液 3.0	血清 0.5	凍結	
	HCV RNA定量	血液 5.0	血清 1.8		

凝固促進剤＋
血清分離剤入り
(真空採血量
3mLまたは5mL)

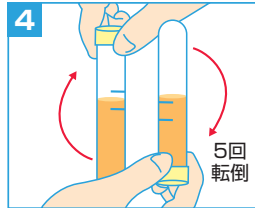
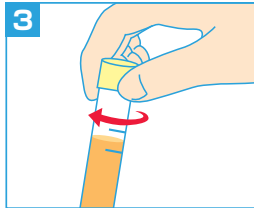
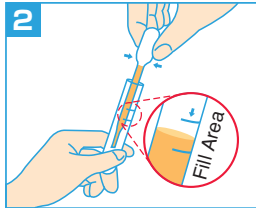
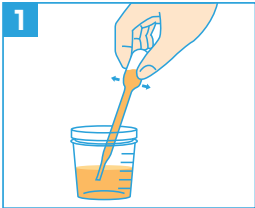
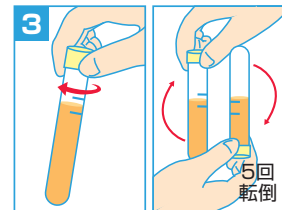
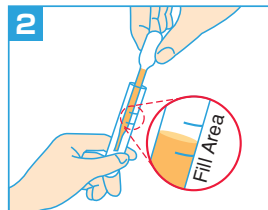
貯蔵方法
室温
有効期間
製造から 1年

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	検体の取り扱い方法																												
S9P S7P  10mL用 (S9P) 7mL用 (S7P)	分離剤なし (真空採血量 10mL又は7mL) 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年	薬物検査 その他	適量	適量 左図の容器に、検査項目に応じて必要量を採血した後、4～5回静かに転倒混和し、室温にて30～60分放置してください。 血液の凝固を確認後、遠心分離し容器A00（ポリスピッツ）に血清を分注しご提出ください。 遠心分離は、2000Gで10分間遠心してください。 (下表は2000Gにおけるローターの回転半径と回転数との関係を示しています。) 換 算 表 <table><tr><th>半径(cm)</th><th>回転数(rpm)</th><th>半径(cm)</th><th>回転数(rpm)</th></tr><tr><td>10</td><td>4200</td><td>22</td><td>2800</td></tr><tr><td>12</td><td>3800</td><td>24</td><td>2700</td></tr><tr><td>14</td><td>3500</td><td>26</td><td>2600</td></tr><tr><td>16</td><td>3300</td><td>28</td><td>2500</td></tr><tr><td>18</td><td>3100</td><td>30</td><td>2400</td></tr><tr><td>20</td><td>3000</td><td></td><td></td></tr></table>	半径(cm)	回転数(rpm)	半径(cm)	回転数(rpm)	10	4200	22	2800	12	3800	24	2700	14	3500	26	2600	16	3300	28	2500	18	3100	30	2400	20	3000		
半径(cm)	回転数(rpm)	半径(cm)	回転数(rpm)																													
10	4200	22	2800																													
12	3800	24	2700																													
14	3500	26	2600																													
16	3300	28	2500																													
18	3100	30	2400																													
20	3000																															

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
SZZ 旧容器記号 e  血清分離剤 凝固促進剤入り (真空採血量3mL) 内 容 トロンビン ヘパリン中和剤 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年	アルミニウム(AI)	血液 2.5~3.0	血清 0.6	冷蔵	コンタミネーション防止のため、シャントから滴下または真空採血してください。採血後は直ちに充分転倒混和し、遠心分離後そのまま冷蔵保存にてご提出ください。

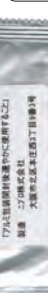
容 器 形 態	
U00 旧容器記号 Y 貯蔵方法 室温	 尿用容器

容器形態	検 査 項 目	保存
U10 旧容器記号 Y1 滅菌スポイト 滅菌カップ  内 容 グアニジン塩酸塩 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年	クラミジアトラコマティスDNA 淋菌DNA 淋菌およびクラミジアトラコマチスDNA同時同定 ●尿検体からの採取 最後の排尿から少なくとも1時間以上経過後の初尿を採取してください。 ① 滅菌済みカップに初尿を採取し、滅菌済みスポイトを用いて初尿を専用容器に移します。 ② 専用容器に記載されている2つのラインの間に収まるように初尿を加えてください。 ③ 専用容器のキャップをしっかりと閉めてください。 ④ 専用容器を5回転倒混和して室温にて提出してください。  ●うがい液検体からの採取 検体採取前の食事・うがい・歯磨き・ガムを噛むこと等は避けてください。 ① 滅菌生理食塩水をカップに15～20mL入れ口に含み、顔を上に向けて10～20秒間、勢いよくうがいを行います。 ② うがい液全量をコップに回収し、スポイトで専用容器に記載されている2つのラインの間に収まるように添加します。 ③ 専用容器のキャップをしっかりと閉め、5回転倒混和して室温保存にて提出してください。 ※ただし「腔トリコモナスおよびマイコプラズマジェニタリウム同時核酸検出」はご依頼できません。 	室温
容 器 形 態	容 器 形 態	
U20 旧容器記号 Y0 尿用容器 貯蔵方法 室温  プレグナンジオール、プレグナントリオール	U40 旧容器記号 Y4  尿中一般、尿沈渣用スピッツ 貯蔵方法 室温	

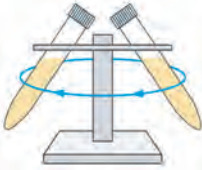
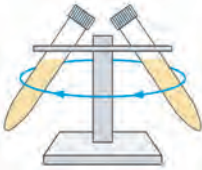
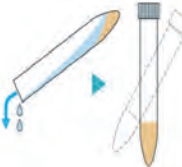
容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
U50 旧容器記号 Y5 	保存剤入り (容器容量10mL) 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年 尿中ミオグロビン [CLEIA]		部分尿 6	冷蔵	採取した尿を速やかに専用容器(U50)のラベルに印刷してある線まで入れ、よく混和させ冷蔵保存にてご提出ください。 凍結保存は避けてください。

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
U70 旧容器記号 Y7 	Tris+Hcl入り (容器容量10mL) 内 容 1.5M Tris-Hcl 0.5mL 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年 尿中Ⅳ型コラーゲン		部分尿 5	冷蔵	早朝一番尿を採取し、左図の容器に注入し、よく混和させ、冷蔵保存してください。 凍結保存および他項目との重複依頼は避けてください。

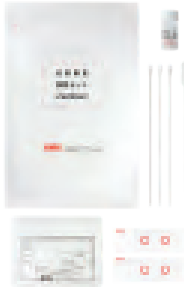
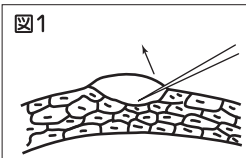
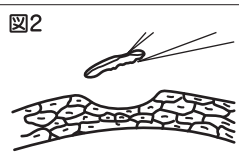
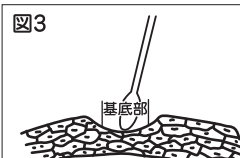
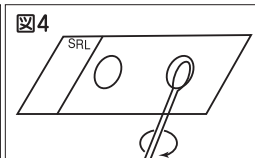
容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
U90 旧容器記号 b2 	抗プラスミン剤入り 内 容 アプロチニン 精製ゼラチン デヒドロ酢酸 ナトリウム 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 2年 (アルミ包装 開封後1週間) FDP定量	部分尿 (新鮮尿) 2	部分尿 (上清) 0.5	凍結	新鮮尿を採取し、左図の容器に注入し、よく混和後、3000rpm5～10分間遠心分離してください。 上清(部分尿)は必ず凍結保存してください。

容器の取り扱い方法

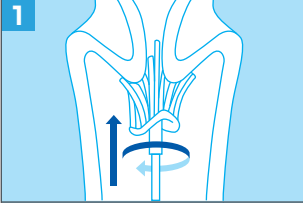
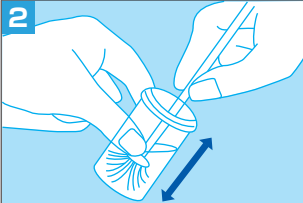
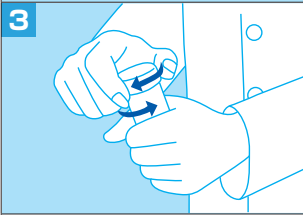
容 器 形 態	検 査 項 目	保 存	採 取 方 法	
UV6 旧容器記号 f3  内 容 メタノール55% 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年6ヵ月	細胞診（尿LBC）	室温		採取した適量の尿を、1500rpm 5分間遠心してください。
				上清を捨て、沈渣をよく混和さ せてください。
				沈渣をスポイトで専用容器に滴 下し、しっかり蓋を閉めてご提 出ください。 (沈渣が少ない場合は、専用容器 の内容液をスピッツに入れ、再 び専用容器に移してください。)
容 器 形 態	検 査 項 目	保 存	採 取 方 法	
UV7 旧容器記号 f7  内 容 メタノール55% 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年6ヵ月	膀胱癌FISH (ウロビジョン)	冷蔵		採取した適量(33mL以上)の尿 を、1500rpm5分間遠心してく ださい。
				上清を捨て、沈渣をよく混和さ せてください。
				沈渣をスポイトで専用容器に滴 下し、冷蔵保存してください。 検体は、蓋が最後まで閉まって いることを確認しパラフィルム を巻かずに提出ください。
●注意事項 提出容器内の細胞数が少ない場合、検査不能となる恐れがあり ますので、遠心後の上清を捨てる際はご注意ください。				

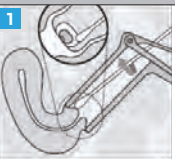
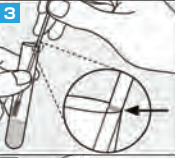
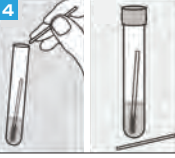
容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	保存	検体の取り扱い方法
V10 旧容器記号 V  ウイルス専用 保存液入り 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造から 6ヵ月	ウイルス分離	冷蔵	●患部ぬぐい液・水疱内容・糞便 等 滅菌綿棒でぬぐい、下図の採取方法でウイルス専用保存液に採取し、冷蔵保存してください。 綿棒は抜き 取ってください 管壁でよく擦ります きちんとキャップを 締めて冷蔵保存し 提出してください ウイルス専用保存液 便 数回突き刺します 表面を転がします
	ウイルス同定		●尿・髄液・胸水・鼻汁 等 下図の採取方法でウイルス専用保存液と等量の検体を採取し、冷蔵保存してください。 きちんとキャップを 締めて冷蔵保存し 提出してください 液状検体(尿等)は、 ウイルス専用保存液と 等量混合してください。 検体量が保存液より少 ない場合、保存液は 捨てずに、そのまま 提出可能な量の検体 を入れてください。 2.5mL 2.5mL ●組織 組織小片(5mm 角程度)をウイルス専用保存液に入れ、冷蔵保存してください。

容器形態	検査項目	保存
V30 旧容器記号 W1	単純ヘルペスウイルス特異抗原 水痘・帯状疱疹ウイルス抗原	凍結
	●検体の採取方法 病巣基底細胞が多数得られるように採取してください。 早期の水疱病巣が検体として最適です。水疱内容液および膿は、検体として不適当です。 ①滅菌針を用いて、上部の皮あるいは痂皮を剥がします。(図1) ②病巣を覆っていた上部の皮を、ピンセット等で除去します。(図2) ③綿棒を精製水や生理食塩水で軽く湿らせます。 ④ウイルス感染細胞は、病巣基底部にありますので、病巣基底部全面を綿棒で強くぬぐいます。(図3) ●注意 膿がでている場合には綿棒でまず膿をぬぐい取り、別の綿棒で検体を採取してください。この時、病巣基底部をかき乱さないよう注意してください。 ●操作法 ●検体の塗抹 ①綿棒を回転させながらスライドガラスの2個の円内に塗りつけます。このとき綿棒は、スライドガラスに平行にして、全表面が触れるように塗抹します。不均一にならないように注意してください。(図4) ②綿棒をすてる前に検体が均一に広がっているかどうか確認します。均一になっていれば不透明に見えます。透明に見える部分があれば、そこへ綿棒をあてて再び塗抹します。 ③そのまま風乾します。 ④乾燥したスライドガラス上に充分な量(検体にゆきわたる)のアセトンを追加し、蒸発させます。 ・検体はスライドガラス2枚をご提出ください。 ●検体の保存 乾燥後のスライドガラスは、塗抹面を下にし、オブジェクトケースに入れ、検査項目名、病院名、氏名等を記入後、凍結保存してください。	
貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年	   	

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	保 存	採 取 方 法	
V41 旧容器記号 f6  内 容 メタノール55% 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年6ヵ月	ヒトパピローマウイルスDNA (16型、18型、その他 ハイリスクグループ)	室温	1	 ①子宮頸部の細胞を採取する 綿棒以外の採取器具(ブラシ、 スパーテル)を用いて細胞を採 取してください。
	ヒトパピローマウイルスDNA (ハイリスクグループ) (LBC)		2	 ②細胞を洗い落とす 採取器具を容器に入れ、容器 の底で採取器具の先端が広が るように10回程度押し付けた 後、強くかき回して採取した 細胞を洗い落としてください。
	ヒトパピローマウイルス(HPV) ジェノタイプ判定		3	 ③しっかりフタを閉める 採取器具を取り出し、蓋の黒 いラインが容器本体の黒いラ インを左に超えるように、しっ かり蓋を閉め、保存してくだ さい。 (注)採取器具の先端は容器に残 さないでください。
	細胞診(婦人科LBC ベセスダシステム)		[ご注意] 妊婦より細胞を採取する場合は、安全性を考慮し、ブラシ、ス パーテル等の採取器具の使用は避け、綿棒を使用してください。 ただし、綿棒で検査に必要な細胞量を採取するために、採取前 に別の綿棒で粘液を除去し、採取に使用した綿棒を保存液中で 十分にすすぎ、採取した細胞を洗い落としてください。容器に は綿棒の先端を残さないでください。また、綿棒では無理な力 がかかりますと折れる可能性がありますので充分にご注意くださ い。	
	細胞診 (婦人科 LBC)			

容器形態	検査項目	保存	採取方法	
V50 旧容器記号 F3 	クラミジア トラコマティス DNA	室温	1 	スワブ検体採取セット付属のドライスワブで子宮頸管とその周辺部の過剰な粘液を充分拭い取ります。このスワブは廃棄します。
	淋菌DNA		2 	付属のフロックスワブを子宮頸管内に挿入します。同じ方向に5回そっとスワブを回し、腔の粘液に触れないように注意してスワブを引き抜きます。
	淋菌およびクラミジア トラコマチスDNA 同時同定		3 	専用容器のキャップを開け、採取したフロックスワブの先端が容器内の溶液に浸からないように注意しながら入れ、柄につけられた線を容器の縁に合わせます。
	腔トリコモナスおよび マイコプラズマジェニタリウム 同時核酸検出		4 	専用容器の縁を利用してフロックスワブの柄につけられた線で折り入れ、手元に残った折られた柄は廃棄します。専用容器のキャップをしっかり閉め、室温保存で提出してください。
内 容 ゲアニジン塩酸塩 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年				

容 器 形 態

V60

旧容器記号

W3

内 容 保存液
貯蔵方法 室温
有効期間 製造から 3年



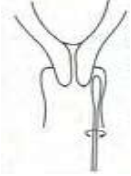
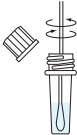
一般用



妊婦用

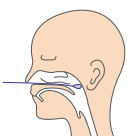
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ、ローリスクグループ)
[ご注意]検体採取時に無理な力がかかると、綿棒が折れる可能性がありますので、充分ご注意ください。

容器形態	容器形態
VP0 病理専用容器 旧容器記号 u5  10～20%ホルマリン液を充填して お使いください。 貯蔵方法 室温	VP1 凍結組織材料作製セット 旧容器記号 u1  貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年

容器形態	検査項目	保存	採取方法
VP5 旧容器記号 W5  内容 抽出液 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 1年	ヒト癌胎児性 フィブロネクチン	凍結	 専用綿棒を後腔円蓋に挿入し、約10秒間回して分泌物を吸収させます。 ※腔表面を強くこすらないでください。 ※粘液は混入させないでください。  検体抽出容器の白色キャップをはずし、分泌液を吸収させた綿棒を浸けて、5回程度綿棒を回します。(この際、容器から液がこぼれないよう注意してください。)  綿棒を検体抽出容器から引き抜きます。  検体抽出容器に検体濾過フィルターを取り付けます。  検体抽出液の全量を検体保存チューブに滴下し、チューブの蓋を締めて必ず凍結保存してください。 測定試料
●注意事項 ・検体の採取は腔洗浄前に行ってください。 ・検体中に精液が混入しているときは、その検体は使用しないでください。 ・検体中に0.1%以上の血液混入が認められた場合、正確な結果が得られない可能性があります。 ・検体は後腔円蓋から採取してください。 ・腔表面を強くこすらないように注意してください。			

容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目		保存
VP6 旧容器記号 W6	子宮頸管粘液中 顆粒球エラストーゼ		凍結
	採取方法		
	正しい採取部位	子宮腔部の粘液を綿球で丁寧に拭き取ります。 綿球を子宮頸管内腔に挿入します。注3) 綿棒をゆっくりと2回転させ、頸管粘液を採取します。注4)	●注意事項 1)子宮頸管部より採取してください。 2)検体採取は腔部洗浄前に行ってください。 3)綿棒が外子宮口周辺の分泌物や粘液に接触しないようにしてください。綿棒の先が初めて接触する部分が頸管内腔であるように挿入してください。 4)綿棒1回転あたり約5秒をかけ、自然に粘液を浸み込ませるようにしてください。少量の固形物が付着した場合には、接子等で取り除いてください。 5)採取した検体は15分以内に抽出作業を行ってください。 【ご注意】 検体採取時に無理な力が掛かりますと、綿棒が折れる可能性がありますので充分ご注意ください。
	抽出方法		
	① 抽出液の入った抽出容器の青色キャップをはずします。 ④ フィルターをセットします。	② 頸管粘液を採取した綿棒を浸けて、2～3分間放置します。その後、綿棒を20～30回細かく上下させて検体を抽出します。 ⑤ 検体抽出液を検体保存容器へ濾過します。この時の加圧は1回のみとし、5～7滴(約300μL)を分取します。必要量が得られない場合は検体採取からやり直してください。検体保存容器に白色キャップをして保存します。冷蔵(8℃)で3日以内、凍結(−15℃以下)で3ヵ月以内に測定してください。	③ 綿棒に浸み込んだ検体抽出液を抽出容器ごと指で押しつぶす等して絞り出した後、綿棒を取り除きます。
内容 抽出液 (リン酸バッファー) 貯蔵方法 室温 (抽出液は冷蔵) 有効期間 製造から 1年			

容器形態	検査項目		保存
VS4 旧容器記号 k9	百日咳菌DNA		凍結
	採取方法		
	1.綿球部分に触れないように、スワブの軸部分をつまんで取り出します。		
		2.被験者の頭を動かさないようによく押さえ、その後、スワブを後鼻腔に静かに挿入して粘液を採取します。	
		3.速やかにスワブを滅菌ポリスピッツ(ARR)の中に入れ、スワブの柄にあるスリットを容器の縁にあてて折ります。	
貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 5年		4.スワブを入れたまま容器のキャップをしっかりと閉め、凍結保存にて提出してください。	

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
X00 旧容器記号 ℓ 	結核菌群核酸同定 〔TRC〕	喀痰 各2.0		冷蔵	本検査方法ではコンタミネーションの影響 がより大きくなりますので、検体採取にあ たっては取り扱いに充分ご注意ください。
	MAC核酸同定 〔TRC〕				
	ニューモシスチス カリニ (P.jirovecii)DNA			凍結	他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響 がより大きくなりますので、検体採取にあ たっては取り扱いに充分ご注意ください。
	マイコプラズマ ニューモニエDNA				
	レジオネラDNA 定性	喀痰 1.0			

容 器 形 態

X10
旧容器記号
f

細胞診(喀痰集細胞法)
内 容 サコマノ氏液、粘液融解剤
貯蔵方法 室温(冷暗所)
有効期間 製造から 1年



容 器 形 態

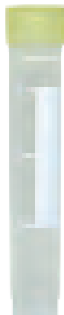
XC0
旧容器記号
L2

貯蔵方法 室温



結石専用容器

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
XR4 旧容器記号 L4 	貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 4年	コクリン-トモプロテイン (CTP)	中耳洗浄液 0.3	凍結	左図の容器に採取し、必ず凍結保存してください。

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
XR5 旧容器記号 L6 	CSF容器 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から 3年	β -アミロイド 1-42/1-40比	髄液 各2.5	冷蔵	左図の容器に採取し、必ず冷蔵保存してください。 髄液採取時、最初の1～2mLは使用しないでください。 必ず指定容器(XR5)に所定の量(2.5mL)を直接採取し、ご提出ください。容器の移し替えや量不足により、データ低下の恐れがあります。 血液の混入により検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
		リン酸化タウ		冷蔵	左図の容器に採取し、必ず冷蔵保存してください。 髄液採取時、最初の1～2mLは使用しないでください。 必ず指定容器(XR5)に所定の量(2.5mL)を直接採取し、ご提出ください。容器の移し替えや量不足でのご提出は避けてください。 血液の混入により検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
		タウ蛋白		凍結	左図の容器に採取し、直ちに凍結し、コンテナ容器セット(Z50)に入れ、必ず凍結保存してください。
		総タウ蛋白(AD)		冷蔵	左図の容器に採取し、必ず冷蔵保存してください。 髄液採取時、最初の1～2mLは使用しないでください。 必ず指定容器(XR5)に所定の量(2.5mL)を直接採取し、ご提出ください。容器の移し替えや量不足でのご提出は避けてください。 血液の混入により検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。

容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保存	検体の取り扱い方法
Z10 旧容器記号 t	好中球アルカリ フォスファターゼ (AL-P染色スコア)		血液塗抹標本 3枚		標本は新鮮血で作製し、抗凝固剤は使用しないでください。 アルカリフォスファターゼ固定方法 -3 ~ -5℃の固定液(ホルマリン原液 10mL+純メタノール90mL+1%酢酸1mL) (pH4.8)に5秒間浸漬、水洗15秒、乾燥。 室温保存してください。
	鼻汁中好酸球		鼻汁塗抹標本 2~3枚		標本は新鮮鼻汁で作製しご提出ください。 室温保存してください。
	BRAF exon15 V600E(SEQ)		未染標本スライド ・腫瘍部位確認用 切片の厚さ 3.4μm:各2枚 ・DNA抽出用 切片の厚さ 10μm:各5~10枚		未染標本スライドを作製し、スライドのおもてに切片の厚さを記入し、左図のオブジェクトケースに入れ、室温保存にてご提出ください。左記の単独または2項目同時のご依頼の際は、必ず「腫瘍部位確認用検査」を併せてご依頼くださいますようお願いいたします。
	c-kit遺伝子 変異解析(GIST)				
	一般細胞診(喀痰)		塗抹標本 (湿固定2枚)		塗抹標本を作製し、左図のオブジェクトケースに入れ、室温保存にてご提出ください。
	一般細胞診 (喀痰以外)		塗抹標本 (湿固定1枚、乾燥固定1枚)		
	細胞診(婦人科 ベセスダシステム)		塗抹標本 各(湿固定1枚)		
	細胞診(婦人科)				
	染色標本作製				
	CD30(IHC)		未染標本スライド 各2枚	室温	シラン等のコーティングスライドをご使用のうえ、組織は3 ~ 4μmの厚さに薄切し、スライドグラス端から50mm以内に貼り付けてください。
	悪性リンパ腫ALK タンパク(IHC)				
	エストロゲンレセ プター (IHC)		未染標本スライド 各4枚		シラン等のコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。組織は4μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
	プロゲステロンレ セプター (IHC)				
	エストロゲンレセ プター/プロゲス テロンレセプター (IHC)		未染標本スライド 6枚		
	乳癌HER2タンパク (IHC)4B5		未染標本スライド 各4枚		シラン等のコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、速やかにご提出ください。高温での乾燥は、60℃で30分以内の処理を推奨します。長時間、高温に置くことは避けてください。脱灰処理を行った検体については、正しい結果が得られないため、ご依頼いただけません。固定時間は10%中性緩衝ホルマリンで6 ~ 72時間以内(生検標本の場合は検体の大きさに準ずる。)が望ましいとされています。組織は4μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
	乳癌HER2/neu タンパク(染色法)		未染標本スライド 各4枚		シラン等のコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。組織は4μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
	乳癌HER2遺伝子 (FISH)				シラン等のコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。組織は4 ~ 6μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。



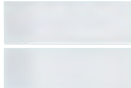
[オブジェクトケース]
プレパラート
(スライドグラス)
貯蔵方法
室温

容器の取り扱い方法

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
Z10 旧容器記号 t 	乳癌PD-L1タンパク (IHC)22C3	未染標本スライド 各4枚		室温	シラン等のコーティングスライドをご使用の うえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、 ご提出ください。組織は4～5μmの厚さに 薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
	乳癌 PD-L1タンパク (IHC)SP142				
	胃癌HER2遺伝子 (FISH)				シラン等のコーティングスライドをご使用の うえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、 速やかにご提出ください。組織剥離防止の為 にベーキングさせる場合でも、なるべく短時 間で(1時間以内)処理を行い、スライドグラ スをそれ以上の時間、高温に置くことは避け てください。なお胃がんHER2検査病理部会 作成の検査ガイドは10%中性緩衝ホルマリン で6～72時間以内(生検標本の場合は検体の大 きさに準ずる。但し、固定時間は6時間以上) 固定した材料が望ましいとされています。組 織を4～6μmの厚さに薄切してください。
	胃癌HER2タンパク (IHC)				シラン等のコーティングスライドをご使用の うえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、 速やかにご提出ください。組織剥離防止の為 にベーキングさせる場合でも、なるべく短時 間で(1時間以内)処理を行い、スライドグラ スをそれ以上の時間、高温に置くことは避け てください。なお胃がんHER2検査病理部会 作成の検査ガイドは10%中性緩衝ホルマリン で6～72時間以内(生検標本の場合は検体の大 きさに準ずる。但し、固定時間は6時間以上) 固定した材料が望ましいとされています。組 織を3～4μmの厚さに薄切してください。
	CLDN18タンパク (IHC)				
	胃癌PD-L1タンパク (IHC)22C3				シラン等のコーティングスライドをご使用の うえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、 ご提出ください。組織は4～5μmの厚さに 薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
	胃癌PD-L1タンパク (IHC)28-8				

[オブジェクトケース]
プレパレート
(スライドグラス)

貯蔵方法
室温

容 器 形 態	検 査 項 目	採取量 (mL)	提出量 (mL)	保 存	検体の取り扱い方法
Z10 旧容器記号 t 	食道癌PD-L1 タンパク(IHC)22C3	未染標本スライド 各4枚			シラン等のコーティングスライドをご使用の うえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、 ご提出ください。組織は4～5μmの厚さに 薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
	食道癌PD-L1 タンパク(IHC)28-8				
	子宮頸癌PD-L1 タンパク(IHC)22C3				
	MMRタンパク (IHC)	未染標本スライド 9枚	未染標本スライド 各4枚	室温	シラン等のコーティングスライドをご使用の うえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、 ご提出ください。組織は4μmの厚さに薄切 し、なるべく中央に貼り付けてください。
	肺癌 PD-L1タンパク (IHC)22C3	シラン等のコーティングスライドをご使用のうえ、 薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出くだ さい。組織は4～5μmの厚さに薄切し、フロスト 端から15mm以上、スライドガラス端から15mm 以上離してなるべく中央に貼り付けてください。			
	肺癌 PD-L1タンパク (IHC)28-8	シラン等のコーティングスライドをご使用の うえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、 ご提出ください。組織は4～5μmの厚さに 薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。			
	肺癌 PD-L1タンパク (IHC)SP142	Poly-L-lysineまたはシラン等のコーティン グスライドをご使用のうえ、組織切片を4μ mの厚さに薄切し、なるべくスライド中央に 貼り付け、37℃で24時間乾燥させた後、ご 提出ください。			
	肺癌 PD-L1タンパク (IHC)SP263	シラン等のコーティングスライドをご使用の うえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、 ご提出ください。組織は4～5μmの厚さに 薄切し、フロスト端から15mm以上、スライ ドガラス端から15mm以上離してなるべく中 央に貼り付けてください。			
	肺癌ALKタンパク (IHC)D5F3	未染標本スライド 各4枚			シラン等のコーティングスライドをご使用の うえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、 ご提出ください。組織は4～5μmの厚さに 薄切し、フロスト端から15mm以上、スライ ドガラス端から15mm以上離してなるべく中 央に貼り付けてください。
	メラノーマPD-L1 タンパク(IHC)28-8				
	頭頸部癌PD-L1 タンパク(IHC)22C3				
	頭頸部癌PD-L1 タンパク(IHC)28-8	未染標本スライド 6枚			
	CCR4タンパク (IHC)				

[オブジェクトケース]
プレパラート
(スライドガラス)

貯蔵方法
室温

容器の取り扱い方法

遺伝子関連検査の未染標本スライド提出に際しての留意事項

容 器 形 態	検 査 項 目	未染標本スライド (枚)	厚さ (μm)	検査に必要な 腫瘍細胞割合	保 存
(Z10) 旧容器記号 (t) 	EZH2遺伝子変異解析	5	5	15%以上	室温
	BRAF V600 変異解析(PCR)	5～10	10	50%以上	
	BRAF V600E遺伝子解析(rSSO)	5	5～10	10%以上	
	EGFR変異解析 v2.0	5～10	10	10%以上	
	ROS1融合遺伝子定性(FFPE)	5	5	30%以上	
	KRAS G12C変異解析	5	5	20%以上	
	IDH1/2遺伝子解析(グリオーマ)(FFPE)	5～10	4～10	20%以上	
	RAS・BRAF遺伝子変異解析	5	5～10	10%以上	
	マイクロサテライト不安定性(MSI)検査 (FFPE)	5～10	5	50%以上	
	肺癌オンコマインDxTTマルチ7遺伝子CDx FFPE	5～10	5	30%以上	
	甲状腺癌オンコマインDxTTマルチ2遺伝子 CDx FFPE	5～10	5	30%以上	
	肺癌オンコマインDxTTマルチ7遺伝子CDx (46)FFPE	5～10	5	30%以上	
	甲状腺癌オンコマインDxTTマルチ2遺伝子 CDx(46)FFPE	5～10	5	30%以上	
	AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD 検体保存期間：(3ヵ月以下、3～12ヵ月、12～24ヵ月)	各7～10	各5	20%以上 (推奨30%以上)	
	AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用 検体保存期間：(3ヵ月以下、3～12ヵ月、12～24ヵ月)	各7～10	各5	20%以上 (推奨30%以上)	

採取方法

●提出条件

未染標本スライドは、病理組織学的な評価がなされ、検査に必要な腫瘍細胞割合(標本中の全細胞に占める腫瘍細胞の%)以上存在することを確認してください。必要な割合に満たない場合には、未染標本スライドの裏面から腫瘍細胞領域をマーキングしてください。マーキングがされないまま提出されますと、マクロダイセクションができず、偽陰性など判定結果に影響を及ぼす可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(FFPE)は、検査の特性上、腫瘍部と正常部を区分する必要性がありますので、必ず腫瘍細胞領域のマーキングをお願いします。

●未染標本スライドについて

採取された組織は速やかに10%中性緩衝ホルマリン溶液に浸漬し、固定を行ってください(推奨固定時間は6～48時間、生検材料は3～6時間程度)。ご提出の際には、可能な限り3年以内に作製したホルマリン固定パラフィン包埋(FFPE)ブロックより、指定の厚さにて連続切片を作製してください。ただし、AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子はそれぞれ各項目に準じた3ヵ月以内、3～12ヵ月以内、12～24ヵ月以内に作製したFFPE組織にてご提出ください。なお、薄切時には検体ごとにミクローム刃を交換するなど、コンタミネーションに充分ご注意ください。

また、組織のホルマリン固定により核酸が断片化されているため、固定液の種類や組成、固定時間、固定後の検体の保存状態によっては、解析不可能となることがありますので、あらかじめご了承ください。

●生検標本について

生検標本は検体が微量であることが多く、組織自体がほとんど消失している場合や、腫瘍細胞が含まれていない組織片になっている可能性がありますので、あらかじめご注意ください。

容器形態

Z50

旧容器記号

L5

貯蔵方法 室温



コンテナ容器セット

新規検査項目記入欄

項目コード		検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考



株式会社 北信臨床

検査内容のお問合せは、最寄りの下記事業所までご連絡下さい。

お問合せ時間 平日 9:00～19:00 土曜日 9:00～18:00

株式会社北信臨床

本 社	〒380-0918	長野市アークス1-19	TEL:026-223-6366	FAX:026-223-6135
長野営業所	〒380-0918	長野市アークス1-19	TEL:026-223-6311	FAX:026-223-6135
東御営業所	〒389-0516	東御市田中337	TEL:0268-75-8835	FAX:0268-64-0560
諏訪営業所	〒392-0027	諏訪市湖岸通り5-11-104	TEL:0266-58-2314	FAX:0266-58-7124
松本営業所	〒390-0851	松本市島内4616-1	TEL:026-223-6311	FAX:026-223-6135
伊那駐在所	〒396-0026	伊那市西町4931-3	TEL:0266-58-2314	FAX:0266-58-7124
飯田分室	〒395-0804	飯田市鼎名古熊2104-1	TEL:0266-58-2314	FAX:0266-58-7124

登録衛生検査所一覧

名称	所在地	生化学的検査	血液学的検査	血清学的検査	血清分離のみ
長野ラボ	〒380-0918 長野市アークス1-19	○	○	○	
伊那ラボ	〒396-0026 伊那市西町4931-3	○	○	○	
飯田ラボ	〒395-0804 飯田市鼎名古熊2104-1				○

<取得認定類>



プライバシーマーク



登録番号 第14300003(09)号

医療関連サービスマーク



検体検査

(財)医療関連サービス振興会

医療関連サービスマーク